SYLLABUS

【授業の概要と授業計画2024】

九州情報大学

KIIS

Kyushu Institute of Information Sciences

九州情報大学の三つのポリシー

「ビジネス DX 社会をリードする創造的エキスパートを養成する」

IoT（Internet of Things）や AI（人工知能）などのデジタル技術が飛躍的な発展を遂げています。未来の社会では、すべての人とモノがつながり、われわれが抱えている課題や困難が克服されるとともに、新しい価値が生み出され、ひとりひとりのライフスタイルだけでなく社会全体の変革（イノベーション）が到来するだろうと考えられています（Society 5.0）。

企業の活動においても、これら先進的な新しいテクノロジーを活用して、ビッグデータを集めて分析し、業績向上に生かしていくだけでなく、斬新で画期的な製品やサービス、そして新時代のビジネスモデルを創造していくことが求められています。

九州情報大学の責務は、建学の精神「至心」、「報恩感謝・慈愛と奉仕」、「容（かたち）は心を呼び、心は容を呼ぶ」を進んで実践しようとする豊かな人間性を備えた社会人を養成することであるとともに、来るべきビジネス DX 社会をリードしていく創造的エキスパートを世に輩出することを通じて、時代の要請に即応していくことにあります。こうした‘全人格的人間’を養成するために、建学の精神と学則第１条・第３条（教育・研究上の目的）に基づいて、以下のとおり三つのポリシーと学習成果(Student Learning Outcomes)を定めます。

※DX（デジタルトランスフォーメーション）「情報技術の浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という見方。

■■■ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

本学は以下に示す方針の通り、学則および諸規程が定める基準に達し、併せて学士としてふさわしい力（「学士力」1.知識・理解 2.汎用的技能 3. 態度・志向性 4.統合的な学習経験と創造的思考力）を修得したと認められる学生に対して「学士（経営情報学）」の学位を授与します。

Ⅰ　必修科目の単位を含めて 124 単位以上を修得していること。

Ⅱ　学習の成果を卒業研究（またはこれと同等と認められるもの）によって示すことができること。

Ⅲ　建学の精神を理解し自ら進んで実践しようとする姿勢を備えるとともに、社会人として必要な態度・志向性を修得していると認められること。

Ⅳ　経営情報学と関連する諸分野について基礎・応用・発展のそれぞれの段階に応じて専門的知識・理解と汎用的技能を修得していると認められること。

特に ICT（情報通信技術）、数理・データサイエンス・AI に関する専門的理解と汎用的技能を修得していると認められること。

Ⅴ　社会の様々な事象に対応できる複眼的な知識・理解や汎用的技能を獲得し、それらを総合的に活用して、自らが立てた新たな課題に適用させることにより、その課題を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力を修得していると認められること。

■■■カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

経営情報の高度で専門的な知識・技能を修め、建学の精神に基づく豊かな人間性を備えたマネージメントエキスパート・デジタルエキスパートを養成するために、本学の教育課程は次のような特色の 2 つの科目群から構成されています。それは、幅広い教養と人格を陶冶するための「基礎総合科目」、そして経営情報学の諸分野を体系的に学ぶための「専門教育科目」です。2 つの科目群は基礎・応用・発展のそれぞれの段階に応じて体系的に学べるように設定されており、学則、諸規程、そしてディプロマポリシーと以下に示す方針に従って編成され実施されます。

なお学生の成績は、卒業までに修得してほしい「学士力」（1.知識・理解 2.汎用的技能 3.態度・志向性 4. 統合的な学習経験と創造的思考力）のそれぞれの観点から評価されます。

Ⅰ　建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。

建学の精神に基づいた全人格的教育を行います。そのために人間性を高め、感性を豊かにすることを目的とした科目や少人数教育を通じて社会的協調性を体得させるための科目（「建学の精神と人生」、ゼミ・演習科目など）を設定します。

Ⅱ　マネージメントと ICT の諸分野に関して、基礎・応用・発展に応じて専門的知識・理解と汎用的技能を修得させること。

そのために、年次に応じて様々な「専門教育科目」（経営・会計、情報、国際ビジネス、ネットワーク、データサイエンスの各科目群）やゼミ・演習科目を体系的に設定します。

Ⅲ　社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。

社会の様々な事象に対応できる複眼的な知識・理解や汎用的技能を修得した有為な社会人を養成するために、「基礎総合科目」（人文・社会・自然科学、語学、スポーツ健康科学の各科目群）および「専門教育科目」の中に多様な科目を設定します。

Ⅳ　主体的かつ創造的な思考力や実践力を修得させること。

能動型学習（アクティブラーニング）を積極的にすることにより、学生が自分で課題を設定し、様々な学習経験を統合させて、その解決に取り組むことができるような主体的で創造的な思考力・実践力を養います。特に、そのための科目としてゼミ・演習科目などを設定します。

Ⅴ　基礎学力・技能を確認・強化すること。

学生が主体的な学びの力をなるべく早く体得できるように、コミュニケーションや学びのスキルのための初年次科目を設定します（「スタディスキル」など）。また基礎学力を確認・強化するための科目、ICT リテラシーを修得するための科目を設定します（「情報リテラシー演習Ⅰ・Ⅱ」、「コンピューター実務演習Ⅰ・Ⅱ」など）。

Ⅵ　キャリア開発の技能を培い、将来の進路に備えること。

学生が卒業後の進路を自ら考え、切り開いていけるように初年次からキャリア教育科目を設定します。就活支援などの学生のニーズに応じた科目、地域の経営者団体と提携して行う産学連携の実際的な科目を設定します（「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」、「インターンシップ実習」など）。

■■■アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

本学が養成しようとする人材は、経営情報の高度で専門的な知識・技能を修め、建学の精神「至心」を進んで実践しようとする豊かな人間性を備えたマネージメントエキスパート・デジタルエキスパートです。この基本的理念に基づき、経営情報学科、情報ネットワーク学科共通で、以下の方針に従って入学者を受入れます。

Ⅰ　建学の精神を理解し、実践しようとする意欲を持っていること。
本学建学の精神「至心」を理解し、実践しようとする意欲があり、勉学に進んで取り組み、そして進取の精神に溢れた者を求めます。

Ⅱ　経営情報の分野に関心を持ち、学ぶ意欲があること。
経営情報の諸分野に関心を持ち、知識や技能を身につけ、深めていこうとする意欲がある者、特に経営情報の諸分野に関する検定試験や資格取得に積極的に取り組む意欲がある者を求めます。

Ⅲ　基礎的な学力を身につけていること。
大学で学ぶにあたって必要とされる学力（学校教育法第 30 条の第 2 項による学力の三要素）
（1）基礎的・基本的な知識・技能
（2）知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等
（3）主体的に学習に取り組む態度
を入学までに修得している者を求めます。

Ⅳ　社会の諸問題を広く多様な視点から理解し、その解決に貢献したいという意欲があること。
広範な知識・技能を体得し、社会の発展のために積極的に参画していく気概がある者を求めます。

Ⅴ　上記の方針に基づき、本学では下記の入学試験を実施して多様な学生を受け入れます（本学の入学試験の詳細については「九州情報大学入試概要」をご覧ください）。
〇学校推薦型選抜（特別推薦・一般推薦）
本学が指定した出願資格を満たしている受験生に対して、学力、経験、関心、目標、適性（コミュニケーション能力、独創性、積極性等）などを出身高等学校長による調査書と推薦書および面接（口頭プレゼンテーション含む）、自己 PR 作文と小論文（一般推薦のみ）に基づいて総合的に選考します。

〇総合型選抜
本学が指定した出願資格を満たしている受験生に対して、学力、経験、関心、目標、適性（コミュニケーション能力、独創性、積極性等）などを受験生が作成したエントリーシートやインタビュー及び出身高等学校長による調査書を参考にして、面接（口頭プレゼンテーション含む）に基づいて総合的に選考します。
本学の総合型選抜が求める学生像は次の三点です
① 「経営・会計・情報」に強い関心を持つ者
② 企業家を目指す者や家業を継ぐ予定の者
③ 部活動（運動・文化）、課外活動（ボランティア等）、資格・検定の取得に熱心に取り組んだ者

〇スポーツ奨学生選抜
本学が指定した出願資格を満たしている受験生に対して、学力、経験（実績）、関心、目標、適性（コミュニケーション能力、独創性、積極性等）などを受験生が作成したエントリーシートやインタビュー及び出身高等学校長による調査書を参考にして、面接（口頭プレゼンテーション含む）に基づいて総合的に選考します。

〇一般選抜
本学が指定した出願資格を満たしている受験生に対して、出身高等学校長による調査書、自己 PR 作文および高等学校までに修得した基礎学力を筆記試験に基づいて総合的に選考します。本学の一般入試の試験科目については「九州情報大学入試要項」をご覧ください。

〇大学入学共通テスト利用選抜
本学が指定した出願資格を満たしている受験生に対して、出身高等学校長による調査書、自己 PR 作文および高等学校までに修得した基礎学力を大学入学共通テストの得点に基づいて総合的に選考します。

〇外国人留学生選抜
本学が指定した出願資格を満たしている受験生に対して、学力、経験、関心、目標、適性（コミュニケーション能力、独創性、積極性等）などを受験生が作成した日本語作文(総合型選抜の場合は、エントリーシートやインタビューを含む)及び出身学校からの日本語能力等に関する証明書を参考にして、面接と日本留学試験(総合型選抜の場合は本学指定の試験)の成績に基づいて総合的に選考します。

〇社会人選抜
　本学が指定した出願資格を満たしている受験生に対して、学力、経験、関心、目標、適性（コミュニケーション能力、独創性、積極性等）などを受験生が作成した志願理由書(総合型選抜の場合は、エントリーシートやインタビュー)を参考にして、面接、小論文に基づいて総合的に選考します。

〇編入学選抜
　本学が指定した出願資格を満たしている受験生に対して、学力、経験、関心、目標、適性（コミュニケーション能力、独創性、積極性等）などを(指定校推薦の場合は、出身学校長の推薦書)を参考にして、面接（口頭プレゼンテーション含む）と小論文（一般のみ）に基づいて総合的に選考します。

Ⅵ　本学が指定する「入学前学習」を指示に従って最後まで履行できること。
　入学予定者に対しては、大学で学ぶにあたって必要と思われる基礎学力を確認・強化するために、課題や必要に応じて入学前のスクーリング等を課します。入学予定者は本学の指示に必ず従ってください。

経営情報学科の三つのポリシー

■■■ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

　経営情報学科は、マネージメントにかかわる広範で多様な領域について高度で専門的な知識・理解と汎用的技能を修得し、ICT（情報通信技術）も駆使できる新時代にふさわしい創造的なマネージメントエキスパートを養成することを目指しています。
　この目標を達成するために経営情報学科は、大学が定めるディプロマポリシーの基準に達し、併せて次の要件を備えた学生に対して卒業を認定し、「学士（経営情報学）」の学位を授与します。

Ⅰ　経営情報学と関連する諸分野について、高度で専門的な知識・理解を修得していると認められること。

Ⅱ　経営学の諸分野および会計学の諸分野について、高度で専門的な知識・理解と汎用的技能を修得していると認められること。

Ⅲ　ビジネス社会で必要とされる ICT の諸分野について、専門的な知識・理解と汎用的技能を修得していると認められること。

Ⅳ　ビジネス社会で必要とされる数理・データサイエンス・AI について、基礎的な知識・理解と汎用的技能を修得していると認められること。

Ⅴ　ビジネス社会の様々な問題に対応できる統合的な学習経験を修得するとともに、諸課題を自ら設定して解決しようとする主体的で積極的な態度・志向性と創造的思考力を修得していると認められること。

■■■カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

経営情報学科は、マネージメントにかかわる広範で多様な領域について高度で専門的な知識・理解と汎用的技能を修得し、ICT（情報通信技術）も駆使できる創造的なマネージメントエキスパートを養成することを目指しています。

この目標を達成するために経営情報学科は、大学が定めるカリキュラムポリシーに基づき、以下の方針に沿って教育課程を編成し実施します。

Ⅰ　経営情報に関する概念、理論、方法等を修得する基幹的科目として「経営情報学Ⅰ・Ⅱ」を設定します。

Ⅱ　経営の概念や理論全般をはじめとして、労務・財務・生産部門の知識と理論、流通や商業およびベンチャーや経営戦略に関する知識と理論、会計の概念や理論、簿記の技能等について、基礎・応用・発展の各段階に応じて体系的に学ぶことができる科目を年次に応じて設定します。またインターネットを駆使したビジネスのあり方などアップデートなテーマを扱った科目も設定します。

Ⅲ　ICT 理論・技術全般、プログラミング、ネットワーク、インターネット、情報セキュリティ、数理・データサイエンス・AI、マルチメディアなどの諸分野について、基礎レベルを中心に学ぶことのできる科目を設定します。

Ⅳ　ビジネス社会で必要とされる税法・会社法・知的財産権など法律にかかわる科目、国際経済や国際経営など国際ビジネスにかかわる科目、ビジネスで必要な英語などを学ぶ科目を設定します。

■■■アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

経営情報学科は、経営学を中心とする経営情報分野の全般にわたって高度で専門的な知識・技能を備えたマネージメントエキスパートを養成することを目指しています。この目標を達成するために経営情報学科は、大学が定めるアドミッションポリシーに基づき、以下のような意欲・目標を持った入学者を求めます。

Ⅰ　ビジネス・マネジメント全般にわたって関心がある者

Ⅱ　ICT（情報通信技術）全般にわたって関心がある者

Ⅲ　経営情報関連の検定試験に意欲的に取り組める者

Ⅳ　学習の目的と将来の進路について意識を持っている者

情報ネットワーク学科の三つのポリシー

■■■ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

情報ネットワーク学科は、ICT（情報通信技術）や数理・データサイエンス・AI（人工知能）の高度で専門的な知識・理解と汎用的技能を修得し、それらをマネージメントの分野で発揮できる新時代にふさわしい創造的なデジタルエキスパートを養成することを目指しています。

この目標を達成するために情報ネットワーク学科は、大学が定めるディプロマポリシーの基準に達し、併せて次の要件を備えた学生に対して卒業を認定し、「学士（経営情報学）」の学位を授与します。

Ⅰ　経営情報学と関連する諸分野について、高度で専門的な知識・理解を修得していると認められること。

Ⅱ　ICT 理論・技術、プログラミング、ネットワーク、情報セキュリティ、数理・データサイエンス・AI の諸分野について高度で専門的な知識・理解および汎用的技能を修得していると認められること。

Ⅲ　経営学と関連する諸分野について、専門的な知識・理解と汎用的技能を修得していると認められること。

Ⅳ　ICT 社会の様々な問題に対応できる統合的な学習経験を修得するとともに、諸課題を自ら設定して解決しようとする主体的で積極的な態度・志向性と創造的思考力を修得していると認められること。

■■■カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

情報ネットワーク学科は、ICT（情報通信技術）や数理・データサイエンス・AI（人工知能）の高度で専門的な知識・理解と汎用的技能を修得し、それらをマネージメントの分野で発揮できる新時代にふさわしい創造的なデジタルエキスパートを養成することを目指しています。

この目標を達成するために情報ネットワーク学科は、大学が定めるカリキュラムポリシーに基づき、以下の方針に沿って教育課程を編成し、実施します。

Ⅰ　経営情報に関する概念、理論、方法等を修得する基幹的科目として「経営情報学Ⅰ・Ⅱ」を設定します。

Ⅱ　ICT 理論・技術全般、プログラミング、ネットワーク、インターネット、情報セキュリティ、数理・データサイエンス・AI、マルチメディアなどの諸分野について、基礎・応用・発展に応じて体系的に学ぶことのできる科目を設定します。

Ⅲ　経営学と関連する諸分野の基礎的概念や理論、会計学、簿記、マーケティング、法律などの分野に関して必要な科目を設定します。

■■■アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

情報ネットワーク学科は、ICT（情報通信技術）を中心とする経営情報分野の全般にわたって高度で専門的な知識・技術を備えたデジタルエキスパートを養成することを目指しています。この目標を達成するために情報ネットワーク学科は、大学が定めるアドミッションポリシーに基づき、以下のような意欲・目標を持った入学者を求めます。

Ⅰ　ICT（情報通信技術）全般にわたって関心がある者

Ⅱ　ビジネス・マネジメント全般にわたって関心がある者

Ⅲ　経営情報関連の検定試験に意欲的に取り組める者

Ⅳ　学習の目的と将来の進路について意識を持っている者

○九州情報大学経営情報学部の「学習成果」(Student Learning Outcomes)

九州情報大学は、ビジネス DX 社会をリードしていく創造的なマネージメントエキスパート・デジタルエキスパートを養成するために、建学の精神、教育・研究上の目的（学則第１条・第３条）に基づいて、下記のとおり学習成果を定めます。

なお学習成果は、学士としてふさわしい力（「学士力」1.知識・理解 2.汎用的技能 3. 態度・志向性 4.統合的な学習経験と創造的思考力）のそれぞれの観点から測定・評価されます。

1.知識・理解

・基礎総合科目の学習をとおして、多様な社会、文化のあり方について知識・理解を修得している。

・専門教育科目やゼミ・演習科目の学習をとおして、経営情報学と関連する諸分野にかかわる基礎・応用・発展のそれぞれの段階に応じて専門的知識・理解を修得している。さらに以下の事項が求められる。

　・大学が定めるレベルの数理・データサイエンス・AI に関する専門的な知識・理解を修得している。

　・IT パスポート合格と同等の専門的な知識・理解を修得している。

2.汎用的技能

・ICT 関連科目の学習をとおして、マネージメント分野だけでなく社会の多様な場面において、ICT を駆使して対応できる高度で専門的な技能を修得している。

・ゼミ・演習科目の学習をとおして、クラスの中で討論やプレゼンテーションを行うことにより、コミュニケーションスキルや論理的思考、問題解決力を修得している。

3.態度・志向性

・１年次必修科目「建学の精神と人生」の学習をとおして、建学の精神を理解し、進んで実践しようとする姿勢を身に付けている。

・「建学の精神と人生」をはじめとする「基礎総合科目」やゼミ・演習科目の学習をとおして、ひとりの市民として責任感と倫理観をもって社会に参画できる態度・志向性を有している。

・ゼミ・演習クラスなどにおける共同行動等をとおして、チームワークや自己管理の重要性

を認識し、社会人としての責任を果たすために必要な倫理観を身に付けている。

4.統合的な学習経験と創造的思考力

・大学における学習経験を専門的、体系的に統合し、創造的な発想に基づく卒業研究（またはこれと同等と認められるもの）を示すことができる。

○経営情報学科の「学習成果」(Student Learning Outcomes)

ビジネス DX 社会をリードしていく創造的なマネージメントエキスパートを養成するために、学部の学習成果に基づいて、経営情報学科の学習成果を以下のとおり定めます。

1.知識・理解

・専門教育科目やゼミ・演習科目の学習をとおして、経営学と関連する諸分野の基礎・応用・発展のそれぞれの段階に応じて専門的な知識・理解を修得している。

・マネージメントと ICT の連関について高度で専門的な知識・理解を修得している。

・IT パスポート合格と同等の専門的な知識・理解を修得している。

・数理・データサイエンス・AI に関するリテラシーレベルの専門的な知識・理解を修得している。

2.汎用的技能

・基礎総合科目や専門教育科目の学習をとおして、ビジネス DX 社会の多様な場面に対応できるマネージメント技能、ICT 技能を修得している。

・簿記関連科目の学習をとおして、簿記に関する一定の水準の技能を修得している。

3.態度・志向性

・基礎総合科目や専門教育科目の学習をとおして、実地の空間のみならずオンライン上の空間においても他者と円滑にコミュニケーションを図り、社会の一員としての責任感、倫理観をもってふるまうことができる態度や志向性を身に付けている。

・専門教育科目やゼミ・演習科目の学習をとおして、ビジネス DX 社会における自己の役割を自覚し、マネージメントの高度に専門的な知識・理解を生かして、諸課題に対応しようとする態度・志向性を身に付けている。

4.統合的な学習経験と創造的思考力

・ゼミ・演習科目の学習をとおして、マネージメントと ICT に関連する学習経験を集成させて独自の学習の方向性を設定し、卒業研究（またはこれと同等と認められるもの）によって示すことができる。

○情報ネットワーク学科の学習成果(Student Learning Outcomes)

ビジネス DX 社会をリードしていく創造的なデジタルエキスパートを養成するために、学部の学習成果に基づいて、情報ネットワーク学科の学習成果を以下のとおり定めます。

1.知識・理解

・ICT 理論・技術、プログラミング、ネットワーク、情報セキュリティ、数理・データサイエンス・AI の諸分野等について基礎・応用・発展のそれぞれの段階に応じて高度で専門的な知識・理解を修得している。

・ICT とマネージメントの連関について専門的な知識・理解を修得している。

・IT パスポート合格と同等、あるいはそれ以上の高度で専門的な知識・理解を修得している。

・数理・データサイエンス・AI に関するリテラシーレベルの専門的な知識・理解を修得している。さらに応用基礎レベルの知識・理解を修得していることが望ましい。

2.汎用的技能

・基礎総合科目や専門教育科目の学習をとおして、ビジネス DX 社会の様々な場面に対応できる汎用的な ICT を修得している。

特にネットワーク、情報セキュリティ、プログラミング、データサイエンス、AI 等について高度で専門的な技能を修得している。

3.態度・志向性

・基礎総合科目や専門教育科目の学習をとおして、実地の空間のみならずオンライン上の空間においても他者と円滑にコミュニケーションを図り、社会の一員としての責任感、倫理

観をもってふるまうことができる態度や志向性を身に付けている。

・専門教育科目やゼミ・演習科目の学習をとおして、ビジネス DX 社会における自己の役割を自覚し、ICT の高度に専門的な知識・理解を生かして、諸課題に対応しようとする態度・志向性を身に付けている。

4.統合的な学習経験と創造的思考力

・ゼミ・演習科目の学習をとおして、ICT を中心とする学習経験を集成させて独自の学習の方向性を設定し、卒業研究（またはこれと同等と認められるもの）によって示すことができる。

1. 2024(令和6)年度　学 年 暦

期	行　事	期　日	備　考
前期	入学式	4月　1日(月)	
	新入生オリエンテーション		
	在学生オリエンテーション	2日(火)	外国人留学生オリエンテーション、ｉパス表彰・ＤＳ修了授与式含む
	4年生履修登録期間	2日(火) ～ 5日(金)	
	新入生合宿	3日(水) ～ 4日(木)	
	新入生オリエンテーション	5日(金)	AM プレテスト、PM ＰＣセットアップ
	新入生教務履修指導	8日(月)	
	授業開始	9日(火)	【補講日】
	前期履修登録期間	9日(火) ～15日(月)	①5/18(土),②6/22(土),③7/25(木)
	昭和の日	29日(月)	通常授業
	開学記念日	5月　27日(月)	通常授業
	学生総会	29日(水)	短縮授業(70分)
	ｉパスkiisコンテスト	7月　3日(水)	PM 定期試験前オリエンテーション
	月曜日の授業	23日(火)	※月曜日の時間割
	前期授業終了	29日(月)	
	定期試験期間	30日(火) ～ 8月　7日(水)	8/6(火)、7(水) 予備日
	夏季休業	8月　8日(木) ～ 9月23日(月)	
	追再試験	28日(水) ～ 30日(金)	
後期	在学生オリエンテーション	9月　24日(火)	ｉパス表彰・ＤＳ修了授与式含む
	授業開始	25日(水)	【補講日】
	後期履修登録期間	25日(水) ～ 10月　1日(火)	①11/9(土),②12/14(土),③12/24(火)
	学園祭	11月　2日(土) ～　3日(日)	11/1(金)準備・短縮授業(70分)
	ｉパスkiisコンテスト	12月18日(水)	PM 定期試験前オリエンテーション
	冬季休業	25日(水) ～ 1月5日(日)	
	授業開始	1月　6日(月)	
	休講日	17日(金)	
	月曜日の授業	23日(木)	※月曜日の時間割
	後期授業終了	27日(月)	
	定期試験期間	28日(火) ～ 2月5日(水)	2/4(火)、5(水) 予備日
	追再試験	2月　18日(火) ～ 20日(木)	
	学位記授与式	3月　18日(火)	
	春季休業	25日(火) ～ 31日(月)	

【前期】

	4月				5月					6月				7月					8月		授業コマ数
月		15	22	29			13	20	27	3	10	17	24	1	8		22	29		5	16
火	9	16	23	30		7	14	21	28	4	11	18	25	2	9	16	※23	30		6	16
水	10	17	24		1	8	15	22	29	5	12	19	26		10	17	24	31		7	16
木	11	18	25		2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	補		1		16
金	12	19	26			10	17	24	31	7	14	21	28	5	12	19	26		2		16
土							補					補									

※前期 定期試験期間＝7月30日(火)～ 8月7日(水) （予備日を含む）　　※7月23日(火)は、月曜日の授業を実施

【後期】

	9月		10月					11月					12月				1月				2月	授業コマ数
月		30		7		21	28			11	18	25	2	9	16	23	6		20	27	3	16
火			1	8	15	22	29		5	12	19	26	3	10	17	補	7	14	21	28	4	16
水	25		2	9	16	23	30		6	13	20	27	4	11			8	15	22	29	5	16
木	26		3	10	17	24	31		7	14	21	28	5	12	19		9	16	※23	30		16
金	27		4	11	18	25		1	8	15	22	29	6	13	20		10		24	31		16
土									補					補								

※後期 定期試験期間＝1月28日(火)～2月5日(水) （予備日を含む）　　※1月23日(木)は、月曜日の授業を実施

九州情報大学　履修案内

1.　はじめに

履修とは「決められた学科などを習い修めること」です。大学では、必ず履修しなければならない授業科目（必修科目・選択必修科目）と履修したい授業科目（選択科目）を、自分自身で選択して教務課に届け出なければなりません。学生全員の届け出が終了した後でこれを集計し、授業科目ごとの名簿が作成されます。この一連の手続きを履修登録といい、この履修登録が正しくされないと、卒業にも重大な影響が出てきます。従って履修登録は慎重に行ってください。

本学では１年間を前期と後期の２学期に分けて授業を行います。各学期の１授業科目の授業回数は、15 回です。授業は講義・演習、実験・実習および実技などの形態で行われ、各学期または年１回の定期試験の後、60 点以上の評価であれば所定の単位を与えます。４年以上在学して、学則第 23 条別表第Ⅰおよび別表第Ⅱに定めるところにより所定の授業科目を履修し、合計 124 単位以上を修得した者を卒業と認め「学士（経営情報学）」の学位を授与します。

以下では、「九州情報大学学則（以下「学則」といいます。）」および「九州情報大学授業科目履修規程（以下「履修規程」といいます。）に沿って履修登録から卒業までの学習に関することがらについて、順を追って説明します。また、学則や履修規程は、改正されることがありますが、**卒業要件は、原則として入学時の規定が適用されます。従って、入学時に配布する学生便覧は、卒業するまで大切に保管してください。**

2.　教育課程

本学の授業科目は、「基礎総合科目」、「専門教育科目」および「教職に関する科目」に分けて編成されています。教職課程科目（「教職に関する科目」を含む）については、別冊「教職課程の手引き」で詳細に説明していますので、ここでは、学則第 23 条別表第Ⅰおよび別表第Ⅱに定める授業科目（「基礎総合科目」、「専門教育科目」）について説明します。開設する授業科目、必修･選択の別、単位数などはこの別表第Ⅰおよび別表第Ⅱに示されています。卒業するためには、別表第Ⅰおよび別表第Ⅱの教育課程表に従って授業科目を履修し、124 単位以上を修得しなければなりません。履修規程別表Ⅰおよび別表Ⅱでは、学則別表第Ⅰおよび別表第Ⅱの教育課程表を各学年別に整理して揚げていますが、この履修案内では、入学年度別に分けて「授業科目一覧」を揚げています。履修登録時の参考にしてください。

単位計算の基準は次のとおりです。

区分	授業時間	単位
講義・演習	１コマ／週×15 週	２単位
ゼミ・演習	１コマ／週×30 週	４単位
実　　習	１コマ／週×30 週	２単位
（実　　習	１コマ／週×15 週	１単位）
実　　技	１コマ／週×15 週	１単位

１コマの授業時間 90 分を２時間とみなす

※学則第 24 条が定める講義、演習、実験、実習、実技の主な内容はそれぞれ以下の通りです。

・講義とは　学問の方法や成果、また、研究対象などについて、その内容・性質などを説明する授業形式。
・演習・ゼミナール（ゼミ）とは　担当教員の指導のもとで学生が研究・発表・討議を行うことを主眼とした、少人数の授業の形式。
・実験とは　理論や仮説が正しいかどうかを、人為的な操作により実際に確かめてみる授業形式。
・実習とは　講義などで学んだ技術や方法などを実地または実物にあたって学ぶ授業形式。
・実技とは　技術や演技などを実際に行う授業形式。

また、卒業までの年次別修得単位数の目安は次のとおりです。

１年次	２年次	３年次	４年次	合計
40 単位以上	40 単位以上	36 単位以上	8 単位以上	124 単位以上

これは卒業することだけを主眼に置いた目安です。従って大学生にふさわしい広い視野と豊富な知識を身につけるためには、更に多くの科目を履修し単位を修得することが必要です。とりわけ就職活動を有利に進めたり、各分野で経営情報学部の卒業生として活躍したりするためには、３・４年次に専門教育科目を数多く履修することと、必修科目でもあるゼミナール・演習活動に力を注ぐことが重要です。

3.　授業

授業科目は、その授業が行われる時期によって次のように分類されます。

- **前 期 科 目**　　前期開講、前期終了科目
- **後 期 科 目**　　後期開講、後期終了科目
- **通 年 科 目**　　１年間の継続開講科目
- **集中講義科目**　　時期的に集中開講される科目

授業は、「授業時間割」によって行われますが以下の点に注意してください。

やむを得ない事情により開講又は継続ができなくなった授業科目については、開講時期（集中講義を含む）若しくは担当教員等を変更することがあります。

授業科目によっては、あらかじめ受講者数を制限することがあります。

授業時間は、次のとおりです。

１時限目	８時 50 分	～	10 時 20 分
２時限目	10 時 30 分	～	12 時 00 分
３時限目	12 時 50 分	～	14 時 20 分
４時限目	14 時 30 分	～	16 時 00 分
５時限目	16 時 10 分	～	17 時 40 分

◇交通機関の運休による授業の取扱い

公共交通機関において天候（降雪、台風）等のため運休になった場合、当日の授業は、下記のとおり取り扱われます。

ア.午前 7 時までに運休が解除されたときは、当日の授業は平常どおり行います。

イ.午前 7 時を過ぎ午前 9 時までの間に運休が解除されたときは、午前の授業は休講とし、午後の授業は平常どおり行います。

ウ.午前 9 時を過ぎても運休が解除されないときは、終日休講とします。

エ.西鉄大牟田線・太宰府線以外の私鉄の交通機関において運休になった場合でも、西鉄大牟田線・太宰府線が通常どおり運行されていれば、授業は平常どおり行います。

オ.以上のほか、交通機関が麻痺し、通学不能と本学が認めた場合は休講とします。

◇休講と補講

都合により授業が実施されない場合があります。この場合は、教務課掲示板に休講日時、休講科目、担当教員等を掲示します。

補講は、原則として指定の土曜日および各学期定期試験前に特別に期間を設けて実施しますが、授業によっては、変則な日時で実施することもありますので注意してください。

4.　履修登録

履修登録とは、各授業科目の受講者名簿に、その科目の履修を希望する学生の学籍番号・氏名を登録することです。

授業科目には、必修科目および選択科目があります。各授業科目間には、それぞれつながりのある科目がありますので、選択科目の履修登録にあたっては、オリエンテーションでの話、「講義の概要と授業計画」（シラバス）、授業時間割、卒業要件および卒業単位数等をよく検討し、学習計画をたてた上で選択してください。

履修しようとする授業科目は、年度又は学期の初めの指定された期間に教務課に登録しなければなりません。ただし、万一事故等のため指定された期間に登録できないときは、教務課に相談してください。本学の場合、１年次前期以外は web 上で履修登録を実施しています。学年暦で指定された期間内に履修登録を行ってください。１年次前期については、履修登録用紙を指定された期間内に教務課に提出してください。

履修登録を行わない人は、授業および定期試験を受けることができません。したがって単位の認定もできなくなります。ただし、正当な理由があって指定された期間に手続ができなかった人は、後日各授業担当教員の承認を得て登録できることもありますので必ず申し出てください。

履修登録後、履修科目確認リストまたは Web 上で、各自確認してください。

※履修登録期間・登録方法等詳細は、その都度掲示等でも連絡します。

履修規定より抜粋　＜参考＞

第5条

２　本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として 49 単位（教職に関する科目は含まない）を上限とする。

5.　定期試験等

◇試験の種類

履修規程第 10 条第 2 項の定めるところにより、本学における試験の種類と実施に関しては次のとおりとします。

・**定期試験**：前期および後期の学期末に、一定期間内で実施される試験をいいます。

・**臨時試験**：授業科目担当教員（以下、「担当教員」といいます。）の判断により、定期試験期間以外に実施される試験をいいます。

・**追 試 験**：正当な理由により、定期試験を受験できなかった人に対して実施される試験をいいます(後述、追試験の項参照)。

・**再 試 験**：定期試験の結果、不合格の判定を受けた人に対して実施される試験をいいます。再試験は担当教員の判断により実施されないときがあります(後述、再試験の項参照)。

◇試験の実施方法

試験は、原則として筆記試験で行われます。授業科目によっては、レポート、実技、口頭試問等で行われます。また、場合によってはオンライン方式による試験をすることもあります。

試験時間割は、試験開始日の 10 日前に掲示で発表します（試験室は試験当日発表）。

試験時間は、原則として 60 分とします。

◇受験資格

次のいずれかに該当する人は、試験を受けることができません。

・試験を受けようとする授業科目の履修登録をしていない者（ただし、なんらかの過失により履修登録が行われておらず、かつ当該受験科目を常時受講していた場合は、担当教員の承認を得て直ちに履修登録を行うことにより、受験できる場合がある。）

・当該学期分の授業料を前納していない者（ただし、事前に延納願を提出し、学長の許可を得た者を除く。）

・休学中又は停学中の者

・受験時に学生証を携帯していない者（ただし、学生課で当日限り有効の仮学生証の交付を受け、これを学生証に代えることができる。仮学生証の発行は試験期間中２回まで。）

・試験開始後 20 分以上遅刻した者

・原則として当該授業の 3 分の 1 以上欠席した者

◇受験前の注意

試験を受けるまでに、次のことを確認してください。

・試験は教室における対面方式かオンライン方式か。

・試験が行われる日時と場所。

・持ち込み（辞書、自筆のノート等）が許可されている試験か否か。

・筆記用具が指定されている試験か否か。

・学生証は有るか。

・受験許可の有無。

・オンライン試験の URL、クラスコード

◇受験時の注意

試験を受けるときは次のことに留意し、監督者の指示に従ってください。

・必ず指定された教室で、指定又は指示された席で受験してください。
・机の中にノート、教科書等を入れないようにしてください。
・学生証は、試験監督の指定する場所に置いてください。
・参考書、辞書、六法全書等の使用が許可されている場合でも、複写（コピー）したものは認められていません。
・特別に許可がある以外、電子辞書の試験場への持込みはできません。
・図書館(すべての図書館)の図書および資料は試験中利用ができません。
・試験中の私語、物品の貸借等はしてはいけません。
・退室は、試験開始から 30 分以降とします。
・答案用紙は、試験監督者の指定する場所に提出し、提出後は速やかに退室してください。
・答案用紙を持ち帰ることは禁止されています。
・試験終了後、答案の回収が終わるまでは、次の時間の人は入室してはいけません。
・試験中に、試験室横の廊下等での立話は、受験中の人に迷惑をかけることになりますので慎んでください。
・試験開始後、当該試験を棄権したい場合は、採点欄に「キケン」と記入してください。この場合当該科目の単位を放棄したものとします。従って追・再試験を受験することはできません。
・オンライン試験においても、担当教員および教務課の指示に従ってください。

◇レポート

レポートは、担当教員から指示された方式、提出期日等を守って提出してください。

なお、郵便および代理人による提出は認められません。

レポート用紙は、Ａ４の大きさで提出してください。ただし、担当教員から別途指示があるときはこの限りではありません。

レポートには授業科目名・題名・学籍番号・氏名を明記した表紙をつけ、ホッチキス等で留めて提出してください。

提出先は、原則として担当教員までとします。なおレポートの受け渡しにあたって、電子メールやインターネット（Google クラスルーム等）を利用することもありますので、メールアドレス、URL、クラスコード等を確認しておいてください。

◇不正行為

試験中に不正行為を行った場合、原則として即時受験停止とします。

不正行為は、学則第 41 条に基づいて懲戒の対象となります。

不正行為は、履修規程第 13 条に基づき当該学期の全受験科目が 0 点となります。

◇試験結果の発表

試験の結果については、定期試験終了後、学内に掲示で発表します。学内掲示には次のように表示されます。

表示	○	×	欠席
内容	（合格）	（不合格）	（欠席または棄権した場合）

追・再試験終了後（各学期成績確定後）「成績通知書」を次のように配布します。「成績通知書」は、秀、優、良、可で表示されます。

教務課 → ゼミ･演習またはクラス担任 ⇒ 学生個人へ
教務課 → 保護者（郵送）

6. 追試験

正当な理由で定期試験を受験できなかった授業科目については、追試験を受けることができます。

追試験を受けようとする人は、定期試験の最終日から７日以内に、理由を明記した欠席届とその証明書を教務課に提出しなければなりません。

追試験を受験できる理由と提出する証明書等の事例は、次のとおりです。

・本人の病気または怪我（医師の診断書）
・二親等以内（父母兄弟など）の危篤または死亡（医師の診断書または会葬礼状等）
・就職試験の受験（受験証明書）
・天候不順や事故等による交通機関の乱れ（遅延証明書）
・天災等の非常災害（証明できるもの）
・その他やむを得ないと判断されたとき（証明できるもの）

追試験は、最高 90 点（学則年度 219 までは 80 点）で評価されます。

◇追試験の申込み

追試験を受けようとする人は、指定された期間に「追・再試験受験願書」を教務課に提出してください。

追試験を申込むときは、１授業科目につき 1,500 円の試験料が必要です。

7. 再試験

試験の結果、不合格となった授業科目（成績発表時に「×」で表示）については、再試験を受けることができます。ただし、再試験が行われない科目もありますので注意してください。また、本試験を棄権した場合も再試験の受験はできません。

再試験は、最高 60 点で評価されます。

◇再試験の申込み

再試験を受けようとする人は、指定された期間に「追・再試験受験願書」を教務課に提出してください。

再試験を申込むときは、１授業科目につき 1,500 円の試験料が必要です。

8. 再履修

不合格となった授業科目は、次年度に再度履修（以下、「再履修」という）することができます。

当該年度に再履修しようとする授業科目が開講されなかったときや廃止されたときは、指定された代替科目を履修してください。

◇必修科目の再履修について

在籍学年に再履修クラスが設けられているときは、再履修クラスで登録してください。在籍学年の必修科目と再履修科目の時間が重複しているときは、教務課に相談してください。

◇選択科目の再履修について

選択科目の再履修は、必修科目の再履修と同じ方法で時間割を組むか、卒業単位等をよく検討して別の科目を選択することもできます。

9.　成績の評価

授業科目の成績は、次の基準により評価され、学則第 27 条により、秀、優、良、可、が合格、不可が不合格となります。

秀	100 点～90 点
優	89 点～80 点
良	79 点～70 点
可	69 点～60 点
不可	59 点～ 0 点

合格した科目は、単位が認定され、「成績証明書」には、秀、優、良、可で表示されます。ただし、不合格となった科目については単位が認定されず、同証明書には、何の表示もされません。

入学前に修得した科目が本学の授業科目に振り替えられた場合、資格が単位として認定された場合は、その表示は「認」で表示されます。

※本学では、提出された成績評価を GPA で計算する場合があります。

GPA（Grade Point Average）とは、各科目の成績から特定の方式によって算出された学生の成績評価値のこと、あるいはその成績評価方式のことです。

一般的に試験の成績 100～90 を 4 点、89～80 を 3 点、79～70 を 2 点、69～60 を 1 点、59 以下を 0 点換算し、各科目の(単位数×ポイント)の合計÷総単位数（履修登録単位の総数）で求めます。

10.　単位の認定

授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与えます。

合格した授業科目の再履修、再受験、取消はできません。

11.　卒業延期、退学勧告

授業科目の内容を理解するには、少なくともその総授業時間の 3 分の 2 以上出席していることが望まれます。出席状況が悪いと授業内容がわからなくなり勉学の意欲が薄れ、定期試験の受験資格を得られなかったり、若しくは、合格率が悪くなり、卒業延期（留年）や退学等の原因ともなりますので注意してください。

【学則年度　２２０～】

履修規程第 8 条に基づき、3 年次の必修科目である専門ゼミⅠまたは経営学専門演習Ⅰ・情報学専門演習Ⅰを履修登録するためには、2 年次の必修科目である**基礎ゼミまたは経営学基礎演習･情報学基礎演習の単位を修得している必要があります。もし単位が取れなかった場合、3 年次で基礎ゼミまたは経営学基礎演習・情報学基礎演習と専門ゼミⅠまたは経営学専門演習Ⅰ・情報学専門演習Ⅰを同時履修することはできません。つまり 4 年間で卒業することができなくなります。**

同じように 3 年次で専門ゼミⅠまたは経営学専門演習Ⅰ・情報学専門演習Ⅰの単位を修得することができなかった場合、4 年次になって必修科目である**専門ゼミⅡまたは経営学専門演習Ⅱ・情報学専門演習Ⅱと同時に履修することもできないので 4 年間で卒業することができなくなります。**

なお履修規程第 22 条の 2 第 8 項により、専門ゼミⅠ及び専門ゼミⅡの履修にあたり累積 GPA が 1.00 未満の者は履修登録することができません。

【学則年度　２１９】

履修規程第 8 条に基づき、3 年次の必修科目である専門ゼミⅠを履修登録するためには、二年次の必修科目である**基礎ゼミの単位を修得している必要があります。もし単位が取れなかった場合、3 年次で基礎ゼミと専門ゼミⅠを同時履修することはできません。つまり 4 年間で卒業することができなくなります。**

同じように 3 年次で専門ゼミⅠの単位を修得することができなかった場合、4 年次になって必修科目である**専門ゼミⅡと同時に履修することもできないので 4 年間で卒業することができなくなります。**

【学則年度　２１４～】

履修規程第 8 条に基づき、3 年次の必修科目である専門ゼミⅠまたは経営学演習Ⅰ・情報学演習Ⅰを履修登録するためには、2 年次の必修科目である**基礎ゼミまたは経営学基礎演習・情報学基礎演習の単位を修得している必要があります。もし単位が取れなかった場合、3 年次で基礎ゼミまたは経営学基礎演習・情報学基礎演習と専門ゼミⅠまたは経営学演習Ⅰ・情報学演習Ⅰを同時履修することはできません。つまり 4 年間で卒業することができなくなります。**

同じように 3 年次で専門ゼミⅠまたは経営学演習Ⅰ・情報学演習Ⅰの単位を修得することができなかった場合、4 年次になって必修科目である**専門ゼミⅡまたは経営学演習Ⅱ・情報学演習Ⅱと同時に履修することもできないので 4 年間で卒業することができなくなります。**

なお履修規程第 22 条の 2 第 5 項により、専門ゼミⅠ及び専門ゼミⅡの履修にあたり累積 GPA が 1.00 未満の者は履修登録することができません。

各学年の授業科目をできるだけ多く受講し、確実に単位を修得してください。なお、3 年生までの成績は「成績証明書」として就職試験時の参考資料にもなりますし、修得単位数によっては「卒業見込証明書」が発行されず、就職活動ができません。

＊「卒業見込証明書」は、4 年生以上で履修登録をした科目を修得すれば、卒業要件を満たす場合に発行されます。

４年終了までに、卒業要件である 124 単位以上の単位を修得できないとき、又は必修科目を１科目でも修得できないときは、卒業延期（留年）となります。

正当な理由がなく、各学年において修得単位が著しく少ない人には、担任教員や教務課か

ら指導が行われることがあります。

また履修規程第 22 条の 2 第 5 項（1）に基づき、2 学期連続して GPA が 1.00 未満の者については、学生部長及び教務部長が勧告・指導・助言を行います。さらに 3 学期連続して GPA が 1.00 未満の者については、履修規程第 22 条の 2 第 6 項に基づき、学部長が退学を勧告します。

※9 月卒業について
4 年以上在学した者で次の要件を満たす場合は、9 月（前期）に卒業することができます。
（1）前期科目を修得することによって卒業要件を満たす場合

12.　入学年度別授業科目一覧

履修規程の別表Ⅰ・Ⅱでは、学則別表第Ⅰ・Ⅱの教育課程表を各学年別に整理して揚げています。履修登録時の参考にしてください。

GPA（Grade Point Average）制度について

GPA（Grade Point Average）とは

九州情報大学では、2017 年度から GPA 制度を導入しました（2017 年度以降入学生のみ対象）。GPA 制度の評価方法は、科目の成績評価にグレード・ポイント(GP)を付与することにより、1 単位あたりの成績の平均値を示すものです。

(1) 成績評価基準とグレード・ポイント（GP）

点数	評価	合否	GP	
100-90	秀	合格 （単位修得）	4	GPA＜成績評価を受けた科目の単位＞（分母）の対象
89-80	優		3	
79-70	良		2	
69-60	可		1	
59-0	不可	不合格	0	
棄権・欠席	-		0	
認定	認	認定(合格)	GPA の計算対象外	

※認定：編入学および資格取得における単位認定科目

(2) GPA の算出式

$$\text{GPA} = \frac{\text{【 成績評価を受けた科目の単位数 × 科目の GP 】 の 合計}}{\text{【 成績評価を受けた科目の単位数 】 の合計}}$$

(3) GPA の確認方法

・成績通知書：通算 GPA が表示されます。

・Campus Plan：成績状況参照の「GPA 欄」にて各学期・各年度の GPA を確認することができます。

(4) GPA の目安

GPA の値	評価の平均値	学修・生活面の状態
4.0～3.0	優評価を平均的に修得	非常に優秀です。問題はありません。
2.9～2.0	優評価～良評価を平均的に修得	問題はありませんが、セメスターごとに下がってきている場合は注意が必要です。
1.9～1.0	良評価～可評価を平均的に修得	ぎりぎり合格しているレベルです。今後の学修姿勢に注意が必要です。
0.9～	不合格の割合が多い	学修状況や生活面での見直しが必要です。

以上

社会福祉主事

(1) 取得できる資格について

社会福祉主事とは、福祉事務所現業員（老人福祉指導主事、母子相談員等）として任用される者に要求される資格です。また、社会福祉施設の職員等（施設長、生活指導員等）の資格にも準用されています。

社会福祉各法に定める援護又は更生の措置に関する事務を行うために、福祉事務所には必置義務があります。（福祉事務所のない町村には任意設置）

「社会福祉主事」の任用資格は、卒業までに(2)に記載の授業科目のうち３科目分の単位を取得すると得ることができます。

同資格の取得を希望する者は、取得に必要な講義の履修登録に留意すること。

社会福祉主事任用資格の必要な職種は以下のとおり。

行政	福祉事務所	現業員、査察指導員、老人福祉指導主事、母子相談員、家庭児童福祉主事[児童福祉事業主事２年以上等]、家庭相談員[児童福祉事業従事２年以上等]
	各種相談所	知的障害者福祉司[知的障害者福祉事業従事２年以上等]、身体障害者福祉司[身体障害者福祉事業従事２年以上等]
		児童福祉司[児童福祉事業従事２年以上等]
社会福祉施設		施設長、生活指導員　等

※ [　]内は、社会福祉主事任用資格に加えて必要な要件

(2) 修得すべき授業科目について

授業科目名	配当年次	H31(2019)以降入学	H24(2012)～H30(2018)入学
法学	1 年	法学	法学
民法	2 年	民事法	民法Ⅰ・民法Ⅱ
経済学	1 年	経済学	経済学Ⅰ・経済学Ⅱ
社会学	1 年	社会学	社会学Ⅰ・社会学Ⅱ
心理学	1 年	心理学	心理学Ⅰ・心理学Ⅱ
資格取得に必要な科目数		上記科目のうち３科目	

※ 2012 年度以降入学者適用

※シラバスの詳細を確認する際は
各科目をクリックしてください。

授業科目一覧　　経営情報学科

【学籍番号】
219
221編入

○卒業要件
必修科目43単位を含めて124単位以上を修得すること

基礎総合科目の開講時期と単位数　　※必修15単位を含み、40単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「総合教養」の分野から＊(必修・選択必修)3単位 を含み12単位以上修得
（注3）「語学」の分野から＊(必修)2単位 を含み6単位以上修得
（注4）「実践力養成・キャリア開発」の分野から＊(必修)10単位 を含み12単位以上修得
（注5）　☆　印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
（注6）(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋　＜参考＞
第5条
2　本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として49単位（教職に関する科目は含まない）を上限とする。

			1年生		2年生		3年生		4年生	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
基礎総合科目	総合教養	人文科学	＊ 建学の精神と人生 (前)	2						
			宗教学 (後)	2						
			心理学 (前)	2						
			文学 (前)	2						
			哲学 (後)	2						
			日本文化論 (後)	2						
		社会科学	法学 (前)	2						
			日本国憲法 (後)	2						
			社会学 (後)	2						
			政治学 (前)	2						
			経済学 (前)	2						
			☆ 日本事情 (前)	2						
		自然科学	基礎数学 (前)	2						
			地球と環境 (後)	2						
		スポーツ科学			＊1内選択必修 スポーツ実技Ⅰ (前)	1*				
					スポーツ実技Ⅱ (後)	1*				
					ウエルネス理論 (前)	2				
	語学	英語	＊ 総合英語 (前)	2	英会話Advanced Ⅰ (前)	2				
			英会話Basic Ⅰ (前)	2	英会話Advanced Ⅱ (後)	2				
			英会話Basic Ⅱ (後)	2						
		中国語			初級中国語 (前)	2				
					中級中国語 (後)	2				
		韓国語			初級韓国語 (前)	2				
					中級韓国語 (後)	2				
		日本語	☆ 日本語Ⅰ (前)	2	☆ 日本語Ⅲ (前)	2				
			☆ 日本語Ⅱ (後)	2	☆ 日本語Ⅳ (後)	2				
	実践力養成・キャリア開発	実践スキル	＊ 情報ﾘﾃﾗｼｰ演習 (前)	2	文章表現Ⅰ (前)	2				
			＊ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ (前)	2	文章表現Ⅱ (後)	2				
			＊ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅱ (後)	2						
		キャリア開発			＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅰ (前)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ (前)	2		
					＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅱ (後)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ (後)	2		
	特別講義	特別講義	特別講義「語学」	1～4						
			特別講義「実践力養成」	1～4						
			特別講義「ｷｬﾘｱ」	1～4						

専門教育科目の開講時期と単位数　　※必修28単位を含み、84単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「専門基礎」の分野から必修科目10単位を含み20単位以上修得
（注3）「専門発展」の分野から必修科目6単位を含み14単位以上修得
（注4）「専門応用」の分野から24単位以上修得
（注4）(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

履修規程から抜粋＜参考＞
第8条
専門ゼミⅠは、原則としてその履修登録時において基礎ゼミを修得した者でなければ履修登録できない。
ただし、編入学生については、これを適用しない。

大分類	中分類	小分類	1年生 授業科目	単位	2年生 授業科目	単位	3年生 授業科目	単位	4年生 授業科目	単位
専門教育科目	専門基礎	経営・会計	＊ 経営学総論Ⅰ (前)	2	ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学 (前)	2				
			会計学入門 (前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務 (前)	2				
			＊ 初級簿記 (前)	2	民事法 (前)	2				
			＊ 簿記演習 (後)	2	経営情報論Ⅰ (前)	2				
			＊ 情報倫理 (後)	2						
		情報	情報学入門 (前)	2	統計学入門 (前)	2	＊ 情報ｾｷｭﾘﾃｨ (前)	2		
			情報数学Ⅰ (後)	2			情報ｼｽﾃﾑの開発と管理 (前)	2		
			情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門 (後)	2			ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論 (前)	2		
			ﾋﾞｼﾞﾈｽｿﾌﾄ活用演習 (後)	4						
	専門発展	経営・会計	＊ ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論 (前)	2	企業金融 (前)	2	組織心理学 (前)	2		
			ﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽ入門 (後)	2	ｺﾏｰｽ論Ⅰ (前)	2	知的所有権 (前)	2		
			＊ 経営学総論Ⅱ (後)	2	日本経営史 (前)	2	労務管理論 (前)	2		
					経営分析 (前)	2	経営思想 (前)	2		
					＊ 会計学 (後)	2				
					統計学 (後)	2				
					経営組織論 (後)	2				
		情報	計算機ｼｽﾃﾑ論 (後)	2			ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ論 (前)	2		
			情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ (前)	2			中級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実習 (後)	2		
					ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造 (前)	2	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ論 (前)	2		
					ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論 (前)	2	計測・制御論 (後)	2		
					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門 (前)	2				
					初級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実習 (後)	2				
					ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄｹﾞｰﾑ (後)	2				
	専門応用	会計			中級簿記演習Ⅰ (前)	2	税務会計論 (前)	2		
					中級簿記演習Ⅱ (後)	2	税法学 (後)	2		
					原価計算論Ⅰ (前)	2				
					原価計算論Ⅱ (後)	2				
					財務会計論 (前)	2				
					財務管理 (後)	2				
					会社法 (前)	2				
					監査論 (後)	2				
					ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ会計 (前)	2				
		経営	経営戦略論 (前)	2	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ・ﾘｻｰﾁ (前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾆﾝｸﾞ (後)	2		
			消費者行動論 (後)	2	Webｻｰﾋﾞｽ論 (後)	2	事業承継論 (前)	2		
					SNS活用と問題解決 (前)	2	計量経済分析 (後)	2		
					ｺﾏｰｽ論Ⅱ (後)	2				
					経営情報論Ⅱ (後)	2				
					ﾍﾞﾝﾁｬｰ企業論 (後)	2				
					中小企業論 (前)	2				
		国際ビジネス			国際経営論 (後)	2	国際経済論 (前)	2		
					国際情報分析 (後)	2	国際政治学 (前)	2		
					国際金融論 (後)	2				
					ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅰ (前)	2				
					ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅱ (後)	2				
					TOEIC Ⅰ (前)	2				
					TOEIC Ⅱ (後)	2				
					国際地域文化論 (前)	2				
	演習	ｾﾐｰﾙ基礎			＊ 基礎ｾﾐ (通年)	4				
		ｾﾐｰﾙ専門					＊ 専門ｾﾐⅠ (通年)	4	＊ 専門ｾﾐⅡ (通年)	4
	特別講義	特別専門講義	特別講義「経営」	1～4						
			特別講義「会計」	1～4						
			特別講義「情報」	1～4						

※シラバスの詳細を確認する際は
各科目をクリックしてください。

授業科目一覧　　情報ネットワーク学科

【学籍番号】
219
221編入

○卒業要件
必修科目43単位を含めて124単位以上を修得すること

基礎総合科目の開講時期と単位数　　※必修15単位を含み、40単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「総合教養」の分野から＊(必修・選択必修)3単位 を含み12単位以上修得
（注3）「語学」の分野から＊(必修)2単位 を含み6単位以上修得
（注4）「実践力養成・キャリア開発」の分野から＊(必修)10単位 を含み12単位以上修得
（注5）　☆　印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
（注6）(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋　＜参考＞
第５条
２　本学学生が、１年間に履修登録できる単位数は、原則として49単位（教職に関する科目は含まない）を上限とする。

			1年生		2年生		3年生		4年生	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
基礎総合科目	総合教養	人文科学	＊　建学の精神と人生　(前)	2						
			宗教学　(後)	2						
			心理学　(前)	2						
			文学　(前)	2						
			哲学　(後)	2						
			日本文化論　(後)	2						
		社会科学	法学　(前)	2						
			日本国憲法　(後)	2						
			社会学　(後)	2						
			政治学　(前)	2						
			経済学　(前)	2						
			☆　日本事情　(前)	2						
		自然科学	基礎数学　(前)	2						
			地球と環境　(後)	2						
		スポーツ科学			＊1内選択必修　スポーツ実技Ⅰ　(前)	1＊				
					スポーツ実技Ⅱ　(後)	1＊				
					ウエルネス理論　(前)	2				
	語学	英語	＊　総合英語　(前)	2	英会話Advanced Ⅰ　(前)	2				
			英会話Basic Ⅰ　(前)	2	英会話Advanced Ⅱ　(後)	2				
			英会話Basic Ⅱ　(後)	2						
		中国語			初級中国語　(前)	2				
					中級中国語　(後)	2				
		韓国語			初級韓国語　(前)	2				
					中級韓国語　(後)	2				
		日本語	☆　日本語Ⅰ　(前)	2	☆　日本語Ⅲ　(前)	2				
			☆　日本語Ⅱ　(後)	2	☆　日本語Ⅳ　(後)	2				
	実践力養成・キャリア開発	実践スキル	＊　情報ﾘﾃﾗｼｰ演習　(前)	2	文章表現Ⅰ　(前)	2				
			＊　ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ　(前)	2	文章表現Ⅱ　(後)	2				
			＊　ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅱ　(後)	2						
		キャリア開発			＊　ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅰ　(前)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ　(前)	2		
					＊　ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅱ　(後)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ　(後)	2		
	特別講義	特別講義（基礎）	特別講義「語学」　1～4							
			特別講義「実践力養成」　1～4							
			特別講義「ｷｬﾘｱ」　1～4							

専門教育科目の開講時期と単位数　　※必修28単位を含み、84単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「専門基礎」の分野から必修科目10単位を含み20単位以上修得
（注3）「専門発展」の分野から必修科目6単位を含み14単位以上修得
（注4）「専門応用」の分野から24単位以上修得
（注4）(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

履修規程から抜粋＜参考＞
第8条
　専門ゼミⅠは、原則としてその履修登録時において基礎ゼミを修得した者でなければ履修登録できない。
　ただし、編入学生については、これを適用しない。

			1年生		2年生		3年生		4年生	
大分類	中分類	小分類	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
専門教育科目	専門基礎	情報	情報学入門　(前)	2	統計学入門　(前)	2	＊　情報ｾｷｭﾘﾃｨ　(前)	2		
			情報数学Ⅰ　(後)	2			情報ｼｽﾃﾑの開発と管理　(前)	2		
			情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門　(後)	2			ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論　(前)	2		
			ﾋﾞｼﾞﾈｽｿﾌﾄ活用演習　(後)	4						
		経営・会計	＊　経営学総論Ⅰ　(前)	2	ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学　(前)	2				
			会計学入門　(前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務　(前)	2				
			＊　初級簿記　(前)	2	民事法　(前)	2				
			＊　簿記演習　(後)	2	経営情報論Ⅰ　(前)	2				
			＊　情報倫理　(後)	2						
	専門発展	情報	計算機ｼｽﾃﾑ論　(後)	2	ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造　(前)	2	計測・制御論　(後)	2		
			＊　ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅰ　(前)	2	情報数学Ⅱ　(前)	2	ﾓﾊﾞｲﾙﾈｯﾄﾜｰｸ　(前)	2		
			ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅱ　(後)	2	ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論　(前)	2				
					ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞｼｽﾃﾑ論　(後)	2				
					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅰ　(前)	4				
					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅱ　(後)	4				
					＊　情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅰ　(前)	4				
					情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅱ　(後)	4				
	専門応用	ネットワーク	Webｺﾝﾃﾝﾂ制作Ⅰ　(後)	2	Webｺﾝﾃﾝﾂ制作Ⅱ　(前)	2	WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅡ　(前)	2		
					WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅠ　(後)	2	WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅢ　(後)	2		
					ｽｲｯﾁﾝｸﾞ技術　(前)	2	ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ構築　(通年)	4		
					ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ技術　(後)	2	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ技術　(前)	2		
					SNS活用と問題解決　(前)	2				
					Webｻｰﾋﾞｽ論　(後)	2				
		データサイエンス	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論　(前)	2	統計学　(後)	2	多変量解析　(前)	2		
			消費者行動論　(後)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ　(前)	2	ﾃﾞｰﾀ解析　(前)	2		
					ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ・ﾘｻｰﾁ　(前)	2	ﾃﾞｰﾀﾓﾃﾞﾘﾝｸﾞ　(後)	2		
					経営分析　(前)	2	統計ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ　(後)	2		
					会計学　(後)	2	機械学習　(前)	2		
							人工知能　(後)	2		
							計量経済分析　(後)	2		
	演習	ｾﾐｰﾙ基礎			＊　基礎ｾﾐ　(通年)	4				
		ｾﾐｰﾙ専門					＊　専門ｾﾐⅠ　(通年)	4	＊　専門ｾﾐⅡ　(通年)	4
	特別講義	特別講義（専門）	特別講義「経営」　1～4							
			特別講義「会計」　1～4							
			特別講義「情報」　1～4							

※シラバスの詳細を確認する際は
各科目をクリックしてください。

授業科目一覧　　経営情報学科

【学籍番号】
220
222編入

○卒業要件
必修科目42単位を含めて124単位以上を修得すること

別表Ⅰ－Ⅰ基礎総合科目の開講時期と単位数　※必修16単位を含み、40単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「総合教養」の分野から＊(必修)4単位 を含み12単位以上修得
（注3）「語学」の分野から＊(必修)2単位 を含み6単位以上修得
（注4）「実践力養成・キャリア開発」の分野から＊(必修)10単位 を含み12単位以上修得
（注5）　☆　印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
（注6）(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋　＜参考＞
第5条
2　本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として49単位(教職に関する科目は含まない)を上限とする。

			1年生		2年生		3年生		4年生	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
基礎総合科目	総合教養	人文科学	＊ 建学の精神と人生 (前)	2						
			宗教学 (後)	2						
			心理学 (前)	2						
			文学 (前)	2						
			哲学 (後)	2						
			日本文化論 (後)	2						
			＊ 情報倫理 (後)	2						
		社会科学	法学 (前)	2						
			日本国憲法 (後)	2						
			社会学 (後)	2						
			政治学 (前)	2						
			経済学 (前)	2						
			☆ 日本事情 (前)	2						
		自然科学	基礎数学 (前)	2						
		スポーツ科学	ｳｪﾙﾈｽ (前)	1	ｽﾎﾟｰﾂ理論 (前)	2				
			ｽﾎﾟｰﾂ (後)	1	ｳｪﾙﾈｽ理論 (後)	2				
	語学	英語	＊ 総合英語 (前)	2	英会話Advanced Ⅰ (前)	2				
			英会話Basic Ⅰ (前)	2	英会話Advanced Ⅱ (後)	2				
			英会話Basic Ⅱ (後)	2						
		中国語			初級中国語 (前)	2				
					中級中国語 (後)	2				
		韓国語			初級韓国語 (前)	2				
					中級韓国語 (後)	2				
		日本語	☆ 日本語Ⅰ (前)	2	☆ 日本語Ⅲ (前)	2				
			☆ 日本語Ⅱ (後)	2	☆ 日本語Ⅳ (後)	2				
	実践力養成・キャリア開発	実践スキル	＊ 情報ﾘﾃﾗｼｰ演習 (前)	2	文章表現Ⅰ (前)	2				
			＊ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ (前)	2	文章表現Ⅱ (後)	2				
			＊ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅱ (後)	2						
		キャリア開発			＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅰ (前)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ (前)	2		
					＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅱ (後)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ (後)	2		
	特別講義	特別講義	特別講義「語学」	1～4						
			特別講義「実践力養成」	1～4						
			特別講義「ｷｬﾘｱ」	1～4						

別表Ⅰ－Ⅱ専門教育科目の開講時期と単位数　※必修26単位を含み、84単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「専門基礎」の分野から必修科目8単位を含み20単位以上修得
（注3）「専門発展」の分野から必修科目6単位を含み14単位以上修得
（注4）「専門応用」の分野から24単位以上修得
（注4）(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

履修規程から抜粋＜参考＞
第8条
専門ゼミⅠまたは、経営学演習Ⅰ・情報学演習Ⅰは、原則としてその履修登録時において基礎ゼミまたは、経営学基礎演習・情報学基礎演習を修得した者でなければ履修登録できない。
ただし、編入学生については、これを適用しない。

大分類	中分類	小分類	1年生 授業科目	単位	2年生 授業科目	単位	3年生 授業科目	単位	4年生 授業科目	単位
専門教育科目	専門基礎	経営・会計	＊ 経営学総論Ⅰ (前)	2	ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学 (前)	2				
			会計学入門 (前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務 (前)	2				
			＊ 初級簿記 (前)	2	民事法 (前)	2				
			＊ 簿記演習 (後)	2	経営情報論Ⅰ (前)	2				
		情報	情報学入門 (前)	2	統計学入門 (前)	2	＊ 情報ｾｷｭﾘﾃｨ (前)	2		
			情報数学Ⅰ (後)	2			情報ｼｽﾃﾑの開発と管理 (前)	2		
			情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門 (後)	2			ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論 (前)	2		
			ﾋﾞｼﾞﾈｽｿﾌﾄ活用演習 (後)	4						
	専門発展	経営・会計	＊ ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論 (前)	2	企業金融 (前)	2	組織心理学 (前)	2		
			ﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽ入門 (後)	2	ｺﾏｰｽ論Ⅰ (前)	2	知的所有権 (前)	2		
			＊ 経営学総論Ⅱ (後)	2	日本経営史 (前)	2	労務管理論 (前)	2		
					経営分析 (前)	2	経営思想 (前)	2		
					＊ 会計学 (後)	2				
					統計学 (後)	2				
					経営組織論 (後)	2				
		情報	計算機ｼｽﾃﾑ論 (後)	2			ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ論 (前)	2		
			情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ (前)	2			中級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実習 (後)	2		
					ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造 (前)	2	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ論 (前)	2		
					ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論 (前)	2	計測・制御論 (後)	2		
					情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅰ (前)	4				
					情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅱ (後)	4				
					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門 (前)	2				
					初級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実習 (後)	2				
					ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄｹﾞｰﾑ (後)	2				
	専門応用	会計			中級簿記演習Ⅰ (前)	2	税務会計論 (前)	2		
					中級簿記演習Ⅱ (後)	2	税法学 (後)	2		
					原価計算論Ⅰ (前)	2				
					原価計算論Ⅱ (後)	2				
					財務会計論 (前)	2				
					財務管理 (後)	2				
					会社法 (前)	2				
					監査論 (後)	2				
					ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ会計 (前)	2				
		経営	経営戦略論 (前)	2	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ・ﾘｻｰﾁ (前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾆﾝｸﾞ (後)	2		
			消費者行動論 (後)	2	Webｻｰﾋﾞｽ論 (後)	2	計量経済分析 (後)	2		
					SNS活用と問題解決 (前)	2				
					ｺﾏｰｽ論Ⅱ (後)	2				
					経営情報論Ⅱ (後)	2				
					ﾍﾞﾝﾁｬｰ企業論 (後)	2				
					中小企業論 (前)	2				
		国際ビジネス			国際経営論 (後)	2	国際経済論 (前)	2		
					国際情報分析 (後)	2	国際政治学 (前)	2		
					ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅰ (前)	2				
					ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅱ (後)	2				
					TOEICⅠ (前)	2				
					TOEICⅡ (後)	2				
	演習	ゼミ	ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ (前)	2	＊ 基礎ｾﾞﾐ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅠ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅡ (通年)	4
			ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ (後)	2	経営学基礎演習 (通年)		経営学専門演習Ⅰ(通年)		経営学専門演習Ⅰ(通年)	
	特別講義	特別講義	特別講義「経営」	1～4						
			特別講義「会計」	1～4						
			特別講義「情報」	1～4						

※シラバスの詳細を確認する際は
各科目をクリックしてください。

授業科目一覧　　情報ネットワーク学科

【学籍番号】
220
222編入

○卒業要件
必修科目42単位を含めて124単位以上を修得すること

別表Ⅱ－Ⅰ基礎総合科目の開講時期と単位数　※必修16単位を含み、40単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「総合教養」の分野から＊(必修)4単位 を含み12単位以上修得
（注3）「語学」の分野から＊(必修)2単位 を含み6単位以上修得
（注4）「実践力養成・キャリア開発」の分野から＊(必修)10単位 を含み12単位以上修得
（注5）　☆　印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
（注6）(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋　＜参考＞
第5条
2　本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として49単位（教職に関する科目は含まない）を上限とする。

			1年生		2年生		3年生		4年生	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
基礎総合科目	総合教養	人文科学	＊ 建学の精神と人生 (前)	2						
			宗教学 (後)	2						
			心理学 (前)	2						
			文学 (前)	2						
			哲学 (後)	2						
			日本文化論 (後)	2						
			＊ 情報倫理 (後)	2						
		社会科学	法学 (前)	2						
			日本国憲法 (後)	2						
			社会学 (後)	2						
			政治学 (前)	2						
			経済学 (前)	2						
			☆ 日本事情 (前)	2						
		自然科学	基礎数学 (前)	2						
		スポーツ科学	ｳｪﾙﾈｽ (前)	1	ｽﾎﾟｰﾂ理論 (前)	2				
			ｽﾎﾟｰﾂ (後)	1	ｳｪﾙﾈｽ理論 (後)	2				
	語学	英語	＊ 総合英語 (前)	2	英会話Advanced Ⅰ (前)	2				
			英会話Basic Ⅰ (前)	2	英会話Advanced Ⅱ (後)	2				
			英会話Basic Ⅱ (後)	2						
		中国語			初級中国語 (前)	2				
					中級中国語 (後)	2				
		韓国語			初級韓国語 (前)	2				
					中級韓国語 (後)	2				
		日本語	☆ 日本語Ⅰ (前)	2	☆ 日本語Ⅲ (前)	2				
			☆ 日本語Ⅱ (後)	2	☆ 日本語Ⅳ (後)	2				
	実践力養成・キャリア開発	実践スキル	＊ 情報ﾘﾃﾗｼｰ演習 (前)	2	文章表現Ⅰ (前)	2				
			＊ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ (前)	2	文章表現Ⅱ (後)	2				
			＊ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅱ (後)	2						
		キャリア開発			＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅰ (前)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ (前)	2		
					＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅱ (後)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ (後)	2		
	特別講義	特別講義（基礎）	特別講義「語学」	1～4						
			特別講義「実践力養成」	1～4						
			特別講義「ｷｬﾘｱ」	1～4						

別表Ⅱ－Ⅱ専門教育科目の開講時期と単位数　※必修26単位を含み、84単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「専門基礎」の分野から必修科目8単位を含み20単位以上修得
（注3）「専門発展」の分野から必修科目6単位を含み14単位以上修得
（注4）「専門応用」の分野から24単位以上修得
（注4）(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

履修規程から抜粋＜参考＞
第8条
専門ゼミⅠまたは、経営学演習Ⅰ・情報学演習Ⅰは、原則としてその履修登録時において基礎ゼミまたは、経営学基礎演習・情報学基礎演習を修得した者でなければ履修登録できない。
ただし、編入学生については、これを適用しない。

大分類	中分類	小分類	1年生 授業科目	単位	2年生 授業科目	単位	3年生 授業科目	単位	4年生 授業科目	単位
専門教育科目	専門基礎	情報	情報学入門 (前)	2	統計学入門 (前)	2	＊ 情報ｾｷｭﾘﾃｨ (前)	2		
			情報数学Ⅰ (後)	2			情報ｼｽﾃﾑの開発と管理 (前)	2		
			情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門 (後)	2			ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論 (前)	2		
			ﾋﾞｼﾞﾈｽｿﾌﾄ活用演習 (後)	4						
		経営・会計	＊ 経営学総論Ⅰ (前)	2	ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学 (前)	2				
			会計学入門 (前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務 (前)	2				
			＊ 初級簿記 (前)	2	民事法 (前)	2				
			＊ 簿記演習 (後)	2	経営情報論Ⅰ (前)	2				
	専門発展	情報	計算機ｼｽﾃﾑ論 (後)	2	ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造 (前)	2	計測・制御論 (後)	2		
			＊ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅰ (前)	2	情報数学Ⅱ (前)	2	ﾓﾊﾞｲﾙﾈｯﾄﾜｰｸ (前)	2		
			ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅱ (後)	2	ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論 (前)	2				
					ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞｼｽﾃﾑ論 (後)	2				
					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅰ (前)	4				
					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅱ (後)	4				
					＊ 情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅰ (前)	4				
					情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅱ (後)	4				
	専門応用	ネットワーク	Webｺﾝﾃﾝﾂ制作Ⅰ (後)	2	Webｺﾝﾃﾝﾂ制作Ⅱ (前)	2	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ技術 (前)	2		
					WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅠ (後)	2	WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅡ (前)	2		
					ｽｲｯﾁﾝｸﾞ技術 (前)	2	WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅢ (後)	2		
					ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ技術 (後)	2	ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ構築 (通年)	4		
					SNS活用と問題解決 (前)	2				
					Webｻｰﾋﾞｽ論 (後)	2				
		データサイエンス	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論 (前)	2	統計学 (後)	2	多変量解析 (前)	2		
			消費者行動論 (後)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (前)	2	ﾃﾞｰﾀ解析 (前)	2		
					ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ・ﾘｻｰﾁ (前)	2	ﾃﾞｰﾀﾓﾃﾞﾘﾝｸﾞ (後)	2		
					経営分析 (前)	2	統計ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (後)	2		
					会計学 (後)	2	機械学習 (前)	2		
							人工知能 (後)	2		
							計量経済分析 (後)	2		
	演習	ゼミ	ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ (前)	2	＊ 基礎ｾﾞﾐ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅠ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅡ (通年)	4
			ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ (後)	2	情報学基礎演習 (通年)		情報学専門演習Ⅰ (通年)		情報学専門演習Ⅰ (通年)	
	特別講義	特別専門講義	特別講義「経営」	1～4						
			特別講義「会計」	1～4						
			特別講義「情報」	1～4						

※シラバスの詳細を確認する際は
各科目をクリックしてください。

授業科目一覧　　経営情報学科

【学籍番号】
221・222
223編入

○卒業要件
必修科目40単位を含めて124単位以上を修得すること

別表Ⅰ－Ⅰ基礎総合科目の開講時期と単位数　※必修16単位を含み、40単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「総合教養」の分野から＊(必修)4単位 を含み12単位以上修得
（注3）「語学」の分野から＊(必修)2単位 を含み6単位以上修得
（注4）「実践力養成・キャリア開発」の分野から＊(必修)10単位 を含み12単位以上修得
（注5）　☆　印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
（注6）(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋　＜参考＞
第5条
2　本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として49単位（教職に関する科目は含まない）を上限とする。

大分類	中分類	小分類	1年生 授業科目	単位	2年生 授業科目	単位	3年生 授業科目	単位	4年生 授業科目	単位
基礎総合科目	総合教養	人文科学	＊ 建学の精神と人生 (前)	2						
			宗教学 (後)	2						
			心理学 (前)	2						
			文学 (前)	2						
			日本文化論 (後)	2						
			＊ 情報倫理 (後)	2						
		社会科学	法学 (前)	2						
			日本国憲法 (後)	2						
			社会学 (後)	2						
			政治学 (前)	2						
			経済学 (前)	2						
			☆ 日本事情 (前)	2						
		自然科学	基礎数学 (前)	2						
		スポーツ科学	ｳｪﾙﾈｽ (前)	1	ｽﾎﾟｰﾂ理論 (前)	2				
			ｽﾎﾟｰﾂ (後)	1	ｳｪﾙﾈｽ理論 (後)	2				
	語学	英語	＊ 総合英語 (前)	2	英会話Advanced Ⅰ (前)	2				
			英検中級・TOEIC基礎 (後)	2	英会話Advanced Ⅱ (後)	2				
			英会話Basic Ⅰ (前)	2						
			英会話Basic Ⅱ (後)	2						
		中国語			初級中国語 (前)	2				
					中級中国語 (後)	2				
		韓国語			初級韓国語 (前)	2				
					中級韓国語 (後)	2				
		日本語	☆ 日本語Ⅰ (前)	2	☆ 日本語Ⅲ (前)	2				
			☆ 日本語Ⅱ (後)	2	☆ 日本語Ⅳ (後)	2				
	キャリア開発・実践力養成	実践スキル	＊ 情報ﾘﾃﾗｼｰ演習 (前)	2						
			＊ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ (前)	2						
			＊ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅱ (後)	2						
			大学基礎総合 (前)	2						
			文章表現 (後)	2						
		キャリア開発			＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅰ (前)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ (前)	2		
					＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅱ (後)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ (後)	2		
	特別講義	特別講義	特別講義「語学」	1～4						
			特別講義「実践力養成」	1～4						
			特別講義「ｷｬﾘｱ」	1～4						

別表Ⅰ－Ⅱ専門教育科目の開講時期と単位数　※必修24単位を含み、84単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「専門基礎」の分野から必修科目8単位を含み20単位以上修得
（注3）「専門発展」の分野から必修科目4単位を含み14単位以上修得
（注4）「専門応用」の分野から24単位以上修得
（注4）(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

履修規程から抜粋＜参考＞
第8条
専門ゼミⅠまたは経営学専門演習Ⅰ・情報学専門演習Ⅰは、原則としてその履修登録時において基礎ゼミまたは経営学基礎演習・情報学基礎演習を修得した者でなければ履修登録できない。

大分類	中分類	小分類	1年生 授業科目	単位	2年生 授業科目	単位	3年生 授業科目	単位	4年生 授業科目	単位
専門教育科目	専門基礎	経営・会計	＊ 経営学総論Ⅰ (前)	2	ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学 (前)	2				
			＊ 会計学入門 (前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務 (前)	2				
			＊ 簿記Ⅰ (前)	2	民事法 (前)	2				
			簿記Ⅱ (後)	2	経営情報論Ⅰ (前)	2				
					経営情報論Ⅱ (後)	2				
		情報	情報学入門 (前)	2	統計学入門 (前)	2	＊ 情報ｾｷｭﾘﾃｨ (前)	2		
			情報数学Ⅰ (後)	2			情報ｼｽﾃﾑの開発と管理 (前)	2		
			情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門 (後)	2			ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論 (前)	2		
			ﾋﾞｼﾞﾈｽｿﾌﾄ活用演習 (後)	4						
	専門発展	経営・会計	＊ ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論 (前)	2	企業金融 (前)	2	組織心理学 (前)	2		
			ﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽ入門 (後)	2	ｺﾏｰｽ論Ⅰ (前)	2	知的所有権 (前)	2		
			＊ 経営学総論Ⅱ (後)	2	日本経営史 (前)	2	労務管理論 (前)	2		
			会計学 (後)	2	経営分析 (前)	2	経営思想 (前)	2		
					統計学 (後)	2				
					経営組織論 (後)	2				
		情報	計算機ｼｽﾃﾑ論 (後)	2			ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ論 (前)	2		
			情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ (前)	2			中級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実習 (後)	2		
					ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造 (前)	2	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ論 (前)	2		
					ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論 (前)	2	計測・制御論 (後)	2		
					情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅰ (前)	4				
					情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅱ (後)	4				
					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門 (前)	2				
					初級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実習 (後)	2				
					ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄｹﾞｰﾑ (後)	2				
	専門応用	会計			中級簿記演習Ⅰ (前)	2	税務会計論 (前)	2		
					中級簿記演習Ⅱ (後)	2	税法学 (後)	2		
					原価計算論Ⅰ (前)	2				
					原価計算論Ⅱ (後)	2				
					財務会計論 (前)	2				
					財務管理 (後)	2				
					会社法 (前)	2				
					監査論 (後)	2				
					ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ会計 (前)	2				
		経営	経営戦略論 (前)	2	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ・ﾘｻｰﾁ (前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾆﾝｸﾞ (後)	2		
			消費者行動論 (後)	2	Webｻｰﾋﾞｽ論 (後)	2	計量経済分析 (後)	2		
					SNS活用と問題解決 (前)	2				
					ｺﾏｰｽ論Ⅱ (後)	2				
					ﾍﾞﾝﾁｬｰ企業論 (後)	2				
					中小企業論 (前)	2				
		国際ビジネス			国際経営論 (後)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅰ (前)	2		
					国際情報分析 (後)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅱ (後)	2		
					英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ (前)	2	国際経済論 (前)	2		
					英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ (後)	2	国際政治学 (前)	2		
	演習	ゼミ	ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ (前)	2	＊ 基礎ｾﾞﾐ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅠ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅡ (通年)	4
			ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ (後)	2	経営学基礎演習 (通年)		経営学専門演習Ⅰ (通年)		経営学専門演習Ⅰ (通年)	
	特別講義	特別講義	特別講義「経営」	1～4						
			特別講義「会計」	1～4						
			特別講義「情報」	1～4						

※シラバスの詳細を確認する際は
各科目をクリックしてください。

授業科目一覧　　情報ネットワーク学科

【学籍番号】
221・222
223編入

○卒業要件
必修科目40単位を含めて124単位以上を修得すること

別表Ⅱ－Ⅰ基礎総合科目の開講時期と単位数　※必修16単位を含み、40単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「総合教養」の分野から＊(必修)4単位 を含み12単位以上修得
（注3）「語学」の分野から＊(必修)2単位 を含み6単位以上修得
（注4）「実践力養成・キャリア開発」の分野から＊(必修)10単位 を含み12単位以上修得
（注5）　☆　印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
（注6）(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋　＜参考＞
第５条
２　本学学生が、１年間に履修登録できる単位数は、原則として49単位（教職に関する科目は含まない）を上限とする。

			1年生		2年生		3年生		4年生	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
基礎総合科目	総合教養	人文科学	＊ 建学の精神と人生 (前)	2						
			宗教学 (後)	2						
			心理学 (前)	2						
			文学 (前)	2						
			日本文化論 (後)	2						
			＊ 情報倫理 (後)	2						
		社会科学	法学 (前)	2						
			日本国憲法 (後)	2						
			社会学 (後)	2						
			政治学 (前)	2						
			経済学 (前)	2						
			☆ 日本事情 (前)	2						
		自然科学	基礎数学 (前)	2						
		スポーツ科学	ｳｪﾙﾈｽ (前)	1	ｽﾎﾟｰﾂ理論 (前)	2				
			ｽﾎﾟｰﾂ (後)	1	ｳｪﾙﾈｽ理論 (後)	2				
	語学	英語	＊ 総合英語 (前)	2	英会話Advanced Ⅰ (前)	2				
			英検中級・TOEIC基礎 (後)	2	英会話AdvancedⅡ (後)	2				
			英会話Basic Ⅰ (前)	2						
			英会話BasicⅡ (後)	2						
		中国語			初級中国語 (前)	2				
					中級中国語 (後)	2				
		韓国語			初級韓国語 (前)	2				
					中級韓国語 (後)	2				
		日本語	☆ 日本語Ⅰ (前)	2	☆ 日本語Ⅲ (前)	2				
			☆ 日本語Ⅱ (後)	2	☆ 日本語Ⅳ (後)	2				
	実践力養成・キャリア開発	実践スキル	＊ 情報ﾘﾃﾗｼｰ演習 (前)	2						
			＊ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ (前)	2						
			＊ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅱ (後)	2						
			大学基礎総合 (前)	2						
			文章表現 (後)	2						
		キャリア開発			＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅰ (前)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ (前)	2		
					＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅱ (後)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ (後)	2		
	特別講義	特別講義基礎	特別講義「語学」	1～4						
			特別講義「実践力養成」	1～4						
			特別講義「ｷｬﾘｱ」	1～4						

別表Ⅱ－Ⅱ専門教育科目の開講時期と単位数　※必修24単位を含み、84単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「専門基礎」の分野から必修科目6単位を含み20単位以上修得
（注3）「専門発展」の分野から必修科目6単位を含み14単位以上修得
（注4）「専門応用」の分野から24単位以上修得
（注4）(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

履修規程から抜粋＜参考＞
第8条
　専門ゼミⅠまたは経営学専門演習Ⅰ・情報学専門演習Ⅰは、原則としてその履修登録時において基礎ゼミまたは経営学基礎演習・情報学基礎演習を修得した者でなければ履修登録できない。

			1年生		2年生		3年生		4年生	
大分類	中分類	小分類	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
専門教育科目	専門基礎	情報	情報学入門 (前)	2	統計学入門 (前)	2	＊ 情報ｾｷｭﾘﾃｨ (前)	2		
			情報数学Ⅰ (後)	2			情報ｼｽﾃﾑの開発と管理 (前)	2		
			情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門 (後)	2			ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論 (前)	2		
			ﾋﾞｼﾞﾈｽｿﾌﾄ活用演習 (後)	4						
		経営・会計	＊ 経営学総論Ⅰ (前)	2	ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学 (前)	2				
			＊ 会計学入門 (前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務 (前)	2				
			簿記Ⅰ (前)	2	民事法 (前)	2				
			簿記Ⅱ (後)	2	経営情報論Ⅰ (前)	2				
					経営情報論Ⅱ (後)	2				
	専門発展	情報	計算機ｼｽﾃﾑ論 (後)	2	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅰ (前)	4	計測・制御論 (後)	2		
			＊ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅰ (前)	2	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅱ (後)	4	ﾓﾊﾞｲﾙﾈｯﾄﾜｰｸ (前)	2		
			ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅱ (後)	2	＊ 情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅰ (前)	4				
					情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅱ (後)	4				
					ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造 (前)	2				
					情報数学Ⅱ (前)	2				
					ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論 (前)	2				
					ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞｼｽﾃﾑ論 (後)	2				
	専門応用	ネットワーク	Webｺﾝﾃﾝﾂ制作Ⅰ (後)	2	ｽｲｯﾁﾝｸﾞ技術 (前)	2	WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅡ (前)	2		
					ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ技術 (後)	2	WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅢ (後)	2		
					SNS活用と問題解決 (前)	2	ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ構築 (通年)	4		
					Webｻｰﾋﾞｽ論 (後)	2	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ技術 (前)	2		
					Webｺﾝﾃﾝﾂ制作Ⅱ (前)	2				
					WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅠ (後)	2				
		データサイエンス	会計学 (後)	2	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ・ﾘｻｰﾁ (前)	2	多変量解析 (前)	2		
			ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論 (前)	2	経営分析 (前)	2	ﾃﾞｰﾀ解析 (前)	2		
			消費者行動論 (後)	2	統計学 (後)	2	ﾃﾞｰﾀﾓﾃﾞﾘﾝｸﾞ (後)	2		
					ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (前)	2	統計ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (後)	2		
							機械学習 (前)	2		
							人工知能 (後)	2		
							計量経済分析 (後)	2		
	演習	ゼミ	ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ (前)	2	＊ 基礎ｾﾞﾐ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅠ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅡ (通年)	4
			ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ (後)	2	情報学基礎演習 (通年)		情報学専門演習Ⅰ(通年)		情報学専門演習Ⅰ(通年)	
	特別講義	特別専門講義	特別講義「経営」	1～4						
			特別講義「会計」	1～4						
			特別講義「情報」	1～4						

※シラバスの詳細を確認する際は
各科目をクリックしてください。

授業科目一覧　　経営情報学科

【学籍番号】
223

○卒業要件
必修科目42単位を含めて124単位以上を修得すること

別表Ⅰ－Ⅰ基礎総合科目の開講時期と単位数　※必修16単位を含み、40単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「総合教養」の分野から＊(必修)4単位 を含み12単位以上修得
（注3）「語学」の分野から＊(必修)2単位 を含み6単位以上修得
（注4）「実践力養成・キャリア開発」の分野から＊(必修)10単位 を含み12単位以上修得
（注5）　☆　印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
（注6）(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋　＜参考＞
第5条
2　本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として49単位（教職に関する科目は含まない）を上限とする。

			1年生		2年生		3年生		4年生	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
基礎総合科目	総合教養	人文科学	＊ 建学の精神と人生 (前)	2						
			宗教学 (後)	2						
			心理学 (前)	2						
			文学 (前)	2						
			＊ 情報倫理 (後)	2						
		社会科学	法学 (前)	2						
			日本国憲法 (後)	2						
			社会学 (後)	2						
			政治学 (後)	2						
			経済学 (前)	2						
			☆ 日本事情 (前)	2						
		自然科学	基礎数学 (前)	2						
		スポーツ健康科学	ｳｪﾙﾈｽ (前)	1	ｽﾎﾟｰﾂ理論 (前)	2				
			ｽﾎﾟｰﾂ (後)	1	ｳｪﾙﾈｽ理論 (後)	2				
	語学	英語	＊ 総合英語 (前)	2	英会話Advanced Ⅰ (前)	2				
			英検中級・TOEIC基礎 (後)	2	英会話AdvancedⅡ (後)	2				
			英会話Basic Ⅰ (前)	2						
			英会話BasicⅡ (後)	2						
		中国語			初級中国語 (前)	2				
					中級中国語 (後)	2				
		韓国語			初級韓国語 (前)	2				
					中級韓国語 (後)	2				
		日本語	☆ 日本語Ⅰ (前)	2	☆ 日本語Ⅲ (前)	2				
			☆ 日本語Ⅱ (後)	2	☆ 日本語Ⅳ (後)	2				
	実践力養成・キャリア開発	実践スキル	＊ 情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅰ (前)	2						
			情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅱ (後)	2						
			＊ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ (前)	2						
			＊ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅱ (後)	2						
			大学基礎総合 (前)	2						
			文章表現 (後)	2						
		キャリア開発			＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅰ (前)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ (前)	2		
					＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅱ (後)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ (後)	2		
	特別実習・講義	特別実習・講義基礎	特別実習・講義「語学」	1～4						
			特別実習・講義「実践力養成」	1～4						
			特別実習・講義「ｷｬﾘｱ」	1～4						

別表Ⅰ－Ⅱ専門教育科目の開講時期と単位数　※必修26単位を含み、84単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「専門基礎」の分野から必修科目12単位を含み20単位以上修得
（注3）「専門発展」の分野から必修科目2単位を含み14単位以上修得
（注4）「専門応用」の分野から24単位以上修得
（注4）(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

履修規程から抜粋＜参考＞
第8条
専門ゼミⅠまたは経営学専門演習Ⅰ・情報学専門演習Ⅰは、原則としてその履修登録時において基礎ゼミまたは経営学基礎演習・情報学基礎演習を修得した者でなければ履修登録できない。

			1年生		2年生		3年生		4年生	
大分類	中分類	小分類	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
専門教育科目	専門基礎	経営・会計	＊ 経営学総論Ⅰ (前)	2	ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学 (前)	2				
			＊ 会計学入門 (前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務 (前)	2				
			＊ 簿記Ⅰ (前)	2	民事法 (前)	2				
			簿記Ⅱ (後)	2	＊ 経営情報学Ⅰ (前)	2				
					経営情報学Ⅱ (後)	2				
		情報	＊ 情報学入門 (前)	2	統計学入門 (前)	2	＊ 情報ｾｷｭﾘﾃｨ (前)	2		
			情報数学Ⅰ (後)	2			情報ｼｽﾃﾑの開発と管理 (前)	2		
			情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門 (後)	2			ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論 (前)	2		
			ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅰ (前)	2						
			ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅱ (後)	2						
	専門発展	経営・会計	＊ ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論 (前)	2	企業金融 (前)	2	組織心理学 (前)	2		
			ﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽ入門 (後)	2	ｺﾏｰｽ論Ⅰ (前)	2	知的所有権 (前)	2		
			経営学総論Ⅱ (後)	2	日本経営史 (前)	2	労務管理論 (前)	2		
			会計学 (後)	2	経営分析 (前)	2				
					統計学 (後)	2				
					経営組織論 (後)	2				
		情報	計算機ｼｽﾃﾑ論 (後)	2			ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ論 (前)	2		
			情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ (前)	2			中級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (後)	2		
					ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造 (前)	2	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ論 (前)	2		
					ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論 (前)	2	計測・制御論 (後)	2		
					ｹﾞｰﾑﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (前)	2	情報処理技術演習Ⅲ (前)	2		
					情報処理技術演習Ⅰ (前)	2	情報処理技術演習Ⅳ (後)	2		
					情報処理技術演習Ⅱ (後)	2				
					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門 (前)	2				
					初級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (後)	2				
					ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄｹﾞｰﾑ (後)	2				
	専門応用	会計			中級簿記演習Ⅰ (前)	2	税務会計論 (前)	2		
					中級簿記演習Ⅱ (後)	2	税法学 (後)	2		
					原価計算論Ⅰ (前)	2				
					原価計算論Ⅱ (後)	2				
					財務会計論 (前)	2				
					会社法 (前)	2				
					監査論 (後)	2				
					ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ会計 (前)	2				
		経営	経営戦略論 (前)	2	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ・ﾘｻｰﾁ (前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾆﾝｸﾞ (後)	2		
			消費者行動論 (後)	2	ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ論 (後)	2	計量経済分析 (後)	2		
					SNS活用と問題解決 (前)	2				
					ｺﾏｰｽ論Ⅱ (後)	2				
					ﾍﾞﾝﾁｬｰ企業論 (後)	2				
					中小企業論 (前)	2				
		国際ビジネス			国際経営論 (後)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅰ (前)	2		
					国際情報分析 (後)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅱ (後)	2		
					英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ (前)	2	国際経済論 (前)	2		
					英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ (後)	2				
	演習	ゼミ	ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ (前)	2	＊ 基礎ｾﾞﾐ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅠ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅡ (通年)	4
			ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ (後)	2	経営学基礎演習 (通年)		経営学専門演習Ⅰ (通年)		経営学専門演習Ⅱ (通年)	
	特別実習・講義	特別実習・講義専門	特別実習・講義「経営」	1～4						
			特別実習・講義「会計」	1～4						
			特別実習・講義「情報」	1～4						

※シラバスの詳細を確認する際は
各科目をクリックしてください。

授業科目一覧　　情報ネットワーク学科

【学籍番号】
223

○卒業要件
必修科目42単位を含めて124単位以上を修得すること

別表Ⅱ－Ⅰ基礎総合科目の開講時期と単位数　※必修16単位を含み、40単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「総合教養」の分野から＊(必修)4単位 を含み12単位以上修得
（注3）「語学」の分野から＊(必修)2単位 を含み6単位以上修得
（注4）「実践力養成・キャリア開発」の分野から＊(必修)10単位 を含み12単位以上修得
（注5）　☆　印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
（注6）(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋　＜参考＞
第5条
2　本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として49単位（教職に関する科目は含まない）を上限とする。

			1年生		2年生		3年生		4年生	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
基礎総合科目	総合教養	人文科学	＊ 建学の精神と人生 (前)	2						
			宗教学 (後)	2						
			心理学 (前)	2						
			文学 (前)	2						
			＊ 情報倫理 (後)	2						
		社会科学	法学 (前)	2						
			日本国憲法 (後)	2						
			社会学 (後)	2						
			政治学 (後)	2						
			経済学 (前)	2						
			☆ 日本事情 (前)	2						
		自然科学	基礎数学 (前)	2						
		健康・スポーツ科学	ｳｪﾙﾈｽ (前)	1	ｽﾎﾟｰﾂ理論 (前)	2				
			ｽﾎﾟｰﾂ (後)	1	ｳｪﾙﾈｽ理論 (後)	2				
	語学	英語	＊ 総合英語 (前)	2	英会話Advanced Ⅰ (前)	2				
			英検中級・TOEIC基礎 (後)	2	英会話AdvancedⅡ (後)	2				
			英会話Basic Ⅰ (前)	2						
			英会話BasicⅡ (後)	2						
		中国語			初級中国語 (前)	2				
					中級中国語 (後)	2				
		韓国語			初級韓国語 (前)	2				
					中級韓国語 (後)	2				
		日本語	☆ 日本語Ⅰ (前)	2	☆ 日本語Ⅲ (前)	2				
			☆ 日本語Ⅱ (後)	2	☆ 日本語Ⅳ (後)	2				
	実践力養成・キャリア開発	実践スキル	＊ 情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅰ (前)	2						
			情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅱ (後)	2						
			＊ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ (前)	2						
			＊ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅱ (後)	2						
			大学基礎総合 (前)	2						
			文章表現 (後)	2						
		キャリア開発			＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅰ (前)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ Ⅰ (前)	2		
					＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅱ (後)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ Ⅱ (後)	2		
	特別実習・講義	特別実習・講義基礎	特別実習・講義「語学」	1～4						
			特別実習・講義「実践力養成」	1～4						
			特別実習・講義「ｷｬﾘｱ」	1～4						

別表Ⅱ－Ⅱ専門教育科目の開講時期と単位数　※必修26単位を含み、84単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「専門基礎」の分野から必修科目10単位を含み20単位以上修得
（注3）「専門発展」の分野から必修科目4単位を含み14単位以上修得
（注4）「専門応用」の分野から24単位以上修得
（注4）(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

履修規程から抜粋＜参考＞
第8条
専門ゼミⅠまたは経営学専門演習Ⅰ・情報学専門演習Ⅰは、原則としてその履修登録時において基礎ゼミまたは経営学基礎演習・情報学基礎演習を修得した者でなければ履修登録できない。

			1年生		2年生		3年生		4年生	
大分類	中分類	小分類	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
専門教育科目	専門基礎	情報	＊ 情報学入門 (前)	2	統計学入門 (前)	2	＊ 情報ｾｷｭﾘﾃｨ (前)	2		
			情報数学Ⅰ (後)	2			情報ｼｽﾃﾑの開発と管理 (前)	2		
			情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門 (後)	2			ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論 (前)	2		
			ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅰ (前)	2						
			ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅱ (後)	2						
		経営・会計	＊ 経営学総論Ⅰ (前)	2	ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学 (前)	2				
			＊ 会計学入門 (前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務 (前)	2				
			簿記Ⅰ (前)	2	民事法 (前)	2				
			簿記Ⅱ (後)	2	＊ 経営情報学Ⅰ (前)	2				
					経営情報学Ⅱ (後)	2				
	専門発展	情報	計算機ｼｽﾃﾑ論 (後)	2	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅰ (前)	4	計測・制御論 (後)	2		
			＊ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅰ (前)	2	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅱ (後)	4	ﾓﾊﾞｲﾙﾈｯﾄﾜｰｸ (前)	2		
			ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅱ (後)	2	ｹﾞｰﾑﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (前)	2	情報処理技術演習Ⅲ (前)	2		
					＊ 情報処理技術演習Ⅰ (前)	2	情報処理技術演習Ⅳ (後)	2		
					情報処理技術演習Ⅱ (後)	2				
					ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造 (前)	2				
					情報数学Ⅱ (前)	2				
					ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論 (前)	2				
					ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞｼｽﾃﾑ論 (後)	2				
	専門応用	ネットワーク	Webﾃﾞｻﾞｲﾝ (後)	2	ｽｲｯﾁﾝｸﾞ技術 (前)	2	WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅡ (前)	2		
					ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ技術 (後)	2	WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅢ (後)	2		
					SNS活用と問題解決 (前)	2	ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ構築 (通年)	4		
					ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ論 (後)	2	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ技術 (前)	2		
					Webｼｽﾃﾑ (前)	2				
					WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅠ (後)	2				
		データサイエンス	会計学 (後)	2	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ・ﾘｻｰﾁ (前)	2	多変量解析 (前)	2		
			ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論 (前)	2	経営分析 (前)	2	ﾃﾞｰﾀ解析 (前)	2		
			消費者行動論 (後)	2	統計学 (後)	2	ﾃﾞｰﾀﾓﾃﾞﾘﾝｸﾞ (後)	2		
					ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (前)	2	統計ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (後)	2		
							機械学習 (前)	2		
							人工知能 (後)	2		
							計量経済分析 (後)	2		
	演習	ゼミ	ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ (前)	2	＊ 基礎ｾﾞﾐ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅠ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅡ (通年)	4
			ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ (後)	2	情報学基礎演習 (通年)		情報学専門演習Ⅰ (通年)		情報学専門演習Ⅱ (通年)	
	特別実習・講義	特別実習・講義専門	特別実習・講義「経営」	1～4						
			特別実習・講義「会計」	1～4						
			特別実習・講義「情報」	1～4						

※シラバスの詳細を確認する際は
各科目をクリックしてください。

授業科目一覧　　経営情報学科

【学籍番号】
224

〇卒業要件
必修科目40単位を含めて124単位以上を修得すること

別表Ⅰ－Ⅰ基礎総合科目の開講時期と単位数　※必修14単位を含み、40単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「総合教養」の分野から＊(必修)4単位 を含み12単位以上修得
（注3）「語学」の分野から＊(必修)2単位 を含み6単位以上修得
（注4）「実践力養成・キャリア開発」の分野から＊(必修)8単位 を含み12単位以上修得
（注5）　☆　印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
（注6）(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋　＜参考＞
第5条
2　本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として49単位（教職に関する科目は含まない）を上限とする。

			1年生		2年生		3年生		4年生	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
基礎総合科目	総合教養	人文科学	＊ 建学の精神と人生 (前)	2						
			宗教学 (後)	2						
			心理学 (前)	2						
			文学 (前)	2						
			＊ 情報倫理 (後)	2						
		社会科学	法学 (前)	2						
			日本国憲法 (後)	2						
			社会学 (後)	2						
			政治学 (後)	2						
			経済学 (前)	2						
			☆ 日本事情 (前)	2						
		自然科学	基礎数学 (前)	2						
		健康スポーツ科学	ｳｪﾙﾈｽ (前)	1	ｽﾎﾟｰﾂ理論 (前)	2				
			ｽﾎﾟｰﾂ (後)	1	ｳｪﾙﾈｽ理論 (後)	2				
	語学	英語	＊ 総合英語 (前)	2	英会話Advanced Ⅰ (前)	2				
			英検中級・TOEIC基礎 (後)	2	英会話AdvancedⅡ (後)	2				
			英会話Basic Ⅰ (前)	2						
			英会話BasicⅡ (後)	2						
		中国語			初級中国語 (前)	2				
					中級中国語 (後)	2				
		韓国語			初級韓国語 (前)	2				
					中級韓国語 (後)	2				
		日本語	☆ 日本語Ⅰ (前)	2	☆ 日本語Ⅲ (前)	2				
			☆ 日本語Ⅱ (後)	2	☆ 日本語Ⅳ (後)	2				
	実践力養成・キャリア開発	実践スキル	＊ 情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅰ (前)	2						
			情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅱ (後)	2						
			＊ ｽﾀﾃﾞｨｽｷﾙ (前)	2						
			ﾗｰﾆﾝｸﾞﾘﾃﾗｼｰ (前)	1						
		キャリア開発	＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ (前)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅢ (前)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅤ (前)	2		
			＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ (後)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅣ (後)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅥ (後)	2		
			インターンシップ実習 (通年)	2						
	特別実習・講義	特別実習・講義基礎	特別実習・講義「語学」	1～4						
			特別実習・講義「実践力養成」	1～4						
			特別実習・講義「ｷｬﾘｱ」	1～4						

別表Ⅰ－Ⅱ専門教育科目の開講時期と単位数　※必修26単位を含み、84単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「専門基礎」の分野から必修科目10単位を含み20単位以上修得
（注3）「専門発展」の分野から必修科目4単位を含み14単位以上修得
（注4）「専門応用」の分野から24単位以上修得
（注4）(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

履修規程から抜粋＜参考＞
第8条
専門ゼミⅠまたは経営学専門演習Ⅰ・情報学専門演習Ⅰは、原則としてその履修登録時において基礎ゼミまたは経営学基礎演習・情報学基礎演習を修得した者でなければ履修登録できない。

			1年生		2年生		3年生		4年生	
大分類	中分類	小分類	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
専門教育科目	専門基礎	経営・会計	＊ 経営学総論Ⅰ (前)	2	ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学 (前)	2				
			＊ 簿記Ⅰ (前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務 (前)	2				
			簿記Ⅱ (後)	2	民事法 (前)	2				
					＊ 経営情報学Ⅰ (前)	2				
					経営情報学Ⅱ (後)	2				
		情報	＊ 情報学入門 (前)	2	統計学入門 (前)	2	＊ 情報ｾｷｭﾘﾃｨ (前)	2		
			情報数学Ⅰ (後)	2			情報ｼｽﾃﾑの開発と管理 (前)	2		
			情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門 (後)	2			ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論 (前)	2		
			ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅰ (前)	2						
			ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅱ (後)	2						
	専門発展	経営・会計	＊ ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論 (前)	2	企業金融 (前)	2	知的財産権 (前)	2		
			ﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽ入門 (後)	2	ｺﾏｰｽ論 (前)	2	労務管理論 (前)	2		
			経営学総論Ⅱ (後)	2	経営史 (前)	2				
			＊ 会計学 (前)	2	経営分析 (前)	2				
					統計学 (後)	2				
					ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ会計 (後)	2				
					経営組織論 (後)	2				
		情報	計算機ｼｽﾃﾑ論 (後)	2			ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ論 (前)	2		
					情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ (前)	2	中級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (後)	2		
					ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造 (前)	2	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ論 (前)	2		
					ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論 (前)	2	計測・制御論 (後)	2		
					ｹﾞｰﾑﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (前)	2	情報処理技術演習Ⅲ (前)	2		
					eｽﾎﾟｰﾂ概論 (後)	2	情報処理技術演習Ⅳ (後)	2		
					情報処理技術演習Ⅰ (前)	2				
					情報処理技術演習Ⅱ (後)	2				
					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門 (前)	2				
					初級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (後)	2				
					ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄｹﾞｰﾑ (後)	2				
	専門応用	会計			中級簿記 (前)	2	税務会計論 (前)	2		
					原価計算論 (前)	2	税法学 (後)	2		
					財務会計論 (前)	2				
					会社法 (前)	2				
		経営	経営戦略論 (後)	2	ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ論 (後)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾆﾝｸﾞ (後)	2		
			消費者行動論 (後)	2	SNS活用と問題解決 (前)	2				
					中小企業論 (前)	2				
		国際ビジネス			国際経営論 (後)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語 (前)	2		
					英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ (前)	2	国際経済論 (前)	2		
					英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ (後)	2				
	演習	ゼミ	ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ (前)	2	＊ 基礎ｾﾞﾐ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅠ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅡ (通年)	4
			ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ (後)	2	経営学基礎演習 (通年)		経営学専門演習Ⅰ (通年)		経営学専門演習Ⅱ (通年)	
	特別実習・講義	特別実習・講義専門	特別実習・講義「経営」	1～4						
			特別実習・講義「会計」	1～4						
			特別実習・講義「情報」	1～4						

※シラバスの詳細を確認する際は
各科目をクリックしてください。

授業科目一覧　　情報ネットワーク学科

【学籍番号】
224

○卒業要件
必修科目40単位を含めて124単位以上を修得すること

別表Ⅱ－Ⅰ基礎総合科目の開講時期と単位数　※必修14単位を含み、40単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「総合教養」の分野から＊(必修)4単位 を含み12単位以上修得
（注3）「語学」の分野から＊(必修)2単位 を含み6単位以上修得
（注4）「実践力養成・キャリア開発」の分野から＊(必修)8単位 を含み12単位以上修得
（注5）　☆　印のついた科目は外国人留学生のみ選択可
（注6）(前)は前期開講、(後)は後期開講科目を表します。

履修規定より抜粋　＜参考＞
第5条
2　本学学生が、1年間に履修登録できる単位数は、原則として49単位（教職に関する科目は含まない）を上限とする。

			1年生		2年生		3年生		4年生	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
基礎総合科目	総合教養	人文科学	＊ 建学の精神と人生 (前)	2						
			宗教学 (後)	2						
			心理学 (前)	2						
			文学 (前)	2						
			＊ 情報倫理 (後)	2						
		社会科学	法学 (前)	2						
			日本国憲法 (後)	2						
			社会学 (後)	2						
			政治学 (後)	2						
			経済学 (前)	2						
			☆ 日本事情 (前)	2						
		自然科学	基礎数学 (前)	2						
		健康・スポーツ科学	ｳｪﾙﾈｽ (前)	1	ｽﾎﾟｰﾂ理論 (前)	2				
			ｽﾎﾟｰﾂ (後)	1	ｳｪﾙﾈｽ理論 (後)	2				
	語学	英語	＊ 総合英語 (前)	2	英会話Advanced Ⅰ (前)	2				
			英検中級・TOEIC基礎 (後)	2	英会話AdvancedⅡ (後)	2				
			英会話Basic Ⅰ (前)	2						
			英会話BasicⅡ (後)	2						
		中国語			初級中国語 (前)	2				
					中級中国語 (後)	2				
		韓国語			初級韓国語 (前)	2				
					中級韓国語 (後)	2				
		日本語	☆ 日本語Ⅰ (前)	2	☆ 日本語Ⅲ (前)	2				
			☆ 日本語Ⅱ (後)	2	☆ 日本語Ⅳ (後)	2				
	実践力養成・キャリア開発	実践スキル	＊ 情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅰ (前)	2						
			情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅱ (後)	2						
			＊ ｽﾀﾃﾞｨｽｷﾙ (前)	2						
			ﾗｰﾆﾝｸﾞﾘﾃﾗｼｰ (前)	1						
		キャリア開発	＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ Ⅰ (前)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅢ (前)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅤ (前)	2		
			＊ ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ (後)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅣ (後)	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅥ (後)	2		
			ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ実習 (通年)	2						
	特別実習・講義	特別実習・講義基礎	特別実習・講義「語学」	1～4						
			特別実習・講義「実践力養成」	1～4						
			特別実習・講義「ｷｬﾘｱ」	1～4						

別表Ⅱ－Ⅱ専門教育科目の開講時期と単位数　※必修26単位を含み、84単位以上修得

（注1）　＊　印のついた科目は必修科目
（注2）「専門基礎」の分野から必修科目8単位を含み20単位以上修得
（注3）「専門発展」の分野から必修科目6単位を含み14単位以上修得
（注4）「専門応用」の分野から24単位以上修得
（注4）(前)は前期開講、(後)は後期開講される科目を表します。

履修規程から抜粋＜参考＞
第8条
専門ゼミⅠまたは経営学専門演習Ⅰ・情報学専門演習Ⅰは、原則としてその履修登録時において基礎ゼミまたは経営学基礎演習・情報学基礎演習を修得した者でなければ履修登録できない。

			1年生		2年生		3年生		4年生	
大分類	中分類	小分類	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
専門教育科目	専門基礎	情報	＊ 情報学入門 (前)	2	統計学入門 (前)	2	＊ 情報ｾｷｭﾘﾃｨ (前)	2		
			情報数学Ⅰ (後)	2			情報ｼｽﾃﾑの開発と管理 (前)	2		
			情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門 (後)	2			ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論 (前)	2		
			ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅰ (前)	2						
			ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅱ (後)	2						
		経営・会計	＊ 経営学総論Ⅰ (前)	2	ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学 (前)	2				
			簿記Ⅰ (前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務 (前)	2				
			簿記Ⅱ (後)	2	民事法 (前)	2				
					＊ 経営情報学Ⅰ (前)	2				
					経営情報学Ⅱ (後)	2				
	専門発展	情報	計算機ｼｽﾃﾑ論 (後)	2	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅰ (前)	4	計測・制御論 (後)	2		
			＊ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅰ (前)	2	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅱ (後)	4	ﾓﾊﾞｲﾙﾈｯﾄﾜｰｸ (前)	2		
			ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅱ (後)	2	ｹﾞｰﾑﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (前)	2	情報処理技術演習Ⅲ (前)	2		
					eｽﾎﾟｰﾂ概論 (後)	2	情報処理技術演習Ⅳ (後)	2		
					＊ 情報処理技術演習Ⅰ (前)	2				
					情報処理技術演習Ⅱ (後)	2				
					ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造 (前)	2				
					情報数学Ⅱ (前)	2				
					ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論 (前)	2				
					ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞｼｽﾃﾑ論 (後)	2				
		経営・会計	＊ 会計学 (前)	2	ｺﾏｰｽ論 (前)	2	知的財産権 (前)	2		
					経営組織論 (後)	2				
					ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ会計 (後)	2				
	専門応用	ネットワーク	Webﾃﾞｻﾞｲﾝ (後)	2	ｽｲｯﾁﾝｸﾞ技術 (前)	2	WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅡ (前)	2		
					ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ技術 (後)	2	WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅢ (後)	2		
					SNS活用と問題解決 (前)	2	ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ構築 (通年)	4		
					ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ論 (後)	2	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ技術 (前)	2		
					Webｼｽﾃﾑ (前)	2				
					WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅠ (後)	2				
		データサイエンス	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論 (前)	2	経営分析 (前)	2	多変量解析 (前)	2		
			消費者行動論 (後)	2	統計学 (後)	2	ﾃﾞｰﾀ解析 (前)	2		
					ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (前)	2	ﾃﾞｰﾀﾓﾃﾞﾘﾝｸﾞ (後)	2		
							統計ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ (後)	2		
							機械学習 (前)	2		
							人工知能 (後)	2		
		国際ビジネス			英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ (前)	2	ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語 (前)	2		
					英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ (後)	2				
	演習	ゼミ	ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ (前)	2	＊ 基礎ｾﾞﾐ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅠ (通年)	4	＊ 専門ｾﾞﾐⅡ (通年)	4
			ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ (後)	2	情報学基礎演習 (通年)		情報学専門演習Ⅰ (通年)		情報学専門演習Ⅱ (通年)	
	特別実習・講義	特別実習・講義専門	特別実習・講義「経営」	1～4						
			特別実習・講義「会計」	1～4						
			特別実習・講義「情報」	1～4						

九州情報大学教育課程表（カリキュラム）のナンバリング（科目番号付け）について

学生生活を送るにあたって、学生の皆さんが必ずしなければいけないことの一つに履修登録（学生が授業で学ぶ科目を届け出ること）があります。この履修登録の時に、自分がどの科目を登録したらよいか、判断の材料にしていただきたいのが科目のナンバリング（科目番号付け）です。

ナンバリングは３つのゾーンに分かれており、それぞれを「－」（ハイフン）で繋いでいます。各ゾーンは左から順に「科目情報」、「開講情報」、「履修情報」を表します。それぞれ、「科目情報」は４桁、「開講情報」は４桁、「履修情報」は３〜４桁で構成されており、ナンバリング変数を以下の様にしています。

ナンバリング変数　$S_1S_2S_3S_4$-$C_1C_2C_3C_4$-$T_1T_2T_3T_4$

科目情報　開講情報　履修情報

S_1 は科目を開設する教育課程を表します。S_2S_3 は科目群、S_2 はカリキュラム表の大分類、S_3 は中分類ならびに小分類を表します。S_4 は科目水準を表します。

$C_1C_2C_3$ は S_1 の教育課程内で３桁の連番（501〜999）を付し、科目名のヨミガナ昇順とします。両学科や他コースに配置される同一科目名は同じ番号とします。C_4 は受講に際しての前提条件（前提科目）を表し、前提条件が無ければ０、有れば１以上の値とします。前提条件を備えた一連の科目は、ヨミガナに関わらず $C_1C_2C_3$ を同一とし、履修の順番を C_4 で示しています。

T_1 は開講学年、T_2 は単位数、T_3 は選択・必修科目を表します。T_4 は教職科目のうち、別表Ⅲ(1)ならびに別表Ⅲ(2)の教科に関する科目等を表します。

具体的なコード表は３ページ以降に示します。

【ナンバリングの例】

ナンバリング変数　$S_1S_2S_3S_4$-$C_1C_2C_3C_4$-$T_1T_2T_3T_4$

教育課程　科目群　科目水準　－　連番　前提条件　－　開講学年　単位数　選択・必修　教職教科（必修）

それではナンバリングについて、「建学の精神と人生」という科目を例にして説明しましょう。この科目の番号とその意味は次の通りです。

建学の精神と人生

1	G	G	N	-547	0-	1	2	C
授業開設学部（1は経営情報学部の科目）	分類①（Gは基礎総合科目）	分類②（Gは総合教養科目）	科合水準（N指定無し）	科目連番	履修条件（0は条件無し）	開講学年（1は1年次の科目）	単位数（2単位の科目）	選択・必修（Cは必修科目）

このようにナンバリングは、皆さんが履修の時に必要なその科目に関する様々な情報が表示されています。たとえば科目の分類（基礎総合科目、専門教育科目など）、科目の水準（入門・基礎、応用・発展）、履修条件（授業によっては、関連科目を履修または合格を履修条件にする科目あり）、開講学年、単位数、選択・必修の区別などです。

本学の授業科目は、１年次から４年次まで段階を追って入門基礎から応用発展まで追って無理なく学ぶことができるように編成されています。皆さんは、自分の学年、単位の取得状況、興味関心、将来の進路など考慮したうえで、科目の履修登録をしてください。その際はそれぞれの科目のナンバリングを参考にしましょう。また、科目の内容についてきちんと理解したうえで履修登録をすることが肝心です。ですからシラバスをしっかりと読むことはもちろんですが、わからないところは担当教員や教務課に聞いてみましょう。

ナンバリングは学科、分類、開講年次、単位数などの情報に従って、11 桁の番号で表します。ただし、教職科目については 12 桁としています。

①授業開設学部　S_1

学部	S_1
経営情報学部	1
教職	2
大学院　修士課程	3
大学院　博士課程	4

② 科目群１　S_2 、　③ 科目群２　S_3

学士課程

科目群１（大分類）	S_2	科目群２（中小･分類）	S_3
基礎総合	G (General)	総合教養	G (General)
		語学	L (Language)
		実践力養成・キャリア開発	C (Career)
専門基礎	B (Basic)	経営・会計系	M (Management)
		情報系	I (Information)
専門発展	A (Advanced)	経営・会計系	M (Management)
		情報系	I (Information)
専門応用	E (Expand)	経営系	M (Management)
		会計系	A (Accounting)
		国際ビジネス系	G (Global)
		ネットワーク系	N (Network)
		データサイエンス系	D (Data science)
演習	Se(Seminar)	プレゼミ	P(Pre)
		ゼミナール・演習基礎	B (Basic)
		ゼミナール･演習専門Ⅰ	A(Advanced)
		ゼミナール･演習専門Ⅱ	E(Expand)
特別実習・講義	S (Special)	経営系	M (Management)
		会計系	A (Accounting)
		情報系	I (Information)
		総合教養系	G (General)
		語学系	L (Language)
		実践力養成・キャリア系	C (Career)

教職課程

科目群１（大分類）	S_2	科目群２（中小・分類）	S_3
教職課程	T (Teacher)	教職に関する科目	T (Teacher)

大学院（修士課程、博士課程）

科目群１（大分類）	S_2	科目群２（中小・分類）	S_3
修士課程	M (Master)	経営	M (Management)
		会計	A (Accounting)
		税法	T (Tax)
		情報	I (Information)
		M　演習	S (Seminar)
博士課程	D (Doctor)	経営	M
		会計	A
		情報	I
		D　演習	S

④ 科目水準　S_4

水準	S_4	
基礎・入門	B	Basic
応用・発展	A	Applied・Advanced
無し	N	Neutral

---

⑤⑥⑦ 連番　　C_1 C_2 C_3

科目群内でアイウエオ順の連番（3 桁、501～999）

開講学年	C_1 C_2 C_3
学部	501～999
教職課程	501～999
修士課程	501～999
博士課程	501～999

※ 連番を２グループに分け、001～499 と 501～999 はカリキュラム変更によって、交互に使用する。

⑧ 前提条件（履修条件）　C_4

履修条件　内容	C_4
履修条件なし	0
履修条件あり	1 以上の数 1 は最初に履修 2 は 1 の後に履修 n+1 は n の後に履修

⑨ 開講学年　T_1

開講学年	T_1
1 年生	1
2 年生	2
3 年生	3
4 年生	4
1 ・ 2	X
1 ～ 4	Y
3 ・ 4	Z
2 ・3	U
1 ～3	V
2 ～ 4	W

⑩ 単位数　T_2

単位数	T_2
1 単位	1
2 単位	2
4 単位	4
6 単位	6
2～4（特別講義）	W
1～4（特別講義）	Y

⑪ 必修・選択　T_3

選択制限	T_3	
必修科目	C	**C**ompulsory subject
選択科目	E	**E**lective subject
選択必修	D	

⑫ 教職　T_4

教科に関する科目	T_4	
必修科目	T	**T**eaching subject
選択科目	S	teaching subject of **S**election

number	大分類	中分類	小分類	科目名
1GGN-5470-12C	基礎総合	総合	人文科学	建学の精神と人生
1GGN-5660-12E	基礎総合	総合	人文科学	宗教学(宗教と人生)
1GGN-5850-12E	基礎総合	総合	人文科学	心理学(心理学Ⅰ)
1GGN-6080-12E	基礎総合	総合	人文科学	哲学(政治学Ⅱ)
1GGN-6260-12E	基礎総合	総合	人文科学	日本文化論
1GGN-6400-12E	基礎総合	総合	人文科学	文学
1GGN-6710-12CT	基礎総合	総合	人文科学	情報倫理
1GGN-5420-12E	基礎総合	総合	社会科学	経済学
1GGN-5650-12E	基礎総合	総合	社会科学	社会学(社会学Ⅱ)
1GGN-5890-12E	基礎総合	総合	社会科学	政治学(政治学Ⅰ)
1GGN-6240-12ET	基礎総合	総合	社会科学	日本国憲法
1GGN-6250-12E	基礎総合	総合	社会科学	日本事情(日本事情B)
1GGN-6450-12E	基礎総合	総合	社会科学	法学
1GGB-5270-12E	基礎総合	総合	自然科学	基礎数学
1GGN-5140-22E	基礎総合	総合	スポーツ科学	ウェルネス理論
1GGN-5870-11ET	基礎総合	総合	スポーツ科学	ウェルネス
1GGN-5880-11ET	基礎総合	総合	スポーツ科学	スポーツ
1GGN-6700-22E	基礎総合	総合	スポーツ科学	スポーツ理論
1GLN-0190-12E	基礎総合	語学	英語	英検中級・TOEIC基礎
1GLN-5150-22ES	基礎総合	語学	英語	英会話 AdvancedⅠ
1GLN-5160-22ES	基礎総合	語学	英語	英会話 AdvancedⅡ
1GLN-5170-12ES	基礎総合	語学	英語	英会話 BasicⅠ
1GLN-5180-12ES	基礎総合	語学	英語	英会話 BasicⅡ
1GLN-5940-12CT	基礎総合	語学	英語	総合英語
1GLN-5810-22ES	基礎総合	語学	中国語	初級中国語
1GLN-6000-22ES	基礎総合	語学	中国語	中級中国語
1GLN-5800-22ES	基礎総合	語学	韓国語	初級韓国語
1GLN-5990-22ES	基礎総合	語学	韓国語	中級韓国語
1GLN-6200-12E	基礎総合	語学	日本語	日本語Ⅰ
1GLN-6210-12E	基礎総合	語学	日本語	日本語Ⅱ
1GLN-6220-22E	基礎総合	語学	日本語	日本語Ⅲ
1GLN-6230-22E	基礎総合	語学	日本語	日本語Ⅳ
1GCB-5781-12C	基礎総合	実践力キャリア	実践スキル	情報リテラシー演習Ⅰ
1GCB-5792-12ET	基礎総合	実践力キャリア	実践スキル	情報リテラシー演習Ⅱ
1GCN-5580-12C	基礎総合	実践力キャリア	実践スキル	スタディスキル(コミュニケーションと自己発見Ⅰ)
1GCN-5590-12C	基礎総合	実践力キャリア	実践スキル	コミュニケーションと自己発見Ⅱ
1GCN-6650-11E	基礎総合	実践力キャリア	実践スキル	ラーニングリテラシー
1GCN-6660-12C	基礎総合	実践力キャリア	キャリア	キャリアデザインⅠ
1GCN-6670-12C	基礎総合	実践力キャリア	キャリア	キャリアデザインⅡ
1GCN-5310-22E	基礎総合	実践力キャリア	キャリア	キャリアデザインⅢ(キャリアデザイン入門Ⅰ)
1GCN-5320-22E	基礎総合	実践力キャリア	キャリア	キャリアデザインⅣ(キャリアデザイン入門Ⅱ)
1GCN-5290-32E	基礎総合	実践力キャリア	キャリア	キャリアデザインⅤ(キャリアデザインⅠ)
1GCN-5300-32E	基礎総合	実践力キャリア	キャリア	キャリアデザインⅥ(キャリアデザインⅡ)
1GCN-6680-X2E	基礎総合	実践力キャリア	キャリア	インターンシップ実習
1SLN-6160-YYE	特別講義	語学		特別実習・講義(語学)
1SLN-6170-YYE	特別講義	実践力キャリア		特別実習・講義(実践力養成)
1SLN-6140-YYE	特別講義	実践力キャリア		特別実習・講義(キャリア)
1BMB-5220-12C	専門基礎	経営・会計		会計学入門
1BMB-5331-12C	専門基礎	経営・会計		経営学総論Ⅰ(経営学入門)
1BMB-5831-12C	専門基礎	経営・会計		簿記Ⅰ(初級簿記)
1BMB-5831-12E	専門基礎	経営・会計		簿記Ⅰ
1BMB-6302-22E	専門基礎	経営・会計		ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務(ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務Ⅰ)
1BMB-6462-12C	専門基礎	経営・会計		簿記演習
1BMB-6462-12E	専門基礎	経営・会計		簿記Ⅱ
1BMN-5360-22C	専門基礎	経営・会計		経営情報学Ⅰ(経営情報論Ⅰ)
1BMN-5370-U2ET	専門基礎	経営・会計		経営情報学Ⅱ(経営情報論Ⅱ)
1BMN-6510-22ET	専門基礎	経営・会計		ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学
1BMN-6540-22E	専門基礎	経営・会計		民事法
1BIB-5710-12E	専門基礎	情報		情報数学Ⅰ(情報数学)
1BIB-6110-22E	専門基礎	情報		統計学入門
1BIB-6310-14E	専門基礎	情報		ﾋﾞｼﾞﾈｽｿﾌﾄ活用演習
1BIB-6550-12E	専門基礎	情報		ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅰ
1BIB-6560-12E	専門基礎	情報		ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅱ
1BIN-5690-12CT	専門基礎	情報		情報学入門
1BIN-5702-Z2ET	専門基礎	情報		情報ｼｽﾃﾑの開発と管理
1BIN-5730-Z2CT	専門基礎	情報		情報ｾｷｭﾘﾃｨ
1BIN-5770-12ET	専門基礎	情報		情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門
1BIN-6532-Z2ET	専門基礎	情報		ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論
1AMA-5350-Z2E	専門発展	経営・会計		経営思想
1AMB-5332-12E	専門発展	経営・会計		経営学総論Ⅱ
1AMB-6082-22E	専門発展	経営・会計		統計学
1AMB-6192-22E	専門発展	経営・会計		経営史(日本経営史)

number	大分類	中分類	小分類	科目名
1AMN-5200-12C	専門発展	経営・会計		会計学(会計学総論)
1AMN-5260-22E	専門発展	経営・会計		企業金融(金融論)
1AMN-5390-22E	専門発展	経営・会計		経営組織論
1AMN-5400-22E	専門発展	経営・会計		経営分析
1AMN-5562-22E	専門発展	経営・会計		ｺﾏｰｽ論(ｺﾏｰｽ論Ⅰ(中級小売商業Ⅰ))
1AMN-5600-22E	専門発展	経営・会計		ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ会計
1AMN-5952-Z2E	専門発展	経営・会計		組織心理学
1AMN-5980-Z2ET	専門発展	経営・会計		知的財産権(知的所有権)
1AMN-6440-12E	専門発展	経営・会計		ﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽ入門
1AMN-6490-12C	専門発展	経営・会計		ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論
1AMN-6572-Z2ET	専門発展	経営・会計		労務管理論
1AIN-6580-22E	専門発展	情報		ｹﾞｰﾑﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ
1AIB-5720-22E	専門発展	情報		情報数学Ⅱ
1AIB-6361-12C	専門発展	情報		ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅰ(ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門)
1AIB-6372-12E	専門発展	情報		ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅱ
1AIN-5122-22ET	専門発展	情報		ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造
1AIN-5192-22E	専門発展	情報		ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞｼｽﾃﾑ論
1AIN-5432-12ES	専門発展	情報		計算機ｼｽﾃﾑ論
1AIN-5440-Z2ET	専門発展	情報		計測・制御論
1AIN-5610-Z2ET	専門発展	情報		ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ論
1AIN-5740-X2ET	専門発展	情報		情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ
1AIN-5750-24C	専門発展	情報		情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅰ
1AIN-5750-24E	専門発展	情報		情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅰ
1AIN-5760-24E	専門発展	情報		情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅱ
1AIN-6060-22ET	専門発展	情報		ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論
1AIN-6342-24E	専門発展	情報		ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅰ
1AIN-6353-24E	専門発展	情報		ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅱ
1AIN-6381-U2ET	専門発展	情報		ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門
1AIN-6392-U2ET	専門発展	情報		初級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実習
1AIN-6403-Z2ES	専門発展	情報		ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ論
1AIN-6414-Z2ES	専門発展	情報		中級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実習
1AIN-6522-U2ES	専門発展	情報		ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄｹﾞｰﾑ
1AIN-6550-Z2ES	専門発展	情報		ﾓﾊﾞｲﾙﾈｯﾄﾜｰｸ
1AIN-6590-U2ET	専門発展	情報		初級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ
1AIN-6600-Z2ES	専門発展	情報		中級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ
1AIN-6610-22C	専門発展	情報		情報処理技術演習Ⅰ
1AIN-6610-22E	専門発展	情報		情報処理技術演習Ⅰ
1AIN-6620-22E	専門発展	情報		情報処理技術演習Ⅱ
1AIN-6630-Z2E	専門発展	情報		情報処理技術演習Ⅲ
1AIN-6640-Z2E	専門発展	情報		情報処理技術演習Ⅳ
1AIN-6690-22E	専門発展	情報		eｽﾎﾟｰﾂ概論
1EAN-5230-22E	専門応用	会計		会社法
1EAN-5240-22E	専門応用	会計		監査論
1EAN-5480-22E	専門応用	会計		原価計算論(原価計算論Ⅰ)
1EAN-5490-22E	専門応用	会計		原価計算論Ⅱ
1EAN-5620-22E	専門応用	会計		財務会計論(財務会計論Ⅰ)
1EAN-5630-22E	専門応用	会計		財務管理
1EAN-5900-Z2E	専門応用	会計		税法学
1EAN-5910-Z2E	専門応用	会計		税務会計論
1EAN-6020-22E	専門応用	会計		中級簿記(中級簿記演習Ⅰ(中級簿記Ⅰ))
1EAN-6030-22E	専門応用	会計		中級簿記演習Ⅱ(中級簿記Ⅱ)
1EMN-5010-22E	専門応用	経営		SNS活用と問題解決
1EMN-5070-22E	専門応用	経営		ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ論(Webｻｰﾋﾞｽ論)
1EMN-5380-12E	専門応用	経営		経営戦略論
1EMN-5572-22E	専門応用	経営		ｺﾏｰｽ論Ⅱ(中級小売商業Ⅱ)
1EMN-5670-12E	専門応用	経営		消費者行動論
1EMN-6040-U2E	専門応用	経営		中小企業論
1EMN-6320-Z2E	専門応用	経営		ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ
1EMN-6430-U2E	専門応用	経営		ﾍﾞﾝﾁｬｰ企業論
1EGA-5520-Z2E	専門応用	国際ビジネス		国際経済論
1EGA-5540-Z2E	専門応用	国際ビジネス		国際政治学
1EGN-5030-22ES	専門応用	国際ビジネス		英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ(TOEICⅠ(英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ))
1EGN-5040-22ES	専門応用	国際ビジネス		英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ(TOEICⅡ(英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ))
1EGN-5510-22E	専門応用	国際ビジネス		国際経営論
1EGN-5530-22E	専門応用	国際ビジネス		国際情報分析
1EGN-6280-Z2E	専門応用	国際ビジネス		ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語(ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅰ)
1EGN-6290-Z2E	専門応用	国際ビジネス		ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅱ
1ENN-5010-22E	専門応用	ネットワーク		SNS活用と問題解決
1ENN-5050-12E	専門応用	ネットワーク		Webﾃﾞｻﾞｲﾝ(Webｺﾝﾃﾝﾂ制作Ⅰ)
1ENN-5060-22E	専門応用	ネットワーク		Webｼｽﾃﾑ(Webｺﾝﾃﾝﾂ制作Ⅱ)
1ENN-5070-22E	専門応用	ネットワーク		ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ論(Webｻｰﾋﾞｽ論)
1ENN-5082-22E	専門応用	ネットワーク		WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅠ
1ENN-5093-Z2E	専門応用	ネットワーク		WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅡ

number	大分類	中分類	小分類	科目名
1ENN-5104-Z2E	専門応用	ネットワーク		WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅢ
1ENN-5862-22E	専門応用	ネットワーク		ｽｲｯﾁﾝｸﾞ技術
1ENN-5873-22E	専門応用	ネットワーク		ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ技術
1ENN-5884-Z2E	専門応用	ネットワーク		ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ技術（ﾈｯﾄﾜｰｸ演習）
1ENN-6270-Z4ES	専門応用	ネットワーク		ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ構築
1EDB-6082-22E	専門応用	データサイエンス		統計学
1EDN-5251-Z2E	専門応用	データサイエンス		機械学習
1EDN-5262-Z2E	専門応用	データサイエンス		人工知能
1EDN-5400-22E	専門応用	データサイエンス		経営分析
1EDN-5670-12E	専門応用	データサイエンス		消費者行動論
1EDN-6052-Z2E	専門応用	データサイエンス		ﾃﾞｰﾀ解析
1EDN-6070-Z2E	専門応用	データサイエンス		ﾃﾞｰﾀﾓﾃﾞﾘﾝｸﾞ
1EDN-6092-Z2E	専門応用	データサイエンス		多変量解析
1EDN-6120-Z2E	専門応用	データサイエンス		統計ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ
1EDN-6372-22E	専門応用	データサイエンス		ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ
1EDN-6490-12E	専門応用	データサイエンス		ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論
1SePN-6720-12E	演習	プレゼミ		ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ
1SePN-6730-12E	演習	プレゼミ		ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ
1SeBN-6741-24C	演習	ゼミナール・演習基礎		経営学・情報学基礎演習
1SeBN-6751-24C	演習	ゼミナール・演習基礎		基礎ｾﾞﾐ
1SeAN-6762-34C	演習	ゼミナール・演習専門Ⅰ		経営学・情報学専門演習Ⅰ
1SeAN-6772-34C	演習	ゼミナール・演習専門Ⅰ		専門ｾﾞﾐⅠ
1SeEN-6783-44C	演習	ゼミナール・演習専門Ⅱ		経営学・情報学専門演習Ⅱ
1SeEN-6793-44C	演習	ゼミナール・演習専門Ⅱ		専門ｾﾞﾐⅡ
1SAN-6130-YYE	特別講義	会計		特別実習・講義（会計）
1SIN-6180-YYE	特別講義	情報		特別実習・講義（情報）
1SMN-6150-YYE	特別講義	経営		特別実習・講義（経営）
2TTA-5040-43ET	教職課程	教職科目		教育実習（事前事後指導）
2TTA-5070-32ET	教職課程	教職科目		教育相談
2TTA-5110-42ET	教職課程	教職科目		教職実践演習（高）
2TTA-5120-32ET	教職課程	教職科目		生徒指導（進路指導を含む）
2TTB-5010-32ET	教職課程	教職科目		情報科教育法Ⅰ
2TTB-5020-32ET	教職課程	教職科目		情報科教育法Ⅱ
2TTB-5030-22ET	教職課程	教職科目		教育課程論（特別活動を含む）
2TTB-5050-22ET	教職課程	教職科目		教育社会学
2TTB-5060-22ET	教職課程	教職科目		教育心理学
2TTB-5080-22ET	教職課程	教職科目		教育哲学
2TTB-5090-32ET	教職課程	教職科目		教育方法学（ICT活用を含む）
2TTB-5100-12ET	教職課程	教職科目		教師入門
2TTN-5130-32ET	教職課程	教職科目		総合的な探求の時間の指導法
2TTN-5140-22ET	教職課程	教職科目		特別支援教育
3MAB-5030-X2E	修士課程	会計		会計監査特論
3MAB-5040-X2E	修士課程	会計		会計情報学特論
3MAB-5230-X2E	修士課程	会計		税務会計特論
3MIB-5070-X2E	修士課程	情報		経営情報システム設計特論
3MIB-5130-X2E	修士課程	情報		情報科学特論
3MIB-5140-X2E	修士課程	情報		情報セキュリティ特論
3MIB-5150-X2E	修士課程	情報		情報ネットワーク特論
3MIB-5160-X2E	修士課程	情報		情報メディア特論
3MIB-5170-X2E	修士課程	情報		人工知能特論
3MIB-5180-X2E	修士課程	情報		数値解析特論
3MIB-5240-X2E	修士課程	情報		データ解析特論
3MIB-5250-X2E	修士課程	情報		データベース特論
3MMB-5050-X2E	修士課程	経営		経営科学特論
3MMB-5060-X2E	修士課程	経営		経営学特論
3MMB-5080-X2E	修士課程	経営		経営戦略特論
3MMB-5090-X2E	修士課程	経営		経営組織特論
3MMB-5100-X2E	修士課程	経営		国際経営特論
3MMB-5120-X2E	修士課程	経営		財務管理特論
3MMB-5280-X2E	修士課程	経営		日本経営史特論
3MMB-5320-X2E	修士課程	経営		ロジスティクス特論
3MMB-5370-X2E	修士課程	経営		ﾍﾞﾝﾁｬｰ企業特論
3MMB-5380-X2E	修士課程	経営		経営管理特論
3MMB-5390-X2E	修士課程	経営		中小企業特論
3MTB-5190-X2E	修士課程	税法		税法学特論Ⅰ
3MTB-5200-X2E	修士課程	税法		税法学特論Ⅱ
3MTB-5210-X2E	修士課程	税法		税法学特論Ⅲ
3MTB-5220-X2E	修士課程	税法		税法学特論Ⅳ
3MTB-5330-X2E	修士課程	税法		税法学特論Ⅴ
3MTB-5340-X2E	修士課程	税法		民法特論
3MTB-5350-X2E	修士課程	税法		会社法特論
3MTB-5360-X2E	修士課程	税法		民事・行政訴訟特論
3MSA-5010-14C	修士課程	M　演習		演習Ⅰ

number	大分類	中分類	小分類	科目名
3MSA-5020-24C	修士課程	M　演習		演習Ⅱ
3MSA-5260-14C	修士課程	M　演習		特別演習Ⅰ
3MSA-5270-24C	修士課程	M　演習		特別演習Ⅱ
4DAB-5050-V2E	博士課程	会計		会計監査論特別研究
4DAB-5060-V2E	博士課程	会計		会計情報学特別研究
4DAB-5160-V2E	博士課程	会計		税務会計特別研究
4DIB-5040-V2E	博士課程	情報		応用数値解析特別研究
4DIB-5100-V2E	博士課程	情報		情報科学特別研究
4DIB-5110-V2E	博士課程	情報		情報セキュリティ特別研究
4DIB-5120-V2E	博士課程	情報		情報メディア特別研究
4DIB-5130-V2E	博士課程	情報		人工知能特別研究
4DIB-5140-V2E	博士課程	情報		数値解析特別研究
4DIB-5170-V2E	博士課程	情報		情報・信号処理特別研究
4DMB-5070-V2E	博士課程	経営		財務管理特別研究
4DMB-5080-V2E	博士課程	経営		経営学特別研究
4DMB-5090-V2E	博士課程	経営		国際経営特別研究
4DMB-5150-V2E	博士課程	経営		日本経営史特別研究
4DMB-5200-V2E	博士課程	経営		経営戦略特別研究
4DMB-5210-V2E	博士課程	経営		経営管理特別研究
4DMB-5220-V2E	博士課程	経営		中小企業特別研究
4DTB-5180-V2E	博士課程	税法		税法学特別研究
4DTB-5190-V2E	博士課程	税法		民法特別研究
4DSA-5010-14C	博士課程	D　演習		演習Ⅰ
4DSA-5020-24C	博士課程	D　演習		演習Ⅱ
4DSA-5030-34C	博士課程	D　演習		演習Ⅲ

経営情報学科　2021・2022年度履修系統図（カリキュラムマップ）

必修科目40単位を含めて124単位以上修得することを卒業要件とする。

◎：必修科目　※：留学生科目

基礎総合科目（必修16単位を含み40単位以上）

総合教養（必修4単位を含み12単位以上）

〈人文科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎建学の精神と人生	1前	1GGN-5470-12C
宗教学	1後	1GGN-5660-12E
心理学	1前	1GGN-5850-12E
文学	1前	1GGN-6400-12E
日本文化論	1後	1GGN-6260-12E
◎情報倫理	1後	1GGN-6710-12CT

〈社会科学〉

法学	1前	1GGN-6450-12E
日本国憲法	1後	1GGN-6240-12ET
社会学	1後	1GGN-5650-12E
政治学	1前	1GGN-5890-12E
経済学	1前	1GGN-5420-12E
※日本事情	1前	1GGN-6250-12E

〈自然科学〉

基礎数学	1前	1GGB-5270-12E

〈スポーツ健康科学〉

ｳｪﾙﾈｽ	1前	1GGN-5870-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ	1後	1GGN-5880-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ理論	2前	1GGN-6700-22E
ｳｪﾙﾈｽ理論	2後	1GGN-5140-22E

語学（必修2単位を含み6単位以上）

〈英語〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎総合英語	1前	1GLN-5940-12CT
英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-0190-12E
英会話 Basic Ⅰ	1前	1GLN-5170-12ES
英会話 Basic Ⅱ	1後	1GLN-5180-12ES
英会話Advanced Ⅰ	2前	1GLN-5150-22ES
英会話Advanced Ⅱ	2後	1GLN-5160-22ES

〈中国語〉

初級中国語	2前	1GLN-5810-22ES
中級中国語	2後	1GLN-6000-22ES

〈韓国語〉

初級韓国語	2前	1GLN-5800-22ES
中級韓国語	2後	1GLN-5990-22ES

〈日本語〉

※日本語Ⅰ	1前	1GLN-6200-12E
※日本語Ⅱ	1後	1GLN-6210-12E
※日本語Ⅲ	2前	1GLN-6220-22E
※日本語Ⅳ	2後	1GLN-6230-22E

実践力養成・キャリア開発（必修10単位を含み12単位以上）

〈実践スキル〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎情報ﾘﾃﾗｼｰ演習	1前	1GCB-5781-12CT
◎ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ	1前	1GCN-5580-12C
◎ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅱ	1後	1GCN-5590-12C
大学基礎総合	1前	1GCN-1510-12E
文章表現	1後	1GCN-6410-12E

〈キャリア開発〉

◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅰ	2前	1GCN-5310-22C
◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅱ	2後	1GCN-5320-22C
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	3前	1GCN-5290-32E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ	3後	1GCN-5300-32E

特別講義

〈特別講義基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別講義「語学」	1～4	1SLN-6160-YYE
特別講義「実践力養成」	1～4	1SCN-6170-YYE
特別講義「キャリア」	1～4	1SCN-6140-YYE

専門教育科目（必修24単位を含み84単位以上）

専門基礎（必修8単位を含み20単位以上）

〈経営・会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎経営学総論Ⅰ	1前	1BMB-5331-12C
◎会計学入門	1前	1BMB-5220-12C
◎簿記Ⅰ	1前	1BMB-5831-12C
簿記Ⅱ	1後	1BMB-6462-12E
ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学	2前	1BMN-6510-22ET
ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務	2前	1BMB-6302-22E
民事法	2前	1BMN-6540-22E
経営情報論Ⅰ	2前	1BMN-5360-22E
経営情報論Ⅱ	2・3後	1BMN-5370-U2ET

〈情報〉

情報学入門	1前	1BIN-5690-12ET
情報数学Ⅰ	1後	1BIB-5710-12E
情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門	1後	1BIN-5770-12ET
ﾋﾞｼﾞﾈｽｿﾌﾄ活用演習	1後	1BIB-6310-14E
統計学入門	2前	1BIB-6110-22E
◎情報ｾｷｭﾘﾃｨ	3・4前	1BIN-5730-Z2CT
情報ｼｽﾃﾑの開発と管理	3・4前	1BIN-5702-Z2ET
ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論	3・4前	1BIN-6532-Z2ET

専門発展（必修4単位を含み14単位以上）

〈経営・会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論	1前	1AMN-6490-12C
ﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽ入門	1後	1AMN-6440-12E
◎経営学総論Ⅱ	1後	1AMB-5332-12C
会計学	1後	1AMN-5200-12E
企業金融	2前	1AMN-5260-22E
ｺﾏｰｽ論Ⅰ	2前	1AMN-5562-22E
日本経営史	2前	1AMB-6192-22E
経営分析	2前	1AMN-5400-22E
統計学	2後	1AMB-6082-22E
経営組織論	2後	1AMN-5390-22E
組織心理学	3・4前	1AMN-5952-Z2E
知的所有権	3・4前	1AMN-5980-Z2ET
労務管理論	3・4前	1AMN-6572-Z2ET
経営思想	3・4前	1AMA-5350-Z2E

〈情報〉

計算機ｼｽﾃﾑ論	1後	1AIN-5432-12ES
情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ	1・2前	1AIN-5740-X2ET
ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造	2前	1AIN-5122-22ET
ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論	2前	1AIN-6060-22ET
情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅰ	2前	1AIN-5750-24E
情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅱ	2後	1AIN-5760-24E
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2・3前	1AIN-6381-U2ET
初級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実習	2・3後	1AIN-6392-U2ET
ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄｹﾞｰﾑ	2・3後	1AIN-6522-U2ES
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ論	3・4前	1AIN-6403-Z2ES
中級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実習	3・4後	1AIN-6414-Z2ES
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ論	3・4前	1AIN-5610-Z2ET
計測・制御論	3・4後	1AIN-5440-Z2ET

専門応用（24単位以上）

〈会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
中級簿記演習Ⅰ	2前	1EAN-6020-22E
中級簿記演習Ⅱ	2後	1EAN-6030-22E
原価計算論Ⅰ	2前	1EAN-5480-22E
原価計算論Ⅱ	2後	1EAN-5490-22E
財務会計論	2前	1EAN-5620-22E
財務管理	2後	1EAN-5630-22E
会社法	2前	1EAN-5230-22E
監査論	2後	1EAN-5240-22E
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ会計	2前	1EAN-5600-22E
税務会計論	3・4前	1EAN-5910-Z2E
税法学	3・4後	1EAN-5900-Z2E

〈経営〉

経営戦略論	1前	1EMN-5380-12E
消費者行動論	1後	1EMN-5670-12E
ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ・ﾘｻｰﾁ	2前	1EMN-6470-22E
Webｻｰﾋﾞｽ論	2後	1EMN-5070-22E
SNS活用と問題解決	2前	1EMN-5010-22E
ｺﾏｰｽ論Ⅱ	2後	1EMN-5572-22E
ﾍﾞﾝﾁｬｰ企業論	2後	1EMN-6430-U2E
中小企業論	2前	1EMN-6040-U2E
ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ	3・4後	1EMN-6320-Z2E
計量経済分析	3・4後	1EMN-5450-Z2E

〈国際ビジネス〉

国際経営論	2後	1EGN-5510-22E
国際情報分析	2後	1EGN-5530-22E
英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ	2前	1EGN-5030-22ES
英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ	2後	1EGN-5040-22ES
ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅰ	3・4前	1EGN-6280-Z2E
ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅱ	3・4後	1EGN-6290-Z2E
国際経済論	3・4前	1EGA-5520-Z2E
国際政治学	3・4前	1EGA-5540-Z2E

演習

〈プレゼミ〉

科目名	授業を行う年次	番号
ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ	1前	
ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ	1後	

〈ゼミナール基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎基礎ｾﾞﾐ	2通年	
◎経営学基礎演習	2通年	

〈ゼミナール専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎専門ｾﾞﾐⅠ	3通年	
◎経営学専門演習Ⅰ	3通年	
◎専門ｾﾞﾐⅡ	4通年	
◎経営学専門演習Ⅱ	4通年	

特別講義

〈特別講義専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別講義「経営」	1～4	1SMN-6150-YYE
特別講義「会計」	1～4	1SAN-6130-YYE
特別講義「情報」	1～4	1SIN-6180-YYE

経営情報学科　2023年度履修系統図（カリキュラムマップ）

必修科目42単位を含めて124単位以上修得することを卒業要件とする。

◎：必修科目　※：留学生科目

基礎総合科目（必修16単位を含み40単位以上）

総合教養（必修4単位を含み12単位以上）

〈人文科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎建学の精神と人生	1前	1GGN-5470-12C
宗教学	1後	1GGN-5660-12E
心理学	1前	1GGN-5850-12E
文学	1前	1GGN-6400-12E
◎情報倫理	1後	1GGN-6710-12CT

〈社会科学〉

法学	1前	1GGN-6450-12E
日本国憲法	1後	1GGN-6240-12ET
社会学	1後	1GGN-5650-12E
政治学	1後	1GGN-5890-12E
経済学	1前	1GGN-5420-12E
※日本事情	1前	1GGN-6250-12E

〈自然科学〉

基礎数学	1前	1GGB-5270-12E

〈スポーツ健康科学〉

ｳｪﾙﾈｽ	1前	1GGN-5870-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ	1後	1GGN-5880-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ理論	2前	1GGN-6700-22E
ｳｪﾙﾈｽ理論	2後	1GGN-5140-22E

語学（必修2単位を含み6単位以上）

〈英語〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎総合英語	1前	1GLN-5940-12CT
英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-0190-12E
英会話 Basic Ⅰ	1前	1GLN-5170-12ES
英会話 Basic Ⅱ	1後	1GLN-5180-12ES
英会話Advanced Ⅰ	2前	1GLN-5150-22ES
英会話Advanced Ⅱ	2後	1GLN-5160-22ES

〈中国語〉

初級中国語	2前	1GLN-5810-22ES
中級中国語	2後	1GLN-6000-22ES

〈韓国語〉

初級韓国語	2前	1GLN-5800-22ES
中級韓国語	2後	1GLN-5990-22ES

〈日本語〉

※日本語Ⅰ	1前	1GLN-6200-12E
※日本語Ⅱ	1後	1GLN-6210-12E
※日本語Ⅲ	2前	1GLN-6220-22E
※日本語Ⅳ	2後	1GLN-6230-22E

実践力養成・キャリア開発（必修10単位を含み12単位以上）

〈実践スキル〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅰ	1前	1GCB-5781-12C
情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅱ	1後	1GC-5792-12ET
◎ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ	1前	1GCN-5580-12C
◎ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅱ	1後	1GCN-5590-12C
大学基礎総合	1前	1GCN-1510-12E
文章表現	1後	1GCN-6410-12E

〈キャリア開発〉

◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅰ	2前	1GCN-5310-22C
◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅱ	2後	1GCN-5320-22C
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	3前	1GCN-5290-32E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ	3後	1GCN-5300-32E

特別実習・講義

〈特別実習・講義基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別実習・講義「語学」	1～4	1SLN-6160-YYE
特別実習・講義「実践力養成」	1～4	1SCN-6170-YYE
特別実習・講義「キャリア」	1～4	1SCN-6140-YYE

専門教育科目（必修26単位を含み84単位以上）

専門基礎（必修12単位を含み20単位以上）

〈経営・会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎経営学総論Ⅰ	1前	1BMB-5331-12C
◎会計学入門	1前	1BMB-5220-12C
◎簿記Ⅰ	1前	1BMB-5831-12C
簿記Ⅱ	1後	1BMB-6462-12E
ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学	2前	1BMN-6510-22ET
ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務	2前	1BMB-6302-22E
民事法	2前	1BMN-6540-22E
◎経営情報学Ⅰ	2前	1BMN-5360-22C
経営情報学Ⅱ	2・3後	1BMN-5370-U2ET

〈情報〉

◎情報学入門	1前	1BIN-5690-12CT
情報数学Ⅰ	1後	1BIB-5710-12E
情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門	1後	1BIN-5770-12ET
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅰ	1前	1BIB-6550-12E
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅱ	1後	1BIB-6560-12E
統計学入門	2前	1BIB-6110-22E
◎情報ｾｷｭﾘﾃｨ	3・4前	1BIN-5730-Z2CT
情報ｼｽﾃﾑの開発と管理	3・4前	1BIN-5702-Z2ET
ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論	3・4前	1BIN-6532-Z2ET

専門発展（必修2単位を含み14単位以上）

〈経営・会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論	1前	1AMN-6490-12C
ﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽ入門	1後	1AMN-6440-12E
経営学総論Ⅱ	1後	1AMB-5332-12E
会計学	1後	1AMN-5200-12E
企業金融	2前	1AMN-5260-22E
ｺﾏｰｽ論Ⅰ	2前	1AMN-5562-22E
日本経営史	2前	1AMB-6192-22E
経営分析	2前	1AMN-5400-22E
統計学	2後	1AMB-6082-22E
経営組織論	2後	1AMN-5390-22E
組織心理学	3・4前	1AMN-5952-Z2E
知的所有権	3・4前	1AMN-5980-Z2ET
労務管理論	3・4前	1AMN-6572-Z2ET

〈情報〉

計算機ｼｽﾃﾑ論	1後	1AIN-5432-12ES
情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ	1・2前	1AIN-5740-X2ET
ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造	2前	1AIN-5122-22ET
ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論	2前	1AIN-6060-22ET
ｹﾞｰﾑﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	2前	1AIN-6580-22E
情報処理技術演習Ⅰ	2前	1AIA-6610-22E
情報処理技術演習Ⅱ	2後	1AIA-6620-22E
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2・3前	1AIN-6381-U2ET
初級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	2・3後	1AIN-6590-U2ET
ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄｹﾞｰﾑ	2・3後	1AIN-6522-U2ES
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ論	3・4前	1AIN-6403-Z2ES
中級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	3・4後	1AIN-6600-Z2ES
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ論	3・4前	1AIN-5610-Z2ET
計測・制御論	3・4後	1AIN-5440-Z2ET
情報処理技術演習Ⅲ	3・4前	1AIA-6630-Z2E
情報処理技述演習Ⅳ	3・4後	1AIA-6640-Z2E

専門応用（24単位以上）

〈会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
中級簿記演習Ⅰ	2前	1EAN-6020-22E
中級簿記演習Ⅱ	2後	1EAN-6030-22E
原価計算論Ⅰ	2前	1EAN-5480-22E
原価計算論Ⅱ	2後	1EAN-5490-22E
財務会計論	2前	1EAN-5620-22E
会社法	2前	1EAN-5230-22E
監査論	2後	1EAN-5240-22E
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ会計	2前	1EAN-5600-22E
税務会計論	3・4前	1EAN-5910-Z2E
税法学	3・4後	1EAN-5900-Z2E

〈経営〉

経営戦略論	1前	1EMN-5380-12E
消費者行動論	1後	1EMN-5670-12E
ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ・ﾘｻｰﾁ	2前	1EMN-6470-22E
ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ論	2後	1EMN-5070-22E
SNS活用と問題解決	2前	1EMN-5010-22E
ｺﾏｰｽ論Ⅱ	2後	1EMN-5572-22E
ﾍﾞﾝﾁｬｰ企業論	2・3後	1EMN-6430-U2E
中小企業論	2・3前	1EMN-6040-U2E
ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ	3・4後	1EMN-6320-Z2E
計量経済分析	3・4後	1EMN-5450-Z2E

〈国際ビジネス〉

国際経営論	2後	1EGN-5510-22E
国際情報分析	2後	1EGN-5530-22E
英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ	2前	1EGN-5030-22ES
英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ	2後	1EGN-5040-22ES
ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅰ	3・4前	1EGN-6280-Z2E
ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅱ	3・4後	1EGN-6290-Z2E
国際経済論	3・4前	1EGA-5520-Z2E

演習

〈プレゼミ〉

科目名	授業を行う年次	番号
ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ	1前	
ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ	1後	

〈ゼミナール基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎基礎ｾﾞﾐ	2通年	
◎経営学基礎演習	2通年	

〈ゼミナール専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎専門ｾﾞﾐⅠ	3通年	
◎経営学専門演習Ⅰ	3通年	
◎専門ｾﾞﾐⅡ	4通年	
◎経営学専門演習Ⅱ	4通年	

特別実習・講義

〈特別実習・講義専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別実習・講義「経営」	1～4	1SMN-6150-YYE
特別実習・講義「会計」	1～4	1SAN-6130-YYE
特別実習・講義「情報」	1～4	1SIN-6180-YYE

経営情報学科　2024年度履修系統図（カリキュラムマップ）

必修科目40単位を含めて124単位以上修得することを卒業要件とする。

◎：必修科目　　※：留学生科目

基礎総合科目（必修14単位を含み40単位以上）

総合教養（必修4単位を含み12単位以上）

〈人文科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎建学の精神と人生	1前	1GGN-5470-12C
宗教学	1後	1GGN-5660-12E
心理学	1前	1GGN-5850-12E
文学	1前	1GGN-6400-12E
◎情報倫理	1後	1GGN-6710-12CT

〈社会科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
法学	1前	1GGN-6450-12E
日本国憲法	1後	1GGN-6240-12ET
社会学	1後	1GGN-5650-12E
政治学	1後	1GGN-5890-12E
経済学	1前	1GGN-5420-12E
※日本事情	1前	1GGN-6250-12E

〈自然科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
基礎数学	1前	1GGB-5270-12E

〈スポーツ健康科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
ｳｪﾙﾈｽ	1前	1GGN-5870-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ	1後	1GGN-5880-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ理論	2前	1GGN-6700-22E
ｳｪﾙﾈｽ理論	2後	1GGN-5140-22E

語学（必修2単位を含み6単位以上）

〈英語〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎総合英語	1前	1GLN-5940-12CT
英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-0190-12E
英会話 Basic Ⅰ	1前	1GLN-5170-12ES
英会話 Basic Ⅱ	1後	1GLN-5180-12ES
英会話Advanced Ⅰ	2前	1GLN-5150-22ES
英会話Advanced Ⅱ	2後	1GLN-5160-22ES

〈中国語〉

科目名	授業を行う年次	番号
初級中国語	2前	1GLN-5810-22ES
中級中国語	2後	1GLN-6000-22ES

〈韓国語〉

科目名	授業を行う年次	番号
初級韓国語	2前	1GLN-5800-22ES
中級韓国語	2後	1GLN-5990-22ES

〈日本語〉

科目名	授業を行う年次	番号
※日本語 Ⅰ	1前	1GLN-6200-12E
※日本語 Ⅱ	1後	1GLN-6210-12E
※日本語Ⅲ	2前	1GLN-6220-22E
※日本語Ⅳ	2後	1GLN-6230-22E

実践力養成・キャリア開発（必修8単位を含み12単位以上）

〈実践スキル〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎情報ﾘﾃﾗｼｰ演習 Ⅰ	1前	1GCB-5781-12C
情報ﾘﾃﾗｼｰ演習 Ⅱ	1後	1GC-5792-12ET
◎ｽﾀﾃﾞｨｽｷﾙ	1前	1GCN-5580-12C
ﾗｰﾆﾝｸﾞ ﾘﾃﾗｼｰ	1前	1GCN-6650-11E

＜キャリア開発＞

科目名	授業を行う年次	番号
◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ Ⅰ	1前	1GCN-6660-12C
◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ Ⅱ	1後	1GCN-6670-12C
ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ 実習	1･2通年	1GCN-6680-X2E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅢ	2前	1GCN-5310-22E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅣ	2後	1GCN-5320-22E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅤ	3前	1GCN-5290-32E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅥ	3後	1GCN-5300-32E

特別実習・講義

〈特別実習・講義基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別実習・講義「語学」	1～4	1SLN-6160-YYE
特別実習・講義「実践力養成」	1～4	1SCN-6170-YYE
特別実習・講義「キャリア」	1～4	1SCN-6140-YYE

専門教育科目（必修26単位を含み84単位以上）

専門基礎（必修10単位を含み20単位以上）

〈経営・会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎経営学総論 Ⅰ	1前	1BMB-5331-12C
◎簿記 Ⅰ	1前	1BMB-5831-12C
簿記 Ⅱ	1後	1BMB-6462-12E
ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学	2前	1BMN-6510-22ET
ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務	2前	1BMB-6302-22E
民事法	2前	1BMN-6540-22E
◎経営情報学 Ⅰ	2前	1BMN-5360-22C
経営情報学 Ⅱ	2・3後	1BMN-5370-U2ET

〈情報〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎情報学入門	1前	1BIN-5690-12CT
情報数学 Ⅰ	1後	1BIB-5710-12E
情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門	1後	1BIN-5770-12ET
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習 Ⅰ	1前	1BIB-6550-12E
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習 Ⅱ	1後	1BIB-6560-12E
統計学入門	2前	1BIB-6110-22E
◎情報ｾｷｭﾘﾃｨ	3・4前	1BIN-5730-Z2CT
情報ｼｽﾃﾑの開発と管理	3・4前	1BIN-5702-Z2ET
ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論	3・4前	1BIN-6532-Z2ET

専門発展（必修4単位を含み14単位以上）

〈経営・会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ 論	1前	1AMN-6490-12C
ﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽ入門	1後	1AMN-6440-12E
経営学総論 Ⅱ	1後	1AMB-5332-12E
◎会計学	1前	1AMN-5200-12C
企業金融	2前	1AMN-5260-22E
ｺﾏｰｽ論	2前	1AMN-5562-22E
経営史	2前	1AMB-6192-22E
経営分析	2前	1AMN-5400-22E
統計学	2後	1AMB-6082-22E
経営組織論	2後	1AMN-5390-22E
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ会計	2後	1AMN-5600-22E
知的財産権	3・4前	1AMN-5980-Z2ET
労務管理論	3・4前	1AMN-6572-Z2ET

〈情報〉

科目名	授業を行う年次	番号
計算機ｼｽﾃﾑ論	1後	1AIN-5432-12ES
情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ	1・2前	1AIN-5740-X2ET
ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造	2前	1AIN-5122-22ET
ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論	2前	1AIN-6060-22ET
ｹﾞｰﾑﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	2前	1AIN-6580-22E
eｽﾎﾟｰﾂ概論	2後	1AIN-6690-22E
情報処理技術演習 Ⅰ	2前	1AIN-6610-22E
情報処理技術演習 Ⅱ	2後	1AIN-6620-22E
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2・3前	1AIN-6381-U2ET
初級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	2・3後	1AIN-6590-U2ET
ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄｹﾞｰﾑ	2・3後	1AIN-6522-U2ES
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ論	3・4前	1AIN-6403-Z2ES
中級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	3・4後	1AIN-6600-Z2ES
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ論	3・4前	1AIN-5610-Z2ET
計測・制御論	3・4後	1AIN-5440-Z2ET
情報処理技術演習Ⅲ	3・4前	1AIN-6630-Z2E
情報処理技述演習Ⅳ	3・4後	1AIN-6640-Z2E

専門応用（24単位以上）

〈会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
中級簿記	2前	1EAN-6020-22E
原価計算論	2前	1EAN-5480-22E
財務会計論	2前	1EAN-5620-22E
会社法	2前	1EAN-5230-22E
税務会計論	3・4前	1EAN-5910-Z2E
税法学	3・4後	1EAN-5900-Z2E

〈経営〉

科目名	授業を行う年次	番号
経営戦略論	1後	1EMN-5380-12E
消費者行動論	1後	1EMN-5670-12E
ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ論	2後	1EMN-5070-22E
SNS活用と問題解決	2前	1EMN-5010-22E
中小企業論	2・3前	1EMN-6040-U2E
ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ	3・4後	1EMN-6320-Z2E

〈国際ビジネス〉

科目名	授業を行う年次	番号
国際経営論	2後	1EGN-5510-22E
英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ	2前	1EGN-5030-22ES
英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ	2後	1EGN-5040-22ES
ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語	3・4前	1EGN-6280-Z2E
国際経済論	3・4前	1EGA-5520-Z2E

演習

〈プレゼミ〉

科目名	授業を行う年次	番号
ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ	1前	
ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ	1後	

〈ゼミナール基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎基礎ゼミ	2通年	
◎経営学基礎演習	2通年	

〈ゼミナール専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎専門ｾﾞﾐⅠ	3通年	
◎経営学専門演習 Ⅰ	3通年	
◎専門ｾﾞﾐⅡ	4通年	
◎経営学専門演習 Ⅱ	4通年	

特別実習・講義

〈特別実習・講義専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別実習・講義「経営」	1～4	1SMN-6150-YYE
特別実習・講義「会計」	1～4	1SAN-6130-YYE
特別実習・講義「情報」	1～4	1SIN-6180-YYE

情報ネットワーク学科　2021・2022年度履修系統図（カリキュラムマップ）

必修科目40単位を含めて124単位以上修得することを卒業要件とする。

◎：必修科目　　※：留学生科目

基礎総合科目（必修16単位を含み40単位以上）

総合教養（必修4単位を含み12単位以上）

〈人文科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎建学の精神と人生	1前	1GGN-5470-12C
宗教学	1後	1GGN-5660-12E
心理学	1前	1GGN-5850-12E
文学	1前	1GGN-6400-12E
日本文化論	1後	1GGN-6260-12E
◎情報倫理	1後	1GGN-6710-12CT

〈社会科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
法学	1前	1GGN-6450-12E
日本国憲法	1後	1GGN-6240-12ET
社会学	1後	1GGN-5650-12E
政治学	1前	1GGN-5890-12E
経済学	1前	1GGN-5420-12E
※日本事情	1前	1GGN-6250-12E

〈自然科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
基礎数学	1前	1GGB-5270-12E

〈スポーツ健康科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
ｳｪﾙﾈｽ	1前	1GGN-5870-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ	1後	1GGN-5880-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ理論	2前	1GGN-6700-22E
ｳｪﾙﾈｽ理論	2後	1GGN-5140-22E

語学（必修2単位を含み6単位以上）

〈英語〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎総合英語	1前	1GLN-5940-12CT
英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-0190-12E
英会話 Basic Ⅰ	1前	1GLN-5170-12ES
英会話 Basic Ⅱ	1後	1GLN-5180-12ES
英会話Advanced Ⅰ	2前	1GLN-5150-22ES
英会話Advanced Ⅱ	2後	1GLN-5160-22ES

〈中国語〉

科目名	授業を行う年次	番号
初級中国語	2前	1GLN-5810-22ES
中級中国語	2後	1GLN-6000-22ES

〈韓国語〉

科目名	授業を行う年次	番号
初級韓国語	2前	1GLN-5800-22ES
中級韓国語	2後	1GLN-5990-22ES

〈日本語〉

科目名	授業を行う年次	番号
※日本語 Ⅰ	1前	1GLN-6200-12E
※日本語 Ⅱ	1後	1GLN-6210-12E
※日本語Ⅲ	2前	1GLN-6220-22E
※日本語Ⅳ	2後	1GLN-6230-22E

実践力養成・キャリア開発（必修10単位を含み12単位以上）

〈実践スキル〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎情報ﾘﾃﾗｼｰ演習	1前	1GCB-5780-12CS
◎ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見 Ⅰ	1前	1GCN-5580-12C
◎ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見 Ⅱ	1後	1GCN-5590-12C
大学基礎総合	1前	1GCN-1510-12E
文章表現	1後	1GCN-6410-12E

〈キャリア開発〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門 Ⅰ	2前	1GCN-5310-22C
◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門 Ⅱ	2後	1GCN-5320-22C
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ Ⅰ	3前	1GCN-5290-32E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ Ⅱ	3後	1GCN-5300-32E

特別講義

〈特別講義基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別講義「語学」	1～4	1SLN-6160-YYE
特別講義「実践力養成」	1～4	1SCN-6170-YYE
特別講義「キャリア」	1～4	1SCN-6140-YYE

専門教育科目（必修24単位を含み84単位以上）

専門基礎（必修6単位を含み20単位以上）

〈情報〉

科目名	授業を行う年次	番号
情報学入門	1前	1BIN-5690-12ES
情報数学 Ⅰ	1後	1BIB-5710-12E
情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門	1後	1BIN-5770-12ET
ﾋﾞｼﾞﾈｽｿﾌﾄ活用演習	1後	1BIB-6310-14E
統計学入門	2前	1BIB-6110-22E
◎情報ｾｷｭﾘﾃｨ	3・4前	1BIN-5730-Z2CT
情報ｼｽﾃﾑの開発と管理	3・4前	1BIN-5702-Z2ET
ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論	3・4前	1BIN-6532-Z2ET

〈経営・会計〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎経営学総論 Ⅰ	1前	1BMB-5331-12C
◎会計学入門	1前	1BMB-5220-12C
簿記 Ⅰ	1前	1BMB-5831-12E
簿記 Ⅱ	1後	1BMB-6462-12E
ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学	2前	1BMN-6510-22ET
ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務	2前	1BMB-6302-22E
民事法	2前	1BMN-6540-22E
経営情報論 Ⅰ	2前	1BMN-5360-22E
経営情報論 Ⅱ	2・3後	1BMN-5370-U2ET

専門発展（必修6単位を含み14単位以上）

〈情報〉

科目名	授業を行う年次	番号
計算機ｼｽﾃﾑ論	1後	1AIN-5432-12ES
◎ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ 初歩 Ⅰ	1前	1AIB-6361-12C
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ 初歩 Ⅱ	1後	1AIB-6372-12E
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ 実践 Ⅰ	2前	1AIN-6342-24E
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ 実践 Ⅱ	2後	1AIN-6353-24E
◎情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習 Ⅰ	2前	1AIN-5750-24C
情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習 Ⅱ	2後	1AIN-5760-24E
ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造	2前	1AIN-5122-22ET
情報数学 Ⅱ	2前	1AIB-5720-22E
ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論	2前	1AIN-6060-22ET
ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞｼｽﾃﾑ論	2後	1AIN-5192-22E
計測・制御論	3・4後	1AIN-5440-Z2ET
ﾓﾊﾞｲﾙﾈｯﾄﾜｰｸ	3・4前	1AIN-6550-Z2ES

専門応用（24単位以上）

〈ネットワーク〉

科目名	授業を行う年次	番号
Webｺﾝﾃﾝﾂ制作 Ⅰ	1後	1ENN-5050-12E
ｽｲｯﾁﾝｸﾞ技術	2前	1ENN-5862-22E
ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ技術	2後	1ENN-5873-22E
SNS活用と問題解決	2前	1ENN-5010-22E
Webｻｰﾋﾞｽ論	2後	1ENN-5070-22E
Webｺﾝﾃﾝﾂ制作 Ⅱ	2前	1ENN-5060-22E
Webﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ Ⅰ	2後	1ENN-5082-22E
Webﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ Ⅱ	3・4前	1ENN-5093-Z2E
Webﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ Ⅲ	3・4後	1ENN-5104-Z2E
ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ構築	3・4通年	1ENN-6270-Z4ES
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ技術	3・4前	1ENN-5884-Z2E

〈データサイエンス〉

科目名	授業を行う年次	番号
会計学	1後	1EDN-5200-12E
ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ 論	1前	1EDN-6490-12E
消費者行動論	1後	1EDN-5670-12E
ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ ・ﾘｻｰﾁ	2前	1EDN-6470-22E
経営分析	2前	1EDN-5400-22E
統計学	2後	1EDB-6082-22E
ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	2前	1EDN-6372-22E
多変量解析	3・4前	1EDN-6092-Z2E
ﾃﾞｰﾀ解析	3・4前	1EDN-6052-Z2E
ﾃﾞｰﾀﾓﾃﾞﾘﾝｸﾞ	3・4後	1EDN-6070-Z2E
統計ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	3・4後	1EDN-6120-Z2E
機械学習	3・4前	1EDN-5251-Z2E
人工知能	3・4後	1EDN-5262-Z2E
計量経済分析	3・4後	1EDN-5450-Z2E

演習

〈プレゼミ〉

科目名	授業を行う年次	番号
ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ	1前	
ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ	1後	

〈ゼミナール基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎基礎ゼミ	2通年	
◎情報学基礎演習	2通年	

〈ゼミナール専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎専門ｾﾞﾐⅠ	3通年	
◎情報学専門演習 Ⅰ	3通年	
◎専門ｾﾞﾐⅡ	4通年	
◎情報学専門演習 Ⅱ	4通年	

特別講義

〈特別講義専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別講義「経営」	1～4	1SMN-6150-YYE
特別講義「会計」	1～4	1SAN-6130-YYE
特別講義「情報」	1～4	1SIN-6180-YYE

情報ネットワーク学科　2023年度履修系統図（カリキュラムマップ）

必修科目42単位を含めて124単位以上修得することを卒業要件とする。

◎：必修科目　　※：留学生科目

基礎総合科目（必修16単位を含み40単位以上）

総合教養
必修4単位を含み12単位以上

〈人文科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎建学の精神と人生	1前	1GGN-5470-12C
宗教学	1後	1GGN-5660-12E
心理学	1前	1GGN-5850-12E
文学	1前	1GGN-6400-12E
◎情報倫理	1後	1GGN-6710-12CT

〈社会科学〉

法学	1前	1GGN-6450-12E
日本国憲法	1後	1GGN-6240-12ET
社会学	1後	1GGN-5650-12E
政治学	1後	1GGN-5890-12E
経済学	1前	1GGN-5420-12E
※日本事情	1前	1GGN-6250-12E

〈自然科学〉

基礎数学	1前	1GGB-5270-12E

〈スポーツ健康科学〉

ｳｪﾙﾈｽ	1前	1GGN-5870-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ	1後	1GGN-5880-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ理論	2前	1GGN-6700-22E
ｳｪﾙﾈｽ理論	2後	1GGN-5140-22E

語学
必修2単位を含み6単位以上

〈英語〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎総合英語	1前	1GLN-5940-12CT
英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-0190-12E
英会話 Basic Ⅰ	1前	1GLN-5170-12ES
英会話 Basic Ⅱ	1後	1GLN-5180-12ES
英会話Advanced Ⅰ	2前	1GLN-5150-22ES
英会話Advanced Ⅱ	2後	1GLN-5160-22ES

〈中国語〉

初級中国語	2前	1GLN-5810-22ES
中級中国語	2後	1GLN-6000-22ES

〈韓国語〉

初級韓国語	2前	1GLN-5800-22ES
中級韓国語	2後	1GLN-5990-22ES

〈日本語〉

※日本語Ⅰ	1前	1GLN-6200-12E
※日本語Ⅱ	1後	1GLN-6210-12E
※日本語Ⅲ	2前	1GLN-6220-22E
※日本語Ⅳ	2後	1GLN-6230-22E

実践力養成・キャリア開発
必修10単位を含み12単位以上

〈実践スキル〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅰ	1前	1GCB-5781-12C
情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅱ	1後	1GC-5792-12ET
◎ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ	1前	1GCN-5580-12C
◎ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅱ	1後	1GCN-5590-12C
大学基礎総合	1前	1GCN-1510-12E
文章表現	1後	1GCN-6410-12E

〈キャリア開発〉

◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅰ	2前	1GCN-5310-22C
◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅱ	2後	1GCN-5320-22C
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	3前	1GCN-5290-32E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ	3後	1GCN-5300-32E

特別実習・講義

〈特別実習・講義基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別実習・講義「語学」	1～4	1SLN-6160-YYE
特別実習・講義「実践力養成」	1～4	1SCN-6170-YYE
特別実習・講義「キャリア」	1～4	1SCN-6140-YYE

専門教育科目（必修26単位を含み84単位以上）

専門基礎
必修10単位を含み20単位以上

〈情報〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎情報学入門	1前	1BIN-5690-12CT
情報数学Ⅰ	1後	1BIB-5710-12E
情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門	1後	1BIN-5770-12ET
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅰ	1前	1BIB-6550-12E
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅱ	1後	1BIB-6560-12E
統計学入門	2前	1BIB-6110-22E
◎情報ｾｷｭﾘﾃｨ	3・4前	1BIN-5730-Z2CT
情報ｼｽﾃﾑの開発と管理	3・4前	1BIN-5702-Z2ET
ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論	3・4前	1BIN-6532-Z2ET

〈経営・会計〉

◎経営学総論Ⅰ	1前	1BMB-5331-12C
◎会計学入門	1前	1BMB-5220-12C
簿記Ⅰ	1前	1BMB-5831-12E
簿記Ⅱ	1後	1BMB-6462-12E
ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学	2前	1BMN-6510-22ET
ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務	2前	1BMB-6302-22E
民事法	2前	1BMN-6540-22E
◎経営情報学Ⅰ	2前	1BMN-5360-22C
経営情報学Ⅱ	2・3後	1BMN-5370-U2ET

⇒

専門発展
必修4単位を含み14単位以上

〈情報〉

科目名	授業を行う年次	番号
計算機ｼｽﾃﾑ論	1後	1AIN-5432-12ES
◎ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅰ	1前	1AIB-6361-12C
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅱ	1後	1AIB-6372-12E
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅰ	2前	1AIN-6342-24E
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅱ	2後	1AIN-6353-24E
ｹﾞｰﾑﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	2前	1AIN-6580-22E
◎情報処理技術演習Ⅰ	2前	1AIA-6610-22C
情報処理技術演習Ⅱ	2後	1AIA-6620-22E
ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造	2前	1AIN-5122-22ET
情報数学Ⅱ	2前	1AIB-5720-22E
ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論	2前	1AIN-6060-22ET
ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞｼｽﾃﾑ論	2後	1AIN-5192-22E
計測・制御論	3・4後	1AIN-5440-Z2ET
ﾓﾊﾞｲﾙﾈｯﾄﾜｰｸ	3・4前	1AIN-6550-Z2ES
情報処理技術演習Ⅲ	3・4前	1AIA-6630-Z2E
情報処理技術演習Ⅳ	3・4後	1AIA-6640-Z2E

⇒

専門応用
24単位以上

〈ネットワーク〉

科目名	授業を行う年次	番号
Webﾃﾞｻﾞｲﾝ	1後	1ENN-5050-12E
ｽｲｯﾁﾝｸﾞ技術	2前	1ENN-5862-22E
ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ技術	2後	1ENN-5873-22E
SNS活用と問題解決	2前	1ENN-5010-22E
ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ論	2後	1ENN-5070-22E
Webｼｽﾃﾑ	2前	1ENN-5060-22E
WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅠ	2後	1ENN-5082-22E
WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅡ	3・4前	1ENN-5093-Z2E
WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅢ	3・4後	1ENN-5104-Z2E
ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ構築	3・4通年	1ENN-6270-Z4ES
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ技術	3・4前	1ENN-5884-Z2E

〈データサイエンス〉

会計学	1後	1EDN-5200-12E
ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論	1前	1EDN-6490-12E
消費者行動論	1後	1EDN-5670-12E
ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ・ﾘｻｰﾁ	2前	1EDN-6470-22E
経営分析	2前	1EDN-5400-22E
統計学	2後	1EDB-6082-22E
ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	2前	1EDN-6372-22E
多変量解析	3・4前	1EDN-6092-Z2E
ﾃﾞｰﾀ解析	3・4前	1EDN-6052-Z2E
ﾃﾞｰﾀﾓﾃﾞﾘﾝｸﾞ	3・4後	1EDN-6070-Z2E
統計ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	3・4後	1EDN-6120-Z2E
機械学習	3・4前	1EDN-5251-Z2E
人工知能	3・4後	1EDN-5262-Z2E
計量経済分析	3・4後	1EDN-5450-Z2E

演習

〈プレゼミ〉

科目名	授業を行う年次	番号
ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ	1前	
ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ	1後	

⇒

〈ゼミナール基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎基礎ｾﾞﾐ	2通年	
◎情報学基礎演習	2通年	

⇒

〈ゼミナール専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎専門ｾﾞﾐⅠ	3通年	
◎情報学専門演習Ⅰ	3通年	
◎専門ｾﾞﾐⅡ	4通年	
◎情報学専門演習Ⅱ	4通年	

特別実習・講義

〈特別実習・講義専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別実習・講義「経営」	1～4	1SMN-6150-YYE
特別実習・講義「会計」	1～4	1SAN-6130-YYE
特別実習・講義「情報」	1～4	1SIN-6180-YYE

情報ネットワーク学科　2024年度履修系統図（カリキュラムマップ）

必修科目40単位を含めて124単位以上修得することを卒業要件とする。

◎：必修科目　　※：留学生科目

基礎総合科目（必修14単位を含み40単位以上）

総合教養
必修4単位を含み12単位以上

〈人文科学〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎建学の精神と人生	1前	1GGN-5470-12C
宗教学	1後	1GGN-5660-12E
心理学	1前	1GGN-5850-12E
文学	1前	1GGN-6400-12E
◎情報倫理	1後	1GGN-6710-12CT

〈社会科学〉

法学	1前	1GGN-6450-12E
日本国憲法	1後	1GGN-6240-12ET
社会学	1後	1GGN-5650-12E
政治学	1後	1GGN-5890-12E
経済学	1前	1GGN-5420-12E
※日本事情	1前	1GGN-6250-12E

〈自然科学〉

基礎数学	1前	1GGB-5270-12E

〈スポーツ健康科学〉

ｳｪﾙﾈｽ	1前	1GGN-5870-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ	1後	1GGN-5880-11ET
ｽﾎﾟｰﾂ理論	2前	1GGN-6700-22E
ｳｪﾙﾈｽ理論	2後	1GGN-5140-22E

語学
必修2単位を含み6単位以上

〈英語〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎総合英語	1前	1GLN-5940-12CT
英検中級・TOEIC基礎	1後	1GLN-0190-12E
英会話 Basic Ⅰ	1前	1GLN-5170-12ES
英会話 Basic Ⅱ	1後	1GLN-5180-12ES
英会話Advanced Ⅰ	2前	1GLN-5150-22ES
英会話Advanced Ⅱ	2後	1GLN-5160-22ES

〈中国語〉

初級中国語	2前	1GLN-5810-22ES
中級中国語	2後	1GLN-6000-22ES

〈韓国語〉

初級韓国語	2前	1GLN-5800-22ES
中級韓国語	2後	1GLN-5990-22ES

〈日本語〉

※日本語Ⅰ	1前	1GLN-6200-12E
※日本語Ⅱ	1後	1GLN-6210-12E
※日本語Ⅲ	2前	1GLN-6220-22E
※日本語Ⅳ	2後	1GLN-6230-22E

実践力養成・キャリア開発
必修8単位を含み12単位以上

〈実践スキル〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅰ	1前	1GCB-5781-12C
情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅱ	1後	1GC-5792-12ET
◎ｽｷﾙｽｷﾙ	1前	1GCN-5580-12C
ﾗｰﾆﾝｸﾞﾘﾃﾗｼｰ	1前	1GCN-6650-11E

〈キャリア開発〉

◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	1前	1GCN-6660-12C
◎ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ	1後	1GCN-6670-12C
ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ実習	1・2通年	1GCN-6680-X2E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅢ	2前	1GCN-5310-22E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅣ	2後	1GCN-5320-22E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅤ	3前	1GCN-5290-32E
ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅥ	3後	1GCN-5300-32E

特別実習・講義

〈特別実習・講義基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別実習・講義「語学」	1～4	1SLN-6160-YYE
特別実習・講義「実践力養成」	1～4	1SCN-6170-YYE
特別実習・講義「キャリア」	1～4	1SCN-6140-YYE

専門教育科目（必修26単位を含み84単位以上）

専門基礎
必修8単位を含み20単位以上

〈情報〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎情報学入門	1前	1BIN-5690-12CT
情報数学Ⅰ	1後	1BIB-5710-12E
情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門	1後	1BIN-5770-12ET
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅰ	1前	1BIB-6550-12E
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅱ	1後	1BIB-6560-12E
統計学入門	2前	1BIB-6110-22E
◎情報ｾｷｭﾘﾃｨ	3・4前	1BIN-5730-Z2CT
情報ｼｽﾃﾑの開発と管理	3・4前	1BIN-5702-Z2ET
ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論	3・4前	1BIN-6532-Z2ET

〈経営・会計〉

◎経営学総論Ⅰ	1前	1BMB-5331-12C
簿記Ⅰ	1前	1BMB-5831-12E
簿記Ⅱ	1後	1BMB-6462-12E
ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学	2前	1BMN-6510-22ET
ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務	2前	1BMB-6302-22E
民事法	2前	1BMN-6540-22E
◎経営情報学Ⅰ	2前	1BMN-5360-22C
経営情報学Ⅱ	2・3後	1BMN-5370-U2ET

⇒

専門発展
必修6単位を含み14単位以上

〈情報〉

科目名	授業を行う年次	番号
計算機ｼｽﾃﾑ論	1後	1AIN-5432-12ES
◎ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅰ	1前	1AIB-6361-12C
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅱ	1後	1AIB-6372-12E
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅰ	2前	1AIN-6342-24E
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅱ	2後	1AIN-6353-24E
ｹﾞｰﾑﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	2前	1AIN-6580-22E
eｽﾎﾟｰﾂ概論	2後	1AIN-6690-22E
◎情報処理技術演習Ⅰ	2前	1AIN-6610-22C
情報処理技術演習Ⅱ	2後	1AIN-6620-22E
ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造	2前	1AIN-5122-22ET
情報数学Ⅱ	2前	1AIB-5720-22E
ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論	2前	1AIN-6060-22ET
ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞｼｽﾃﾑ論	2後	1AIN-5192-22E
計測・制御論	3・4後	1AIN-5440-Z2ET
ﾓﾊﾞｲﾙﾈｯﾄﾜｰｸ	3・4前	1AIN-6550-Z2ES
情報処理技術演習Ⅲ	3・4前	1AIN-6630-Z2E
情報処理技術演習Ⅳ	3・4後	1AIN-6640-Z2E

〈経営・会計〉

◎会計学	1前	1AMN-5200-12C
ｺﾏｰｽ論	2前	1AMN-5562-22E
経営組織論	2後	1AMN-5390-22E
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ会計	2後	1AMN-5600-22E
知的財産権	3・4前	1AMN-5980-Z2ET

⇒

専門応用
24単位以上

〈ネットワーク〉

科目名	授業を行う年次	番号
Webﾃﾞｻﾞｲﾝ	1後	1ENN-5050-12E
ｽｲｯﾁﾝｸﾞ技術	2前	1ENN-5862-22E
ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ技術	2後	1ENN-5873-22E
SNS活用と問題解決	2前	1ENN-5010-22E
ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ論	2後	1ENN-5070-22E
Webｼｽﾃﾑ	2前	1ENN-5060-22E
WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅠ	2後	1ENN-5082-22E
WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅡ	3・4前	1ENN-5093-Z2E
WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅢ	3・4後	1ENN-5104-Z2E
ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ構築	3・4通年	1ENN-6270-Z4ES
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ技術	3・4前	1ENN-5884-Z2E

〈データサイエンス〉

ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論	1前	1EDN-6490-12E
消費者行動論	1後	1EDN-5670-12E
経営分析	2前	1EDN-5400-22E
統計学	2後	1EDB-6082-22E
ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	2前	1EDN-6372-22E
多変量解析	3・4前	1EDN-6092-Z2E
ﾃﾞｰﾀ解析	3・4前	1EDN-6052-Z2E
ﾃﾞｰﾀﾓﾃﾞﾘﾝｸﾞ	3・4後	1EDN-6070-Z2E
統計ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	3・4後	1EDN-6120-Z2E
機械学習	3・4前	1EDN-5251-Z2E
人工知能	3・4後	1EDN-5262-Z2E

〈国際ビジネス〉

英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ	2前	1EGN-5030-22ES
英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ	2後	1EGN-5040-22ES
ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語	3・4前	1EGN-6280-Z2E

演習

〈プレゼミ〉

科目名	授業を行う年次	番号
ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ	1前	
ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅡ	1後	

⇒

〈ゼミナール基礎〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎基礎ｾﾞﾐ	2通年	
◎情報学基礎演習	2通年	

⇒

〈ゼミナール専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
◎専門ｾﾞﾐⅠ	3通年	
◎情報学専門演習Ⅰ	3通年	
◎専門ｾﾞﾐⅡ	4通年	
◎情報学専門演習Ⅱ	4通年	

特別実習・講義

〈特別実習・講義専門〉

科目名	授業を行う年次	番号
特別実習・講義「経営」	1～4	1SMN-6150-YYE
特別実習・講義「会計」	1～4	1SAN-6130-YYE
特別実習・講義「情報」	1～4	1SIN-6180-YYE

基礎総合科目

ナンバリング(Numbering)
1GGN-5470-12C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
建学の精神と人生	219～	1年生・前期	2単位	必修	副学長・担当教員

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	学生便覧の「建学の精神をたずねて」(2～3ページ)を読んでおくこと。 ※禁止事項:不必要な私語。正当な理由でない遅刻および許可のない入退室。携帯電話の使用。その他指定する事項。

授業概要 Course Outline

麻生学園の創立者 麻生繁樹先生は、建学の精神を 1.「至心」、2.「報恩感謝・慈愛と奉仕」3.「容(かたち)は心を呼び、心は容を呼ぶ」に定めた。これらの精神は、本学の教育・研究活動の根幹をなすものであるが、同時にわれわれすべてが日々の暮らしを営むにあたって従うべき行動準則となり、目標となりうるものである。本講義では、建学の精神がひとりひとりの人間存在そのものにとっていかなる意義を持ちうるのかというその根源的意味を探求していく。そして本学の由来や創立の経緯、麻生繁樹先生の軌跡や言葉を辿ることにより、建学の精神の背景や内容を考察していく。さらに、建学の精神と本学の教育・研究活動の関連性について説明する。また、建学の精神に則った学生生活のあり方について提唱する。さらに、太宰府や地域の歴史や事情を学ぶことにより、われわれと太宰府・地域との紐帯について自覚を学生に促していく。以上をもって、学生諸君が建学の精神を体得し、全人格的な人間性を備えた有為な社会人として世に貢献できるように、その素地を涵養していく。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

この授業の目標は以下の通りである。
①建学の精神 1.「至心」、2.「報恩感謝・慈愛と奉仕」、3.「容(かたち)は心を呼び、心は容を呼ぶ」の意味を理解できること。 ②太宰府・地域の歴史や諸事情を理解できること。
③大学生としてふさわしい生活態度、学習態度について理解できること。
④その他

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回の授業の内容に関して理解度を確認するために課題を出すので、Googleクラスルームの所定のページに提出すること。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員の研究室を確認すること。
授業についての問い合わせ等は、各教員のメールまたはGoogleクラスルームの所定のページを介して行うこと。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:ポートフォリオとルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出すること。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
プリントを配布する。			

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
幼児教育と親心	麻生繁樹	三晃書房	
新菅家御伝	味酒安則・村田眞理	太宰府天満宮文化研究所	
人物叢書 菅原道真	坂本太郎	吉川弘文館	
菅原道真	滝川幸司	中公新書	
大学的福岡・太宰府ガイド	西高辻・赤司・高倉 編	昭和堂	
日本古典文学大系72 菅家文草・菅家後集	川口久雄	岩波書店	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法:試験80%。平常点20%(毎回の授業のポートフォリオ(事前学習と事後学習)の提出、ルーブリックの提出、その他)。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	4月16日（火） 副学長 ①1回～15回の概要 ②日本の教育制度 ②大学の教育力 ③建学の精神・教育理念・校訓	
	事前学習（内容・時間）	学生便覧「建学の精神を訪ねて」を読み、本学の教育理念について理解を深めておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「大学で何を学び、何に挑戦するのか」まとめておく。（2時間）
第2回	4月23日（火） 副学長 いま大学で「学ぶ」ということ	
	事前学習（内容・時間）	あなたがこれまでに行った自由研究のテーマとその内容について200字程度にまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	大学で学びたいことについて200字程度にまとめる。（2時間）
第3回	4月30日（火） 学長 建学の精神 （至心・四恩の学び舎 について）	
	事前学習（内容・時間）	本学が公表している「至心」「四恩の学び舎」の意味を調べておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「至心」と関係する自らの行動について考察する。四恩の学び舎において自らが実践出来る事を考察する。（2時間）
第4回	5月7日（火） 学生部長 出身高校で多くの先生方から学んだ生きる力（誇り等）と4年後を見据えた学生生活の在り方について	
	事前学習（内容・時間）	出身高校3年間で学習や生活、特別活動において、自分自身が変化したと感じた強く印象に残る先生についてまとめておくこと。（その時の自分を変えた言葉や自分を奮い立たせた理由等）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	先生たちの思いで自身を変えるきっかけとなった瞬間の言葉、行動を、これからの学生生活にどのように生かしたいか（このことだけは続けたい等）まとめること。（2時間）
第5回	5月14日（火） 経営情報学科長 経営情報学と経営情報学科について	
	事前学習（内容・時間）	学生便覧、大学のパンフレット（大学HPにあるWebパンフレットをダウンロード）を読むこと（特に経営情報学科についての部分）。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	経営情報学科と情報ネットワーク学科との役割について考えてもらう。（2時間）
第6回	5月21日（火） 情報ネットワーク学科長 本学における情報教育のあり方について	
	事前学習（内容・時間）	学生便覧、大学のパンフレット（大学HPにあるWebパンフレットをダウンロード）を読むこと（特に情報ネットワーク学科についての部分）。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	身に着けたい情報技術を3点以上調べまとめて提出すること。（2時間）
第7回	5月28日（火） 国際交流センター長 国際社会の中の太宰府	
	事前学習（内容・時間）	プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成して提出すること。（2時間）
第8回	6月4日（火） 教務部長 「至心」の哲学的探求：麻生学園の創立者 麻生繁樹先生の思想その1	
	事前学習（内容・時間）	プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成して提出すること。（2時間）
第9回	6月11日（火） 教務部長 「至心」の哲学的探求：麻生学園の創立者 麻生繁樹先生の思想その2	
	事前学習（内容・時間）	プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成して提出すること。（2時間）
第10回	6月18日（火） 教務部長 「至心」の哲学的探求：麻生学園の創立者 麻生繁樹先生の思想その3	
	事前学習（内容・時間）	プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成して提出すること。（2時間）
第11回	6月25日（火） 教務部長 菅原道真と太宰府天満宮について その1	
	事前学習（内容・時間）	プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成して提出すること。（2時間）
第12回	7月2日（火） 教務部長 菅原道真と太宰府天満宮について その2	
	事前学習（内容・時間）	プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成して提出すること。（2時間）
第13回	7月9日（火） 教務部長 菅原道真と太宰府天満宮について その3	
	事前学習（内容・時間）	プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成して提出すること。（2時間）
第14回	7月16日（火） 教務部長 菅原道真と太宰府天満宮について その4	
	事前学習（内容・時間）	プリントを読んで、あなたが特に関心を持った点について明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業の内容に関する課題を作成して提出すること。（2時間）
第15回	7月23日（火）副学長・教務部長 まとめ、試験の説明等、その他	
	事前学習（内容・時間）	試験で出題されるであろう設問について予習し、不明な事項を明確にしておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ポートフォリオ＆ルーブリック作成と提出（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1GGN-5660-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
宗教学	共通	1年生・後期	2単位	選択	安達義弘

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし

履修の前提条件 Course Prerequisites	・事前に、「建学の精神（①至心、②報恩感謝・慈愛と奉仕、③容は心を呼び、心は容を呼ぶ）」を理解しておくこと。 ・なぜ宗教学を学ぶ必要があると思ったのかを考えておくこと。 ・ディスカッションには積極的に参加すること。（指名することもあります） ・授業中の私語は厳禁。

授業概要　Course Outline

・世界の主要な宗教（とくにユダヤ教、キリスト教、イスラム教）、および日本の宗教（とくに神道と仏教）を取り上げます。
・それらの宗教の起源と歴史、基本的な行動のパターン、および精神文化を比較しながら考察します。
・それによって、宗教の違いによって人の考え方や行動のパターンがどのように違うのかを考察します。
・そのような授業を通して、宗教を相対化する力、グローバル社会の中で生き抜く力、および社会人として必要な態度・志向性、豊な人間性を修得することを目指します。
・そして最後に、宗教学の視点から、本学の「建学の精神」の意味と意義について考察を深めます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・世界の主要な宗教の起源と歴史、基本的な行動のパターンやそれぞれの精神文化を理解し、説明できるようになります。
・日本の主要な宗教、とくに神道と仏教の起源と歴史、基本的な行動のパターンと精神文化を理解し、説明できるようになります。
・そのような学習を通じて、宗教を相対化する力、グローバル化社会の中で生き抜く力、および社会人として必要な態度・志向性を修得します。
・また、本学の「建学の精神」の理解を深めます。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・毎回の講義でカーボン・ノートに、講義中に考えたこと、興味や疑問を持った点、意見などを記入し、講義終了後に提出していただきます。
・重要と思われるテーマや受講生の多くが関心を持っているテーマについては、次回の授業で取り上げ解説し、必要に応じてディスカッションを行います。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡・問い合わせ・相談などは授業の前後に対応します。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

講義のカーボン・コピー・ノートを毎回の講義終了時に提出していただきます。
学習の確認については、ポートフォリオ＆ルーブリックのシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、最終講義時に提出していただきます。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
講義中に資料を配布します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
世界がわかる宗教社会学入門	橋爪大三郎	筑摩書房	978-4480422279
世界宗教大事典	山折哲雄（監修）	平凡社	4-582-13002-X
仏教文化事典	柳川啓一、他（監修）	佼成出版社	4-333-01355-0
原始仏典を読む	中村元	岩波書店	978-4-00－600317-3
『コーラン』を読む	井筒俊彦	岩波書店	4006002831

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験50%
レポート20%
平常点（カーボン・コピー・ノート、ポートフォリオ＆ルーブリック、ディスカッション）30%

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（講義の概要、受講上の注意、成績評価方法の説明）	
	事前学習（内容・時間）	宗教学とは何か、について自分なりの考え方をまとめておいてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	宗教学で、何に関心があるか、なぜ関心があるか、を書いてください。2時間
第2回	宗教と現代社会（現代社会での宗教と科学の関係、宗教が関係する出来事を取り上げます。）	
	事前学習（内容・時間）	宗教が関係する事件や出来事を調べてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	宗教はなぜ問題を引き起こすのかを、講義内容を中心にまとめてください。2時間
第3回	ユダヤ教（1）（ユダヤ教の起源とその社会背景について考察します。）	
	事前学習（内容・時間）	ユダヤ教に関係する出来事について調べてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	ユダヤ教がどのように成立したのか、授業内容を中心にまとめてください。2時間
第4回	ユダヤ教（2）（ユダヤ教の歴史について考察します。）	
	事前学習（内容・時間）	ユダヤ教の聖書の創世記の後半と出エジプト記を事前に読んでください。2時間
	事後学習（内容・時間）	ユダヤ教の精神文化について、講義内容を中心にまとめてください。2時間
第5回	ユダヤ教（3）（ユダヤ教の歴史と文化およびをキリスト教との異同を考察します。）	
	事前学習（内容・時間）	ユダヤ教のデアスポラ（離散）とシオニズム運動について調べてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	ユダヤ教の歴史の特徴について、講義内容を中心にまとめてください。2時間
第6回	キリスト教（1）（キリスト教の起源とその社会背景について考察します。）	
	事前学習（内容・時間）	イエス・キリストとはどのような人だったのかについて調べてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	キリスト教の起源とその社会背景について、講義内容を中心にまとめてください。2時間
第7回	キリスト教（2）（キリスト教の歴史と文化およびをユダヤ教との異同を考察します。）	
	事前学習（内容・時間）	キリスト教の三位一体説について調べてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	キリスト教とユダヤ教の異同について、講義内容を中心にまとめてください。2時間
第8回	キリスト教（3）（キリスト教の歴史および精神文化について考察します。）	
	事前学習（内容・時間）	キリスト教の現代社会における影響について調べてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	キリスト教と近代社会との関係について、講義内容を中心にまとめてください。2時間
第9回	イスラム教（1）（イスラム教の起源とその社会背景について考察します。）	
	事前学習（内容・時間）	イスラム教が関係する出来事について調べてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	ムハンマドはどのような人だったかについて、講義内容を中心にまとめてください。2時間
第10回	イスラム教（2）（イスラム教の歴史と文化をユダヤ教やキリスト教と比較しながら考察します。）	
	事前学習（内容・時間）	イスラム教においてジハード（聖戦）とは何か、について調べてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	イスラム教の歴史の特徴を、講義内容を中心にまとめてください。2時間
第11回	イスラム教（3）（イスラム教の分化的特徴について解説します。）	
	事前学習（内容・時間）	イスラム教の偶像崇拝の禁止とそれに関する出来事について調べてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	イスラム教の精神文化について、講義内容を中心にまとめてください。2時間
第12回	日本の宗教（1）（インドでの仏教の誕生とその発展の歴史を考察します。）	
	事前学習（内容・時間）	仏陀はどのような人だったか、を調べてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	初期仏教の歴史について、講義内容を中心にまとめてください。2時間
第13回	日本の宗教（2）（日本における仏教の導入とその特徴を考察します。）	
	事前学習（内容・時間）	神道とはどのような宗教か、について調べてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	神道と仏教の成立について、講義内容を中心にまとめてください。2時間
第14回	日本の宗教（3）（日本における仏教の歴史的展開とその特徴を考察します。）	
	事前学習（内容・時間）	神道と仏教の基本的な考え方について調べてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	神道と仏教の精神文化とその日本的特徴を、講義内容を中心にまとめてください。2時間
第15回	本学の「建学の精神」の考察（日本の宗教文化の視点から考察します。）	
	事前学習（内容・時間）	「建学の精神」について、事前に理解を深めておいてください。2時間
	事後学習（内容・時間）	本学の専門教育と「建学の精神」との関係についてまとめてください。2時間
第16回（定期試験）	講義内容の振り返りと確認のための筆記試験を行います。	

ナンバリング（Numbering）
1GGN-5850-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
心理学	219～	1年生・前期	2単位	選択	鈴木　和也

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	1．日常生活を心理学的な視点から理解しようとする意欲を持っていること。2．受講者は、日本心理学諸学会連合主催の心理学検定試験2級を受験すること。

授業概要　Course Outline

近年、インターネットなどの情報化の進展やグローバル化に伴い、私たちの生活は、利便性、効率性、多様性が高まっている。その反面、個人や社会的には、物質的な豊かさとは裏腹に心の貧しさを感じることも多くなってきている。本講義では、心理学を学ぶことで、本来の豊かで人間らしい高い生活の質(QOL)を持った人生送るために必要な、豊かな人間性と創造的かつ実践的な力を醸成していくための知識を身に付ける。
なお、カリキュラムポリシーⅣに基づき、学習にあたって、自らがたてた新たな課題や目標に即して、その課題や目標を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力も併せて養う。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

自分が自分自身に対し、現実から目をそらさずに積極的に向き合い、課題と取り組むための冷静さと積極性をもって日常を生きるヒントとなる知識や態度を心理学という学問・方法から出来るだけ多く学びとれること。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
・授業内で実施する小テストを活用し、授業内容の理解を深めるとともに授業への積極的な参加を促します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室（553）にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。（オフィスアワー以外で研究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください。）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価、教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
心理学・入門 心理学はこんなに面白い	サトウタツヤ・渡邊芳之　著	有斐閣	978-4-641-12430-1

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
基礎心理学Ⅰ　入門心理学	加藤義明　他著	八千代出版	978-4-8429-0648-5
はじめて出会う　心理学	長谷川寿一　他著	有斐閣	978-4-641-12345-8

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1.定期試験（80%）、2.小テスト（10%）、3.学修課題の提出（5%）、4.授業への取組み（5%）

授業計画 Course Schedule			
テーマ Theme			
第1回	授業概要（授業の進め方、評価について） 心理学とは		
	事前学習（内容・時間）	教科書1頁～6頁を確認する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第2回	心理学の基礎分野		
	事前学習（内容・時間）	教科書24頁～36頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第3回	学習		
	事前学習（内容・時間）	教科書38頁～50頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第4回	認知		
	事前学習（内容・時間）	教科書52頁～65頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第5回	神経・生理		
	事前学習（内容・時間）	教科書67頁～81頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第6回	個人差―パーソナリティ、知能		
	事前学習（内容・時間）	教科書84頁～98頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第7回	乳幼児期から児童期前半の発達と臨床		
	事前学習（内容・時間）	教科書99頁～117頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第8回	児童期後半（青年前期）・思春期・青年期の発達と臨床		
	事前学習（内容・時間）	教科書119頁～140頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第9回	成人期から老年（高齢）期の発達と臨床		
	事前学習（内容・時間）	教科書144頁～163頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第10回	社会・集団心理		
	事前学習（内容・時間）	教科書166頁～175頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第11回	対人関係とコミュニケーション		
	事前学習（内容・時間）	教科書178頁～189頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第12回	社会病理の心理学		
	事前学習（内容・時間）	配布資料「社会病理の心理学」を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第13回	スクールカウンセリング		
	事前学習（内容・時間）	教科書191頁～202頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第14回	福祉心理学		
	事前学習（内容・時間）	教科書205頁～215頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第15回	コンピュータと人間		
	事前学習（内容・時間）	配布資料「コンピュータと人間」を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験の実施 （まとめと振り返りを行う。）		

ナンバリング(Numbering)
1GGN-6400-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
文学	共通	1年生・前期	2単位	選択	進藤　康子

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①日本の文学に関心を持っていること。 ②各作品のあらすじ、現代語訳を事前に予習して読んでおくこと。

授業概要　Course Outline

本科目は、本学の建学精神である『至心』の「暖かく豊かな人間性」を磨くことを基本理念に、1親、祖先の御恩　2教師、先生への御恩　3社会、国家の御恩、4神、仏の御恩に報いられる人間づくりの教育を目標としている。授業内容は、次のとおりである。①世界中で翻訳されている日本の古典小説『雨月物語』九話のうち、二話を取り上げ学習する。中国の怪異小説を翻案したことで有名だが、日本の伝統、古典、文化をも融合させ、再構築した構成要素を、わかりやすく、楽しく解説する。現代人に通じる人間の強さ弱さ、優しさ、醜さ、善悪など、豊かな感性を磨き、心の変化とその本質を洞察できる力、未来に向かっての人間理解力を身につけるよう指導する。留学生にもわかりやすく、この世界的に有名な日本の小説を紹介する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

この授業の目標は次の3つ。第1に怪異小説『雨月物語』の内容を理解し、人間の心理の動きを味わう。第2に人の心の美しさや恐ろしさの裏にある人間の本質を解き明し、現代に通じる問題解決力を見いだすことができるようになること。第3に『雨月物語』と原話の中国白話小説を比較することにより、日本独自の表現方法や特徴、作者の文学理念が理解できるようになること。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業の内容に関して、受講者が自主的に、事前に調べて、興味のあるテーマを設定し、レポートメモを作成する。レポートメモから、レポートを作成する。常に対話型の授業をし、学生からの積極的な発言や質問、提案などを自由に発信、発表できるようにする。作品別に感想文を作成し、グループ内での討論会を実施する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談、質問は、授業の終わりに随時受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：該当なし。学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し提出。毎回、クラスルームにても受け付ける。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
雨月物語	上田秋成	角川文庫ソフィア	

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
マンガ日本の古典『雨月物語』	木原敏江	中公文庫	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：定期試験70%　平常点30%（出席・レポート・デイスカッション・受講態度など）
成績評価の基準：小説の内容を理解しているか。人間の心の美しさや恐ろしさにある心の本質を解き明し、現代に通じる人間理解への洞察力を身につけたか。日本独自の表現方法や特色を理解できたか。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業の方針、オリエンテーション。日本の文学と雨月物語についてプリント1	
	事前学習（内容・時間）	日本の古典文学と雨月物語について基礎調査をしてくる。
	事後学習（内容・時間）	プリント1を熟読する。
第2回	江戸時代の文学について。雨月物語について　プリント2	
	事前学習（内容・時間）	江戸時代の小説と雨月物語について調査をする。
	事後学習（内容・時間）	江戸時代の文学について。雨月物語について　プリント2を熟読する。
第3回	作者上田秋成の人物と思想について　プリント3。　第一回「理解度チェック」ミニテスト	
	事前学習（内容・時間）	上田秋成の人物と思想について調べてくる。
	事後学習（内容・時間）	作者上田秋成の人物と思想について　プリント3を熟読する。
第4回	雨月物語の「青頭巾」解釈①、プリント4「中国の怪異小説と日本文学」について。	
	事前学習（内容・時間）	「中国の怪異小説」について調査をしてくる。
	事後学習（内容・時間）	雨月物語の「青頭巾」プリント4「中国の怪異小説と日本文学」について熟読する。
第5回	雨月物語の「青頭巾」解釈②、プリント5「翻案小説」について	
	事前学習（内容・時間）	「翻案小説」について調べてくる。
	事後学習（内容・時間）	雨月物語の「青頭巾」プリント5「翻案小説」について熟読する。
第6回	雨月物語の「青頭巾」③、プリント6「寓意」について	
	事前学習（内容・時間）	「寓意」について調べてくる。
	事後学習（内容・時間）	雨月物語の「青頭巾」プリント6「寓意」について熟読する。
第7回	雨月物語の「青頭巾」解釈④、とプリント7「白話小説」について	
	事前学習（内容・時間）	「白話小説」について調べてくる。
	事後学習（内容・時間）	雨月物語の「青頭巾」プリント7「白話小説」について熟読する。
第8回	雨月物語の「青頭巾」解釈⑤、プリント8　第二回「理解度チェック」ミニテスト	
	事前学習（内容・時間）	雨月物語の「青頭巾」の解釈をまとめてくる。
	事後学習（内容・時間）	雨月物語の「青頭巾」　プリント8　まとめを熟読する。
第9回	雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈①、とプリント9「もののけ」について	
	事前学習（内容・時間）	「もののけ」について調査をしてくる。
	事後学習（内容・時間）	雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈1とプリント9「粋」「もののけ」についてを熟読する。
第10回	雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈②、プリント10「水滸伝」について	
	事前学習（内容・時間）	「水滸伝」について調べてくる。
	事後学習（内容・時間）	雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈2とプリント10「水滸伝」について熟読する。
第11回	雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈③、プリント11「白話語とルビの意味」について	
	事前学習（内容・時間）	「白話語とルビの意味」について調査をしてくる。
	事後学習（内容・時間）	雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈3とプリント11「白話語とルビの意味」について熟読する。
第12回	雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈④、プリント12　第三回「理解度チェック」ミニテスト	
	事前学習（内容・時間）	雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈を熟読する。
	事後学習（内容・時間）	「理解度チェック」ミニテストを復習してくる。
第13回	雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈⑤、プリント13「源氏物語」について	
	事前学習（内容・時間）	「源氏物語」を調べてくる。
	事後学習（内容・時間）	雨月物語の「夢応の鯉魚」解釈5とプリント13「源氏物語」について熟読する。
第14回	「青頭巾」と「夢応の鯉魚」のまとめ、プリント14　質問タイム。自分のテーマを決定し、レポート準備。	
	事前学習（内容・時間）	「青頭巾」と「夢応の鯉魚」の質問をまとめてくる。
	事後学習（内容・時間）	青頭巾」と「夢応の鯉魚」のあらすじをまとめる。
第15回	マンガで読む『雨月物語』プリント15　レポートメモを作成し、デイスカッションする。	
	事前学習（内容・時間）	レポートメモ（主張を箇条書きにする）を書いてくる。
	事後学習（内容・時間）	レポートメモを、レポートにまとめる。
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1GGN-6260-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
日本文化論	～222	1年生・後期	2単位	選択	進藤　康子

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	日本の文化について関心を持っていること。日本語で日常会話が理解できること。授業中のディスカッションには積極的に参加すること。私語、遅刻厳禁です。

授業概要　Course Outline

留学生にも親しみやすい資料を用い、なるべく平易に解説する。授業の前に課題や問題点を調べておく。授業が終わってから自分の意見をまとめレポートを出すことを課する。①浮世絵などの「絵画資料」②ヨーロッパでのジャポニズム（ゴッホ・モネ・ルノアール・ゴーギャン）③「ひらがな・漢字・カタカナの歴史と成り立ち」を学ぶ。④和歌や俳句を実作指導する。日本文化を体感し、より深い理解に到達できるようになる。⑤「武道」「神道」「茶道」「香道」「書道」を担当を決めて発表することにより、「道」の文化の精神性を、より身近に具体的に理解できるようになる。⑥　江戸時代のマンガ（北斎漫画）や浮世絵など。⑧万葉集・源氏物語・雨月物語⑨日本独自の趣のある文化を時間軸に沿いながら総合的に学ぶことにより、日本人としてのアイデンティティーの確立と、建学の精神『至心』の根本理念に基づき、現代にもつながる日本文化の精神性への理解ができるようになる。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

日本の伝統文化、および歴史への考察を深め、正しく理解するために、この学科では、歌舞伎や浮世絵や、江戸時代の実物のカルタ遊びや、「茶道」、「書道」、「武士道」、「香道」、「忍者」、「和食」など「道」の文化の精神性について学ぶ。日本文化の根底にある、八百万神への畏敬の念を、留学生にもわかる様にかみ砕いて教えることにより、より的確に日本文化を理解できるようになることを目指している。又、百人一首や、福岡（博多）の歌人大隈言道の和歌を学び、和歌、俳句を実作することにより、言語感覚と、リズムを体感し、かつ、日本文化の「雅と俗」の基礎知識、建学の精神『至心』などへの理解をすることができる。江戸時代の漫画、現代につづくマンガについても採り上げ、浮世絵の歴史にも言及する。ヨーロッパにおける日本文化の評価の高さは、江戸時代の浮世絵になど関するジャポニズムの流行を知ることにより更に理解が深まる。これらの日本文化の質の高さを知ることにより、学生のアイデンティティーの確立に寄与するものとなることをも目指している。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学生が自主的にテーマを設定して、レポートを作成してもらいます。対話型の授業を心がけています。学生から積極的に自分の考えを発言することを期待します。毎回の授業の終わりには、コメントカード、ミニレポートの作成・提出をお願いします。感じたことや意見などを自由に書いてください。　教室内の学習30時間→1コマ2時間（90分）×15週，　授業時間外学習60時間→事前学習2時間+事後学習2時間×15週

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談、質問は随時授業の終わりに受け付ける。また、ミニレポート提出先でも受け付ける。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

ポートフォリオの作成と提出をお願いします。履修の目的、毎回の授業の内容、予習、復習、自己評価を記入し、授業第7回目の終わりと第15回目の終わりに提出してください。提出先は、ミニレポート提出と同じです。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プリントを配布する			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
日本文学の歴史9 和歌文学大系　74　草径集	ドナルド・キーン 進藤　康子	中央公論社 明治書院	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

平常点（10%）レポート（10%）定期試験（80%）。平常点は、科目別履修状況チェック表の提出状況、授業の中で行うディスカッションの様子、積極的な発言、提案、質問の様子で判断する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション （授業の概要・授業の方針・受講上の諸注意などを説明する）	
	事前学習（内容・時間）	日本文化で興味のあるものは何かを自分で考え、いくつか見つけてくる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業の概要・授業の方針を復習する。ポートフォリオを作成する。以後毎回。（2時間）
第2回	日本文化と伝統的年中行事　１ （日本文化の概観と世界の中の日本文化の特色の説明をする）	
	事前学習（内容・時間）	日本の伝統文化といえば、代表的なものは何かをいくつか調べて200字でまとめる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	年中行事について復習し、授業で習ったことと自分の感想をミニレポートを提出する（2時間）
第3回	日本文化と伝統的年中行事　２　（月の異称について説明する。）	
	事前学習（内容・時間）	日本の伝統的な年中行事を調べ、それはどんな願いが込められているか考えてくる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	年中行事と月の関係など授業で習ったことを200字でミニレポートに提出する。（2時間）
第4回	日本文化と絵画資料１（まんが資料・鳥獣戯画などを説明する）	
	事前学習（内容・時間）	日本のまんがで、あなたが好きなものは何か。また、北斎漫画についても調べてくる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	日本のまんがの歴史をまとめて、さらに興味をもったことは調べて、ミニレポート提出する。（2時間）
第5回	日本文化と絵画資料２（浮世絵・ジャポニズムについて説明する）	
	事前学習（内容・時間）	浮世絵について調べて200字でまとめておく。授業中に発表する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ジャポニズムとは何か。授業で習ったことを200字でまとめ、自分の感想も加えて。ミニレポート提出する。（2時間）
第6回	日本文化と絵画資料３（カルタ遊び・百人一首について説明する）	
	事前学習（内容・時間）	日本のカルタ遊びとは何か。また百人一首の歌を一首調べて意味を書いてくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	百人一首かるたについて、授業で習ったことを200字で、ミニレポート提出する。（2時間）
第7回	日本文化と演劇・芸能 （歌舞伎・人形浄瑠璃文楽を説明する）	
	事前学習（内容・時間）	歌舞伎とはどんなものが調べて100字にまとめておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ポートフォリオを提出する。（2時間）
第8回	いろは歌「いろはにほへと」、50音図「あいうえお」 の歴史を説明する。	
	事前学習（内容・時間）	「いろは」うたについて調べてくる。疑問点をまとめておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「はひふへほ」と「ぱぴぷぺぽ」の歴史をまとめて、ミニレポート提出する。（2時間）
第9回	俳句の実作（松尾芭蕉・小林一茶・仙涯　などの楽しい俳句を紹介する）	
	事前学習（内容・時間）	俳句とは何かを調べて100字でまとめておく。また、有名な俳句を一句調べてくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自分のオリジナルで、季節の俳句を作って、ミニレポート提出する。（2時間）
第10回	和歌１　和歌の実作（万葉集・古今集などの歌）と大宰府の歴史（梅花の宴「の坂本神社など）	
	事前学習（内容・時間）	和歌とは何かを調べて100字でまとめておく。第6回の「百人一首」の復讐をしておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	和歌のすばらしさを200字でまとめ、また、和歌を一首作って、ミニレポート提出する。（2時間）
第11回	和歌２　歌人、大隈言道（おおくまことみち）と、橘曙覧（たちばなあけみ）の和歌について鑑賞する。	
	事前学習（内容・時間）	前回の授業の和歌についての疑問点、質問店をまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	橘曙覧「たのしみは」で始まる和歌にならって、「たのしみは」の和歌を作る（2時間）
第12回	日本を代表する物語、 源氏物語、雨月物語について解説する	
	事前学習（内容・時間）	源氏物語、雨月物語について調べて、200字でまとめておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で習った源氏物語、雨月物語の特色を200字でミニレポート提出する。（2時間）
第13回	神道・茶道・華道・弓道・香道・武道・書道　など「道」の文化の根本理念と建学の精神について説明する。	
	事前学習（内容・時間）	神道・茶道・華道・弓道・香道・武道・書道のうち、自分の興味がある「道」を選んで調べる。
	事後学習（内容・時間）	授業で習った「道」について200字でまとめてミニレポート提出する。（2時間）
第14回	2回～13回までの授業の中で習たことについての復讐とミニテスト	
	事前学習（内容・時間）	2回～13回までの授業の中での振り返りテストのための質問を考えてくる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	復讐テストのやり直しをしてメール送付すること。（2時間）
第15回	レポートを発表し、内容についてデイスカッションする。定期試験に向けての学習と質問を受ける。	
	事前学習（内容・時間）	自分のテーマのレポートをまとめ、発表の練習をしておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	定期テストのための勉強をして準備をする。建学の精神、親への恩、師への恩、社会への恩、国への恩、そして、日本の伝統文化を享受できる事に対する平和への恩についても討議する。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験を行う。	

ナンバリング(Numbering)
1GGN-6710-12CT

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報倫理 (教職関連科目 必 高等学校 情報)	共通	1年生・後期	2単位	必修	丹羽 崇之

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	新聞の切り抜きなどを続けて、情報社会、メディアの動向に注意すること。

授業概要 Course Outline

情報通信技術の発達により、利便性は飛躍的に向上した。一方で、大規模な情報漏洩やサイバー攻撃、個人情報の不正利用、プライバシー侵害など、犯罪や権利侵害も深刻になっている。豊かで安心して暮らせる社会を目指すためには、情報に関するモラルやルールを構築することは極めて重要である。この授業では、情報社会を構成する個人として、情報倫理の知識を身につけ、自ら考え行動する力を養う。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

建学の精神をふまえ、情報社会の構成員として情報倫理の知識を十分に修得し、責任ある行動ができる。また、自分にかかわる人々の権利・利益を守ることができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

情報とモラルをめぐる事例を取り上げ、ディスカッションする。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問は授業の前後のほか、オフィスアワーを積極的に活用してほしい。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

情報学系の科目に加え、「知的所有権」、「法学」、「日本国憲法」、「民事法」、「会社法」などの法学系科目を受講することにより、理解を深めてもらいたい。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
『情報倫理〔改訂3版〕』	高橋・原田・佐藤・岡部	技術評論社	978-4297134150

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
『情報社会と情報倫理』	梅本吉彦【編著】	丸善出版	978-4621304686

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

平常点(ディスカッションへの参加や小テスト)30点、筆記試験70点により総合的に評価する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	はじめに	
	事前学習（内容・時間）	「情報社会」にはどのような問題があるのか、新聞などで調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	配付資料を読み返し、学んだこと、理解したことをまとめる（2時間）
第2回	情報倫理について	
	事前学習（内容・時間）	教科書第１章を読み、「倫理」の意味と「情報倫理」の範囲を調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書と配付資料を読み返し、「情報倫理」の重要性を確認する（2時間）
第3回	情報社会について	
	事前学習（内容・時間）	教科書第2章を読み、「情報社会」の歴史を調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書と配付資料を読み返し、「情報社会」の特性を確認する（2時間）
第4回	ネット時代のコミュニケーション	
	事前学習（内容・時間）	教科書第3章を読み、情報化に伴うコミュニケーション手段の変遷について調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書および講義内容について復習をし、第3章の内容を整理する（2時間）
第5回	メディアの変遷について	
	事前学習（内容・時間）	教科書第4章を読み、「メディア」の歴史について調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書と配付資料を読み返し、現代における「倫理」の重要性を確認する（2時間）
第6回	メディア・リテラシー	
	事前学習（内容・時間）	教科書第5章を読み、「メディア・リテラシー」の定義について調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書と配付資料を読み返し、「メディア・リテラシー」の重要性を確認する（2時間）
第7回	情報技術とセキュリティ	
	事前学習（内容・時間）	教科書第6章を読み、情報技術とセキュリティについて調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書および講義内容について復習をし、第6章の内容を整理する（2時間）
第8回	インターネットと犯罪	
	事前学習（内容・時間）	教科書第7章を読み、インターネットと犯罪について調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書および講義内容について復習をし、第7章の内容を整理する（2時間）
第9回	個人情報とプライバシー	
	事前学習（内容・時間）	教科書第8章を読み、「個人情報」「プライバシー」の意味を調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書と配付資料を読み返し、「個人情報保護」の重要性を確認する（2時間）
第10回	知的所有権とコンテンツ	
	事前学習（内容・時間）	教科書第9章を読み、「知的所有権」の意味と種類を調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書と配付資料を読み返し、「知的所有権」の保護について確認する（2時間）
第11回	企業と情報倫理	
	事前学習（内容・時間）	教科書第１０章を読み、情報に関する企業の社会的責任について調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書と配付資料を読み返し、企業の関係者が守るべき倫理について確認する（2時間）
第12回	ビッグデータとAIの倫理	
	事前学習（内容・時間）	教科書第１２章を読み、ビッグデータとAIについて調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書および講義内容について復習をし、１２章の内容を整理する（2時間）
第13回	デジタルデバイドとユニバーサルデザイン	
	事前学習（内容・時間）	教科書第１３章を読み、ユニバーサルデザインについて調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書および講義内容について復習をし、１３章の内容を整理する（2時間）
第14回	ソーシャルネットワークサービスと情報モラル	
	事前学習（内容・時間）	教科書第１４章を読み、ソーシャルネットワークサービスについて調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書および講義内容について復習をし、１４章の内容を整理する（2時間）
第15回	情報通信社会とリテラシー	
	事前学習（内容・時間）	教科書第１５章を読み、情報リテラシーとメディアリテラシーについて調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書および講義内容について復習をし、１５章の内容を整理する（2時間）
第16回（定期試験）	筆記試験	

ナンバリング(Numbering)
1GGN-6450-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
法学	共通	1年生・前期	2単位	選択	丹羽 崇之

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	日頃から新聞をよく読んでおくこと。

授業概要 Course Outline

現代社会は社会的・経済的諸活動などあらゆる生活領域が法的関係に取り囲まれている。とりわけ、経営・情報などの分野では多様かつ複雑な法的問題に触れる機会も多く、これらの分野の従事者は法的なものの見方、リーガルマインドの涵養が要請される。そこで、本科目では、建学の精神をふまえ、これからの個別領域での法律学の習得のための端緒としてその導入部的理解を進めた上で、適宜経営・情報等の分野での事例を素材としながら、法学の基礎を学ぶ。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

本科目は、以下の授業計画にしたがって法学領域全般にかかわる基礎的理解を得ることにより、「法的なものの考え方」・「リーガルマインド」習得のための第一歩を踏み出し、法学部門で中心的領域を占める憲法・刑法・民法など各法令の特質と相違の概略を知ることにある。そのうえで、この科目を出発点とし、今後の各種法分野の知見を習得し、研修を重ねることにより、リーガルマインドが涵養されることとなる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

事例をあげながら、学生諸君に適用法令、法律関係を考えてもらう。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問等は、授業の前後の時間やオフィスアワーを積極的に利用してもらいたい。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

欠席した場合には、その回の学習課題を提出してもらう。(提出しない場合は、定期試験の受験を認めない。)

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
法の世界へ 第9版	池田真朗・犬伏由子他	有斐閣	978-4-641-22212-0

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
ポケット六法 令和6年版	佐伯・大村編	有斐閣	978-4-641-00924-0
法律学小辞典	高橋和之他	有斐閣	978-4641000292

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

平常点(ミニテスト、レポート)30%、定期試験70%により総合評価する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス　法の学び方	
	事前学習（内容・時間）	法とは何かについて調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	法とは何かについて復習する（2時間）
第2回	日常生活と契約（1）	
	事前学習（内容・時間）	教科書第１章１～3を読み、契約総論について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第１章１～3を読み返し、契約総論について復習する（2時間）
第3回	日常生活と契約（2）	
	事前学習（内容・時間）	教科書第１章４～５を読み、各種の契約について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第１章４～５を読み返し、各種の契約について復習する（2時間）
第4回	日常生活とアクシデント（1）	
	事前学習（内容・時間）	教科書第２章１～２を読み、不法行為について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第２章１～２を読み返し、不法行為について復習する（2時間）
第5回	日常生活とアクシデント（2）	
	事前学習（内容・時間）	教科書第２章３～４を読み、特殊の不法行為について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第２章３～４を読み返し、特殊の不法行為について復習する（2時間）
第6回	雇用社会のルール（1）	
	事前学習（内容・時間）	教科書第３章１～２を読み、雇用社会について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第３章１～２を読み返し、雇用社会について復習する（2時間）
第7回	雇用社会のルール（2）	
	事前学習（内容・時間）	教科書第３章３～４を読み、労働法について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第３章３～４を読み返し、労働法について復習する（2時間）
第8回	家族関係（1）	
	事前学習（内容・時間）	教科書第４章１～２を読み、家族法について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第４章１～２を読み返し、家族法について復習する（2時間）
第9回	家族関係（2）	
	事前学習（内容・時間）	教科書第４章３～４を読み、相続法について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第４章３～４を読み返し、相続法について復習する（2時間）
第10回	企業と法（1）	
	事前学習（内容・時間）	教科書第５章１～３を読み、会社法について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第５章１～３を読み返し、会社法について復習する（2時間）
第11回	企業と法（2）	
	事前学習（内容・時間）	教科書第５章４～６を読み、コーポレート・ガバナンスについて考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第５章４～６を読み返し、コーポレート・ガバナンスについて復習する（2時間）
第12回	紛争の解決（1）	
	事前学習（内容・時間）	教科書第６章１を読み、紛争と法について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第６章１を読み返し、紛争と法について復習する（2時間）
第13回	紛争の解決（2）	
	事前学習（内容・時間）	教科書第６章２～３を読み、訴訟手続きについて考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第６章２～３を読み返し、訴訟手続きについて復習する（2時間）
第14回	憲法（1）人権	
	事前学習（内容・時間）	教科書第７章１～７を読み、人権について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第７章１～７を読み返し、人権について復習する（2時間）
第15回	憲法（2）統治	
	事前学習（内容・時間）	教科書第７章８～１４を読み、統治について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第７章８～１４を読み返し、統治について復習する（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1GGN-6240-12ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
日本国憲法（教職関連科目 必 高等学校 情報）	共通	1年生・後期	2単位	選択	吉野　正

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし

履修の前提条件 Course Prerequisites	前期の法学を履修済みであることが望ましい。また、日本社会に関心をもっていること。

授業概要　Course Outline

めまぐるしく発展する現代社会の中で生じてきた憲法のさまざまな論点を理解することを通じて、憲法の基本的な知識としくみについて解説します。この講義では、特に日本国憲法において実際の社会で生じた具体的な事件に焦点を当てながら皆さん自身の立場や価値観を見つめなおす機会にしてもらいたいと思います。
教職課程を目指す受講者には、教育者として学生のもつ人権に配慮することの意味と役割について理解することができるようになることを求めます。
なおこの講義は、建学の精神・ディプロマポリシーに基づき、弁護士として実際に勤務している教員が担当します。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	弁護士実務50年の経験の中で多くの憲法事案を取り扱ってきた。	実際に憲法が適用される事例をあげて、憲法の考え方を教示する。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

以下の3点を授業の目標とします。
①日本国憲法の基礎知識・用語法を習得し、説明できること
②日本国憲法をめぐって生じた争いや具体的な事件の背後にある立場や考え方の違いを説明できること
③日本国憲法の学説や判例の立場の違いを理解したうえで自分自身の立場を明確にしながら説明できること

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回、講義においてかなりの文章量を小レポートとして書くように求めます。日本国憲法の裁判例では意見や立場の違いから争いがしばしば生じますが、受講生には自分としてはどちらが正しいのかを主張してもらい、その主張に対する理由づけをしてもらうつもりです。このことには受講生の能動的な参加が不可欠です。積極的に取り組んでください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

講義の開始前後を使って質問などは受け付けます。時間がない場合などはコメントカードを通じて質問の受付を行う予定です。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出（学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

講義は板書を用いて行いますので、初回からノートを必ず持参してください。
また、初回のガイダンスにおいて教員作成の毎回の学習確認のチェックリストを配布します。そこに毎回の予習・復習の範囲を書いていますので、必ず初回のガイダンスには出席してください。
ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
目で見る憲法【第5版】	初宿正典ほか	有斐閣	978-4-641-22735-4

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配布します			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験（授業内容15回分に関して到達目標①と②の観点から出題）…70%
毎回の小レポート（到達目標③の観点から出題、1回2点×15回）…30%

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	憲法と法律のちがい	
	事前学習（内容・時間）	憲法と法律のちがいを教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第2回	日本国憲法の成立史	
	事前学習（内容・時間）	憲法の成立史を教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第3回	日本国憲法の基本原理、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義	
	事前学習（内容・時間）	3原理を教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第4回	国民主権と天皇制	
	事前学習（内容・時間）	天皇制を教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第5回	平和主義	
	事前学習（内容・時間）	憲法前文を5回読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第6回	基本的人権　幸福追求権	
	事前学習（内容・時間）	憲法11条から13条まで考えておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第7回	基本的人権　法の下の平等	
	事前学習（内容・時間）	平等と自由の違いを教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第8回	精神的自由権	
	事前学習（内容・時間）	表現の自由を教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第9回	経済的自由権	
	事前学習（内容・時間）	営業の自由を教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第10回	社会権（生存権と教育を受ける権利）	
	事前学習（内容・時間）	ストライキ権を教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第11回	参政権	
	事前学習（内容・時間）	一票の価値の不平等について教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第12回	民主政治のしくみ　立法（国会）	
	事前学習（内容・時間）	何故二院があるのか教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第13回	行政（内閣）	
	事前学習（内容・時間）	内閣総理大臣の選任手続きについて教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第14回	司法（裁判所）	
	事前学習（内容・時間）	違憲審査権について教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第15回	地方自治	
	事前学習（内容・時間）	県知事と県議会の関係について教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験など	

ナンバリング（Numbering）
1GGN-5650-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
社会学	219～	1年生・後期	2単位	選択	平田 毅

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	自己と、自己をとりまく他者（＝社会）について、自ら洞察し「考えよう！」とする姿勢と好奇心をもっていること。

授業概要　Course Outline

この授業では、現代社会の諸事象について社会学的に考察していきます。その際、最も大切なことは、自らの生活感覚（リアル）と重ね合わせて理解し検証することです。つまり自ら論理的に「考える」ことです。
そこでこの授業では、現代社会について、都市化、消費文化、情報化の3つの領域をとりあげ、それぞれの観点を通して現代社会のあり方を考察していきます。
なお,本授業はディプロマポリシーのVに基づき、「社会の様々な事象について、複眼的な知識・理解や汎用的技能を獲得し、それらを総合的に活用して、自らが立てた新たな課題に適用させることにより、その課題を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力を修得」するための一助として位置づけられています。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・現代社会に生起する諸事象の文化的特質と構造を理解し、それを自らのリアリティと重ねて検証することができる。
・レポート作成や定期試験、授業での討議活動などを通して、自らの「考え」を社会学的に根拠づけて論理的に展開できる力を養う。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

基本的には対話型の授業スタイルで学習を進めていきます。授業時間中の私の問いかけには主体的に応えてください。みなさんから質問や疑問点がある場合も適宜発話してください。相互のコミュニケーションを通して学習を深められることを期待しています。
必要に応じて、全体もしくはグループでの討論・討議を通した授業も実施します。自ら考え、積極的に発言することで、みんなで学ぶ場を豊かにしていってください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業終了後に私に声を掛けるか、もしくは研究室を訪ねてください。
オフィスアワーの時間は、掲示案内を参照してください。
メールアドレス：t-hirata@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出（学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

GoogleClassroomを活用して「学び」の構築を図ります。
毎授業時間に「社会学『学び』のまとめシート」を記入し、今日の学びを振り返ってもらいます。しっかり、文章で記入するようにしてください。
また、この授業では、学びの足跡を定着させるために、各自で「ノート」の作成することを重視しています。それぞれが自分の「社会学のノートをつくる」ことを念頭に置いて取り組んでください。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料等を配布します			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
放課後の社会学	大多和直樹	北樹出版	978-4-7793-0427

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

論述式の期末試験の成績（80%）をベースに、
プレレポート（10%）・「学び」の記録＆振り返りシート（10%）などを加味し、
総合的に評価します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	社会学概論(1) 社会学一歩前（授業ガイダンス、「社会学」とはどんな学問だろう？　社会学で学ぶこと）	
	事前学習 (内容・時間)	シラバスを読む。「社会学」という学問領域についてネット等で下調べをしておく。[2h]
	事後学習 (内容・時間)	「振り返りシート」の記入。プレレポートのテーマに即して作成の構想を練る。[2h]
第2回	社会学概論(2) 社会学 はじめの一歩（「社会」とは何か？「社会」研究・2つのアプローチ、社会学の方法論）	
	事前学習 (内容・時間)	プレレポートを作成する。[2h]
	事後学習 (内容・時間)	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]
第3回	マックス･ウェーバーの社会学（方法論的個人主義、社会的行為と行為連関）	
	事前学習 (内容・時間)	提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。(予習)[2h]
	事後学習 (内容・時間)	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]
第4回	現代社会を読み解く(1)　都市社会としての現代社会① 都市とは何か、「都市」の社会学的定義	
	事前学習 (内容・時間)	提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。(予習)[2h]
	事後学習 (内容・時間)	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]
第5回	現代社会を読み解く(2)　都市社会としての現代社会② 都市と村落の比較、都市/村落二分法	
	事前学習 (内容・時間)	提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。(予習)[2h]
	事後学習 (内容・時間)	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]
第6回	現代社会を読み解く(3)　都市社会としての現代社会③ ゲマインシャフトからゲゼルシャフト　近代的価値原理としての都市文化	
	事前学習 (内容・時間)	提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。(予習)[2h]
	事後学習 (内容・時間)	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]
第7回	現代社会を読み解く(4)　都市社会としての現代社会④ 都市化とアーバニズム　都市文化の特徴	
	事前学習 (内容・時間)	提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。(予習)[2h]
	事後学習 (内容・時間)	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]
第8回	現代社会を読み解く(5)　都市文化の浸透と消費文化の興隆① 都市文化のスペクタクル　祝祭空間としての都市	
	事前学習 (内容・時間)	提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。(予習)[2h]
	事後学習 (内容・時間)	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]
第9回	現代社会を読み解く(6)　都市文化の浸透と消費文化の興隆② 百貨店と都市･消費文化の形成	
	事前学習 (内容・時間)	提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。(予習)[2h]
	事後学習 (内容・時間)	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]
第10回	現代社会を読み解く(7)　記号的消費と消費社会① 消費社会とは何か　記号消費の時代	
	事前学習 (内容・時間)	提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。(予習)[2h]
	事後学習 (内容・時間)	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]
第11回	現代社会を読み解く(8)　記号的消費と消費社会② ボードリヤールの消費社会論　記号化する社会・情報化する社会	
	事前学習 (内容・時間)	提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。(予習)[2h]
	事後学習 (内容・時間)	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]
第12回	現代社会を読み解く(9)　情報社会としての現代社会① 情報化と情報社会(IT化の進展と情報文化)	
	事前学習 (内容・時間)	提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。(予習)[2h]
	事後学習 (内容・時間)	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]
第13回	現代社会を読み解く(10)　情報社会としての現代社会② ICT化の進展とコミュニケーションの変容	
	事前学習 (内容・時間)	提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。(予習)[2h]
	事後学習 (内容・時間)	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]
第14回	現代社会を読み解く(11)　グルーバル化する現代社会 グローバル化する社会、ローカル化する社会、地球規模化のなか社会と文化の行方	
	事前学習 (内容・時間)	提示された次時授業のキーワードについて下調べをする。(予習)[2h]
	事後学習 (内容・時間)	「振り返りシート」の記入。配布資料の見直しとノートの整理を行う。(復習)[2h]
第15回	まとめ 現代の社会を生きるために、「社会学する」ということ	
	事前学習 (内容・時間)	これまでの授業のキーワードを復習し、授業全体を振り返っておく。(予習)[2h]
	事後学習 (内容・時間)	これまでの配付資料とノートを見直し・整理し総復習をする。[2h]
第16回 (定期試験)	論述問題にて出題します。	

ナンバリング(Numbering)
1GGN-5890-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
政治学	223～	1年生・後期	2単位	選択	坂上　宏
	219～	1年生・前期			

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①政治学や政治思想について関心を持っていること。 ②下記の参考書のうちでいずれかに目を通しておくことが望ましい。 ※禁止事項：不必要な私語。正当な理由でない遅刻および許可のない入退室。携帯電話の使用。その他指定する事項。

授業概要　Course Outline

近代西欧において、個人の諸権利の擁護を目的とした民主主義思想が生まれ、さらに自律的な人格を目指す近代的自我の思想が確立しました。本講義では主としてホッブズ、ロック、ルソーの思想をとりあげて、このような近代民主主義思想の主軸をなす社会契約論と「独立した個人」のあり方について講義します。なおこの授業は、主として本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」およびカリキュラムポリシー「Ⅰ　建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「Ⅲ　社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」に則り行われるものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

近代西欧思想の歴史に燦然とそびえ立つホッブズ、ロック、ルソーの思想の学習を通して、受講者が近代民主主義思想の特質とその歴史的背景、および個人の主体性と道徳的自由の意味について理解できるようになることを目指しています。そして受講者自身が、国家(社会)と人間のあるべき姿について深く考え、真の自由(人間らしい自由)を実践しようとする資質を養うことがさらなる目標です。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します。
毎回の授業が終わってから、ポートフォリオの記入をお願いします。感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室(363)およびGoogleクラスルーム・メール(sakagami@g.kiis.ac.jp)にて随時受け付けます。
提出物はGoogleクラスルームへ出してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオとルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プリントを配布する。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
『リヴァイアサン1-4』	ホッブズ	岩波文庫	4003362330,4003300000
『完訳 統治二論』『人間知性論1-4』	ロック		4003362217,2225,2233
『社会契約論』	ルソー		4003362330
『人間不平等起原論』	ルソー		4003300000
『エミール上中下』	ルソー		4003362217,2225,2233

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：試験90%。平常点10%(毎回の授業のポートフォリオ(事前学習と事後学習)の提出、ルーブリックの提出)。
成績評価の基準：
①近代民主主義思想の誕生の歴史的背景およびデカルトの合理論、ベーコンの経験論の要点を説明できるか。
②ホッブズの社会契約説について、自然権(自己保存を追求する自由)、「各人の各人に対する戦い」という言葉を使って説明できるか。
③ロックの社会契約説について、固有権、信託、抵抗権という言葉を使って説明できるか。
④ルソーの社会契約説について、「人間はいたるところで鎖につながれている」、憐みの情、一般意志という言葉を使って説明できるか。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業の方針など、国家における個人の権利と義務、ホッブズの思想ーその生涯と清教徒革命　:ﾌﾟﾘﾝﾄ1	
	事前学習（内容・時間）	社会契約説とは何ですか。第1回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ホッブズの著書『リヴァイアサン』の出版の目的について、授業ではどのように述べられていましたか。（2時間）
第2回	ホッブズの思想ーその生涯と清教徒革命（続き）、認識論　:ﾌﾟﾘﾝﾄ2	
	事前学習（内容・時間）	ホッブズの機械論的自然観と社会観について、第2回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ホッブズは、人間の認識がどのようにして生まれると考えていましたか。授業の内容を説明してください。（2時間）
第3回	ホッブズの思想ー人間性について、自己保存と戦争、自然権と自然状態　:ﾌﾟﾘﾝﾄ3	
	事前学習（内容・時間）	ホッブズの考える人間性の本質について、第3回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ホッブズの言葉「各人の各人に対する戦争」について、自然権と自然状態という言葉を使って説明してください。（2時間）
第4回	ホッブズの思想ー自然法、社会契約　:ﾌﾟﾘﾝﾄ4	
	事前学習（内容・時間）	ホッブズが述べている第一の自然法、第二の自然法、第三の自然法について、第4回授業プリントを読んでその内容を説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ホッブズの社会契約説について、授業ではどのように述べられていましたか。
第5回	ホッブズの思想ー社会契約（続き）　:ﾌﾟﾘﾝﾄ5	
	事前学習（内容・時間）	ホッブズが述べている統治者（主権者）の主権のあり方について、第5回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ホッブズの政治思想に対する批判と意義について、授業ではどのように述べられていましたか。（2時間）
第6回	ロックの思想ージョン・ロックの生涯と名誉革命　:ﾌﾟﾘﾝﾄ6	
	事前学習（内容・時間）	ロックの政治思想の意義について、第6回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ロックの著書『統治二論』の主な内容について説明してください。（2時間）
第7回	ロックの思想—ロックの認識論　:ﾌﾟﾘﾝﾄ7	
	事前学習（内容・時間）	ロックは生得観念についてどのように考えていましたか。第7回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	経験の種類としての「感覚」と「内省」について、ロックの考えを説明してください。（2時間）
第8回	ロックの思想ー絶対王政批判（父権論批判）、自然状態、自然権、自然法　:ﾌﾟﾘﾝﾄ8	
	事前学習（内容・時間）	『統治二論』の主な内容と出版の社会的・政治的背景について、第8回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ロックは自然状態における人間性についてどのように述べていますか。（2時間）

第9回	ロックの思想ー自然状態、自然権、自然法（続き）:固有権　:ﾌﾟﾘﾝﾄ9	
	事前学習（内容・時間）	ロックは、固有権についてどのように述べていますか。第9回の授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ロックは、自然法についてどのように説明していますか。（2時間）
第10回	ロックの思想ー社会契約説　:ﾌﾟﾘﾝﾄ10	
	事前学習（内容・時間）	ロックの社会契約説について、第10回の授業プリントを読んで、「信託」という言葉を使って説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ロックの社会契約説に関して、「抵抗権」とはどのような意味ですか。（2時間）
第11回	ルソーの思想ールソーの生涯と思想、自然状態における人間　:ﾌﾟﾘﾝﾄ11	
	事前学習（内容・時間）	ルソーの理想とする社会について、第11回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ルソーは、人間の自然状態をどのように説明していますか。（2時間）
第12回	ルソーの思想ー自然状態における人間（続き）～憐れみの情、自然状態、自然権、自然法、社会状態と不平等　:ﾌﾟﾘﾝﾄ12	
	事前学習（内容・時間）	ルソーは、憐れみの情についてどのように述べていますか。第12回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ルソーは、社会状態と不平等についてどのように説明していますか。（2時間）
第13回	ルソーの思想ー社会状態と不平等（続き）、社会契約説　:ﾌﾟﾘﾝﾄ13	
	事前学習（内容・時間）	ルソーの社会契約説の特徴A～Fについて、第13回授業プリントを読んで書いてください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ルソーの言葉「個人のすべての権利や身体を国家へ譲渡する」とはどういう意味ですか。その目的は何ですか。（2時間）
第14回	ルソーの思想ー社会契約説（続き）「一般意思」　:ﾌﾟﾘﾝﾄ14	
	事前学習（内容・時間）	ルソーの思想「一般意志」について、第14回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ルソーが主張する直接民主政について説明してください。（2時間） 直接民主政について
第15回	ルソーの思想ー社会契約説（続き）「政治と人間の改革」　:ﾌﾟﾘﾝﾄ15	
	事前学習（内容・時間）	ルソーの社会契約説の意義と目的として、「政治と人間の改革」とはどのような意味ですか。第15回授業プリントといままでの授業の内容を踏まえて説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ルソーの思想がその後の世界に与えた影響について説明してください。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験、ポートフォリオ＆ルーブリック作成等	

ナンバリング（Numbering）
1GGN-5420-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
経済学	219～	1年生・前期	2単位	選択	中原　康征

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	図書館やインターネットでどのような経済学の本があるのかを調べる。

授業概要　Course Outline

この授業は、ディプロマポリシーに基づき、基礎的な経済学の考え方を学修します。
経済学は消費者や生産者がそれぞれが自分の幸せや自分にとって最適なものは何かということをもって行動することの結果としてすべての人々がハッピーになれるような枠組みを考えることを目的としています。
この講義は、はじめて経済学を学ぶ学生が経済学に親しみ、基礎的な内容を理解できるようにすることを目標にします。経済活動は私たち自身が毎日、直接に関わっている活動ですが、それを理解するには、企業や金融機関、政府など私たちの家計以外の活動を知ること、また地域や日本全体、さらに世界各国との経済的なつながりを知ることが必要になります。講義では、需要や供給、物価や貨幣、市場や政府活動などの経済学の基本的な事柄を順に学んでいきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

日々の新聞やテレビで接する経済ニュースをある程度理解し、より関心を持って読み、さらに経済問題について経済学的視点で自ら考えることができる力を養う。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学生からの積極的な発言を期待しています。毎回の授業の終わりに課題レポート作成・提出をお願いします。課題レポートの後半箇所に感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法はメールでお願いします。メール宛先およびオフィスアワーの曜日時限については第1回目の授業時にお知らせいたします。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

経済学検定などの外部試験を受験した者は成績評価の対象とします。
ポートフォリオ ・ ルーブリック の作成・提出をお願いします。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
1からの経済学	中谷武、中村保編著	碩学舎	978-4502680809

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
大学4年間の経済学が10時間でざっと学べる	井堀利宏	角川文庫	978-4046040572
マンキュー入門経済学	N・グレゴリー・マンキュー	東洋経済新報社	978-4492315217

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

2/3以上の出席を前提として、課題レポート：60%、試験：40%の割合で成績を評価します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	経済学とわたしたち ①経済学とはどういう学問か②経済学をどう学ぶのか③経済学の基本的な考え方	
	事前学習 （内容・時間）	経済学を学習する前に経済学とはどういうものなのかを考えてまとめる。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第2回	分業の利益 ①分業の（経済学的な）意味②私的な分業と社会的分業③特化と交換からの利益④市場が必要な理由	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第3回	需要と供給 ①買い手の需要を決める要因②需要曲線の描き方③売り手の供給を決める要因④供給曲線の描き方	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第4回	価格メカニズム ①財の取引と市場②市場価格とは何か？③需要と供給がバランスする仕組み④市場価格が変化する要因	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第5回	市場の効率性 ①市場のはたらき②市場の望ましさ	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第6回	市場の失敗 ①独占②外部効果③公共財④情報の非対称性⑤政府介入の根拠	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第7回	市場の限界 ①資源の効率的配分②逆選択、モラルハザード③市場メカニズムと所得分配	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第8回	労働市場 ①労働市場の役割②失業や様々な格差の発生③格差を解消するための政策	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第9回	GDPとは何か ①GDPとはなにか②経済の循環	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第10回	何がGDPを決めるのか ①国民生活とGDPの関係②生産能力の大きさとGDPの関係③需要の大きさとGDPの関係④生産能力と需要の関係	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第11回	消費需要と投資需要 ①日本の消費と投資（データの概観）②消費需要（何が消費需要を決めるのか？）③投資需要（何が投資需要を決めるのか？）	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第12回	お金のはなし ①貨幣とはなにか②貨幣は誰が発行するのか③金融政策	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第13回	政府の役割 ①政府の役割とはなにか②政府の予算：歳入と歳出	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第14回	外国貿易と為替レート ①日本の貿易の状況②貿易とマクロ経済の関係③為替レートの決定	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第15回	経済成長と国民生活 ①経済成長率の表し方②経済成長の分析方法③制度と経済成長	
	事前学習 （内容・時間）	授業テーマに関係する図書・資料の内容を熟読する（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業内容を復習し、課題レポートに取り組む（2時間）
第16回 （定期試験）	定期試験など	

ナンバリング（Numbering）
1GGN-6250-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
日本事情	共通	1年生・前期	2単位	選択	安部　正俊

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	履修規定第5条3項に基づいて、原則として1年生留学生は全員履修すること。

授業概要　Course Outline

この授業では、留学生が日本の文化や社会のしくみを理解するために行います。日本人の生活上のならわしや年中行事、歴史、伝統文化、地理、教育など様々な視点から日本について理解を深め、これらを母国の歴史・文化と比較しながら日本事情を学んでいきます。なおこの授業は、主として本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」、カリキュラムポリシー「Ⅰ　建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」、「Ⅲ 社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」に則り行なわれるものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

① 日本人の生活上のならわしや文化について理解を深め、日本での生活に溶け込もうとすることができる。
② 多様な人と交流できるようになり、日本での留学生活を楽しく有意義なものにすることができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業では、対話型の授業を心がけます。また特定のテーマについて、グループでディスカッションし発表することがあります。積極的な発言を期待します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員にメールをするか、授業終了後に声をかけてください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

Googlee Classroomを活用します。授業では、ポートフォリオ＆ルーブリックに必要事項を記入し、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プリントを配布する。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「日本人のしきたり」 「日本人の一年と一生」 「日本総論Ⅰ」	飯倉晴武 石井研士 阿南良恵・太田由紀子・エ藤美佳	株式会社青春出版社 株式会社春秋社 株式会社クリエイツ	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：
試験80%、平常点20%（出席状況、発言等の授業での活動状況、ポートフォリオ＆リーブリックの提出）

成績評価の基準：
①日本の社会と文化の概要について理解しているか。②身近な日本文化や習慣を理解し、積極的に日本の生活に溶け込もうとしているか。③自ら主体的に調べ、集団では他者と協力・協調ができているか。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション・授業の方針、概要悦明　学習プリント1	
	事前学習（内容・時間）	事前アンケート（自己紹介シート）を記入し提出する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深めておく。（2時間）
第2回	日本のくらし①（日本人の日常生活）　学習プリント2	
	事前学習（内容・時間）	学習プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深めておく。（2時間）
第3回	日本のくらし②（日本人の衣食住）　学習プリント3	
	事前学習（内容・時間）	学習プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深めておく。（2時間）
第4回	日本のくらし③（日本の年中行事）　学習プリント4	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	配布プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深める。（2時間）
第5回	日本のくらし④（日本人の一生）　学習プリント4	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	配布プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深める。（2時間）
第6回	日本のくらし⑤（日本の伝統文化と〇〇道）　学習プリント6	
	事前学習（内容・時間）	学習プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深める。（2時間）
第7回	日本の国土①（地理的特徴）　学習プリント7	
	事前学習（内容・時間）	学習プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深める。（2時間）
第8回	日本の国土②（人口問題）　学習プリント8	
	事前学習（内容・時間）	学習プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深める。（2時間）
第9回	日本の歴史①（国の成り立ちから武士の世の中）　学習プリント9	
	事前学習（内容・時間）	学習プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深める。（2時間）
第10回	日本の歴史②（明治から戦後の新しい日本）　学習プリント10	
	事前学習（内容・時間）	学習プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深める。（2時間）
第11回	日本の制度と行政のしくみ　学習プリント11	
	事前学習（内容・時間）	学習プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深める。（2時間）
第12回	日本の教育①（教育基本法と生涯学習社会の実現）　学習プリント12	
	事前学習（内容・時間）	学習プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深める。（2時間）
第13回	日本の教育②（義務教育の教育活動）　学習プリント13	
	事前学習（内容・時間）	学習プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深める。（2時間）
第14回	日本の教育③（学校外の教育活動）　学習プリント14	
	事前学習（内容・時間）	学習プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深める。（2時間）
第15回	日本の社会課題　学習プリント15	
	事前学習（内容・時間）	学習プリントを読んで、次の授業の概要を把握し、質問などを明確にする。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習プリントやノートなどを読んで、授業の内容について理解を深める。（2時間）
第16回（定期試験）	学習プリントや資料を中心にテストを行う。ポートフォリオ＆リーブリックの作成等。	

ナンバリング(Numbering)
1GGB-5270-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
基礎数学	共通	1年生・前期	2単位	選択	中島　直樹

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	高校までの数学を復習して講義に臨むこと.

授業概要　Course Outline

情報、経済、経営などの分野では、現象のモデル化やシミュレーションによって現状把握や将来予測などが盛んに行われています。本講義では，ディプロマポリシーに基づき，モデル化の基礎となる数学を理解し、数学がどのように使われ、活用されているかを学びます。また、統計学に必要となってくる確率についても学習します。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

【知識】
・定義・定理を説明できる。
・問題演習において、適切な定義・定理を選択できる。
・定義・定理を適切に使用できる。
【態度・習慣】
・疑問点を尋ねることができる。
・講義に参加できる。
【技能】
・例題を模倣し、演習問題を解くことができる。
・時間内で、与えられた問題を解くことができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義中に随時演習時間を設けるので，積極的に取り組むこと。
講義中に課題を指定するので、次回の講義までにノートに解いて提出すること。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

教員との連絡方法は、授業の終了後、あるいは研究室を訪ねること。
オフィスアワーの時間は、掲示を参照すること。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：毎回指定した課題を解くこと。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
基礎数学 式計算から微積の初歩まで	小澤善隆　編集 永井　敦　他	裳華房	978-4-7853-1556-6

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
大学基礎数学 キャンパス・ゼミ　改訂1	馬場敬之	マセマ出版社	978-4-86615-210-3
社会科学系学生のための基礎数学	塩出 省吾・上野 信行・柴田 淳子・中村 光宏 著	共立出版	978-4-32011-133-2

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

演習課題(50%)、定期試験(50%)の総合評価とします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	数の分類と文字式	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第2回	式の計算１ （展開と因数分解）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第3回	式の計算２ （根号・累乗、方程式と不等式）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第4回	式の計算３ （複素数と2次方程式）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第5回	式の計算４ （整式の割り算と因数定理）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第6回	関数１ （１次関数、２次関数）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第7回	関数２ （分数関数、無理関数）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第8回	関数３ （指数関数）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第9回	関数４ （対数関数）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第10回	関数５ （三角関数）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第11回	関数６ （関数の極限）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第12回	関数７ （微分）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第13回	関数８ （積分）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、テキストの内容を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第14回	確率１ （順列・組み合わせ）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、スライド資料を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第15回	確率２ （様々な確率）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、スライド資料を熟読し、例題の予習を行う。分からないところは、インターネットのサイトなどを参考したり、講義中に補完する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	講義内容をもとに独自で調べた内容などを追記したり、講義中に終了しなかった課題を完成させ、理解できなかった内容は 書籍やWebなどを通して確実に理解する。(2.0h)
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング(Numbering)
1GGN-5870-11ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ウェルネス (教職関連科目 必 高等学校 情報)	220～	1年生・前期	1単位	選択	竹石　洋介
スポーツ実技Ⅰ (教職関連科目 必 高等学校 情報)	219	2年生・前期		選択必修	

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	必ず運動のできる、汗をかいてもよい服装を用意し、体育館においては室内履きの着用をすること。授業を受ける上での最低限のマナーを守ること(私語を慎む、飴やガムを食べながら、携帯電話やメールをしながら・・・など)。

授業概要　Course Outline

今日、生活習慣病やストレスによる精神的疾患が急増し、大学教育における健康・体力づくりの意義が強調されています。また、高齢化社会、余暇社会への移行などを背景に、生涯にわたって健康を維持し、生きがいある生活を実現するため運動の重要性が著しく高まりつつあります。授業は、建学の精神を踏まえ、形態・体力の測定を行い、次に運動の方法を学びながら学習目標に到達出来るようにする。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

① 健康・体力づくりの必要性と方法を理解し、客観的に自身の生活を見直すことのできる。
②基本的な運動を実践できる。
③運動を通じてマナーの修得や人間関係の改善と向上を図ることが出来る。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

健康に関してのテーマに基づいてディスカッションを行います。積極的に参加することが望まれます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室(502)にて随時受け付けます。yousuke@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:ポートフォリオシートに必要事項を記入して竹石までメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
実習ノート ソフトボール教室	吉村 正	大修館書店	

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
The GOLFRULES 日本一わかりやすいゴルフの教科書	マイク青木 深見 悦司	日本ヴォーグ社 成美堂出版	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

平常点(授業態度等)20%、試験80%を加味して総合的に評価します。本授業は実技授業のため、特に授業に取り組む姿勢を重視します。
※体育館の使用規則を守れない学生は評価しません。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（実習ノート作成・クラス分け・他）	
	事前学習（内容・時間）	シラバスの確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	授業内容の復習（30分）
第2回	形態・脈拍数のチェック、肥満度・運動強度の設定（心拍数測定、BMI計算）	
	事前学習（内容・時間）	健康維持増進のために必要だと思うことを具体的にピックアップしておく（30分）
	事後学習（内容・時間）	日常の中でのウォーキング、ジョギングを、心拍数を計測して評価する（30分）
第3回	①体力測定（握力・上体起こし・長座体前屈）・バドミントン（基礎的技術習得）	
	事前学習（内容・時間）	ストレッチの種類・方法について調べる・バトミントンのルール確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	実施したストレッチの目的と方法を確認し実践する・バトミントンの技術確認（30分）
第4回	②体力測定（立ち幅跳び・反復横跳び）・バドミントン（ルール説明と試合）	
	事前学習（内容・時間）	ストレッチの種類・方法について調べる・バトミントンのルール確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	実施したストレッチの目的と方法を確認し、実践する・バトミントンの技術確認（30分）
第5回	ゴルフ・ソフトボール　※天候により変更有	
	事前学習（内容・時間）	ゴルフ・ソフトボールのルールの確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	ストレッチ、ゴルフ・ソフトボールのルールの復習（30分）
第6回	ゴルフ・ソフトボール　※天候により変更有	
	事前学習（内容・時間）	ゴルフ・ソフトボールの技術の確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	ストレッチ、ゴルフ・ソフトボールの技術の復習（30分）
第7回	ゴルフ・ソフトボール　※天候により変更有	
	事前学習（内容・時間）	ゴルフ・ソフトボールの技術の確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	ストレッチ、ゴルフ・ソフトボールの技術の復習（30分）
第8回	③体力測定（50m走）　・　バドミントン（ルール説明と試合）	
	事前学習（内容・時間）	無酸素運動とは何か、またその効果を調べる・バトミントンのルールの確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	各自の目的に応じた運動強度を把握する・バトミントンの技術の確認（30分）
第9回	④体力測定（ハンドボール投げ）　・　卓球（基礎的技術習得）	
	事前学習（内容・時間）	ストレッチの種類・方法について調べる・卓球のルールの確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	ストレッチ、卓球の技術の復習（30分）
第10回	⑤体力測定（シャトルラン）　・　卓球（ルール説明と試合）	
	事前学習（内容・時間）	有酸素運動とは何か、またその効果を調べる・卓球のルールの確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	各自の目的に応じた運動強度を把握する・卓球の技術の復習（30分）
第11回	体力測定と自己評価　・　卓球（試合）	
	事前学習（内容・時間）	健康維持増進のために必要だと思うことを考える・卓球の技術の確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	現在の生活の中でできる健康維持を考える・卓球の技術の復習（30分）
第12回	ウォーミングアップとストレッチ　・　フリースポーツ（バドミントン／卓球選択）	
	事前学習（内容・時間）	ストレッチングの種類・方法について調べておく（30分）
	事後学習（内容・時間）	実施したストレッチングの目的と方法を確認し、実践する（30分）
第13回	目標心拍数を用いたウォーキング及びジョギング　・　フリースポーツ（バドミントン／卓球選択）	
	事前学習（内容・時間）	有酸素運動の効果を調べておく（30分）
	事後学習（内容・時間）	有酸素運動に応じた運動強度のエクササイズを実践してみる（30分）
第14回	SAQトレーニングとバランストレーニング	
	事前学習（内容・時間）	バランスボールの特徴と効果について調べる（30分）
	事後学習（内容・時間）	プリントのエクササイズのポイントを確認しておく（30分）
第15回	レポート発表と提出	
	事前学習（内容・時間）	健康や身体づくりのために必要なエクササイズを調べる（30分）
	事後学習（内容・時間）	習得した運動を生かして健康を考える（30分）
第16回（定期試験）	テストをする	

ナンバリング（Numbering）
1GGN-5880-11ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
スポーツ（教職関連科目 必 高等学校 情報）	220～	1年生・後期	1単位	選択	竹石　洋介
スポーツ実技Ⅱ（教職関連科目 必 高等学校 情報）	219	2年生・後期		選択必修	

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	必ず運動のできる、汗をかいてもよい服装を用意し、体育館においては室内履きの着用をすること。授業を受ける上での最低限のマナーを守ること（私語を認めない、飴やガムを食べながら、携帯電話、メールをしながら・・・など）。

授業概要　Course Outline

スポーツには、「するスポーツ」・「見るスポーツ」・「ささえるスポーツ」・「きわめるスポーツ」と様々な性質を持っており、私達の身近な生活に存在しています。特に、現代は高齢化社会、余暇社会への移行などを背景に健康・体力づくりの意識が高まりつつある中、スポーツは運動の一つとして捉えられ、より健康で充実した生活を送るための方法として役割を担うようになってきました。
授業では、建学の精神を踏まえて、指定されているスポーツを実践していく中で、ルールを理解し、基本的な技術を学び学習目標に到達出来るようにする。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

①各スポーツを通じて健康・体力づくりの必要性を理解できる。
②各スポーツの基本的なルールや技術を養い、ゲーム（試合）ができる。
③各スポーツのルールからマナーを養い、より良い人間関係を構築できる。
これらの実践を通じてスポーツの心地よさを体感し、生涯にわたってスポーツを実践していくための基礎的能力と態度を身につける。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

スポーツに関してのテーマに基づいてディスカッションを行います。積極的に参加することを望みます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（502）にて随時受け付けます。yousuke@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオシートに必要事項を記入して竹石までメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
実習ノート ソフトボール教室	吉村 正	大修館書店	

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
The GOLFRULES 日本一わかりやすいゴルフの教科書	マイク青木 深見 悦司	日本ヴォーグ社 成美堂出版	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

平常点20%、実技試験80%、平常点は、レポートの提出状況、授業の中で行うディスカッションの様子などで判断する。
※体育館の使用規則を守れない学生は評価しません。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション　実習ノート作成	
	事前学習（内容・時間）	シラバスの確認（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容の復習（2時間）
第2回	バドミントン（基礎的技術習得）	
	事前学習（内容・時間）	サーブ・ドライブについて調べる（30分）
	事後学習（内容・時間）	改善点をまとめる（30分）
第3回	バドミントン（ルール説明と試合）	
	事前学習（内容・時間）	スマッシュについて調べる（30分）
	事後学習（内容・時間）	改善点をまとめる（30分）
第4回	バドミントン（試合）	
	事前学習（内容・時間）	シングルスの目標を立てる（30分）
	事後学習（内容・時間）	試合結果を振り返り、まとめる（30分）
第5回	ゴルフ・ソフトボール　※天候により変更有　ゴルフに関する基礎知識(ルール・マナー)・ソフトボールの基礎	
	事前学習（内容・時間）	ゴルフのルール確認・ソフトボールの必要なルールを確認する（30分）
	事後学習（内容・時間）	次回への改善点をまとめる（30分）
第6回	ゴルフ・ソフトボール　※天候により変更有　スイングの基礎（グリップ、スイング）・（キャッチング、バッティング）	
	事前学習（内容・時間）	スイング技術を理解する・ソフトボールに必要な基本技術を確認する（30分）
	事後学習（内容・時間）	次回への改善点をまとめる（30分）
第7回	ゴルフ・ソフトボール　※天候により変更有　実践的なショット・ソフトボール（チーム練習・試合）	
	事前学習（内容・時間）	ゴルフの技術確認をしておくこと・ソフトボールの試合のルールを確認する（30分）
	事後学習（内容・時間）	次回への改善点をまとめる（30分）
第8回	卓球（基礎的技術習得）	
	事前学習（内容・時間）	卓球の技術確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	卓球の技術の復習（30分）
第9回	卓球（ルール説明と試合）	
	事前学習（内容・時間）	卓球のルール確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	卓球のルール、技術の復習（30分）
第10回	卓球（試合）	
	事前学習（内容・時間）	卓球のルール確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	試合の改善点をまとめる（30分）
第11回	フリースポーツ（バドミントン／卓球選択）	
	事前学習（内容・時間）	各種目のルール確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	次回への改善点をまとめる（30分）
第12回	フリースポーツ（バドミントン／卓球選択）	
	事前学習（内容・時間）	各種目のルール確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	次回への改善点をまとめる（30分）
第13回	フリースポーツ（バドミントン／卓球選択）	
	事前学習（内容・時間）	各種目のルール確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	次回への改善点をまとめる（30分）
第14回	フリースポーツ（バドミントン／卓球選択）	
	事前学習（内容・時間）	各種目のルール確認（30分）
	事後学習（内容・時間）	次回への改善点をまとめる（30分）
第15回	レポートの発表と提出	
	事前学習（内容・時間）	習得した競技のまとめ（30分）
	事後学習（内容・時間）	習得した競技を生かして健康を考える（30分）
第16回（定期試験）	テストを行う	

ナンバリング（Numbering）
1GGN-6700-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
スポーツ理論	220～	2年生・前期	2単位	選択	桑野裕文

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	スポーツに関心があり、スポーツの実践を心掛けている人.

授業概要　Course Outline

建学の精神「至心」を進んで実践しようとする豊かな人間性を備えた人材を養成するために、授業内容は1．発育発達に応じた運動とスポーツの実践　2．各種トレーニング法　3．スポーツ文化　4．スポーツの歴史　とする。演習の時間（「2．各種トレーニング法」トレーニング機器を用いての測定）は、履修生が相互に関連しあいながら精神性（相手をおもいやる心）と行動性（相互に助け合う）を高めるための時間であり、建学の精神の「報恩感謝、慈悲慈愛と奉仕」の具現化を目指している。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

豊かなスポーツライフを送るための基礎知識とスポーツ実践法への理解を深める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①スポーツクラブでのトレーニング体験。②スポーツイベントへの参加及びボランティア活動

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

研究室（359研究室）、オフィスアワー時間内、部活動指導時間内に随時受け付ける。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

スポーツ関連の講座参加者、シスポーツ関資格有資格者は成績評価の対象とする。ポートフォリオシートに必要事項記入し提出。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
教員作成資料配布。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
教養としてのスポーツ科学	鈴木一行	大修館	4－469－26521－7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

発表・レポート（20%）、小テスト・有資格者（20%）、定期試験（60%）

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	1. スポーツ　（1）スポーツと体育の違い（成り立ち）	
	事前学習（内容・時間）	「運動」・「体育」・「スポーツ」が゛どのように使い分けられているか調べる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	好きなスポーツの起源について調べる。（2時間）
第2回	（2）日本のスポーツ（歴史、競技スポーツ、ニュースポーツ）と世界のスポーツ	
	事前学習（内容・時間）	スポーツ人口の多いスポーツ種目を調べる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	日本版スポーツ起源年表を作成する。（2時間）
第3回	（3）世界のスポーツ（歴史、組織）	
	事前学習（内容・時間）	世界のスポーツ起源年表を作成する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	世界（日本を含む）スポーツ起源年表を完成させる。（2時間）
第4回	（4）オリンピック（歴史、商業オリンピック、オリンピックムーブメント）	
	事前学習（内容・時間）	1964年東京オリンピックと2020東京オリンピックの実施種目について調べる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	オリンピックの将来像（2024パリオリンピック）を考える。（2時間）
第5回	2. トレーニング　（1）トレーニングの原則、栄養・休養・運動	
	事前学習（内容・時間）	生活の様々な場面での心拍数（脈拍数）を計る。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	運動前と運動中と運動後の心拍数（脈拍数）を計る。（2時間）
第6回	（2）年齢別・種目別トレーニング	
	事前学習（内容・時間）	室内でできるトレーニングを作る。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	日常生活の中で実践可能なトレーニングを作る。（2時間）
第7回	（3）スポーツマッサージ、テーピング、準備運動とクールダウン	
	事前学習（内容・時間）	体の一部のスポーツマッサージを実践する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	回りの人（家族、友人、他）にスポーツマッサージを実践する。（2時間）
第8回	（4）ウェイトトレーニング（ベンチプレスの測定、ダンベルを使ってのトレーニング）	
	事前学習（内容・時間）	トレーニング機器に触れてみる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	トレーニング機器を使ってトレーニングを実践する。（2時間）

第9回	3. スポーツライフ　（1）スポーツクラブ（企業スポーツクラブ、総合型スポーツクラブ、他）	
	事前学習（内容・時間）	スポーツの盛んな会社を調べる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	スポーツクラブ所有する会社のを種目別・業種別一覧を作成する。（2時間）
第10回	（2）スポーツイベント（参加型イベント、観るイベント、世界規模のスポーツイベント）	
	事前学習（内容・時間）	これまでに出場したスポーツ大会の主催者について調べる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	スポーツイベントの規模別の主催、主管、後援、協賛を調べる。（2時間）
第11回	（3）プロスポーツ（プロ野球、サッカー、相撲、他）	
	事前学習（内容・時間）	回り・身近なプロスポーツ選手の経歴について調べる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	回り・身近なプロスポーツ選手の引退後について調べる。（2時間）
第12回	（4）スポーツメディア	
	事前学習（内容・時間）	スポーツメディア一覧を作成する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	スポーツ番組とバラエティ番組の視聴率の比較を行いその要因について考える。（2時間）
第13回	（5）スポーツ傷害（傷害と障害、発育期の障害、種目別傷害）と予防	
	事前学習（内容・時間）	回りの人（家族、友人、他）のスポーツにおける怪我防止策について情報収集する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	回りの人（家族、友人、他）リハビリの方法・手段についてインタビューしまとめる。（2時間）
第14回	（6）スポーツとルール（ルールの機能と構造）	
	事前学習（内容・時間）	好きなスポーツのルールの変遷について調べる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	好きなスポーツのルール改正案提示する。（2時間）
第15回	（7）スポーツ行政とスポーツの将来像	
	事前学習（内容・時間）	スポーツ庁の設立について調べる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	オリンピックの将来像について考える。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング(Numbering)
1GGN-5140-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ウェルネス理論	220～	2年生・後期	2単位	選択	桑野裕文
	219	2年生・前期			

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	「スポーツ・健康に関する意識調査」及び「食生活の調査」の提出者。

授業概要 Course Outline

本学建学の精神の「至心」は誠実さで積極果敢に事に臨む精神的態度であり、「容(かたち)は心を呼び、心は容を呼ぶ」は行動変容の基本原理である。
本講義では精神性と行動性を高める学問としての、
1. 健康維持増進
2. 運動・栄養・休養のバランスのとれた生活
3. 生活習慣病、疾病、感染症への理解とその予防法
を学習し、「優れた社会人たるにふさわしい豊かな人間性」と「優れた科学者たる豊かな人間性」を兼ね備えた人材養成を目指す。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

①食生活、②病気、予防・医療へ理解を深める ②健康診断の習慣化。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

定期的に体重と血圧の測定を行う。「熱中症対策」・「感染症対策」のポスター作成・掲示の広報活動。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

研究室(359研究室)、オフィスアワー時間内、部活動指導時間内に随時受け付ける。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

医療機関を利用しての健康診断の受診を促す。献血の広報活動等への積極的な関与を促す。
ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
適宜プリントを配布します。			

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
健康・運動・スポーツの科学	鈴木一行	大修館書店	978-4－469－26654－2

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

発表・レポート提出(20%)、小テスト(20%)、定期試験(60%)

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	1. ウェルネスとは　　（1）健康観の変遷とヒトの発育発達	
	事前学習（内容・時間）	「感染症対策」のポスター作成。スポーツ・健康に関する意識調査」と「食生活調査」の確認。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自分の生活スタイルを考え「健康〇〇」としてまとめる（書きだす）。第2回目に提出。（2時間）
第2回	（2）健康寿命（平均寿命と健康寿命の違い、死因の推移、他）	
	事前学習（内容・時間）	第1回目授業中に配布したプリントを読んで疑問点などをまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	次回の小テスト（第2回の振り返りテスト）勉強・復習。小テスト対策としての復習の習慣化はかる。（2時間）
第3回	2. 体の仕組みと疾病　　（1）仕組み（脳・感覚器官、血液・血圧・循環器官、呼吸器官、消化器官）と痛み	
	事前学習（内容・時間）	自分自身のこれまでの病気歴をまとめる。及び「母子手帳」の確認。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	履修前提条件に提出した「スポーツ・健康にかんする意識調査」と疾病についてまとめる。（2時間）
第4回	（2）生活習慣病とメタボリックシンドローム	
	事前学習（内容・時間）	自分の日常生活と周りの人々（家族や友人など）の生活習慣の違いについて調べておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	インフルエンザなどの感染症の現状について調べている。（2時間）
第5回	（3）感染症生活習慣病とメタボリックシンドローム	
	事前学習（内容・時間）	食生活を記録する（第10回「ライフスタイル」の時間に発表する）。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「感染症対策」のポスター作成（次回提出）。（2時間）
第6回	（4）健康と生活環境（住居、気象）	
	事前学習（内容・時間）	自分の住んでいる部屋の掃除及び家の周辺の安全確認（危険な場所の有無）。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	屋内（家の中、自分の部屋、他）でできる手軽な運動の実践。（2時間）
第7回	3. 健康生活　　（1）健康と運動（有酸素性運動、水中運動、ウォーキング）	
	事前学習（内容・時間）	屋外でできる手軽な運動の実践。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	屋内外でできる手軽な運動を企画・立案し、実践する。（2時間）
第8回	（2）癒し（睡眠、入浴、温泉、森林浴）	
	事前学習（内容・時間）	国内の温泉地について調べる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	近くの公園での散歩または軽登山の実践。（2時間）
第9回	（3）薬（西洋薬・漢方薬、飲み方・保管方法）と医療行政（保険、介護）	
	事前学習（内容・時間）	自分の「お薬手帳」の確認。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	常備薬の保存方法の確認及び見直し。（2時間）
第10回	4. ウェルネの危機　　（1）ライフスタイル（栄養摂取と食習慣）	
	事前学習（内容・時間）	履修前提条件提出の「食生活調査」の調査内容について確認。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	周りの人（家族、友人、他）のBMIを計算する。（2時間）
第11回	4. ウェルネの危機　　（1）ライフスタイル（未病、健康診断、予防医療）	
	事前学習（内容・時間）	自分のこれまでの健康診断の確認。（健康診断表等記録があれは授業時に持参する）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	これまでの予防接種について接種歴について確認する。（2時間）
第12回	5. 発表とディスカッション　（1）学生個々の興味・関心の高いテーマについて発表（1テーマ10分）。	
	事前学習（内容・時間）	発表資料の作成。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	発表内容に対する、意見・質問について調べる。（2時間）
第13回	（2）学生個々の興味・関心の高いテーマについて発表（1テーマ10分）。デスカッション（1テーマ5分）	
	事前学習（内容・時間）	第12回で発表した発表への意見・質問等について調べる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	第13回での発表内容に対する、意見・質問について調べる。（2時間）
第14回	6測定結果の集計と分析（1）各自の摂取カロリーの集計と分析	
	事前学習（内容・時間）	1週間の自分の食事（摂取した食物）についてまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	回りの人（家族、友人、他）の食事生活について調査する。（2時間）
第15回	（2）血圧測定の集計と分析	
	事前学習（内容・時間）	授業内（第2回から14回まで血圧測定実施）での血圧測定値を集計する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	第1回から15回までの内容について定期試験に備えて復習する。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-5940-12CT

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
総合英語（教職関連科目 必 高等学校　情報）	共通	1年生・前期	2単位	必修	藤内　響子 内田　水生

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	事前学習をきちんと行うこと。熱意を持って授業に取り組むこと。

授業概要　Course Outline

世界語としての英語を駆使して、情報を入手したり、発信したりすることは、今後ますます不可欠なものとなっていくことが予想される。このような時代の流れに対応するためにも、教科書を通して文法や語法を確実に理解し、実践に役立つ英語力を身に着ける。なお、この授業は、本学のディプロマポリシーに基づき行われる。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

文法や語法を復習しながら、より発展した文法概念にも触れることで、確実な理解を構築する。英語の習得に必要な4技能（Reading、Listening、Writing、Speaking）をバランスよく学び、英語力の土台を築き上げることを目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学生の積極的な参加を期待します。疑問に感じたことは必ず質問として用意し、他人の質問についても授業の中の議論に積極的に参加して常に考え続ける姿勢を持ってください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

随時研究室（272）にて受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験として英検やTOEICの受験を推奨します。受験者には成績評価時に加点します。
ポートフォリオシートは、Google Classroom を用いてやり取りを行います。必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
English Primer	佐藤　哲三 愛甲　ゆかり	南雲堂	978－4－523－17717－3

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
総合英語　Evergreen	塙 タカユキ	いいずな書店	978-4-86460-721-6C7082

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

受講態度1割、授業中の発表および宿題2割、小テスト2割、期末テスト5割で評価します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Introduction	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第2回	Unit1be動詞　Unit2 一般動詞（現在）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第3回	Unit3 一般動詞（過去）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第4回	Unit4 進行形　Unit5 未来形	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第5回	Unit6 助動詞　Unit7 名詞・冠詞	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第6回	Unit8 代名詞　Unit9 前置詞	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第7回	Unit10 形容詞・副詞　Unit11 比較	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第8回	Unit12 命令文・感嘆文　Unit13 接続詞（I）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第9回	Unit14 不定詞（I）・動名詞（I）　Unit15 受動態	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第10回	Unit16 完了形　Unit17 接続詞（II）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第11回	Unit18 5つの基本文型　Unit19 各種疑問文	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第12回	Unit20 不定詞（II）　Unit21 It の特別用法	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第13回	Unit22 分詞・動名詞（II）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第14回	Unit23 関係代名詞	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第15回	Unit24 仮定法	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング(Numbering)
1GLN-0190-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
英検中級・TOEIC基礎	221～	1年生・後期	2単位	選択	藤内 響子

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	事前学習をきちんと行うこと。熱意を持って授業に取り組むこと。 前期に総合英語を受講していることが望ましい。

授業概要 Course Outline

特にTOEICを受験する場合に必要な文法事項を厳選し、必要な項目を効率的に学習する。
学習者にとって必要不可欠なものを無駄なく学ぶ。なお、この授業は、本学のディプロマポリシーに基づき行われます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

英語の基本的な文法事項の再確認を効率的に行い、高校までに学んだ英語の力を活性化させる。英語のより高度な運用技能を養うための基礎力の確保および維持を目的とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学生の積極的な参加を期待します。疑問に感じたことは必ず質問として用意し、他人の質問についても授業の中の議論に積極的に参加して常に考え続ける姿勢を持ってください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

随時研究室(272)にて受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験として英検やTOEICの受験を推奨します。受験者には成績評価時に加点します。
ポートフォリオシートは、Google Classroom を用いてやり取りを行います。必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
Practical Grammar for the TOEIC Test	古家 聡、櫻井千佳子、マーク・ショーラム	南雲堂	978-4-523-17679-4

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
総合英語 Evergreen	塙 タカユキ	いいずな書店	978-4-86460-721-6C7082

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

受講態度1割、授業中の発表および宿題2割、小テスト2割、期末テスト5割で評価します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	品詞の種類	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第2回	動詞（1）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第3回	動詞（2）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第4回	助動詞	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第5回	不定詞と動名詞	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第6回	分詞	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第7回	形容詞と副詞	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第8回	前置詞	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第9回	接続詞	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第10回	名詞	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第11回	代名詞	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第12回	比較	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第13回	関係詞	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第14回	仮定法	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第15回	Part6対策	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。各項目ごとに、文法用語の把握と確認をきちんとしておくこと。わからない単語の下調べを十分に行うこと。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	教科書・ノート等で授業内容を確認し、疑問点や間違った部分を中心に見直しを行い、理解を深めてください。予習の際の知らない単語を集めた、オリジナルの単語帳を作成し常に確認できるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-5170-12ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
英会話Basic Ⅰ（教職関連科目 選 高等学校 情報）	共通	1年生・前期	2単位	選択	クリス フリン

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①積極的に声を出して授業に参加すること②資格試験を積極的にとること

授業概要 Course Outline

テキストに沿って海外旅行で使う英会話をプレゼンテーションを交えながら、日本人が苦手とする発音や文法を徹底的に学ぶ。テキストに加えて動画、オーディオ、歌、ゲームなどを使い、楽しく英語を身につけるように工夫する。英検の2次試験の模擬試験も毎週練習する。建学の精神、3つのポリシー（CP, DP)、学習目標（学則1, 3条）に基づいています。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

２１世紀のボーダーレス時代に対応できる人々を生み出すことを目指して、英語の読み書きだけではなく、話し言葉によるコミュニケーションのツールとして習得させるように指導する。多くの単語を知るよりも、数少ない単語をいかに効率よく使うかで会話を豊かにできることを体得させる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

会話の授業ということで積極的に発言をしてもらいます。ENGLISH PORTFOLIOの作成、提出あり。
クラスの前に立って声を出して発言をします。
Active Learning Activities に参加します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（362）にて随時受け付けます。
オフィスアワー：火曜日2時限目と5時限目
flynn-c@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：英検検定試2～3級を受験すること。試験結果を成績評価の対象とします。
試験日 6月、会場 CDCセンター、詳細は後日連絡します。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、7月30日までに フリンまでメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
Passport 1 English for International Communication	Angela Buckingham Lewis Lansford	Oxford University Press	978-0194718165

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
その他の教材や宿題はLANに掲載 ¥¥svr260007¥share¥flynnc¥index.htm			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法：定期試験30%、外部試験10%、平常点（レポート・提出物・スピーチ・面接など）60%
・成績評価の基準：①外部試験は学内・学外の英検。②定期試験は学生自身が作成した英語の会話を発表③英検の面接試験の練習や成果は成績に反映する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Introduction to spoken English	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第2回	Introducing yourself and your family	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第3回	Speaker controlling techniques	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第4回	Text Chapter 1 Ordering a meal on a plane	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第5回	Text Chapter 2 Going through	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第6回	Text Chapter 3 Talking about your family	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第7回	Text Chapter 4 Staying at a friend's house	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第8回	Text Chapter 5 Ordering at a restaurant	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第9回	Text Chapter 6 Asking directions	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第10回	Text Chapter 7 Going to a bank	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第11回	Text Chapter 8 Booking a hotel room	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第12回	Text Chapter 9 Buying medicine	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第13回	Eiken interview techniques L3, LP2, L2	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第14回	Text Chapter 10 Small talk with friends	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第15回	BUILD MY TEST preparation	
	事前学習（内容・時間）	定期試験のための原稿をまとめる、講義中添削してもらう。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	BUILD MY TEST 原稿をペアと一緒に練習する。(2hr)
第16回（定期試験）	定期試験。テストを参考にした原稿を(先生の前で)発表する。	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-5180-12ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
英会話Basic Ⅱ（教職関連科目 選 高等学校 情報）	共通	1年生・後期	2単位	選択	クリス フリン

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①積極的に声を出して授業に参加すること②資格試験を積極的にとること

授業概要 Course Outline

英会話Basic 1 に続いてテキストに沿って海外旅行で使う英会話をプレゼンテーションを交えながら、日本人が苦手とする発音や文法を徹底的に学ぶ。テキストに加えて動画、オーディオ、歌、ゲームなどを使い、楽しく英語を身につけるように工夫する。英検の2次試験の模擬試験も毎週練習する。建学の精神、3つのポリシー（CP, DP)、学習目標（学則1, 3条）に基づいています。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

２１世紀のボーダーレス時代に対応できる人々を生み出すことを目指して、英語の読み書きだけではなく、話し言葉によるコミュニケーションのツールとして習得させるように指導する。多くの単語を知るよりも、数少ない単語をいかに効率よく使うかで会話を豊かにできることを体得させる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

会話の授業ということで積極的に発言をしてもらいます。ENGLISH PORTFOLIOの作成、提出あり。
クラスの前に立って声を出して発言をします。
Active Learning Activities に参加します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（362）にて随時受け付けます。
オフィスアワー：火曜日2時限目と5時限目
flynn-c@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：英検検定試2～3級を受験すること。試験結果を成績評価の対象とします。
試験日 1月 、会場 CDCセンター、詳細は後日連絡します。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、1月30日までに フリンまでメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
Passport 1 English for International Communication	Angela Buckingham Lewis Lansford	Oxford University Press	978-0194718165

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
その他の教材や宿題はLANに掲載 ¥¥svr260007¥share¥flynnc¥index.htm			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法：定期試験30%、外部試験10%、平常点（レポート・提出物・スピーチ・面接など）60%
・成績評価の基準：①外部試験は学内・学外の英検。②定期試験は学生自身が作成した英語の会話を発表③英検の面接試験の練習や成果は成績に反映する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Orientation	
	事前学習（内容・時間）	教科書を事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第2回	Text Chapter 11 Visiting a Tourist Information Center	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第3回	Text Chapter 12 Talking about experiences	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第4回	Text Chapter 13 Talking about sport	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第5回	Text Chapter 14 Organising meeting times	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第6回	Text Chapter 15 Shopping and bargaining	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第7回	Text Chapter 16 Sending mail and parcels	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第8回	Text Chapter 17 Discussing things to do at tourist destinations	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第9回	Text Chapter 18 Dealing with lost property	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第10回	Text Chapter 19 Using public transportation	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第11回	Text Chapter 20 Looking back on a trip	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第12回	Eiken test interview techniques LP2	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第13回	Eiken interview techniques L3, LP2, L2	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第14回	Speech presentation	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第15回	Review/Speech	
	事前学習（内容・時間）	定期試験のための原稿をまとめる、講義中添削してもらう。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	BUILD MY TEST 原稿をペアと一緒に練習する。(2hr)
第16回（定期試験）	定期試験。テストを参考にした原稿を(先生の前で)発表する。	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-5150-22ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
英会話Advanced Ⅰ（教職関連科目 選 高等学校 情報）	共通	2年生・前期	2単位	選択	クリス フリン

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①積極的に声を出して授業に参加すること ②資格試験を積極的に受験すること

授業概要 Course Outline

テキストに沿って海外旅行で使うTOEIC問題を学びながら、日本人が苦手とする発音や文法を徹底的に学ばせる。テキストに加えて動画、オーディオ、歌、ゲームなどを使い、楽しく英語を身につけるように工夫したい。定期的にトピックについて賛成反対の主張を述べさせる。TOEICの学習としてテキストを宿題とし、講義で復習。建学の精神、3つのポリシー（CP, DP)、学習目標（学則1, 3条）に基づいています。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

２１世紀のボーダーレス時代に対応できる人々を生み出すことを目指して、英語の読み書きだけではなく、話し言葉によるコミュニケーションのツールとして英語を習得させるように指導する。多くの単語を知るよりも、数少ない単語をいかに効率よく使うかで会話を豊かにできることを体得させる。そしてそのスキルを生かして、自分の意見や主張を議論（DEBATE）できるようになることとTOEIC 800, 英検の2・準1級の2次試験を合格できるレベルを目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

会話の授業ということで積極的に発言をしてもらいます。 ENGLISH PORTFOLIOの作成、提出あり。
クラスの前に立って声を出して発言をします。
Active Learning Activities に参加します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（362）にて随時受け付けます。
オフィスアワー：火曜日2時限目と5時限目
flynn-c@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：英検検定試2～3級を受験すること。試験結果を成績評価の対象とします。試験日 1月、会場 CDCセンター、詳細は後日連絡します。 TOEICは学外で受験。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、1月30日までに フリン までメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
Challenge Book #4	Helene Uchida	Little America Press	978-4-947736-55-0

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
その他の教材や宿題はLANに掲載 ¥¥svr260007¥share¥flynnc¥index.htm			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法：定期試験30%、外部試験10%、平常点（レポート・提出物など）60%
・成績評価の基準：①外部試験は学内・学外の英検。②定期試験はTOEICの模擬試験となる

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Introductions　自己紹介	
	事前学習（内容・時間）	教科書を事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第2回	Introducing family and friends　家族の紹介	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第3回	English quiz and games　英語のクイズ大会	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第4回	English quiz and games　英語のクイズ大会	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第5回	Presentation　Test　　発表テスト	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第6回	Study a movie scene　映画シーンのせりふを覚えよう	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第7回	Restaurants　　好きなレストランの紹介	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第8回	Studying the lyrics of a song 歌の歌詞を勉強しよう	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)

第9回	My school days　懐かしい学校時代を思い出そう	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第10回	Talking about travel　思い出の旅行	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第11回	Presentation　Test　　発表テスト	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第12回	Talking about music　好きなアーティスト	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第13回	Talking about movies　好きな映画	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第14回	Eiken interview test techniques L2　英検2次試験演習　2級	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第15回	Presentation test practice　　発表テスト練習	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第16回（定期試験）	定期試験 学生が準備した会話を発表する。ペアでプリンどなしで会話を発表。	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-5160-22ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
英会話Advanced II（教職関連科目 選 高等学校 情報）	共通	2年生・後期	2単位	選択	クリス フリン

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①積極的に声を出して授業に参加すること②資格試験を積極的にとること

授業概要 Course Outline

テキストに沿って英語の対話力を身に付ける。毎週のダイアログを復習して、教室で発表する。日本人が苦手とする発音や文法を徹底的に学ぶ。また毎週スピーチや会話を発表する。テキストに加えて動画、ネットコンテンツ、歌、ゲームなどを使い、楽しく英語を身につけるようにする。英検の準2級と2級の2次試験形式を毎週練習する。建学の精神、3つのポリシー（CP, DP）、学習目標（学則1, 3条）に基づいています。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

２１世紀のボーダーレス時代に対応できる人々を生み出すことを目指して、英語の読み書きだけではなく、話し言葉によるコミュニケーションのツールとして習得させるように指導する。多くの単語を知るよりも、数少ない単語をいかに効率よく使うかで会話を豊かにできることを体得させる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

会話の授業ということで積極的に発言をしてもらいます。ENGLISH PORTFOLIOの作成、提出あり。
クラスの前に立って声を出して発言をします。英検のLISTENING問題も定期的にします。
Active Learning Activities に参加します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（362）にて随時受け付けます。
オフィスアワー：火曜日2時限目と5時限目
flynn-c@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：英検検定試2～3級を受験すること。試験結果を成績評価の対象とします。
試験日　6月　、会場　CDCセンター、詳細は後日連絡します。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、7月30日までに　フリンまでメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
Challenge Book #4	Helene Uchida	Little America Press	978-4-947736-55-0

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
その他の教材や宿題はLANに掲載 ¥¥svr260007¥share¥flynnc¥index.htm			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法：定期試験30%、外部試験10%、平常点（レポート・提出物・スピーチ・面接など）60%
・成績評価の基準：①外部試験は学内・学外の英検。②定期試験は学生自身が作成した英語の会話を発表③英検の面接試験の練習や成果は成績に反映する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Introductions　自己紹介	
	事前学習（内容・時間）	教科書を事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第2回	Introducing family and friends　家族の紹介	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第3回	English quiz and games　英語のクイズ大会	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第4回	English quiz and games　英語のクイズ大会	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第5回	Presentation　Test　発表テスト	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第6回	Study a movie scene　映画シーンのせりふを覚えよう	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第7回	Restaurants　好きなレストランの紹介	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第8回	Studying the lyrics of a song 歌の歌詞を勉強しよう	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第9回	My school days　懐かしい学校時代を思い出そう	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第10回	Talking about travel　思い出の旅行	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第11回	Presentation　Test　発表テスト	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第12回	Talking about music　好きなアーティスト	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第13回	Talking about movies　好きな映画	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第14回	Eiken interview test techniques L2　英検2次試験演習　2級	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	テストで使う会話原稿を準備して、提出。(2hr)
第15回	Presentation test practice　発表テスト練習	
	事前学習（内容・時間）	添削されたテストで使う会話原稿を練習。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第16回（定期試験）	定期試験 学生が準備した会話を発表する。ペアでプリンどなしで会話を発表。	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-5810-22ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
初級中国語 （教職関連科目 選 高等学校　情報）	219～	2年生・前期	2単位	選択	喬　秦寧

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし

履修の前提条件 Course Prerequisites	①中国文化・中国語に興味があること　②授業に積極的に参加すること。

授業概要　Course Outline

この授業は建学の精神『至心』に基づいて、初めて中国語を学習する人を対象とする講義を行う。本講義履修を通じて、中国文化への理解、社会的スキルとしてのコミュニケーション能力と協同力の向上を目指している。

発音編では、声調、母音、子音などを学ぶ。発音練習を繰り返し行うことにより、発音の基礎を身に着ける。本篇では、日常会話と講読を中心に、基本的な文法項目、語彙などを学ぶ。対話練習と翻訳練習を通して学習事項の定着を図ると同時に「コミュニケーション能力」と「他者と協同する能力」を高める。さらに、視聴覚資料を使って、中国や中国文化に関する理解を深める。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

1. 会話、文法ポイント、短文の学習と読解による発音・語彙・文法の理解に基づいて、中国語でコミュニケーションするための「読み、書き、聴き、話す」基礎力を身に着けることを目標とする。
2. コミュニケーション能力と協同力が向上できる。
（中国語検定試験準4級程度）

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

対話型の授業を心がけると同時に、協同学習を促進し、グループ活動を重視する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

オフィスアワー：授業終了後（火曜日2限目～）
連絡方法：kyo@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・学習の確認：ポートフォリオ「科目別履修確認チェック表」に必要事項を毎回授業後記入し、学期末に必ず提出する。
・外部試験：「中国語検定試験」の受験を勧める。試験日：3月、6月、11月の第4日曜日。詳細は後日連絡する。
http://www.chuken.gr.jp　受験料：3300円。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「中国語への道」 ――近きより遠きへ――　初級編	内田慶市、奥村佳代子、塩山正純ら	金星堂	978-4-7647-0723-8

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「作文のルール」	相原茂 他	朝日出版社	978-4-255-45138-1

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験（50%）、宿題・練習問題の完成度・「科目別履修確認チェック表」（30%）、授業態度（20%）

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	1.ガイダンス、中国語とは 2.第1課　声調、単母音、複母音、子音①、軽声①	
	事前学習（内容・時間）	なぜ中国語を履修するのか、中国の何について興味があるのかを考えて、授業の時に発表する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1. 繰り返しP12-14のCDを聴き、声調、単母音、複母音、子音①、軽声①を復習する。特に声調に慣れる。 2. 第一課の会話を日本語に訳す（2時間）
第2回	第2課　1、会話　2. 子音②、鼻母音、変調のパターン①	
	事前学習（内容・時間）	CDを繰り返し聴き、特にそり舌音と鼻母音に慣れる。P15-16（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1. CDを繰り返し聞き、特に有気音と無気音になれる。2. 会話を日本語に訳し、暗記できる　P15-17（2時間）
第3回	第3課　数字、基本語彙リスト、よく使う量詞、軽声②、変調パターン①②	
	事前学習（内容・時間）	CD1-25～1-31を繰り返し聞き、中国語のリズムに慣れる。P18-19（2時間）
	事後学習（内容・時間）	第3課の会話を日本語に訳し、暗記できる。数字の表現と値段の表現を身に着ける。　P18-19（2時間）
第4回	発音まとめ、自己紹介、小テスト	
	事前学習（内容・時間）	繰り返しCDを聴き、r化された言葉、声調の組み合わせの言葉の発音リズムをつかむ。P18-20（2時間）
	事後学習（内容・時間）	繰り返しCDを聴き、第3課の会話とP21の決まり文句の会話表現を暗記できるようになる。P18-21（2時間）
第5回	第4課一回目　トピックの文化背景の説明、会話の学習・練習、文法説明	
	事前学習（内容・時間）	単語帳をつくる。新出語句の日本語の意味を事前に下調べをする。それを読めるように頑張る。P22（2時間）
	事後学習（内容・時間）	①文法ポイントを理解し、日本語に翻訳する。②会話文を繰り返し聞き、暗記できるほど真似て音読する。このように中国語のリズム感を養う。P22-23（2時間）
第6回	第4課二回目　文法説明、閲読の読解・練習、練習問題の学習	
	事前学習（内容・時間）	語句②を単語帳に追加する。閲読のCDを繰り返し聞き、その独特なリズムになれる。P24（2時間）
	事後学習（内容・時間）	①スマートフォンの録音機能を利用して、第4課の会話（P22）と閲読（P24）を録音して、音声メッセージとして提出する。②P81-82の小テストを90点以上取れるまで練習する。（2時間）
第7回	第5課一回目　トピックの文化背景の説明、会話の学習・練習、文法説明	
	事前学習（内容・時間）	単語帳をつくる。新出語句の日本語の意味を事前に下調べをする。それを読めるように頑張る。P 26（2時間）
	事後学習（内容・時間）	①文法ポイントを理解し、日本語に翻訳する。②会話文を繰り返し聞き、暗記できるほど真似て音読する。このように中国語のリズム感を養う。P26-27（2時間）
第8回	第5課二回目　文法説明、閲読の読解・練習、練習問題の学習	
	事前学習（内容・時間）	語句②を単語帳に追加する。閲読のCDを繰り返し聞き、その独特なリズム感になれる。P28（2時間）
	事後学習（内容・時間）	①スマートフォンの録音機能を利用して、第5課の会話（P26）と閲読（P28）を録音して、音声メッセージとして提出する。②P83-84の小テストを90点以上取れるまで練習する。（2時間）
第9回	第6課一回目　トピックの文化背景の説明、会話の学習・練習、文法説明	
	事前学習（内容・時間）	単語帳をつくる。新出語句の日本語の意味を事前に下調べをする。それを読めるように頑張る。P 30（2時間）
	事後学習（内容・時間）	①文法ポイントを理解し、日本語に翻訳する。②会話文を繰り返し聞き、暗記できるほど真似て音読する。このように中国語のリズム感を養う。P30-31（2時間）
第10回	第6課二回目　文法説明、閲読の読解・練習、練習問題の学習	
	事前学習（内容・時間）	語句②を単語帳に追加する。閲読のCDを繰り返し聞き、その独特なリズムになれる。P32（2時間）
	事後学習（内容・時間）	①スマートフォンの録音機能を利用して、第6課の会話（P30）と閲読（P32）を録音して、音声メッセージとして提出する。②P85-86の小テストを90点以上取れるまで練習する。（2時間）
第11回	第7課一回目　トピックの文化背景の説明、会話の学習・練習、文法説明	
	事前学習（内容・時間）	単語帳をつくる。新出語句の日本語の意味を事前に下調べをする。それを読めるように頑張る。P 34（2時間）
	事後学習（内容・時間）	①文法ポイントを理解し、日本語に翻訳する。②会話文を繰り返し聞き、暗記できるほど真似て音読する。このように中国語のリズム感を養う。P34-35（2時間）
第12回	第7課二回目　文法説明、閲読の読解・練習、練習問題の学習	
	事前学習（内容・時間）	語句②を単語帳に追加する。閲読のCDを繰り返し聞き、その独特なリズムになれる。P36（2時間）
	事後学習（内容・時間）	①スマートフォンの録音機能を利用して、第7課の会話（P34）と閲読（P36）を録音して、音声メッセージとして提出する。②P87-88の小テストを完成する。（2時間）
第13回	第8課一回目　トピックの文化背景の説明、会話の学習・練習、文法説明	
	事前学習（内容・時間）	単語帳をつくる。新出語句の日本語の意味を事前に下調べをする。それを読めるように頑張る。P 30（2時間）
	事後学習（内容・時間）	①文法ポイントを理解し、日本語に翻訳する。②会話文を繰り返し聞き、暗記できるほど真似て音読する。このように中国語のリズム感を養う。P38-39（2時間）
第14回	第8課二回目　文法説明、閲読の読解・練習、練習問題の学習	
	事前学習（内容・時間）	語句②を単語帳に追加する。閲読のCDを繰り返し聞き、その独特なリズム感になれる。P40（2時間）
	事後学習（内容・時間）	①スマートフォンの録音機能を利用して、第8課の会話（P38）と閲読（P40）を録音して、音声メッセージとして提出する。②P89-90の小テストを完成する。（2時間）
第15回	総合復習	
	事前学習（内容・時間）	第4課～第8課の小テストをもう一回チャレンジする。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	総合復習（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-6000-22ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
中級中国語 （教職関連科目 選 高等学校　情報）	219～	2年生・後期	2単位	選択	喬　秦寧

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし

履修の前提条件 Course Prerequisites	基本的に「初級中国語」を履修済み、或いは同等レベルの持つ人を対象とする。

授業概要　Course Outline

この授業は建学の精神『至心』に基づいて、「中級中国語」を学習する人を対象とする講義を行う。中国語でコミュニケーションするための「読み、書き、聴き、話す」基礎を学習する。協同学習を通して学習事項の定着を図る。テキストは「初級中国語」に引き続き、「中国語への道」を使用する。第9課から始める。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・「中級中国語」の講義は、正確な発音とより多くの語彙、文型、豊かな表現、中国語特有の「会話のコツ」を習得することに基づいて、中国語の「聴き・読み・書き・話す」の基礎能力を高めることを目標とする。
・コミュニケーション能力と協同力が向上できる。
（中国語検定試験4級程度）

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

対話型の授業を心がけると同時に、協同学習を促進し、グループ活動を重視する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

オフィスアワー：授業終了後（火曜日２限）、　　連絡先：kyo@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し、学期末に提出する。
外部試験：「中国語検定試験４級」の受験を勧める。
試験日：3月、6月、11月の第4日曜日。詳細は後日連絡する。http://www.chuken.gr.jp　　受験料：4800円

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「中国語への道」	奥村佳代子、塩山正純など	KINSEIDO	978-4-7647-0723-8

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「中国語辞書」	相原　茂	朝日出版社	4-255-00113-8

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験（45%）、平常点（課題・練習問題・授業参加）（50%）、「科目別履修確認チェック表」5%により総合評価する。
課題の提出先：kyo@g.kiis.ac.jp

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	第9課一回目　トピックの文化背景の説明、会話の学習・練習、文法説明	
	事前学習（内容・時間）	1.「初級中国語」を復習する。P12-41　2. 単語帳をつくる。新出語句の日本語の意味を事前に下調べをする。それを読めるように頑張る。P42（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1. 文法ポイントを理解し、日本語に訳す（P43）　2. 会話文を繰り返し聴きながら、真似て音読する（P42）（2時間）
第2回	第9課二回目　介詞、数量補語、過去の経験、方位詞などを説明し、閲読文の読解・練習	
	事前学習（内容・時間）	語句②を単語帳に追加する。閲読の音声を繰り返し聴き、その独特なリズムになれる。P44　（2時間）
	事後学習（内容・時間）	①P44の閲読文を録音し、提出する。②P91-92の発展練習問題を完成する。（2時間）
第3回	第10課一回目　トピックの文化背景の説明、会話の学習・練習、文法説明	
	事前学習（内容・時間）	①単語帳をつくる。新出語句の日本語の意味を事前に下調べをする。それを読めるように頑張る。P46　（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1. 文法ポイントを理解し、日本語に訳す（P47）　2. 会話文を繰り返し聴きながら、真似て音読する（P46）（2時間）
第4回	第10課二回目　主述述語文、完了・変化の「了」、願望の表現などを学習する	
	事前学習（内容・時間）	語句②を単語帳に追加する。閲読の音声を繰り返し聴き、その独特なリズムになれる。P48　（2時間）
	事後学習（内容・時間）	①P48の閲読文を録音し、提出する。　②P93-94の発展練習問題を完成する。（2時間）
第5回	第11課一回目　トピックの文化背景の説明、会話の学習・練習、文法説明	
	事前学習（内容・時間）	①単語帳をつくる。新出語句の日本語の意味を事前に下調べをする。それを読めるように頑張る。P50　（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1. 文法ポイントを理解し、日本語に訳す（P51）　2. 会話文を繰り返し聴きながら、真似て音読する（P50）（2時間）
第6回	第11課二回目　動作の進行、状態の持続、連動文、結果補語	
	事前学習（内容・時間）	語句②を単語帳に追加する。閲読の音声を繰り返し聴き、その独特なリズムになれる。P52　（2時間）
	事後学習（内容・時間）	①P52閲読文を録音し、提出する。②P95-96の発展練習問題を完成する。（2時間）
第7回	第12課一回目　トピックの文化背景の説明、会話の学習・練習、文法説明	
	事前学習（内容・時間）	①単語帳をつくる。新出語句の日本語の意味を事前に下調べをする。それを読めるように頑張る。P54　（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1. 文法ポイントを理解し、日本語に訳す（P55）　2. 会話文を繰り返し聴きながら、真似て音読する（P54）（2時間）
第8回	第12課二回目　可能を表す助動詞と必然・当然を表す助動詞、副詞「才」と「就」	
	事前学習（内容・時間）	語句②を単語帳に追加する。閲読の音声を繰り返し聴き、その独特なリズムになれる。P56　（2時間）
	事後学習（内容・時間）	①P56の閲読文を録音し、提出する。②P97-98の発展練習問題を完成する。（2時間）
第9回	第13課一回目　トピックの文化背景の説明、会話の学習・練習、文法説明	
	事前学習（内容・時間）	①単語帳をつくる。新出語句の日本語の意味を事前に下調べをする。それを読めるように頑張る。P58　（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1. 文法ポイントを理解し、日本語に訳す（P59）　2. 会話文を繰り返し聴きながら、真似て音読する（P58）（2時間）
第10回	第13課二回目　様態補語、二重目的語、受け身の表現	
	事前学習（内容・時間）	語句②を単語帳に追加する。閲読の音声を繰り返し聴き、その独特なリズムになれる。P60　（2時間）
	事後学習（内容・時間）	①P60の閲読文を録音し、提出する。②P99-100の発展練習問題を完成する。（2時間）
第11回	第14課一回目　トピックの文化背景の説明、会話の学習・練習、文法説明	
	事前学習（内容・時間）	①単語帳をつくる。新出語句の日本語の意味を事前に下調べをする。それを読めるように頑張る。P62　（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1. 文法ポイントを理解し、日本語に訳す（P63）　2. 会話文を繰り返し聴きながら、真似て音読する（P62）（2時間）
第12回	第14課二回目　存現文と自然現象の表現、方向補語と可能補語	
	事前学習（内容・時間）	語句②を単語帳に追加する。閲読の音声を繰り返し聴き、その独特なリズムになれる。P64　（2時間）
	事後学習（内容・時間）	①P64の閲読文を録音し、提出する。②P101-102の発展練習問題を完成する。（2時間）
第13回	第15課一回目　トピックの文化背景の説明、会話の学習・練習、文法説明	
	事前学習（内容・時間）	①単語帳をつくる。新出語句の日本語の意味を事前に下調べをする。それを読めるように頑張る。P66　（2時間）
	事後学習（内容・時間）	1. 文法ポイントを理解し、日本語に訳す（P67）　2. 会話文を繰り返し聴きながら、真似て音読する（P66）（2時間）
第14回	第15課の二回目　状況の確認「是不是A？」、使役の表現	
	事前学習（内容・時間）	語句②を単語帳に追加する。閲読の音声を繰り返し聴き、その独特なリズムになれる。P68　（2時間）
	事後学習（内容・時間）	①P68の閲読文を録音し、提出する。②P103-104の発展練習問題を完成する。（2時間）
第15回	総合復習	
	事前学習（内容・時間）	単語帳のまとめ、P91-104の発展練習問題をもう一度チャレンジしてみる。
	事後学習（内容・時間）	テスト勉強（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング(Numbering)
1GLN-5800-22ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
初級韓国語 (教職関連科目 選 高等学校 情報)	219～	2年生・前期	2単位	選択	全 彰煥

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	韓国国籍所持者以外の学生及び、ハングル(韓国語)を母国語としていない日本人と留学生を該当者とする。

授業概要 Course Outline

本科目は、本学の建学精神である『至心』、すなわち「「優れた専門性を磨く前に温かい人間性を、優れた社会人になる前に豊かな人間性を」をモットーとして、「紫苑」―「四恩」の⑴親・祖先の御恩 ⑵教師・先生の御恩 ⑶社会・国家の御恩 ⑷神・仏の絶対なる御恩に報いられる人間づくりの教育目標を基にしている。
授業内容は、次のとおりである。
① 学習内容は、ハングル文字の構造、発音を説明して読み・書きを通じて習得させる。
また、テキストの会話文を覚えて発表させる。
② 学習者は毎週、出席カード用の小テストを提出しなければならない。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

国際化・グローバル化の時代において隣国の言語を学習することで、建学精神の『至心』を持った人間づくりに寄与することを目標とする。
具体的内容は次の通りであある。
① 生活に必要な基礎的な言語技能を遂行することができ、「自分自身、家族、趣味、天気」などたいへん私的で身近な話題に関連した内容を理解し表現することができる。
② 約800個の基礎語彙と基本文法に関する理解を基に簡単な文章を生成することができる。
③ 簡単な生活文と実用文を理解し構成することができる。
④「初級韓国語」の受講及び「韓国語能力試験(TOPIK)」Ⅰ ー1、2級の受験を指導する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

① 対話型授業を中心とする。
② 授業中のグループ、チーム発表に積極的に参加しなければならない。
③ レポート代わりの1：1の確認発表をする。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

① 連絡・問い合わせ・相談：研究室(453)にて随時受け付ける。
② オフィスアワー：＜水＞2―5限目
③ メール：jonhan@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

① 外部試験：「韓国語能力試験(TOPIK)」Ⅰ(1・2級)、または「ハングル検定試験」(5級)を受験する。
試験結果は成績評価の対象とする。試験日、会場に関する案内の詳細は授業中に告知する。
② 学習確認：ポートフォリオ「科目別履修確認チェック表」必要事項を記入して提出する。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
「韓国語の世界へ」入門編	李 潤玉 外4人	朝日出版社	978-4-255-55647-5

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
「ゼロからスタート」 韓単語 BASIC1400	鶴見ユミ	Jリサーチ出版	978-4-901429-66-5

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

① 定期試験 ⇒ 50%、確認発表/1：1発表 ⇒ 30%、平常点 ⇒ 20%
② 平常点は、「外部試験」と発表を基本とする。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	「イントロダクション」と 第1課　文字と発音（1）	
	事前学習（内容・時間）	ハングルの子音と母音の確認しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「反切表」の暗記と「練習１～９」を解く。（2時間）
第2回	文字と発音（2）	
	事前学習（内容・時間）	「説明２－1から２－4」を熟読する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習１～８」を解く。（2時間）
第3回	第3課　文字と発音（3）	
	事前学習（内容・時間）	「説明３－1から３－4」を熟読する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習１～９」を解く。（2時間）
第4回	第4課　한국 사람입니다. （韓国人です。）	
	事前学習（内容・時間）	「説明４－1から４－３」を熟読する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習１～５」を解く。（2時間）
第5回	第5課　한국어는 전공이 아니에요.（韓国語は専門ではありません。）	
	事前学習（内容・時間）	「説明５－1から５－３」を熟読する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習１～５」を解く。（2時間）
第6回	第6課　강의실은 계단 옆에 있어요..（講義室は階段の横にあります。）	
	事前学習（内容・時間）	「説明６－1から６－３」を熟読する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習１～５」を解く。（2時間）
第7回	復習（第4課・第5課・第6課）	
	事前学習（内容・時間）	「4課の復習」、「まとめ4」、「5課の復習」、「6課の復習」、「まとめ5，6」を熟読する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「4課の復習」、「まとめ4」、「5課の復習」、「6課の復習」、「まとめ5，6」を解く。（2時間）
第8回	第7課　오후에 시간 괜찮아요?（午後、時間大丈夫ですか。）	
	事前学習（内容・時間）	「説明７－1から７－３」を熟読する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習１～３」を解く。（2時間）
第9回	第8課　초등학생에게 태권도를 가르쳐요..（小学生にテクォンドを教えます。）	
	事前学習（内容・時間）	「説明８－1から８－３」を熟読する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習１～３」を解く。（2時間）
第10回	第9課　보통 여섯 시에 일어나요.（普通、6時に起きます。）	
	事前学習（内容・時間）	「説明９－1から９－４」を熟読する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習１～３」を解く。（2時間）
第11回	復習（第7課・第8課・第9課）	
	事前学習（内容・時間）	「7課の復習」、「8課の復習」「まとめ7，8」、「9課の復習」を熟読する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「7課の復習」、「8課の復習」「まとめ7，8」、「9課の復習」を解く。（2時間）
第12回	第10課　야구를 아주 좋아해요.（野球が大好きです。）	
	事前学習（内容・時間）	「説明１０－1から１０－３」を熟読する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習１～４」を解く。（2時間）
第13回	第11課　점심 안 먹었어요?（昼ご飯食べてませんか。）	
	事前学習（内容・時間）	「説明１１－1から１１－３」を熟読する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習１～４」を解く。（2時間）
第14回	第12課　봄 방학 때 뭐 할 거예요?（春休みに何をしますか。）	
	事前学習（内容・時間）	「説明１２－1から１２－３」を熟読する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習１～6」を解く。（2時間）
第15回	復習（第10課・第11課・第12課）	
	事前学習（内容・時間）	「10課の復習」、「まとめ9，10」、「11課の復習」、「12課の復習」、「まとめ11，12」を熟読する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「10課の復習」、「まとめ9，10」、「11課の復習」、「12課の復習」、「まとめ11，12」を解く。（2時間）
第16回（定期試験）	各課の「練習問題」と「復習問題」を基本とする試験を行う。	

ナンバリング(Numbering)
1GLN-5990-22ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
中級韓国語 (教職関連科目 選 高等学校 情報)	219～	2年生・後期	2単位	選択	全 彰煥

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	基本的に、ハングル(韓国語)を母国語としていない日本人と留学生として、「入門韓国語」の履修者か、90時間以上の韓国語教育履修者を該当者とする。

授業概要 Course Outline

本科目は、本学の建学精神である『至心』、すなわち「優れた専門性を磨く前に温かい人間性を、優れた社会人になる前に豊かな人間性を」をモットーとして、「紫苑」―「四恩」の⑴親・祖先の御恩 ⑵教師・先生の御恩 ⑶社会・国家の御恩 ⑷神・仏の絶対なる御恩に報いられる人間づくりの教育目標を基にしている。

授業内容は、次のとおりである。

① 前期学習内容の復習、各課の文法説明、テキストの会話文暗記を通して会話文を習得させる。
② 学習者は毎週、出席カード用の小テストを提出しなければならない。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

国際化・グローバル化の時代において隣国の言語を学習することで、建学精神の『至心』を持った人間づくりに寄与することを目標とする。

具体的内容は次の通りである。

① 「電話する、頼みごとをする」などの日常生活に必要な技能と「郵便局、銀行」などの公共施設の利用に必要な技能を遂行することができる。
② 約1,500～2,000個の語彙を利用して私的で身近な話題に関して段落単位で理解し使用することができる。
③ 公式的な状況と非公式的な状況での言語を区分して使用することができる。
④ 「中級韓国語」の受講及び「韓国語能力試験(TOPIK)」Ⅰ－1、2級の受験を指導する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

① 対話型授業を中心とする。
② 授業中のグループ、チーム発表に積極的に参加しなければならない。
③ レポート代わりの1；1の確認発表をしなければならない。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

① 連絡・問い合わせ・相談：研究室(453)にて随時受け付ける。
② オフィスアワー：＜水＞2～5限目
③ メール：jonhan@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

① 外部試験：「韓国語能力試験(TOPIK)」Ⅰ(1・2級)、または「ハングル検定試験」(4級)を受験する。
試験結果は成績評価の対象とする。試験日、会場に関する案内の詳細は授業中に告知する。
② 学習確認：ポートフォリオ「科目別履修確認チェック表」必要事項を記入して提出する。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
「韓国語の世界へ」初・中級編	李 潤玉外4人	朝日出版社	978-4-255-55644-4

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
「キゾー式 パーフェクトハングル」	小倉紀蔵	精興社	4-88724-417-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

① 定期試験 ⇒ 50%、確認発表/1：1発表 ⇒ 30%、平常点 ⇒ 20%
② 平常点は、「外部試験」と発表を基本とする。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	第1課　몇 학번이에요?(学籍番号は何番ですか。)	
	事前学習（内容・時間）	会話文と「説明１－１」から「説明１－２」を熟読する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習１」「練習２」を解く。(２時間)
第2回	第2課　한국어를 열심히 공부할 거예요.(韓国語を一所懸命に勉強します。)	
	事前学習（内容・時間）	会話文と「説明２－１」から「説明２－３」を熟読する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習１」から「練習５」を解く。(２時間)
第3回	第3課　저 구두 좀 보여 주세요.(あの靴をちょっと見せてください。)	
	事前学習（内容・時間）	会話文と「説明３－１」から「説明３－３」を熟読する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習１」から「練習４」を解く。(２時間)
第4回	第4課　자주 가는 한식집 있으면 소개해 주세요.(よく行っている韓食屋があったら紹介して下さい。)	
	事前学習（内容・時間）	会話文と「説明４－１」から「説明４－３」を熟読する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習１」から「練習６」を解く。(２時間)
第5回	復習（第１課～第４課）	
	事前学習（内容・時間）	「１課の復習」「２課の復習」「聞いてみよう1」「３課の復習」「４課の復習」「ステップアップ１」予習（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「１課の復習」「２課の復習」「聞いてみよう1」「３課の復習」「４課の復習」「ステップアップ１」復習（2時間）
第6回	第5課　함께 찍은 사진을 첨부했어요.(一緒に撮った写真を添付しました。)	
	事前学習（内容・時間）	会話文と「説明５－１」から「説明５－３」を熟読する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習１」から「練習５」を解く。(２時間)
第7回	第6課　발표 시간에 늦어서 죄송합니다..(発表時間に遅れてすみません。)	
	事前学習（内容・時間）	会話文と「説明６－１」から「説明６－４」を熟読する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習１」から「練習６」を解く。(２時間)
第8回	第7課　더운 여름에 삼계탕을 먹어요.(暑い夏にサンゲタンを食べます。)	
	事前学習（内容・時間）	会話文と「説明７－１」から「説明７－３」を熟読する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習１」から「練習４」を解く。(２時間)

第9回	第8課　안 무거우니까 혼자 할게요.(重くないから自分でします。)	
	事前学習（内容・時間）	会話文と「説明８－１」から「説明８－３」を熟読する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習１」から「練習４」を解く。(２時間)
第10回	復習（第５課～第８課）	
	事前学習（内容・時間）	「５課の復習」「６課の復習」「聞いてみよう2」「７課の復習」「８課の復習」「ステップアップ２」予習（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「５課の復習」「６課の復習」「聞いてみよう2」「７課の復習」「８課の復習」「ステップアップ２」復習（2時間）
第11回	第9課　컴퓨터 잠깐 빌려도 돼요? (コンピューターをちょっと借りてもいいですか。)	
	事前学習（内容・時間）	会話文と「説明９－１」から「説明９－３」を熟読する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習１」から「練習４」を解く。(２時間)
第12回	第10課　리무진 버스가 편하겠죠?(リムジンバスが便利でしょう？)	
	事前学習（内容・時間）	会話文と「説明１０－１」から「説明１０－３」を熟読する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習１」から「練習３」を解く。(２時間)
第13回	第11課　도자기도 만들어 봤어요?(陶磁器を作ったことありますか。)	
	事前学習（内容・時間）	会話文と「説明１１－１」から「説明１１－３」を熟読する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習１」から「練習５」を解く。(２時間)
第14回	第12課　한국 회사에 취직하려고 해요.(韓国の会社に就職するつもりです。)	
	事前学習（内容・時間）	会話文と「説明１２－１」から「説明１２－３」を熟読する。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	「練習１」から「練習４」を解く。(２時間)
第15回	復習（第９課～第１２課）	
	事前学習（内容・時間）	「9課の復習」「10課の復習」「聞いてみよう3」「11課の復習」「12課の復習」「ステップアップ3」予習（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「9課の復習」「10課の復習」「聞いてみよう3」「11課の復習」「12課の復習」「ステップアップ3」予習（2時間）
第16回（定期試験）	各課の「練習問題」と「復習問題」を基本とする試験を行う。	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-6200-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
日本語Ⅰ（J1）	共通	1年生・前期	2単位	選択	古川　幸子

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	非漢字圏の学生で漢字学習を深めたいと思っていること。日本語1を履修したものは日本語2も履修することが望ましい。

授業概要　Course Outline

この授業は建学の精神『至心』に基づいて、日本での留学生活はもちろん、大学での学習に必要な漢字（初級後半から中級程度）を授業で扱いながら、日本語力の総合的な向上を目標とする。読み書きを中心に、聞く、話す力を総合的に身につける。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

日常生活に必要なことがらに真摯に向き合うための語学力を高めることが目標である。留学生活で目の当たりにする様々な書類やテキストなどの漢字が読め、また必要なことが書けるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

漢字学習がメインとはいえ、日本語力を高めることを目標にしているので、対話をしながら進める。積極的な日本語での発話を期待している。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡・問い合わせ等はオフィスアワー掲示時間内に研究室（452）で受け付ける。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：進度に合わせた小テストなどで学習理解度を確認する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
にほんご漢字トレーニング	松浦真理子・上妻直博・半田健一	アスク出版	

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
日本語総まとめN2漢字	佐々木仁子	アスク出版	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：定期試験70%、小テスト20%、平常点10%（提出物の取り組み方や内容によって評価します）

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション：授業方針説明、受講上の注意、自己紹介、レベルテスト	
	事前学習（内容・時間）	テキストの準備　（2時間）
	事後学習（内容・時間）	レベルテストの反省（2時間）
第2回	漢字をきれいに書くルールとポイント	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第3回	漢字の読み方がわかるルール①	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第4回	漢字の読み方がわかるルール②	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第5回	漢字の読み方が変わるルール①	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第6回	漢字の読み方が変わるルール②	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第7回	漢字の意味が分かる記号	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第8回	漢字一字の意味を考える	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第9回	少しの漢字から言葉を増やす	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第10回	漢字の前について言葉を作る漢字	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第11回	漢字の前後について言葉を作る漢字	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第12回	同じ読み方の漢字を覚える	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第13回	同じ意味を持つ漢字	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第14回	文章の中の漢字を考える	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第15回	身近なものから情報を得る	
	事前学習（内容・時間）	該当ページの予習　読んで質問内容などをまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　漢字ノートにきれいに書いて覚える（2時間）
第16回（定期試験）	筆記試験を行います。（持ち込み不可）	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-6200-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
日本語Ⅰ（J2）	共通	1年生・前期	2単位	選択	全　彰煥

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	本講義は留学生を対象者とする基礎日本語講座である。 主に、初級から中級へのレベルアップするための学習をする。

授業概要　Course Outline

本科目は、本学の建学精神である『至心』、すなわち「優れた専門性を磨く前に温かい人間性を、優れた社会人になる前に豊かな人間性を」をモットーとして、「紫苑」―「四恩」の⑴親・祖先の御恩　⑵教師・先生の御恩　⑶社会・国家の御恩　⑷神・仏の絶対なる御恩に報いられる人間づくりの教育目標を基にしている。

授業内容は、次のとおりである。

① 「日本語能力試験2級(N2)」の語彙、文法と「漢字検定4級」の漢字を学習する。
② 学習者は、毎週与えられる「漢字検定4級」の問題と「ワークブック問題」をレポートで提出しなければならない。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

外国人留学生として、正しい日本語学習を通して日本人と日本文化に対する理解力を増進することで、建学精神の『至心』を持った人間づくりに寄与することを目標とする。

具体的内容は次の通りである。

① 日本語基礎文法を学び、中級レベルと漢字検定4級以上の日本語力取得を目指す。
② 「日本語能力試験2級(N2)」の語彙、文法を学習する。
③ 「日本語能力試験2級(N2)」と「漢字検定4級」の受験・取得を目指す。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

① 対話型例文を熟知して、「1：1チーム発表」で発表をする。
② レベル別漢字テストの基本漢字の関連単語と語句を自主的に調査し、課題として提出する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

① 連絡・問い合わせ・相談：研究室（453）にて随時受け付ける。
② オフィスアワー：＜水＞2-5限目
③ メール：jonhan@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

① 外部試験：「日本語能力試験（JLPT）」N2と「漢字検定」4級を受験する。
試験結果は成績評価の対象とする。試験日、会場に関する案内の詳細は授業中に告知する。
② 学習確認：ポートフォリオ「科目別履修確認チェック表」必要事項を記入して提出する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
日本語能力試験N2文法 必修パターン	氏原庸子／佐伯玲子	Jリサーチ出版	978-4-86392-331-7

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「書き込み式、漢字の学習」 ー漢検対応ー	明治書院教科書編集部	明治書院	978-4-625-23302-9

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

① 定期試験 ⇒ 50%、課題/1：1チーム発表 ⇒ 30%、平常点 ⇒ 20%
② 平常点は、「外部試験」と発表を基本とする。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	基礎の復習ー1. 助詞、2. 副詞 ／ インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	特定無し（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検4級ー過去問①（2時間）
第2回	基礎の復習ー3. 接続詞、4. 敬語❶ ／ インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検4級ー過去問②（2時間）
第3回	基礎の復習ー4. 敬語❷ ／ インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「敬語資料」を熟読する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「敬語資料」暗記する。 ／ 【課題】漢検4級ー過去問③（2時間）
第4回	「N3文型」の整理 （1）、（2）、（3）、（4） ／ インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検4級ー過去問④（2時間）
第5回	「N3文型」の整理 （5）、（6）、（7）、（8） ／ インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検4級ー過去問⑤（2時間）
第6回	「N3文型」の整理 （9）、（10）、（11）、（12） ／ インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検4級ー過去問⑥（2時間）
第7回	「N2文型」の整理 （1）、（2） ／ インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検4級ー過去問⑦（2時間）
第8回	「N2文型」の整理 （3）、（4） ／ インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検4級ー過去問⑧（2時間）
第9回	「N2文型」の整理 （5）、（6） ／ インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検4級ー過去問⑨（2時間）
第10回	「N2文型」の整理 （7）、（8） ／ インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検4級ー過去問⑩（2時間）
第11回	「N2文型」の整理 （9）、（10） ／ インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検4級ー過去問⑪（2時間）
第12回	「N2文型」の整理 （11）、（12） ／ インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検4級ー過去問⑫（2時間）
第13回	「N2文型」の整理 （13）、（14） ／ インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検4級ー過去問⑬（2時間）
第14回	「N2文型」の整理 （15）、（16） ／ インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検4級ー過去問⑭（2時間）
第15回	「N2文型」の整理 （17）、（18） ／ インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。 ／ 【課題】漢検4級ー過去問⑮（2時間）
第16回（定期試験）	1. テキストの「練習問題」「応用問題」「実践問題」「模擬試験問題」を基本とする試験を行う。 2. 漢字検定4級の課題を基本とする試験を行う。	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-6210-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
日本語Ⅱ（J1）	共通	1年生・後期	2単位	選択	古川　幸子

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	漢字の読み書き、また、作文論文表現能力への向上意欲を持っていること。

授業概要　Course Outline

この授業は建学の精神『至心』に基づいて、正しい文法で短い文章を作る（書く）練習から始め、最後には長い文章（レポートなど）が書けるようになるよう、課題に取り組む。書くことだけにとどまらず、コミュニケーション能力の向上も目指し、お互いの異文化に触れながらディスカッションをして理解を深める。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

留学生として積極的に学ぶための、様々な場面で必要とされる文章を読み書きできる力を身につける。自分の意思を自分の力で表現する力、また相手の意見を明確に理解できる力を身につける。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

自分の考えを正しく表現することが目標であるので、考える→話す→聞く→書く→（まとめる）という順番で行う。授業中は意見を求めることも多いので、予告されたテーマについて準備しておくこと。最後の課題、レポートはWordで提出。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡・問い合わせ等はオフィスアワー掲示時間内に研究室（452）で受け付ける。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：進度に合わせて小テストなどを行い、理解度を確認する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
講義資料を配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
大学で学ぶための日本語ライティング	佐々木瑞枝、細井和代、藤尾清子	The　Japan　Times	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：定期試験70%、平常点30%（出席率、提出物の内容等でも判断します）

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション：講義内容、方針説明、受講上の注意など	
	事前学習（内容・時間）	テキストの準備 1課を読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第2回	書き言葉と話し言葉、文体について。	
	事前学習（内容・時間）	該当箇所の予習　予告されたテーマについて調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第3回	状況を説明し、意見を述べる①	
	事前学習（内容・時間）	身の回りの出来事を描写する言い方をまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第4回	状況を説明し、意見を述べる②	
	事前学習（内容・時間）	該当箇所の予習　予告されたテーマについて調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第5回	段落を作る①	
	事前学習（内容・時間）	該当箇所の予習　配布プリントを読んで予習しておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第6回	段落を作る②	
	事前学習（内容・時間）	テキストの該当箇所の予習（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第7回	文や段落をつなぐ練習（接続詞など）	
	事前学習（内容・時間）	該当箇所の予習　接続詞などについてまとめておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第8回	体験したことを書く	
	事前学習（内容・時間）	テキストの該当箇所の予習（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第9回	テーマに沿って意見文を書く①（疑問提示、伝聞、因果関係、予想、意見主張の表明）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの該当箇所の予習　指定した文法事項について確認しておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第10回	テーマに沿って意見文を書く②	
	事前学習（内容・時間）	テキストの該当箇所の予習　指定した文法事項について確認しておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第11回	レポート書くための基礎知識と構成①	
	事前学習（内容・時間）	テキストの該当箇所の予習　指定した文法事項について確認しておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第12回	レポート書くための基礎知識と構成②引用の表現	
	事前学習（内容・時間）	テキストの該当箇所の予習　指定した文法事項について確認しておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第13回	レポートを書くために基礎知識③資料を引用して書く	
	事前学習（内容・時間）	テキストの該当箇所の予習　指定した文法事項について確認しておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第14回	レポートを書く（資料をまとめる）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの該当箇所の予習　指定した文法事項について確認しておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第15回	レポートを書く（レポートの大筋を立てて書く準備をする）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの該当箇所の予習　指定した文法事項について確認しておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　授業内に書いたものの清書（2時間）
第16回（定期試験）	筆記試験を行います。持ち込み不可。	

ナンバリング(Numbering)
1GLN-6210-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
日本語Ⅱ(J2)	共通	1年生・後期	2単位	選択	全　彰煥

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	留学生を対象者とする中級日本語講座である。 主に、中級から上級へレベルアップするための学習をする。

授業概要　Course Outline

本科目は、本学の建学精神である『至心』、すなわち「優れた専門性を磨く前に温かい人間性を、優れた社会人になる前に豊かな人間性を」をモットーとして、「紫苑」ー「四恩」の⑴親・祖先の御恩　⑵教師・先生の御恩　⑶社会・国家の御恩　⑷神・仏の絶対なる御恩に報いられる人間づくりの教育目標を基にしている。

授業内容は、次のとおりである。

① 「日本語能力試験」N1の語彙、文法と「漢字検定3級」の漢字を学習する。
② 「日本語能力試験」N1の重要表現を文型を中心に学習する。
③ 「日本語能力試験」N1の文法問題を課題として熟知する。
④ インターネット・ニュースを持って時事問題を接し、聴解力と発表力を鍛えさせる。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

外国人留学生として、正しい日本語学習を通して日本人と日本文化に対する理解力を増進することで、建学精神の『至心』を持った人間づくりに寄与することを目標とする。

具体的内容は次の通りである。

① 「日本語能力試験」N1の語彙、文法を学習する。
② 「日本語能力試験」N1と「漢字検定」3級以上の受験・取得を目指す。
③ インターネット・ニュースを通して聴解力と発表力の向上を目指す。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

① 指定のインターネット・ニュースを発表する。
② レベル別漢字テストの基本漢字の関連単語と語句を自主的に調査し、課題として提出する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

① 連絡・問い合わせ・相談：研究室(453)にて随時受け付ける。
② オフィスアワー：＜水＞2ー5限目
③ メール：jonhan@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

① 外部試験：「日本語能力試験(JLPT)」N1と「漢字検定」3級を受験する。
試験結果は成績評価の対象とする。試験日、会場に関する案内の詳細は授業中に告知する。
② 学習確認：ポートフォリオ「科目別履修確認チェック表」必要事項を記入して提出する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
日本語能力試験N1文法 必修パターン	氏原庸子／岡本牧子	Jリサーチ出版	978-4-86392-233-4

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「日本語総まとめ」 ーN1、文法ー	佐々木仁子・松本紀子	アスク出版	978-4-87217-726-8
「書き込み式、漢字の学習」 ー漢検対応ー	明治書院教科書編集部	明治書院	978-4-625-23302-9

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

① 定期試験 ⇒ 50%、課題/聴解・発表 ⇒ 30%、平常点 ⇒ 20%
② 平常点は、「外部試験」と発表を基本とする。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	文法の復習1、2、3　／　インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	特定無し（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。　／　【課題】漢検3級一過去問①（2時間）
第2回	文法の復習4．敬語　／　インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「敬語資料」を熟読する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「敬語資料」暗記する。　／　【課題】漢検3級一過去問②（2時間）
第3回	N2・N3の復習1．2、3、4　／　インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。　／　【課題】漢検3級一過去問③（2時間）
第4回	N2・N3の復習5、6、7、8　／　インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。　／　【課題】漢検3級一過去問④（2時間）
第5回	N2・N3の復習9、10、11、12　／　インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。　／　【課題】漢検3級一過去問⑤（2時間）
第6回	N1文型の整理（1）、（2）　／　インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。　／　【課題】漢検3級一過去問⑥（2時間）
第7回	N1文型の整理（3）、（4）　／　インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。　／　【課題】漢検3級一過去問⑦（2時間）
第8回	N1文型の整理（5）、（6）　／　インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。　／　【課題】漢検3級一過去問⑧（2時間）
第9回	N1文型の整理（7）、（8）　／　インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。　／　【課題】漢検3級一過去問⑨（2時間）
第10回	N1文型の整理（9）、（10）　／　インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。　／　【課題】漢検3級一過去問⑩（2時間）
第11回	N1文型の整理（11）、（12）　／　インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。　／　【課題】漢検3級一過去問⑪（2時間）
第12回	N1文型の整理（13）、（14）　／　インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。　／　【課題】漢検3級一過去問⑫（2時間）
第13回	N1文型の整理（15）、（16）　／　インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。　／　【課題】漢検3級一過去問⑬（2時間）
第14回	N1文型の整理（17）、（18）　／　インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。　／　【課題】漢検3級一過去問⑭（2時間）
第15回	N1文型の整理（19）、（20）　／　インターネットニュース：聞き取り練習	
	事前学習（内容・時間）	「意味・機能」「例文」を予習する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「練習問題」「応用問題」を解く。（2時間）
第16回（定期試験）	1．テキストの「練習問題」「応用問題」「実践問題」「模擬試験問題」を基本とする試験を行う。 2．漢字検定3級の課題を基本とする試験を行う。	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-6220-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
日本語Ⅲ	219～	2年生・前期	2単位	選択	古川　幸子

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	留学生を対象とする日本語講座です。日本語運用能力向上に意欲のある学生の受講を求めます。

授業概要　Course Outline

この授業は建学の精神『至心』に基づき、日本語を学び活用するうえで、学習者が陥りやすい誤用や不自然さを意識しながら語彙力をつける。日本語の基礎力と応用力を身につける。日本語能力試験の対策も行います。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

日本の大学で学ぶ上で必要な日本語運用能力、また多数ある類似語を場面で使い分けて表現し円滑なコミュニケーションが積極的にとれるようになる。また、語彙から日本の文化や習慣、価値観などに関して知り、日本社会について理解を深める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

特定の場面を提案するので、それぞれが既習の語彙を使って会話をし、さらによりよい表現になるように新しい言葉を学びながら練習する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡・問い合わせ等はオフィスアワー掲示時間内に研究室（452）で受け付ける。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：進度に合わせた小テストなどで学習理解度を確認する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
講義資料を配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
日本語総まとめN2読解文法	佐々木仁子	アスク社	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：定期試験70%、小テスト20%、平常点10%

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション：授業方針説明、受講上の注意、自己紹介、プレテスト	
	事前学習（内容・時間）	Googleclassroom で配布したプリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	プレテスト内容の復習
第2回	4月の言葉（花見）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第3回	4月の言葉（入学）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第4回	5月の言葉（ゴールデンウイーク）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第5回	5月の言葉（こどもの日、こどもに関する言葉）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第6回	手の動きに関する言葉	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第7回	6月の言葉（梅雨など天気に関する言葉）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第8回	6月の言葉（ジューンブライド、結婚式など）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第9回	7月の言葉（海に関する言葉）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第10回	7月の言葉（景色に関する言葉）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第11回	7月の言葉(話すことに関する言葉)	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第12回	心に関する言葉（気持ちなど）	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第13回	お祭りに関する言葉	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第14回	秋に関する言葉	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第15回	身近なものから情報を得る	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを読んで疑問点などをまとめておく。授業で質問します。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習（2時間）
第16回（定期試験）	筆記試験を行います。（持ち込み不可）	

ナンバリング（Numbering）
1GLN-6230-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
日本語Ⅳ	219～	2年生・後期	2単位	選択	古川　幸子

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	留学生を対象とする日本語講座です。日本語運用能力向上に意欲のある学生の受講を求めます。

授業概要　Course Outline

この授業は建学の精神『至心』に基づき、論理的思考を養うために様々な文章を読み、練習問題を重ねながらアカデミックジャパニーズを身につけます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

日本をより理解し、積極的に文献などを読み学習にあたるため、様々な文章に触れながら読解力を深め、さらには考えることを習慣化し、自分の考えを表現できるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

トピックスを正しく読み取り、ディスカッションしたりして意見をまとめ発表します。学生からの積極的な発話をお願いします。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡・問い合わせ等はオフィスアワー掲示時間内に研究室（452）で受け付ける。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：進度に合わせた小テストなどで学習理解度を確認します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
日本語ロジカルトレーニング　中級	西隈俊哉	アルク	

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
新聞記事など			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：定期試験70%、小テスト20%、平常点10%（発表等での態度や内容でも評価します）

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション：授業方針説明、評価の方法	
	事前学習（内容・時間）	テキストの準備　テキストの構成などを見ておく（二時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第2回	発想力：言葉の地図を作ってみよう	
	事前学習（内容・時間）	指定された言葉について理解を深める。授業中に質問します（二時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第3回	イラストを見て考えよう	
	事前学習（内容・時間）	指定された言葉について理解を深める。授業中に質問します（二時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第4回	文章を読んで図や表にしてみよう	
	事前学習（内容・時間）	指定された言葉について理解を深める。授業中に質問します（二時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第5回	標グラフの内容を読み取ってみよう	
	事前学習（内容・時間）	指定された言葉について理解を深める。授業中に質問します（二時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第6回	マッピングをしながら読んでみよう	
	事前学習（内容・時間）	指定された言葉について理解を深める。授業中に質問します（二時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第7回	登場人物になったつもりで読んでみよう	
	事前学習（内容・時間）	指定された言葉について理解を深める。授業中に質問します（二時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第8回	理由を考えながら読んでみよう	
	事前学習（内容・時間）	指定された言葉について理解を深める。授業中に質問します（二時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第9回	意味を考えながら読んでみよう	
	事前学習（内容・時間）	指定された内容について理解を深める。授業中に質問します（二時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第10回	キーワードをつなげて書いてみよう	
	事前学習（内容・時間）	指定された内容について理解を深める。授業中に質問します（二時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第11回	イラストを見て書いてみよう	
	事前学習（内容・時間）	指定された言葉について理解を深める。授業中に質問します（二時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第12回	文章を読んで考えてみよう	
	事前学習（内容・時間）	指定された言葉について理解を深める。授業中に質問します（二時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第13回	文章を読んで考えてみよう	
	事前学習（内容・時間）	指定された内容について理解を深める。授業中に質問します（二時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第14回	文章を読んで考えてみよう	
	事前学習（内容・時間）	指定された内容について理解を深める。授業中に質問します（二時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	指定された内容について理解を深める。授業中に質問します（二時間）
	事後学習（内容・時間）	学習済内容の復習　（2時間）
第16回（定期試験）	筆記試験を行います。持ち込み不可。	

ナンバリング(Numbering)
1GCB-5781-12C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報リテラシー演習Ⅰ	223～	1年生・前期	2単位	必修	リテラシー担当教員
情報リテラシー演習 (教職関連科目 選 高等学校 情報)	219～222				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	パソコンの基本操作やタイピングに慣れていることが望ましい。

授業概要 Course Outline

本演習ではディプロマポリシーに基づき、少人数クラスに分かれて担当教員が分担して、情報リテラシーの基礎となるワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどに関する基礎技能を学ぶ。また、これらの基礎技能を用いて、実データの収集、分析、応用の方法について体験する。さらに、情報教育の基礎となる情報検索方法や情報モラル・セキュリティ、ネットワークコミュニケーション、人工知能についても概説する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

【知識】
・パソコンの基礎的事項(五大装置、通信方法)を説明できる。 ・情報の定義、情報モラル、セキュリティについて説明できる。
・インターネットの利点・欠点、SNSの利点・欠点を列挙できる。 ・人工知能の定義、実用例について説明できる。
【態度・習慣】
・疑問点を尋ねることができる。 ・講義に参加できる。
【技能】
・タッチタイピングができる。 ・ビジネス文書の例を模倣し、自分で作成することができる。 ・Excelで表やグラフの作成、数式の利用ができる。 ・Powerpointで発表スライドを作成し、発表できる。 ・講義レポートを作成することができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

ただ実習をこなすだけでなく、卒業論文や科目レポートの作成を念頭に、学ぶ機能がどう使えるかを意識しながら取り組む。必要に応じて、自主的に発展的内容・機能の実践・習熟に努力する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、各担当教員の研究室で受け付けます。なお、オフィスアワーについては掲示を確認すること。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

MOS(Microsoft Office Specialist)の合格者については、その内容に応じて成績評価の際に優遇します。
学習の確認:ポートフォリオ・ルーブリックシートに必要事項を記入し8回目講義および最終講義時に提出すること.

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
リメディアル教育のための情報リテラシー	鈴木和也・荒平高章	八千代出版	978-4-8429-1812-9

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
適宜資料を配布する。			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

提出課題(30%)、講義中の発表(10%)、実習試験(30%)、筆記試験(30%)で評価する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	パソコンの基本設定1（学内ネットワーク接続、メール環境構築）	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを通読し、本科目の内容について把握する。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	大学が配布した冊子を通読し、本時で終わらなかった部分を補う。(2.0h)
第2回	パソコンの基本設定2（オフィスソフトのインストール、共有フォルダ設定）	
	事前学習（内容・時間）	大学が配布した冊子を通読し、本時で終わらなかった部分を補う。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	大学が配布した冊子を通読し、本時で終わらなかった部分を補う。(2.0h)
第3回	授業計画説明、メールの書き方、人工知能・データサイエンス（導入講義）	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第4回	第1章 パソコン入門、第2章 タイピングの基礎	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第5回	第3章 文書作成の基礎（1）、第4章 文書作成の基礎（2）	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第6回	第5章 文書作成の応用	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第7回	第6章 表作成の基礎	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第8回	第7章 グラフ作成の基礎	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第9回	第8章 表計算の応用	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第10回	第9章 レポート作成の基礎	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第11回	第10章 プレゼンテーションの基礎	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第12回	第11章 プレゼンテーションの応用	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第13回	第12章 学生生活と情報、第13章 インターネットと情報検索	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第14回	第14章 情報モラルとセキュリティ	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第15回	第15章 最新のネットワークコミュニケーション	
	事前学習（内容・時間）	テキストや資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。(2.0h)
第16回（定期試験）	実習試験および筆記試験を実施する。	

ナンバリング(Numbering)
1GCB-5792-12ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅱ (教職関連科目 必 高等学校 情報) (数理・ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ・AI入門)	223～	1年生・後期	2単位	選択	荒平 高章

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	情報リテラシー演習Iを修得していること. 基礎数学程度の素養があること.

授業概要 Course Outline

本講義では，ディプロマポリシーに基づき，現代社会の読み書きそろばんともいわれるデータサイエンスについて，その役割にはじまり，データ分析の基礎事項，分析手法の基礎について概説する．また，分析手法については，コンピュータを用いた分析演習も実施する．さらに，現代社会におけるデータサイエンスの応用事例についても触れ，2年次以降の履修計画の参考にしてもらう．

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

データサイエンスについて説明できる．データサイエンスに関連する情報倫理とその問題について説明できる．データ分析のためのデータ取得・管理方法について説明できる．データ分析の基礎(ヒストグラム・箱ひげ図・平均値・分散・散布図・相関係数・回帰直線)について説明できる．データサイエンスの手法について列挙でき，それについて説明できる．コンピュータを用いてデータ分析ができる．データサイエンスの応用事例について列挙できる．講義に参加できる．問題解決のために自ら行動することができる．

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

一方向型講義ではなく双方向型講義を実施する．

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などは研究室(653)にて受け付ける．オフィスアワーの時間については掲示を確認すること．
また，クラスルームを開設するので，講義に関する連絡はクラスルームで行う．

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：本科目のKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックフォームに必要事項を記入し提出すること(毎時間)．

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
データサイエンス入門	竹村彰通 他	学術図書出版	978-4-7806-0730-7

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
必要に応じて資料を配布する．			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

講義内演習・レポート課題(20%)，プレゼンテーション(40%)，定期試験(40%)をもとに総合的に判断する．

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを通読し，受講理由を明確にする．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第2回	データサイエンスの役割	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.1-13)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第3回	データサイエンスと情報倫理	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.14-33)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第4回	データ分析のためのデータの取得と管理	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.34-43)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第5回	データ分析の基礎　ヒストグラム・箱ひげ図・平均値と分散	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.45-55)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第6回	データ分析の基礎　散布図と相関係数	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.56-61)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第7回	データ分析の基礎　回帰直線	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.62-80)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第8回	データサイエンスの手法　クロス集計・回帰分析	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.81-89)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第9回	データサイエンスの手法　ベイズ推論・アソシエーション分析・クラスタリング	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.90-98)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第10回	データサイエンスの手法　決定木・ニューラルネットワーク・機械学習とAI	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.99-112)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第11回	データサイエンスの応用事例	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.160-216)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第12回	データ分析演習　（1）	
	事前学習（内容・時間）	第１１回までを復習する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第13回	データ分析演習　（2）	
	事前学習（内容・時間）	第１１回までを復習する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第14回	データ分析発表	
	事前学習（内容・時間）	データ分析演習の内容を整理し，プレゼンテーションの準備をする．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	第１４回までを復習する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第16回（定期試験）	定期試験を実施する	

ナンバリング（Numbering）
1GCN-5580-12C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
スタディ・スキル	224～	1年生・前期	2単位	必修	担当教員 クラス担任教員
コミュニケーションと自己発見Ⅰ	～223				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①必修科目のため、1年生は必ず履修し合格すること。 ②入学前学習をすでに提出済みであること。 ③入学後のプレテストを受験していること。 ※禁止事項：不必要な私語。正当な理由でない遅刻および許可のない入退室。携帯電話の使用。その他指定する事項。

授業概要　Course Outline

大学での学習は、自分で課題を設定したうえで、資料やインターネット等を駆使して、あるいは実地に赴いて調査し、客観的・論理的なレポートを作成し、他者に理解してもらうように発表（プレゼンテーション）する、といった汎用的で統合的な技能や思考力を必要とします。この授業では、1年生の皆さんが大学での学習を支障なく進めることができるように、「読み・書き・話す」に関わる基本的な技能を学んで、修得することを目的とします。したがって学生には課題が出されますので、それに従ってレポートを実際に作成し、発表していただくことになります。この授業は、主として本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」およびカリキュラムポリシー「Ⅰ　建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「Ⅲ　社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」「Ⅳ　主体的かつ創造的な思考力や実践力を修得させること。」に則り行われるものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

本講義の目標は以下のとおりです。
①学術書・専門書、インターネットなどを利用して論点を調べて自ら課題を設定し、結論を導き出すことができる。
②論理的・客観的なレポートを作成できる。
③他者を理解させるために、PowerPointやレジュメを作成、駆使できる。
④討論では、他者を尊重するとともに、自分の意見を積極的に発言できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

クラス別授業では、学生による発表や討論、担当教員による個別指導の機会を設けます。
毎回の授業が終わってから、ポートフォリオの記入をお願いします。感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は担当教員の研究室およびGoogleクラスルーム・メールにて随時受け付けます。
提出物はGoogleクラスルームへ出してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオとルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プリントを配布する。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
大学学びのことはじめ	佐藤・矢島・山本	ナカニシヤ出版	
入門ゼミナール	大江・黒崎・田中	学文社	
スタディスキルズ・トレーニング	吉原・間淵・冨江・小針	実教出版	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：試験90%。平常点10%(毎回の授業のポートフォリオ（事前学習と事後学習）の提出、ルーブリックの提出、課題の提出）。
成績評価の基準 ：「到達目標」に同じ。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業の方針、授業を受ける姿勢 大学4年間における履修についての考え方（坂上）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第2回	ノートの取り方、学術書・専門書の読み方（鈴木）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第3回	図書館の利用法（図書館）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第4回	インターネットで情報を検索してみよう①（中島）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第5回	インターネットで情報を検索してみよう①（宮崎）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第6回	レポートの書き方①（平田）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第7回	レポートの書き方②（平田）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第8回	レポートの書き方③（平田）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第9回	発表（プレゼンテーション）の方法①ーレジュメの作成（平田）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第10回	発表（プレゼンテーション）の方法②ーPowerPointの作成（平田）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第11回	発表（プレゼンテーション）の方法③ー討論のあり方（平田）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第12回	クラス別授業①ー発表とレポート指導（クラス担任）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第13回	クラス別授業②ー発表とレポート指導（クラス担任）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第14回	クラス別授業③ー発表とレポート指導（クラス担任）	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第15回	まとめ	
	事前学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの所定の質問に回答してください。（2時間）
第16回 （定期試験）	定期試験、ポートフォリオ＆ルーブリック作成等	

ナンバリング(Numbering)
1GCN-5590-12C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
コミュニケーションと自己発見Ⅱ(再)	～223	1年生・後期	2単位	必修	坂上 宏

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	無断欠席はしないでください。課題に対して積極的に取り組む姿勢が重要です。 学内模試「ITパスポートコンテスト」を必ず受験してください。

授業概要 Course Outline

この科目は本来、初年次学生向けの導入教育を目的としているが、再履修の学生はひと通り導入教育は済んでおり、また、その時期も過ぎているものとみなして、ITパスポート試験対策のための授業を行う。これは、本学の学習成果「ITパスポート合格と同等の専門的な知識・理解を修得している。」に基づくものである。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

上記の通り、本学の学習成果「ITパスポート合格と同等の専門的な知識・理解を修得している。」を到達目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回、過去問題に取り組みます。分からなかったり、間違った問題については、事前・事後学習で再度あたってみる姿勢が望まれます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

363研究室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学内模試「ITパスポートコンテスト」を必ず受験してください。
学習の確認：ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、授業内で指定された期日までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
配布資料			

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
ITパスポート合格教本	岡嶋裕史	技術評論社	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法：試験「ITパスポートコンテスト」(90%)、平常点(ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸの提出状況、授業における姿勢など)(10%)
・成績評価の基準 ：本学の学習成果「ITパスポート合格と同等の専門的な知識・理解を修得している。」

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業ガイダンス ／ 資料(1)の問題に取り組む	
	事前学習（内容・時間）	資料(1)の問題を回答する。(2h)
	事後学習（内容・時間）	資料（1）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第2回	資料(2)の問題に取り組む	
	事前学習（内容・時間）	資料(2)の問題を回答する。(2h)
	事後学習（内容・時間）	資料（2）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第3回	資料(3)の問題に取り組む	
	事前学習（内容・時間）	資料(3)の問題を回答する。(2h)
	事後学習（内容・時間）	資料（3）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第4回	資料(4)の問題に取り組む	
	事前学習（内容・時間）	資料(4)の問題を回答する。(2h)
	事後学習（内容・時間）	資料（4）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第5回	資料(5)の問題に取り組む	
	事前学習（内容・時間）	資料(5)の問題を回答する。(2h)
	事後学習（内容・時間）	資料（5）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第6回	資料(6)の問題に取り組む	
	事前学習（内容・時間）	資料(6)の問題を回答する。(2h)
	事後学習（内容・時間）	資料（6）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第7回	資料(7)の問題に取り組む	
	事前学習（内容・時間）	資料(7)の問題を回答する。(2h)
	事後学習（内容・時間）	資料（7）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第8回	資料(8)の問題に取り組む	
	事前学習（内容・時間）	資料(8)の問題を回答する。(2h)
	事後学習（内容・時間）	資料（8）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第9回	資料(9)の問題に取り組む	
	事前学習（内容・時間）	資料(9)の問題を回答する。(2h)
	事後学習（内容・時間）	資料（9）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第10回	資料(10)の問題に取り組む	
	事前学習（内容・時間）	資料(10)の問題を回答する。(2h)
	事後学習（内容・時間）	資料（10）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第11回	資料(11)の問題に取り組む	
	事前学習（内容・時間）	資料(11)の問題を回答する。(2h)
	事後学習（内容・時間）	資料（11）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第12回	資料(12)の問題に取り組む	
	事前学習（内容・時間）	資料(12)の問題を回答する。(2h)
	事後学習（内容・時間）	資料（12）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第13回	資料(13)の問題に取り組む	
	事前学習（内容・時間）	資料(13)の問題を回答する。(2h)
	事後学習（内容・時間）	資料（13）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第14回	資料(14)の問題に取り組む	
	事前学習（内容・時間）	資料(14)の問題を回答する。(2h)
	事後学習（内容・時間）	資料（14）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第15回	資料(15)の問題に取り組む	
	事前学習（内容・時間）	資料(15)の問題を回答する。(2h)
	事後学習（内容・時間）	資料（15）の問題で分からなかったもの、間違ったものについて再び取り組む。(2h)
第16回（定期試験）	定期試験：学内模試「ITパスポートコンテスト」 ルーブリックならびにポートフォリオの作成と提出	

ナンバリング（Numbering）
1GCN-6650-11E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ラーニングリテラシー （日本人学生）	224	1年生・前期	1単位	選択	安部　正俊

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	履修規定第5条3項に基づいて、原則として次の事項に該当する者の履修を許可します。 ①4月に実施する「プレテスト」の結果、この科目の履修を推奨された日本人学生、②担当教員から特に履修の必要ありと認められた1年生、③その他。 ※原則として、2～4年生の履修は認めません。

授業概要　Course Outline

この授業では、日本人学生に対して、国語力の基本的な知識・技能を身につけることを目的に実施します。学力の向上には、言葉を理解し、適切に使用する語彙力を高めることが必要です。そこで本授業では、漢字の読み書きについて習得し、文章の中で適切に使えるようにすることを目指します。漢字学習を中心課題としながら、国語力（漢字能力、日本語表現力）の基礎的な能力とスキルの充実を図るとともに、学習習慣の定着を目指して取り組んでまいります。
なお、本授業は、本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」及びカリキュラムポリシー「Ⅰ　建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「Ⅴ　基礎学力・技能を確認・強化すること。」に則り行われるものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

① 大学での授業を理解し知識や技能を習得していく上で、必要とされる基礎的な学力（主として漢字力）の充実を図る。
② 各自の漢字能力の向上と定着を図るために、漢字能力検定の合格を目指した課題学習に取り組む。
③ 授業及び自宅での課題に積極的に取り組むことを通して、意欲的に学習する習慣と態度を養う。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業そのものは、漢字力の向上のための反復学習が中心となります。自身の弱点を見極め、日常的にその克服に向けた学習の習慣を築くことが非常に大切です。そのため、授業での課題を契機として、地道にそして主体的に自らの欠点を改善してほしいと願っています。また、漢字能力検定に関する問題集等を自ら購入し、主体的に取り組むことが重要です。「自学自習」の姿勢こそが、漢字力をはじめとする自らの国語力を向上させる上で欠かせない要素です。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員にメールをするか、授業終了後に声をかけてください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

Google Classroomを活用します。
漢字能力検定の目標級の取得を目指して取り組みます。
本学で実施される検定試験は必ず受験してください。
授業では、ポートフォリオ＆ルーブリックに必要事項を記入し、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
改訂三版　漢検分野別問題集3級	公益財団法人 日本漢字能力検定協会	公益財団法人 日本漢字能力検定協会	978-4890964833

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
内閣告示「常用漢字表」(平成22年) 内閣告示「現代仮名遣い」 内閣告示「送り仮名の付け方」	文化庁		

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

① 定期試験の結果（90%）
② 平常点（課題の提出、ポートフォリオ＆ルーブリックの提出、その他）（10%）

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業ガイダンス、漢字能力検定の概要説明、練習問題と解説　:プリント①	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第2回	練習問題と解説　:プリントもしくはGoogle Classroom②	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第3回	練習問題と解説　:プリントもしくはGoogle Classroom③	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第4回	練習問題と解説　:プリントもしくはGoogle Classroom④	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第5回	練習問題と解説　:プリントもしくはGoogle Classroom⑤	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第6回	練習問題と解説　:プリントもしくはGoogle Classroom⑥	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第7回	練習問題と解説　:プリントもしくはGoogle Classroom⑦	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第8回	練習問題と解説　:プリントもしくはGoogle Classroom⑧	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第9回	練習問題と解説　:プリントもしくはGoogle Classroom⑨	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第10回	練習問題と解説　:プリントもしくはGoogle Classroom⑩	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第11回	練習問題と解説　:プリントもしくはGoogle Classroom⑪	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第12回	練習問題と解説　:プリントもしくはGoogle Classroom⑫	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第13回	練習問題と解説　:プリントもしくはGoogle Classroom⑬	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第14回	練習問題と解説　:プリントもしくはGoogle Classroom⑭	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第15回	練習問題と解説　:プリントもしくはGoogle Classroom⑮	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、わからない点を明確にしておく。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第16回（定期試験）	定期試験、ポートフォリオ＆ルーブリック作成等	

ナンバリング（Numbering）
1GCN-6650-11E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ラーニングリテラシー（留学生）	224	1年生・前期	1単位	選択	進藤康子

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	履修規程第5条3項に基づいて、原則として次の事項に該当する者の履修を許可します。①4月に実施する「プレテスト」の結果、この科目の履修を勧奨された者、②担当教員から特に履修の必要ありと認められた1年生、③その他。※原則として2～4年生の履修は認めません。

授業概要　Course Outline

この授業では、日本人クラスと留学生クラスに分かれ、習熟度に応じた内容で学習を行います。漢字・日本語学習を中心に課題（自主学習を含む）に取り組みながら、国語力（漢字能力、日本語表現力）を中心に、基礎的な能力とスキルの充実と学習習慣の形成を図ります。授業は、反復学習や自宅での学習を軸に構成されていますので、自学自習の意欲に基づいた主体的な取り組みと継続的な課題の提出が毎回要求されます。
　なお、本授業は、本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」およびカリキュラムポリシー「Ⅰ　建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「Ⅴ　基礎学力・技能を確認・強化すること。」に則り行われるものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

①大学での授業を理解し知識や技能を習得していく上で、必要とされる基礎的な学力（漢字力・日本語力等）の充実を図る。
②各自の漢字・日本語能力の向上と定着を図るために漢字能力検定・日本語能力検定の合格をめざした課題学習を取り組む。
③授業および自宅での課題に積極的に取り組むことを通して、意欲的に学習する習慣と態度を養う。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業そのものは、漢字力・日本語力の向上のための反復学習が中心となります。自身の弱点を見きわめ、日常的にその克服に向けた学習の習慣を築くことが非常に大切です。そのため、授業での課題を契機として、地道にそして主体的に自らの欠点を改善してほしいと願っています。また、漢字能力検定・日本語能力検定に関連する参考書や問題集を自ら購入し、主体的に取り組んでほしいと願っています。「自学自習」の姿勢こそが、自らの漢字力・日本語力を向上させるうえで欠かせない要素です。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業終了後に担当教員に声を掛けてください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

GoogleClassroomを活用します。
漢字能力検定・日本語能力検定の目標級の取得を目指して取り組みます。
本学で実施される検定試験は必ず受験してください。
学習の確認：ポートフォリオ＆ルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
（留学生クラス）「漢検漢字学習　ステップ6級」改訂4版		日本漢字能力検定協会	978-4-89096-406-2

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
漢字検定準2級頻出度順問題集（高橋書店） 日本語能力試験公式問題集N2（日本国際教育支援協会） その他多数			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

①定期試験の結果（90%）
②平常点（課題の提出、ポートフォリオ＆ルーブリックの提出、その他）（10%）

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業ガイダンス 、漢字能力検定・日本語能力検定の概要説明、練習問題と解説　:ﾌﾟﾘﾝﾄ①	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第2回	練習問題と解説　:ﾌﾟﾘﾝﾄもしくはGoogleClassroom②	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第3回	練習問題と解説　:ﾌﾟﾘﾝﾄもしくはGoogleClassroom③	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第4回	練習問題と解説　:ﾌﾟﾘﾝﾄもしくはGoogleClassroom④	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第5回	練習問題と解説　:ﾌﾟﾘﾝﾄもしくはGoogleClassroom⑤	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第6回	練習問題と解説　:ﾌﾟﾘﾝﾄもしくはGoogleClassroom⑥	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第7回	練習問題と解説　:ﾌﾟﾘﾝﾄもしくはGoogleClassroom⑦	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第8回	練習問題と解説　:ﾌﾟﾘﾝﾄもしくはGoogleClassroom⑧	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第9回	練習問題と解説　:ﾌﾟﾘﾝﾄもしくはGoogleClassroom⑨	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第10回	練習問題と解説　:ﾌﾟﾘﾝﾄもしくはGoogleClassroom⑩	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第11回	練習問題と解説　:ﾌﾟﾘﾝﾄもしくはGoogleClassroom⑪	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第12回	練習問題と解説　:ﾌﾟﾘﾝﾄもしくはGoogleClassroom⑫	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第13回	練習問題と解説　:ﾌﾟﾘﾝﾄもしくはGoogleClassroom⑬	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第14回	練習問題と解説　:ﾌﾟﾘﾝﾄもしくはGoogleClassroom⑭	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第15回	練習問題と解説　:ﾌﾟﾘﾝﾄもしくはGoogleClassroom⑮	
	事前学習（内容・時間）	配布プリントを予習して、分からない点を明確にしておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	不正答だった問題を中心に、配布プリントを復習すること。(2時間)
第16回（定期試験）	定期試験、ポートフォリオ＆ルーブリック作成等	

ナンバリング（Numbering）
1GCN-6660-12C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
キャリアデザインⅠ	224～	1年生・前期	2単位	必修	大多　正人 鈴木　和也

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用　Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①「社会基準」としてマナー（時間厳守、挨拶、筆記具・ノート必携など）を実践できること。 ②講演者の話をしっかり聴き、メッセージの要諦を書きとる習慣を身につけておくこと。

授業概要　Course Outline

経済産業省が提唱する「社会人基礎力」は、職場や地域社会での多様な人々との協働に必要な基本的な力を指し、それは「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の3つの能力から成り立っています（12の能力要素含む）。この授業では、特に「主体性を発揮し、行動する」「課題発見力を養う」「傾聴力を養う」の能力要素に焦点を当て、クラス別のグループワークを通じて社会人と学生の違いを理解し、実社会で求められる基礎力を学びます。外部資源を活用し、個々の学生が主体的に将来のキャリアを築くプロセスに重点を置きます。担当教員のサポートを得ながら、自己の能力向上と成長を遂げ、将来の社会で要求される力を身に付けます。この講座では、ディプロマポリシーⅢを目指し、建学の精神を理解し、主体的に実践できる姿勢や社会人として必要な態度を身につけます。同時に、カリキュラムポリシーⅠとⅥも取り組んでいます。様々なワークを通じて、学生は考え行動し、協働して成果を生み出す力を育て、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」などの「社会人基礎力」を身につけます。学生は自分の将来を「キャリアデザイン」し、人間性を向上させることで、自分に合った進路を選ぶ力を養います。この講座は、知識だけでなく、自己管理や協力能力などの実践的なスキルを重視し、学生が将来の目標に向けて主体的に動けるようサポートします。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	担当講師は、長年にわたり大学でキャリア教育と就業支援に従事する傍ら、企業の人事採用コンサルタントとしても活動しています。豊富な実務経験を活かし、学生たちには実際のビジネス環境で成功するための洞察力や社会人基礎力を伝授しています。授業では、第4回～第13回まで外部講師を招き、様々な視点からの経験を学生たちに提供します。大学・短期大学校でのキャリア教育や産業カウンセラー、キャリアコンサルタント養成講座での指導者、自衛隊での職場体験学習を通して社会人基礎力の構築に従事した指導者、福岡県中小企業家同友会の共育委員会で「労使見解の精神を学び、経営者と社員が共に育つよい会社を目指す」理念に基づいた労使教育に関わる経営者が授業を通じて、学生たちに実践的な知識とスキルを身につけ、将来のキャリア形成に備えることが期待させます。	担当講師の講義では、「主体性を発揮し、行動する」「課題発見力を養う」「傾聴力を養う」といった社会人基礎力の能力要素に焦点を当てています。クラス別のグループワークを通じて社会人と学生の違いを理解し、実社会で必要な基礎力を学びます。第4回～第13回では、企業等の外部講師を招いてオムニバスで実施され、学生たちには実践的なキャリアデザインの知識やスキルが提供されます。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

この講義では、クラス別のグループワークを通じて、社会人（成人）と学生との違いについて深く理解します。実社会で求められる社会人基礎力（3つの能力・12の能力要素）を知り、『私の30年先のキャリアの土台を築くこと』を目指します。特にこの授業では、外部講師による講義とアクティブラーニングを交え、私が主体的となって求められるキャリアを探っていきます。クラス担当教員のサポートを受けながら、自らの能力を高め、成長することで社会で必要とされる力を身に付けていきます。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

外部講師の講話の中で、あるいは講話を振り返るグループディスカッションにおいて、学生同士で考え方や価値観を共有する場が設けられます。積極的に意見交換し、刺激を受け合いながら、自身の「キャリアデザインの解像度」を高めてくれることを期待しています。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業担当者・ゲストスピーカー（外部講師）への相談は授業の前後にお願いします。
その他、キャリアに関する相談は随時「キャリアデザインセンター（CDC）まで連絡ください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
必要に応じて資料配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
マイナビ2025オフィシャル就活BOOK　内定獲得のメソッド 就職活動がまるごと分かる本（電子版）	岡　重信	マイナビ出版	978-4839983369

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

①遅刻・途中退席は原則認めない。
②テキスト・筆記具を持たない学生は受講できない。
③授業中のノートパソコンやスマートフォン、イヤホンなど情報機器端末の使用は指示がない限り禁ずる。
④「社会基準」に則り、授業を行う。それに従えない場合は講師の判断で退席させる。
⑤10回以上の出席が単位付与の必要最低条件。試験未受験者には単位付与しない。
⑥カードリーダーによる入室チェックと毎回提出する課題ワークシートで出席を確認し、その記載内容のレベルも平常点に反映する。
⑦成績評価の方法…平常点（80%）・定期試験（20%）
※平常点では、受講態度、遅刻の有無、提出課題の内容、ポートフォリオ・ルーブリックシートの提出、グループワーク活動状況を重視。
⑧定期試験では、全ての持ち込みを原則禁止とする。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（受講ルール説明、講座の趣旨・進め方について説明します）	
	事前学習（内容・時間）	事前にシラバスの内容（授業概要、到達目標、授業計画等）を確認しておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	オリエンテーションで伝えられた内容をノート等にまとめて、授業本番に備えておく。また、不明な点は質問できるように準備する。（2.0h）
第2回	コミニュニケーション①　テーマ：仲間づくり	
	事前学習（内容・時間）	担任制による少人数クラス、または合同クラス講義の為、自己紹介の準備をします。大学生としての抱負を明確にしノート等にまとめておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学生同士で共有した情報や価値観を踏まえ、大学生活において、大事なことを再確認しノート等にまとめておく。（2.0h）
第3回	コミニュニケーション②　テーマ：協働ゲーム	
	事前学習（内容・時間）	担任制による少人数クラス、または合同クラス講義の為、自己紹介の準備をします。大学生としての抱負を明確にしノート等にまとめておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学生同士で共有した情報や価値観を踏まえ、大学生活において、大事なことを再確認しノート等にまとめておく。（2.0h）
第4回	外部講師による講演　テーマ：大学生のキャリア創造	
	事前学習（内容・時間）	大学における目標・進路のイメージなどを明確にしておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学んだことをノートにまとめて整理し、自身の進路選択に反映させておく。（2.0h）
第5回	アクティブラーニング（前回講演内容で学んだことについて学生同士でディスカッションし深めます）	
	事前学習（内容・時間）	前回学んだことや気づいたことなどについてディスカッションで伝えられるよう整理しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学生同士で共有した情報や価値観を踏まえ、課題ワークシートを完成させておく。（2.0h）
第6回	外部講師による講演　テーマ：社会人基礎力「挨拶編」	
	事前学習（内容・時間）	社会人基礎力は、『前に踏み出す力』、『考え抜く力』、『チームで働く力』の3つの能力と12の能力要素から構成されています。この社会人基礎力を事前に確認しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学んだことをノートにまとめて、第9回のディスカッションで伝えられるよう整理しておく。（2.0h）
第7回	外部講師による講演　テーマ：社会人基礎力「行動編」	
	事前学習（内容・時間）	社会人基礎力は、『前に踏み出す力』、『考え抜く力』、『チームで働く力』の3つの能力と12の能力要素から構成されています。この社会人基礎力を事前に確認しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学んだことをノートにまとめて、第9回のディスカッションで伝えられるよう整理しておく。（2.0h）
第8回	外部講師による講演　テーマ：社会人基礎力「責任編」	
	事前学習（内容・時間）	社会人基礎力は、『前に踏み出す力』、『考え抜く力』、『チームで働く力』の3つの能力と12の能力要素から構成されています。この社会人基礎力を事前に確認しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学んだことをノートにまとめて、第9回のディスカッションで伝えられるよう整理しておく。（2.0h）
第9回	アクティブラーニング（第6回～第8回の講演内容で学んだことについて学生同士でディスカッションし深めます）	
	事前学習（内容・時間）	第6回～第8回で学んだことや気づいたことなどについてディスカッションで伝えられるよう整理しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学生同士で共有した情報や価値観を踏まえ、課題ワークシートを完成させておく。（2.0h）
第10回	自分を知る（オープニング）　マイナビの適性診断テスト「MATCH PLUS」から自身の社会人基礎力を知ります	
	事前学習（内容・時間）	就職情報サイト 「マイナビ」アプリをインストールして、事前に示された内容については必ず予習しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	適性診断テストの振り返りと課された課題について取り組んでおく。（2.0h）
第11回	就職を知る（オープニング）　マイナビ　第0（ゼロ）回就職ガイダンスから自身のキャリアプランニングを考えます	
	事前学習（内容・時間）	就職情報サイト 「マイナビ」アプリをインストールして、事前に示された内容については必ず予習しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学んだことをノートにまとめて、第14回総括　～大学生活を充実させるために　で伝えられるよう整理しておく。（2.0h）
第12回	経営者による講演　テーマ：グリット（やり抜く力）を持つ人	
	事前学習（内容・時間）	ゲストスピーカーの経歴やその企業の事業活動について事前調査する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学んだことをノートにまとめて整理し、自身の職業観を磨くことやテーマの再現性に反映させる。（2.0h）
第13回	アクティブラーニング（前回講演内容で学んだことについて学生同士でディスカッションし深めます）	
	事前学習（内容・時間）	前回学んだことや気づいたことなどについてディスカッションで伝えられるよう整理しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学生同士で共有した情報や価値観を踏まえ、課題ワークシートを完成させる。（2.0h）
第14回	総括　～大学生活を充実するために（講義、行動計画作成など体験型ワーク、課題・レポート作成を行います）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの授業内容に該当する箇所を事前に読み、わからない部分を調べる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	ポートフォリオを完成させ。自身の大学生活を充実させる行動計画を立て、4年先の卒業後の進路選択のイメージを具体化する（2.0h）
第15回	総括　～キャリデザインⅡ（後期授業）に向けて	
	事前学習（内容・時間）	4年後の進路を考え、私の進路を実現するために必要な知識・技術について検討する。さらには各科目のシラバスを確認し、今後の科目で得られる知識を調べておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	4年後の私の進路を実現するために必要な履修計画を立てて、履修する科目で得られることを確認しておく。（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験の実施	

ナンバリング（Numbering）
1GCN-6670-12C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
キャリアデザインⅡ	224～	1年生・後期	2単位	必修	大多　正人 鈴木　和也

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①「社会基準」としてマナー（時間厳守、挨拶、筆記具・ノート必携など）を実践できること。 ②講演者の話をしっかり聴き、メッセージの要諦を書きとる習慣を身につけておくこと。 ③自分の将来について充実したものにしたいという思いと関心を持つこと。

授業概要　Course Outline

この講義では、クラス別でグループワーク等を通して社会で求められる様々な能力や資質を修得するために、以下の7つのステップを通じて自己成長を促します。まず、自分を肯定し、「これでいいのだ」という自覚を持つことから始めます。次に、自分らしさを知り、「私の強みは〇〇だ」と明確に認識します。さらに、社会を知り、「仕事は、大人は、面白い」という視点を身につけます。社会で必要な資質を磨くために、コミュニケーションスキルなどの汎用的技能を向上させます。卒業後のイメージを描くと同時に、その目標に向けて今から取り組むべきことを具体的に明確にします。最後に、毎日を充実させるために行動を起こし、「やるなら、今」の意識を持ちます。これらのステップを通じて、学生は知識・理解を深め、幅広いスキルを身につけ、将来への準備を進めます。この講座では、ディプロマポリシーⅢを目指し、建学の精神を理解し、主体的に実践できる姿勢や社会人として必要な態度を身につけます。同時に、カリキュラムポリシーⅠとⅥも取り組んでいます。様々なワークを通じて、学生は考え行動し、協働して成果を生み出す力を育て、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」などの「社会人基礎力」を身につけます。学生は自分の将来を「キャリアデザイン」し、人間性を向上させることで、自分に合った進路を選ぶ力を養います。この講座は、知識だけでなく、自己管理や協力能力などの実践的なスキルを重視し、学生が将来の目標に向けて主体的に動けるようサポートします。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	担当講師は、長年にわたり大学でキャリア教育と就業支援に従事する傍ら、企業の人事採用コンサルタントとしても活動しています。豊富な実務経験を活かし、学生たちには実際のビジネス環境で成功するための洞察力や社会人基礎力を伝授しています。第4回～第5回は、企業等の外部講師を招いてオムニバスで実施する授業です。担任講師は、福岡県中小企業家同友会共育委員会に属し、「労使見解の精神を学び、経営者と社員が共に育つよい会社を目指す」理念のもと、多岐に渡り従業員研修等で指導を行っております。	担当講師の授業では、社会で必要な能力や資質の修得に焦点を当て、7つのステップを通じて自己成長を促進します。自己肯定感の構築から始め、個々の強みを認識し、社会への洞察を深めます。コミュニケーションスキルの向上などで資質を磨き、卒業後の目標を具体的に描きつつ、現在からの具体的な行動計画を策定します。第4回～第5回は、外部講師を交えた実践的な授業も行い、学生たちに新たな視点からの洞察を提供します。地元経営者との対話を通じ、学生たちの受動的な行動を主体的なものへと変容させ、異なる視点からの洞察に気づき、学び取り、自己を振り返り、行動変容を促進することで、将来に向けた準備を着実に進めます。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

社会で必要になる以下の様々な能力・資質の修得を目指して、イメージし、感じ、行動することを通じて、社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めます。
（1）自分を肯定する～「これでいいのだ」
（2）自分らしさを知る～「私の強みは〇〇だ」
（3）社会を知る～「仕事は、大人は、面白い」
（4）社会で必要となる資質を磨く～「コミュニケーションってこういうことか」
（5）卒業後のイメージを具体的に描く～「10年後はこうありたい」
（6）そのために今から取り組むべきことを明確にする～「ここからはじめよう」
（7）毎日を充実させるためのアクションを起こす～「やるなら、今」

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

対話型の授業を実施していきます。グループワークの機会も予定しています。積極的にコミュニケーションを図り、周囲に働きかけることを期待します。各回の課題としてワークシートの作成・提出が求められます。「気づいたいこと・発見したこと」「今後どう活かしたいか」などの記入を通して授業をリフレクションします。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業担当者・ゲストスピーカー（外部講師）への相談は授業の前後にお願いします。
その他、キャリアに関する相談は随時「キャリアデザインセンター（CDC）まで連絡ください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「キャリアデザインⅡ」 テキスト・ワークブック （専用テキスト）	大多正人	九州情報大学作成	

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
①「なぜ僕らは働くのか～君が幸せになるために考えてほしい大切なこと」 ②「1日1話、読めば心が暑くなる365人の仕事の教科書」 ③マイナビ2025オフィシャル就活BOOK　内定獲得のメソッド 就職活動がまるごと分かる本（電子版）	①池上　彰 ②藤尾秀昭（監修） ③岡　重信	①学研プラス ②致知出版社 ③マイナビ出版	①978-4052051715 ②978-4800912473 ③978-4839983369

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

①遅刻・途中退席は原則認めない。
②テキスト・筆記具を持たない学生は受講できない。
③授業中のノートパソコンやスマートフォン、イヤホンなど情報機器端末の使用は指示がない限り禁ずる。
④「社会基準」に則り、授業を行う。それに従えない場合は講師の判断で退席させる。
⑤10回以上の出席が単位付与の必要最低条件。試験未受験者には単位付与しない。
⑥カードリーダーによる入室チェックと毎回提出する課題ワークシートで出席を確認し、その記載内容のレベルも平常点に反映する。
⑦成績評価の方法…平常点（80%）・定期試験（20%）
※平常点では、受講態度、遅刻の有無、提出課題の内容、ポートフォリオ・ルーブリックシートの提出、グループワーク活動状況を重視。
⑧定期試験では、全ての持ち込みを原則禁止とする。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（受講ルール説明、講座の趣旨・進め方について説明します）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを準備し、一通り目を通しておく。大学生活をどう充実させるか、卒業後の進路選択をどうするのか、自分なりのイメージを描いておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	ポートフォリオ作成を通して、到達目標を明確にし、自身の学びのプランを立てる。（2.0h）
第2回	自分を知る①　卒業後の未来をイメージしてみる（講義、キャリアアンカーの体験型ワーク、課題・レポート作成を行います）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。（2.0h）
第3回	自分を知る②　キャリアを考えるうえで大切にしたいこと（講義、キャリアをイメージする体験型ワーク、課題・レポート作成を行います）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。（2.0h）
第4回	経営者による講演　テーマ：今の時代をどのようにして生き抜くのか	
	事前学習（内容・時間）	ゲストスピーカーの経歴やその企業の事業活動について事前調査する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学んだことをノートにまとめて整理し、自身の職業観を磨くことやテーマの再現性に反映させる。（2.0h）
第5回	アクティブラーニング（前回講演内容で学んだことについて学生同士でディスカッションし深めます）	
	事前学習（内容・時間）	前回学んだことや気づいたことなどについてディスカッションで伝えられるよう整理しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。（2.0h）
第6回	自分を知る③　自分らしさについて（講義、自分マッピングなど体験型ワーク、課題・レポート作成を行います）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。（2.0h）
第7回	自分を知る④　社会人基礎力（講義、社会人基礎力の体験型ワーク、課題・レポート作成を行います）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。（2.0h）
第8回	自分を知る⑤　ストレスマネジメント（講義、ストレスマネジメントの体験型ワーク、課題・レポート作成を行います）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。（2.0h）
第9回	社会を知る①　働くってどういうこと？（講義、働くことの意味の体験型ワーク、課題・レポート作成を行います）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。（2.0h）
第10回	社会を知る②　社会人訪問のすすめ（講義、社会人訪問の体験型ワーク、課題・レポート作成を行います）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。（2.0h）
第11回	社会を知る③　社会が求める人材（講義、人材採用の体験型ワーク、課題・レポート作成を行います）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。（2.0h）
第12回	社会を知る④　学生と社会人の違い（講義、ビジネスマナーの体験型ワーク、課題・レポート作成を行います）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。（2.0h）
第13回	社会を知る⑤　ワークルール（講義、事例に基づく体験型ワーク、課題・レポート作成を行います）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。（2.0h）
第14回	ロールモデルを探す～先輩に学ぶ就職活動の心構え（講義、先輩への質疑応答、課題・レポート作成を行います）。	
	事前学習（内容・時間）	先輩ゲストスピーカーの就職活動体験やその企業の事業活動について事前調査する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学んだことをノートにまとめて整理し、自身の就職活動を準備する。（2.0h）
第15回	総括　～大学生活を充実させるために（講義、行動計画作成など体験型ワーク、課題・レポート作成を行います）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	ポートフォリオを完成させ、自身の大学生活を充実させる行動計画を立て、卒業後の進路選択のイメージを具体化する。（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験の実施	

ナンバリング（Numbering）
1GCN-6680-X2E

科目名Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
インターンシップ実習	224～	1・2年生・通年	2単位	選択	合田　和正

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	・学生が参加するインターンシップが適切かどうか、担当教員が判断する。※定員人数有 ・学生は、インターンシップに参加する前に担当教員の承認を得ること。 ・事業先は大学が指定する企業或いは、学生自らが選び、担当講師から承認を得られた事業先とする。 ※大学での学研災付帯賠償責任保険加入手続きが必要である。

授業概要　Course Outline

この授業では、夏季休業期間中（8/8～9/23）の3日～7日程度、大学指定する企業・事業所、或いは学生自ら選び、担当講師から承認を得られた企業・事業所等で実践的なインターンシップを通じて、民間企業などの多様で積極的な就労体験や実務経験を積むことが求められます。この実践的な教育により、大学内の理論だけでは得られない実社会への興味や関心を高め、キャリア教育の重要性を理解します。学生たちは学習意欲や就業意欲を向上させつつ、今後の進路選択や就職活動に活かすことが期待されています。この期間を通じて得た経験は、単なる職場体験だけでなく、将来の職業選択やキャリア形成において有益な知見を提供し、学生たちの成長に寄与します。授業の目的は、単なる学問だけでなく、実際の職場環境での学びを通じて、学生たちがより充実した大学生活を送り、将来の社会で活躍するための基盤を築くことにあります。この1年間の授業はディプロマポリシーⅢに向け、カリキュラムポリシーⅠ及びⅥに対応しており、学生は様々なワークを通して「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」などの「社会人基礎力」を修得し、自己成長を遂げます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

夏季休業（8/8～9/23）にインターンシップを積極的に活用し、将来のキャリアにおいて不可欠な要素を手に入れることです。インターンシップを通じて、職場での実務経験を積み重ね、専門知識を獲得し、プロフェッショナルなスキルを発展させることで、将来の就職活動やキャリアの成功に向けた準備を低学年で達成します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

このインターンシップに参加することは、大学で学ぶ理論だけでなく実践的なスキルを身につける絶好の機会です。この主体的な学びのプロセスでは、学生は教室の枠を越えて実際の職場環境で主体的かつ積極的に学び、経験を得ることが期待されます。インターンシップを通じて、学生は企業や組織の日常業務に参加し、リアルな業務体験を通して専門知識や実践的なスキルを向上させます。これにより、抽象的な理論だけでなく、実際の業務において必要な能力や洞察を養うことができます。また、異なる環境でのコミュニケーションや問題解決などのスキルも発展させ、職場での実践的な課題に主体的かつ創造的に取り組む力を培います。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業担当者への相談は授業の前後にお願いします。
その他、インターンシップ実習に関する相談は随時「キャリアデザインセンター（CDC）まで連絡ください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
必要に応じて資料配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
①就職四季報　企業研究・インターンシップ版 2025年版 ②会社四季報　業界地図　2024年版 ③就職四季報　総合版　2024年版 ④マイナビ2025オフィシャル就活BOOK　内定獲得のメソッド インターンシップ	①東洋経済新報社（編著） ②東洋経済新報社（編著） ③東洋経済新報社（編著） ④岡　茂信	①東洋経済新報社 ②東洋経済新報社 ③東洋経済新報社 ④マイナビ出版	①978-4492974377 ②978-4492973332 ③978-4492971390 ④978-4839983307

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・実習先事業所からの評価なども含め総合的に評価して100点満点とする。
・履修登録をした上で、「事前指導」「夏季実習（インターンシップ）」「中間報告会」「事後指導」「成果報告会」のプロセスを踏むことを前提とする。
・提出書類が期限までに出ない、または不備を改善する意欲がない、担当講師や事業所の指導・教育担当者からの指導を聞き入れない場合は失格として、職場実習を中止する。
・成果報告会での口頭発表（およそ10%）、「インターンシップ実習簿」、「インターンシップ目標管理シート」の各書類（およそ40%）、実習先事業所からの評価（およそ50%）
※実習先での勤務評価は、実習簿の指導担当者の初見、担当講師、就職対策委員、就職課による企業・事業所への訪問、聞き取り内容より評価する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション　履修条件や成績判定についての説明、インターンシップについての説明	
	事前学習（内容・時間）	事前にシラバスの内容（授業概要、到達目標、授業計画等）を確認しておく（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	オリエンテーションで伝えられた内容をノート等にまとめて、授業本番に備えておく。また、不明な点は質問できるように準備する。（0.5h）
第2回	事前指導①　インターンシップ目標管理シートを作成・提出する	
	事前学習（内容・時間）	インターンシップに必要な基礎知識を調べ、自分のノートに整理しておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を振り返り、新たに資料を調べ、自分のノートに整理すること。（0.5h）
第3回	事前指導②　企業を選ぶ、エントリーシートを作成する	
	事前学習（内容・時間）	夏季実習（インターンシップ）の事業所を調べ、自分のノートに整理しておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を振り返り、新たに資料を調べ、自分のノートに整理すること。（0.5h）
第4回	事前指導③　インターンシップの心構え（礼儀作法、相応しい服装・容姿、所作を学ぶ）	
	事前学習（内容・時間）	インターンシップに必要な社会人基礎力を調べ、ノートに整理しておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を振り返り、新たに資料を調べ、自分のノートに整理すること。（0.5h）
第5回	夏季実習（インターンシップ）①	
	事前学習（内容・時間）	実習簿を準備する。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第6回	夏季実習（インターンシップ）②	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第7回	夏季実習（インターンシップ）③	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第8回	夏季実習（インターンシップ）④	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第9回	夏季実習（インターンシップ）⑤	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第10回	夏季実習（インターンシップ）⑥	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第11回	夏季実習（インターンシップ）⑦	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第12回	夏季実習（インターンシップ）⑧	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第13回	夏季実習（インターンシップ）⑨	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第14回	夏季実習（インターンシップ）⑩	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第15回	夏季実習（インターンシップ）⑪	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第16回	夏季実習（インターンシップ）⑫	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第17回	オリエンテーション　中間報告会	
	事前学習（内容・時間）	夏季実習（インターンシップ）⑫までの実習内容を実習簿で振り返り、ノート等にまとめておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	中間報告会で修正した目標設定を実習簿に記述しておく。（0.5h）
第18回	夏季実習（インターンシップ）⑬	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）

第19回	夏季実習（インターンシップ）⑭	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第20回	夏季実習（インターンシップ）⑮	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第21回	夏季実習（インターンシップ）⑯	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第22回	夏季実習（インターンシップ）⑰	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第23回	夏季実習（インターンシップ）⑱	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第24回	夏季実習（インターンシップ）⑲	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第25回	夏季実習（インターンシップ）⑳	
	事前学習（内容・時間）	前回の実習内容を実習簿で振り返っておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	当日の実習簿をまとめておく。（0.5h）
第26回	事後指導①　成果報告会に向けた準備　実習簿をまとめる	
	事前学習（内容・時間）	実習簿を整理してノート等にまとめておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	成果報告のフォーマットを準備しておく（0.5h）　※報告会はパワーポイント、エクセル、ワードを使用
第27回	事後指導②　成果報告会に向けた準備　成果報告資料を作る	
	事前学習（内容・時間）	成果報告の内容をまとめておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	成果報告の資料を完成しておく。（0.5h）

第28回	成果報告会① 実習生10名の発表とフィードバック	
	事前学習（内容・時間）	成果報告の発表準備をしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	評価者のフィードバックを整理してまとめておく。（0.5h）
第29回	成果報告会②　実習生10名の発表とフィードバック	
	事前学習（内容・時間）	成果報告の発表準備をしておく。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	評価者のフィードバックを整理してまとめておく。（0.5h）
第30回	インターンシップ実習　総括	
	事前学習（内容・時間）	今回のインターンシップ実習で学んだ事柄を、今後どのようにして活かすのか考える。（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	今後のインターンシップに参加して、自身の就職活動に繋げる（0.5h）
第31回（定期試験）	実習先事業所からの評価なども含め総合的に評価して100点満点とする。 ・成果報告会での口頭発表（およそ10%） ・「インターンシップ実習簿」、「インターンシップ目標管理シート」の各書類（およそ50%） ・実習先での勤務評価（およそ40%） ※実習先での勤務評価は、実習簿の指導担当者の初見、担当講師、就職対策委員、就職課による企業・事業所への訪問、聞き取り内容より評価する。	

ナンバリング（Numbering）
1GCN-5310-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
キャリアデザインⅢ	224～	2年生・前期	2単位	選択	大多　正人
キャリアデザイン入門Ⅰ	～223			必修	

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①「社会基準」としてマナー（時間厳守、挨拶、筆記具・ノート必携など）を実践できること。 ②実践的なアプローチ（グループワークなど）において能動的に取り組めること。

授業概要　Course Outline

就職活動の成功の鍵は、ルールと流れを徹底的に理解し、自己整理と企業が求める人物像を把握することにあります。自身の能力（仕事におけるスキル）、興味（やりたい仕事）、価値観（譲れない条件）を考慮に入れ、キャリアの方向性を明確にし、雄気堂々とした態度で就職活動に臨む準備を整えます。希望する業界・企業を絞り込み、事前に研究を行います。同時に、自己分析を通じて履歴書やエントリーシートをしっかりと準備し、アピールポイントを明確に示します。これにより、自分の強みを最大限に引き出し、企業に対して自信をもってアプローチすることが可能となります。自己分析と企業研究の徹底的な実践を通じて、充実した就職活動を展開し、理想のキャリアを築く一歩を踏み出します。この講座では、「社会基準」を大切にし、ディプロマポリシーⅢを目指します。建学の精神を理解し、自ら進んで実践する姿勢や、社会人として必要な態度・志向性を身につけることが目標です。同時に、カリキュラムポリシーⅠ（建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと）とカリキュラムポリシーⅥ（キャリア開発の技術を培い、将来の進路に備えること）にも取り組みます。特に、2年生の皆さんには、将来の就職に備えて、社会基準に則った授業で、実践的なスキルや適切な態度を身につけ、職場での成功につなげましょう。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	担当講師は、長年にわたり大学でキャリア教育と就業支援に従事する傍ら、企業の人事採用コンサルタントとしても活動しています。豊富な実務経験を活かし、学生たちには実際のビジネス環境で成功するための洞察力や社会人基礎力を伝授しています。この授業では、第4回～第5回にかけて外部講師を招いてオムニバス形式で行われます。この外部講師は、大学・短期大学校でのキャリア教育講師や産業カウンセラー、キャリアコンサルタント養成講座などで長年にわたりキャリア指導に従事しています。講師らは実務の視点から学生たちに専門的な知識やキャリア形成に関するアドバイスを提供し、実践的な社会人基礎力の向上をサポートしています。これにより、学生たちは将来の進路において自己の強みを最大限に発揮できるようになります。	担当講師の授業では、学生たちが将来の進路に向けて的確なステップを踏むための準備を徹底的にサポートします。業界や企業を絞り込み、入念な事前研究を行う一方で、自己分析を通じて履歴書やエントリーシートの準備にも重点を置いています。これにより、学生たちは自身の強みを最大限に引き出し、企業へのアプローチに自信を持つことができます。徹底的な自己分析と企業研究を通じて、就職活動を有意義なものにし、理想のキャリアを構築する一歩を踏み出す手助けをしています。また、第4回から第5回にかけての授業では、外部講師を招いてオムニバス形式で実施されます。このアプローチを通じて、学生たちは大学教育では得られない実践的なキャリアデザインの知識やスキルを身に付け、将来の成功に向けて堂々としたステップを踏む準備を進めることが期待されます。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

（1）就職活動の実像を知り、疑問や不安を解消する。具体的には、
①就職活動のルールと流れを知る
②マナーや心構えをつくる
③すべきことを明確にする
（2）実戦的なワークやアクティビティを通して、「雄気堂々」本番に臨めるように準備する。具体的には、
④希望する業界・企業を絞り、事前に研究する
⑤自己分析を通して履歴書・エントリーシートを準備する
⑥グループディスカッションや面接の対策をする

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

就職活動はすべてが「アクティブ」です。自己分析や履歴書・エントリーシートの作成では、自分自身の「強み・改善点」「学生生活で得たもの」「志望動機」「ビジョン」などを整理し、わかりやすく自己表現することが必要です。また、面接では、それらを全身でアピールすることが求められます。さらに、グループディスカッションでは、意見交換を通して、異なる見解や対立を乗り越えながら集団で意思決定しなければなりません。授業では皆さんがこれから遭遇するだろうと思われる場面を極力「リアルに再現」して、実戦的なトレーニングを行います。本番で「後悔しない」よう、積極的に取り組むことを期待します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業担当者・ゲストスピーカー（外部講師）への相談は授業の前後にお願いします。
その他、キャリアに関する相談は随時「キャリアデザインセンター（CDC）まで連絡ください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

学習の確認：ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「キャリアデザインⅢ」 テキスト・ワークブック （専用テキスト）	大多正人	九州情報大学作成	

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
①マイナビ2024　オフィシャル就活BOOK　内定獲得のメソッド　業界＆職種研究ガイド（電子版） ②マイナビ2025　オフィシャル就活BOOK　内定獲得のメソッド　自己分析　適職へ導く書き込み式ワークシート（電子版）	①マイナビ出版編集部 ②岡　茂信	①マイナビ出版 ②マイナビ出版	①978-4839980061 ②978-4839983260

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

①遅刻・途中退席は原則認めない。
②テキスト・筆記具を持たない学生は受講できない。
③授業中のノートパソコンやスマートフォン、イヤホンなど情報機器端末の使用は指示がない限り禁ずる。
④「社会基準」に則り、授業を行う。それに従えない場合は講師の判断で退席させる。
⑤10回以上の出席が単位付与の必要最低条件。試験未受験者には単位付与しない。
⑥カードリーダーによる入室チェックと毎回提出する課題ワークシートで出席を確認し、その記載内容のレベルも平常点に反映する。
⑦成績評価の方法…平常点（80%）・定期試験（20%）
※平常点では、受講態度、遅刻の有無、提出課題の内容、ポートフォリオ・ルーブリックシートの提出、グループワーク活動状況を重視。
⑧定期試験では、全ての持ち込みを原則禁止とする。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（「就職活動はなんのため？」「どうすればいいのか？」について説明します）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを準備し、一通り目を通しておく。1年次の必修科目「キャリアデザインⅠ」及び「キャリアデザインⅡ」（履修者のみ）を振り返り、自分なりの職業観について考えを整理しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	ポートフォリオ作成を通して、到達目標を明確にし、自身の学びのプランを立てる。（2.0h）
第2回	就活を知る①　就職活動の全体像（講義、ワーク、課題・レポートを作成します）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを見直して理解を深めておく。自身で就職活動に関する情報収集を行う。（2.0h）
第3回	社会が求める人物像①　ビジネスマナーの重要性とコミュニケーション、コンピテンシー、モチベーション（講義、体験型ワーク、課題・レポートを作成します）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを見直して理解を深めておく。自身で就職活動に関する情報収集を行う。（2.0h）
第4回	外部講師による講演　テーマ：自分だけのキャリア創造	
	事前学習（内容・時間）	4年後の目標・進路のイメージなどを明確にしておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学んだことをノートにまとめて整理し、自身の進路選択に反映させておく。（2.0h）
第5回	アクティブラーニング（前回講演内容で学んだことについて学生同士でディスカッションし深めます）	
	事前学習（内容・時間）	前回学んだことや気づいたことなどについてディスカッションで伝えられるよう整理しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学生同士で共有した情報や価値観を踏まえ、課題ワークシートを完成させる。（2.0h）
第6回	仕事を知る①　企業研究の手がかり（講義、ワーク、課題・レポートを作成します）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを見直して理解を深め、自身の職業観を整理しておく。自身で就職活動に関する情報収集を行う。（2.0h）
第7回	仕事を知る②　企業研究の進め方（講義、ワーク、課題・レポートを作成します）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを見直して理解を深め、自身の職業観を整理しておく。自身で就職活動に関する情報収集を行う。（2.0h）
第8回	仕事を知る③　後悔しない企業（職場）選び（講義、ワーク、課題・レポートを作成します）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを見直して理解を深め、自身の職業観を整理しておく。自身で就職活動に関する情報収集を行う。（2.0h）

第9回	自分を知る①　自己分析ノススメ　マイナビの適性診断テスト「MATCH PLUS」から私の社会人としての適性を知ります。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを見直して理解を深めておく。各種自己分析ワークシートに取り組む。（2.0h）
第10回	自分を知る②　コンピテンシーから考える自己分析（講義、ワーク、課題・レポートを作成します）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを見直して理解を深めておく。各種自己分析ワークシートに取り組む。（2.0h）
第11回	履歴書・エントリーシート①　自己PRと短所（講義、ワーク、課題・レポートを作成します）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを見直して理解を深めておく。履歴書・エントリーシート作成に取り組む。（2.0h）
第12回	履歴書・エントリーシート②　学生時代に力を注いだこと（講義、ワーク、課題・レポートを作成します）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを見直して理解を深めておく。履歴書・エントリーシート作成に取り組む。（2.0h）
第13回	履歴書・エントリーシート③　志望動機、履歴欄の書き方（講義、ワーク、課題・レポートを作成します）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの読み込みと前回の指示に基づき事前ワークシートを作成する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを見直して理解を深めておく。履歴書・エントリーシート作成に取り組む。（2.0h）
第14回	就活を知る②　内定者による就職活動報告会（講義、ワーク、課題・レポートを作成します）	
	事前学習（内容・時間）	インターンシップに参加するなど自身で就職活動に関する情報収集を行う。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	自身の就職準備に向けた行動計画を具体的に立てる。（2.0h）
第15回	総括　～キャリデザインⅣに向けて	
	事前学習（内容・時間）	テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	ポートフォリオを完成させ、自身の就職活動を充実させる行動計画を立て、卒業後の進路選択のイメージを具体化する。（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験の実施	

ナンバリング(Numbering)
1GCN-5320-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
キャリアデザインⅣ	224～	2年生・後期	2単位	選択	大多　正人
キャリアデザイン入門Ⅱ	～223			必修	

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①「社会基準」としてマナー(時間厳守、挨拶、筆記具・ノート必携など)を実践できること。 ②実践的なアプローチ(グループワークなど)において能動的に取り組めること。

授業概要　Course Outline

就職活動において成功するためには、まずルールと流れを理解し、これまでの自己整理と企業が望む人物像を明確に把握することが不可欠です。自身の仕事におけるスキルややりたい仕事に対する興味、そして譲れない価値観を考慮に入れ、後半にはグループディスカッションと模擬面接を通じて人間力を向上させることを目指します。他者との意見交換を通して意見を発信し、相互理解を深めることで、コミュニケーション力を高めます。また、模擬面接を通じては自己表現力を養い、面接において魅力をアピールする方法を習得します。さらに、SPI3の演習では、自己の基礎能力を視覚化し向上を目指します。自身の強みや改善が必要な点を見つけ出すことで、より効果的な学習とスキル向上の方法を理解し、着実な成長を遂げていきます。この講座では、「社会基準」を大切にし、ディプロマポリシーⅢを目指します。建学の精神を理解し、自ら進んで実践する姿勢や、社会人として必要な態度・志向性を身につけることが目標です。同時に、カリキュラムポリシーⅠ(建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと)とカリキュラムポリシーⅥ(キャリア開発の技術を培い、将来の進路に備えること)にも取り組みます。特に、2年生の皆さんには、将来の就職に備えて、社会基準に則った授業で、実践的なスキルや適切な態度を身につけ、職場での成功につなげましょう。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	担当講師は、長年にわたり大学でキャリア教育と就業支援に従事する傍ら、企業の人事採用コンサルタントとしても活動しています。豊富な実務経験を活かし、学生たちには実際のビジネス環境で成功するための洞察力や社会人基礎力を伝授しています。第4回～第12回の授業に登壇する外部講師は、幅広い実務経験を有し、学生たちに有益な知識を提供しています。九州を拠点に企業・大学・自治体と協力し、進学・キャリアに関連する学校連携事業に参画してきた経営者や、「社会人の準備のため」に尽力し、長年にわたり就職活動に不可欠なスキル(自己分析・企業研究・業界研究・採用試験対策等)を取り上げ、学生たちが実践的なスキルを身につけられるよう支援してきた指導者が社会での成功に向けて必要な知識やスキルを効果的に習得すること目指します。	担当講師の授業では、就職活動の成功に向けて重要なステップを学びます。まず、ルールと流れを理解し、これまでの自己整理と企業が求める人物像を把握します。自身のスキルや興味、価値観を考慮し、グループディスカッションと模擬面接で人間力を向上させます。模擬面接では自己表現力を養い、魅力的なアピール方法を磨きます。また、第4回から第12回では外部講師を招き、実務経験を通じた知識を共有します。採用手法や自治体連携企業説明会の実例を通して、九州地区の就職活動状況を解説します。経験豊富な講師が企業の採用プロセスに基づいた実践的な情報を提供します。また、SPI試験に焦点を当て、数理論理能力問題などを解説し、学生たちは具体的な問題解決を通じて効果的に学びます。自信を持ちつつ苦手意識を克服し、就職活動に成功するための指導が行われます。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

就職活動のルールと流れを把握し、これまでの自己整理と企業が求める人物像を理解することです。自分の能力(仕事におけるスキル)、興味(やりたい仕事)、価値観(譲れない条件)を考慮に入れて、後期には、さらなるステップとして、多くの企業で採用されているSPI試験を攻略します。SPI3の演習では、私の基礎能力を可視化し、向上を目指します。自らの強みや改善すべき点を見つけることで、より効果的な学習やスキルの磨き方を把握し、成長していきます。次には模擬面接を通して人間力を磨くことを目標とします。他の人と意見を発信し、相互理解を深めることで、コミュニケーション力を高めます。また、模擬面接を通じて自己表現力を養い、面接における魅力をアピールする方法を学びます。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

就職活動はすべてが「アクティブ」です。自己分析や履歴書・エントリーシートの作成では、自分自身の「強み・改善点」「学生生活で得たもの」「志望動機」「ビジョン」などを整理し、わかりやすく自己表現することが必要です。また、面接では、それらを全身でアピールすることが求められます。さらに、グループディスカッションでは、意見交換を通して、異なる見解や対立を乗り越えながら集団で意思決定しなければなりません。授業では皆さんがこれから遭遇するだろうと思われる場面を極力「リアルに再現」して、実戦的なトレーニングを行います。本番で「後悔しない」よう、積極的に取り組むことを期待します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業担当者・ゲストスピーカー(外部講師)への相談は授業の前後にお願いします。
その他、キャリアに関する相談は随時「キャリアデザインセンター(CDC)まで連絡ください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
必要に応じて資料配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
①「これが本当のSPI3テストセンターだ」	①SPIノートの会	①講談社	・978-4065306543
②「ゼロから分かるSPI」	②山口　卓(監修)	②永岡書店	・978-4522460016
③「主要7単元　100分制覇　SPI最強メソッド」	③柳本　新二	③高橋書店	・978-4471410124
④マイナビ2025　オフィシャル就活BOOK　内定獲得のメソッド　面接　自己PR　志望動機(電子版)	④才木　弓加	④マイナビ出版	・978-4839983284
⑤マイナビ2025　オフィシャル就活BOOK　内定獲得のメソッド　面接担当者の質問の意図(電子版)	⑤才木　弓加	⑤マイナビ出版	・978-4839983277
⑥マイナビ2025　オフィシャル就活BOOK　内定獲得のメソッド　Web面接　オンライン面接の必勝法(電子版)	⑥才木　弓加	⑥マイナビ出版	・978-4839-983338

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

①遅刻・途中退席は原則認めない。
②テキスト・筆記具を持たない学生は受講できない。
③授業中のノートパソコンやスマートフォン、イヤホンなど情報機器端末の使用は指示がない限り禁ずる。
④「社会基準」に則り、授業を行う。それに従えない場合は講師の判断で退席させる。
⑤10回以上の出席が単位付与の必要最低条件。試験未受験者には単位付与しない。
⑥カードリーダーによる入室チェックと毎回提出する課題ワークシートで出席を確認し、その記載内容のレベルも平常点に反映する。
⑦成績評価の方法…平常点(80%)・定期試験(20%)
※平常点では、受講態度、遅刻の有無、提出課題の内容、ポートフォリオ・ルーブリックシートの提出、グループワーク活動状況を重視。
⑧定期試験では、全ての持ち込みを原則禁止とする。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（受講ルール説明、講座の趣旨・進め方について説明します）	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを事前に確認しておく。大学生活をどう充実させるのか、卒業後の進路選択をどうするのか、自分なりのイメージを描いておく。
	事後学習（内容・時間）	ポートフォリオ作成を通して、到達目標を明確にし、自身の学びのプランを立てる。（2.0h）
第2回	就職活動のマナー　リクルートスーツの着こなし、所作、言葉づかいの実践	
	事前学習（内容・時間）	リクルートスーツや鞄・靴など就職活動の必需品を事前に準備しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学んだことをノートにまとめて整理し、授業で足りなかった就活アイテムは事前準備しておく。（2.0h）
第3回	グループディスカッション　基礎編・実践編	
	事前学習（内容・時間）	自身のアピール内容を整理し、表現できるように準備しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	ポートフォリオを完成させ、提出する。自分たちで面接の経験を積む（2.0h）
第4回	外部講師による講演　テーマ：現在の就職活動を知る	
	事前学習（内容・時間）	最近の就職活動に関する傾向・対策についての情報を事前調査する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学んだことをノートにまとめて整理し、1年後に迫った自身のインターンシップや就職活動に向けて準備する。（2.0h）
第5回	アクティブラーニング（前回講演内容で学んだことについて学生同士でディスカッションし深めます）	
	事前学習（内容・時間）	前回学んだことや気づいたことなどについてディスカッションで伝えられるよう整理しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学生同士で共有した情報や価値観を踏まえ、課題ワークシートを完成させる。（2.0h）
第6回	面接①　基礎編	
	事前学習（内容・時間）	テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。（2.0h）
第7回	面接②　実践編（オンライン・対面・グループ面接）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業で指示した課題を完成する。授業での気づきを日常生活の言動に反映させる。（2.0h）
第8回	演習①　SPI試験対策　よく使われる就職試験の種類について解説	
	事前学習（内容・時間）	SPI3試験の出題傾向等をCDCから情報収集しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テスト結果から、言語問題、非言語問題の課題点を理解しておくこと。（2.0h）
第9回	演習②　SPI試験対策　数理論理能力問題解説①	
	事前学習（内容・時間）	テキストの練習問題の解答手順と解答の詳細をノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを精読して復習。授業で得た気づきを、事前記録に付け加えて更新しておくこと。（2.0h）
第10回	演習③　SPI試験対策　数理論理能力問題解説②	
	事前学習（内容・時間）	テキストの練習問題の解答手順と解答の詳細をノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを精読して復習。授業で得た気づきを、事前記録に付け加えて更新しておくこと。（2.0h）
第11回	演習④　SPI試験対策　数理論理能力問題解説③	
	事前学習（内容・時間）	テキストの練習問題の解答手順と解答の詳細をノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを精読して復習。授業で得た気づきを、事前記録に付け加えて更新しておくこと。（2.0h）
第12回	演習⑤　SPI試験対策　数理論理能力問題④	
	事前学習（内容・時間）	テキストの練習問題の解答手順と解答の詳細をノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストを精読して復習。授業で得た気づきを、事前記録に付け加えて更新しておくこと。（2.0h）
第13回	演習⑥　SPI3受検会	
	事前学習（内容・時間）	テキストの練習問題の解答手順と解答を復習しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テスト結果を復習して、採用試験の本番前に備えて準備しておくこと。（2.0h）
第14回	社会を知る⑥　IT業界を知る　講師：福岡県情報サービス産業協会	
	事前学習（内容・時間）	福岡県情報サービス産業協会の経歴やその事業活動について事前調査する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学んだことをノートにまとめて整理し、自身の職業観を磨くことやテーマの再現性に反映させる。（2.0h）
第15回	総括　～就職活動を充実させるために	
	事前学習（内容・時間）	テキストの授業内容に該当するページを事前に読み、わからない部分を調べる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	ポートフォリオを完成させ、自身の就職活動を充実させる行動計画を立て、卒業後の進路選択のイメージを具体化する。（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験の実施	

ナンバリング（Numbering）
1GCN-5290-32E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
キャリアデザインⅤ	224～	3年生・前期	2単位	選択	大多　正人
キャリアデザインⅠ	～223				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①「社会基準」としてマナー（時間厳守、挨拶、筆記具・ノート必携など）を実践できること。 ②実践的なアプローチ（グループワークなど）において能動的に取り組めること。

授業概要　Course Outline

進路・就職活動の総仕上げに焦点を当てたこの講義では、模擬面接や自己PRの作成、SPI対策などの実践的なスキルを磨くことが重要とします。学生は自らが主体となり、進路や就職活動において必要なスキルや知識を獲得し、実践的な経験を積んでいきます。このプロセスを通じて、学生たちは自己成長を促進し、ひとりで自分の進路や就職活動を堂々と進める自信を身につけます。この講座は、ディプロマポリシーⅢを目指し、建学の精神を理解し自己を進んで実践する態度や、社会人として必要な態度・志向性を身につけることを目標としています。同時に、カリキュラムポリシーⅠおよびⅥに対応しており、学生は様々なワークを通して「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」などの「社会人基礎力」を身につけることが期待されています。この講座では、学生が将来の就職活動を円滑に進めるために必要な実践的なスキルを向上させ、自信をつける準備が整います。学生が自らの将来を積極的に「キャリアデザイン」し、人間性を向上させることで、悔いのない進路選択ができるようにサポートします。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	担当講師は、長年にわたり大学でキャリア教育と就業支援に従事する傍ら、企業の人事採用コンサルタントとしても活動しています。豊富な実務経験を活かし、学生たちには実際のビジネス環境で成功するための洞察力や社会人基礎力を伝授しています。第4回～第6回、第9回～11回の授業に登壇する外部講師は、幅広い実務経験を有し、学生たちに有益な知識を提供しています。進学・キャリアに関連する学校連携に携わってきたキャリアコンサルタントや、「社会人の準備のため」に尽力し、長年にわたり就職活動に不可欠なスキル（自己分析・企業研究・業界研究・採用試験対策等）を取り上げ、学生たちが実践的なスキルを身につけられるよう支援してきた指導者が社会での成功に向けて必要な知識やスキルを効果的に習得すること目指します。	担当講師は、キャリアコンサルタントとして広範囲な大学でキャリア教育と就業支援に尽力しています。同時に、企業の人事採用コンサルタントとしても活動し、最新の情報を通じて学生たちに進路決定に必要な視点を提供しています。学生たちには実際のビジネス環境で成功するための洞察力や社会人基礎力を伝えています。第2回～第6回、第9回～第11回は、企業等の外部講師を招き、オムニバス形式で授業を展開します。就職ナビサイトの活用知識を深めて即戦態勢までに高め、学生たちに迅速な就職活動のスタートを切らせます。第9回～第11回ではSPI試験対策を講じます。これらの授業を通じて、学生たちは実践的なスキルを向上させ、自信をもって就職活動に臨む準備が整います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

進路・就職活動の総仕上げに重点を置いた講義を通じて、実践的な就職活動の準備として模擬面接や自己PRの作成、SPI対策などの実践的なスキルを磨き、私自らが主体となり、自己成長を促進していきます。就職活動において必要なスキルや知識を積極的に学び、実践的な経験を積むことで、ひとりで自分の進路や就職活動をしっかりと進める自信を身につけていきます。最後には、自身で選択した会社説明会に参加して採用試験に臨みます。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

就職活動はすべてが「アクティブ」です。自己分析や履歴書・エントリーシートの作成では、自分自身の「強み・改善点」「学生生活で得たもの」「志望動機」「ビジョン」などを整理し、わかりやすく自己表現することが必要です。また、面接では、それらを全身でアピールすることが求められます。さらに、グループディスカッションでは、意見交換を通して、異なる見解や対立を乗り越えながら集団で意思決定しなければなりません。授業では皆さんがこれから遭遇するだろうと思われる場面を極力「リアルに再現」して、実戦的なトレーニングを行います。本番で「後悔しない」よう、積極的に取り組むことを期待します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業担当者・ゲストスピーカー（外部講師）への相談は授業の前後にお願いします。
その他、キャリアに関する相談は随時「キャリアデザインセンター（CDC）まで連絡ください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
必要に応じて資料を配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
①「これが本当のSPI3テストセンターだ」 ②「ゼロから分かるSPI」 ③「主要7単元　100分制覇　SPI最強メソッド」 ④マイナビ2025　オフィシャル就活BOOK　内定獲得のメソッド　エントリーシート　完全突破塾（電子版） ⑤就活BOOK2025　内定獲得のメソッド　SPI　解法の極意（電子版） ⑥マイナビ2025　オフィシャル就活BOOK　内定獲得のメソッド　一般常識　即戦力 問題集（電子版）	①SPIノートの会 ②山口　卓（監修） ③柳本　新二 ④岡　茂信 ⑤マイナビ出版編集部 ⑥マイナビ出版編集部	①講談社 ②永岡書店 ③高橋書店 ④マイナビ出版 ⑤マイナビ出版 ⑥マイナビ出版	①978-4065306543 ②978-4522460016 ③978-4471410124 ④978-4839983291 ⑤978-4839983321 ⑥978-4839983253

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

①遅刻・途中退席は原則認めない。
②テキスト・筆記具を持たない学生は受講できない。
③授業中のノートパソコンやスマートフォン、イヤホンなど情報機器端末の使用は指示がない限り禁ずる。
④「社会基準」に則り、授業を行う。それに従えない場合は講師の判断で退席させる。
⑤10回以上の出席が単位付与の必要最低条件。試験未受験者には単位付与しない。
⑥カードリーダーによる入室チェックと毎回提出する課題ワークシートで出席を確認し、その記載内容のレベルも平常点に反映する。
⑦成績評価の方法…平常点（80%）・定期試験（20%）
※平常点では、受講態度、遅刻の有無、提出課題の内容、ポートフォリオ・ルーブリックシートの提出、グループワーク活動状況を重視。
⑧定期試験では、全ての持ち込みを原則禁止とする。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（受講ルール説明、講座の趣旨・進め方について説明します）	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを事前に確認しておく。大学生活をどう充実させてきたのか、卒業後の進路選択をどうするのか、自分なりのイメージを描いておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	ポートフォリオ作成を通して、到達目標を明確にし、自身の学びのプランを立てる。（2.0h）
第2回	就職ナビサイト登録会　就職ナビサイトの本登録と活用法を学ぶ	
	事前学習（内容・時間）	マイナビ、リクナビ、あさがくナビ、キャリタス就活の就職ナビサイトを事前に仮登録しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	マイナビ、リクナビ、あさがくナビ、キャリタス就活の就職ナビサイトを本登録しておく。（2.0h）
第3回	就職ガイダンス　就職課の就職支援について、進路登録カード作成、就職活動ハンドブック活用法を学ぶ	
	事前学習（内容・時間）	キャリアデザインセンターを訪問して、進路登録カード、就職活動ハンドブックを入手しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	進路登録カードを完成して、第4回の授業前に提出する。（2.0h）
第4回	特別講義　インターンシップ実践①　インターンシップの実態を学ぶ	
	事前学習（内容・時間）	合同企業説明会の出展企業を自ら調べ、「業界・職種研究」「企業研究」を予め行っておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	インターンシップイベント（合同企業説明会）に参加エントリーしておく。（2.0h）
第5回	特別講義　インターンシップ実践②　インターンシップの企業選び	
	事前学習（内容・時間）	合同企業説明会の出展企業を自ら調べ、「業界・職種研究」「企業研究」を予め行っておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	インターンシップイベント（合同企業説明会）に参加エントリーしておく。（2.0h）
第6回	特別講義　インターンシップ実践③　インターンシップを就職活動に繋げる	
	事前学習（内容・時間）	合同企業説明会の出展企業を自ら調べ、「業界・職種研究」「企業研究」を予め行っておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	インターンシップイベント（合同企業説明会）に参加エントリーしておく。（2.0h）
第7回	学内合同企業説明会①　学内合同企業説明会の参加心得を学ぶ	
	事前学習（内容・時間）	学内合同企業説明会の位置づけを知っておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学内合同企業説明会の企業研究の仕方、企業ブースの回り方のポイントを押さえておく。（2.0h）
第8回	学内合同企業説明会②　合同企業説明会を実体験する	
	事前学習（内容・時間）	身だしなみ・マナー・第一印象を準備しておく。「判断軸」を自ら設けて選んでみる。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	合同企業説明会に参加する。（2.0h）
第9回	SPI試験対策　数理論理能力問題　総括①	
	事前学習（内容・時間）	テキストを準備し、一通り目を通しておく。2年次の科目「キャリアデザインⅣ」（履修者のみ）を振り返り、時間内での解答まで進めておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テスト結果を復習して、採用試験の本番前に備えて準備しておくこと。（2.0h）
第10回	SPI試験対策　数理論理能力問題　総括②	
	事前学習（内容・時間）	テキストを準備し、一通り目を通しておく。2年次の科目「キャリアデザインⅣ」（履修者のみ）を振り返り、時間内での解答まで進めておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テスト結果を復習して、採用試験の本番前に備えて準備しておくこと。（2.0h）
第11回	SPI受検会	
	事前学習（内容・時間）	SPI3試験の過去問の解答を行っておくこと。※過去問題はCDCで情報提供有（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テスト結果を復習して、採用試験の本番前に備えて準備しておくこと。（2.0h）
第12回	総仕上げ①　自己理解と仕事理解　マイナビの適性診断テスト「MATCH PLUS」から私に合った企業を選ぶ。	
	事前学習（内容・時間）	テキストを準備し、一通り目を通しておく。2年次の科目「キャリアデザインⅢ」（履修者のみ）を振り返り、時間内での解答まで進めておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	自身の自己理解と仕事理解を整理して、エントリーシートに記述する内容を準備しておく。（2.0h）
第13回	総仕上げ②　履歴書・エントリーシート完成　※OpenES（リクルート）、MyCarrerBox（マイナビ）のシートを完成する	
	事前学習（内容・時間）	大学指定の履歴書、就職ナビサイトのエントリーシート　※OpenES（リクルート）、MyCarrerBox（マイナビ）を確認しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	就職活動で提出するエントリーシートを完成させて面接準備をする。（2.0h）
第14回	総仕上げ③　模擬面接会（オンライン・対面・グループ）	
	事前学習（内容・時間）	自分のアピール内容を整理し、表現できるよう準備しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	ポートフォリオを完成させ、提出する。自分たちで面接の経験を積む。（2.0h）
第15回	総括　～就職活動の本番に向けて	
	事前学習（内容・時間）	会社説明会にエントリーする企業を選択して、授業での発表本番に備えておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	選択した企業の会社説明会に参加して、採用試験に挑戦する（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験の実施	

ナンバリング（Numbering）
1GCN-5300-32E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
キャリアデザインⅥ	224～	3年生・後期	2単位	選択	大多　正人
キャリアデザインⅡ	～223				

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし

履修の前提条件 Course Prerequisites	国内の上場・大手企業に志望・受験することが条件です（定員枠有）。事前に担当講師、教員による面接審査により決定します。

授業概要　Course Outline

この講義では、国内の上場・大手企業への就職を志し、更に上位の企業から内々定を勝ち取るスキルを身につけます。授業では、就職活動に不可欠な情報やスキルを習得しますが、その際には国内の上場・大手企業を志望・受験する条件があります。履歴書やエントリーシートの作成、面接対応など、実践的な就職活動の準備が行われ、求められるスキルや知識を上場・大手企業の人事担当者から学びます。自己分析を進め、自らの強みを明確に把握することも重要です。最終的な目標は、理想の企業から内々定を獲得することであり、学生たちはその目標に向かって決意を持ち、積極的に進展していきます。授業は定員制で、上場・大手企業への志望と受験が求められるため、限られた枠内で目指す企業への内定獲得に向けて効果的なスキルを養います。この講座は、ディプロマポリシーⅢを目指し、建学の精神を理解し自己を進んで実践する態度や、社会人として必要な態度・志向性を身につけることを目標としています。同時に、カリキュラムポリシーⅠおよびⅥに対応しており、学生は様々なワークを通して「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」などの「社会人基礎力」を身につけることが期待されています。この講座では、学生が将来の就職活動を円滑に進めるために必要な実践的なスキルを向上させ、自信をつける準備が整います。学生が自らの将来を積極的に「キャリアデザイン」し、人間性を向上させることで、悔いのない進路選択ができるようにサポートします。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	担当講師は、長年にわたり大学でキャリア教育と就業支援に従事する傍ら、企業の人事採用コンサルタントとしても活動しています。豊富な実務経験を活かし、学生たちには実際のビジネス環境で成功するための洞察力や社会人基礎力を伝授しています。第4回～第6回、第9回～12回の授業に登壇する外部講師は、民間企業等で幅広い実務経験を有し、学生たちに有益な知識を提供しています。企業採用に関わってきた人事採用担当者や、「社会人の準備のため」に尽力し、長年にわたり就職活動に不可欠なスキル（自己分析・企業研究・業界研究・採用試験対策等）を取り上げ、学生たちが実践的なスキルを身につけられるよう支援してきた指導者が上場・大手企業の内定獲得に向けて必要な知識やスキルを効果的に習得すること目指します。	担当講師は、キャリアコンサルタントとして広範囲な大学でキャリア教育と就業支援に尽力しています。同時に、企業の人事採用コンサルタントとしても活動し、上場・大手企業の多様な採用試験の傾向を通じて学生たちに進路決定に必要な視点を提供しています。学生たちには実際のビジネス環境で成功するための洞察力や社会人基礎力も伝えています。第4回～第6回、第9回～第12回は、企業等の外部講師を招き、オムニバス形式で授業を展開します。求められるスキルや知識を上場・大手企業の担当者から学び、学生たちに迅速な就職試験のスタートを切らせます。第9回～第10回ではSPI試験対策を講じます。第11回～第12回では集団・個人面接の対策を講じます。これらの授業を通じて、学生たちは実践的なスキルを向上させ、自信をもって上場・大手企業の就職試験に臨む準備が整います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

国内の上場・大手企業を志望・受験することが条件です。国内の上場・大手企業への就職を目指すための授業を通じて、履歴書やエントリーシートの書き方や面接の対応など、実践的な就職活動の準備を行います。また、上場・大手企業の人事担当者より社会や組織の中で自分が生きていくために必要な経験・知識とは何かを生の話を聴き、求められるスキルや知識を習得し、自己分析を進めて自らの強みを把握します。最終的な目標である理想の企業への内々定を実現するため、決意を持って進んでいきます。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

就職活動はすべてが「アクティブ」です。自己分析や履歴書・エントリーシートの作成では、自分自身の「強み・改善点」「学生生活で得たもの」「志望動機」「ビジョン」などを整理し、わかりやすく自己表現することが必要です。また、面接では、それらを全身でアピールすることが求められます。さらに、グループディスカッションでは、意見交換を通して、異なる見解や対立を乗り越えながら集団で意思決定しなければなりません。授業では皆さんがこれから遭遇するだろうと思われる場面を極力「リアルに再現」して、実戦的なトレーニングを行います。上場・大手企業の採用試験本番で「後悔しない」よう、積極的に取り組むことを期待します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業担当者・ゲストスピーカー（外部講師）への相談は授業の前後にお願いします。
その他、キャリアに関する相談は随時「キャリアデザインセンター（CDC）まで連絡ください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出（学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

学習の確認：ポートフォリオ・ルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
必要に応じて資料配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
①現代語訳「論語と算盤」	①渋沢栄一	①筑摩書房	①978-4480065353
②就職四季報　企業研究・インターンシップ版 2025年版	②東洋経済新報社編集	②東洋経済新報社	②978-4492974377
③会社四季報　業界地図　2024年版	③東洋経済新報社編集	③東洋経済新報社	③978-4492973332
④就職四季報　総合版　2024年版	④東洋経済新報社編集	④東洋経済新報社	④978-4492971390
⑤「これが本当のSPI3テストセンターだ」	⑤SPIノートの会	⑤講談社	⑤978-4065306543
⑥「ゼロから分かるSPI」	⑥山口　卓（監修）	⑥永岡書店	⑥978-4522460016
⑦「主要7単元　100分制覇　SPI最強メソッド」	⑦柳本　新二	⑦高橋書店	⑦978-4471410124

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

①遅刻・途中退席は原則認めない。
②テキスト・筆記具を持たない学生は受講できない。
③授業中のノートパソコンやスマートフォン、イヤホンなど情報機器端末の使用は指示がない限り禁ずる。
④「社会基準」に則り、授業を行う。それに従えない場合は講師の判断で退席させる。
⑤10回以上の出席が単位付与の必要最低条件。試験未受験者には単位付与しない。
⑥カードリーダーによる入室チェックと毎回提出する課題ワークシートで出席を確認し、その記載内容のレベルも平常点に反映する。
⑦成績評価の方法…平常点（80%）・定期試験（20%）
※平常点では、受講態度、遅刻の有無、提出課題の内容、ポートフォリオ・ルーブリックシートの提出、グループワーク活動状況を重視。
⑧定期試験では、全ての持ち込みを原則禁止とする。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（受講ルール説明、講座の趣旨・進め方について説明します）	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを事前に確認しておく。卒業後の進路選択でどの業界・企業の上場・大手企業を選ぶのか、自分なりのイメージを描いておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	ポートフォリオ作成を通して、到達目標を明確にし、自身の学びのプランを立てる。（2.0h）
第2回	企業研究①　テーマ：上場・大手企業の選び方、求人票の見方	
	事前学習（内容・時間）	キャリタス就活「業界MAP」を使用して、身近なものから業界のつながりを調べておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	業界別に上場・大手企業をセグメントしておく。（2.0h）
第3回	企業研究①　テーマ：上場・大手企業の採用試験　傾向と対策	
	事前学習（内容・時間）	キャリタス就活「業界MAP」を使用して、受験する上場・大手企業をピックアップしておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	上場・大手企業の会社説明会等の情報収集しておく。（2.0h）
第4回	上場・大手企業の人事担当者による講演　テーマ：上場・大手企業での仕事と求める人材像	
	事前学習（内容・時間）	ゲストスピーカーの企業の事業活動について事前調査する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学んだことをノートにまとめて整理し、上場企業の求める人物像を把握して、採用選考に備えておく。（2.0h）
第5回	上場・大手企業の人事担当者による講演　テーマ：上場・大手企業での仕事と求める人材像	
	事前学習（内容・時間）	ゲストスピーカーの企業の事業活動について事前調査する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学んだことをノートにまとめて整理し、上場企業の求める人物像を把握して、採用選考に備えておく。（2.0h）
第6回	上場・大手企業の人事担当者による講演　テーマ：上場・大手企業での仕事と求める人材像	
	事前学習（内容・時間）	ゲストスピーカーの企業の事業活動について事前調査する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学んだことをノートにまとめて整理し、上場企業の求める人物像を把握して、採用選考に備えておく。（2.0h）
第7回	履歴書・エントリーシート①　テーマ：インターンシップ体験を言語化する	
	事前学習（内容・時間）	インターンシップの体験をノートに整理して、エントリー・履歴書の学生時代に頑張ったこと（ガクチカ）を作っておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学んだことをノートにまとめて整理し、上場企業のインターンシップにエントリーする。
第8回	履歴書・エントリーシート②　テーマ：上場・大手企業向けの履歴書・エントリーシート等を作成する	
	事前学習（内容・時間）	インターンシップの体験をノートに整理して、エントリー・履歴書の学生時代に頑張ったこと（ガクチカ）を作っておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	学んだことをノートにまとめて整理し、上場企業のインターンシップにエントリーする。
第9回	SPI試験対策　数理論理能力問題　上級編①	
	事前学習（内容・時間）	テキストを準備し、一通り目を通しておく。3年次の科目「キャリアデザインⅤ」（履修者のみ）を振り返り、時間内での解答まで進めておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テスト結果を復習して、採用試験の本番前に準備しておくこと。（2.0h）
第10回	SPI試験対策　数理論理能力問題　上級編②	
	事前学習（内容・時間）	テキストを準備し、一通り目を通しておく。3年次の科目「キャリアデザインⅤ」（履修者のみ）を振り返り、時間内での解答まで進めておく（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テスト結果を復習して、採用試験の本番前に準備しておくこと。（2.0h）
第11回	面接塾①　苦手克服（集団面接）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを準備し、一通り目を通しておく。3年次の科目「キャリアデザインⅤ」（履修者のみ）を振り返り、面接試験の台本をまとめておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	模擬面接（集団）を復習して、面接試験の本番前に準備しておくこと。（2.0h）
第12回	面接塾①　苦手克服（個人面接）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを準備し、一通り目を通しておく。3年次の科目「キャリアデザインⅤ」（履修者のみ）を振り返り、面接試験の台本をまとめておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	模擬面接（個人）を復習して、面接試験の本番前に準備しておくこと。（2.0h）
第13回	上場・大手企業　内々定獲得ロードマップ作成	
	事前学習（内容・時間）	会社説明会にエントリーする企業を選択して、授業での発表本番に準備しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	選択した企業を再度見直し、授業での発表本番に準備しておくこと。（2.0h）
第14回	上場・大手企業　内々定獲得ロードマップ発表会	
	事前学習（内容・時間）	会社説明会にエントリーする企業を選択して、授業での発表本番に準備しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	選択した企業の会社説明会に参加して、採用試験に挑戦する（2.0h）
第15回	総括　～上場・大手企業の挑戦に向けて	
	事前学習（内容・時間）	会社説明会にエントリーする企業を選択して、授業での発表本番に準備しておく。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	選択した企業の会社説明会に参加して、採用試験に挑戦する（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験の実施	

ナンバリング（Numbering）
1SLN-6170-YYE

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
特別実習・講義（実践力養成）倫理と人間	223～	1年生・後期	2単位	選択	坂上　宏
特別講義（実践力養成）倫理と人間	219～222				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①道徳や哲学について関心を持っていること。 ②プラトン『ソクラテスの弁明・クリトン』を読了しておくことが望ましい。 ※禁止事項： 不必要な私語。 正当な理由でない遅刻および許可のない入退室。 携帯電話の使用。 その他指定する事項。

授業概要　Course Outline

下記に掲げた古代ギリシアの哲学者の思想をとりあげて、人間としてのあるべき姿と道徳について考えていきます。また彼らの思想のうちで理想と現実の関係、ものの認識のありかたについても併せて講義し、彼らの思想についての理解を深めていきたいと思います。特に「徳」の意味するものについて留意しながら講義を進めていきますが、「徳」について考えることは、混迷の時代に暮すわれわれ現代人にとって、「善い生」についての何らかの示唆を与えることでしょう。なおこの授業は、主として本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」およびカリキュラムポリシー「Ⅰ　建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「Ⅲ　社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」に則り行われるものです。なおこの授業は、主として本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」およびカリキュラムポリシー「Ⅰ　建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「Ⅲ　社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」に則り行われるものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

本講義の目標は以下のとおりです。
①ソクラテスの道徳観と人間観の要点について理解できる。
②プラトンの道徳観と人間観の要点について理解できる。
③アリストテレスの道徳観と人間観の要点について理解できる。
④ストア派とエピクロス派の倫理思想について理解できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します。
毎回の授業が終わってから、ポートフォリオの記入をお願いします。感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（363）およびGoogleクラスルーム・メール（sakagami@g.kiis.ac.jp）にて随時受け付けます。
提出物はGoogleクラスルームへ出してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオとルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
配布プリント			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ソクラテスの弁明・クリトン 国家　上・下 ニコマコス倫理学　上・下 エピクロス―教説と手紙― 生の短さについて他二篇 その他	プラトン プラトン アリストテレス エピクロス セネカ	岩波文庫	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：試験90%。平常点10%(毎回の授業のポートフォリオ（事前学習と事後学習）の提出、ルーブリックの提出）。　　成績評価の基準 ：
①ソクラテスの道徳観と人間観の要点について説明できる。
②プラトンの道徳観と人間観の要点について説明できる。
③アリストテレスの道徳観と人間観の要点について説明できる。
④ストア派とエピクロス派の倫理思想について説明できる。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業の方針、倫理と道徳の基本的な考え方、 古代ギリシア思想の特徴　:ﾌﾟﾘﾝﾄ1	
	事前学習 （内容・時間）	倫理と道徳とは何ですか。第1回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ①）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	古代ギリシア思想の特徴について、第1回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ①）（2時間）
第2回	ソクラテスの思想ー生涯と思想　:ﾌﾟﾘﾝﾄ2	
	事前学習 （内容・時間）	ソクラテスが述べる「無知の知」とはどのような意味ですか。第2回授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ②）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ソクラテスが述べる「善く生きる」とはどのような意味ですか。第2回授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ②）（2時間）
第3回	ソクラテスの思想－福徳一致と知行合一、ソクラテスの死について　:ﾌﾟﾘﾝﾄ3	
	事前学習 （内容・時間）	ソクラテスは、「幸福」についてどのように考えていますか。第3回授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ③）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ソクラテスは、なぜ逃げずに死刑を受け入れたのでしょうか。第3回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ③）（2時間）
第4回	ソクラテスの思想ーソクラテスの死について（続き）、プラトンの思想ーその生涯と思想　:ﾌﾟﾘﾝﾄ4	
	事前学習 （内容・時間）	ソクラテスの死と知行合一、福徳一致について、第4回授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ④）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	プラトンの思想の基本的特徴について、第４回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ④）（2時間）
第5回	プラトンの思想ーイデア論と洞窟の比喩:ﾌﾟﾘﾝﾄ5	
	事前学習 （内容・時間）	イデアについてプラトンはどのように述べていますか。第5回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑤）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	洞窟の比喩についてプラトンはどのように説明していますか。第5回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑤）（2時間）
第6回	プラトンの思想ー哲人と四つの徳　その１　:ﾌﾟﾘﾝﾄ6	
	事前学習 （内容・時間）	哲人のあり方についてプラトンはどのように説明していますか。第6回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑥）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	プラトンが述べる四つの徳とは何ですか。第6回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑥）（2時間）
第7回	プラトンの思想ー哲人と四つの徳　その２　:ﾌﾟﾘﾝﾄ7	
	事前学習 （内容・時間）	節制の徳についてプラトンはどのように説明していますか。第7回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑦）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	正義についてプラトンはどのように説明していますか。第7回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑦）（2時間）
第8回	アリストテレスの思想ー理想と現実のあり方:ﾌﾟﾘﾝﾄ8	
	事前学習 （内容・時間）	アリストテレスが述べている理想と現実の関係の特徴について、第8回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑧）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	プラトンのイデア論に対するアリストテレスの批判の要点について、第8回授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑧）（2時間）
第9回	アリストテレスの思想ー善と幸福と徳、観照的な活動　:ﾌﾟﾘﾝﾄ9	
	事前学習 （内容・時間）	あらゆる事物、あらゆる運動の目的についてアリストテレスはどのように考えていますか。第9回授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑨）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	観照的な活動とはどのような意味ですか。第9回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑨）（2時間）
第10回	アリストテレスの思想ー徳のあり方:ﾌﾟﾘﾝﾄ10	
	事前学習 （内容・時間）	知性的徳と倫理的徳とは何ですか。アリストテレスの考えを第10回授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑩）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	中庸とは何ですか。アリストテレスの考えを第10回授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑩）（2時間）
第11回	アリストテレスの思想ー正義　:ﾌﾟﾘﾝﾄ11	
	事前学習 （内容・時間）	人間にとっての正義についてアリストテレスはどのように述べていますか。第11回授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑪）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	国家にとっての正義についてアリストテレスはどのように述べていますか。第11回授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑪）（2時間）
第12回	アリストテレスの思想ー友愛:ﾌﾟﾘﾝﾄ12	
	事前学習 （内容・時間）	友愛の意味についてアリストテレスはどのように述べていますか。第12回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑫）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	「人間は本性上、国的動物である」というアリストテレスの言葉の意味について、第12回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑫）（2時間）
第13回	ヘレニズム時代の思想ーストア派の思想　:ﾌﾟﾘﾝﾄ13	
	事前学習 （内容・時間）	ヘレニズム時代の思想の特徴と代表的思想について、第13回授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑬）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ストア派の主張する禁欲主義について、第13回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑬）（2時間）
第14回	ヘレニズム時代の思想ーエピクロス派の思想　:ﾌﾟﾘﾝﾄ14	
	事前学習 （内容・時間）	エピクロスの主張「魂の平静さ」とはどのような意味ですか。第14回授業プリントを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑭）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	エピクロスの主張「快楽主義」について、第14回授業プリントを読んで答えてください（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑭）（2時間）
第15回	古代ギリシア思想における道徳について　:ﾌﾟﾘﾝﾄ15	
	事前学習 （内容・時間）	古代ギリシア思想における道徳の特徴について、第15回授業ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑮）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	授業全体の学習目標到達度の確認（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑮・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸ）（2時間）
第16回 （定期試験）	定期試験、ポートフォリオ＆ルーブリック作成等	

専門教育科目

（両学科共通）

ナンバリング(Numbering)
1BMB-5331-12C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
経営学総論Ⅰ	219～	1年生・前期	2単位	必修	遠藤　真紀

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	・両学科とも必修科目であり，IT人材(高度情報化人材)となるための基礎として，経営情報および企業の経営・マネジメントに関心を持っていること。 ・日頃から社会(世の中)の出来事や経済・企業に関係するニュースなどに関心を持っていること。

授業概要　Course Outline

・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の経営戦略や事業計画作成支援など，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。
・「経営学総論Ⅰ（経営学入門）」では，企業と社会についての基本的な視点から，企業経営に関する基本理論を体系的に理解するとともに，その理論の背景や意義などについても考察していきます。
・テキストを基に，伝統的な理論から現代の経営学まで，その形成過程や今日的課題について講義を進めます。現代企業の経営は，情報システムやネットワーク技術との関わりで進化しています。理論だけでなく，これまでの実務経験を踏まえた実践的な議論を展開していきます。
・なお人数制限はありませんが，履修人数が多い場合は2つの教室を使い，片方が教室で対面授業，もう片方が教室でオンライン授業となる事があります(学籍番号で割り振りし，対面とオンラインは交互に入れ替えます)。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理(1級土木・2級管工事施工管理技士)，建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理(1級販売士)，経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援(中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor)	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

1．経営学の体系を理解するとともに，生活者としての企業との関わり方，近現代における企業の発展の歴史，企業がもたらす社会への貢献と負の影響の側面などを理解している。
2．企業を取り巻く環境変化の理解と現代企業のあり方について理解している。
3．個人個人が，企業との関わりの中でどのようにセルフコントロールしていくべきか理解している。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・基本的に対話型の講義になります。よってただ単に出席し，講義を聴いているだけでは単位取得できません。
・講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応し，自身の意見を発言していくことが求められます。
・企業経営や経営戦略等に関するビデオ聴講による演習や中小企業診断士試験の問題を活用した演習を行います。また演習に基づき，ディスカッションを行うため，ビデオ内容の聞き取り力，メモ力，聴講した内容や関連情報に関する考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

・講義内容および企業情報や企業経営等々に関する質問および関連資格の取得方法を含む学生生活全般に関するアドバイス・相談等は，研究室での直接面談またはGoogleｸﾗｽﾙｰﾑやEメール等で対応します。
・オフィスアワー以外の不在時には，研究室のメッセージボードやEメール(endo@kiis.ac.jp)等を活用してください。
・自主性を重要視するので「来る者拒まず，去る者追わず」のスタンスで対応しますが，「聞くは一時の恥，聞かぬは一生の恥」という格言の通りです。積極的な教員へのコンタクトおよびコミュニケーションが期待されます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・希望者には，必要に応じて，販売士(3級～1級)，経営学検定(マネジメント検定：初級，中級，上級)，中小企業診断士等，経営学に関連する資格試験の受験指導を行います。
・事前・事後学習としての課題レポート以外に，授業態度や資格試験への積極的な取り組み，関連するレポートおよび学習記録(事前学習/授業レポートやポートフォリオ等)の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
企業経営入門	井上善海　他	中央経済社	978-4-502-42681-0

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
経営学要論	岸川善光	同文舘出版	978-4-4953-9010-5

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価方法：定期試験(50%)，平常点(出席率，ディスカッションへの参加，各種レポート提出，資格試験への取り組み，ポートフォリオ提出，教員とのコミュニケーションなど学習に対する積極性)等(50%)を総合的に考慮して評価します。
評価基準：学習に対する積極性および環境変化と企業の役割・機能などについて基礎的な理解が図られている。自身と企業とのかかわりが理解でき，自律的・自発的な行動への判断基準が持てている。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義の目的と進め方（講義内容のアウトラインの理解）（全員：対面授業） 企業経営を考える	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの事前確認および企業経営等に関連する事例などがWEBや雑誌等に多く掲載されているため，積極的にアクセスし，自分の挑戦材料として頭に入れておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第2回	1．企業の種類と統治（対面授業＋オンライン授業） 企業の概念，企業の形態，企業の統治	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第3回	2．企業の経営目的と理念（対面授業＋オンライン授業） 企業の経営特性，企業の経営目的，企業の経営理念	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第4回	3．企業の社会的責任とSDG's（対面授業＋オンライン授業） 企業の社会的責任，CSRと企業評価，CSRとSDG's	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第5回	4．企業の成長戦略とイノベーション（対面授業＋オンライン授業） 企業と戦略，企業の成長戦略，イノベーション	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第6回	5．企業の競争戦略とグローバル化（対面授業＋オンライン授業） 競争と競争戦略，VUCA時代と競争戦略，グローバル化と競争戦略	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第7回	6．企業の組織構造と組織文化（対面授業＋オンライン授業） 組織とは，組織構造，組織文化	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第8回	講義のまとめ（中間）と演習（対面授業＋オンライン授業）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第9回	7．企業の採用と人材育成（対面授業＋オンライン授業） 採用，育成，将来を見通した人材の成長	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第10回	8．企業の評価と報酬（対面授業＋オンライン授業） 人事評価，人事評価の困難性，報酬	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第11回	9．企業の動機づけとリーダーシップ（対面授業＋オンライン授業） 動機づけ，リーダーシップ，企業活動における動機づけとリーダーシップの実際	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第12回	10．企業の生産と販売（対面授業＋オンライン授業） 生産管理，マーケティング，生産から販売までの全体最適	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第13回	11．企業の情報と意思決定（対面授業＋オンライン授業） 情報と意思決定，企業の意思決定と情報，企業が記録し蓄積する情報	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第14回	12．企業の資本と資金（対面授業＋オンライン授業） 企業の資本調達，企業の資金運用，企業の資金管理	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第15回	講義のまとめ（講義内容全体の総括）（全員：対面授業）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第16回 （定期試験）	定期試験	

ナンバリング(Numbering)
1BMB-5220-12C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor	
会計学入門	221～223	1年生・前期	2単位	必修	山下壽文	
	219・220			選択		

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	会計には計算がつきものになりますので、電卓は必ず持参してください。そうはいっても、基本的には足し算、引き算、掛け算しか使いませんので計算自体は簡単です。力を抜いて履修していただければと思います。ただし、講義を受ける上でのマナーは守ってください。 なお、会計学入門の履修者は、必ず簿記Ⅰ(前期)と簿記Ⅱ(後期)を履修するようにしてください。

授業概要 Course Outline

本講義では、会計学とは何を学ぶのか、どのように社会で役に立っているのか、学修によって何ができるようになるのかを網羅的に学習していきます。 また、簿記や他の会計関係の講義への橋渡しになるスタートアップの授業となります。本講義の学修によって、本学のディプロマポリシーⅡおよびⅢを満たします。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

会計学の知識は、現在、ビジネスに関わる人にとっては、身に付けておかねばならない重要な常識になっています。本講義は、このような社会的要請に応えるため、下記の目標を設定しています。
・会計学分野のすべての科目に通じる基礎的な知識を習得すること。
・習得した基礎的な知識を通じて、企業経営に参画するビジネスパーソンとしての手掛かりを得ること。
・より発展したものとして、簿記などの資格取得にトライする意欲を養うこと。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
・授業内で適宜実施する小テスト・レポートを活用し、授業内容の理解を深めるとともに授業への積極的な参加を促します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

・講義に関する質問、相談等は、講義終了後の教室又は研究室にて随時受け付けます。
・オフィスアワー時間帯に受け付けます。オフィスアワーの時間帯以外でも必要に応じて対応します。
＊研究室にお越しの際は、事前にメールなどでご相談ください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認として、ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
ビギナーのための会計学	山下壽文他	創成社	978-7944-1479-3

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
会計学のススメ	山下壽文	創成社	978-47944-1471-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1.定期試験(60%)
2.平常点(40%)
＊平常点の内訳:各回の小テスト(30%)、授業への取組み(10%)

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（授業の内容と進め方）・なぜ会計を学ぶのか？	
	事前学習（内容・時間）	まずはテキスト・プレレッスンを一読し、講義の全体像をイメージしてみましょう。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第2回	会計とは何か	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・レッスン1）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第3回	会計のグローバリゼーション	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・レッスン2）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第4回	わが国の会計制度のあらまし	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・レッスン3）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第5回	わが国の会計基準のしくみ	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・レッスン4）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第6回	貸借対照表のしくみ⑴　基本構造・流動資産	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・レッスン5・6）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第7回	貸借対照表のしくみ⑵　固定資産・負債・純資産	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・レッスン7・8）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第8回	損益計算書のしくみ⑴　基本構造	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・9）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第9回	損益計算書のしくみ⑵　発生主義会計	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・レッスン9）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第10回	キャッシュ・フロー計算書のしくみ	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・レッスン10）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第11回	公正価値⑴　貨幣は価値を生む	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・レッスン12）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第12回	公正価値⑵　将来価値・現在価値	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・12）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第13回	損益分岐点分析	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・レッスン13）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第14回	粉飾決算（不正な利益操作）	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト・レッスン15）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で分からなかったところ、関心を持ったところなどを中心に復習をしてみましょう（2時間）
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	学習予定範囲（テキスト全体）を一読してみましょう（2時間）
	事後学習（内容・時間）	これまでの講義の振り返りを行い、定期試験に向け、わからなかったところを中心に復習をしましょう（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験（講義全体をとおした学習成果の確認）	

ナンバリング（Numbering）
1BMB-5831-12C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
簿記Ⅰ	224 経営情報学科	1年生・前期	2単位	必修	岩下　昌美 平川　淳一
	221～223			経営 必修 NW 選択	
初級簿記	219・220			必修	

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	テキストを必ず購入すること。なお、使用するテキストは市販されていませんので，初回の講義開始時に購入してもらいます。掲示板でもお知らせしますので，ご留意ください。 12桁程度の電卓を準備してください。推奨電卓は講義内でご案内をいたします。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーにもとづき、この授業では、簿記の基礎的レベルについて説明します。
ビジネス社会において必要不可欠といわれる会計の知識，その基礎となっているのが，複式簿記の原理と技術です。複式簿記とは，企業の日々の経営活動を記録・計算・整理して経営成績と財政状態を明らかにする技能のことです。
本講義では，小規模な株式会社を前提した複式簿記の原理と技術の基礎的知識を習得します。企業の経営活動の記帳方法，簿記一巡の手続き，決算資料（財務諸表）の作成について学習します。日本商工会議所主催の簿記検定3級の内容です。後期の「簿記Ⅱ」の講義内容を含めて簿記検定3級の範囲を網羅しますので，必ず受講をするようにしてください。簿記知識の習得は積み重ねです。そのためには毎回の講義に必ず出席することがとても重要です。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

本学では4年間で簿記検定3級，全員取得を掲げています。そこで本講義では，簿記一巡の手続きを理解し，小規模な株式会社における帳簿記帳の基礎的知識を習得することを目標とします。
そして「簿記Ⅰ」「簿記Ⅱ」の履修により日本商工会議所簿記検定3級取得を目指します。簿記検定のペーパー試験（統一試験）は6月，11月，2月（翌年）に実施されます。2021.4月からWEB検定（受験日自由選択）も実施されることになりました。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業は対話型を心がけ進めていきます。不明な点や疑問などが生じた時は積極的に発言してください。
授業終了時には毎回の理解度をチェックするため，ミニテストを実施します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などは2号館2階270室の研究室にてオフィスアワー時（年度はじめに掲示），あるいは電子メール（アドレス：masami-i@g.kiis.ac.jp）で受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して前期定期試験日に岩下までメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
『2024　日商簿記3級テキスト』，1,800円	岩下昌美	なお、使用するテキストは市販されていませんので，初回の講義開始時に購入してもらいます。	

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
『スッキリわかる 日商簿記3級 最新版 テキスト&問題集』	滝澤 ななみ	TAC出版	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：定期試験（70%），平常点（15%），復習課題（15%）。平常点は科目別履修状況チェック表の提出状況，毎回の授業最後の成果物提出状況で判断する。
成績評価の基準：①3級の取引の仕訳ができるか。②試算表が作成できるか。③伝票が起票できるか。④決算整理事項から精算表および財務諸表（貸借対照表・損益計算書）が作成できるか。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（講義の進め方，講義内容，受講上の諸注意，評価方法など）を確認します。 第1章　簿記の基礎（簿記の意味，目的，種類，簿記一巡の手続，簿記上の取引，5大要素）について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの第1章を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第2回	第1章　簿記の基礎（「貸借対照表」と「損益計算書」の構造）について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの第1章を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第3回	第2章　取引と仕訳（取引の種類と仕訳のルール）について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの第2章を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第4回	第2章　取引と仕訳（勘定記入の方法と帳簿の種類）について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの第2章を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第5回	第3章　株式会社の設立・剰余金の配当，資金の借入れ・貸付けの会計処理について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの第3章を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第6回	第4章　商品売買（商品の仕入れ，売上げ，付随費用，請求書・領収証など証憑類）の会計処理について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの第4章を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第7回	第5章　現金・預金・小口現金の会計処理について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの第5章を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第8回	第6章　掛け取引（売掛金，買掛金，貸倒れ，貸倒引当金）の会計処理について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの第6章を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第9回	第7章　手形取引と電子記録債権・債務（手形の振出しや受取り，電子記録債権・債務の発生や消滅）の会計処理について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの第7章を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第10回	第8章　固定資産（種類，取得，減価償却，売却）の会計処理について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの第8章を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第11回	第9章　その他の取引（債権・債務，未収入金と未払金，仮払金と前受金，立替金と預り金，受取商品券，差入保証金）の会計処理について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの第9章を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第12回	第10章　税金（税金の種類，法人税等，消費税）の会計処理について学習します。 第11章　伝票会計（3伝票制，入金伝票・出金伝票・振替伝票の作成）について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの第10章，第11章を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第13回	第12章　試算表（勘定記入の検証，合計試算表・残高試算表・合計残高試算表の作成）について学習します。第13章　決算（決算の意義，手続き，決算整理）の会計処理について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの第12章，第13章を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第14回	第13章　決算（商品の棚卸し，売上原価の算定，費用・収益の前払い・前受けと未払い・未収）の会計処理について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの第13章を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第15回	第13章　決算（精算表および財務諸表の作成，元帳の締切りと繰越試算表の作成）について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの第13章を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第16回（定期試験）	60分の定期試験（電卓持ち込み可）	

ナンバリング(Numbering)
1BMB-5831-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
簿記Ⅰ	224 情報ネットワーク学科	1年生・前期	2単位	選択	長友　陛富

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites

本学では、日本商工会議所主催の簿記検定3級の取得を大きな目的としています。この簿記を学んだことのない学生も基礎基本をしっかり学習することで、簿記3級の内容を理解し、簿記検定3級の検定に合格できると思います。「大原で合格る日商簿記3級」のCHAPTER0～11を読み、その内容を確認し、学習項目の流れを理解しておきましょう。本講義では、簿記検定3級の内容を学習項目ごとに段階的に修得するために、簿記の基礎基本の内容をしっかりかつ繰り返し学習します。
なお、計算することがありますので、電卓を購入しておいてください。
また、配布プリント等をとじる紙ファイルを各自必ず準備してください。
講義中の注意事項は以下の通りです。
1 私語はしない　2 時間を守る　3 飲食禁止(ペットボトルや食べ物など机上に置かない)
4 携帯電話の利用は禁止　5 講義開始と終了の挨拶の励行と学ぶ姿勢を身に付ける。
ネットワーク学科の学生で簿記検定3級合格を希望する者は、必ず簿記Ⅰ(前期)と簿記Ⅱ(後期)を履修してください。

授業概要　Course Outline

企業を経営管理するためには会計情報の知識(会社がどういう経営状態か)が必要です。必要な情報として会計情報を正確に理解するためには、簿記を理解することが不可欠です。経営情報学部を卒業する学生は、将来企業の経営管理に関わる可能性が高いことを考えると、簿記の知識習得は必須となります。本科目では、企業が行う経済活動により発生する、資産、負債、純資産、費用、収益の増減を一定のルールに従って、記録・計算・整理することを実践します。また、講義では建学の精神に則った学生生活の在り方を提唱する中で、この科目の学習の目的と進路意識を持たせ、何事にも意欲的に取り組む姿勢の一歩とし、日本商工会議所簿記検定3級合格を目指します。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

①簿記の基本概念及び記帳・計算の基礎を理解できる。
②日常の手続きを理解し、仕訳及び勘定記入ができ、決算の意味を理解し、試算表の作成ができる。
③簿記一巡の手続を理解し、財務諸表作成までの計算構造を理解できる。
④簿記の機能と役割を理解させ、簿記への興味関心を持たせ、学習習慣と学ぶ姿勢を確立し、日本商工会議所簿記検定3級合格を目指します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学生からの積極的な発言を期待し、毎回授業中に知識の定着を図るための口頭試問を実施します。また、学生自ら段階別の問題を作成し解答の具体的な説明を行います。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室(556)にて随時受け付けます。連絡先はnagatomoy@kiis.ac.jpです。
なお、出勤日は火曜日、水曜日、木曜日です。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験:日本商工会議所主催の簿記検定3級を必ず受験します。(検定月は、6月、11月、2月です。
検定料は￥2,850です。CDC就職課から申し込みの案内が2か月前にあります。)
学習の確認:ポートフォリオシートの作成に関しては講義中に説明します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
大原で合格る日商簿記3級 ￥1,210	資格の大原	中央経済社	978-4502392719

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
日商簿記3級過去問への ステップアップ問題集 ¥1,320	資格の大原	大原出版	978-4864869218

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法
(1)講義回数の3分の2以上の出席を必須条件とします。
(2)定期試験50%
　口頭試問10%
　提出物　15%
　日本商工会議所簿記検定受験10%
　学習意欲(課題板書及び説明)15%

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	簿記で学ぶこと（簿記の基本を学ぶための、資産、負債、純資産、費用、収益について説明）教科書（P2－8） また、学習に対する取り組み姿勢や時間管理、注意事項など受講の在り方についての説明を行います。	
	事前学習 （内容・時間）	簿記で学ぶこと　CHAPTER　0（P2～P8）までを読み、貸借対照表項目と損益計算書項目を理解し、 記憶すること。（2時間）ステップアップ問題集（P2～P4）
	事後学習 （内容・時間）	CHAPTER　0（P2～P8）で学んだことを復習し、配布プリントを再確認し、反復学習をすること。（2時間）ステップ アップ問題集（P2～P4）
第2回	簿記の意味と目的、意義、必要性等を興味深く説明し、目的を達成する財務諸表として貸借対照表及び損益計算書の作成を行います。（貸借対照表から企業の必要な資金の状態が分かり、記載するカテゴリーとして、資産、負債、純資産の分類を理解し、カテゴリーの中の勘定科目を記憶します。教科書（P4-8）	
	事前学習 （内容・時間）	貸借対照表カテゴリーのそれぞれの勘定科目を区別して理解し記憶すること。教科書P4～P8までの勘定科目及び配布プリントの勘定科目を明確に記憶し作成できること。ステップアップ問題集（P3～P4）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義中に学習した内容を教科書と配布プリントでしっかり振り返り、カテゴリー別の勘定科目を 確認すること。ステップアップ問題集（P3～P4）（2時間）
第3回	財務諸表の1つ損益計算書のカテゴリーの中のそれぞれの勘定科目を区別して、内容理解と共に記憶する こと。また、損益計算書の算式を理解すること。(P6～P8)ステップアップ問題集（P2～P4）	
	事前学習 （内容・時間）	教科書P4～P5の確認とP6～P8までをしっかり確認し学習内容の把握をすること。ステップアップ 問題集（P2～P4）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	貸借対照表カテゴリーのそれぞれの勘定科目の理解、損益計算書のカテゴリーのそれぞれの勘定科目の理解 を、配布プリントで確認しそれぞれの表を作成できるようにする。ステップアップ問題集（P2～4）（2時間）
第4回	貸借対照表に関する勘定科目と、損益計算書に関する勘定科目の分類の説明と取引の意味を踏まえて仕 訳を行い、それぞれの勘定への転記を教科書、配布プリント及び問題集で説明する。（P10～P16）	
	事前学習 （内容・時間）	貸借対照表項目と損益計算書項目の分類と簿記上の取引について事前学習を行う。 ステップアップ問題集（P5～P10）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	貸借対照表及び損益計算書に関する勘定科目を区別して配布プリントを参考に理解し、簿記上の取引を見分け 仕訳を行い、各勘定への転記を理解する。ステップアップ問題集（P5～P10）（2時間）
第5回	各勘定への転記が正しいかどうかの判断を行うために試算表を作成する。一定期間の範囲の中で取引と判断できる取引を仕訳し、それぞれの勘定へ転記する。この一連の流れが正しいかどうか判断するための資料作成を説明する。（P10～P18)ステップアップ 問題集（P11～P17）	
	事前学習 （内容・時間）	各項目の勘定科目の意味と分類をしっかりと理解し、取引か取引でないかの判断をしたうえで仕訳を行い、それぞれの勘定に転記する意味を考え、記入方法を理解しておくこと。（P10～P18）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	取引か取引でないかの判断を行い、仕訳しそれぞれの勘定に転記して、その一連の行為が 正しいか判断する試算表の作成を理解する。ステップアップ問題集（P11～P17）（2時間）
第6回	商品売買に関する記帳を3分法で行う説明を行います。繰越商品勘定と仕入勘定と売上勘定の関係を説明し、繰越商品と仕入勘定は原価が記帳されている意味を理解させる。また、現金で商品を売買する、掛取引で売買する場合の処理方法、並びに返品や値引きを受ける時やした場合の会計処理、商品購入時の引取り費用の会計処理、販売時の発送費の会計処理方法について説明する。 （P20～P26）ステップアップ問題集（P14～P20）	
	事前学習 （内容・時間）	3分法の意味や会計処理、掛取引の会計処理、値引き返品の会計処理、引き取り費用及び発送費の会計処理について意味の理解をしておく。（P20～P26）ステップアップ問題集（P14～P20）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	商品購入の会計処理、商品売買の会計処理に関して現金使用時、掛取り引き時、商品購入時の引取運賃や商品販売時の発送費の会計処理を配布プリントで確認し理解を深める。ステップアップ問題集（P14～P20）（2時間）
第7回	商品売買契約を確実に行うため、商品受け渡し前に代金の一部を内金または手付金とする会計処理、ギフトカードや商店街や自治体が発行したものなど、売上取引に関連して、他者発行の商品券の会計処理について説明します。（P27～P32）	
	事前学習 （内容・時間）	内金や手付金の会計処理や商品券の会計処理の方法について、その内容を把握しておくこと。 また、前回の内容の確認をしておくこと。ステップアップ問題集（P18～P20）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	第7回講義内容、前払い金と前受け金の簿記上の意味を理解し、その会計処理について配布 プリントで確認理解を深めておくこと。ステップアップ問題集（P18～P20）（2時間）
第8回	簿記上の現金とは何か、その会計処理について、また、現金勘定の帳簿残高と実際有高との不一致の 場合の会計処理について、プリントを配布し説明します。（P34～P39）	
	事前学習 （内容・時間）	内金や手付金の確認と同時に、現金勘定の会計処理についてその内容を把握しておくこと。 また、現金過不足の意味や会計処理を把握しておくこと。（P21～P23）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	第8回講義内容、現金勘定の会計処理及び現金過不足の意味や会計処理について勘定記入を含めて、配布プリント及び問題集で確認し理解を深める。ステップアップ問題集（P21～P23）（2時間）
第9回	支払手段としての普通預金、当座預金勘定の意味と会計処理及び約束手形の意味と会計処理、電子記 録債権債務の会計処理について、教科書やプリントを配布し説明します。（P40～P50）	
	事前学習 （内容・時間）	支払手段としての現金の理解を確認したうえで、現金以外の支払い手段の内容について理解 をしておくこと。（P42～P52）ステップアップ問題集（P26～P30）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	支払手段としての普通預金及び当座預金、約束手形の意味や処理方法、そして勘定記入を 配布プリントで理解を深めること。ステップアップ問題集（P26～P30）（2時間）
第10回	有形固定資産の購入、改善と改良の会計処理、クレジット取引の会計処理、金銭を貸す場合や借りる場 合の会計処理について教科書及び配布プリントに従って説明します。（P52～P62）	
	事前学習 （内容・時間）	約束手形の確認をプリントで行ったうえで、有形固定資産の会計処理とクレジット売掛金の 会計処理について配布プリントで理解を深める。（P52～P62）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	有形固定資産の会計処理と金銭の貸借の会計処理、クレジット売買の会計処理の理解をプリ ント、問題集を使って深めること。ステップアップ問題集（P31～P36）（2時間）
第11回	金銭の貸し付けや借り入れを行うとき、手形を用いる場合の会計処理、商品以外の売買取引で代金を後日受取る場合と後日支払う場合の会計処理、従業員のために一時的に金銭を立て替えた場合、給料の源泉所得税を差し引いて一時的に預かり、後日税務署に支払う会計処理をプリント等で説明します。（P63～P72）	
	事前学習 （内容・時間）	有形固定資産の会計処理と金銭の貸借の会計処理、クレジット売買の会計処理の理解をプリントを使って深める。また、給料の会計処理や手形による金銭貸借等について理解しておく。（P63～P72）ステップアップ問題集（P33～P40）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	手形を用いて金銭貸借の会計処理や商品以外の掛取引の会計処理、給料の会計処理につ いてプリントなどで理解を深めること。ステップアップ問題集（P33～P40）（2時間）
第12回	従業員の出張に関する会計処理、従業員が出張中に取引先から金銭を送金してくる場合の会計処理契約を実行する担保として債務者が債権者に対して差し入れた保証金についての会計処理、消費税の会計処理について（間接税）プリントを交えて説明します。（P71～P78）ステップアップ問題集（P69～P72）	
	事前学習 （内容・時間）	手形を用いて金銭貸借の会計処理や商品以外の掛取引の会計処理、給料の会計処理についてプリントなどで理解を深め、また、従業員の出張に関する会計処理を理解しておく。ステップアップ問題集（P33～P47）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	出張に関する会計処理、消費税の会計処理について、配布プリントで確認し、理解を深める。 ステップアップ問題集（P33～P47）（2時間）
第13回	主要簿と補助簿の記入方法、仕訳帳の記入方法、総勘定元帳の記入方法、受取手形記入帳や支払手形 記入帳、仕入帳や売上帳についてプリントを配布し、記帳練習を繰り返し説明します。（P94～P114）	
	事前学習 （内容・時間）	出張に関する会計処理、消費税の会計処理について、配布プリントで確認し、理解を深める。 また、主要簿や補助簿、仕入帳、売上帳、受取手形記入帳などの理解をしておく。（P56－P68）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	総勘定元帳や仕入帳、受取手形記入帳や支払手形記入帳、仕入帳、売上帳の記入についてプリントなどで繰り 返し記入方法を理解する。（P94～P114）ステップアップ問題集（P56～P68）（2時間）
第14回	売掛金元帳、買掛金元帳の記載方法、商品有高帳の記載方法についてプリントを配布して説明します。 （P109～P116）ステップアップ問題集（P94～P114）	
	事前学習 （内容・時間）	総勘定元帳や仕入帳、受取手形記入帳や支払手形記入帳、仕入帳、売上帳の記入についてプリントなどで繰り 返し記入方法を理解した上で、商品有高帳の記載について理解しておく。（P56～P68））（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	売掛金元帳、買掛金元帳の記載方法、商品有高帳の記載方法について、配布したプリント で確認し理解を深める。（P94～P114）ステップアップ問題集（P56～P68）（2時間）
第15回	伝票会計の会計処理を行い、仕訳日計表の作成をプリント等を使用して説明します。（P116～P122）	
	事前学習 （内容・時間）	売掛金元帳、買掛金元帳の記載方法、商品有高帳の記載方法について、配布したプリント で確認し理解を深める。また、伝票会計について理解しておく。（P116～P122）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	伝票会計の会計処理を行い、仕訳日計表の作成をプリント等で確認し理解を深める。 （P116～P122）ステップアップ問題集（P72～P78）（2時間）
第16回 （定期試験）	商工会議所簿記検定3級試験の検定範囲の中（学習した内容）で、決算問題を中心に60分間 で実施します。 持ち込み可能なもの ①電卓のみ	

ナンバリング（Numbering）
1BMB-6462-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
簿記Ⅱ	224 経営情報学科	1年生・後期	2単位	選択	岩下　昌美 平川　淳一
	221～223				
簿記演習	219・220			必修	

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	「簿記Ⅰ」または「初級簿記」の単位を取得していること。 テキストを必ず準備してください。使用するテキストは，2022年度の前期「簿記Ⅰ」で使用したものになります。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーにもとづき，この授業では簿記についての基礎レベルについて説明します。
本講義は，日本商工会議所主催の簿記検定3級の範囲，小規模な株式会社を前提した複式簿記の原理と技術の基礎的知識を習得するため，前期「簿記Ⅰ」と連続した内容になりますので，必ず受講をするようにしてください。簿記知識の習得は積み重ねです。そのためには毎回の講義に必ず出席することがとても重要です。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

本学では4年間で簿記検定3級，全員取得を掲げています。そこで本講義では，簿記一巡の手続きを理解し，小規模な株式会社における帳簿記帳の基礎的知識を習得することを目標とします。
そして「簿記Ⅰ」「簿記Ⅱ」の履修により日本商工会議所簿記検定3級取得を目指します。簿記検定のペーパー試験（統一試験）は6月，11月，2月（翌年）に実施されます。2021.4月からWEB検定（受験日自由選択）も実施されることになりました。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業は対話型を心がけ進めていきます。不明な点や疑問などが生じた時は積極的に発言してください。
授業終了時には毎回の理解度をチェックするため，ミニテストを実施します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などは2号館2階270室の研究室にてオフィスアワー時（年度はじめに掲示），あるいは電子メール（アドレス：masami-i@g.kiis.ac.jp）で受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して前期定期試験日に岩下までメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
『2024　日商簿記3級テキスト』，1,800円 2024年度前期の「簿記Ⅰ」テキストと同じです。	岩下昌美	前期に購入していない場合は，空き時間を利用して岩下（270号室）研究室で購入してください。	

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
『スッキリわかる 日商簿記3級 最新版 テキスト&問題集』	滝澤 ななみ	TAC出版	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：定期試験（70%），平常点（15%），復習課題（15%）。平常点は科目別履修状況チェック表の提出状況，毎回の授業最後の成果物提出状況で判断する。
成績評価の基準：①3級の取引の仕訳ができるか。②補助簿の作成できるか。⑤決算整理事項から精算表および財務諸表（貸借対照表・損益計算書）が作成できるか。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（講義の進め方，講義内容，受講上の諸注意，評価方法など）を確認します。 前期「簿記Ⅰ」の復習として，総合的な仕訳問題その1（株式会社の設立等，商品売買，掛け取引，現金預金等）を解いていきます。	
	事前学習（内容・時間）	前期「簿記Ⅰ」の復習および勘定科目一覧表を確認しておいてください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第2回	前期「簿記Ⅰ」の復習として，総合的な仕訳問題その2（貸倒れ，手形取引等，固定資産，その他の債権・債務，税金，決算整理）を解いていきます。	
	事前学習（内容・時間）	前期「簿記Ⅰ」の復習および勘定科目一覧表を確認しておいてください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第3回	第14章　分記法（商品売買）の会計処理について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの第14章を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第4回	第15章　補助簿（商品有高帳，仕入帳，売上帳，得意先元帳，仕入先元帳，現金出納帳）の作成方法について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの第15章を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第5回	第15章　補助簿（当座預金出納帳，小口現金出納帳，手形記入帳，固定資産台帳，）の作成方法について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの第15章を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第6回	日本商工会議所簿記検定3級の過去の仕訳問題を配布資料①をもとに解いていきます。	
	事前学習（内容・時間）	勘定科目一覧表で資産・負債・純資産・費用・収益について確認してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	当該回の仕訳問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。（2時間）
第7回	日本商工会議所簿記検定3級の過去の仕訳問題を配布資料②をもとに解いていきます。	
	事前学習（内容・時間）	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	当該回の仕訳問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。（2時間）
第8回	日本商工会議所簿記検定3級の過去の仕訳問題を配布資料③をもとに解いていきます。	
	事前学習（内容・時間）	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	当該回の仕訳問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。（2時間）
第9回	日本商工会議所簿記検定3級の過去の補助簿作成・穴埋め問題を配布資料④をもとに解いていきます。	
	事前学習（内容・時間）	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	当該回の仕訳問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。（2時間）
第10回	日本商工会議所簿記検定3級の過去の補助簿作成・穴埋め問題を配布資料⑤をもとに解いていきます。	
	事前学習（内容・時間）	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	当該回の配布資料の問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。（2時間）
第11回	日本商工会議所簿記検定3級の過去の伝票問題を配布資料⑥をもとに解いていきます。	
	事前学習（内容・時間）	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	当該回の配布資料の問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。（2時間）
第12回	日本商工会議所簿記検定3級の過去の決算整理・精算表作成問題を配布資料⑦をもとに解いていきます。	
	事前学習（内容・時間）	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	当該回の配布資料の問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。（2時間）
第13回	日本商工会議所簿記検定3級の過去の決算整理・財務諸表作成問題を配布資料⑧をもとに解いていきます。	
	事前学習（内容・時間）	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	当該回の配布資料の問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。（2時間）
第14回	日本商工会議所簿記検定3級の過去の決算整理後試算表作成問題を配布資料⑨をもとに解いていきます。	
	事前学習（内容・時間）	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	当該回の配布資料の問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。（2時間）
第15回	日本商工会議所簿記検定3級の過去の帳簿記入と締切り，繰越試算表作成問題を配布資料⑩をもとに解いていきます。	
	事前学習（内容・時間）	前回の配布資料の仕訳問題を復習しておいてください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	当該回の配布資料の問題で分からなかった個所をテキストで再度復習してください。（2時間）
第16回（定期試験）	60分の定期試験（電卓持ち込み可）	

ナンバリング（Numbering）
1BMB-6462-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
簿記Ⅱ	224 情報ネットワーク学科	1年生・後期	2単位	選択	長友　陛富
	221～223				
簿記演習	219・220			必修	

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	本学では、日本商工会議所主催の簿記検定3級の取得を大きな目的としています。この簿記を学んだことのない学生も基礎基本をしっかり学習することで、簿記3級の内容を理解し、簿記検定3級の検定に合格できると思います。「大原で合格る日商簿記3級」のCHAPTER0～11を読み、その内容を確認し、学習項目の流れを理解しておきましょう。本講義では、簿記検定3級の内容を学習項目ごとに段階的に修得するために、簿記の基礎基本の内容をしっかりかつ繰り返し学習します。 なお、計算することがありますので、電卓を購入しておいてください。 また、配布プリント等をとじる紙ファイルを必ず準備してください。 講義中の注意事項は以下の通りです。 1 私語はしない　2 時間を守る　3 飲食禁止（ペットボトルや食べ物など机上に置かない）4 携帯電話の利用は禁止　5講義開始と終了の挨拶の励行と学ぶ姿勢を身に付ける。 ネットワーク学科の学生で簿記検定3級合格を希望する者は、簿記Ⅱ（後期）を履修してください。

授業概要　Course Outline

企業を経営管理するためには会計情報の知識（会社がどういう経営状態か）が必要です。必要な情報として会計情報を正確に理解するためには、簿記を理解することが不可欠です。経営情報学部を卒業する学生は、将来企業の経営管理に関わる可能性が高いことを考えると、簿記の知識習得は必須となります。本科目では、企業が行う経済活動により発生する、資産、負債、純資産、費用、収益の増減を一定のルールに従って、記録・計算・整理することを実践します。また、講義では建学の精神に則った学生生活の在り方を提唱する中で、この科目の学修の目的と進路意識を持たせ、何事にも意欲的に取り組む姿勢の一歩とし、日本商工会議所簿記検定3級合格を目指します。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

①簿記の基本概念及び記帳計算の基礎を理解できる。
②日常の手続きを理解し、仕訳及び勘定記入ができ、決算の意味を理解し、試算表の作成ができる。
③簿記一巡の手続を理解し、財務諸表作成までの計算構造を理解できる。
④簿記の機能と役割を理解させ、簿記への興味関心を持たせ、学習習慣と学ぶ姿勢を確立し、日本商工会議所簿記検定3級合格を 目指します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学生からの積極的な発言を期待し、毎回授業中に知識の定着を図るための口頭試問、課題の板書及び説明することを実施します。また、学生自ら段階別の問題を作成し解答を含め説明・発表します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（556）にて随時受け付けます。連絡先はnagatomoy@kiis.ac.jpです。
なお、出勤日は火曜日、水曜日、木曜日です。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：日本商工会議所主催の簿記検定3級を必ず受験します。（検定月は、6月、11月、2月です。
検定料は￥2,850です。CDC就職課から申し込みの案内が2か月前にあります。）
学習の確認：ポートフォリオシートの作成に関しては講義中に説明します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
大原で合格る日商簿記3級 ￥1,210	資格の大原	中央経済社	978-4502392719

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
日商簿記3級過去問への ステップアップ問題集 ¥1,320	資格の大原	大原出版	978-4864869218

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法
（1）講義回数の3分の2以上の出席を必須条件とします。
（2）定期試験50%
　口頭試問10%
　提出物　15%
　簿記コンテスト及び日本商工会議所簿記検定受験10%
　学習意欲（課題板書及び説明）15%

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	会計学入門や簿記Ｉで学習した内容を振り返る。そのうえで精算表の作成を説明し、貸し倒れの会計処理、貸借対照表のにおける貸倒引当金の表示、有形固定資産の減価償却の会計処理について説明する。（教科書P132～P168）	
	事前学習（内容・時間）	前期の会計学入門と簿記Ｉの講義の内容を、教科書やプリントで振り返り理解を深め、精算表の作成についてその方法を理解しておくこと。（P132～P168）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	精算表の作成に決算整理事項として出題される貸し倒れと減価償却の計算方法、会計処理について、その仕訳と記帳方法を配布プリントで理解すること。ステップアップ問題集（P82～P93）（2時間）
第2回	会計学入門や簿記Ｉで学習した内容を振り返る。そのうえで精算表の作成を説明し、貸し倒れの会計処理、貸借対照表のにおける貸倒引当金の表示、有形固定資産の減価償却の計算及び会計処理について説明する。（P132～P168）ステップアップ問題集（P82～P93）	
	事前学習（内容・時間）	第1回講義内容、精算表の作成に決算整理事項として出題される貸し倒れと減価償却について、その仕訳と記帳方法を配布プリントで理解し、有形固定資産の売却の会計処理について理解しておく。（P132～P168）ステップアップ問題集（P90～P115）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	精算表の作成に関して、貸倒の設定、減価償却の計算及び会計処理、有形固定資産の売却時の会計処理について配布プリントや問題集で確認する（P132～P168）ステップアップ問題集（P82～P93）（2時間）
第3回	精算表の作成に関して、費用収益の前払い・前受け、費用収益の未払い・未収についてプリントを交え説明する。 教科書（P170～P184）ステップアップ問題集（P82～P93）	
	事前学習（内容・時間）	貸倒れと減価償却等を配布プリントで理解を深め、費用収益の前払いや前受け、未払い・未収について、理解しておくこと。（P170～P184）ステップアップ問題集（P82～P93）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	精算表の作成を理解する。費用収益の前払い・前受け、費用収益の未払い・未収についてプリントを交え理解を深める（P170～P184）ステップアップ問題集（P82～P93）(2時間）
第4回	精算表の作成に関して、費用収益の前払い・前受け、費用収益の未払い・未収についてプリントを交え説明する。教科書（P170～P184）ステップアップ問題集（P82～P93）	
	事前学習（内容・時間）	貸倒れと減価償却等を配布プリントで理解を深め、費用収益の前払いや前受け、未払い・未収について、理解しておくこと。 教科書（P170～P184）ステップアップ問題集（P82～P93）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	精算表の作成を理解する。費用収益の前払い・前受け、費用収益の未払い・未収についてプリントを交え理解を深める（P170～P184）ステップアップ問題集（P82～P93）
第5回	精算表の作成をプリント・問題集を利用して決算整理事項を含めて、作成の理解を深める。 （P209～P212）ステップアップ問題集（P114～P115）	
	事前学習（内容・時間）	決算整理事項に関係する、貸倒、減価償却、売上原価、現金過不足、前受金、税金関係、費用・収益の見越し繰り延べ、貯蔵品等を含めた精算表作成の理解を深めておくこと。（P161～P212）ステップアップ問題集（P86～P115）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	精算表の作成手順をプリント・問題集を活用して明確に理解を深めること。（P161～P212）ステップアップ問題集（P86～P115）（2時間）
第6回	帳簿の締め切り及び財務諸表の作成までの一連の手続きについて、プリントと教科書で説明します。損益勘定の締め切り、資産・負債・資本書簡上の締め切りを行い、損益計算書と貸借対照表の作成を説明します。（P185～P204）ステップアップ問題集（P112～P116）	
	事前学習（内容・時間）	決算整理事項を終了した後、各勘定を締め切る流れについて理解を深めること。また、一連の流れの中から損益計算書及び貸借対照表の作成について理解しておくこと。（P202～P205）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	第5回講義内容、損益計算書と貸借対照表の作成の手順と受取手形や売掛金に対する貸倒引当金及び減価償却累計額の表示の方法について明確に理解すること。ステップアップ問題集（P112～P116）（2時間）
第7回	帳簿の締め切り及び財務諸表の作成までの一連の手続きについて、プリントと教科書で説明します。損益勘定の締め切り、資産・負債・資本書簡上の締め切りを行い、損益計算書と貸借対照表の作成を説明します。（P145～P205）ステップアップ問題集（P82～P121）	
	事前学習（内容・時間）	決算整理事項を終了した後、各勘定を締め切る流れについて理解を深めること。また、一連の流れの中から損益計算書及び貸借対照表の作成について理解しておくこと。（P145～P205）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	第6回講義内容、損益計算書と貸借対照表の作成の手順と受取手形や売掛金に対する貸倒引当金及び減価償却累計額の表示の方法について明確に理解すること。ステップアップ問題集（P82～P121）（2時間）
第8回	日商簿記検定3級の総合問題をジャンル別に学習する。1、過去に出題された仕訳問題をプリントを活用して解く。 ステップアップ問題集（P4～P121）	
	事前学習（内容・時間）	取引から仕訳に関係する、今までに配布したプリントや問題集を振り返り、理解を深めておくこと。 ステップアップ問題集（P4～P121）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	取引と判断できる場合の仕訳をあらゆるジャンルで出来るように繰り返し行い、理解を深めること。 ステップアップ問題集（P4～P121）（2時間）
第9回	日商簿記検定3級の総合問題をジャンル別に学習する。1、過去に出題された仕訳問題をプリントを活用して解く。 ステップアップ問題集（P4～P121）	
	事前学習（内容・時間）	取引から仕訳に関係する、今までに配布したプリントや問題集を振り返り、理解を深めておくこと。 ステップアップ問題集（P4～P121）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	取引と判断できる場合の仕訳をあらゆるジャンルで出来るように繰り返し行い、理解を深めること。 ステップアップ問題集（P4～P121）（2時間）
第10回	日商簿記検定3級の総合問題をジャンル別に学習する。2、過去に出題された試算表の作成をプリント及び問題集を活用して解く。 教科書（P2～P209）ステップアップ問題集（P4～P121）	
	事前学習（内容・時間）	試算表の作成を行うためには、日々の取引の簡単な仕訳と転記が必要です。地道なことの繰り返し根気強く取り組んでください。（P2～P209）ステップアップ問題集（P4～P121）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	試算表の作成は多くの時間を要します。根気よく問題に向かって解くこと以外に方法はありません。繰り返し解くことで理解を深めてください。（P2～P209）ステップアップ問題集（P4～P121）（2時間）
第11回	日商簿記検定3級の総合問題をジャンル別に学習する。2、過去に出題された試算表の作成をプリント及び問題集を活用して解く。 教科書（P2～P209）ステップアップ問題集（P4～P121）	
	事前学習（内容・時間）	試算表の作成を行うためには、日々の取引の簡単な仕訳と転記が必要です。地道なことの繰り返しですので根気強く取り組んでください。教科書（P2～P209）ステップアップ問題集（P4～P121）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	試算表の作成は多くの時間を要します。根気よく問題に向かって解くこと以外に方法はありません。繰り返し解くことで理解を深めてください。（P2～P209）ステップアップ問題集（P4～P121）（2時間）
第12回	日商簿記検定3級の総合問題をジャンル別に学習する。3、過去に出題された精算表、損益計算書・貸借対照表の作成をプリント及び問題集を活用して解く。教科書（P2～P209）ステップアップ問題集（P4～P121）	
	事前学習（内容・時間）	過去に出題された精算表・損益計算書・貸借対照表を教科書や問題集及びプリントを活用して、しっかり理解し正確な解答が出るように会計処理を高めること。教科書（P2～P209）ステップアップ問題集（P4～P121）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	第12回の講義内容、精算表・損益計算書・貸借対照表の作成時間が40分で完成できるように繰り返し問題を解き、正確性とスピード力を身につけること。教科書（P2～P209）ステップアップ問題集（P4～P121）（2時間）
第13回	日商簿記検定3級の総合問題をジャンル別に学習する。3、過去に出題された精算表、損益計算書・貸借対照表の作成をプリント及び問題集を活用して解く。教科書（P2～P209）ステップアップ問題集（P4～P121）	
	事前学習（内容・時間）	過去に出題された精算表・損益計算書・貸借対照表を教科書や問題集及びプリントを活用して、しっかり理解し正確な回答が出るように会計処理を高めること。教科書（P2～P209）ステップアップ問題集（P4～P121）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	第13回講義内容、精算表・損益計算書・貸借対照表の作成時間が40分で完成できるように繰り返し問題を解き正確性とスピード力を身につけること。教科書（P2～P209）ステップアップ問題集（P4～P121）（2時間）
第14回	日商簿記検定3級の総合問題をジャンル別に学習する。4、伝票の起票、集計、をプリント及び問題集を活用して解く。売掛金元帳・買掛金元帳、商品有高帳、仕入帳・売上帳の記入方法につて理解しておくこと。教科書（P2～P209）ステップアップ問題集（P4～P121）（2時間）	
	事前学習（内容・時間）	総勘定元帳や仕入帳、受取手形記入帳や支払手形記入帳、仕入帳、売上帳の記入についてプリントなどで繰り返し記入方法を理解した上で、商品有高帳の記載について理解しておく。教科書（P2～P209）ステップアップ問題集（P4～P121）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	売掛金元帳、買掛金元帳の記載方法、商品有高帳の記載方法について、配布したプリントで確認し理解を深める。 教科書（P2～P209）ステップアップ問題集（P4～P121）(2時間）
第15回	日商簿記検定3級の総合問題の理解度確認し、抑えるべ項目の把握と理解度を高める。（3級検定試験全体）	
	事前学習（内容・時間）	日商簿記3級検定試験範囲を繰り返し学習する過程で、時間配分や配点の部分まで考えて合格に結びつけられるよう問題を解く習慣を身につけておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	3級全体の問題に対する解答をバランスよく出来るように確認を最大限に行う。ステップアップ問題集（全体）（2時間）
第16回（定期試験）	商工会議所簿記検定3級試験の検定範囲の中（学習した内容）で、決算問題を中心に60分間 で実施します。 持ち込み可能なもの ①電卓のみ	

ナンバリング（Numbering）
1BMN-6510-22ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
マネージメント科学（教職関連科目　必　高等学校　情報）	共通	2年生・前期	2単位	選択	古川　哲也

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	「情報リテラシー演習Ⅰ、Ⅱ」を履修済であること。数学関連科目を受講していることが望ましい。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、経営の意思決定における複眼的な知識・理解や汎用的技能を獲得する。具体的には、問題を解決するための理論やモデル作成について学習すると共に、結果を身近な問題に応用して演習をする。分析やシミュレーション結果をグラフ等を用いて視覚的に表現し解決策を解りやすくする。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

経営には需要を予測することや在庫を適切に管理する等の問題がある。それら経営上の問題を科学的に解決する初歩的な解決技法を理解し習得する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業で学習した問題解決の手法を実際の問題に適用し、自ら問題を解決する実習を行う。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡にはメールを用いる。
furukawa@econ.kyushu-u.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

ポートフォリオ「科目別履修状況チェック表」を作成し、第5回、第10回、第15回の授業時に提出する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
必要に応じて資料を配布します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
・経営科学と情報処理 ・問題解決のための オペレーションズ・リサーチ入門	宮川 公男、他 高井英造、他	実教出版株式会社 日本評論社	ISBN 4-407-02775-4 ISBN978-4-535-55191-6

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

課題の提出結果（30%）　＋　定期試験（70%）

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	1）授業内容、授業の進め方、成績評価の仕方を説明する。	
	事前学習（内容・時間）	資料を読んで、経営上の問題を科学的に解くとはどういうことなのか理解しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	説明内容を復習し、技術用語、専門用語など不明なものは調べるなどして確認する。（2時間）
第2回	2）統計データの分析	
	事前学習（内容・時間）	資料を読んで、必要な数学の知識を復習しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で用いた例題を完成し、練習問題を解く。（2時間）
第3回	3）需要予測： 時系列データの分析手法	
	事前学習（内容・時間）	資料を読んで、移動平均法、最小二乗法、季節変動の考え方を理解しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で用いた例題を完成する。（2時間）
第4回	3）需要予測： 時系列分析による予測	
	事前学習（内容・時間）	資料の正規方程式の導出と計算の部分を読んでおく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で用いた例題を完成し、練習問題を解く。（2時間）
第5回	3）需要予測： 回帰分析による予測	
	事前学習（内容・時間）	資料の決定係数と相関の部分を読んでおく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で用いた例題を完成し、練習問題を解く。（2時間）
第6回	4）在庫管理： 最適在庫管理と確定需要の在庫管理	
	事前学習（内容・時間）	資料を読んで、確定需要の場合の在庫費用の計算を理解しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	最適発注量の導出を理解し、練習問題を解く。（2時間）
第7回	4）在庫管理： 不確定需要で発注が独立している場合	
	事前学習（内容・時間）	資料を読んで、不確定性を期待値で考えることを理解する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で用いた例題を完成し、練習問題を解く。（2時間）
第8回	4）在庫管理： 不確定需要で発注が独立していない場合	
	事前学習（内容・時間）	資料を読んで、在庫基準量の計算方法を理解しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で用いた例題を完成し、練習問題を解く。（2時間）
第9回	5）線形計画法： 線形計画問題	
	事前学習（内容・時間）	文章による記述から目的関数、制約条件式を求めることができるようにしておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	線形計画問題の最適解がどのようなものになるのか復習し、十分に理解する。（2時間）
第10回	5）線形計画法： グラフによる解法	
	事前学習（内容・時間）	2変数の線形計画問題での実行可能領域を理解しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	連立二元一次方程式の解、線形計画問題の解、実行可能領域の関係を復習する。（2時間）
第11回	5）線形計画法： シンプレックス法による解法	
	事前学習（内容・時間）	資料を読んで、シンプレックス法の考え方を理解する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	例題を完成し、シンプレックス法の計算手順を確認する。（2時間）
第12回	5）線形計画法： シンプレックス法の計算	
	事前学習（内容・時間）	シンプレックス法の各計算手順で何を求めているのかを理解する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	練習問題をシンプレックス法で解き、最適解を導く。（2時間）
第13回	6）日程計画： 日程計画表とネットワーク表示、日程の計算	
	事前学習（内容・時間）	資料を読み、日程計画の考え方を理解する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で用いた例題を完成し、日程を完成する。（2時間）
第14回	6）日程計画： クリティカルパス、AonAとAonN	
	事前学習（内容・時間）	資料を読み、AonAとAonNの考え方の違いを理解する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	練習問題を解き、2つの方法でクリティカルパスを求める。（2時間）
第15回	7）全体のまとめ： マネージメント科学で何を学習したか。	
	事前学習（内容・時間）	この授業で学習した内容を復習しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	最終レポートをまとめる。（2時間）
第16回（定期試験）	8）定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1BMB-6302-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
ビジネス実務	219～	2年生・前期	2単位	選択	鈴木　和也

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	1.経営学総論Ⅰ、経営学総論Ⅱ、マーケティング論などの関連科目を履修し単位を取得していること。2.履修者は全員、7月にCBTでｻｰﾋﾞｽ接遇検定試験（3級）を申し込み、受験し合格すること。

授業概要　Course Outline

この講義では、ビジネス実務の知識やスキルの習得、さらには広い視野から社会に広がるビジネス実務の諸課題を、具具体的な活動プロセスの中で探求し、実践の場で生かせるような必要な知識や方法を学習をとおして身に付けることに主眼をおいている。また体験学習を積極的に取り入れ、現場の課題に取り組む姿勢についても学習をする。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

本講義では、職業人として、企業においてビジネス実務を実際に行うために必要な基礎的な考え方と知識・技能を習得する。また講義をとおして、そうすることが「なぜ」必要なのかという考え方を持ち、実際に活用できる能力も身に付ける。信頼される社会人として、ふさわしい言動や人柄を身に付け、社会に必要となる豊かな教養と温かい人間性を兼ね備えた人材としての基本を培う。
なお、カリキュラムポリシーⅣに基づき、学習にあたって、自らがたてた新たな課題や目標に即して、その課題や目標を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力も併せて養う。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
・授業内で実施するロールプレイや小テストを活用し、授業内容の理解を深めるとともに授業への積極的な参加を促します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室（553）にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。（オフィスアワー以外で研 究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価や教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握に努める。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
すらすら合格 サービス接遇検定 準1級・2級・3級 テキスト＆問題集	西村この実　著	翔永社	978-4-7981-7005-3

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
サービスの心を磨く サービス接遇検定 公式テキスト 3級	実務技能検定協会　編	早稲田教育出版	978-4-7766-1305-3
サービスの心を磨く サービス接遇検定 公式テキスト 2級	実務技能検定協会　編	早稲田教育出版	978-4-7766-1306-0

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1.定期試験（80%）、2.小テスト（5%）、3.学修課題の提出（5%）、4.授業への取組み（10%）

授業計画 Course Schedule			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション［講義の進め方、成績評価について］ サービススタッフの資質		
	事前学習（内容・時間）	教科書16頁～34頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第2回	専門知識［サービスの意義、サービスの機能、品選び①、品選び②、サービスの機能を考えた態度・行動］		
	事前学習（内容・時間）	教科書46頁～54頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第3回	専門知識［お客様を迎える心構え①、お客様を迎える心構え②、お客様対応のコツ①、お客様対応のコツ②］		
	事前学習（内容・時間）	教科書56頁～62頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第4回	一般知識［知っておきたいことわざ・慣用句］		
	事前学習（内容・時間）	教科書74頁～84頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第5回	一般知識［サービス業の用語、手紙における表現］		
	事前学習（内容・時間）	教科書86頁～106頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第6回	対人技能［人間関係の対処法、社内外の人間関係、適切な接遇用語、接遇者としての話し方］		
	事前学習（内容・時間）	教科書120頁～126頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第7回	対人技能［適切な服装と不適切な態度、サービス接遇の4S、接遇の流れ、購買行動］		
	事前学習（内容・時間）	教科書128頁～134頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第8回	対人技能［敬語、お役様に対する丁寧な言葉遣い］		
	事前学習（内容・時間）	教科書136頁～148頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第9回	実務技能［サービス接遇の基本手順、店舗以外での接客、クレーム対応①、クレーム対応②］		
	事前学習（内容・時間）	教科書164頁～174頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第10回	実務技能［問題処理法と非常事態、環境整備、金品管理、商品管理］		
	事前学習（内容・時間）	教科書178頁～186頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第11回	実務技能［社交業務①、社交業務②］		
	事前学習（内容・時間）	教科書188頁～190頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第12回	実務技能［服装のマナー、現金の包み方、水引のかけ方］		
	事前学習（内容・時間）	教科書192頁～194頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第13回	実務技能［上書きと水引①、上書きと水引②、上書きと水引③］		
	事前学習（内容・時間）	教科書196頁～200頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第14回	実務技能［電話応対の基本］		
	事前学習（内容・時間）	配布した参考資料を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第15回	実践演習［3級模擬問題、2級模擬問題、準1級面接対策］		
	事前学習（内容・時間）	教科書216頁～238頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験の実施 （まとめと振り返りを行う。）		

ナンバリング（Numbering）
1BMN-6540-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
民事法	219～	2年生・前期	2単位	選択	丹羽 崇之

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	「法学」、「日本国憲法」を履修済みであることが望ましい。

授業概要　Course Outline

私たちの私的生活関係は、二つの生活関係から成り立っている。契約のような、経済的取引活動を中心とする生活関係と、夫婦や親子、相続などの家族に関する生活関係である。前者に関する法規範を財産法といい、後者に関する法規範を家族法という。民法は、この二つを規律していて、市民生活の基本となる法律である。本講では、民法を中心に、民事手続法、会社法について学ぶ。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

建学の精神をふまえ、私法の基本原理をから始まり、市民生活を営むうえで必要となる民事法の基本的知識、考え方を身につける。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

判例を簡略化した事例を題材にするので、学生諸君に適用条文や法律関係を考えてもらう。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問等は、授業の前後の時間やオフィスアワーを積極的に利用してもらいたい。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

欠席した場合には、その回の授業内容を学習したレポートを提出してもらう。（提出しない場合は、定期試験の受験を認めない。）
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
民事法入門〔第8版補訂版〕	野村豊弘	有斐閣	978-4641221987

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ポケット六法　令和6年版	佐伯・大村編	有斐閣	978-4641009240
民法基本判例集〔第4版〕	遠藤・川井他編	勁草書房	978-4326451227
民法Visual Materials〔第3版〕	池田真朗他	有斐閣	978-4641138575

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

平常点（ミニテスト、レポート）30%、定期試験70%により総合評価する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	民事法の意義	
	事前学習（内容・時間）	教科書第1章を読み、民事法、民法の意義を考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第1章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第2回	民法と民法典、権利と義務	
	事前学習（内容・時間）	教科書第2章・第3章を読み、民法の基本原理を考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第2章・第3章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第3回	法律行為	
	事前学習（内容・時間）	教科書第4章を読み、法律行為、権利の主体について考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第4章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第4回	代理	
	事前学習（内容・時間）	教科書第5章を読み、代理のしくみについて考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第5章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第5回	時効	
	事前学習（内容・時間）	教科書第6章を読み、時効について考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第6章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第6回	契約	
	事前学習（内容・時間）	教科書第7章を読み、時効について考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第7章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第7回	所有権	
	事前学習（内容・時間）	教科書第8章を読み、物権について考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第8章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第8回	不法行為	
	事前学習（内容・時間）	教科書第9章を読み、不法行為の意義、要件、効果について考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第9章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第9回	事務管理・不当利得	
	事前学習（内容・時間）	教科書第10章を読み、事務管理。不当利得の意義、要件、効果について考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第10章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第10回	債務の弁済	
	事前学習（内容・時間）	教科書第11章を読み、債務の担保、債務の弁済について考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第11章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第11回	家族	
	事前学習（内容・時間）	教科書第12章を読み、親族法の意義、基本原理について考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第12章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第12回	親子、扶養	
	事前学習（内容・時間）	教科書第13章を読み、親子、親権、親族扶養について考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第13章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第13回	相続	
	事前学習（内容・時間）	教科書第14章を読み、相続の意義、法定相続、遺言について考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第14章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第14回	団体	
	事前学習（内容・時間）	教科書第15章を読み、法人、会社について考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第15章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第15回	権利の実現	
	事前学習（内容・時間）	教科書第16章を読み、権利実現の方法、紛争の解決、裁判制度について考える。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第16章を読み返し、設例の解答を書いてみる。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1BMN-5360-22C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
経営情報学Ⅰ	223～	2年生・前期	2単位	必修	秋吉浩志
経営情報論Ⅰ	～222			選択	

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	「経営学総論Ⅰ」「情報学入門」を履修していること。「情報テクノロジー（情報処理入門）」を履修し、ストラテジー分野について理解していることが望ましい。

授業概要　Course Outline

本学の建学の精神と3つのポリシーを基盤とした、本学の経営情報学の全体像を把握するための重要な科目である。
経営情報学とはなにか。その入り口の内容をさまざまな分野から説明を行っていく。
業種毎（製造業、流通業、金融業）のシステム構成や具体的システム事例（家電メーカ、コンビニエンスストア、銀行等）について解説する。
　ITパスポート試験（ストラテジー分野）から出題した小テストを毎回実施する。
この科目は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）必修科目である。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

経営情報の基本的な理論の理解を目指す。さらに業種毎の経営情報システムの仕組み、特徴について正しく理解し、説明が出来るようになる。
また、社会で求められる経営情報に関する土台としての知識を習得し、他の基礎科目、および応用・発展科目へと導き、より深い知識を得る道しるべを得ることができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

　毎回の授業で、授業内容をまとめた課題と実体験のレポート提出があります。意見、感想なども記入してください。
①基本的にプレゼン方式で行い、学生と積極的にコミュニケーションをとりながら講義を展開する。
②動画、テキスト以外の教材などのように実際見たり、感じたりする教材も準備し、より体感できるような講義も行う。
③ミニテスト、アンケート、学生からの意見なども教材として取り上げ、講義を展開していく。
④考える、議論する、主張することなどができるような雰囲気づくりを行い、受講学生の積極性なども導き出す。など

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

基本的に研究室（2号館5階555研究室）にて月曜日、水曜日オフィスアワーを設定している。
研究室訪問の際、メール；akiyoshi@g.kiis.ac.jpにメール連絡をしておくことを薦める。（遠隔授業の場合はGoogleクラスルームを活用して連絡を随時行う）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：ITパスポート資格の未取得者は受験すること。資格取得状況を成績評価の対象とする。
学修の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に該当事項を記入して、次回授業までに共有フォルダもしくは指定したGoogleクラスルームへ提出すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
テキストは使用せず、毎回教員が作成した資料を事前にclassroomにて配布する。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
情報・技術経営シリーズ10 ビジネス情報システム 経営の基礎から学ぶ 経営情報システム教科書 経営情報システム　第3版	薦田憲久、水野浩孝他 武藤明則 島田達己、高原康彦	コロナ社 同文舘出版 日科技連	4339026301 9784495384111 9784817192141

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

期末試験（60%）、出席・遅刻に関しては厳しく管理し、成績に反映する。（30%）、授業態度、ミニテスト（10%）を基準とする。
パソコン（タブレット型も含む）、携帯（スマートフォン）その他電子機器の使用は出席登録以外では一切禁止し、使用した場合によっては科目受講失格（0点）にする。基本的に座席指定を行う。使用する際は事前に連絡をする。
成績評価の基準：利用部門での情報リーダーに必要な、情報系システムの企画・開発に関する知識がある。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（授業の概要・受講上の諸注意）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第2回	経営情報システムの概要（経営情報システムの構成、体系について学習する）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第3回	経営情報とは（経営学の視点からの経営情報を考える①経営と情報の関り）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第4回	経営情報とは（経営学の視点からの経営情報を考える②経営と情報の関り）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第5回	製造業情報システム（家電メーカ等を事例にして具体的に学習する）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第6回	流通業情報システム（流通業における情報システムの構成について学習する）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第7回	流通業情報システム（販売管理、在庫管理、受発注、物流・配送、売れ筋分析等について学習する）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第8回	流通業情報システム（コンビニエンスストア等を事例にして具体的に学習する）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第9回	金融業情報システム（金融業情報システムの発展について学習する）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第10回	データ流通システムを考える（データ流通、活用の動向）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第11回	データ流通システムを考える（データ流通ビジネスの課題と展望）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第12回	金融業情報システムを考える（銀行等を事例にして具体的に学習する）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第13回	ワークフロー管理システム（企業内でのグループ業務を支えるシステムについて学習する）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第14回	テレワーク（企業内での遠隔業務を支えるシステムについて学習する）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第15回	TCO（情報システムにかかる費用を把握し、削減対策について学習する）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第16回（定期試験）	基本的に対面ペーパーテストを行う。試験前にルーブリックならびにポートフォリオの提出もしてもらい。その進捗状況も試験の一部とみなす。	

ナンバリング(Numbering)
1BMN-5370-U2ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
経営情報学Ⅱ (教職関連科目 必 高等学校 情報)	223～	2・3年生・後期	2単位	選択	井上 善海
経営情報論Ⅱ (教職関連科目 必 高等学校 情報)	221・222				
	219・220 経営情報学科				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	「経営学総論Ⅰ」「情報学入門」を履修していること。(履修規程第5条3項に基づく) 「情報テクノロジー(情報処理入門)」を履修し、ストラテジー分野について理解していることが望ましい。 「経営情報論Ⅰ」を履修していることが望ましい。

授業概要 Course Outline

経営コンサルタントの実務経験がある教員が、経営環境の変化や情報技術の進展により、情報通信技術がどのように発展してきたかを解説することにより、各情報通信技術の利点・欠点・留意点について学修する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	企業経営者11年 経営コンサルタント9年	企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの実務経験を踏まえた実践的な議論を行う。

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

「学修成果(Student Learning Outcomes) 3項 社会で求められる知識・技能を修得し、もろもろの課題に主体的に取り組むことができる創造的な思考力や実践力を修得している」に基づき、
情報通信技術の発展過程を理解できる、各情報通信技術について考え方を説明できる、ネットワーク社会の新しい分野で活躍できる人材となることを目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

基本的に対話型の講義になります。よってただ単に出席し，講義を聴いているだけでは単位取得できません。講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応し、自身の意見を発言していくことが求められます。
また情報通信技術に関するビデオ聴講による演習等を行います。聴講したビデオに基づき、ディスカッションを行うため、ビデオ内容の聞き取り力、メモ力、聴講した内容や関連情報との考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法:メールで連絡してください。
オフィスアワー:授業日の休憩時間等に対応いたします。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

課題レポートの提出以外に、資格試験への積極的な取り組みや関連するレポートおよび学習記録(ポートフォリオ等)の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
テキストは使用せず、毎回教員が作成した資料を事前にclassroomにて配布する			

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
経営情報論	遠山暁、村田潔、岸眞理子	有斐閣アルマ	9784641220577

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

中間と期末のレポート、もしくは試験(60%)、授業内課題レポート(40%)を基準とする。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（授業の概要・受講上の諸注意）	
	事前学習（内容・時間）	本授業のテーマについてネット検索等で調べ、疑問点を整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業を受講するためのネットワーク環境や資料を整備する。（2時間）
第2回	企業の経営と情報通信技術の関係	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第3回	企業の経営組織と情報通信技術	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第4回	企業の経営組織と情報通信技術を活用した意思決定	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第5回	企業の経営組織と情報通信技術を活用したコミュニケーション	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第6回	企業の経営組織と情報通信技術を活用した組織変革	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第7回	企業の経営戦略と情報通信技術	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第8回	企業の経営戦略と情報通信技術を活用したビジネスプロセス革新	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第9回	企業の経営戦略と情報通信技術を活用したネット・ビジネスの展開	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第10回	企業の経営戦略と情報通信技術を活用したビジネスモデル構築	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第11回	情報通信技術の設計・開発	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第12回	情報通信技術の管理	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第13回	情報通信技術と社会	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第14回	情報通信技術の進化	
	事前学習（内容・時間）	授業テーマについて参考文献等を用い疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	全体を振り返り、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	キーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1BIN-5690-12CT

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報学入門（教職関連科目 必 高等学校 情報）	223～	1年生・前期	2単位	必修	中島　直樹
	219～222			選択	

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	情報について学ぶ意識を強く持つことを期待します。

授業概要　Course Outline

学則第3条を踏まえて、
情報学分野全般の基本的な知識（人工知能、ICTを含む）を習得することを目標とする。
具体的には、情報処理や情報ネットワークのような技術的な内容だけではなく、情報や情報メディアおよびそれらの活用、活用する際の姿勢・態度について学ぶ。情報ネットワーク学科の他の先生方とのオムニバス形式で運用するため、順番が前後したり、内容に若干の変更があったりすることがあります。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。状況によりオンライン(Zoom)授業になることがある。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

情報や情報技術に興味を持ち、それを扱う際に欠かせない基礎知識を学び、またメディアリテラシーの素養を育む。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

ただ授業を受けるだけでなく、実生活でも身近になってきたネットショッピングサイトを題材に、そこで用いられている技術だけでなく、プラットフォーム、メディアとしての捉え方、活用する際の姿勢・態度についても考察する。その際には、学習内容をどう応用するかを意識しながら取り組む。必要に応じて、自主的に発展的内容・機能の実践・習熟に努力する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員の研究室で受け付けます。なお、オフィスアワーについては掲示を確認すること。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

初回からノートPCを持参。紙のノート・ルーズリーフでの学習を推奨。
ITパスポート試験、基本情報技術者試験の内容の一部を含む。
授業の振り返りを毎回提出。情報処理関連の資格合格者、
関連内容の模擬試験の受験者・高得点者については、その内容に応じて成績評価の際に優遇する。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出。
※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
講義資料を配布します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
「痛快！コンピュータ学」	坂村健	集英社	978-4087474282

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1) 提出物（授業の振り返りや課題等）が約60%、
2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約40%
であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。
※オムニバス形式のため、各回の担当者の評価を合計して科目全体の評価とする。授業担当者以外の評価は、1)提出物とみなす。
さらに、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	入門（1）　　身近な例から始める情報と社会、情報とは（値、データなど）	
	事前学習（内容・時間）	大学入学までの情報に関する学習を振り返ってまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	データ、情報、知識についてまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第2回	入門（2）　　情報の種類と特性（アナログ、デジタル）、意味、価値	
	事前学習（内容・時間）	身近なアナログ、デジタルの例を探してまとめておく。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	アナログ、デジタルの違い、特徴、利点欠点についてまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第3回	メディア（1）　　媒体：メディアの種類と特性、媒介される対象としての情報	
	事前学習（内容・時間）	身近なメディアについて、書き出してまとめておく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	ノートをまとめ直す。振り返りを書く。[2.0h]
第4回	データサイエンス（1） データ、情報、知識	
	事前学習（内容・時間）	データサイエンス、データリテラシーという用語について調べておく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	データサイエンスの概要についてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第5回	データサイエンス（2） 人材、技術、実例	
	事前学習（内容・時間）	データサイエンスの応用事例について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	データサイエンティストの活躍分野、就職先について調べる。振り返りを書く。[2.0h]
第6回	情報通信システム（1） 情報通信産業、スマートシティ	
	事前学習（内容・時間）	スマートシティ、スマートソサエティ、スマートスピーカについて調べる。[2.0]
	事後学習（内容・時間）	インターネットを支えるインフラについて調べる。振り返りを書く。[2.0h]
第7回	情報通信システム（2） モバイル通信	
	事前学習（内容・時間）	IoT, ToSという用語、便利と危険のバランスについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	5Gで広帯域通信が可能になったらしてみたいことについてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第8回	情報と医療（1） 遠隔医療	
	事前学習（内容・時間）	遠隔教育、通信教育、テレワークについて調べる。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	遠隔医療に不可欠なインフラとその維持についてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第9回	情報と医療（2） 再生医療と情報	
	事前学習（内容・時間）	人工物と自然物の融合について考察し、まとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	開発競争と情報共有における問題、産業機密について考察。振り返りを書く。[2.0h]
第10回	情報セキュリティ入門（1） 暗号入門	
	事前学習（内容・時間）	暗号の歴史、暗号をトリックにした小説について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	暗号の有用性についてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第11回	情報セキュリティ入門（2） PKI(Public Key Infrastructure)	
	事前学習（内容・時間）	暗号の活用とそのためのインフラ（社会基盤）について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	量子暗号について調べる。振り返りを書く。[2.0h]
第12回	生体情報（1） 脳、生物、歩行	
	事前学習（内容・時間）	人間の五感覚とセンサーとの対応、人間の代理としてのセンサーについて考察。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	二足歩行、四つ足、這うということの観察の仕方と再現についてまとめる。[2.0h]
第13回	生体情報（2） スポーツと情報	
	事前学習（内容・時間）	eスポーツについて調べる。従来のスポーツとの違いをまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	従来のスポーツとeスポーツとゲームとの関係を考察してまとめる。[2.0h]
第14回	メディア（2） 情報メディアの光と影	
	事前学習（内容・時間）	情報メディア、伝達メディア、表現メディアについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	情報の容器、道具としてのメディアの利点欠点をまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	14回の内容をまとめる。できるだけ紙のノートに書きだしてまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	定期試験に向けて、想定問題を考え、対策を立てる。 [2.0h]
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング(Numbering)
1BIB-5710-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報数学Ⅰ	219～	1年生・後期	2単位	選択	荒平　高章

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	基礎数学を履修していることが望ましい。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、大量データの処理に欠かせない数学の一分野である「線形代数」について学びます。「線形代数」は、経営学、会計学、統計学や情報処理の基礎知識である重要な科目です。個々のデータを一括表現することで、データ分析の本質的な要素を理解したり、大局的な視点を持つ素養を身に着けます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

線形代数の基礎知識である①行列の演算、②逆行列と行列式の関係、③連立一次方程式の解法、④ベクトル空間と線形写像の性質、⑤固有値・固有ベクトルなどを理解することを目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回授業内で演習を行います。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室(653)にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:本科目のKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックフォームに必要事項を記入し提出すること(毎時間).

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
テキスト線形代数	小寺　平治	共立出版	978-4-320-01710-8

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
大学新入生のための線形代数入門	石村 園子	共立出版	978-4320110922

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

演習(10%), ノート提出(40%), 定期試験(50%)により評価する.

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス、プレースメントテスト	
	事前学習（内容・時間）	高校の頃に勉強した数学の復習をしておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(2h)
第2回	ベクトルと行列の表現	
	事前学習（内容・時間）	高校の頃に勉強した数学の復習をしておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第3回	ベクトルの演算	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第4回	ベクトルの内積	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第5回	ベクトルの交角	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第6回	行列の和・差・スカラー倍	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第7回	行列の積	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第8回	掃き出し法	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第9回	逆行列	
	事前学習（内容・時間）	前回までの授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書やノートを見ながら試験問題を解く(2h)
第10回	行列の階数	
	事前学習（内容・時間）	これまでの授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第11回	ベクトルの一次独立性	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第12回	基底と次元	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第13回	ベクトル空間	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第14回	線形写像	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第15回	固有値・固有ベクトル	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。これまでに間違えた問題を理解できるまで何度も解く(2h)
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1BIN-5770-12ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報ネットワーク入門（教職関連科目 必 高等学校 情報）	219～	1年生・後期	2単位	選択	車　炳玘

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	情報検索機器の操作やWebアプリケーションの操作等に慣れること。

授業概要　Course Outline

Webシステムを通して通信ネットワークの役割やネットワークシステムの基本構成、データ転送の仕組み、通信プロトコルなどを修得する。さらにWWW、電子メール、ネットニュースなどについて理解を深めることによりコミュニケーションの目的や仕組みについて習得する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、情報ネットワークに関する用語や基礎知識の習得及び最近技術動向を修得することにより、ITパスポートおよび基本情報技術者試験のネットワーク分野の出題問題に対応できるレベルに達することを目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

情報ネットワークに関する最新のトレンドをつかむため、2人から4人のグループで必修用語や最新技術等をWeb上で調べ（5回以上）、ポートフォリオに記入すること。また、個人ホームページを作成し、第15回目の授業時間に提出すること。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：学生番号、氏名、受講科目、内容等をメール(宛先：cha@kiis.ac.jp)で送ってください。対面相談の場合はなるべくオフィスアワーの時間を利用してください。 オフィスアワー：:水曜日2、3時限、木曜日3時限　研究室：656号室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：次の試験の内一つ以上を受験すること。試験結果を成績評価の対象とする。（CCENT、ITパスポート、基本情報技術者） 学習の確認：情報ネットワーク関連用語のテスト及びポートフォリオ[科目別履修確認チェック表」を第12回目の授業時間に提出すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
かんたんネットワーク入門 改訂3版	三輪賢一	技術評論社	978-4-7741-8190-5

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
3分間ネットワーク基礎講座	網野衛二	技術評論社	978-4774143736

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験（30%）、Webテスト（20%）、Web学習（30%）、その他（20%、専用ノート、レポート、実習課題、外部試験の結果）

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	情報通信ネットワークの役割・歴史	
	事前学習（内容・時間）	テキストP3～P21を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。2時間
第2回	ネットワークシステムの基本構成	
	事前学習（内容・時間）	テキストP24～P37を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第3回	クライアント・サーバモデル	
	事前学習（内容・時間）	テキストP38～P47を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第4回	イントラネット及びLANの管理	
	事前学習（内容・時間）	テキストP48～P53を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第5回	デジタルデータの仕組み及びOSI参照モデル	
	事前学習（内容・時間）	テキストP56～P63を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第6回	イーサネットとTCP/IP	
	事前学習（内容・時間）	テキストP64～P71を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第7回	IPアドレスとポート番号	
	事前学習（内容・時間）	テキストP72～P77を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第8回	経路選択及びルーティングプロトコル	
	事前学習（内容・時間）	テキストP78～P79を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第9回	インターネットの仕組み	
	事前学習（内容・時間）	テキストP84～P89を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第10回	ドメインについて	
	事前学習（内容・時間）	テキストP90～P91を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第11回	インターネット接続技術	
	事前学習（内容・時間）	テキストP92～P113を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第12回	インターネットプロトコル	
	事前学習（内容・時間）	テキストP116～P119を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第13回	ネットワークアプリケーションの仕組み	
	事前学習（内容・時間）	テキストP120～P145を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第14回	インターネットの現状	
	事前学習（内容・時間）	テキストP148～P155を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第15回	セキュリティ対策	
	事前学習（内容・時間）	テキストP156～P167を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容を専用のノートにまとめておくこと。Web学習を行うこと。2時間
第16回（定期試験）	四択及び記述式問題による定期試験を行う。	

ナンバリング（Numbering）
1BIB-6310-14E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ビジネスソフト活用演習	219～222	1年生・後期	4単位	選択	平川　淳一

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし

履修の前提条件 Course Prerequisites	・2時限続けて受講できる人。 ・MOS資格の取得に意欲がある人。 ・受講マナーを守れる人。

授業概要　Course Outline

世界的に行われている資格試験「Microsoft Office Specialist」の内容を通して、コンピュータを利活用する実務力を養成していきます。
演習問題は、「MOS」試験の一般レベル（Word、Excel、PowerPoint）から、上級レベル（Excel、Word）までの範囲を網羅した内容です。
パソコンスキルを客観的に証明する資格の取得と、業務や作業効率を向上させる実務力を併せて学びます。
この科目は、カリキュラムポリシー「Ⅴ 基礎学力・技能を確認・強化すること。」に基づいて、コンピューターリテラシーの修得、基礎の確認と強化を目的とします。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・MS社が認定する国際的資格、Microsoft Office Specialistの最上位となる「MOS Expert」の称号を目指します。
（MOS Expertの認定要件は、5科目の合格となります。※詳細は授業の中で紹介します。）
・経営情報学の基礎から応用までの汎用的技能を習得するために、この科目ではビジネスシーンにおけるソフトウェアの活用方法を学び、実践できるようになることを目指します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・ ビジネスソフト活用を想定した確認問題は、受講者の自主的な操作によって解答していきます。
学んだビジネスソフトの活用能力を発揮して、すべてのMissionをコンプリートしてください。
・毎回、習得状況や目標スケジュール、進捗状況などを記録して、自己管理に努めてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

2号館1階の講師控室にお越しください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：Microsoft Office Specialist 365&2019
試験日：随時試験　※月に複数回実施
試験会場：任意で選択　※パソコン教室など多くの場所で受験可能
受験料：学割価格　8,580円（税込）　※受験には、事前に受験者IDの登録が必要
MOS公式HP：http://mos.odyssey-com.co.jp/index.html
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プリント配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
MOS Excel 365&2019 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-429-5
MOS Word 365&2019 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-430-1
MOS PowerPoint 365&2019 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-440-0
MOS Word 365&2019 Expert 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-448-6
MOS Excel 365&2019 Expert 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-447-9

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価方法：平常点 20%、課題 20%、定期試験 60%
※平常点は、学習意欲、受講マナー等を見て総合的に評価します。
注）受講ルールを守れない人は、「減点」、「欠席」、「受講停止」にする場合があります。
※定期試験をMOS受験（外部試験）に代えることを認めます。
（試験結果の提出義務有り）（最低得点ライン有り）
※MOS検定に2つ以上合格した人は、単位を認定します。

・成績評価の基準：MOS試験の合格レベルに達しているか。ビジネスソフトを正しく利活用することができているか。
Word：ビジネス文書やビジュアル文書を効率よく作成できているか。
Excel：関数やグラフなど自主的な判断により選択し、活用することができているか。
PowerPoint：ソフトの特性を理解して効果的に利用することができているか。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション：科目とMOS試験の概要、ビジネスソフトの操作力を確認するテストを行います。 ※座席数に限りがあるため、履修希望者が多数の場合は、選抜テストとなります。（出席必須）	
	事前学習（内容・時間）	必修科目「情報リテラシー演習」で学んだ内容を復習しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テスト結果を再確認して、自身の得手、不得手な操作をノートにまとめておくこと。（2.0h）
第2回	Word Specialist ①： 文書の管理 （テキスト P.16～67） Word Specialist ②： 文字、段落、セクションの挿入と書式設定 （テキスト P.68～91）	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第3回	Word Specialist ③： 表やリストの管理 （テキスト P.92～129） Word Specialist ④： 参考資料の作成と管理 （テキスト P.130～155）	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第4回	Word Specialist ⑤： グラフィック要素の挿入と書式設定 （テキスト P.156～205） Word Specialist ⑥： 文書の共同作業の管理 （テキスト P.206～229）	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第5回	【Checkテスト】MOS Word Specialist 模擬試験問題	
	事前学習（内容・時間）	模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※1回 50分＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	模擬試験プログラムを使って、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第6回	Excel Specialist ①： ワークシートやブックの作成と管理 （テキストP.16～64） Excel Specialist ②： セルやセル範囲のデータの管理 （テキスト P.66～122）	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第7回	Excel Specialist ③： テーブルとテーブルのデータ管理 （テキスト P.124～144） Excel Specialist ④： 数式や関数を使用した演算の実行 （テキスト P.146～171）	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第8回	Excel Specialist ⑤： グラフの管理（テキスト P.174～200）	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）

第9回	【Checkテスト】MOS Excel Specialist 模擬試験問題	
	事前学習（内容・時間）	模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※1回 50分＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	模擬試験プログラムを使って、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第10回	PowerPoint Specialist ①： プレゼンテーションの管理 （テキスト P.16～95） PowerPoint Specialist ②： スライドの管理 （テキスト P.96～123）	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第11回	PowerPoint Specialist ③： テキスト、図形、画像の挿入と書式設定 （テキスト P.124～169）	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第12回	PowerPoint Specialist ④： 表、グラフ、SmartArt、3Dモデル、メディアの挿入 （テキスト P.170～219）	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第13回	PowerPoint Specialist ⑤： 画面切り替えやアニメーションの適用 （テキスト P.220～243）	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第14回	【Checkテスト】PowerPoint Specialist ⑥： MOS PowerPoint Specialist 模擬試験問題	
	事前学習（内容・時間）	模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※1回 50分＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	模擬試験プログラムを使って、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第15回	Word Expert ①： 文書のオプションと設定の管理 （テキスト P.16～71） テンプレートの管理、共同作業用の文書、言語オプションの設定	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第16回	Word Expert ②： 高度な編集機能や書式設定機能の利用 （テキスト P.72～99） 高度な検索と置換、段落レイアウトのオプション、スタイルの作成と管理	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）

第17回	Word Expert ③ : ユーザー設定のドキュメント要素の作成 （テキスト P.100～141） 文書パーツの作成、索引・図表一覧の作成と管理	
	事前学習 （内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第18回	Word Expert ④-1 : 高度なWord機能の利用 （テキスト P.142～168） フォーム、フィールド、コントロールの管理、マクロの作成と管理	
	事前学習 （内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第19回	Word Expert ④-2 : 高度なWord機能の利用 （テキスト P.169～189） 差し込み印刷の設定と管理	
	事前学習 （内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第20回	【Checkテスト】MOS Word Expert 模擬試験問題	
	事前学習 （内容・時間）	模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※1回 50分＋解答確認（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	模擬試験プログラムを使って、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第21回	Word Expert ⑤ : MOS Word Expert 模擬試験問題 解答解説	
	事前学習 （内容・時間）	模擬試験プログラムで、再度模擬試験を解答しておくこと。※1回 50分＋解答確認（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	模擬試験プログラムで、第2回模擬試験を解答しておくこと。※1回 50分＋解答確認（2.0h）
第22回	Excel Expert ① : ブックのオプションと設定の管理 （テキスト P.16～51） ブックの管理、共同作業用のブック、言語オプションの設定	
	事前学習 （内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第23回	Excel Expert ②-1 : データの管理と書式設定 （テキスト P.52～78） データの表示形式や入力規則の活用	
	事前学習 （内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第24回	Excel Expert ②-2 : データの管理と書式設定 （テキスト P.79～93） 詳細な条件付き書式やフィルターの利用	
	事前学習 （内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）

第25回	Excel Expert ③-1 : 高度な機能を使用した数式およびマクロの作成 （テキスト P.94～130） 関数の活用（論理演算、データ検索、高度な日付と時刻、財務）	
	事前学習 （内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第26回	Excel Expert ③-2 : 高度な機能を使用した数式およびマクロの作成 （テキスト P.131～167） What-If分析、数式のトラブルシューティング、マクロの作成と管理	
	事前学習 （内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第27回	Excel Expert ④-1 : 高度な機能を使用したグラフやテーブルの管理 （テキスト P.168～186） グラフの活用（ ヒストグラム、マップグラフ、サンバースト、ウォーターフォール図など）	
	事前学習 （内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第28回	Excel Expert ④-2 : 高度な機能を使用したグラフやテーブルの管理 （テキスト P.187～219） ピボットテーブルやピボットグラフの作成、ドリルダウン分析	
	事前学習 （内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第29回	【Checkテスト】MOS Excel Expert 模擬試験問題	
	事前学習 （内容・時間）	模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※1回 50分＋解答確認（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	模擬試験プログラムを使って、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第30回	Excel Expert ⑤ : MOS Excel Expert 模擬試験問題 解答解説	
	事前学習 （内容・時間）	模擬試験プログラムで、再度模擬試験を解答しておくこと。※1回 50分＋解答確認（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	模擬試験プログラムで、第2回模擬試験を解答しておくこと。※1回 50分＋解答確認（2.0h）
第31回 （定期試験）	定期試験 ※Microsoft Office Specialist試験に準じた内容で、実施します。 （出題範囲：PowerPoint、Word Expert、Excel Expert）	

ナンバリング（Numbering）
1BIB-6550-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習 Ⅰ（Microsoft Office Specialist 対策）	223～	1年生・前期	2単位	選択	平川　淳一

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし

履修の前提条件 Course Prerequisites	・MOS資格の取得に意欲がある人。 ・受講マナーを守れる人

授業概要　Course Outline

世界的に行われている資格試験「Microsoft Office Specialist」の内容を通して、コンピュータを利活用する実務力を養成していきます。
演習問題は「MOS」試験の一般レベル（Word、Excel、PowerPoint）の範囲を網羅した内容です。
パソコンスキルを客観的に証明する資格の取得と、業務や作業効率を向上させる実務力を併せて学びます。
この科目は、カリキュラムポリシー「Ⅴ 基礎学力・技能を確認・強化すること。」に基づいて、コンピューターリテラシーの修得、基礎の確認と強化を目的とします。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・MS社が認定する国際的資格、Microsoft Office Specialist「MOS Associate」の称号を目指します。
（MOS Associateの認定要件は、3科目の合格となります。※詳細は授業の中で紹介します。）
・経営情報学の基礎から応用までの汎用的技能を習得するために、この科目ではビジネスシーンにおけるソフトウェアの活用方法を学び、実践できるようになることを目指します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・ ビジネスソフトの活用を想定した確認問題は、受講者の自主的な操作によって解答していきます。
学んだビジネスソフトの活用能力を発揮して、すべての問題をコンプリートしてください。
・毎回、習得状況や目標スケジュール、進捗状況などを記録して、自己管理に努めてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

2号館1階の講師控室にお越しください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：Microsoft Office Specialist 365&2019
試験日：随時試験　※月に複数回実施
試験会場：任意で選択　※パソコン教室など多くの場所で受験可能
受験料：学割価格　8,580円（税込）　※受験には、事前に受験者IDの登録が必要
MOS公式HP：http://mos.odyssey-com.co.jp/index.html
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プリント配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
MOS Excel 365&2019 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-429-5
MOS Word 365&2019 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-430-1
MOS PowerPoint 365&2019 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-440-0

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価方法：平常点 20%、課題 20%、定期試験 60%
※平常点は、学習意欲、受講マナー等を見て総合的に評価します。
注）受講ルールを守れない人は、「減点」、「欠席」、「受講停止」にする場合があります。
※定期試験をMOS受験（外部試験）に代えることを認めます。
（試験結果の提出義務有り）（最低得点ライン有り）
※MOS検定に2つ以上合格した人は、単位を認定します。

・成績評価の基準：MOS試験の合格レベルに達しているか。ビジネスソフトを正しく利活用することができているか。
Word：ビジネス文書やビジュアル文書を効率よく作成できているか。
Excel：関数やグラフなど自主的な判断により選択し、活用することができているか。
PowerPoint：ソフトの特性を理解して効果的に利用することができているか。

授業計画　Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション：科目とMOS試験の概要、ビジネスソフトの操作力を確認するテストを行います。 ※座席数に限りがあるため、履修希望者が多数の場合は、選抜テストとなります。（出席必須）	
	事前学習（内容・時間）	必修科目「情報リテラシー演習」で学んだ内容を復習しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テスト結果を再確認して、自身の得手、不得手な操作をノートにまとめておくこと。（2.0h）
第2回	Word Specialist ①：文書の管理 （テキスト P.16～67） Word Specialist ②：文字、段落、セクションの挿入と書式設定 （テキスト P.68～91）	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第3回	Word Specialist ③：表やリストの管理 （テキスト P.92～129） Word Specialist ④：参考資料の作成と管理 （テキスト P.130～155）	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第4回	Word Specialist ⑤：グラフィック要素の挿入と書式設定 （テキスト P.156～205） Word Specialist ⑥：文書の共同作業の管理 （テキスト P.206～229）	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第5回	【Checkテスト】MOS Word Specialist 模擬試験問題	
	事前学習（内容・時間）	模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※1回 50分＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	模擬試験プログラムを使って、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第6回	Excel Specialist ①：ワークシートやブックの作成と管理 （テキストP.16～64） Excel Specialist ②：セルやセル範囲のデータの管理 （テキスト P.66～122）	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第7回	Excel Specialist ③：テーブルとテーブルのデータ管理 （テキスト P.124～144） Excel Specialist ④：数式や関数を使用した演算の実行 （テキスト P.146～171）	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第8回	Excel Specialist ⑤：グラフの管理（テキスト P.174～200）	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）

第9回	【Checkテスト】MOS Excel Specialist 模擬試験問題	
	事前学習（内容・時間）	模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※1回 50分＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	模擬試験プログラムを使って、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第10回	PowerPoint Specialist ①：プレゼンテーションの管理 （テキスト P.16～95） PowerPoint Specialist ②：スライドの管理 （テキスト P.96～123）	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第11回	PowerPoint Specialist ③：テキスト、図形、画像の挿入と書式設定 （テキスト P.124～169）	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第12回	PowerPoint Specialist ④：表、グラフ、SmartArt、3Dモデル、メディアの挿入 （テキスト P.170～219）	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第13回	PowerPoint Specialist ⑤：画面切り替えやアニメーションの適用 （テキスト P.220～243）	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第14回	【Checkテスト】PowerPoint Specialist ⑥：MOS PowerPoint Specialist 模擬試験問題	
	事前学習（内容・時間）	模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※1回 50分＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	模擬試験プログラムを使って、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第15回	総復習（Word、Excel、PowerPoint）模擬試験問題	
	事前学習（内容・時間）	第14回授業までに学んだ内容について、見直しと操作練習をしておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	これまで記録した誤答箇所や苦手分野について、もう一度操作練習をしておくこと。（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験　※Microsoft Office Specialist試験に準じた内容で、実施します。 （出題範囲：Word Specialist、Excel Specialist、PowerPoint）	

ナンバリング（Numbering）
1BIB-6560-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅱ （Microsoft Office Specialist 対策）	223～	1年生・後期	2単位	選択	平川　淳一

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし
履修の前提条件 Course Prerequisites	・MOS資格の取得に意欲がある人。 ・受講マナーを守れる人。		

授業概要　Course Outline

世界的に行われている資格試験「Microsoft Office Specialist」の内容を通して、コンピュータを利活用する実務力を養成していきます。
演習問題は、「MOS」試験のExpertレベル（Excel、Word）範囲を網羅した内容です。
パソコンスキルを客観的に証明する資格の取得と、業務や作業効率を向上させる実務力を併せて学びます。
この科目は、カリキュラムポリシー「Ⅴ 基礎学力・技能を確認・強化すること。」に基づいて、コンピューターリテラシーの修得、基礎の確認と強化を目的とします。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・MS社が認定する国際的資格、Microsoft Office Specialistの最上位となる「MOS Expert」の称号を目指します。
（MOS Expertの認定要件は、5科目の合格となります。※詳細は授業の中で紹介します。）
・経営情報学の基礎から応用までの汎用的技能を習得するために、この科目ではビジネスシーンにおけるソフトウェアの活用方法を学び、実践できるようになることを目指します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・ ビジネスソフト活用を想定した確認問題は、受講者の自主的な操作によって解答していきます。
学んだビジネスソフトの活用能力を発揮して、すべてのMissionをコンプリートしてください。
・毎回、習得状況や目標スケジュール、進捗状況などを記録して、自己管理に努めてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

2号館1階の講師控室にお越しください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：Microsoft Office Specialist 365&2019
試験日：随時試験　※月に複数回実施
試験会場：任意で選択　※パソコン教室など多くの場所で受験可能
受験料：Expertレベル　学割価格　10,780円（税込）　※受験には、事前に受験者IDの登録が必要
MOS公式HP：http://mos.odyssey-com.co.jp/index.html
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プリント配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
MOS Excel 365&2019 Expert 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-447-9
MOS Word 365&2019 Expert 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-448-6
MOS PowerPoint 365&2019 対策テキスト&問題集	富士通エフ・オー・エム株式会社	FOM出版	978-4-86510-440-0

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価方法：平常点 20%、課題 20%、定期試験 60%
※平常点は、学習意欲、受講マナー等を見て総合的に評価します。
注）受講ルールを守れない人は、「減点」、「欠席」、「受講停止」にする場合があります。
※定期試験をMOS受験（外部試験）に代えることを認めます。
（試験結果の提出義務有り）（最低得点ライン有り）
※MOS検定に2つ以上合格した人は、単位を認定します。

・成績評価の基準： MOS試験の合格レベルに達しているか。ビジネスソフトを正しく利活用することができているか。
Word：ビジネス文書やビジュアル文書を効率よく作成できているか。
Excel：関数やグラフなど自主的な判断により選択し、活用することができているか。
PowerPoint：ソフトの特性を理解して効果的に利用することができているか。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション：科目とMOS試験の概要、ビジネスソフトの操作力を確認するテストを行います。 ※座席数に限りがあるため、履修希望者が多数の場合は、選抜テストとなります。（出席必須）	
	事前学習（内容・時間）	必修科目「情報リテラシー演習」で学んだ内容を復習しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テスト結果を再確認して、自身の得手、不得手な操作をノートにまとめておくこと。（2.0h）
第2回	Word Expert ①：文書のオプションと設定の管理 （テキスト P.16～71） テンプレートの管理、共同作業用の文書、言語オプションの設定	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第3回	Word Expert ②：高度な編集機能や書式設定機能の利用 （テキスト P.72～99） 高度な検索と置換、段落レイアウトのオプション、スタイルの作成と管理	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第4回	Word Expert ③：ユーザー設定のドキュメント要素の作成 （テキスト P.100～141） 文書パーツの作成、索引・図表一覧の作成と管理	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第5回	Word Expert ④-1：高度なWord機能の利用 （テキスト P.142～168） フォーム、フィールド、コントロールの管理、マクロの作成と管理	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第6回	Word Expert ④-2：高度なWord機能の利用 （テキスト P.169～189） 差し込み印刷の設定と管理	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第7回	【Checkテスト】MOS Word Expert 模擬試験問題	
	事前学習（内容・時間）	模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※1回 50分＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	模擬試験プログラムを使って、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第8回	Excel Expert ①：ブックのオプションと設定の管理 （テキスト P.16～51） ブックの管理、共同作業用のブック、言語オプションの設定	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第9回	Excel Expert ②-1：データの管理と書式設定 （テキスト P.52～78） データの表示形式や入力規則の活用	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第10回	Excel Expert ②-2：データの管理と書式設定 （テキスト P.79～93） 詳細な条件付き書式やフィルターの利用	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第11回	Excel Expert ③-1：高度な機能を使用した数式およびマクロの作成 （テキスト P.94～130） 関数の活用（論理演算、データ検索、高度な日付と時刻、財務）	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第12回	Excel Expert ③-2：高度な機能を使用した数式およびマクロの作成 （テキスト P.131～167） What-If分析、数式のトラブルシューティング、マクロの作成と管理	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第13回	Excel Expert ④-1：高度な機能を使用したグラフやテーブルの管理 （テキスト P.168～186） グラフの活用（ ヒストグラム、マップグラフ、サンバースト、ウォーターフォール図など）	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第14回	Excel Expert ④-2：高度な機能を使用したグラフやテーブルの管理（テキスト P.187～219） ピボットテーブルやピボットグラフの作成、ドリルダウン分析	
	事前学習（内容・時間）	テーマに対応したLesson問題を解いておくこと。※1Lesson 5分×10問＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	確認問題を解答して、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第15回	【Checkテスト】MOS Excel Expert 模擬試験問題	
	事前学習（内容・時間）	模擬試験プログラムを使って、操作練習をしておくこと。※1回 50分＋解答確認（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	模擬試験プログラムを使って、誤答箇所の記録と操作を再確認しておくこと。（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験　※Microsoft Office Specialist試験に準じた内容で、実施します。 （出題範囲：Word Expert、Excel Expert）	

ナンバリング（Numbering）
1BIB-6110-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
統計学入門	219～	2年生・前期	2単位	選択	中島　直樹

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	基礎数学、情報数学Ｉを修得していることが望ましい.

授業概要　Course Outline

統計データには，アンケートや計測などで得られた1次データ（生データともいう）と，それらを何らかの目的で第三者がまとめた2次データがある.
本講義では，2次データの読み取りや，目的に沿ったデータのまとめ方や視覚化と分析について学ぶ．また，実際の調査データや実験データなどを用いてデータ解析の意味や現代社会における統計スキルの必要性について学ぶ.

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

ディプロマポリシーに基づき、この授業ではデータの視覚化や基本統計量などを踏まえて，データの特性や関連性を理解し、統計データを通した社会の見方や，エビデンス（証拠や根拠）を基にした議論の素養を身につけることを目標とします．また，データを読む力，説明する力の基礎を身につけ，データを扱えるようになることを目標します.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回の講義中に演習問題に取り組んでもらいます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回の講義中に演習問題に取り組んでもらいます。また、講義時間中に行えなかった問題については、次の講義までに自分で解答を考えます。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プレステップ統計学I 記述統計学（プレステップシリーズ14）	稲葉 由之（著）	弘文堂	978-4335001598

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
マンガでわかる統計学 素朴な疑問からゆる~く解説（サイエンス・アイ新書）	大上 丈彦（著） メダカカレッジ（監修）	SBクリエイティブ	978-4797342512

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

中間試験（40%）、定期試験（60%）

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	記述統計学について予習しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(2h)
第2回	統計データの分類	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第3回	統計データの集計	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第4回	集計表と各種グラフ	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第5回	度数分布表とヒストグラム	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第6回	中心の位置の統計量	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第7回	平均値	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第8回	中間試験	
	事前学習（内容・時間）	前回までの授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書やノートを見ながら試験問題を解く(2h)
第9回	変化を表す統計量	
	事前学習（内容・時間）	これまでの授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第10回	散らばりの統計量	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第11回	標準偏差の活用	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第12回	散らばりのグラフ表現	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第13回	2変数の関連性	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第14回	記述統計と推測統計	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。これまでに間違えた問題を理解できるまで何度も解く(2h)
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング(Numbering)
1BIN-5730-Z2CT

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報セキュリティ (教職関連科目 必 高等学校 情報)	219～	3・4年生・前期	2単位	必修	宮﨑 武

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	セキュリティの観点からインターネットの最新技術の動向を調べること。

授業概要 Course Outline

情報漏えいに関する事例紹介を通して情報通信技術に潜む危険について認識した上で、情報セキュリティの基本概念、セキュリティリスク及びその対策などについて調べる。情報セキュリティに関する最新技術、関連法規及び個人や企業の情報セキュリティに対する取組み動向について調べる。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、情報セキュリティに関する事例や基礎知識の習得を通して、情報化社会における情報セキュリティの理解及びその全体像を把握するとともに、SPREAD情報セキュリティサポーター能力検定、情報セキュリティ管理士、ITパスポート、基本情報技術者試験のセキュリティ分野の出題問題に対応できる知識レベルに達することを目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

情報セキュリテイに関する不正アクセスや問題発生事例について各自調査し、原因やセキュリティ上の問題点、対処方法や改善点などをまとめてレポートとして提出してもらいます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室(274)にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認: 毎回の授業内容を各自好きな方法でまとめること。(例: 専用のノートに書き込む、ノートパソコンにWordやPowerpointなどで講義内容をまとめた資料を作成する)

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
情報セキュリティ読本 (六訂版)	情報処理推進機構	実教出版	978-4-407-36117-9

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
情報セキュリティの基本と仕組み	相戸浩志	秀和システム	978-4-798-02558-2

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験(60%)、レポート課題(40%)

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	セキュリティリスクの実例	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第1.1節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
第2回	危険の認識と対策	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第1.2節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また章末問題を解いて提出すること。(2h)
第3回	情報セキュリティの基本概念及び外部のリスク要因	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第2.1,2.2節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
第4回	内部のリスク要因	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第2.3,2.4節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また章末問題を解いて提出すること。(2h)
第5回	マルウェアの種類及び感染の原因	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第3.1節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
第6回	マルウェア対策	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第3.2節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
第7回	標的型攻撃と誘導型攻撃、フィッシング詐欺への対策	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第3.3, 3.4節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
第8回	ワンクリック詐欺及びスマートフォンの脅威と対策	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第3.5, 3.6節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
第9回	無線LANに潜む脅威とその対策	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第3.7節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また章末問題を解いて提出すること。(2h)
第10回	組織のセキュリティ対策	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第4.1, 4.2節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
第11回	情報漏えいについて	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第4.3～4.5節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また章末問題を解いて提出すること。(2h)
第12回	アカウントとパスワードについて	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第5.1, 5.2節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
第13回	脆弱性を悪用する攻撃とその対策	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第5.3, 5.4節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
第14回	暗号とディジタル署名	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第5.5節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また情報セキュリティ上の問題事例について調査すること。(2h)
第15回	認証局と身近に使われている暗号技術	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第5.5節を読んでおくこと。(2h)
	事後学習（内容・時間）	本日の授業内容をまとめ、また章末問題を解いて提出すること。(2h)
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング(Numbering)
1BIN-5702-Z2ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報システムの開発と管理 (教職関連科目 必 高等学校 情報)	共通	3・4年生・前期	2単位	選択	荒平　高章

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	プログラミングの基礎知識があり，情報リテラシー演習を修得していること．(編入生はこの限りではない)

授業概要　Course Outline

本講義では，ディプロマポリシーに基づき，様々な分野で利用されている情報システムを念頭に，事例等を提示しながら，情報システムについて概説する．また，システム開発に必要な基本計画や設計について学び，簡単な仕様書の作成を通して，システム開発の手順を経験する．

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

①情報システムの例をあげることができ，システムについて説明することができる．
②システム開発の技法について説明することができ，基本計画や設計について述べることができる．
③講義に積極的に参加することができ，自分の意見を表現することができる．
④仕様書の作成について，自分から作成方法を工夫することができる．

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義内容について，議論やグループワークを実施する．

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などは研究室(653)にて受け付ける．オフィスアワーの時間については掲示を確認すること．
また，クラスルームを開設するので，講義に関する連絡はクラスルームで行う．

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：本科目のKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックフォームに必要事項を記入し提出すること(毎時間)．

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
基礎シリーズ 最新情報システムの開発	伏見正則	実教出版株式会社	978-4-407-30957-7

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
上流・下流工程から改善・監査までわかる システム開発のすべて	北村 充晴	日本実業出版社	978-4534044075

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

課題提出(60%)，定期試験(40%)によって評価する．

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを通読し，受講理由を明確にする．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第2回	情報システム概論	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.6-7)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第3回	情報システムの構造	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.8-9)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第4回	情報システム開発の技法	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.10-13)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第5回	情報システム開発手順	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.14-17)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第6回	情報システム開発の効率化	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.18-19)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第7回	基本計画	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.24-25)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第8回	現状調査と現状分析	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.26-28)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第9回	外部設計	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.34-43)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第10回	内部設計	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.56-62)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第11回	プログラム設計	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.82-122)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第12回	テスト工程	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.172-182)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第13回	運用保守	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.188-200)を通読する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第14回	仕様書作成（1）	
	事前学習（内容・時間）	第2回から第13回までの講義内容を復習する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第15回	仕様書作成（2）	
	事前学習（内容・時間）	前回の仕様書の確認をする．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，復習する．(2h)
第16回（定期試験）	定期試験を実施する	

ナンバリング(Numbering)
1BIN-6532-Z2ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
マルチメディア論 (教職関連科目 必 高等学校 情報)	共通	3・4年生・前期	2単位	選択	荒平　高章

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	情報リテラシー演習を修得していること.(編入生はこの限りではない.)

授業概要　Course Outline

本講義では，ディプロマポリシーに基づき，コンピュータ，およびネットワークで取り扱うマルチメディア情報について概説する．また，現代社会で活用されているマルチメディアにも触れ，どのような場面でどのような技術が使用されているかを学ぶ．さらに，マルチメディアに関する調査研究を実施し，発表を行うことでマルチメディアに関する理解を深めてもらう．

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

マルチメディアに関する基礎的事項(マルチメディア構成要素，メディア処理技術，インターネット通信，ネットビジネス)について分類や列挙，説明をすることができ，現代社会におけるマルチメディア技術の例を列挙し，説明することができる．
マルチメディアに関する課題を見つけ，自ら課題解決策を提案でき，第三者に伝えることができる．

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

一方向型講義ではなく双方向型講義を実施する．

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などは研究室(653)にて受け付ける．オフィスアワーの時間については掲示を確認すること．
また，クラスルームを開設するので，講義に関する連絡はクラスルームで行う．

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：本科目のKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックフォームに必要事項を記入し提出すること(毎時間)．

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
マルチメディア(ファーストステップ)	今井 崇雅	近代科学社	978-4764905511

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
入門マルチメディア　改訂新版	松阪喜幸	画像情報教育振興協会	978-4903474601

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

調査研究課題(30%)，発表(30%)と定期試験(40%)をもとに総合的に判断する．

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを通読し，受講理由を明確にする．(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第2回	マルチメディアの特徴	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.2-19)を通読する．(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第3回	音の符号化（1）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.24-38)を通読する．(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第4回	音の符号化（2）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.42-51)を通読する．(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第5回	音の符号化（3）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.52-57)を通読する．(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第6回	静止画像の符号化（1）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.66-83)を通読する．(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第7回	静止画像の符号化（2）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.84-95)を通読する．(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する．(2h)
第8回	動画像の符号化	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.104-113)を通読する．(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第9回	文字の符号化	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.119-125)を通読する．(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第10回	ディジタル信号の品質	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.130-145)を通読する．(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第11回	マルチメディアのこれから	
	事前学習（内容・時間）	教科書の当該箇所(pp.150-154)を通読する．(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第12回	調査研究と資料作成	
	事前学習（内容・時間）	第2回から第11回までの講義内容を復習する．(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第13回	プレゼンテーション（1）	
	事前学習（内容・時間）	前回の調査内容を確認する．プレゼンテーション資料を作成する．(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第14回	プレゼンテーション（2）	
	事前学習（内容・時間）	プレゼンテーション資料を作成する．(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	第2回から第14回までの講義内容を復習する．(2.0h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第16回（定期試験）	定期試験を実施する	

ナンバリング（Numbering）	
1AMN-6490-12C	1EDN-6490-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
マーケティング論	219～	1年生・前期	2単位	経営必修 NW選択	秋吉 浩志

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	経営やマーケティングに興味をもつ学生は積極的に履修をすすめる。本学の経営情報学を学ぶための基礎的な1分野としてとても大事な科目である。

授業概要　Course Outline

本学の建学の精神をふまえつつ、アドミッションポリシーにに沿った、カリキュラムポリシーに基づき、マーケティングの基礎理論を包括的に講義する。毎回講義ではパワーポイントを使用し、プレゼンテーション方式で授業を行う。それに合わせて、テキストを使用、適宜プリントも配布するが、その回限定のプリントなので、再配布することはしない。よって、必ず出席すること。また、最新のマーケティング＆消費者行動に関するテキストを紹介するので、必ず読むことをすすめる。
この科目は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）選択科目である。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

マーケティング論の基礎的な講義である。後期または2年次以降の経営情報学関連科目受講に向けての基礎科目であるので、この授業でマーケティングの基礎理論を学んで、2年次以降のとくにマーケティング及び流通関連科目、およびビジネス関連科目を理解する力を養うことが目標である。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①基本的にプレゼン方式で行い、学生と積極的にコミュニケーションをとりながら講義を展開する。
②動画、テキスト以外の教材などのように実際見たり、感じたりする教材も準備し、より体感できるような講義も行う。
③ミニテスト、アンケート、学生からの意見なども教材として取り上げ、講義を展開していく。
④考える、議論する、主張することなどができるような雰囲気づくりを行い、受講学生の積極性なども導き出す。など

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

基本的に研究室（2号館5階555研究室）にて月曜日、水曜日オフィスアワーを設定している。
研究室訪問の際、メール；akiyoshi@g.kiis.ac.jpにメール連絡をしておくことを薦める。（遠隔授業の場合はGoogleクラスルームを活用して連絡を随時行う）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

この科目は経営学検定試験の初級「マーケティング」部分の基礎内容にもふれている。また販売士（リテールマーケティング）受験希望者は、必ず履修することを薦める。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、指定日までに秋吉までメール（akiyoshi@gkiis.ac.jp）で提出してください。
また、遠隔授業の際は主にZoomと動画にて、授業を行い、課題等はGoogleクラスルームを活用する

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
図解&事例で学ぶ マーケティングの教科書	シェルパ（著）， 酒井 光雄（監修）	マイナビ	ISBN978-4839954406

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
マーケティング基礎読本 増補改訂版	日経デジタルマーケティング	日経BP社	ISBN978-4-8222-3559-8
図解マーケティング大全	安部徹也他	洋泉社MOOK	ISBN978-8003-1479-6

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

期末試験もしくは期末レポート（60%）、出席・遅刻に関しては厳しく管理し、成績に反映する。（30%）、授業態度、ミニテスト（10%）を基準とする。
パソコン（タブレット型も含む）、携帯（スマートフォン）その他電子機器の使用は出席登録以外では一切禁止し、使用した場合によっては科目受講失格（0点）にする。基本的に座席指定を行う。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	マーケティングとは何か&ガイダンス（社会のなかでのマーケティングの役割について）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの関連したページならびにを事前配布している資料を読んでおくこと。特にマーケティングの基礎知識解説を読んでおくように。（2h）
	事後学習（内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第2回	アメリカと日本のマーケティングの歴史と定義の変遷について	
	事前学習（内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第3回	マーケティングミックス（マーケティングの4Pとターゲット層を考える）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第4回	製品戦略①（メーカーの製品づくりと製品コンセプトを考える）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第5回	製品戦略②（コモディティ化とメーカーの製品づくり、製品コンセプトを考える）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第6回	価格戦略①（価格決定について損益分岐点法など価格決定のプロセスについて）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第7回	価格戦略②（現代の価格決定法を考える：サブスクリプションなど新たな動きについて）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第8回	流通（チャネル）戦略①（商業の発展と流通の役割）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第9回	流通（チャネル）戦略②（流通システム、流通チャネル、取引数削減の原理など、流通の問題を考える）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第10回	プロモーション戦略①（広義のプロモーション戦略を考える）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第11回	プロモーション戦略②（広告、イベントなど狭義のプロモーションについて考える）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第12回	サービスマーケティング（サービスとはなにか、サービスの諸特徴について）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第13回	電子商取引とe-マーケティング（電子商取引の劇的な発展に伴う問題点を考える）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第14回	IT＆ICTとマーケティング（ITやIOTの発展によるマーケティング情報システムの諸問題を考える）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	講義時に与えられた課題をミニッツペーパーに書いて提出をしてもらう。（2h）
第15回	現代におけるマーケティング概念の劇的な変化と進展について＆まとめ	
	事前学習（内容・時間）	テキストの関連したページならびに配布資料を事前に読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	最後にマーケティング論のまとめレポートを書いてもらいます。（2h）
第16回（定期試験）	基本的に対面ペーパーテストを行う。試験前にルーブリックならびにポートフォリオの提出もしてもらい。その進捗状況も試験の一部とみなす。	

ナンバリング（Numbering）
1AMN-5200-12C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
会計学	224～	1年生・前期	2単位	必修	春日　克則
	221～223	1年生・後期		選択	
	219・220	2年生・後期		経営必修	
				NW選択	

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし

履修の前提条件 Course Prerequisites	「会計学入門」、簿記Ⅰ・Ⅱなど会計学の初歩的な知識を習得していることが望ましい。

授業概要　Course Outline

会計はいろんなことに役立っています。例えば、①お金を投資している人にその投資先がどれだけ儲かったのかやその情報の信頼性について。②製品を製造している会社には作った製品にどれだけお金がかかり、それをいくらで売れば儲かるか。そして③その将来性について。さらには、④どの会社が環境に優しいのかや、⑤子供食堂などの営利を目的としていない法人がどうすれば潰れずにすむのか、などについて知るための手助けをしています。しかし、抽象的で少し分かりにくいのではないでしょうか。そこで、講義では、①について学ぶ分野を財務会計と監査論。②を原価計算と管理会計。③を経営分析。④を環境会計。⑤を公会計として、具体的な事例を使って会計が果たす役割について学んでいきます。そして、この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシーの「Ⅲ」を前提としながら、「Ⅳ」および「Ⅴ」の達成に主体的に関与するものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

どんなに記憶力がよい人でも、世界で活躍する大企業（例えば、Apple）の行動全てを覚えることは不可能でしょう。仮に、できたとしても、その人の記憶を引き継ぐ人はいるのでしょうか。PCがある？でも、それはPCが記憶できる形にしないとダメですよね。会計は、企業などの活動をお金に換算して記録・集計し、それを役立つ形にして提供します。このような、役割を持つ会計について、①財務会計と監査論、②原価計算と管理会計、③経営分析、④環境会計、⑤公会計の各分野ごとに区分して、具体的な事例に基づいてその内容を理解することを目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業では、毎回、事例や練習問題に取り組む時間を設けています。そこで、当該時間において、双方向で課題についてコミュニケーションを図って行きたいと思います。なお、授業の最後には成果を提出してもらい、翌週添削して返却します。成果を提出する際には、授業中に解決できなかった疑問なども記入し、返却されたペーパーには、私のコメントが書いてあるので互いわかり合えるまで、キャッチボールを行いましょう。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（455研究室）にて随時受け付けています。また、メール(kasuga@kiis.ac.jp)での相談等も歓迎します。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：日本商工会議所簿記検定2級および1級の基礎となる授業です。
学習の確認：ポートフォリオシートと小テストによって学習の確認を行います。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
講義時間に資料を配付します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
図解でナットク！会計入門[第3版]	桝岡源一郎編著	中央経済社	978-4-502-41621-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

経営情報学の基礎領域にある「会計学」（会計学総論）について体系的に学習し、一定の理解・技能を修得しているかを評価します。
具体的には、定期試験60%、毎回の課題提出40%の割合を持って評価します。なお、講義の理解を深めるために、各回ごとに課題の提出、添削、返却がなされますが、この課題への取り組みは疑問点に関する質問・回答というコミュニケーションツールとして皆さんの理解の手助けとなります。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（授業の内容と進め方）。会社の成績表と健康診断表を理解する。	
	事前学習（内容・時間）	「簿記Ⅰ」を復習しておいて下さい。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第2回	君はどちらを選ぶ？薄利多売戦略と高級路線戦略について。－経営分析－	
	事前学習（内容・時間）	第１回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第3回	作った製品をいくらで売れば儲かるか。－管理会計－	
	事前学習（内容・時間）	第２回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第4回	意思決定①：製品を組み合わせて利益を最大にする－制約条件が1つの場合－。（管理会計）	
	事前学習（内容・時間）	第３回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第5回	意思決定②：a. 部品を自製すべきか、外部購入すべきか。b.安い値段でも追加注文を受けるべきか。	
	事前学習（内容・時間）	第３回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第6回	製品の製造にいくらかかったか①：注文による場合。－原価計算－	
	事前学習（内容・時間）	第５回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第7回	製品の製造にいくらかかったか②：見積もり生産（大量生産・大量販売）の場合。	
	事前学習（内容・時間）	第６回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第8回	中間テスト（これまで学習した項目の理解度テスト）とその解説	
	事前学習（内容・時間）	第１回から前回までの総復習を行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	中間テストの問題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第9回	投資している会社がどれだけ儲かったのかを知る。－財務会計－	
	事前学習（内容・時間）	第7回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された中間テストと授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第10回	企業の成績表をつくるための理論と社会制度。－財務会計－	
	事前学習（内容・時間）	第９回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第11回	企業が公表した情報は、信頼できるのか。－監査論－	
	事前学習（内容・時間）	第10回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第12回	監査の現場では、どんなことが起きているのか。－監査論－	
	事前学習（内容・時間）	第11回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第13回	利益の獲得を目的にしない組織がある。－公会計－	
	事前学習（内容・時間）	第12回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第14回	どの会社が環境に優しいのか。－環境会計－	
	事前学習（内容・時間）	第13回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第15回	これまでの講義のまとめ	
	事前学習（内容・時間）	第９回から前回までの総復習を行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験（講義全体をとおした学習成果の確認）	

ナンバリング(Numbering)
1AMN-5562-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
コマース論	224～	2年生・前期	2単位	選択	鈴木　和也
コマース論Ⅰ	219～223 経営情報学科				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	1.経営学総論Ⅰ、経営学総論Ⅱ、マーケティング論などの関連する科目を履修し単位を取得していること。2.履修者は全員、7月にCBTで販売士検定試験(3級)を申し込み、受験し合格すること。

授業概要　Course Outline

この講義は、多様化・高度化した顧客ニーズを的確に捉え、ニーズに合った商品やサービスの提供、商品の開発や仕入、販売、物流などを効率的かつ効果的に行うための実践的なスキルを身に付ける。さらには、将来、商品開発やマーケティング等の分野で活躍できるための専門的な知識も習得する。
なお、カリキュラムポリシーⅣに基づき、学習にあたって、自らがたてた新たな課題や目標に即して、その課題や目標を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力も併せて養う。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

日本商工会議所主催販売士検定試験3級を受験し合格を目指す。(販売士試験については、現在1級から3級までCBT方式にて、指定会場でコンピュータを使った受験になりました。年間を通して受験が可能です。)

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
・授業内で実施する小テストを活用し、授業内容の理解を深めるとともに授業への積極的な参加を促します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室(553)にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。(オフィスアワー以外で研 究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください)

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価や教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握に努める。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
1回で合格!リテールマーケティング(販売士)検定3級テキスト&問題集	上岡 史郎	成美堂出版	978-4-415-23432-8

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
販売士検定試験2級ハンドブック(応用編)～リテールマーケティング(販売士)検定試験3級対応	日本商工会議所 全国商工会連合会	カリアック	H00100338

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1.定期試験(80%)、2.小テスト(5%)、3.学修課題の提出(5%)、4.授業への取組み(10%)

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業概要（授業の進め方、評価について、販売士検定試験について） 小売業の類型Ⅰ	
	事前学習（内容・時間）	小売業は生産者と消費者の橋渡し役 ／4人以下の規模が半数近くの中小小売業を通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答 （2.0h）
第2回	小売業の類型Ⅱ	
	事前学習（内容・時間）	規模のメリットを享受する組織小売業／フランチャイズの組織とその特徴を通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答 （2.0h）
第3回	小売業の類型Ⅲ	
	事前学習（内容・時間）	本部が権限を把握するチェーンストア／販売形態の種類と特徴を通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答。 （2.0h）
第4回	小売業の類型Ⅳ	
	事前学習（内容・時間）	インターネット社会とキャッシュレス対応／ネットショップとリアルショップ通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答。 （2.0h）
第5回	マーチャンダイジングⅠ	
	事前学習（内容・時間）	商品の品質3要素と商品のコンセプト／商品の分類と本体要素／マーチャンダイジングの構成要素を通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答 （2.0h）
第6回	マーチャンダイジングⅡ	
	事前学習（内容・時間）	コンビニエンスストアの商品計画と仕入計画／コンビニエンスストアの在庫管理と販売管理を通読する。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答 （2.0h）
第7回	マーチャンダイジングⅢ	
	事前学習（内容・時間）	商品計画と顧客ニーズ／品揃え計画での品揃えの幅と奥行 を通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答 （2.0h）
第8回	ストアオペレーションⅠ	
	事前学習（内容・時間）	効率的な店舗運営のための開店準備／さまざまな役割を担うレジ業務を通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答 （2.0h）
第9回	ストアオペレーションⅡ	
	事前学習（内容・時間）	荷受・検収と補充（リセット）の基本／残さず切らさずが発注の基本を通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答 （2.0h）
第10回	ストアオペレーションⅢ	
	事前学習（内容・時間）	顧客の満足度を高める包装／見やすく、選びやすいディスプレイを通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答 （2.0h）
第11回	マーケティングⅠ	
	事前学習（内容・時間）	変化する市場に働きかけるマーケティング／小売業のマーケティングの基本知識を通読する 。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答 （2.0h）
第12回	マーケティングⅡ	
	事前学習（内容・時間）	売上志向から顧客満足経営へ／顧客の固定化をはかる顧客維持政策を通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答。 （2.0h）
第13回	マーケティングⅢ	
	事前学習（内容・時間）	地理的、時間的範囲で分けられる商圏／小売業にとっての立地条件の重要性を通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答 （2.0h）
第14回	販売・経営管理Ⅰ	
	事前学習（内容・時間）	接客のマナーと挨拶・接客方法／クレームや返品への対応方法を通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答 （2.0h）
第15回	販売・経営管理Ⅱ	
	事前学習（内容・時間）	小売業に関する法令／販売活動に関する法令／商品に関する法令を通読する。 （2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答 （2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験の実施 （リテールマーケティング［販売士］検定試験2級と同定程度の内容、難易度の問題で効果測定を実施する。）	

ナンバリング（Numbering）	
1AMN-5400-22E	1EDN-5400-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
経営分析	219～	2年生・前期	2単位	選択	山下　壽文

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	簿記や会計学の基本的な知識を修得していることが望ましいが、企業の業績や成長性の分析に興味を有することが必要である。

授業概要　Course Outline

企業が公表する財務諸表は企業情報の宝庫である。財務諸表等から得られる情報を利用した分析理論と手法を学習し、企業の経営成績・財政状態・キャッシュ・フローの状況を判断できる能力を養う。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

講義では、学則第3条を踏まえて、経営学分野の経営分析について知識を修得することを目標とする。そのため、企業が作成した貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書を使用して、様々な分析（診断）を行う。この過程で、収益性・安全性・成長性等の各種分析手法を身につける。さらに、分析にもとづいて企業経営の問題点を指摘し、これを解決するための提案力を養う。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義では、毎回、事例や練習問題に取り組む時間を設けている。そこで、当該時間において、双方向で課題に対する見解を昇華させて行きたい。レポート提出に際しては、その内容に応じて報告を課すこともある。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室にて行う。オフィスアワー以外で質問、相談等がある場合は、事前にメール等でアポイントメントを取ってください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオシートの作成に関しては講義中に適宜指示する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
経営分析～テキスト＆問題	山下壽文	冊子（600円）	市販されていません 初回講義で購入してください

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
経営分析を学ぶ	山下壽文他	税務経理協会	978-4-419-05478-6

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験60%、課題提出40%で評価。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（講義の内容・進め方）、会社数字の読み方	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第1回を読んで会社数字の読み方を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第2回	貸借対照表のしくみ	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第2回を読んで貸借対照表のしくみを整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第3回	損益計算書のしくみ	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第3回を読んで損益計算書のしくみを整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第4回	経営分析の手法	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第4回を読んで経営分析の手法を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第5回	安全性分析⑴～短期支払能力	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第5回を読んで短期の安全性分析を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第6回	安全性分析⑵～長期支払能力	
		テキスト第6回を読んで長期の安全性分析を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第7回	収益性分析～売上高利益率、資本利益率	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第7回を読んで収益性分析を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。.（2時間）
第8回	資金運用分析	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第8回を読んで資金運用分析を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第9回	株価分析	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第9回を読んで株価分析を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第10回	生産性分析	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第10回を読んで生産性分析を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第11回	損益分岐点分析	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第11回を読んで損益分岐点分析を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第12回	キャッシュフロー計算書⑴～CF計算書の作成	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第12回を読んでCF計算書の作成方法を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第13回	キャッシュフロー計算書⑵～CF分析	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第13回を読んでキャッシュ・フロー分析を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容について復習。（2時間）
第14回	総合演習⑴	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第14回の演習問題を予習しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストの演習問題について復習。（2時間）
第15回	総合演習⑵	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第15回の演習問題を予習しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストをもとに経営分析の要点について復習。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）	
1AMB-6082-22E	1EDB-6082-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
統計学	219～	2年生・後期	2単位	選択	中島　直樹

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	【219～】 統計学入門を修得していること。 【～218】 Webで「統計とは」と「確率とは」のキーワードをそれぞれ検索し、特に入門的な複数のサイトを選んでその内容を読んでおくこと。

授業概要　Course Outline

本講義では、ディプロマポリシーに基づき、記述統計学と推測統計学の違いを意識しながら、データの縮約・視覚化、母集団と標本分布の違い、統計的仮説検定の基本的な手順を学びます。また、データ解析の目的にあわせた基本的な統計処理と確率分布との関連性について、さらに統計処理をする目的やその限界についても学びます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

【知識】
・母集団と標本、標本抽出法を説明できる。・質的データと量的データの違いを説明できる。・データを記述するための基礎事項（代表値、散布度、標準化、相関係数、回帰直線）を説明できる。・統計的検定やその他の検定法について説明できる。
【態度・習慣】
・疑問点を尋ねることができる。・講義に参加できる。
【技能】
・教科書の例題を模倣し、演習問題を解くことができる。・時間内で、与えられた問題を解くことができる。
・任意のデータを適切に記述できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義内容に関する応用問題を講義の終わりにほぼ毎回実施します。
また、Excel の分析ツールを用いて、統計的検定の理解と実習を行いますので、積極的に取り組む様に心掛けてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

教員との連絡方法は、授業の終了後、あるいは研究室を訪ねること。
オフィスアワーの時間は、掲示を参照すること。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出（学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

学習の確認：ポートフォリオ・ルーブリックシートに必要事項を記入し8回目講義および最終講義時に提出すること.

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
書き込み式統計学入門	須藤昭義	東京図書株式会社	978-4-489-02315-6

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
コア・テキスト統計学	大屋　幸輔	新世社	978-4-88384-307-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

平常点（確認プリント、提出物など）（40%）、期末試験（60%）の総合評価

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	統計とは	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。(2時間)
第2回	記述統計学と推測統計学	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。(2時間)
第3回	確率分布の期待値と分散	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。(2時間)
第4回	正規分布と確率分布	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。(2時間)
第5回	標準正規分布	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。(2時間)
第6回	母集団と標本	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。(2時間)
第7回	母数の推定	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。(2時間)
第8回	母平均と標本平均	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。(2時間)
第9回	区間推定と t-分布	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。(2時間)
第10回	統計的仮説検定の考え方	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。(2時間)
第11回	カイ2乗検定	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。(2時間)
第12回	平均値の差の検定（t検定－対応なし）	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。(2時間)
第13回	平均値の差の検定（t検定－対応あり）	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。(2時間)
第14回	分散分析－1 要因	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。(2時間)
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。(2時間)
第16回（定期試験）	定期試験を実施する	

ナンバリング（Numbering）
1AMN-5600-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
コンピュータ会計	224～	2年生・後期	2単位	選択	岩下　昌美
	219～223 経営情報学科	2年生・前期			

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	ソフトのライセンス数により受講者制限がありますので，受講希望者は，メール（masami-i@g.kiis.ac.jp)にて「受講希望　学籍番号と氏名」とお知らせください。メールの先着順により受講者を決定し，折り返し受講可否の返事をいたします。また、パソコン操作に関する知識と複式簿記に関する基礎知識が必須となります。さらに大学のネットワーク（KIISNW）にログインできることと，テキストを購入することが条件となります。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーにもとづき，本講義ではコンピュータ会計の基礎的なレベルについて説明をします。
1年時の「簿記」講義において，手記会計をもとに学んだと思いますが，実社会の企業においては，会計処理（帳簿記録）もコンピュータを利用し会計ソフト（システム）で行われている場合がほとんどです。そこで，業界トップシェアの会計ソフトである「弥生会計」を用いて，会計ソフトのしくみ，メニュー構成，基本操作，各種帳票類の出力方法などを学習します。さらには経理担当者として必要な給料計算および税務の知識などもあわせて学習しますので，税理士事務所などでインターンシップの際に役立つ内容です。
また令和3年度において「電子帳簿保存法」の改正があり、おおむねすべての企業が影響をうけることになりますので、その内容および要件にも触れてみたいと思います。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

会計ソフトのしくみ，メニュー構成，基本操作，各種帳票類の出力，特殊機能，会計情報の活用方法について学習し，企業においての会計ソフトの導入から財務諸表の作成ができる能力を身につけます。会計ソフトに関連する検定試験（電子会計実務　3級，2級　弥生会計　2級）の取得も可能となります。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

企業が現実に行っている会計処理などについて，各自が毎回実習を積み重ねていきますので，遅刻欠席のないようにお願いします。授業は対話型を心がけ進めていきます。不明な点や疑問などが生じた時は積極的に発言してください。
毎回の授業終了時には成果物の提出をお願いします。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問などは，授業の前後またはオフィスアワーを利用してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

会計ソフトを使用した検定試験（日本商工会議所主催電子会計実務）を推奨します。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して前期定期試験日に岩下までメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
『令和6年度コンピュータ会計　基本テキスト』	弥生スクールプロジェクトメンバー（編集）	実教出版	978-4407364361

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
『はじめて使う 弥生会計 24』	嶋田知子（著），前原東二（監修）	C&R研究所	4863543948

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：定期試験（60%），レポート（10%），平常点（30%）。平常点は科目別履修状況チェック表の提出状況，毎回の授業最後の成果物提出状況なで判断する。
成績評価の基準：①会計ソフトのデータファイル作成，基本操作（入力，編集，修正，削除），開始残高登録，科目登録，補助科目登録などができるか。②残高試算表で確認，チェックができるか。③固定資産管理ができるか，④消費税を理解して会計処理ができているか。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション(講義の進め方，講義内容，受講上の諸注意，評価方法などを説明します。) 複式簿記の基礎知識(3級程度)を復習します。	
	事前学習 (内容・時間)	簿記3級で学んだ簿記一巡の手続について確認しておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	講義時の簿記3級の問題を再度復習し確認しておくこと。(2時間)
第2回	第1章　企業活動と会計処理：企業経理，会計情報の活用と作成について学習します。	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第1章pp.8～24を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	企業活動と会計処理について，テキストを再度確認して理解を深める。(2時間)
第3回	第2章　会計ソフトの操作(基礎知識)①：コンピュータの関連知識，会計ソフトの起動，データファイル作成，バックアップ，復元，終了について学習します。	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第2章pp.26～31を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	会計ソフトの利用方法について，テキストを再度確認して理解を深める。(2時間)
第4回	第2章　会計ソフトの操作(基礎知識)②：会計データの入力操作と帳簿体系，伝票検索・印刷方法，集計表の作成について学習します。	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第2章pp.32～54を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	会計ソフトの入力操作，帳簿体系について，テキストを再度確認して理解を深める。(2時間)
第5回	第3章　基幹業務の内容とビジネス法務：商取引に必要なビジネス法務，企業の業務システムと会計処理について学習します。	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第3章pp.56～59を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	企業の業務やビジネス法務について，テキストを再度確認して理解を深める。(2時間)
第6回	第3章　業務ごとの会計処理(1)現金預金に関連する業務，(2)売上に関する業務について，入力作業を行います。	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第3章pp.60～82を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	企業の業務(現金預金，売上)について，テキストを再度確認して理解を深める。(2時間)
第7回	第3章　業務ごとの会計処理(3)仕入に関連する業務，(4)経費に関する業務，(5)その他の債権・債務に関する業務について，入力作業を行います。	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第3章pp.83～108を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	企業の業務(仕入，経費，その他)について，テキストを再度確認して理解を深める。(2時間)
第8回	第3章　業務ごとの会計処理(6)給料に関する業務について，給料計算の仕組みを学習したのち入力作業を行います。	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第3章pp.109～122を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	企業の業務(給与)について，テキストを再度確認して理解を深める。(2時間)
第9回	第4章　税金に関連する業務と会計処理：法人税のしくみ，消費税のしくみについて学習します。	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第4章pp.124～143を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	税金に関する業務について，テキストを再度確認して理解を深める。(2時間)
第10回	第5章　会計データの入力処理と集計①：テキスト例題による証憑類のデータ入力を行っていきます。	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第5章pp.144～155を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	講義時の証憑に基づく会計処理について，テキストを再度確認して理解を深める。(2時間)
第11回	第5章　会計データの入力処理と集計②：テキスト例題の証憑類によるデータ入力を行っていきます。	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第5章pp.156～175を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	講義時の証憑に基づく会計処理について，テキストを再度確認して理解を深める。(2時間)
第12回	第5章　会計データの入力処理と集計③：テキスト例題の証憑類によるデータ入力を行っていきます。	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第5章pp.176～190を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	講義時の証憑に基づく会計処理について，テキストを再度確認して理解を深める。(2時間)
第13回	第6章　月次決算に関連する業務と会計処理：決算の手続き，残高チェック，減価償却について学習します。	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第6章pp.192～203を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	月次決算について，テキストを再度確認して理解を深める。(2時間)
第14回	第6章　年次決算と決算書出力方法について学習します。	
	事前学習 (内容・時間)	テキスト第6章pp.204～223を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	月次決算および年次決算について，講義時の内容を再度確認して理解を深める。(2時間)
第15回	固定資産管理(固定資産台帳へ登録，減価償却の自動計算)および電子帳簿保存法の概要について学習します。	
	事前学習 (内容・時間)	指示された固定資産について，国税庁のホームページより耐用年数を調べておくこと。(2時間)
	事後学習 (内容・時間)	減価償却について，講義時の内容を再度確認して理解を深める。(2時間)
第16回 (定期試験)	60分定期試験(実技試験を含む)	

ナンバリング（Numbering）
1AMN-5390-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
経営組織論	224～ 219～223 経営情報学科	2年生・後期	2単位	選択	井上　善海

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	経営者、管理職、起業などを考える学生にとって経営組織の知識はなくてはならないものである。経営に興味のある者の履修をすすめる。

授業概要　Course Outline

日常生活の中で、私たちは様々な「組織」に関わり生活をしています。しかし、日常的経験があるが故にかえって深く考えることをせず、その結果として、本質的な理解が妨げられることも多いのではないでしょうか。
この授業では、本学の建学の精神をふまえつつ、そのなかのカリキュラムポリシーに基づき、経営組織論の概念をもとに個人、集団、組織全体についての考察を進め、現代社会における「組織」の諸側面を深く理解すると同時に、組織における個人・集団の振る舞いや、経営組織の活動の背後にある意味を洞察する力を磨いていくことをめざします。さらには組織はすでに市場との密接な関係が深まり、消費者も組織の中に組み込まれています。そのような仕組みを「気づかせる」ことに目的を持っています。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	企業経営者11年 経営コンサルタント9年	企業の経営戦略や経営組織等，経営コンサルタントの実務経験を踏まえた実践的な議論を行う。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

①経営組織に関する知識や考え方を習得する。
②日本的経営のメリット・デメリットを理解し、説明できるようになること。
③日本の経営のあるべき姿を展望できるようになること。
④劇的に変化する組織の形態に対応できるスキルを得ることができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

基本的に対話型の講義になります。よってただ単に出席し，講義を聴いているだけでは単位取得できません。講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応し、自身の意見を発言していくことが求められます。
また企業経営や経営戦略に関するビデオ聴講による演習等を行います。聴講したビデオに基づき、ディスカッションを行うため、ビデオ内容の聞き取り力、メモ力、聴講した内容や関連情報との考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：メールで連絡してください。
オフィスアワー：授業日の休憩時間等に対応いたします。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出（学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

課題レポートの提出以外に、資格試験への積極的な取り組みや関連するレポートおよび学習記録（ポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
テキストは使用せず、毎回教員が作成した資料を事前にclassroomにて配布する			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
よくわかる組織論	田尾雅夫 編著	ミネルヴァ書房	9.78462E+12

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

中間と期末のレポート、もしくは試験（60%）、授業内課題レポート（40%）を基準とする。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス： 授業の概要・講義の進め方・成績評価方法などを説明します。	
	事前学習（内容・時間）	指定のテキストの指定ページを読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。（2h）
第2回	経営組織の特徴と基礎概念（経営組織の範囲と重要性）	
	事前学習（内容・時間）	指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。（2h）
第3回	伝統的組織論1： テイラーの科学的管理法	
	事前学習（内容・時間）	指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。（2h）
第4回	伝統的組織論2： フィヨールの管理課程論	
	事前学習（内容・時間）	指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。（2h）
第5回	人間関係論： インフォーマル組織の発見	
	事前学習（内容・時間）	指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。（2h）
第6回	近代組織論： バーナード革命とサイモンの意思決定論	
	事前学習（内容・時間）	指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。（2h）
第7回	組織の基本形態（企業の組織形態のさまざまな種類について）	
	事前学習（内容・時間）	指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。（2h）
第8回	組織デザイン（組織の体制を最大限に生かせる環境をつくる）	
	事前学習（内容・時間）	指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。（2h）
第9回	日本的経営組織と日本的経営	
	事前学習（内容・時間）	指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。（2h）
第10回	日本の経営1： リーダーシップ（組織におけるリーダーシップのありかた）	
	事前学習（内容・時間）	指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。（2h）
第11回	日本の経営2： CSR（企業の社会的責任）	
	事前学習（内容・時間）	指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。（2h）
第12回	日本の経営3： 暗黙知と知の創造	
	事前学習（内容・時間）	指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。（2h）
第13回	新たな組織モデル：ティール組織について	
	事前学習（内容・時間）	指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。（2h）
第14回	新たな組織モデル：自律的・分権的ネットワーク組織論（インターネット上での組織の変化について）	
	事前学習（内容・時間）	指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。（2h）
第15回	企業、中間組織、市場について（ウイリアムソンの「組織と市場」より）	
	事前学習（内容・時間）	指定のテキストと資料の指定ページを読んでおくこと。（2h）
	事後学習（内容・時間）	当日出された課題をミニッツペーパーに記入して後日提出のこと。（2h）
第16回（定期試験）	基本的に対面ペーパーテストを行う。試験前にルーブリックならびにポートフォリオの提出もしてもらい。その進捗状況も試験の一部とみなす。	

ナンバリング（Numbering）
1AMN-5980-Z2ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
知的財産権（教職関連科目 必 高等学校　情報）	224～	3・4年生・前期	2単位	選択	丹羽 崇之
知的所有権（教職関連科目 必 高等学校　情報）	219～223 経営情報学科				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	「法学」、「民事法」を履修していることが望ましい。

授業概要　Course Outline

知的財産とは、人の知的な創造活動によって生み出された発明や著作物などの成果のことをいう。知的財産権とはそれら成果に対する権利の総称であり、著作権、産業財産権（特許権、実用新案権、意匠権、商標権）等がある。この講義では、知的財産権に関して基礎的な知識を学ぶ。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

建学の精神をふまえ、知的財産権の理解を深め、「法的なものの考え方」・「リーガルマインド」の習得をはかる。そのうえで、関連法分野の知見を習得し、研修を重ねることにより、紛争処理能力を涵養する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

最新の事件や判例等をとりあげるので、学生諸君に法律関係や適用法令について考えてもらう。新聞には毎日目を通し、知的財産に関する記事を切り抜くなどして、記録しておくこと。また、関連する雑誌の記事も確認するようにしてもらいたい。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問等は、授業の前後の時間やオフィスアワーを積極的に利用してもらいたい。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出（学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

欠席した場合には、その回の授業内容を学習したレポートを提出してもらう。（提出しない場合は、定期試験の受験を認めない。）
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し、最終講義時に提出すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プレップ知的財産法	小泉直樹	弘文堂	978-4335313301

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
図録 知的財産法	前田・金子・青木（編）	弘文堂	978-4335358586
知的財産法判例教室	正林真之（監）	法学書院	978-4587561994

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

平常点（ミニテスト、レポート）30%、定期試験70%により総合評価する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス、知的所有権とはなにか	
	事前学習（内容・時間）	知的所有権とは何か、考えてみる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	知的所有権とは何か、学んだことを確認する（2時間）
第2回	特許法（1）　特許権は誰のものか	
	事前学習（内容・時間）	教科書第1章を読み、特許権の帰属について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第1章を読み返し、特許権の帰属について復習する（2時間）
第3回	特許法（2）　特許発明の技術的範囲	
	事前学習（内容・時間）	教科書第2章を読み、特許発明の技術的範囲について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第2章を読み返し、特許発明の技術的範囲について復習する（2時間）
第4回	特許法（3）　均等侵害・間接侵害	
	事前学習（内容・時間）	教科書第3章を読み、均等侵害・間接侵害について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第3章を読み返し、均等侵害・間接侵害について復習する（2時間）
第5回	特許法（4）　相手方の反論・損害賠償	
	事前学習（内容・時間）	教科書第4章を読み、相手方の反論・損害賠償について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第4章を読み返し、相手方の反論・損害賠償について復習する（2時間）
第6回	特許法（5）　特許権の成立をめぐる争い	
	事前学習（内容・時間）	教科書第5章を読み、特許権の成立をめぐる争いについて考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第5章を読み返し、特許権の成立をめぐる争いについて復習する（2時間）
第7回	特許法（6）　ライセンス（実施権）	
	事前学習（内容・時間）	教科書第6章を読み、ライセンス（実施権）について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第6章を読み返し、ライセンス（実施権）について復習する（2時間）
第8回	著作権法（1）　著作物	
	事前学習（内容・時間）	教科書第7章を読み、著作物について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第7章を読み返し、著作物について復習する（2時間）
第9回	著作権法（2）　著作者	
	事前学習（内容・時間）	教科書第8章を読み、著作者について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第8章を読み返し、著作者について復習する（2時間）
第10回	著作権法（3）　複製と翻案	
	事前学習（内容・時間）	教科書第9章を読み、複製と翻案について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第9章を読み返し、複製と翻案について復習する（2時間）
第11回	著作権法（4）　著作権の制限	
	事前学習（内容・時間）	教科書第10章を読み、著作権の制限について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第10章を読み返し、著作権の制限について復習する（2時間）
第12回	著作権法（5）　著作者人格権・著作隣接権	
	事前学習（内容・時間）	教科書第11章を読み、著作者人格権・著作隣接権について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第11章を読み返し、著作者人格権・著作隣接権について復習する（2時間）
第13回	意匠法	
	事前学習（内容・時間）	意匠法の条文を読み、意匠の意義、登録要件、保護主体等について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	意匠法、配布資料を読み返し、意匠の意義、登録要件、保護主体等について復習する（2時間）
第14回	商標法	
	事前学習（内容・時間）	商標法の条文を読み、商標法の概要、商標権侵害について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	商標法、配布資料を読み返し、商標法の概要、商標権侵害について復習する（2時間）
第15回	不正競争防止法	
	事前学習（内容・時間）	不正競争防止法の条文を読み、不正競争防止法の目的、概要等について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	不正競争防止法、配布資料を読み返し、不正競争防止法の目的、概要等について復習する（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング(Numbering)
1AIN-5432-12ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
計算機システム論 (教職関連科目　選　高等学校　情報)	219～	1年生・後期	2単位	選択	朝廣　雄一

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	「基礎数学」を合格していること(もしくは同等の知識を有していること)と，基本的なコンピュータの利用方法を身に着けていることを前提とする(履修規程第5条3項に基づく)。

授業概要　Course Outline

経営情報学分野においては種々の計算をコンピュータに行わせるため、コンピュータの基本原理について理解しておくことが重要である。そこで学則第3条を踏まえて、本講義では、計算機における3つの基幹技術であるハードウェア、ソフトウェア、通信について取り上げる。例えば、以下のような話題について紹介する。
　ハードウェア：コンピュータの中はどのように動作して、情報をどのように格納しているのか
　ソフトウェア：コンピュータへの指示はどのようにして行うのか、どのような処理を行えるのか
　通信：どのようにしてネットワーク上での通信が行われているのか
なお問題演習やPCを用いた実習を適宜取り入れることにより、知識の定着を図る。

	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

経営情報学分野の基礎的な知識を修得するために、この科目ではコンピュータを構成するハードウェア・ソフトウェア・通信がどのような働きをしているかについての基礎的知識を習得することを目指している。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

反転授業を行います。配布資料の学習ならびに演習問題に主体的に取り組み、疑問点などについて履修者同士で議論したり、授業中に積極的に発言して下さい。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

オフィスアワーはなし。電子メールにてasahiro@is.kyusan-u.ac.jp宛てに連絡を取ってください。ただし、携帯電話やフリーメールアドレスからではなく、大学のアドレスから発信して下さい。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

授業で扱う内容の一部は、基本情報技術者試験の試験範囲に含まれる。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修状況チェック表」に必要事項を記入すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ディジタル作法	Brian W. Kernighan 著 久野　靖　訳	オーム社	978-4-274-06909-3

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プログラムはなぜ動くのか	矢沢久雄	日経BP社	978-4-8222-8315-5

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法
　レポート(20%)　中間試験(30%)　定期試験(50%)
・成績評価の基準
　授業計画の欄に示した各項目について理解しているかが成績評価の基準である。具体的には、それぞれの項目についてレポート課題、中間試験、定期試験のいずれかに出題し、合計得点で評価することにより、総合的な理解度を評価する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	コンピュータとは何か？ ［オンライン］	
	事前学習（内容・時間）	教科書 p.26 までを読む(2時間)
	事後学習（内容・時間）	授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
第2回	ビット・バイトと情報の表現 ［オンライン］	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.27-46 を読む(2時間)
	事後学習（内容・時間）	授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
第3回	CPUの中身 ［オンライン］	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.47-66 を読む(2時間)
	事後学習（内容・時間）	授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
第4回	アルゴリズム ［オンライン］	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.67-86 を読む(2時間)
	事後学習（内容・時間）	授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
第5回	プログラミングとプログラミング言語 ［対面］	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.87-114 を読む(2時間)
	事後学習（内容・時間）	授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
第6回	ソフトウェアシステム ［対面］	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.115-140 を読む(2時間)
	事後学習（内容・時間）	授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
第7回	プログラミングを学ぶ ［対面］	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.141-158 を読む(2時間)
	事後学習（内容・時間）	授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
第8回	コンピュータを用いたソフトウェアに関する演習（実習を含む） ［対面］	
	事前学習（内容・時間）	PCの準備（アダプターやケーブルなどの準備，ならびに事前設定など）を行う（1時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中に完了できなかった課題とレポート作成に取り組む(3時間)
第9回	まとめと中間試験 ［対面］	
	事前学習（内容・時間）	これまでに学習した内容の復習を行う(3時間)
	事後学習（内容・時間）	よく分からなかった問題について復習を行う（1時間）
第10回	ネットワーク ［オンライン］	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.159-184 を読む(2時間)
	事後学習（内容・時間）	授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
第11回	インターネット ［オンライン］	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.185-220 を読む(2時間)
	事後学習（内容・時間）	授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
第12回	World Wide Web ［オンライン］	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.221-256 を読む(2時間)
	事後学習（内容・時間）	授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
第13回	データ、情報、プライバシー ［対面］	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.257-290 を読む(2時間)
	事後学習（内容・時間）	授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
第14回	コンピュータを用いた通信に関する演習（実習を含む） ［対面］	
	事前学習（内容・時間）	PCの準備（アダプターやケーブルなどの準備，ならびに事前設定など）を行う（1時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中に完了できなかった課題とレポート作成に取り組む(3時間)
第15回	全体のまとめ ［対面］	
	事前学習（内容・時間）	教科書や配布資料を見直して、内容の理解を深める(2時間)
	事後学習（内容・時間）	定期試験のための準備を行う(2時間)
第16回（定期試験）	定期試験 ［対面］	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-5122-22ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
アルゴリズムとデータ構造（教職関連科目　必　高等学校　情報）	219～	2年生・前期	2単位	選択	朝廣　雄一

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	「基礎数学」と「プログラミング初歩I」（情報ネットワーク学科），または「基礎数学」と「プログラミング入門」(経営情報学科)を合格している（または同等の知識を有している）ことを前提とする（履修規程第5条3項に基づく）。

授業概要　Course Outline

学則第3条を踏まえて、経営情報学分野の応用的な知識として、情報システムの基本的かつ重要な要素であるアルゴリズムとデータ構造を扱い、各種の問題とそれらに対するアルゴリズムの漸近的な性能を解析する手法について解説する。まず単純な問題を対象とし、アルゴリズムとその性能を解析する流れについて概説する。その後、基本的データ構造を用いた、各種の計算などのアルゴリズムについて漸近的な性能の解析を行う。問題演習やPCを用いた実習を適宜取り入れることにより、知識の定着を図る。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

経営情報学分野の応用的な知識として、アルゴリズムとデータ構造の知識を習得し、アルゴリズムの漸近的な性能を解析する手法について習得するのを目指している。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

反転授業を行います。配布資料の学習ならびに演習問題に主体的に取り組み、疑問点などについて履修者同士で議論したり、授業中に積極的に発言して下さい。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

オフィスアワーはなし。電子メールにてasahiro@is.kyusan-u.ac.jp宛てに連絡を取ってください。ただし、携帯電話やフリーメールアドレスからではなく、大学のアドレスから発信して下さい。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

授業で扱う内容の一部は、基本情報技術者試験の試験範囲に含まれる。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
授業は配布プリントに従って実施する			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
アルゴリズムイントロダクション　第3版　第1巻	コルメン、ライザーソン、リベスト、シュタイン（浅野、岩野、梅尾、山下、和田訳）	近代科学社	978-4-7649-0406-4

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法
　レポート（20%）　中間試験（30%）　定期試験（50%）
・成績評価の基準
　授業計画の欄に示した各項目について理解しているかが成績評価の基準である。具体的には，それぞれの項目についてレポート課題、中間試験、定期試験のいずれかに出題し、合計得点で評価することにより、総合的な理解度を評価する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	計算におけるアルゴリズムの役割について理解する [オンライン]	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習（内容・時間）	授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
第2回	疑似プログラムの概要について理解する [オンライン]	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習（内容・時間）	授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
第3回	SRAMモデルの概要について理解する [オンライン]	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習（内容・時間）	授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
第4回	単純な問題とアルゴリズムについて理解する ［オンライン］	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習（内容・時間）	授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
第5回	各種演算とアルゴリズムについて理解する ［対面］	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習（内容・時間）	授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
第6回	条件分岐について理解する [対面]	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習（内容・時間）	授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
第7回	高度な条件分岐について理解する [対面]	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習（内容・時間）	授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
第8回	最良計算時間と最悪計算時間について理解する[対面]	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習（内容・時間）	授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
第9回	まとめと中間試験 [対面]	
	事前学習（内容・時間）	これまでに学習した内容の復習を行う(3時間)
	事後学習（内容・時間）	よく分からなかった問題について復習を行う（1時間）
第10回	数列について理解する [オンライン]	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習（内容・時間）	授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
第11回	ループ構造を持つアルゴリズム（1）数の和を計算するアルゴリズムについて理解する ［オンライン］	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習（内容・時間）	授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
第12回	ループ構造を持つアルゴリズム（2）ループ不変式について理解する ［オンライン］	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習（内容・時間）	授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
第13回	ループ構造を持つアルゴリズム（3）自然数の和を計算するアルゴリズムについて理解する [対面]	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習（内容・時間）	授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
第14回	O記法について理解する ［対面］	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を読んで理解し、疑問点についてまとめておく(2時間)
	事後学習（内容・時間）	授業内容ならびに演習問題の復習を行うとともに、提示される課題に取り組む(2時間)
第15回	各種アルゴリズムの実験的評価に取り組む（実習を含む） ［対面］	
	事前学習（内容・時間）	PCの準備（アダプターやケーブルなどの準備，ならびに事前設定など）を行う（1時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中に完了できなかった課題とレポート作成に取り組む(3時間)
第16回（定期試験）	定期試験 ［対面］	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-6060-22ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
データベース論（教職関連科目 必 高等学校 情報）	共通	2年生・前期	2単位	選択	宮﨑　武

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	情報学入門を修得済みであることが望ましい。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、この授業ではデータベースの概要を学ぶ。データベースとしては現在最も広範囲に使用されているリレーショナルデータベースを中心にデータベースの設計方法、アクセス方法を演習を通じて身につける。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

自分でデータベースを作成し、アクセスすることができるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回各自のPCで、実際に手を動かしてデータベースへの操作をしてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室（274）にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回必ずパソコンを持参する事。
また、インストールしたデータベースのソフトウェアなどを毎回利用できるよう、パソコンのアップデートやメンテナンスを継続して行うこと。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
データベースの基礎（改訂版） - MariaDB/MySQL対応 -	永田武	コロナ社	978-4-339-02919-2

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

実技試験60%、総合演習40%

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス、データベースとは	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを読む(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う、スライド資料を読み内容を理解する(2h)
第2回	Sqlite3・PHPのインストールおよび動作確認	
	事前学習（内容・時間）	PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	Sqlite3・PHPの起動と終了を何度も行い操作に慣れる(2h)
第3回	Tableの作成	
	事前学習（内容・時間）	PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	複数回1つTableを作成する(2h)
第4回	データの挿入	
	事前学習（内容・時間）	PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	複数回Tableにデータを挿入する(2h)
第5回	データの修正	
	事前学習（内容・時間）	PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	複数回Tableのデータを修正する(2h)
第6回	データの削除	
	事前学習（内容・時間）	PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	複数回Tableのデータを削除する(2h)
第7回	データの参照	
	事前学習（内容・時間）	PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	複数回Tableのデータを参照する(2h)
第8回	データの抽出条件による参照	
	事前学習（内容・時間）	PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	複数回Tableのデータを抽出条件を入れて参照する(2h)

第9回	phpプログラムを利用したデータの参照	
	事前学習（内容・時間）	PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	授業中に作成したプログラムを別のtableでもう一度自分で作成する(2h)
第10回	phpプログラムを利用したデータの抽出条件による参照	
	事前学習（内容・時間）	PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	授業中に作成したプログラムを別のtableでもう一度自分で作成する(2h)
第11回	データベースの設計、正規化による整理方法	
	事前学習（内容・時間）	PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	授業中に指示のあった作業をもう一度自分で実施する(2h)
第12回	複数の表の結合によるデータ参照	
	事前学習（内容・時間）	PCのアップデート等授業中に起こらないよう前日に電源を入れアップデートの確認をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	授業中に作成したプログラムを別のtableでもう一度自分で作成する(2h)
第13回	実技試験前半	
	事前学習（内容・時間）	これまでの授業で行ったデータベースに対する操作を何度も自分で繰り返す(2h)
	事後学習（内容・時間）	授業中の問題の復習およびこれまでの授業の復習をする(2h)
第14回	実技試験後半	
	事前学習（内容・時間）	これまでの授業で行ったデータベースに対する操作を何度も自分で繰り返す(2h)
	事後学習（内容・時間）	授業中の問題の復習をする(2h)
第15回	総合演習	
	事前学習（内容・時間）	これまでの講義資料を読んでおく(2h)
	事後学習（内容・時間）	データ操作言語の命令文をしっかりと復習する(2h)
第16回（定期試験）	実技試験60%、総合演習40%	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-6580-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ゲームプログラミング	223～	2年生・前期	2単位	選択	豊田桃子

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	プログラミング実践Iを履修・修得していること.

授業概要 Course Outline

本講義では，ディプロマポリシーに基づき，プログラミングの基本をおさえつつシューティングゲームを開発し，
実践的なゲーム開発の基礎を学ぶ．本講義では，JavaScriptを使用する．
本講義を担当する講師は，現在ゲーム・アプリ開発に携わっており，
ゲーム・アプリ作成に関する技術だけでなく，関連業界についても
熟知しているため，ゲーム・アプリ関連業界を目指す学生を歓迎する．

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	・Webアプリケーションの開発 ・JavaScriptを使用したゲームプログラミングの開発 ・JavaScriptのゲームフレームワークPhaserを使用したゲームプログラミングの開発	・JavaScriptゲームプログラミング ・WEBアプリケーション開発（データベース・インフラ・アプリ開発・プログラミングなど）

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

①プログラミング言語に関する基本用語が説明できる．②サンプルプログラムを応用できる．③課題に応じて最適な処理構文を選択し，使用できる．④ゲーム史について基本事項が列挙できる．⑤講義に参加できる．⑥課題解決のためにお互いに助けることができる．⑦疑問点を尋ねることができる．⑧プログラム処理のためにPCを操作できる．⑨プログラム作成のためにフローチャートを自分で準備できる．

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

聴講型講義ではなく，実習型講義を実施する．

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡は全てクラスルームにて行う．

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオ・ルーブリックシートに必要事項を記入し8回目講義および最終講義時に提出すること．

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
講義に沿った配布資料を準備し，それに沿って進めます．			

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
[ゲーム&モダンJavaScript文法で2倍楽しい]グラフィックスプログラミング入門 ―リアルタイムに動く画面を描く。プログラマー直伝の基本 (WEB+DB PRESS plus)	杉本 雅広	技術評論社	978-4297110857

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

授業態度（30%）、授業内での成果物（20%）、試験（50%）で評価する．

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講座ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを通読し，受講理由を明確にする．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する．(2h)
第2回	ゲーム史	
	事前学習（内容・時間）	ゲーム史についてインターネット等で調査する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する．(2h)
第3回	JavaScript基礎(1)	
	事前学習（内容・時間）	JavaScriptについてインターネット等で調査する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する．(2h)
第4回	JavaScript基礎(2)・アルゴリズム基礎	
	事前学習（内容・時間）	JavaScriptに関する第3回の内容を復習する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する．(2h)
第5回	アルゴリズム 演習	
	事前学習（内容・時間）	JavaScriptに関する第4回の内容を復習する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する．(2h)
第6回	Canvas API 基礎	
	事前学習（内容・時間）	Canvas APIについてインターネット等で調査する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する．(2h)
第7回	Canvas API 実践	
	事前学習（内容・時間）	Canvas APIに関する第6回の内容を復習する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する．(2h)
第8回	シューティングゲーム開発 (1)	
	事前学習（内容・時間）	第3回から第7回の内容を復習する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する．(2h)
第9回	シューティングゲーム開発 (2)	
	事前学習（内容・時間）	第8回の内容を復習する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する．(2h)
第10回	シューティングゲーム開発 (3)	
	事前学習（内容・時間）	第9回の内容を復習する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する．(2h)
第11回	シューティングゲーム開発 (4)	
	事前学習（内容・時間）	第10回の内容を復習する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する．(2h)
第12回	シューティングゲーム開発 (5)	
	事前学習（内容・時間）	第11回の内容を復習する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する．(2h)
第13回	シューティングゲーム開発 (6)	
	事前学習（内容・時間）	第12回の内容を復習する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する．(2h)
第14回	シューティングゲーム開発 (7)	
	事前学習（内容・時間）	第13回の内容を復習する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する．(2h)
第15回	シューティングゲーム開発 (8)	
	事前学習（内容・時間）	第14回の内容を復習する．(2h)
	事後学習（内容・時間）	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する．(2h)
第16回（定期試験）	試験を課す．	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-6690-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
eスポーツ概論	224～	2年生・後期	2単位	選択	秋吉浩志 中島直樹 宮崎武
特別実習・講義（情報） eスポーツ概論	223				
特別講義（情報） eスポーツ概論	～222				

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	eスポーツ業界、ゲーム業界、デジタルビジネス関係の多くの実践興味を持っている学生には選択をすすめる。

授業概要　Course Outline

欧米で小規模コミュニティのイベントとしてスタートし、プロ化、そしてグローバル＆拡大ビジネス化したeスポーツ の成立から発展の歴史を詳しく学び、海外の流れと、その動きに乗り遅れたにもかかわらず飛躍的な拡大路線 を取り始めた日本の状況を紹介する。eスポーツ主要競技の流れについても学び、eスポーツの特徴も理解す る。メディア、行政、法律、教育分野、既存のフィジカルスポーツ団体等を巻き込みながら日々益々拡大する。さらにはeスポーツを取り巻く情報システムやゲームプログラミングの世界についても紹介したい。そして、eスポ ーツの過去と現在の理解を深め今後についての考察を行えるようにすることを目的とする。
また、建学の精神や特にカリキュラムポリシーに沿って、IT業界で活躍できる広く多様性ある人材づくりを目指すものである。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当する eスポーツに関わる多くの学外講師が1回ごとオムニバスで担当する予定である。	eスポーツ業界で企画、イベント業務、法律、教育分野など多岐にわたる実務経験のある講師がオムニバスで講義を行う。	外部講師のときは、ディベート、グループワーク、グループ発表、個人発表発表などを中心に進行していく。

kannrennsuru

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

デジタルネィティブ世代のメインストリームになるeスポーツの歴史と現状、今後の流れを考察して、物事を 多方面から見ることが出来る力をつけてもらう。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①基本的にプレゼン方式で行い、学生と積極的にコミュニケーションをとりながら講義を展開する。
②動画、テキスト以外の教材などのように実際見たり、感じたりする教材も準備し、より体感できるような講義も行う。
③ミニテスト、アンケート、学生からの意見なども教材として取り上げ、講義を展開していく。
④考える、議論する、主張することなどができるような雰囲気づくりを行い、受講学生の積極性なども導き出す。
⑤主に業界の外部講師の授業が多いため、しっかりとコミュニケーションをとることをすすめる。
など

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

基本的に秋吉研究室（2号館5階555研究室）にて月曜日、水曜日オフィスアワーを設定している。
研究室訪問の際、メール；akiyoshi@g.kiis.ac.jpにメール連絡をしておくことを薦める。（遠隔授業の場合はGoogleクラスルームを活用して連絡を随時行う）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

この科目は急速に発展しているeスポーツ業界に関連する知識を得るための科目である。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、指定日までに秋吉までメール（akiyoshi@gkiis.ac.jp）で提出してください。
また、遠隔授業の際は主にZoomと動画にて、授業を行い、課題等はGoogleクラスルームを活用する。
事後学習として毎週課題があり、課題を提出しないと授業に出席しても出席にはならない。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
毎回主にパワーポイントかPDFによる資料を配布する。配布はクラスルームにて行う。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
・まるわかり! eスポーツ・ビジネス（日経ムック）	KPMGコンサルティング	日本経済新聞出版	ISBN-13 978：-4532183103
・続・eスポーツ地方創生 新たな展開を見せ拡大し続けるムーブメントの未来	筧 誠一郎	白夜書房	ISBN-13 978：-4864943451
・みんなが知りたかった 最新eスポー	岡安 学	秀和システム	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法：授業での出席や活動状況、発表、課題提出、レポート、定期試験等の成績により総合的に評価する。主に定期試験40%、出席（課題提出やグループワークなど）30%、イベント運営参加（20%）、その他（授業態度など）10%。
・成績評価の基準 ：講義のなかで①集団の中で他者と協力・協調できているか、②責任もった行動がとれているか、③提出物や発表（プレゼンテーション）で大学生としての自己表現ができているか、など。
・なお、eスポーツは実際運営することが重要なスキルとなっている。よって15回の講義以外に以降の3つのイベントいずれかに参加して、レポートを提出していただく。①学園祭におけるeスポーツイベント②太宰府市で開催されるeスポーツイベント③福岡県eスポーツ協会主催のイベント（日程は講義中に発表する）

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンスおよびeスポーツの基礎知識について	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること（2h）
第2回	eスポーツとは何か（eスポーツの定義、学びのeスポーツ他）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること（2h）
第3回	eスポーツの歴史について（ゲームからeスポーツへ）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること（2h）
第4回	eスポーツのジャンルについて（FPS、TPS,RTSなど、拡張するゲームの分野）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第5回	eスポーツの施設や設備について（施設の種類や実例による設備の紹介など）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第6回	eスポーツとeスポーツが起こす文化について	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第7回	eスポーツのビジネスについて①（スポーツ産業とeスポーツ）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第8回	eスポーツのビジネスについて②（グローバル化するeスポーツビジネス）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第9回	eスポーツに関わる法律、条令等について①（著作権、肖像権など）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第10回	eスポーツに関わる法律、条令等について②（著作権、肖像権など）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第11回	eスポーツを取り巻く、情報システムについて	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第12回	eスポーツとゲームプログラミングについて	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第13回	eスポーツと教育について（これからの教育に欠かせないゲームと育成）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第14回	eスポーツと地方創生（地方振興、観光資源との関りなど）	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第15回	これからのeスポーツの発展と展開について（eスポーツのイベントの企画、立案、制作、実施など、そしてオリンピ	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第16回（定期試験）	基本的に対面ペーパーテストを行う。試験前にルーブリックならびにポートフォリオの提出もしてもらい。その進捗状況も試験の一部とみなす。 これからの時代に向けて、こらからのeスポーツに関わる基本的な知識が理解されているかを問う。	

ナンバリング(Numbering)	
1AIN-6610-22E	1AIN-6610-22C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
情報処理技術演習 I (ITﾊﾟｽﾎﾟｰﾄ 対策)	223～	2年生・前期	2単位	経営選択 NW必修	ディンダ プラマンタ

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	ITパスポート資格取得に意欲的に取り組む意志があること.

授業概要 Course Outline

本授業では, ITパスポート試験に向けて必要な情報技術の基本的な知識を獲得し, ディプロマポリシーに基づいてテクノロジ系の入門を行う.文系と理系の視点から, コンピュータの仕組みや処理について学ぶアプローチで授業が提供する.演習問題を通して内容を網羅し, 受講者全員がITパスポート試験に合格することを目標とする.

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

ITパスポート資格について説明できる.テクノロジー分野に関する基本事項, 用語について説明することができる. 演習やテストに参加することができる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

聴講型講義の他に, 学生参加型の演習やテストを行う.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡, 問い合わせ, 相談などは551研究室にて受け付ける.オフィスアワーの時間については掲示を確認すること.

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回の講義時間後, Google Formsでポートフォリオシート「KIIS学修ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸ」にオンライン自己評価を記入し, 提出して下さい.

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
文系のための 基本情報技術者 はじめに読む本	近藤 孝之	技術評論社	978-4297130282

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
令和6-7年度版 ITパスポート試験 対策テキスト＆過去問題集 (よくわかるマスター)	富士通ラーニングメディア	FOM出版	978-4867750704

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

課題やレポート10%, 中間課題演習15%, 後期課題演習15%, 定期試験60%.

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	本講義について，シラバスと関連する教科書およびネット記事を読んでおくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	本講義のキーワードと目的を特定し，自己評価を行っておくこと.（2時間）
第2回	2進数と10進数	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書（p.8～p.27）やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ，各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第3回	2進数：計算と応用	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書（p.28～p.38）やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ，各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第4回	機械の記憶	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書（p.40～p.43）やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ，各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第5回	仕組みと種類	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書（p.44～p.52）やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ，各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第6回	集合と論理演算	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書（p.54～p.69）やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ，各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第7回	足し算の仕組み	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書（p.70～p.75）やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ，各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第8回	確率・統計	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書（p.76～p.84）やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ，各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第9回	テスト：中間課題演習	
	事前学習（内容・時間）	第2回～第8回を復習しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に回答できなかった問題は必ず，復習させること.（2時間）
第10回	Central Processing Unit (CPU)とその言語	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書（p.86～p.107）やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ，各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第11回	CPUの高機能化	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書（p.108～p.116）やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ，各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第12回	ソフトウェアとハードウェア	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書（p.118～p.128）やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ，各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第13回	繰り返しシステム	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書（p.129～p.144）やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ，各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第14回	ネットワークとインタネット	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について，教科書（p.146～p.165）やインターネットによって予習を行っておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ，各項目の関連性を理解しておくこと.（2時間）
第15回	テスト：後期課題演習	
	事前学習（内容・時間）	第10回～第14回を復習しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に回答できなかった問題は必ず，復習させること.（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）	
1AIN-5750-24E	1AIN-5750-24C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報テクノロジー演習 I （ITパスポート対策）	220～222 219 情報ネットワーク学科	2年生・前期	4単位	経営 選 NW 必 必修	ディンダ　プラマンタ

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	ITパスポート資格取得に意欲的に取り組む意志があること.

授業概要　Course Outline

働く人が共通して備えておきたい情報技術や企業活動に関する基本的な知識を幅広く問われるのが，情報技術者試験のITパスポートである.この授業では，ディプロマポリシーに基づき，ストラテジ系，マネジメント系，テクノロジ系の3つの分野の出題範囲について，過去問題を通して網羅していく.受講者全員のITパスポート試験合格を目標とする.

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

ITパスポート資格について説明できる.テクノロジー分野に関する基本事項，用語について説明することができる.ストラテジー分野に関する基本事項，用語について説明することができる.マネジメント分野に関する基本事項，用語について説明することができる.演習や確認テストに参加することができる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

聴講型講義の他に，学生参加型の演習や確認テストを行う.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などは551研究室にて受け付ける.オフィスアワーの時間については掲示を確認すること.

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations,
ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回の講義時間後，Google Formsでポートフォリオシート「KIIS学修ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸ」にオンライン自己評価を記入し，提出して下さい.

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
みんなが欲しかった！ITパスポートの教科書＆問題集2024年度版	TAC出版情報処理試験研究会（編著）	TAC株式会社出版事業部	978-4-300-10938-0

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
令和6-7年度版 ITパスポート試験 対策テキスト&過去問題集（よくわかるマスター）	富士通ラーニングメディア	FOM出版 （富士通ラーニングメディア）	978-4-86775-070-4

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

確認テスト①～③のうちで2つの最高得点：60%，定期試験40%.また，本学開催のiパス・簿記コンテストへの参加も含まれる.積極的な参加を推奨する.

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（ITパスポート試験の概要と演習の進め方）	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第2回	プレテスト	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第3回	テクノロジ　系①　離散数学	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第4回	テクノロジ　系①　情報理論	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第5回	テクノロジ　系②　データ構造とアルゴリズム	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第6回	テクノロジ　系②　プログラミング・プログラム言語とマークアップ言語	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第7回	テクノロジ　系③　システム処理形能	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第8回	テクノロジ　系③　性能と信頼性	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第9回	テクノロジ　系④　ハードウェア	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第10回	テクノロジ　系④　ソフトウェア	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第11回	確認テスト①の練習	
	事前学習（内容・時間）	第３回～第１０回を復習しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第12回	確認テスト①	
	事前学習（内容・時間）	第３回～第１０回を復習しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第13回	テクノロジ　系⑤　オフィスツールとオペンソースソフトウェア	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第14回	テクノロジ　系⑤　インタフェースとマルチメディア	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第15回	テクノロジ　系⑥　データベース	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）
第16回	テクノロジ　系⑥　データベース管理システムの機能	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.（2時間）

第17回	テクノロジ　系⑦　ネットワーク	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.(2時間)
第18回	テクノロジ　系⑦　送信プロトコル・ネットワーク応用	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.(2時間)
第19回	テクノロジ　系⑧セキュリティ	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.(2時間)
第20回	テクノロジ　系⑧　暗号化技術とディジタル署名	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.(2時間)
第21回	確認テスト②の練習	
	事前学習（内容・時間）	第１３回～第２０回を復習しておくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.(2時間)
第22回	確認テスト②	
	事前学習（内容・時間）	第１３回～第２０回を復習しておくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.(2時間)
第23回	マネジメント　系①　システム開発技術	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.(2時間)
第24回	マネジメント　系①　開発プロセス・手法	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.(2時間)

第25回	マネジメント　系②　プロジェクトマネジメント	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.(2時間)
第26回	マネジメント　系②　サービスマネジメント	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.(2時間)
第27回	ストラテジ　系①　IoT・組込みシステム	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.(2時間)
第28回	ストラテジ　系①　要件定義	
	事前学習（内容・時間）	教科書の該当箇所を読んでおくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.(2時間)
第29回	確認テスト③の練習	
	事前学習（内容・時間）	第２３回～第２８回を復習しておくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.(2時間)
第30回	確認テスト③	
	事前学習（内容・時間）	第２３回～第２８回を復習しておくこと.(2時間)
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題については各自復習すること.(2時間)
第31回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-6620-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報処理技術演習Ⅱ（ITﾊﾟｽﾎﾟｰﾄ　対策）	223～	2年生・後期	2単位	選択	平川　淳一

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	・国家資格「情報技術者試験ITパスポート」の取得を目標にしている人。 ・受講マナーを守れる人

授業概要　Course Outline

企業活動や情報技術に関する基本的な知識について、広く問われるのが情報技術者試験「ITパスポート」、通称「iパス」と呼ばれる国家資格です。ビジネスパーソンにとって共通して備えておくべき知識を網羅しているため、IT業界のみならず、多くの社会人が受験している注目の資格です。
授業ではiパスの出題範囲、ストラテジ系、マネジメント系、テクノロジ系の過去問題を通して分野別の知識をインプットし、チェックテストによって、アウトプットすることで、知識の定着を図ります。
この科目は、カリキュラムポリシー「Ⅱ経営情報学の基礎から応用までの汎用的技能や知識・理解を修得させること。」に基づいて、ITパスポート試験の対策科目として学んでいきます。
確認テストは、Googleクラスルーム内で毎回実施します。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

経営情報学の汎用的技能や知識・理解についての基礎を習得するために、この科目では経営・会計・情報を中心とする経営情報分野全般を横断的に学習し、国家資格情報技術者試験 ITパスポートの取得を目指します。
ITパスポートは通過点と捉え、次なる目標「基本情報技術」のための、基礎知識の定着が最低目標となります。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・Checkテストは、授業でInputした内容を、Outputする機会であり、復習と理解度確認のために実施します。
・配付したプリントは、必ずファイリングして管理してください。
・配付するプリントにはメモ欄を用意しているので、たくさん書込みを行って独自の資料を作り上げてください。
　※授業終了時にプリントを確認します。
・間違えノートは、用語辞書としての役割を果たすので、記録を怠らないようにしてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

2号館1階の講師控室にお越しください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：ITパスポート試験
試 験 日 ： 随時試験（受験会場に確認）
受 験 料 ： 7,500円（税込）
試験会場： 天神、博多、久留米、北九州会場
受験には、事前に受験者IDの登録が必要です。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
令和06年 ITパスポート合格教本	岡嶋　裕史	技術評論社	978-4297138530

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
かんたん合格 ITパスポート過去問題集 令和6年度 秋期	間久保　恭子	インプレス	978-4295018209

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価方法：平常点 20%、課題 20%、定期試験 60%
　※平常点は、学習意欲、受講マナー等を見て総合的に評価します。
　　注）受講ルールを守れない人は、「減点」、「欠席」、「受講停止」にする場合があります。
　※学内で実施される『iパス・簿記コンテスト』参加者は、平常点を加算します。
　※定期試験をITパスポート受験（外部試験）に代えることを認めます。（事前に申し出ること）
　※定期試験前にITパスポート試験を受験した人は、定期試験を免除します。（最低得点ライン有り）
　　合否に関係なく、試験得点を評価上、考慮します。（試験結果の提出義務有り）
・成績評価の基準：第１回授業で把握した苦手分野についての理解度が向上しているか。
　　ITﾊﾟｽﾎﾟｰﾄ試験の過去問題において各分野での正答率が60%以上の実力を要しているか。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション：授業概要とITパスポート試験の内容を確認。過去問題にチャレンジ。	
	事前学習（内容・時間）	ITパスポート試験について調べ、内容と出題範囲をノートにまとめておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	ITパスポートを取得するメリットとデメリットについて、500字程度にまとめておくこと。（2.0h）
第3回	ストラテジ系 ： 1. 経営・組織 （テキスト P.36～53）、2. 業務分析・データ利活用 （テキスト P.54～66）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第4回	ストラテジ系 ： 3. 会計・財務 （テキスト P.19～34）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第5回	ストラテジ系 ： 4. 知的財産権～8. 標準化関連 （テキスト P.67～83）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第6回	ストラテジ系 ： 9. 経営戦略手法～10. マーケティング （テキスト P.87～118）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第7回	ストラテジ系 ： 11. ビジネス戦略と目標・評価～17. IoT システム・組込みシステム （テキスト P.119～163）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第8回	ストラテジ系 ： 18. 情報システム戦略～21. システム活用促進・評価 （テキスト P.131～136）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第9回	ストラテジ系 ： 22. システム化計画～24. 調達計画・実施 （テキスト P.140～146）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第10回	マネジメント系 ： 25. システム開発技術～26. 開発プロセス・手法 （テキスト P.167～184）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第11回	マネジメント系 ： 27. プロジェクトマネジメント～32. 内部統制 （テキスト P.185～209）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第12回	テクノロジ系 ： 33. 離散数学～39. その他の言語 （テキスト P.213～254）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第13回	テクノロジ系 ： 40. プロセッサ～53. マルチメディア応用 （テキスト P.227～293）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第14回	テクノロジ系 ： 54. データベース方式～57. トランザクション処理 （テキスト P.399～410）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第15回	テクノロジ系 ： 58. ネットワーク方式～63. 情報セキュリティ対策・実装技術 （テキスト P.299～379）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験 ※情報技術者試験 ITパスポート試験に準じた内容で実施します。	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-5760-24E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅱ （ITパスポート対策）	220～222	2年生・後期	4単位	選択	平川　淳一
	219 情報ﾈｯﾄﾜｰｸ学科	2年生・後期			

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	・国家資格「情報技術者試験ITパスポート」の取得を目標にしている人。 ・2時限続けて受講できる人。 ・受講マナーを守れる人

授業概要　Course Outline

企業活動や情報技術に関する基本的な知識について、広く問われるのが情報技術者試験「ITパスポート」、通称「iパス」と呼ばれる国家資格です。ビジネスパーソンにとって共通して備えておくべき知識を網羅しているため、IT業界のみならず、多くの社会人が受験している注目の資格です。
授業ではiパスの出題範囲、ストラテジ系、マネジメント系、テクノロジ系の過去問題を通して分野別の知識をインプットし、チェックテストによって、アウトプットすることで、知識の定着を図ります。
この科目は、カリキュラムポリシー「Ⅱ経営情報学の基礎から応用までの汎用的技能や知識・理解を修得させること。」に基づいて、ITパスポート試験の対策科目として学んでいきます。
確認テストは、Googleクラスルーム内で毎回実施します。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

経営情報学の汎用的技能や知識・理解についての基礎を習得するために、この科目では経営・会計・情報を中心とする経営情報分野全般を横断的に学習し、国家資格情報技術者試験 ITパスポートの取得を目指します。
ITパスポートは通過点と捉え、次なる目標「基本情報技術」のための、基礎知識の定着が最低目標となります。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・Checkテストは、授業でInputした内容を、Outputする機会であり、復習と理解度確認のために実施します。
・配付したプリントは、必ずファイリングして管理してください。
・配付するプリントにはメモ欄を用意しているので、たくさん書込みを行って独自の資料を作り上げてください。
　※授業終了時にプリントを確認します。
・間違えノートは、用語辞書としての役割を果たすので、記録を怠らないようにしてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

2号館1階の講師控室にお越しください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：ITパスポート試験
試 験 日 ： 随時試験（受験会場に確認）
受 験 料 ： 7,500円（税込）
試験会場： 天神、博多、久留米、北九州会場
受験には、事前に受験者IDの登録が必要です。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
令和06年 ITパスポート合格教本	岡嶋　裕史	技術評論社	978-4297138530

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
かんたん合格 ITパスポート過去問題集 令和6年度 秋期	間久保　恭子	インプレス	978-4295018209

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価方法：平常点 20%、課題 20%、定期試験 60%
　※平常点は、学習意欲、受講マナー等を見て総合的に評価します。
　　注）受講ルールを守れない人は、「減点」、「欠席」、「受講停止」にする場合があります。
　※学内で実施される『iパス・簿記コンテスト』参加者は、平常点が加算します。
　※定期試験をITパスポート受験（外部試験）に代えることを認めます。（事前に申し出ること）
　※定期試験前にITパスポート試験を受験した人は、定期試験を免除します。（最低得点ライン有り）
　　合否に関係なく、試験得点を評価上、考慮します。（試験結果の提出義務有り）
・成績評価の基準：第１回授業で把握した苦手分野についての理解度が向上しているか。
　　ITﾊﾟｽﾎﾟｰﾄ試験の過去問題において各分野での正答率が60%以上の実力を要しているか。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション：授業概要とITパスポート試験の内容を確認。過去問題にチャレンジ。	
	事前学習（内容・時間）	ITパスポート試験について調べ、内容と出題範囲をノートにまとめておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	ITパスポートを取得するメリットとデメリットについて、500字程度にまとめておくこと。（2.0h）
第2回	オリエンテーション問題　解答解説 ： 理解度の確認と自己点検	
	事前学習（内容・時間）	ITパスポート試験の過去問題を各自で選択して、最低50問解答しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	オリエンテーション問題で間違えた内容について、調べてノートにまとめておくこと。（2.0h）
第3回	ストラテジ系 ： 1. 経営・組織 （テキスト P.36～53）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第4回	ストラテジ系 ： 2. 業務分析・データ利活用 （テキスト P.54～66）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第5回	ストラテジ系 ： 3. 会計・財務 （テキスト P.19～34）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第6回	ストラテジ系 ： 4. 知的財産権～5. セキュリティ関連法規 （テキスト P.67～74）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第7回	ストラテジ系 ： 6.労働関連・取引関連法～8. 標準化関連 （テキスト P.78～83）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第8回	ストラテジ系 ： 9. 経営戦略手法～10. マーケティング （テキスト P.87～118）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第9回	ストラテジ系 ： 11. ビジネス戦略と目標・評価～13. 技術開発戦略の立案・計画 （テキスト P.119～130）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第10回	ストラテジ系 ： 14. ビジネスシステム～17. IoT システム・組込みシステム （テキスト P.147～163）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第11回	ストラテジ系 ： 18. 情報システム戦略～21. システム活用促進・評価 （テキスト P.131～136）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第12回	ストラテジ系 ： 22. システム化計画～24. 調達計画・実施 （テキスト P.140～146）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第13回	【Checkテスト】 ストラテジ系 （66問）	
	事前学習（内容・時間）	ストラテジ系のすべての配布資料を確認しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	ストラテジ系の過去問題50問を解いて、採点結果まで記録しておくこと。（2.0h）
第14回	【総括】 ストラテジ系　Checkテストの解答解説 ： 理解度の確認と自己点検	
	事前学習（内容・時間）	Checkテストの解答上に生じた疑問点を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	Checkテストの結果を踏まえて、学習方法の再構築案をノートにまとめておくこと。（2.0h）
第15回	マネジメント系 ： 25. システム開発技術～26. 開発プロセス・手法 （テキスト P.167～184）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第16回	マネジメント系 ： 27. プロジェクトマネジメント （テキスト P.185～195）	
	事前学習（内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）

第17回	マネジメント系 ： 28. サービスマネジメント～30. ファシリティマネジメント （テキスト P.197～201）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第18回	マネジメント系 ： 31. システム監査～32. 内部統制 （テキスト P.202～209）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第19回	【Checkテスト】 マネジメント系	
	事前学習 （内容・時間）	マネジメント系のすべての配布資料を確認しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	マネジメント系の過去問題50問を解いて、採点結果まで記録しておくこと。（2.0h）
第20回	【総括】 マネジメント系　Checkテストの解答解説 ： 理解度の確認と自己点検	
	事前学習 （内容・時間）	Checkテストの解答上に生じた疑問点を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Checkテストの結果を踏まえて、学習方法の再構築案をノートにまとめておくこと。（2.0h）
第21回	テクノロジ系 ： 33. 離散数学～35. 情報に関する理論 （テキスト P.213～226）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第22回	テクノロジ系 ： 36. データ構造～39. その他の言語 （テキスト P.241～254）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第23回	テクノロジ系 ： 40. プロセッサ～44. システムの評価指標 （テキスト P.277～293）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第24回	テクノロジ系 ： 45. オペレーティングシステム～49. ハードウェア （テキスト P.256～275）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）

第25回	テクノロジ系 ： 50. ヒューマンインタフェース技術～53. マルチメディア応用 （テキスト P.227～240）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第26回	テクノロジ系 ： 54. データベース方式～57. トランザクション処理 （テキスト P.399～410）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第27回	テクノロジ系 ： 58. ネットワーク方式～60. ネットワーク応用 （テキスト P.299～325）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第28回	テクノロジ系 ： 61. 情報セキュリティ～63. 情報セキュリティ対策・実装技術 （テキスト P.344～379）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストを精読して、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	テーマと対応するテキスト「試験問題を解いてみよう」を解いて記録しておくこと。（2.0h）
第29回	【Checkテスト】 テクノロジ系	
	事前学習 （内容・時間）	テクノロジ系のすべての配布資料を確認しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	テクノロジ系の過去問題50問を解いて、採点結果まで記録しておくこと。（2.0h）
第30回	【総括】 テクノロジ系　Checkテストの解答解説 ： 理解度の確認と自己点検	
	事前学習 （内容・時間）	Checkテストの解答上に生じた疑問点を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習 （内容・時間）	Checkテストの結果を踏まえて、学習方法の再構築案をノートにまとめておくこと。（2.0h）
第31回 （定期試験）	定期試験 ※情報技術者試験 ITパスポート試験に準じた内容で実施します。	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-5440-Z2ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
計測・制御論（教職関連科目 必 高等学校 情報）	219～	3・4年生・後期	2単位	選択	麻生　隆史

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	コンピュータシステムの基礎知識を理解しておくこと。

授業概要　Course Outline

現在、私たちの周辺には、産業用・民製用を問わず、エレクトロニクス機器があふれています。そして、それらの内部にはマイコンと呼ばれる超小型のコンピュータが組み込まれ、高性能・高機能な制御システムを構成しています。特に様々な機器がコンピュータを介してどのようなシステムで構築されコントロールされているのかを知ることが重要です。

本科目では、建学の精神に基づき、高度情報化社会の要請をふまえ、身の回りのエレクトロニクス機器の内部構成を理解する上で、共通して必要となる計測及び制御システムに関する知識を学びます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

情報学分野のひとつのシステムである計測・制御について深く理解し、パソコンやネットワークを用いてシステム設計が行えるようになることを目指します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎講義時間内に計測・制御に関するテーマを提示し、受講者全員でディスカッションを行います。各自の積極的な発言を望みます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡はメールにて行います。又、オフィスアワーは、研究室にて行います。自由に来室願います。調整が必要な場合はすべてグーグルクラスルームを積極的に活用します。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎講義終了前に課題を設定しますので、メールにて課題の回答を提出してください。また、ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プリント配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
計測・制御テクノロジーシリーズ11 プロセス制御	高津　春雄	コロナ社	4-339-0336108

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

授業に取り組む態度（10%）及び定期試験（80%）及び毎講義に設定した課題の回答メール（10%）により学習成果を総合的に評価します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	制御システムとコンピュータ(オリエンテーション)	
	事前学習(内容・時間)	制御システムとコンピュータについて調べる(2時間)
	事後学習(内容・時間)	制御システムを用いた応用事例を考察する(2時間)
第2回	センサ	
	事前学習(内容・時間)	センサの種類について調べる(2時間)
	事後学習(内容・時間)	センサを用いている機器について実例を考察する(2時間)
第3回	定位置検知センサ	
	事前学習(内容・時間)	GPSの仕組みを調べる(2時間)
	事後学習(内容・時間)	定位置検知センサが用いられている事例を考察する(2時間)
第4回	光及び温度検知センサ	
	事前学習(内容・時間)	光及び温度を検出するシステムを調べる(2時間)
	事後学習(内容・時間)	光及び温度検知センサを用いた機器を考察する(2時間)
第5回	超音波センサ	
	事前学習(内容・時間)	超音波センサが用いられている事例を調べる(2時間)
	事後学習(内容・時間)	超音波センサを用いている機器を考察する(2時間)
第6回	アクチュエータの種類	
	事前学習(内容・時間)	アクチュエータの概念を調べる(2時間)
	事後学習(内容・時間)	アクチュエータを用いている機器を考察する(2時間)
第7回	直流モータと交流モータ	
	事前学習(内容・時間)	直流と交流の違いを調べる(2時間)
	事後学習(内容・時間)	直流モータと交流モータの機器への応用を考察する(2時間)
第8回	ステッピングモータ及びサーボモータ	
	事前学習(内容・時間)	ステッピングモータ及びサーボモータの違いを調べる(2時間)
	事後学習(内容・時間)	ステッピングモータ及びサーボモータの実用例を考察する(2時間)
第9回	圧電素子	
	事前学習(内容・時間)	身近に利用されている圧電素子を調べる(2時間)
	事後学習(内容・時間)	圧電素子と静電素子の違いを考察する(2時間)
第10回	アナログ制御とデジタル制御	
	事前学習(内容・時間)	アナログとデジタルの違いについて調べる(2時間)
	事後学習(内容・時間)	アナログ制御とデジタル制御の得意不得意分野を考察する(2時間)
第11回	フィードバック制御	
	事前学習(内容・時間)	なぜフィードバックが必要なのか調べる(2時間)
	事後学習(内容・時間)	フィードバック制御により得られる実例を考察する(2時間)
第12回	制御システムのステップ応答	
	事前学習(内容・時間)	ステップ応答がなぜ必要なのか調べる(2時間)
	事後学習(内容・時間)	制御システムにおけるステップ応答の役割を考察する(2時間)
第13回	制御アルゴリズム	
	事前学習(内容・時間)	アルゴリズムとは何かを調べる(2時間)
	事後学習(内容・時間)	制御アルゴリズムの高速化手法を考察する(2時間)
第14回	現代制御理論	
	事前学習(内容・時間)	システム制御の歴史を調べる(2時間)
	事後学習(内容・時間)	未来における制御システムを考察する(2時間)
第15回	制御システムと通信システム	
	事前学習(内容・時間)	身近な通信システムを調べる(2時間)
	事後学習(内容・時間)	通信システムにおける制御の実例を考察する(2時間)
第16回(定期試験)	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）	
1EMN-5670-12E	1EDN-5670-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
消費者行動論	共通	1年生・後期	2単位	選択	秋吉 浩志

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	経営やマーケティング、消費者行動、ブランド論に興味をもつ学生は積極的に履修をすすめる。経営に関する1分野としてとても大切な科目である。

授業概要　Course Outline

本学の建学の精神を基盤としたカリキュラムポリシーに基づき、消費者行動の基礎理論を包括的に講義する。毎回講義ではパワーポイントを使用し、プレゼンテーション方式で授業を行う。また、講義ではオリジナルプリントを使用するが、プリントの内容について授業中質問をするので、質問に答えられるよう集中しておくこと。
この科目は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）選択科目である。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

景気の動向、経済政策、企業経営、文化・ライフスタイル、ファッション、さらには国際化＆グローバル化にいたるまでさまざまな動向を探り、世の中の消費者行動を分析する力を養う。小売店のバイヤー、Webビジネス関係企業、マーケティング関係の企業、マスコミ関係の就職等を望んでいる学生は履修を勧める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①基本的にプレゼン方式で行い、学生と積極的にコミュニケーションをとりながら講義を展開する。
②動画、プリント以外の教材などのように実際見たり、感じたりする教材も準備し、より体感できるような講義も行う。
③ミニテスト、アンケート、学生からの意見なども教材として取り上げ、講義を展開していく。
④考える、議論する、主張することなどができるような雰囲気づくりを行い、受講学生の積極性なども導き出す。など

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

基本的に研究室にて月曜日、水曜日オフィスアワーを設定している。
研究室訪問の際、メール；akiyoshi@g.kiis.ac.jpにメール連絡をしておくことを薦める。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出（学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

この科目は経営学検定試験の初級「マーケティング」部分の基礎内容にもふれている。また販売士（リテールマーケティング）受験希望者は、必ず履修することを薦める。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、指定した期日までに秋吉までメール（akiyoshi@g.kiis.ac.jp））で提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
テキストは使用せず、毎回教員が作成した資料を事前にclassroomにて配布する また、マーケティング論で使用したテキストの用意も薦める。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
消費者行動論 消費者・コミュニケーション戦略	青木幸弘他 田中洋他	有斐閣アルマ 有斐閣アルマ	978-4641124639 978-4641122741

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

期末試験もしくは期末レポート（60%）、出席・遅刻に関しては厳しく管理し、成績に反映する。（30%）、授業態度、ミニテストなど（10%）を基準とする。
パソコン（タブレット型も含む）、携帯（スマートフォン）その他電子機器の使用は出席登録以外では一切禁止し、使用した場合によっては科目受講失格（0点）にする。基本的に座席指定を行う。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	消費者行動論とはなにか＆ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に配布資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第2回	消費者行動とマーケティング：身近な個人個人の行動を考えよう	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第3回	消費社会とはなにか①：消費社会の誕生と発展ついて考えよう	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第4回	消費社会とはなにか②：日本での消費社会の発展を歴史を追って考えよう	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第5回	消費者行動論の基礎理論①：消費者行動を把握するための4つの理論について考えよう	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第6回	消費者行動論の基礎理論②BMEモデル、刺激反応モデル、S-O-R理論について考えよう	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第7回	消費者行動論の基礎理論③脳科学的分析方法など最新の消費者行動理論を考える	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第8回	ライフコース、ライフスタイル、ライフサイクルの3類型について考える	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第9回	国際的消費者行動論①「国際的消費者行動と文化について」	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第10回	国際的消費者行動論②「現地適応化か、国際標準化か」	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第11回	東アジアの文化と消費者行動論①「日本・韓国・中国の基礎文化比較と消費者行動」	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第12回	消費者行動とブランド形成について①「ブランドとはなにか」	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第13回	消費者行動とブランド形成について②「ブランド形成に必要なものはなにか」	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第14回	消費者行動とインターネットにおける相互性について「ネット上の消費者行動」	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第15回	消費者行動とライフ設計、そして「これからの消費者行動分析について」	
	事前学習（内容・時間）	classroomで事前に資料を配布するそれを読んでおくこと（2h）
	事後学習（内容・時間）	classroomで、google formの課題をアップロードするのでそれに記入すること(2h)
第16回（定期試験）	基本的に対面ペーパーテストを行う。試験前にルーブリックならびにポートフォリオの提出もしてもらい。その進捗状況も試験の一部とみなす。	

ナンバリング（Numbering）	
1EMN-5070-22E	1ENN-5070-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
デジタルビジネス論	223～	2年生・後期	2単位	選択	秋吉 浩志
Webサービス論	219～222	2年生・後期			

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①マーケティング論・消費者行動論、経営戦略論、経営情報論Ⅰ・Ⅱを履修している学生に薦める。 ②デジタル社会における総合的なネットビジネスを通じた問題点を探るため、ネットビジネスに興味のある学生を求めます。

授業概要　Course Outline

本学の建学の精神を基盤としたカリキュラムポリシーに基づいた授業を展開する。前半はデジタル社会におけるWebサービス・広告＆マーケティングの基礎を展開し、中盤は広告計画、実践、後半はWebサービスの変化をより具体的に説明を行う。さらにはWebサービスを通じた社会的な問題もとりあげる。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当する	デジタルビジネスに関わっている、例えば企画、イベント業務、法律、教育分野など多岐にわたる実務経験を中心に講師が講義を行う。	外部講師のときは、ディベート、グループワーク、グループ発表、個人発表発表などを中心に進行していく。特に実務的なグループワークが重要である。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

現代のあらゆるデジタルビジネス（Webサービス）の基礎を展開してゆく。よって、広告、放送関係業界、通販業界、企業の企画、マーケティング担当者を目指す学生に対して、知識・教養・実践力・想像力などを身につけることを目標としている。デジタルビジネスは原題のあらゆるデジタルビジネスに関する基礎理論を外部講師の講義を中心に紹介していく。経営情報について、また、デジタルビジネス関連に興味のあるものは、選択をすすめる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①基本的にプレゼン方式で行い、学生と積極的にコミュニケーションをとりながら講義を展開する。
②動画、テキスト以外の教材などのように実際見たり、感じたりする教材も準備し、より体感できるような講義も行う。
③ミニテスト、アンケート、学生からの意見なども教材として取り上げ、講義を展開していく。
④グループワークなども実践し、考える、議論する、主張することなどができるような雰囲気づくりを行い、受講学生の積極性なども導き出す。
など

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

基本的に研究室にて月曜日、水曜日オフィスアワーを設定している。
研究室訪問の際、メール；akiyoshi@g.kiis.ac.jp.にメール連絡をしておくことを薦める。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、指定日までに設定したクラスルームの課題欄に提出してください。
また、遠隔授業の際は主にZoomと動画にて、授業を行い、課題等はGoogleクラスルームを活用する。
資料に関してはGoogleクラスルームを活用して配布する場合もあるので教員の案内に注意を払うこと。
2021以前の学生でWebサービス論の単位を取っている学生は履修できない。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
テキストは使用せず、毎回教員が作成した資料を事前にclassroomにて配布する			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
はじめてでもよくわかる！ デジタルマーケティング集中講義 わかりやすい広告論 これからの広告の教科書	カティサーク 押切 孝雄 石崎徹 佐藤達郎	マイナビ出版 八千代出版 かんき出版	978-4839961619 978-4842915647 978-4761270957

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

期末試験もしくは期末レポート（30%）、講義内での課題や発表・発言・議論、グループワーク。（約40%）出席・遅刻に関しては厳しく管理し、成績に反映する。（20%）、授業態度、ミニテストなど（10%）を基準とする。またポートフォリオの内容作成を毎時間行ってもらう。
資料に関してはGoogleクラスルームを活用して配布する。教員の案内に注意を払うこと。
また、ゲスト講師の回に理由があって休んだ学生には、その授業の録画動画を見てもらい、欠席者向け課題とレポートを提出していただく。また、指示がない限り、スマートフォン、パソコンの使用を禁止する。
※この科目はアクティブラーニングを積極的に行うため、履修人数を30人までを上限とする。学内掲示板などに予約のためのGoogle form QRコードを掲示するので、それに従って予約をするように。30人を超えた場合はキャンセル順に履修できる連絡をするのでメールをなどを見逃がさないようにすること。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンスおよびデジタルビジネス社会における「Webサービス」について	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。課題もある場合がある。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第2回	デジタルビジネスとは①そもそもデジタルビジネスとは何か	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第3回	デジタルビジネスとは②広告としてのWebのありかた	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第4回	メディアを考える①四大メディアからデジタル化が進むWeb関連のメディアへ	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第5回	メディアを考える②新たなメディアの台頭について（ゲスト講師の予定）	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第6回	SNSの普及とデジタルメディア（ゲスト講師の予定）	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第7回	デジタルビジネスとデジタル音楽と映像について（ゲスト講師の予定）	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第8回	映像や音声のデジタル化とAI生成について（ゲスト講師の予定）	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第9回	デジタルビジネスと体験接点型メディア	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第10回	企業組織やキャリア教育におけるデジタル化の進展について（ゲスト講師）	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第11回	グローバル化するデジタルビジネス（Webサービス）とメディア	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第12回	デジタルマーケティングの世界：デジタルマーケティングの範囲について	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第13回	ゲーム業界の世界（デジタル化の進展によるゲームの変化）について（外部講師の予定）	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第14回	AR（拡張現実）、VR（仮想現実）、MR（複合現実）について（ゲスト講師の予定）	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第15回	デジタル社会におけるビジネス展開上の消費者参加＆発信型メディアの台頭とまとめ	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第16回（定期試験）	基本的に対面ペーパーテストを行う。試験前にルーブリックならびにポートフォリオの提出もしてもらい。その進捗状況も試験の一部とみなす。	

ナンバリング（Numbering）	
1EMN-5010-22E	1ENN-5010-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
SNS活用と問題解決	219～	2年生・前期	2単位	選択	秋吉　浩志

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	太宰府地区ならびにその周辺地区の方々と積極的に交流するので、書く（メモをとる）、聴く、話す、考える力を要求する。また、基本的なSNSを利用していることが条件である。 また、マーケティング、消費者行動の基礎知識が必要になるため、この科目をすでに履修している学生にすすめる。

授業概要　Course Outline

SNSと問題解決（コミュニケーションデザイン）は主にSNSなどを利用した人間の生活・活動に密着した科目であり、生活と不即不離の関係にある。今日の情報化社会において、地域の問題解決を生産される製品や地域の情報を発信、ブランド化に繋げるなど、地域や消費者に好ましい印象を持たせるための問題解決をさぐる。よって講義とにフィールドワークによって生活者・社会人として必要なコミュニケーション能力を高める。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

本学のアドミッションポリシーやカリキュラムポリシーにもある高度な情報に関する知識と経営の知識を融合を目指した科目のひとつである。さらに講義とフィールドワークなどを通して、社会と密接に関りながら、発想力を強化し、企画・立案等のコンセプトワークの作成やプレゼンテーション能力の向上ならびに個人個人の社会人としてのコミュニケーション能力（デザインとスキル）習得することができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①講義内では毎回ディスカッション（討論）を行なってもらう
②個人またはチームごとにプレゼンテーションを行う（3回開催予定）
③地域のフィールドワークに参加し、コミュニケーションを行い、問題解決の策定を行う（1回開催予定）
④講義は学生同士の討論とディベートを中心とするため、教員はテーマの提供とアドバイスしか行わない
⑤学外の住民との協議の様子は録画するため、この回を欠席した学生は動画を見てもらい課題にも取り組むこと

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

この科目は少人数でしか運営できない科目のため、予約限定先着20名履修可能とする。（1回目の講義で履修をやめた人数分繰りあげで受講可能：最大人数を20名とする）
予約日を掲示板等で発表するので、掲示板を注意深く見ておくこと。
予約はGoogle Formにて行う（先着順）ので、履修Web登録ができたとしても、それは無効とする。

事前に内容について聴きたい学生は、予約して研究室に来ること。
質問メールアドレス（共有）：akiyoshi@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。
過去旧カリキュラム「SNS応用演習」の科目を履修し、単位を取れた学生はこの科目は履修できない。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
テキストは使用せず、毎回教員が作成した資料を事前にclassroomにて配布する。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
問題解決の進め方〔新訂〕	秋光 淳生他	放送大学教育振興会	978-4595319556

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

プレゼンテーション・フィールドワークの内容、課題レポート・課題作品等(40%)
評価の観点：出席、発表、提出物の内容、創意工夫の成果、自宅学習の程度等。（40%）
期末試験（20%）
チームによる3回のフィールドワーク参加とプレゼンテーションの発表に参加できない学生は評価の対象外となるので、同じチームの成員に迷惑をかけないように臨んでもらいたい。（無断欠席、遅刻はいかなる理由があろうとも一切認めない）。指示があるとき以外はスマートフォンなどの電子機器などの使用を禁止する。守れない場合は失格処分とする。
あた、フィールドワークを行うが、基本的に土日を活用する（2回程度）

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	準備学習　オリエンテーション（履修の前提条件）自己紹介＆ワークチーム決定	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。課題もある場合がある（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと（2h）
第2回	大宰府市個人商店や住民（内山地区）、観光インフルエンサーと地域の問題点についての協議	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第3回	太宰府のコンテンツ、問題点の発見と問題解決方法のチーム発表（パワーポイント）1回目	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第4回	太宰府のコンテンツ、問題点の発見と問題解決方法のチーム発表（パワーポイント）2回目	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第5回	情報発信のありかたと情報発信におけるSNSの利用による問題解決討論	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第6回	SNS使用で魅力あるコンテンツとWeb文章とはなにか	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第7回	太宰府情報発信サイトを利用した実践的な情報発信を考える（内山地区からの問題発見）	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第8回	太宰府情報発信サイトを利用した実践的な情報発信を考える（内山地区の魅力発信）	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第9回	情報とコミュニケーションデザインの役割について	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第10回	言語、視覚によるコミュニケーション法、色彩の特質と効果およびサインとシンボルについて	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第11回	内山地区ならびにコンサルタントを含めたプレゼンテーション発表	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第12回	図と言語、また写真や動画を使ったコンテンツ企画＆作成計画について	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第13回	多面的なコミュニケーションによる地域の問題発見と問題解決	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第14回	地域問題において発見した問題をどのように解決するか、問題解決に向けての企画立案と提案	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第15回	地域創造と地域発展の課題と問題点（まとめ）	
	事前学習（内容・時間）	テキストもしくは資料の指定したページを読んでくること。（2h）
	事後学習（内容・時間）	提供する課題をミニッツペーパーに書き込んで提出のこと。（2h）
第16回（定期試験）	基本的に対面ペーパーテストを行う。試験前にルーブリックならびにポートフォリオの提出もしてもらい。その進捗状況も試験の一部とみなす。	

ナンバリング（Numbering）
1EGN-5030-22ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ（教職関連科目 選 高等学校　情報）	224～	2年生・前期	2単位	選択	クリス　フリン
	221～223 経営情報学科				
TOEICⅠ（教職関連科目 選 高等学校　情報）	219・220 経営情報学科				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①積極的に声を出して授業に参加すること ②資格試験を積極的に受験すること ③英検3級程度の英語能力は基準

授業概要　Course Outline

テキストに沿って海外旅行で使うTOEIC問題を学びながら、日本人が苦手とする発音や文法を徹底的に学ばせる。テキストに加えて動画、オーディオ、歌、ゲームなどを使い、楽しく英語を身につけるように工夫したい。定期的にトピックについて賛成反対の主張を述べさせる。TOEICの学習としてテキストを宿題とし、講義で復習。英検の問題も入れて学習する。建学の精神、3つのポリシー（CP, DP)、学習目標（学則1, 3条）に基づいています。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

２１世紀のボーダーレス時代に対応できる人々を生み出すことを目指して、英語の読み書きだけではなく、話し言葉によるコミュニケーションのツールとして英語を習得させるように指導する。多くの単語を知るよりも、数少ない単語をいかに効率よく使うかで会話を豊かにできることを体得させる。そしてそのスキルを生かして、自分の意見や主張を議論（DEBATE）できるようになることとTOEIC 800, 英検の2・準1級の2次試験を合格できるレベルを目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

会話の授業ということで積極的に発言をしてもらいます。ENGLISH PORTFOLIOの作成、提出あり。
クラスの前に立って声を出して発言をします。
Active Learning Activities に参加します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（362）にて随時受け付けます。
オフィスアワー：火曜日2時限目と5時限目
flynn-c@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：英検検定試2～3級を受験すること。試験結果を成績評価の対象とします。試験日　1月、会場　CDCセンター、詳細は後日連絡します。　TOEICは学外で受験。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、1月30日までに　フリン　までメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC TEST 2 (4th Edition)	Atsushi　Mizumoto Mark D. Stafford	桐原書店	978-4-34255263-2

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
その他の教材や宿題はLANに掲載 ¥¥svr260007¥share¥flynnc¥index.htm			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法：定期試験30%、外部試験10%、平常点（レポート・提出物など）60%
・成績評価の基準：①外部試験は学内・学外の英検。②定期試験はTOEICの模擬試験となる

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Daily Life　品詞の違い、広告を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書を事前に読んで、TOEICについてネットで調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第2回	Places　カード、通知を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第3回	People　代名詞、図表とメモを読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第4回	Travel　資料と手紙を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第5回	Business　動詞の形、通知・メモを読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第6回	Office　手紙を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第7回	Technology　語い関係、メモと概要を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第8回	Personnel　記事を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第9回	Management　接続詞、通知を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第10回	Purchasing　レシートを読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第11回	Finances　時制、レシピを読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第12回	Media　記事を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第13回	Entertainment　Eメールを読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第14回	Health　FAXを読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第15回	TEST　定期試験 準備	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	テスト範囲を記録し、学習する。(2hr＋)
第16回（定期試験）	定期試験はTOEIC　TEST　の形式の縮小版です。LISTENING COMPREHENSION (Part 1, Part 2, Part 3) and READING　COMPREHENSION Part 4, Part 5, Part 6, Part 7). Test will be 60 Minutes	

ナンバリング（Numbering）
1EGN-5040-22ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ（教職関連科目 選 高等学校　情報）	224～	2年生・後期	2単位	選択	クリス　フリン
	221～223 経営情報学科				
TOEICⅡ（教職関連科目 選 高等学校　情報）	219・220 経営情報学科				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①積極的に声を出して授業に参加すること ②資格試験を積極的に受験すること ③英検準2級程度の英語能力は基準

授業概要　Course Outline

前期に続いて、テキストに沿って海外旅行で使うTOEIC問題を学びながら、日本人が苦手とする発音や文法を徹底的に学ばせる。テキストに加えて動画、オーディオ、歌、ゲームなどを使い、楽しく英語を身につけるように工夫したい。定期的にトピックについて賛成反対の主張を述べさせる。TOEICの学習としてテキストを宿題とし、講義で復習。英検の問題も学習する。建学の精神、3つのポリシー（CP, DP)、学習目標（学則1, 3条）に基づいています。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

２１世紀のボーダーレス時代に対応できる人々を生み出すことを目指して、英語の読み書きだけではなく、話し言葉によるコミュニケーションのツールとして英語を習得させるように指導する。多くの単語を知るよりも、数少ない単語をいかに効率よく使うかで会話を豊かにできることを体得させる。そしてそのスキルを生かして、自分の意見や主張を議論（DEBATE）できるようになることとTOEIC 800, 英検の2・準1級の2次試験を合格できるレベルを目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

会話の授業ということで積極的に発言をしてもらいます。 ENGLISH PORTFOLIOの作成、提出あり。
クラスの前に立って声を出して発言をします。
Active Learning Activities に参加します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（362）にて随時受け付けます。
オフィスアワー：火曜日2時限目と5時限目
flynn-c@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：英検検定試2～3級を受験すること。試験結果を成績評価の対象とします。
試験日　1月、会場　CDCセンター、詳細は後日連絡します。 TOEICは学外で受験
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、1月30日までに　フリンまでメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC TEST 3 4th Edition	Atsushi　Mizumoto Mark D. Stafford	桐原書店	978-4-342-55264-9

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
その他の教材や宿題はLANに掲載 ¥¥svr260007¥share¥flynnc¥index.htm			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法：定期試験30%、外部試験10%、平常点（レポート・提出物など）60%
・成績評価の基準：①外部試験は学内・学外の英検。②定期試験はTOEICの模擬試験となる

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Daily Life　品詞の違い、広告を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書を事前に読んで、TOEICについてネットで調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第2回	Places　カード、通知を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第3回	People　代名詞、図表とメモを読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第4回	Travel　資料と手紙を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第5回	Business　動詞の形、通知・メモを読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第6回	Office　手紙を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第7回	Technology　語い関係、メモと概要を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第8回	Personnel　記事を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第9回	Management　接続詞、通知を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第10回	Purchasing　レシートを読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第11回	Finances　時制、レシピを読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第12回	Media　記事を読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第13回	Entertainment　Eメールを読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第14回	Health　FAXを読む	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	授業に出てきた新しい単語や表現をノートに記録し、学習する。(2hr)
第15回	定期試験の準備	
	事前学習（内容・時間）	教科書の指定する部分について、事前に読んで、わからない単語の意味や発音を調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	テスト範囲を記録し、学習する。(2hr＋)
第16回（定期試験）	定期試験はTOEIC　TEST　の形式の縮小版です。LISTENING COMPREHENSION (Part 1, Part 2, Part 3) and READING　COMPREHENSION Part 4, Part 5, Part 6, Part 7). Test will be 60 Minutes	

ナンバリング(Numbering)
1EGN-6280-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ビジネス英語	224～	3・4年生・前期	2単位	選択	藤内　響子
ビジネス英語Ⅰ	221～223 経営情報学科	3・4年生・前期			
	219・220 経営情報学科	2年生・前期			

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	英語の基礎力を持っていること。熱意を持って学習や発表に取り組めること。

授業概要　Course Outline

商品価格や為替相場決定のメカニズムから説き起こして、関税、経済ブロック、対外債務、南北格差問題、さらには経済成長が地球環境に及ぼす影響まで。身の回りで起こっている様々な経済事象の中から、最も大きな変化をとげつつあるテーマを題材に選び、今日の世界経済を語るうえで欠かせないテーマを英語で学ぶものである。なお、この授業は、本学のディプロマポリシーに基づき行われます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

基本的な経済事項を英語で理解できる様になること。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業の内容を敷衍する形で現実に社会の中で起きている経済事象を確認し、問題点等をまとめて、授業で発表してください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

随時研究室（272）にて受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験として英検やTOEICの受験を推奨します。受験者には成績評価時に加点します。
ポートフォリオシートは、Google Classroom を用いてやり取りを行います。必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
毎回プリントを用意して配布します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
総合英語　Evergreen	塙 タカユキ	いいずな書店	978-4-86460-721-6C7082

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

受講態度1割、授業中の発表および宿題2割、小テスト2割、期末テスト5割で評価します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Introduction	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第2回	Multimedia Revolution	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第3回	Multimedia Revolution	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第4回	New Information Networks	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第5回	New Information Networks	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第6回	The Changing Role of Japanese Trading Companies	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第7回	Price Destruction	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第8回	Untangling Japan's Distribution System	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第9回	Credit Cards and Smart Cards -A New Era-	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第10回	Credit Cards and Smart Cards -A New Era-	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第11回	The Importance of the Bank of Japan to the Japanese Economy	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第12回	How the Foreign Exchange Market Works	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第13回	APEC Takes Off	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第14回	The Role of the World Trade Organization	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第15回	The Role of the World Trade Organization	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング(Numbering)
1SIN-6180-YYE

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
特別実習・講義(情報) 医療情報	223～	2年生・後期	2単位	選択	丹羽　崇之　　鈴木　和也 中島　直樹
特別講義(情報) 医療情報	～222				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	日頃から図書、新聞、雑誌を読み、医療に関する知識を吸収するように努めること。

授業概要　Course Outline

医事情報とは、医療に関する情報のことである。医療機関においては、患者の氏名、生年月日、住所といった基本的な情報にはじまり、さまざまな診療情報を取り扱っている。電子カルテの導入など、高度に情報化が進む一方で、ランサムウェアによるサイバー攻撃を受け、病院機能が停止する事態も報告されている。本講では、医療制度、病院業務、診療記録、医療情報システムなど、医療情報について学ぶ。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

建学の精神を生かして、医療情報の素養をそなえ、人々の生命・健康を保持し、社会に貢献できる医療情報技師、診療情報管理士、医療経営職等として、医療施設あるいは医療関連業界で求められる素養を身につける。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

医療に特有の問題事例を提示し、学生諸君に解決策を考えてもらう。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問・意見等、授業中の積極的な発言を歓迎する。また、授業の前後やオフィスアワーの時間も活用してもらいたい。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

欠席した場合には、その回の授業内容を学習したレポートを提出してもらう。(提出しない場合は、定期試験の受験を認めない。)
学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
医療情報の基礎知識〔改訂第2版〕	日本医療情報学会	南江堂	978-4524249930

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
医療情報　医学・医療編〔第7版〕	日本医療情報学会	篠原出版新社	978-4867058138
医療情報　医療情報システム編〔第7版〕	日本医療情報学会	篠原出版新社	978-4867058152
医療情報 情報処理技術編〔第7版〕	日本医療情報学会	篠原出版新社	978-4867058145

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

平常点(ミニテスト、レポート)30%、定期試験70%により総合評価する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス　社会における医療の役割	
	事前学習（内容・時間）	医療の役割について考えておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	医療の役割について復習する（2時間）
第2回	医療関連法規・保健医療福祉制度	
	事前学習（内容・時間）	教科書第１章第1節・第2節を読み、医療制度について調べておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第１章第1節・第2節を読み返し、医療制度について復習する（2時間）
第3回	保健医療福祉専門職	
	事前学習（内容・時間）	教科書第１章第3節を読み、医療関連専門職について調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第１章第3節を読み返し、医療関連専門職について復習する（2時間）
第4回	予防医学、救急医療・災害時医療	
	事前学習（内容・時間）	教科書第1章第4節・第5節を読み、医療行為、医療関係者について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第1章第4節・第5節を読み返し、医療行為、医療関係者について復習する（2時間）
第5回	病院業務	
	事前学習（内容・時間）	教科書第２章第1節・第2節を読み、病院業務について調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第２章第1節・第2節を読み返し、、病院業務について復習する（2時間）
第6回	病院の運営管理	
	事前学習（内容・時間）	教科書第２章第3節・第4節を読み、病院の運営管理について知る（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第２章第3節・第4節を読み返し、病院の運営管理について復習する（2時間）
第7回	診療記録、医療情報の特性	
	事前学習（内容・時間）	教科書第3章第1節・第2節を読み、診療記録、医療情報について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第3章第1節・第2節を読み返し、診療記録、医療情報について復習する（2時間）
第8回	医の倫理	
	事前学習（内容・時間）	教科書第3章第3節を読み、医の倫理について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第3章第3節を読み返し、医の倫理について復習する（2時間）
第9回	医療の情報倫理	
	事前学習（内容・時間）	教科書第3章第4節を読み、医療の情報倫理について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第3章第4節を読み返し、医療の情報倫理について復習する（2時間）
第10回	病院情報システム	
	事前学習（内容・時間）	教科書第6章第1節を読み、病院情報システムについて調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第6章第1節を読み返し、病院情報システムについて復習する（2時間）
第11回	医療情報システム	
	事前学習（内容・時間）	教科書第6章第2節を読み、医療情報システムについて調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第6章第2節を読み返し、医療情報システムについて復習する（2時間）
第12回	医療情報システムの管理	
	事前学習（内容・時間）	教科書第6章第3節を読み、医療情報システムの管理について調べる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第6章第3節を読み返し、医療情報システムの管理について調べる（2時間）
第13回	医療情報の標準化	
	事前学習（内容・時間）	教科書第7章第1節を読み、医療情報の標準化について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第7章第1節を読み返し、医療情報の標準化について復習する（2時間）
第14回	医療情報の分析と評価	
	事前学習（内容・時間）	教科書第7章第2節を読み、分析と評価について考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書第7章第2節を読み返し、分析と評価について復習する（2時間）
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	教科書の基礎知識問題を解いてみる（2時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書の基礎知識問題で、正解できなかった問題を復習する（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1SAN-6130-YYE

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
特別実習・講義（会計） ﾌｧｲﾅﾝｼｬﾙ・ﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ	223～	1年生・前期	2単位	選択	平川　淳一
特別講義（会計） ﾌｧｲﾅﾝｼｬﾙ・ﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ	～222				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし

履修の前提条件 Course Prerequisites	・国家検定「3級ファイナンシャル・プランニング技能士」試験の合格を目標にする人。 ・受講マナーを守れる人。 ・電卓が必要です。

授業概要　Course Outline

私たちのライフプランに関わってくる年金や保険、貯蓄やローン、税制や不動産、贈与や相続といった内容について包括的に学びます。暮らしとお金の相談員が、ファイナンシャルプランナーです。
銀行や証券会社、不動産会社だけではなく、一般企業の事務職においても必要とされる知識を習得することができます。
国が認定する検定資格「FP技能士3級実技試験」の内容を学習範囲とします。
FP3級試験の過去問題を教材とし、検定試験の合格レベルにまで到達することが、この講義の目指すところです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・この科目は、カリキュラムポリシー「Ⅲ 社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」に基づいて、年金や保険、税金、法律などの社会制度について、複眼的な知識の習得を目標とします。
・国家検定「3級ファイナンシャル・プランニング技能士」の実技試験合格を目標とします。
・自身のライフプランを実現するために、ファイナンシャル・プランニングが行えるようになることを目指します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・Checkテストは、授業でInputした内容を、Outputする機会であり、復習と理解度確認のために実施します。
・配付したプリントは、必ずファイリングして管理してください。
・目的を持ち、自らの意思において学び取る姿勢が必要です。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

2号館1階の講師控室にお越しください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験 ：FP技能検定 3級 （試験実施機関：一般社団法人 金融財政事情研究会）
試験日　 ：毎月実施、CBT（Computer-Based Testing）方式による試験
試験会場 ：主要都市で開催
受検料　 ：学科試 4,000円、験実技試験 4,000円
URL：　http:://www.kinzai.or.jp/
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
スッキリわかる FP技能士3級 2023-2024年	白鳥 光良	TAC出版	978-4300105245

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
スッキリとける 過去+予想問題 FP技能士3級 2023-2024年	TAC FP講座	TAC出版	978-4300105276

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価方法：平常点 20%、課題 20%、定期試験 60%
※平常点は、学習意欲、受講マナー等を見て総合的に評価します。
注）受講ルールを守れない人は、「減点」、「欠席」、「受講停止」にする場合があります。

・成績評価の基準： 3級FP技能検定実技試験の受験レベルに達しているか。
ライフプランニングと資金計画：年金や健康保険、住宅ローンなどについて理解しているか。
リスク管理：生命保険、損害保険などの各種保険商品について理解しているか。
金融資産運用：株式や債券、投資信託などについて理解しているか。
タックスプランニング：所得税や法人税などの税金と控除について理解しているか。
不動産：不動産の売買や法令などについて理解しているか。
相続・事業承継：相続や贈与、事業の継承について理解しているか。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション：授業の概要、FP技能士試験についての説明、FP試験問題の体験	
	事前学習（内容・時間）	FPとは何か、その役割と実技試験の内容を調べて、ノートにまとめておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	理解不十分な社会制度や用語について調べて、ノートに記録しておくこと。（2.0h）
第2回	ライフプランニングと資金計画 ① FPの倫理と関連法規、健康保険 （テキスト P. 5 ～ 30）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト範囲の精読と、公的機関のHPから各制度を調べて記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストの問題演習を問いて、誤答箇所を調べてからノートにまとめておくこと。（2.0h）
第3回	ライフプランニングと資金計画 ② 社会保険のしくみ （テキスト P. 32 ～ 45） リスク管理 ① 生命保険 （テキスト P. 50 ～ 67）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト範囲の精読と、公的機関のHPから各制度を調べて記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストの問題演習を問いて、誤答箇所を調べてからノートにまとめておくこと。（2.0h）
第4回	リスク管理 ② 生命保険商品、第三分野の保険、損害保険 （テキスト P. 88 ～ 105） 金融資産運用 ① 金融資産を取り巻く環境、様々な金融商品1 （テキスト P. 90 ～ 107）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト範囲の精読と、公的機関のHPから各制度を調べて記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストの問題演習を問いて、誤答箇所を調べてからノートにまとめておくこと。（2.0h）
第5回	金融資産運用 ② 様々な金融商品2、金融商品の税金 （テキスト P. 112 ～ 128） タックスプランニング ① 所得税のしくみ （テキスト P. 132 ～ 155）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト範囲の精読と、公的機関のHPから各制度を調べて記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストの問題演習を問いて、誤答箇所を調べてからノートにまとめておくこと。（2.0h）
第6回	タックスプランニング ② 所得控除、税額控除 （テキスト P. 157 ～ 176） 不動産 ① 不動産の調査と取引 （テキスト P. 180 ～ 189）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト範囲の精読と、公的機関のHPから各制度を調べて記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストの問題演習を問いて、誤答箇所を調べてからノートにまとめておくこと。（2.0h）
第7回	不動産 ② 不動産に関する法律 （テキスト P. 195 ～ 216） 相続・事業継承 ① 贈与の基本、相続の基本 （テキスト P. 220 ～ 233）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト範囲の精読と、公的機関のHPから各制度を調べて記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストの問題演習を問いて、誤答箇所を調べてからノートにまとめておくこと。（2.0h）
第8回	相続・事業継承 ② 相続のしくみ、相続財産の評価 （テキスト P. 238 ～ 261）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト範囲の精読と、公的機関のHPから各制度を調べて記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストの問題演習を問いて、誤答箇所を調べてからノートにまとめておくこと。（2.0h）
第9回	中間テスト （第1回～8回までに学んだ内容から出題します。）	
	事前学習（内容・時間）	第1回～8回までの内容を復習し、中間テスト対策を立てておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	中間テストの内容を振り返り、苦手分野の知識を補強しておくこと。（2.0h）
第10回	［ 実技 ］ライフプランニングと資金計画 ： 公的年金に関する計算 （テキスト P. 296 ～ 304）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト範囲を精読し、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストの問題演習を問いて、誤答箇所を調べてからノートにまとめておくこと。（2.0h）
第11回	［ 実技 ］金融資産運用 ： 株式投資指標と債券利回りに関する計算 （テキスト P. 305 ～ 310）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト範囲を精読し、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストの問題演習を問いて、誤答箇所を調べてからノートにまとめておくこと。（2.0h）
第12回	［ 実技 ］タックスプランニング ： 所得控除額、給与所得金額の計算 （テキスト P. 311 ～ 320）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト範囲を精読し、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストの問題演習を問いて、誤答箇所を調べてからノートにまとめておくこと。（2.0h）
第13回	［ 実技 ］不動産 ： 建蔽率・容積率の計算 （テキスト P. 324 ～ 330）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト範囲を精読し、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストの問題演習を問いて、誤答箇所を調べてからノートにまとめておくこと。（2.0h）
第14回	［ 実技 ］相続・事業承継 ： 相続税に関する計算 （テキスト P. 331 ～ 335）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト範囲を精読し、わからない用語を調べてノートに記録しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	テキストの問題演習を問いて、誤答箇所を調べてからノートにまとめておくこと。（2.0h）
第15回	総復習 実技試験 ： 個人資産相談業務	
	事前学習（内容・時間）	第1回～14回までの授業内容と、これまで記録したノートを見直しておくこと。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	総復習をもとに、定期試験の対策を立てておくこと。（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験 ※FP本試験に準じた内容で実施します。	

ナンバリング（Numbering）
1SePN-6720-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
プレゼミⅠ	共通	1年生・前期	2単位	選択	担当教員 「ｾﾞﾐ・演習ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ」参照

オンライン授業 Online Class	担当教員に確認	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	担当教員に確認

履修の前提条件 Course Prerequisites	この科目では、担当教員の研究領域、学生の興味・関心などに応じて様々なクラスを開設します。学生の皆さんは、自分の学習目標や将来の社会進出などを考えてクラスを選んでください。自分のクラスを決めるにあたっては、担当教員による選考があります。履修を希望する学生は、配布資料「ゼミ・演習ガイダンス」をよく読み、担当教員または教務課に必ず相談してください。担当教員の許可があれば、経営情報学科の学生が情報ネットワーク学科の教員のクラスを受講すること、情報ネットワーク学科の学生が経営情報学科の教員のクラスを受講することが可能です。原則として2年次以降の履修は認めません。「プレゼミⅠ」だけ、あるいは「プレゼミⅡ」だけの履修は可能ですが、担当教員の方針に従ってください。

授業概要　Course Outline

本学の専門分野は経営情報学であり、経営学と情報学の融合を目指しています。この科目では、1年次の早いうちから少人数のクラスで、専門分野や将来の社会進出に必要とされる技能や知識について入門から基礎レベルを重点的に学習する、という趣旨のもとで様々なクラスを開設します。具体的な学習内容や授業の進行については、配布資料「ゼミ・演習ガイダンス」をご覧ください。なおこの科目では、建学の精神および特にディプロマポリシーⅢ・Ⅳ・Ⅴに基づいて授業を行います。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

授業を通して修得できる力　Competency Goals　※クラスによって重視する項目が異なることがありますので、担当教員に確認してください。

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

この科目の全般的な到達目的は、経営情報学の諸分野および将来の社会進出に必要とされる技能や知識の入門から基礎レベルを理解し修得できる、ということです。また、具体的な学習到達目標は、それぞれのクラスによって異なりますので、配布資料「ゼミ・演習ガイダンス」をご覧ください。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

教員と学生あるいは学生間で議論したり、レポートを発表したり、実習や製作などを行います。こうした授業を通じて物事について考え、理解を深めて、創り上げていくことを目指します。具体的な授業の形態は個々のクラスによって異なりますので、配布資料「ゼミ・演習ガイダンス」をご覧ください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員の研究室を確認してください。
授業についての問い合わせ等は、各教員のメールまたはGoogleクラスルームの所定のページを介して行ってください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

担当教員の指示に従ってください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
担当教員の指示に従ってください。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
担当教員の指示に従ってください。			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

担当教員によって評価方法、評価基準が異なります。配布資料「ゼミ・演習ガイダンス」で確認してください。

授業計画 Course Schedule		※毎回の授業のテーマや事前・事後学習の内容は、担当教員によって異なります。配布資料「ゼミ・演習ガイダンス」をご覧のうえ、担当教員に確認してください。
テーマ Theme		
第1回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第2回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第3回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第4回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第5回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第6回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第7回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第8回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第9回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第10回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第11回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第12回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第13回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第14回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第15回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験（担当教員によって試験の形態が異なりますので、必ず確認してください。） ポートフォリオとルーブリックの作成と提出 その他	

ナンバリング（Numbering）
1SePN-6730-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
プレゼミⅡ	共通	1年生・後期	2単位	選択	担当教員 「ｾﾞﾐ・演習ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ」参照

オンライン授業 Online Class	担当教員に確認	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	担当教員に確認

履修の前提条件 Course Prerequisites	この科目では、担当教員の研究領域、学生の興味・関心などに応じて様々なクラスを開設します。学生の皆さんは、自分の学習目標や将来の社会進出などを考えてクラスを選んでください。自分のクラスを決めるにあたっては、担当教員による選考があります。履修を希望する学生は、配布資料「ゼミ・演習ガイダンス」をよく読み、担当教員または教務課に必ず相談してください。担当教員の許可があれば、経営情報学科の学生が情報ネットワーク学科の教員のクラスを受講すること、情報ネットワーク学科の学生が経営情報学科の教員のクラスを受講することが可能です。原則として2年次以降の履修は認めません。「プレゼミⅠ」だけ、あるいは「プレゼミⅡ」だけの履修は可能ですが、担当教員の方針に従ってください。

授業概要　Course Outline

本学の専門分野は経営情報学であり、経営学と情報学の融合を目指しています。この科目では、1年次の早いうちから少人数のクラスで、専門分野や将来の社会進出に必要とされる技能や知識について入門から基礎レベルを重点的に学習する、という趣旨のもとで様々なクラスを開設します。具体的な学習内容や授業の進行については、配布資料「ゼミ・演習ガイダンス」をご覧ください。なおこの科目では、建学の精神および特にディプロマポリシーⅢ・Ⅳ・Ⅴに基づいて授業を行います。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

授業を通して修得できる力　Competency Goals　※クラスによって重視する項目が異なることがありますので、担当教員に確認してください。

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

この科目の全般的な到達目的は、経営情報学の諸分野および将来の社会進出に必要とされる技能や知識の入門から基礎レベルを理解し修得できる、ということです。また、具体的な学習到達目標は、それぞれのクラスによって異なりますので、配布資料「ゼミ・演習ガイダンス」をご覧ください。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

教員と学生あるいは学生間で議論したり、レポートを発表したり、実習や製作などを行います。こうした授業を通じて物事について考え、理解を深めて、創り上げていくことを目指します。具体的な授業の形態は個々のクラスによって異なりますので、配布資料「ゼミ・演習ガイダンス」をご覧ください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員の研究室を確認してください。
授業についての問い合わせ等は、各教員のメールまたはGoogleクラスルームの所定のページを介して行ってください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

担当教員の指示に従ってください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
担当教員の指示に従ってください。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
担当教員の指示に従ってください。			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

担当教員によって評価方法、評価基準が異なります。配布資料「ゼミ・演習ガイダンス」で確認してください。

授業計画 Course Schedule		※毎回の授業のテーマや事前・事後学習の内容は、担当教員によって異なります。配布資料「ゼミ・演習ガイダンス」をご覧のうえ、担当教員に確認してください。
テーマ Theme		
第1回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第2回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第3回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第4回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第5回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第6回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第7回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第8回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第9回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第10回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第11回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第12回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第13回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第14回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第15回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験（担当教員によって試験の形態が異なりますので、必ず確認してください。） ポートフォリオとルーブリックの作成と提出 その他	

ナンバリング(Numbering)
1SeBN-6741-24C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
経営学基礎演習 情報学基礎演習	共通	2年生・通年	4単位	必修	担当教員 「基礎ｾﾞﾐ・演習ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ」参照

オンライン授業 Online Class	担当教員に確認	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	担当教員に確認

履修の前提条件 Course Prerequisites	この科目では、担当教員の研究領域、学生の興味・関心などに応じて様々なクラスを開設します。学生の皆さんは、自分の学習目標や将来の社会進出などを考えてクラスを選んでください。その際は担当教員による選考があります。自分のクラスを決めるにあたっては、配布資料「基礎ゼミ・演習ガイドブック」をよく読み、担当教員または教務課に必ず相談してください。担当教員の許可があれば、経営情報学科の学生が情報ネットワーク学科の教員のクラスを受講すること、情報ネットワーク学科の学生が経営情報学科の教員のクラスを受講することが可能です。なお「基礎ゼミ」(2年次)、「専門ゼミⅠ・Ⅱ」(3・4年次)、「経営学・情報学専門演習Ⅰ・Ⅱ」(3・4年次)との同時履修は原則として認めません。

授業概要 Course Outline

本学の専門分野は経営情報学であり、経営学と情報学の融合を目指しています。この科目では、少人数のクラスで専門分野や将来の社会進出に必要とされる技能や知識を基礎レベルを重点的に学習する、という趣旨のもとで様々なクラスを開設します。具体的な学習内容や授業の進行については、配布資料「基礎ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。なおこの科目では、建学の精神および特にディプロマポリシーⅢ・Ⅳ・Ⅴに基づいて授業を行います。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

授業を通して修得できる力 Competency Goals ※クラスによって重視する項目が異なることがありますので、担当教員に確認してください。

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

この科目の全般的な到達目的は、①経営情報学の諸分野の基礎レベルに関する知識や技能を修得できる、②幅広い教養を修得できる、③さまざまな検定試験の合格を目指す、④イベントの企画や実施、学外活動を通して、社会で通用できる力を体得できる、⑤制作や開発を通して創造力を伸ばす、ということです。また、具体的な学習到達目標は、それぞれのクラスによって異なりますので、配布資料「基礎ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

教員と学生あるいは学生間で議論したり、レポートを発表したり、実習や製作などを行います。こうした授業を通じて物事について考え、理解を深めて、何かを創り上げていくことを目指します。具体的な授業の形態は個々のクラスによって異なりますので、配布資料「基礎ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員の研究室を確認してください。
授業についての問い合わせ等は、各教員のメールまたはGoogleクラスルームの所定のページを介して行ってください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

担当教員の指示に従ってください。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
担当教員の指示に従ってください。			

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
担当教員の指示に従ってください。			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

担当教員によって評価方法、評価基準が異なります。配布資料「基礎ゼミ・演習ガイドブック」で確認してください。

授業計画 Course Schedule		※毎回の授業のテーマや事前・事後学習の内容は、担当教員によって異なります。配布資料「基礎ゼミ・演習ガイドブック」をご覧のうえ、担当教員に確認してください。
テーマ Theme		
第1回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第2回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第3回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第4回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第5回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第6回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第7回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第8回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第9回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第10回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第11回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第12回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第13回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第14回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第15回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第16回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）

第17回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第18回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第19回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第20回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第21回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第22回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第23回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第24回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）

第25回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第26回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第27回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第28回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第29回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第30回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第31回（定期試験）	定期試験（担当教員によって試験の形態が異なりますので、必ず確認してください。） ポートフォリオとルーブリックの作成と提出 その他	

ナンバリング(Numbering)
1SeBN-6751-24C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
基礎ゼミ	共通	2年生・通年	4単位	必修	担当教員 「基礎ｾﾞﾐ・演習ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ」参照

オンライン授業 Online Class	担当教員に確認	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	担当教員に確認

履修の前提条件 Course Prerequisites	この科目では、担当教員の研究領域、学生の興味・関心などに応じて様々なクラスを開設します。学生の皆さんは、自分の学習目標や将来の社会進出などを考えてクラスを選んでください。その際は担当教員による選考があります。自分のクラスを決めるにあたっては、配布資料「基礎ゼミ・演習ガイドブック」をよく読み、担当教員または教務課に必ず相談してください。担当教員の許可があれば、経営情報学科の学生が情報ネットワーク学科の教員のクラスを受講すること、情報ネットワーク学科の学生が経営情報学科の教員のクラスを受講することが可能です。なお「基礎演習」(2年次)、「専門ゼミⅠ・Ⅱ」(3・4年次)、「経営学・情報学専門演習Ⅰ・Ⅱ」(3・4年次)との同時履修は原則として認めません。

授業概要 Course Outline

本学の専門分野は経営情報学であり、経営学と情報学の融合を目指しています。この科目では、少人数のクラスで専門分野や将来の社会進出に必要とされる技能や知識について基礎から応用レベルを重点的に学習する、という趣旨のもとで様々なクラスを開設します。具体的な学習内容や授業の進行については、配布資料「基礎ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。なおこの科目では、建学の精神および特にディプロマポリシーⅢ・Ⅳ・Ⅴに基づいて授業を行います。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

授業を通して修得できる力 Competency Goals ※クラスによって重視する項目が異なることがありますので、担当教員に確認してください。

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

この科目の全般的な到達目的は、①経営情報学の諸分野の基礎レベルを中心に、応用レベルについても一定の知識や技能を修得できる、②学術文献を読んで考える力、議論する力を修得できる、③経営・会計・情報の検定試験の上位級の合格を目指す、ということです。また、具体的な学習到達目標は、それぞれのクラスによって異なりますので、配布資料「基礎ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

教員と学生あるいは学生間で議論したり、レポートを発表したり、実習や製作などを行います。こうした授業を通じて物事について考え、理解を深めて、何かを創り上げていくことを目指します。具体的な授業の形態は個々のクラスによって異なりますので、配布資料「基礎ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員の研究室を確認してください。
授業についての問い合わせ等は、各教員のメールまたはGoogleクラスルームの所定のページを介して行ってください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

担当教員の指示に従ってください。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
担当教員の指示に従ってください。			

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
担当教員の指示に従ってください。			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

担当教員によって評価方法、評価基準が異なります。配布資料「基礎ゼミ・演習ガイドブック」で確認してください。

授業計画 Course Schedule		※毎回の授業のテーマや事前・事後学習の内容は、担当教員によって異なります。配布資料「基礎ゼミ・演習ガイドブック」をご覧のうえ、担当教員に確認してください。
テーマ Theme		
第1回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第2回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第3回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第4回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第5回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第6回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第7回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第8回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第9回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第10回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第11回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第12回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第13回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第14回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第15回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第16回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）

第17回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第18回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第19回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第20回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第21回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第22回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第23回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第24回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）

第25回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第26回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第27回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第28回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第29回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第30回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第31回（定期試験）	定期試験（担当教員によって試験の形態が異なりますので、必ず確認してください。） ポートフォリオとルーブリックの作成と提出 その他	

ナンバリング(Numbering)
1SeAN-6762-34C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
経営学専門演習Ⅰ 情報学専門演習Ⅰ	共通	3年生・通年	4単位	必修	担当教員 「専門ｾﾞﾐ・演習ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ」参照

オンライン授業 Online Class	担当教員に確認	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	担当教員に確認	

履修の前提条件 Course Prerequisites	この科目では、担当教員の研究領域、学生の興味・関心などに応じて様々なクラスを開設します。学生の皆さんは、自分の学習目標や将来の社会進出などを考えてクラスを選んでください。その際は担当教員による選考があります。自分のクラスを決めるにあたっては、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をよく読み、担当教員または教務課に必ず相談してください。担当教員の許可があれば、経営情報学科の学生が情報ネットワーク学科の教員のクラスを受講すること、情報ネットワーク学科の学生が経営情報学科の教員のクラスを受講することが可能です。教育・研究上の観点から、3年次のクラスと4年次のクラスは一つのものとして見なしますので、4年次へ進級する際は原則としてクラスの変更は認めません。なお「基礎ゼミ・演習」(2年次)、「専門ゼミⅠ・Ⅱ」(3・4年次)、「経営学・情報学専門演習Ⅱ」(4年次)との同時履修は原則として認めません。

授業概要　Course Outline

本学の専門分野は経営情報学であり、経営学と情報学の融合を目指しています。この科目では、少人数のクラスで専門分野や将来の社会進出に必要とされる技能や知識を基礎レベルを2年次よりもさらに重点的に詳しく学習する、という趣旨のもとで様々なクラスを開設します。具体的な学習内容や授業の進行については、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。なおこの科目では、建学の精神および特にディプロマポリシーⅢ・Ⅳ・Ⅴに基づいて授業を行います。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

授業を通して修得できる力　Competency Goals　※クラスによって重視する項目が異なることがありますので、担当教員に確認してください。

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

この科目の全般的な到達目的は、①経営情報学の諸分野の基礎レベルに関する知識や技能を詳しく修得できる、②幅広い教養を修得できる、③さまざまな検定試験の合格を目指す、④イベントの企画や実施、学外活動を通して、社会で通用できる力を体得できる、⑤制作や開発を通して創造力を伸ばす、⑥卒業論文(研究)の執筆・作成に向けた準備ができる、ということです。また、具体的な学習到達目標は、それぞれのクラスによって異なりますので、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

教員と学生あるいは学生間で議論したり、レポートを発表したり、実習や製作などを行います。こうした授業を通じて物事について考え、理解を深めて、何かを創り上げていくことを目指します。具体的な授業の形態は個々のクラスによって異なりますので、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員の研究室を確認してください。
授業についての問い合わせ等は、各教員のメールまたはGoogleクラスルームの所定のページを介して行ってください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

担当教員の指示に従ってください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
担当教員の指示に従ってください。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
担当教員の指示に従ってください。			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

担当教員によって評価方法、評価基準が異なります。配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」で確認してください。

授業計画 Course Schedule		※毎回の授業のテーマや事前・事後学習の内容は、担当教員によって異なります。配布資料「専門ｾﾐ・演習ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ」をご覧のうえ、担当教員に確認してください。
テーマ Theme		
第1回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第2回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第3回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第4回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第5回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第6回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第7回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第8回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第9回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第10回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第11回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第12回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第13回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第14回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第15回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第16回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）

第17回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第18回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第19回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第20回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第21回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第22回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第23回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第24回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）

第25回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第26回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第27回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第28回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第29回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第30回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第31回（定期試験）	定期試験（担当教員によって試験の形態が異なりますので、必ず確認してください。） ポートフォリオとルーブリックの作成と提出 その他	

ナンバリング（Numbering）
1SeAN-6772-34C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門ゼミⅠ	共通	3年生・通年	4単位	必修	担当教員 「専門ｾﾞﾐ・演習ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ」参照

オンライン授業 Online Class	担当教員に確認	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	担当教員に確認	

履修の前提条件 Course Prerequisites	この科目では、担当教員の研究領域、学生の興味・関心などに応じて様々なクラスを開設します。学生の皆さんは、自分の学習目標や将来の社会進出などを考えてクラスを選んでください。その際は担当教員による選考があります。自分のクラスを決めるにあたっては、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をよく読み、担当教員または教務課に必ず相談してください。担当教員の許可があれば、経営情報学科の学生が情報ネットワーク学科の教員のクラスを受講すること、情報ネットワーク学科の学生が経営情報学科の教員のクラスを受講することが可能です。教育・研究上の観点から、3年次のクラスと4年次のクラスは一つのものとして見なしますので、4年次へ進級する際は原則としてクラスの変更は認めません。なお「基礎ゼミ・演習」（2年次）、「経営学・情報学専門演習Ⅰ・Ⅱ」（3年次・4年次）、「専門ゼミⅡ」（4年次）との同時履修は原則として認めません。

授業概要　Course Outline

本学の専門分野は経営情報学であり、経営学と情報学の融合を目指しています。この科目では、少人数のクラスで専門分野や将来の社会進出に必要とされる技能や知識について応用レベルを重点的に詳しく学習する、という趣旨のもとで様々なクラスを開設します。具体的な学習内容や授業の進行については、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。なおこの科目では、建学の精神および特にディプロマポリシーⅢ・Ⅳ・Ⅴに基づいて授業を行います。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

授業を通して修得できる力　Competency Goals　※クラスによって重視する項目が異なることがありますので、担当教員に確認してください。

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

この科目の全般的な到達目的は、①経営情報学の諸分野の応用レベルについての知識や技能を修得できる、②学術文献を読んで考える力、議論する力を修得できる、③卒業論文（研究）の執筆・作成に向けた準備ができる、④経営・会計・情報の検定試験の上位級の合格を目指す、ということです。また、具体的な学習到達目標は、それぞれのクラスによって異なりますので、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

教員と学生あるいは学生間で議論したり、レポートを発表したり、実習や製作などを行います。こうした授業を通じて物事について考え、理解を深めて、何かを創り上げていくことを目指します。具体的な授業の形態は個々のクラスによって異なりますので、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員の研究室を確認してください。
授業についての問い合わせ等は、各教員のメールまたはGoogleクラスルームの所定のページを介して行ってください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

担当教員の指示に従ってください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
担当教員の指示に従ってください。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
担当教員の指示に従ってください。			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

担当教員によって評価方法、評価基準が異なります。配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」で確認してください。

授業計画 Course Schedule		※毎回の授業のテーマや事前・事後学習の内容は、担当教員によって異なります。配布資料「専門ｾﾐ・演習ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ」をご覧のうえ、担当教員に確認してください。
テーマ Theme		
第1回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第2回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第3回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第4回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第5回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第6回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第7回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第8回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第9回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第10回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第11回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第12回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第13回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第14回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第15回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第16回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）

第17回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第18回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第19回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第20回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第21回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第22回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第23回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第24回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）

第25回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第26回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第27回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第28回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第29回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第30回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第31回（定期試験）	定期試験（担当教員によって試験の形態が異なりますので、必ず確認してください。） ポートフォリオとルーブリックの作成と提出 その他	

ナンバリング（Numbering）
1SeEN-6783-44C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
経営学専門演習Ⅱ 情報学専門演習Ⅱ	共通	4年生・通年	4単位	必修	担当教員 「専門ｾﾞﾐ・演習ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ」参照

オンライン授業 Online Class	担当教員に確認	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	担当教員に確認	

履修の前提条件 Course Prerequisites	3年次に「経営学専門演習Ⅰ」または「情報学専門演習Ⅰ」を履修して合格した学生は、「経営学専門演習Ⅱ」または「情報学専門演習Ⅱ」を履修してください。教育・研究上の観点から、3年次のクラスと4年次のクラスは一つのものとして見なしますので、4年次へ進級する際は原則としてクラスの変更は認めません。なお「基礎ゼミ・演習」（2年次）、「経営学・情報学専門演習Ⅰ」（3年次）、「専門ゼミⅠ・Ⅱ」（3年次・4年次）、との同時履修は原則として認めません。

授業概要　Course Outline

この科目の主な学習内容は、それまでに学んで修得した知識や技能を結集して「卒業論文（研究）」を執筆・作成すること、またはそれと同等と認められるものを表すことです。授業では担当教員による指導のほかに、学生によるプレゼンテーション、質疑応答やアドバイスなどを経て、大学4年間における学習成果として相応しい「卒業論文（研究）」、またはそれと同等と見なすものを表すことができるようにしていきます。具体的な学習内容や授業の進行については、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。なおこの科目では、建学の精神および特にディプロマポリシーⅡ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴに基づいて授業を行います。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

授業を通して修得できる力　Competency Goals　※クラスによって重視する項目が異なることがありますので、担当教員に確認してください。

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

この科目の全般的な到達目的は、 ディプロマポリシー「Ⅱ　学習の成果を卒業研究（またはこれと同等認められるもの）によって示すことができること。」および経営情報学科の「学習成果（Student Learning Outcomes）」の「4. 統合的な学習経験と創造的思考力　・ゼミ・演習科目の学習をとおして、マネージメントとICTに関連する学習経験を集成させて独自の学習の方向性を設定し、卒業研究（またはこれと同等認められるもの）によって示すことができる。」、情報ネットワーク学科の「学習成果（Student Learning Outcomes）」の「4. 統合的な学習経験と創造的思考力　・ゼミ・演習科目の学習をとおして、ICTを中心とする学習経験を集成させて独自の学習の方向性を設定し、卒業研究（またはこれと同等認められるもの）によって示すことができる。」ということです。また、具体的な学習到達目標は、それぞれのクラスによって異なりますので、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学生が担当教員の指導を受けながら、主体的に卒業論文（研究）またはそれと同等と認められるものについてのテーマを設定し、執筆・作成していくことが重要です。また、クラスにおけるプレゼンテーションや質疑応答を通じて、より良い論文（研究）を作り上げていくことを目指します。具体的な授業の形態は個々のクラスによって異なりますので、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員の研究室を確認してください。
授業についての問い合わせ等は、各教員のメールまたはGoogleクラスルームの所定のページを介して行ってください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

担当教員の指示に従ってください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
担当教員の指示に従ってください。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
担当教員の指示に従ってください。			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

担当教員によって評価方法、評価基準が異なります。配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」で確認してください。

授業計画 Course Schedule		※毎回の授業のテーマや事前・事後学習の内容は、担当教員によって異なります。配布資料「専門ｾﾐ・演習ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ」をご覧のうえ、担当教員に確認してください。
テーマ Theme		
第1回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第2回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第3回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第4回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第5回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第6回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第7回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第8回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第9回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第10回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第11回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第12回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第13回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第14回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第15回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第16回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）

第17回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第18回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第19回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第20回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第21回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第22回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第23回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第24回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）

第25回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第26回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第27回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第28回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第29回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第30回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第31回（定期試験）	定期試験（卒業論文（研究）の提出・発表など。担当教員によって試験の形態が異なりますので、必ず確認してください。） ポートフォリオとルーブリックの作成と提出 その他	

ナンバリング(Numbering)
1SeEN-6793-44C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
専門ゼミⅡ	共通	4年生・通年	4単位	必修	担当教員 「専門ゼミ・演習ガイドブック」参照

オンライン授業 Online Class	担当教員に確認	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	担当教員に確認	

履修の前提条件 Course Prerequisites	3年次に「専門ゼミⅠ」を履修して合格した学生は、「専門ゼミⅡ」を履修してください。教育・研究上の観点から、3年次のクラスと4年次のクラスは一つのものとして見なしますので、4年次へ進級する際は原則としてクラスの変更は認めません。なお「基礎ゼミ・演習」(2年次)、「専門ゼミⅠ」(3年次)、「経営学・情報学専門演習Ⅰ・Ⅱ」(3年次・4年次)との同時履修は原則として認めません。

授業概要 Course Outline

この科目の主な学習内容は、それまでに学んで修得した知識や技能を結集して「卒業論文(研究)」を執筆・作成することです。授業では担当教員による指導のほかに、学生によるプレゼンテーション、質疑応答やアドバイスなどを経て、大学4年間における学習成果として相応しい「卒業論文(研究)」が完成できるようになることを目指します。具体的な学習内容や授業の進行については、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。なおこの科目では、建学の精神および特にディプロマポリシーⅡ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴに基づいて授業を行います。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience

授業を通して修得できる力 Competency Goals ※クラスによって重視する項目が異なることがありますので、担当教員に確認してください。

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

この科目の全般的な到達目的は、 ディプロマポリシー「Ⅱ 学習の成果を卒業研究(またはこれと同等認められるもの)によって示すことができること。」および経営情報学科の「学習成果(Student Learning Outcomes)」の「4. 統合的な学習経験と創造的思考力 ・ゼミ・演習科目の学習をとおして、マネージメントとICTに関連する学習経験を集成させて独自の学習の方向性を設定し、卒業研究(またはこれと同等認められるもの)によって示すことができる。」、情報ネットワーク学科の「学習成果(Student Learning Outcomes)」の「4. 統合的な学習経験と創造的思考力 ・ゼミ・演習科目の学習をとおして、ICTを中心とする学習経験を集成させて独自の学習の方向性を設定し、卒業研究(またはこれと同等認められるもの)によって示すことができる。」ということです。また、具体的な学習到達目標は、それぞれのクラスによって異なりますので、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学生が担当教員の指導を受けながら、主体的に卒業論文(研究)のテーマを設定し、執筆(作成)していくことが重要です。また、クラスにおけるプレゼンテーションや質疑応答を通じて、より完成度の高い論文(研究)を作り上げていくことを目指します。具体的な授業の形態は個々のクラスによって異なりますので、配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」をご覧ください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員の研究室を確認してください。
授業についての問い合わせ等は、各教員のメールまたはGoogleクラスルームの所定のページを介して行ってください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

担当教員の指示に従ってください。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
担当教員の指示に従ってください。			

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
担当教員の指示に従ってください。			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

担当教員によって評価方法、評価基準が異なります。配布資料「専門ゼミ・演習ガイドブック」で確認してください。

授業計画 Course Schedule		※毎回の授業のテーマや事前・事後学習の内容は、担当教員によって異なります。配布資料「専門ｾﾐ・演習ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ」をご覧のうえ、担当教員に確認してください。
テーマ Theme		
第1回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第2回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第3回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第4回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第5回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第6回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第7回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第8回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第9回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第10回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第11回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第12回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第13回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第14回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第15回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第16回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）

第17回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第18回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第19回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第20回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第21回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第22回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第23回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第24回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）

第25回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第26回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第27回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第28回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第29回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第30回	クラス別授業	
	事前学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	担当教員の指示に従ってください。（2時間）
第31回（定期試験）	定期試験（卒業論文（研究）の提出・発表など。担当教員によって試験の形態が異なりますので、必ず確認してください。） ポートフォリオとルーブリックの作成と提出 その他	

専門教育科目

（経営情報学科）

ナンバリング（Numbering）
1AMN-6440-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ベンチャービジネス入門	219～ 経営情報学科	1年生・後期	2単位	選択	遠藤　真紀

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	・大学を卒業して社会に出れば働く場として必ず「企業」と関わります。企業に雇われてサラリーマンになることを当然とせず，自ら事業を興すなど，ビジネスマンとして自分の仕事を創造していく気概が望まれます。 ・新聞，雑誌等を読む習慣を身に付けるなど，社会のあらゆる事象に興味を持ち，自身の人生を成り行きに任せるのではなく，自分の理想とする社会，仕事，やり甲斐とは何かを考え，前向きに生きようとする事が前提です。

授業概要　Course Outline

・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。
・過去の実務経験を基に，ベンチャービジネスに限らず社会やビジネスそのもの，および企業の目的・意義について議論を展開していきます。
・ビデオの資料等を活用し，身近な事例を題材に講義を進め，働く事の意義やベンチャー企業および社会そのものに関心を持ってもらい，IT人材（高度情報化人材）としての基本的な知識の修得や企業と自分との関係を知ろうとする積極性を養っていきます。卒業後，社会に出て「何をすべきか」、「自分ならどうするか」という自らの答えを導き出せる思考能力を培っていきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

・自分自身と社会や企業との関わりについて理解できるようになる。
・またIT人材（高度情報化人材）として広く社会や仕事の意義を理解し，自分の将来像について想い描けるようになるために「やり甲斐のある仕事や企業とは何か」を知り，現実的な思考，手段，人間関係等のあり方について理解している。
・同時に，事業の成功や失敗のケースを学び，社会に出てから役に立つ経営学について関心を持ち，簿記や販売士等各種の資格にも挑むようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・基本的に対話型の講義になります。よってただ単に出席し，講義を聴いているだけでは単位取得できません。
・講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応し，自身の意見を発言していくことが求められます。
・ベンチャー企業や革新的企業の経営や戦略等に関するビデオ聴講による演習や中小企業診断士試験の問題を活用した演習を行います。また演習に基づきディスカッションを行うため，ビデオ内容の聞き取り力，メモ力，聴講した内容や関連情報との考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

・講義内容および企業情報や企業経営等々に関する質問および関連資格の取得方法を含む学生生活全般に関するアドバイス・相談等は，研究室での直接面談またはGoogleｸﾗｽﾙｰﾑやEメール等で対応します。
・オフィスアワー以外の不在時には，研究室のメッセージボードやEメール（endo@kiis.ac.jp）等を活用してください。
・自主性を重要視するので「来る者拒まず，去る者追わず」のスタンスで対応しますが，「聞くは一時の恥，聞かぬは一生の恥」という格言の通りです。積極的な教員へのコンタクトおよびコミュニケーションが期待されます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・希望者には，必要に応じて，販売士（3級～1級），経営学検定（マネジメント検定：初級，中級，上級），中小企業診断士等，経営学に関連する資格試験の受験指導を行います。
・事前・事後学習としての課題レポート以外に，授業態度や資格試験への積極的な取り組み，関連するレポートおよび学習記録（事前学習/授業レポートやポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
専門基礎ライブラリー ベンチャービジネス論	太田一樹ほか	実業出版	978-4-407-31077-1

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ベンチャー企業	松田修一	日本経済新聞出版社	10-4532113032

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価方法：定期試験（50%），平常点（出席率，ディスカッションへの参加，各種レポート提出，資格試験への取り組み，ポートフォリオ提出，教員とのコミュニケーションなど学習に対する積極性）等（50%）を総合的に考慮して評価します。
評価基準：広く社会や企業および仕事の意義等について理解している。自分自身の将来について明確な意識を持ち，社会やベンチャー企業等との関わりについて理解している。また各種の資格にも挑むくらい，経営学について関心を持ち，学習に対する積極性をもっている。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義の目的と進め方（講義内容のアウトラインの理解）	
	事前学習（内容・時間）	ベンチャーや起業の体験談およびそれに関連する事例などがWEBや雑誌等に多く掲載されているため，積極的にアクセスし，自分の挑戦材料として頭に入れておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	本講義のアウトラインについて復習，課題への取り組み（2時間）
第2回	企業の目的と企業の意義－ベンチャービジネスとは何か	
	事前学習（内容・時間）	配布資料の事前確認（2時間）
	事後学習（内容・時間）	配布資料・講義内容および自身の提出課題内容の再確認（2時間）
第3回	社会や企業と自分との関わりを考える（ビデオ演習）	
	事前学習（内容・時間）	提出課題に基づき，企業と自身の関わりについて検討する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第4回	自分の将来を考える：選択の自由	
	事前学習（内容・時間）	ビデオ演習を含む，前回講義内容を基に，自身の将来像について検討する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第5回	ビデオ演習とディスカッションおよびレポート作成①：会社への依存 or 自立（自律）	
	事前学習（内容・時間）	自身の将来像に関連させ，働く事の意義について検討する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第6回	現代社会とベンチャー企業	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料に基づき，ベンチャー企業の特徴等について予習する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第7回	起業への準備（1）企業の事を知る①会社の種類	
	事前学習（内容・時間）	課題演習として「企業」について予習する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第8回	起業への準備（1）企業の事を知る②株式会社	
	事前学習（内容・時間）	課題演習として「株式会社」について予習する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第9回	起業への準備（1）企業の事を知る③企業の存在意義	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料に基づき，ベンチャー企業等について予習する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第10回	起業への準備（2）ビジネスの事を知る：経営者の視点と労働者の視点	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料に基づき，ベンチャー企業等について予習する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第11回	起業への準備（3）自分の潜在的能力を伸ばす：求められるジンザイ（人材→人財）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料に基づき，ベンチャー企業等について予習する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第12回	ビデオ演習とディスカッションおよびレポート作成②：ベンチャー・ビジネスの事例	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料に基づき，ベンチャー企業等について予習する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第13回	起業への準備（4）起業の仕方を知る①ビジネスアイティアの見つけ方	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料に基づき，ベンチャー企業等について予習する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第14回	起業への準備（4）起業の仕方を知る②開業までのスケジュールとビジネスプラン	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料に基づき，ベンチャー企業等について予習する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第15回	講義のまとめ（講義内容全体の総括）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト・配布資料に基づき，ベンチャー企業等について予習する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1AMB-5332-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
経営学総論Ⅱ	223～ 経営情報学科	1年生・後期	2単位	選択	井上　善海
	219～222 経営情報学科			必修	

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	経営情報学科の必修科目であり，IT人材となるための基礎として，経営情報および企業の経営・マネジメントに関心を持っている事。日頃から社会（世の中）の出来事や経済・企業に関係するニュース等に関心を持つ事。 経営学総論Ⅰを履修している事。

授業概要　Course Outline

本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。企業経営のあり方等について理解するとともに，各理論の背景や意義などについても考察していきます。テキストを基に，伝統的な理論から現代の経営学まで，その形成過程や今日的課題について講義を進めます。現代企業の経営は，情報システムやネットワーク技術との関わりで進化していることから，これまでの実務経験を踏まえた実践的な議論を展開していきます。
「経営学総論Ⅱ」では，「経営学総論Ⅰ」で理解した内容を基礎に，より理解を深めるため現実の企業経営政策・経営現象について，経営管理という視点で客観的に考察を行っていきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	企業経営者11年 経営コンサルタント9年	企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの実務経験を踏まえた実践的な議論を行う。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

1．今日的な企業経営のあり方やあるべき姿などについての理解。
2．基本的なマネジメント理論（組織構造・機能，経営戦略，経営資源，マーケティング，財務，労務、環境変化への対応等）や「マネジメント（経営管理）」はどのようなものかの理解。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

基本的に対話型の講義になります。よってただ単に出席し，講義を聴いているだけでは単位取得できません。講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応し、自身の意見を発言していくことが求められます。
また企業経営や経営戦略に関するビデオ聴講による演習等を行います。聴講したビデオに基づき、ディスカッションを行うため、ビデオ内容の聞き取り力、メモ力、聴講した内容や関連情報との考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：メールで連絡してください。
オフィスアワー：授業日の休憩時間等に対応いたします。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

課題レポートの提出以外に、資格試験への積極的な取り組みや関連するレポートおよび学習記録（ポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
テキストは使用せず、毎回教員が作成した資料を事前にclassroomにて配布する			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
よくわかる経営管理	高橋伸夫 編著	ミネルヴァ書房	9784623061044

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

中間と期末のレポート、もしくは試験（60%）、授業内課題レポート（40%）を基準とする。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義の目的と進め方（講義内容のアウトラインの理解） 企業経営を考える	
	事前学習 （内容・時間）	テキストの事前確認および企業経営等に関連する事例などがWEBや雑誌等に多く掲載されているため、積極的にアクセスし、自分の挑戦材料として頭に入れておく。（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第2回	1．経営管理の意義 （企業組織の成立，企業と環境，企業の社会的責任）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第3回	1．経営管理の意義 （経営者の職能，コーポレート・ガバナンス）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第4回	2．経営管理論の生成と発展 （古典的管理論，新古典的管理論，近代的管理論）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第5回	2．経営管理論の生成と発展 （適応的管理論，戦略的管理論，社会的管理論）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第6回	3．経営管理の体系 （経営管理の対象，総合経営管理と機能別管理）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第7回	3．経営管理の体系 （経営管理の階層，経営管理のプロセス，経営管理論の位置づけ）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第8回	4．経営戦略 （経営戦略の意義，ドメイン，製品・市場戦略）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第9回	4．経営戦略 （経営資源，競争戦略，ビジネス・システム戦略）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第10回	5．経営組織 （経営組織の編成，組織の動態化，組織における人間行動）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第11回	5．経営組織 （組織文化，組織変革，組織間関係）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第12回	6．機能別管理 （経営システムの構造，人的資源管理，財務管理，情報管理，法務管理）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第13回	6．機能別管理 （研究開発管理，調達管理，生産管理，マーケティング管理，ロジスティックス管理）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第14回	7．経営情報 （高度情報社会の進展，情報通信技術の進展，情報通信システム，eビジネスの進展，経営と情報）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第15回	講義のまとめ（講義内容全体の総括）	
	事前学習 （内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第16回 （定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1AMN-5260-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
企業金融	219～ 経営情報学科	2年生・前期	2単位	選択	片山　准一

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし	

履修の前提条件 Course Prerequisites	基礎的な経営学と簿記・会計学の知識があること。 経営学と簿記・会計学で使われている日本語が理解できること。

授業概要　Course Outline

企業金融（コーポレート・ファイナンス）の諸問題を資本調達論の観点から商法（会社法）と関連付けて論じる。企業金融を歴史的・論理的且つ、具体的な事例を通して分析・講義する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

デュプロマポリシーに基づきこの授業では企業の経営財務の諸問題を資本調達論の観点から歴史的・論理的に論じ得ること。講義全体を通して、唯物弁証法的論理思考の構築を到達目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

可能な限り双方向のディスカッションを中心とした講義を心掛けたい。講義中基本的な質問を行うので、積極的に回答してもらいたい。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員と連絡をとりたい場合は、研究室を訪ねること。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ＆ルーブリックに必要事項を記入の上、最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
講義資料を配布する			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
経営財務論	片山伍一・後藤泰二	ミネルヴァ書房	ISBN4-623-01750-8 C3034

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験での評価（70%）　講義中の質問への回答及び板書の記帳等の評価（30%）第1回の講義でノートの取り方など、詳細を説明するので、必ず、出席すること。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	はじめに　　企業金融（コーポレート・ファイナンス）の講義案を述べる。	
	事前学習（内容・時間）	企業金融・経営財務等の概念をネット検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	講義概要をよく復習しておくこと。疑問があれば次回の講義で質問すること。（120分）
第2回	資本とは　　資本の循環・回転について述べる。	
	事前学習（内容・時間）	資本とは何かを質問するので、回答できるようネット検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	資本の循環・回転図を何度も書いて理解すること。（120分）
第3回	資本及び資本家概念について　「機能資本家」「無機能資本家」概念について述べる。	
	事前学習（内容・時間）	資本・資本家概念をネット検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	「機能資本家」「無機能資本家」概念及び「出資」と「貸付」概念の相違を理解すること。（120分）
第4回	企業形態の展開過程　　個人企業→合名会社→合資会社→株式会社の展開過程を述べる。	
	事前学習（内容・時間）	企業組織諸形態を事前にネット検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	唯物弁証法による企業形態の展開過程を理解すること。（120分）
第5回	株式会社発生前史　ｺﾝﾒﾝﾀﾞ･ｿｷｴﾀｽの企業形態を述べる。	
	事前学習（内容・時間）	ｺﾝﾒﾝﾀﾞ･ｿｷｴﾀｽ等の概念をネット検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	株式会社の発生過程を史実に基づいて理解すること。（120分）
第6回	株式会社発達史　　東印度会社　運河会社　鉄道会社　重化学工業会社への株式会社形態を述べる。	
	事前学習（内容・時間）	ｱﾀﾞﾑ･ｽﾐｽの「諸国民の富」4（岩波文庫）を事前に読んでおくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	株式会社の発展には「バブル」がついて回ることを理解すること。（120分）
第7回	株式会社の古典的学説　　ｱﾀﾞﾑ･ｽﾐｽ ｶｰﾙ･ﾏﾙｸｽ ﾙﾄﾞﾙﾌ･ﾋﾙﾌｧｰﾃﾞｨﾝｸﾞ等の学説を述べる。	
	事前学習（内容・時間）	「諸国民の富」「資本論」「金融資本論」を事前に読んでおくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	上記、3冊を熟読すること。（120分）
第8回	ｺｰﾎﾟﾚｰﾄ･ｶﾞﾊﾞﾅﾝｽ①　　会社支配論―所有者支配論　経営者支配論　金融機関支配論について述べる。	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を事前に読んでおくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	配布資料を元に文献検索しておくこと。（120分）
第9回	ｺｰﾎﾟﾚｰﾄ･ｶﾞﾊﾞﾅﾝｽ②　　米国のｺｰﾎﾟﾚｰﾄ･ｶﾞﾊﾞﾅﾝｽについて述べる。	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を事前に読んでおくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	配布資料を元に文献検索をしておくこと。（120分）
第10回	ｺｰﾎﾟﾚｰﾄ･ｶﾞﾊﾞﾅﾝｽ③　　日本のｺｰﾎﾟﾚｰﾄ･ｶﾞﾊﾞﾅﾝｽについて述べる。	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を事前に読んでおくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	配布資料を元に文献検索しておくこと。（120分）
第11回	ｺｰﾎﾟﾚｰﾄ･ｶﾞﾊﾞﾅﾝｽ④　　持株会社とｺｰﾎﾟﾚｰﾄ･ｶﾞﾊﾞﾅﾝｽについて述べる。	
	事前学習（内容・時間）	配布資料を事前に読んでおくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	配布資料を元に文献検索しておくこと。（120分）
第12回	企業集中①　　企業間競争について述べる。	
	事前学習（内容・時間）	競争概念をネット検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	競争概念を理解すること。（120分）
第13回	企業集中②　　ｶﾙﾃﾙ　ﾄﾗｽﾄ　ｺﾝﾁｪﾙﾝについて述べる。	
	事前学習（内容・時間）	ｶﾙﾃﾙ･ﾄﾗｽﾄ･ｺﾝﾁｪﾙﾝ概念をネット検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	ｶﾙﾃﾙ･ﾄﾗｽﾄ･ｺﾝﾁｪﾙﾝ概念を理解すること。（120分）
第14回	競争と独（寡）占　　資本主義的競争→独（寡）占へのプロセスについて述べる。	
	事前学習（内容・時間）	独占禁止法をネット検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	企業の独占化への必然性を理解すること。（120分）
第15回	企業金融のまとめ	
	事前学習（内容・時間）	講義の総括を行うので、復習しておくこと。講義全体を通して疑問があれば質問すること。（120分）
	事後学習（内容・時間）	定期試験に向けて復習しておくこと。（120分）
第16回（定期試験）	定期テスト	

ナンバリング（Numbering）
1AMB-6192-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
経営史	224～ 経営情報学科	2年生・前期	2単位	選択	鈴木　和也
日本経営史	219～223 経営情報学科				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	経済学、日本事情（留学生のみ）、経営学総論Ⅰ、経営学総論Ⅱなどの科目を履修し単位を取得していること。

授業概要　Course Outline

今日おこっている日本経済・経営の諸問題 や今後の展開も、その成立過程、つまり歴史によって規定されている要素はとても多い。この講義では、近代以降の日本の企業経営はどのように展開してきたのか、その結果現在どのような特徴を持つようになったのかについて学ぶ。さらに、史実を垣間見ることによって、すべての社会、産業、経営に関する新しい知識の習得に努め、社会に貢献できる産業人としての基本を醸成する。

なお、カリキュラムポリシーⅣに基づき、学習にあたって、自らがたてた新たな課題や目標に即して、その課題や目標を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力も併せて養う。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・歴史を単なる過去に対する知識ととらえず、今日的な問題の源流ととらえる。
・経済・経営の諸問題を、自分自身の身近な現 象として認識し、それに対する知識や見識を深める。
・今後社会人として、会社や社会や他国などと共有できるような知識や意識を身につける。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
・授業内で実施する小テストを活用し、授業内容の理解を深めるとともに授業への積極的な参加を促します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室（553）にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。（オフィスアワー以外で研究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください。）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価、教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
1からの経営史	宮本又郎 他編著	碩学社	978-4502089008

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
企業家に学ぶ 日本経営史— テーマとケースでとらえよう	宇田川　勝　他編著	有斐閣	978-4641184008

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1.定期試験（80%）、2.小テスト（10%）、3.学修課題の提出（5%）、4.授業への取組み（5%）

授業計画 Course Schedule			
テーマ Theme			
第1回	授業概要（授業の進め方、評価について） 江戸時代の経営		
	事前学習（内容・時間）	教科書2頁、7頁～24頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第2回	明治の企業家たち		
	事前学習（内容・時間）	教科書27頁～43頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第3回	近代産業経営の成立		
	事前学習（内容・時間）	教科書45頁～61頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第4回	財閥の多角化と組織		
	事前学習（内容・時間）	教科書71頁～85頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第5回	重化学工業化と新興財閥		
	事前学習（内容・時間）	教科書87頁～103頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第6回	技術経営の誕生		
	事前学習（内容・時間）	教科書105頁～121頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第7回	「日本型」人事管理とサラリーマンの誕生		
	事前学習（内容・時間）	教科書123頁～140頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第8回	都市型ビジネスの成立		
	事前学習（内容・時間）	教科書143頁～154頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第9回	経済民主化と企業変革		
	事前学習（内容・時間）	教科書169頁～183頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第10回	大量消費社会の到来と家電メーカーの発展		
	事前学習（内容・時間）	教科書185頁～201頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第11回	企業集団とメインバンク		
	事前学習（内容・時間）	教科書203頁～220頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第12回	日本的生産システムの形成		
	事前学習（内容・時間）	教科書223頁～241頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第13回	流通のイノベーション		
	事前学習（内容・時間）	教科書243頁～261頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第14回	変貌する総合商社		
	事前学習（内容・時間）	教科書263頁～279頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第15回	日本的経営とその内容		
	事前学習（内容・時間）	教科書281頁～298頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験の実施 （まとめと振り返りを行う。）		

ナンバリング（Numbering）
1AMN-5952-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
組織心理学	219～223 経営情報学科	3・4年生・前期	2単位	選択	鈴木　和也

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	1. 心理学の基礎知識があるという前提で授業を進めます。したがって、1年次に「心理学」を受講し、単位を取得していることを受講の条件とします。 2. 遅刻は厳禁です。3. 私語は認めません。

1.産業や組織における人々の心理学的な問題を明確化し、解決のための知識や理論を学ぶ。
2.グループ・ワークにより、議論を深める力、傾聴する力を体験する。
3.自身のライフプラン・キャリアプランを見つめ直し、実行すべき目標を立て、実践する力を養う。

なお、カリキュラムポリシーⅣに基づき、学習にあたって、自らがたてた新たな課題や目標に即して、その課題や目標を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力も併せて養う。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals			
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

1. 組織の特性について基本的な知識を学修する。
2. 組織人には「社会人基礎力」が必要なことを理解し、建学の精神である「優れた社会人たるにふさわしい温かい人間性」を培う。
3. 組織の人的側面である集団内行動、集団間行動、リーダーシップおよび組織風土を理解し、組織の発展と崩壊について理解する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
・授業内で実施する小テストを活用し、授業内容の理解を深めるとともに授業への積極的な参加を促します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室（553）にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。（オフィスアワー以外で研究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください。）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価、教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
産業・組織 （キーワード心理学シリーズ12）	角山　剛 （かくやま　たかし）	新曜社	978-4-7885-1266-5

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
組織行動の心理学 （産業・組織心理学講座：第3巻）	産業・組織心理学会(企画) 角山　剛（編）	北大路書房	978-4-7628-3086-0

毎回、補助教材として、授業内容に関連したプリント資料を配付・活用します。

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1.定期試験（80%）、2.小テスト（10%）、3.学修課題の提出（5%）、4.授業への取組み（5%）

授業計画 Course Schedule			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション：産業・組織心理学とは／組織における人間観の変遷～ホーソン実験～		
	事前学習（内容・時間）	授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第2回	モチベーション （1)仕事と自己実現(何のために働くのか）		
	事前学習（内容・時間）	授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第3回	モチベーション （2)期待と動機づけ／目標と動機づけ(目標設定理論）		
	事前学習（内容・時間）	授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第4回	集団内コミュニケーション　－説得の原理－		
	事前学習（内容・時間）	授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第5回	集団意思決定 （1)コンセンサス課題		
	事前学習（内容・時間）	授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第6回	集団意思決定 （2)集団浅慮		
	事前学習（内容・時間）	授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第7回	リーダーシップ （1)リーダーの特性と行動		
	事前学習（内容・時間）	授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第8回	リーダーシップ （2)状況に対応したリーダーシップ		
	事前学習（内容・時間）	授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第9回	職場におけるメンタルヘルス （1)職業性ストレスモデル		
	事前学習（内容・時間）	授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第10回	職場におけるメンタルヘルス （2)ワークシートへの記入およびグループワークを通じた検討		
	事前学習（内容・時間）	授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第11回	社会人基礎力としてのソーシャルスキル （1)ソーシャルスキルの理論的枠組み		
	事前学習（内容・時間）	授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第12回	社会人基礎力としてのソーシャルスキル （2)グループワークによる実践		
	事前学習（内容・時間）	授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第13回	キャリア形成 （1)振り返る／主体性を発揮する		
	事前学習（内容・時間）	授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第14回	キャリア形成 （2)目標設定／時間管理		
	事前学習（内容・時間）	授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第15回	キャリア形成 （3)選択と自己実現		
	事前学習（内容・時間）	授業計画に対応するテキスト・参考資料の箇所を読んでおくこと。 意味のわからない用語は辞書などで必ず調べておくこと。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験の実施 （まとめと振り返りを行う。）		

ナンバリング（Numbering）
1AMN-6572-Z2ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
労務管理論（教職関連科目　必　高等学校　情報）	219～ 経営情報学科	3・4年生・前期	2単位	選択	鈴木　和也

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	1．経済学、経営学総論Ⅰ、経営学総論Ⅱなどの科目を履修し単位を取得していること。2．受講者は中央職業能力開発協会主催のビジネス・キャリア検定試験3級人事・人材開発を受験すること。

授業概要　Course Outline

企業は労働力という経営資源を獲得しなければ企業活動を実現することができない。そのためにヒトの獲得や活用、さらには労働者（従業員）と企業との間の対立の解決に関わる諸活動や調整が必要となる。この講義では、人事・労務管理、あるいは人的資源管理と呼ばれるこれらの活動の概要と経営的意義について学習を深めていく。さらには、これまでに学んだ経営学やマーケティングなどの基本的知識も活かしながら、社会で活躍できる人材としての基本を培う。

なお、カリキュラムポリシーⅣに基づき、学習にあたって、自らがたてた新たな課題や目標に即して、その課題や目標を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力も併せて養う。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

企業における仕事がどのような性質を有しているか、また企業で働くことが自分の今後の生活にどのような意味をもつ ことになるのかを考えられるようにする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
・授業内で実施する小テストを活用し、授業内容の理解を深めるとともに授業への積極的な参加を促します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室（553）にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。（オフィスアワー以外で研究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください。）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価、教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
新しい人事労務管理 第6版	佐藤博樹　他著	有斐閣	978-4641222274

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
人的資源管理論	平野文彦　編著	税務経理協会	4-419-03544-7
人的資源管理〔新訂〕	原田順子・平野光俊　著	放送大学教育振興会	978-4-595-14104-1

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1.定期試験（80%）、2.小テスト（10%）、3.学修課題の提出（5%）、4.授業への取組み（5%）

授業計画 Course Schedule			
テーマ Theme			
第1回	授業概要（授業の進め方、評価について） 人事管理とは		
	事前学習（内容・時間）	教科書Ⅰ～Ⅴ、2頁～15頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第2回	組織をつくる		
	事前学習（内容・時間）	教科書16頁～28頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第3回	働くということ		
	事前学習（内容・時間）	教科書129頁～152頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第4回	システムとしての人事管理		
	事前学習（内容・時間）	教科書288頁～290頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第5回	社員格付け制度：雇用関係を支える仕組み		
	事前学習（内容・時間）	教科書69頁～95頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第6回	採用と退出：雇用関係を交わす		
	事前学習（内容・時間）	教科書33頁～40頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第7回	配置：仕事を割り振る		
	事前学習（内容・時間）	教科書42頁～53頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第8回	評価と報酬：報いる		
	事前学習（内容・時間）	教科書99頁～124頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第9回	人事育成：「育つ」と「育てる」の交差		
	事前学習（内容・時間）	教科書157頁～185頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第10回	労使関係：従業員尊重のための人事管理		
	事前学習（内容・時間）	教科書241頁～257頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第11回	非正社員の基幹化		
	事前学習（内容・時間）	教科書189頁～211頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第12回	女性の活躍推進		
	事前学習（内容・時間）	教科書226頁～228頁、304頁～306頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第13回	ワークライフ・バランスと働き方改革		
	事前学習（内容・時間）	教科書230頁～232頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第14回	高齢者雇用		
	事前学習（内容・時間）	教科書59頁～65頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第15回	グローバル経営と国際的人事管理／人事管理の未来		
	事前学習（内容・時間）	教科書261頁～288頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習問題の解答	（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験の実施 （まとめと振り返りを行う。）		

ナンバリング(Numbering)
1AMA-5350-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
経営思想	219～222 経営情報学科	3・4年生・前期	2単位	選択	坂上　宏

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①社会思想について関心を持っていること。 ②下記の参考書に目を通しておくこと。 ※禁止事項:私語、　正当な理由のない遅刻、 許可のない入退室、携帯電話の使用、その他指定する事項。

授業概要　Course Outline

フェルディナンド・テンニースとマックス・ウェーバーの思想をとりあげて、近代社会の構造的変容と人間性の疎外の問題について考えていきます。授業の前半は、ゲマインシャフトとゲゼルシャフトの特徴について解説します。後半は、近代資本主義とキリスト教プロテスタンティズムの倫理観の関連について解説します。最後に社会における支配の正当性と官僚制について概述します。なおこの授業は、主として本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」およびカリキュラムポリシー「Ⅰ　建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「Ⅲ　社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」に則り行われるものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

この授業の目標は次の二つです。
第一にテンニースの所説を通じて、ゲマインシャフト(共同社会)とゲゼルシャフト(利益社会)の特徴、およびそれぞれの社会において人間はどのような存在として位置づけられているか、そして人間同士を結びつけるのは何であるか、という点について理解できるようになること。　第二にウェーバーの所説を通じて、近代資本主義社会の精神的土台となった禁欲的合理主義について、そして官僚制の特徴と官僚制社会における人間のあり方について理解できるようになること。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します。
毎回の授業が終わってから、ポートフォリオの記入をお願いします。感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室(363)およびGoogleクラスルーム・メール(sakagami@g.kiis.ac.jp)にて随時受け付けます。
提出物はGoogleクラスルームへ出してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:ポートフォリオとルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プリントを配布する。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
『ゲマインシャフトとゲゼルシャフト上下』	テンニエス	岩波文庫	4003420713 4003400000
『資本主義の精神とﾌﾟﾛﾃｽﾀﾝﾃｨｽﾞﾑの倫理』	ウェーバー	岩波文庫	4003420934

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法:試験90%。平常点10%(毎回の授業のポートフォリオ(事前学習と事後学習)の提出、ルーブリックの提出)。　成績評価の基準 :①ゲマインシャフトについて、特に個人と集団の関係、産業の特徴などについて理解しているか。②ゲゼルシャフトについて、特に個人と集団の関係、産業の特徴、交換と価値の意味、労働のあり方、都市と人間のあり方などについて理解しているか。③資本主義の精神について、特に合理主義、世俗内禁欲と職業召命観などについて理解しているか。④支配の正統性と官僚制の特徴、官僚制社会の将来と人間のあり方について理解しているか。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業の方針、テンニースの思想とウェーバーの思想について概要紹介　:ﾌﾟﾘﾝﾄ1	
	事前学習（内容・時間）	テンニースは、近代社会がどのようにして発展してきたと考えていますか。第1回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	経済における合理主義の特徴について、授業ではどのように述べられていましたか。（2時間）
第2回	テンニースの思想①（合理主義と歴史主義の総合、本質意志と選択意志、社会発展論、ゲマインシャフトとゲゼルシャフトの本質的概念）:ﾌﾟﾘﾝﾄ2	
	事前学習（内容・時間）	テンニースは社会を結びつけるものについてどのように考えていますか。第2回授業プリントを見て答えてください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゲマインシャフトとゲゼルシャフトの本質的概念について説明してください。（2時間）
第3回	テンニースの思想②（ゲマインシャフトの基本的特徴、初期的形態、父子関係、ゲマインシャフトの発展、ゲマインシャフト的意志）:ﾌﾟﾘﾝﾄ3	
	事前学習（内容・時間）	テンニースは、ゲマインシャフトがどのように発展していくと説明していますか。第3回授業プリントを読んで答えてください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゲマインシャフトの基本的特徴について説明してください。（2時間）
第4回	テンニースの思想③（ゲマインシャフトの成員を結びつける精神、ゲマインシャフトの重要な根本法則、ゲゼルシャフトにおける交換と価値、擬制、ゲゼルシャフト的価値と必要、個人の労働と社会の利益）:ﾌﾟﾘﾝﾄ4	
	事前学習（内容・時間）	テンニースは、ゲゼルシャフトにおける交換と価値についてどのように述べていますか。第4回授業プリントを読んで答えてください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゲゼルシャフト的価値と必要について説明してください。（2時間）
第5回	テンニースの思想④（ゲゼルシャフトは相互的、集団の成立、犠牲的人格、法人、ゲゼルシャフト的な法秩序の前提、「市民社会」ま、たは「交易ゲゼルシャフト」、競争と同盟）:ﾌﾟﾘﾝﾄ5	
	事前学習（内容・時間）	ゲゼルシャフトは相互的とはどういう意味ですか。第5回授業プリントを読んで答えてください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ゲゼルシャフトにおける個人や集団の行動の特徴について説明してください。（2時間）
第6回	テンニースの思想⑤（国家のゲゼルシャフト的な発展、世界市場の成立、大都市と人間の運命、合理化の進展と人間関係の変化、世界都市と人間疎外）:ﾌﾟﾘﾝﾄ6	
	事前学習（内容・時間）	国家のゲゼルシャフト的な発展について、第6回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	合理化の進展と人間関係の変化について授業ではどのように述べられていましたか。（2時間）
第7回	テンニースの思想⑥（現代の運命、人間らしい生活を取り戻せるか…）、ウェーバーの思想①（問題意識、経歴）:ﾌﾟﾘﾝﾄ7	
	事前学習（内容・時間）	近代資本主義に関するウェーバーの問題意識について、第7回の授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	経済における合理主義について、授業ではどのように述べられていましたか。（2時間）
第8回	ウェーバーの思想②（西洋近代の資本主義の合理的性格、資本主義の倫理観（精神）、生活態度、合理主義の特徴、プロテスタンティズムの思想）:ﾌﾟﾘﾝﾄ8	
	事前学習（内容・時間）	プロテスタンティズム運動と思想の特徴について、第8回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	資本主義の倫理観について授業ではどのように述べられていましたか。（2時間）
第9回	ウェーバーの思想③（信仰と救済、世俗内禁欲と職業、1647年「ウェストミンスター信仰告白」）　:ﾌﾟﾘﾝﾄ9	
	事前学習（内容・時間）	カルヴァン派の二重予定説について、第9回の授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	世俗内禁欲と職業について、授業ではどのように述べられていましたか。（2時間）
第10回	ウェーバーの思想④（救済の自己確信と職業労働、神と人間の関係、職業召命観）:ﾌﾟﾘﾝﾄ10	
	事前学習（内容・時間）	カルヴァン派は、救済の確信をどのようにして得られると考えていますか。第10回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	職業召命観について授業ではどのように述べられていましたか。（2時間）
第11回	ウェーバーの思想⑤（信仰と営利、利得と節約、宗教的倫理の喪失）　:ﾌﾟﾘﾝﾄ11	
	事前学習（内容・時間）	信仰と営利について、第11回の授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	カルヴァン派の世俗内禁欲の思想と資本主義のエートスについて授業ではどのように述べられていましたか。（2時間）
第12回	ウェーバーの思想⑥（新しい職業倫理の誕生、「精神のない専門人」と「心情のない享楽人」、近代的官僚制社会の特徴と将来）:ﾌﾟﾘﾝﾄ12	
	事前学習（内容・時間）	「独自の市民的な職業のエートス（習慣、道徳」としての「資本主義の精神」について、第12回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ウェーバーの言葉「精神のない専門人」、「心情のない享楽人」について授業ではどのように述べられていましたか。（2時間）
第13回	ウェーバーの思想⑦（近代官僚制の重要な特徴、官僚制は必然的な支配形態、官僚の支配する社会）:ﾌﾟﾘﾝﾄ13	
	事前学習（内容・時間）	近代官僚制の重要な特徴としてウェーバーは4つあげています。それは何ですか。第13回授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	官僚制社会の進行が生み出すものとして、ウェーバーはどのように述べていますか。（2時間）
第14回	ウェーバーの思想⑧（支配の正統性そのⅠ）:ﾌﾟﾘﾝﾄ14	
	事前学習（内容・時間）	支配の正統性としてウェーバーは3つあげています。それは何ですか。第14回の授業プリントを読んで説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	合法的支配の内容について説明してください。（2時間）
第15回	ウェーバーの思想⑨（支配の正統性その2）:ﾌﾟﾘﾝﾄ15	
	事前学習（内容・時間）	伝統的支配の内容について説明してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	資本主義社会における人間の生き方について、あなたの考えを述べてください。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験、ポートフォリオ＆ルーブリック作成等	

ナンバリング(Numbering)
1AIN-5740-X2ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報テクノロジー (教職関連科目 必 高等学校 情報)	219～ 経営情報学科	1・2年生・前期	2単位	選択	ディンダ　プラマンタ

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	高等学校における情報関連科目など入学前までに学習した情報関連科目があれば復習しておくこと.

授業概要　Course Outline

前半はコンピュータの仕組み, 後半はネットワークを含む情報システムの仕組みについて学ぶ.コンピュータの仕組みでは, 全体構成からハードウェア, ソフトウェア, コンピュータの情報表現や演算処理について学び, 一連の情報処理の中でそれらがどのように関わり, 利用されているかを理解できるようにする.情報システムの仕組みでは, その構築に欠かせないデータベース, ネットワーク通信, プログラミング言語の概要について学び, 企業と情報システムの関連やその業務に携わる職種や職業についても言及する.

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

この授業ではディプロマポリシーに基づいて, コンピュータや情報システムの基礎的な仕組みや構成を理解し, その知識を活用できるようにすることを目指する.
具体的にはITパスポートのテクノロジー分野に出題されるような基礎的な項目を理解することを到達目標とする.
また, 学生の理解の範囲内で, トピックを包括的にカバーするために, グループディスカッションを実施する.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

聴講型および演習型とグループディスカッションを併用して実施する.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡, 問い合わせ, 相談などは551研究室にて受け付けます.オフィスアワーの時間については掲示を確認してください.

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

講義資料を共有フォルダを介して配布するので, 毎回PCを持参することが望ましい.
毎回の講義時間後, Google Formsでポートフォリオシート「KIIS学修ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸ」にオンライン自己評価を記入し, 提出して下さい.

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
コンピュータと情報システム(第3版)	草薙　信照	サイエンス社	978-4-7819-1560-9

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
コンピュータ概論: 情報システム入門 第9版	魚田 勝臣, 渥美 幸雄, 植竹 朋文, 大曽根 匡, 森本 祥一, 綿貫 理明	共立出版	978-4320124981

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

グループプレゼンテーション50%、定期試験50%。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンスとコンピュータの歴史と性能	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、教科書やインターネットによって予習を行っておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理解しておくこと。（2時間）
第2回	コンピュータの基礎知識１（機器構成、CPU、情報の単位と接頭辞）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、教科書（p.26～p.36）やインターネットによって予習を行っておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理解しておくこと。（2時間）
第3回	コンピュータの基礎知識２（データ表現、2進数とn進数、基数変換）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、教科書（p.38～p.39）やインターネットによって予習を行っておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理解しておくこと。（2時間）
第4回	コンピュータの基礎知識３（算術演算、補数、論理演算）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、教科書（p.41）やインターネットによって予習を行っておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理解しておくこと。（2時間）
第5回	ハードウェア１（中央処理装置と記憶装置）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、教科書（p.44～p.62）やインターネットによって予習を行っておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理解しておくこと。（2時間）
第6回	ハードウェア２（入出力装置と周辺装置）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、教科書（p.64～p.72）やインターネットによって予習を行っておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理解しておくこと。（2時間）
第7回	ソフトウェア（OS、言語、アプリケーション）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、教科書（p.78～p.91）やインターネットによって予習を行っておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理解しておくこと。（2時間）
第8回	データ形式とマルチメディア（文字コード、文字・画像・音声・動画データ）	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、教科書（p.96～p.106）やインターネットによって予習を行っておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理解しておくこと。（2時間）
第9回	発表会	
	事前学習（内容・時間）	各グループにに発表用のスライドを作成し、準備を行っておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	グループプレゼンテーションの質疑応答については各自復習すること。（2時間）
第10回	通信ネットワーク	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、教科書（p.110～p.132）やインターネットによって予習を行っておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理解しておくこと。（2時間）
第11回	インターネットとセキュリティ	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、教科書（p.136～p.153）やインターネットによって予習を行っておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理解しておくこと。（2時間）
第12回	コンピュータと情報システム	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、教科書（p.164～p.180）やインターネットによって予習を行っておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理解しておくこと。（2時間）
第13回	データベースシステム	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、教科書（p.182～p.196）やインターネットによって予習を行っておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理解しておくこと。（2時間）
第14回	システムの設計と開発	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、教科書（p.200～p.216）やインターネットによって予習を行っておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義内容について独自で調べた内容などを追記して情報の幅を広げ、各項目の関連性を理解しておくこと。（2時間）
第15回	システムの運用と管理	
	事前学習（内容・時間）	次回の学習範囲について、教科書（p.220～p.238）やインターネットによって予習を行っておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	定期試験に向けて、本講義のGoogle Classroomの授業(Materials)の中で練習問題をすること。（提出するのは不必要）（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング(Numbering)
1AIN-6381-U2ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
プログラミング入門 (教職関連科目 必 高等学校 情報)	219～ 経営情報学科	2・3年生・前期	2単位	選択	車 炳玘

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	情報リテラシー演習を修得済みであることが望ましい

授業概要 Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、この授業ではScratchのプログラミングを通して、プログラミングの手順や流れを修得する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

逐次処理、分岐処理、繰り返し処理について理解し、簡単なプログラムであれば本を見ながら自分で書くことができるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回各自のPCで、実際に手を動かしてプログラミングをしてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室(656)にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

初回からパソコンを持参すること。原則として初回授業の欠席者の履修は認めない。やむを得ない事情で1回目授業を欠席した者は2回目授業前日までに研究室に来ること。
学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
今すぐ使えるかんたんScratch	松下幸太郎	技術評論社	978-4-297-10547-1

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
Scratch逆引き大全300の極意	Project Kyss	秀和システム	978-4798058061

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

毎回のプログラミング課題50%、定期試験50%

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス、Scratchのインストール	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを読み、PCがすぐに使えるようアップデート等をしておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(2h)
第2回	スプライトの3要素	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(2h)
第3回	逐次処理	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(2h)
第4回	繰り返し処理	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(2h)
第5回	スプライトとコード	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(2h)
第6回	分岐処理	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(2h)
第7回	多分岐処理	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(2h)
第8回	複製処理	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(2h)
第9回	メッセージ処理	
	事前学習（内容・時間）	教科書第1章を読む(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(2h)
第10回	入出力処理	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(2h)
第11回	音の処理	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(2h)
第12回	変数	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(2h)
第13回	画像の処理	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(2h)
第14回	スプライトの作成	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(2h)
第15回	ゲーム作成	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で説明のあったプログラムをもう一度自分で新たに作成する(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(2h)
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-6590-U2ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
初級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ（教職関連科目　必　高等学校　情報）	223～ 経営情報学科	2･3年生・後期	2単位	選択	合田　和正

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	情報学入門、情報リテラシー演習Ⅰおよびプログラミング入門、のすべてに合格していること。 これら3科目すべての成績が優秀（優または秀）であることが望ましい。 情報リテラシー演習Ⅱに合格していることが望ましい。 原則として、他学科履修を認めない。

授業概要　Course Outline

学則第3条を踏まえて、
情報学分野のソフトウェア、プログラミングについての基本的な知識・技能を習得することを目標とする。
具体的には、プログラミング統合環境の基本操作から始め、
問題の明確化、簡単な設計、コーティング、コンパイル、実行、デバッグといった基本的なソフトウェア開発活動について学ぶ。
さらにそれらの手順、流れを実習によって体得する。プログラミング言語としてC言語を用いて、簡単なプログラムを例として、プログラミング技法を学ぶ。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。開発環境として、Visual Studio Code, Google Colaboratory を使用する予定である。オンライン(Zoom)で実施することがある。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

プログラミング、アルゴリズムとは何かについて、C言語を通して理解する。
プログラミング言語としてC言語を題材として、命令型プログラミング言語の文法、
特に、変数とデータ型、演算子、基本制御（選択、反復）の基礎を修得する。
単に各自で理解できるだけでなく、初心者に説明、指導できるようになることが望ましい。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回、授業内容に関して受講者が自主的にテーマを設定してレポート（振り返りを兼ねる）を作成する。対話型中心にの授業を展開するが、まず授業内容について、実習を行う前に解説を聴く。学生自身が実習を通して積極的に授業に参加するために、対話的実習を実施する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付ける。オフィスアワーの時間については各自で掲示を確認。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：情報に関する検定試験を受験すること。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して提出すること。
※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。
※プログラミング関連の資格・検定の合格などについては加点することがある。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
C言語[完全]入門	松浦健一郎, 司 ゆき	SB Creative	978-4-8156-1168-2

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
Cプログラミング入門以前[第3版]	村山公保	マイナビ出版	978-4 8399-8255-3

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1) 提出物（授業の振り返りや小テスト、演習、その他の課題等）が約50%、
2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約50%
3) 次の2項目をきちんと理解しているか。①C言語の文法②プログラミングとは何か。
であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。
具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス、プレースメント試験(情報の基礎、流れ図、Scratchなど)	
	事前学習（内容・時間）	情報学入門ほか前提科目の復習、プレースメント試験対策 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	不明な点、自信がない点をまとめる。わかるように復習 [2.0]
第2回	開発環境と操作方法、簡単な実例（操作中心）	
	事前学習（内容・時間）	プログラミング、ソフトウェア開発環境の概要や実例について調べてまとめる [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	必要があればインストール。自分だけで基本的な操作ができるか実際に操作して確認。[2.0]
第3回	プログラミング、C言語について	
	事前学習（内容・時間）	Lesson 1, 2 を読んで、第2回で学習した内容を踏まえて、実践してみる [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	変数、および基本的な流れ図についての知識の理解度を確認し、復習する [2.0h]
第4回	値（数字、文字）の出力と標準出力	
	事前学習（内容・時間）	Lesson3を読んで、16進数・8進数、指数標記、標準出力について調べる [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	整数型、浮動小数点数型、printf関数についての理解を確認し、復習する [2.0h]
第5回	式と計算、算術演算とビット操作、いろいろな環境と動作の違い	
	事前学習（内容・時間）	Lesson4を読んで、四則演算、ビット操作について調べる [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	第5回までの総復習。特にビット操作のシフトについて復習する [2.0h]
第6回	変数とデータ型、値の入力と標準入力。定数とその活用	
	事前学習（内容・時間）	Lesson5を読んでC言語の変数、データ型、標準入力について調べる [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	C言語の変数、定数、データ型、scanf関数についての理解を確認し、復習する [2.0h]
第7回	基本制御構造、特に選択構造、条件と演算子、if.switch文の使い分け	
	事前学習（内容・時間）	Lesson6を読んで、選択、場合分け、ifとswitchの英単語のしての意味を調べる [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	if, switchの使い分け、elseを使う/使わない場合の確認。流れ図での表現の確認 [2.0h]
第8回	基本制御構造、特に反復構造、定回反復と条件反復、前判定と後判定。その他の制御	
	事前学習（内容・時間）	Lesson7を読んで、未知の用語の意味と使い方、使い分けについて調べる。
	事後学習（内容・時間）	for, while, do～whileの特徴、使い分けについて整理しておく。流れ図での表現(2通り)の確認 [2.0h]
第9回	選択構造、反復構造に関する演習	
	事前学習（内容・時間）	Lesson6,7を再度よく読んで、第7,8回の内容を復習する [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	できなかった問題、自信がない問題について、完成させるとともに理解を深める [2.0h]
第10回	多量のデータの扱いに向けて、配列の導入	
	事前学習（内容・時間）	Lesson8を読んで、数学の変数、C言語の変数と配列の共通点と差異を調べる [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	数学の数列、ベクトル、行列、テンソルなどと多次元配列との関連を表にまとめ復習する [2.0h]
第11回	選択、反復、配列を用いた総合演習	
	事前学習（内容・時間）	Lesson8までを再度読んで、どのような組み合わせが使えそうか考えてつつ復習する [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	できなかった問題、自信がない問題について、完成させるとともに理解を深める [2.0h]
第12回	文字と文字列の操作、手書き文字とCプログラムにおける文字コード	
	事前学習（内容・時間）	Lesson9を読んで、プログラミング作業の流れをイメージしてみる。文字コードについて調べる [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	Windows, Mac, Linuxで良く用いられる文字コードとそれらの総合変換について確認し、復習する [2.0h]
第13回	応用的内容の概観（関数、再帰、可変長引数、インライン関数、関数マクロなど）	
	事前学習（内容・時間）	Lesson10,11を読んで、使えそうな事例を考えてみる。未知の用語について調べる [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	応用的な機能の整理となぜそのような機能が必要になったかをまとめて、復習する [2.0h]
第14回	総合演習	
	事前学習（内容・時間）	第13回までに学習した内容を紙のノートにまとめる（ルーズリーフ可）。自信がない点は復習する [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	できなかった問題、自信がない問題について、完成させるとともに理解を深める [2.0h]
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	これまでに学習したC言語の文法についてまとめておくこと [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	これまで学習した実習問題の問題点を確認 [2.0h]
第16回（定期試験）	本科目の対象プログラミング言語であるC言語について、基礎的水準の問題を出題予定 またプログラミング言語に依存しないプログラミングに関する内容（例えば流れ図）についても、基礎的水準の問題を出題予定	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-6392-U2ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
初級プログラミング実習（教職関連科目　必　高等学校　情報）	219～222 経営情報学科	2・3年生・後期	2単位	選択	合田　和正

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	原則として、「情報リテラシー演習Ⅰ」に合格し、タイピングに不自由がないこと、「プログラミング入門」に合格済、または同時に履修すること。 原則として、他学科履修を認めない。

授業概要　Course Outline

学則第3条を踏まえて、
情報学分野のソフトウェア、プログラミングについての基本的な知識・技能を習得することを目標とする。
具体的には、プログラミング統合環境の基本操作から始め、コーティング、コンパイル、デバック、実行といった基本的なソフトウェア開発活動について学ぶ。さらにそれらの手順、流れを実習によって体得する。プログラミング言語としてC言語を用いて、簡単なプログラムを例として、プログラミング技法を学ぶ。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。オンライン(Zoom)で実施することがある。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

プログラミング言語であるC言語の文法を修得すること。次にプログラミングとは何か。アルゴリズムとは何かについて、C言語を通して学習する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業内容に関して受講者が自主的にテーマを設定してレポートを作成してもらう。対話型の授業を心がける。まず授業内容について、実習を行う前に解説します。学生自身が実習を通して積極的に授業に参加するしくみを行います。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：情報に関する検定試験を受験すること。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して提出すること。
※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
学生のための詳解C	中村　隆一	東京電機大学出版局	978-4-501-54260-3

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
学生のためのC	内山　章夫　他	東京電機大学出版局	978-4-501-52310-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1) 提出物（授業の振り返りや小テスト、演習、その他の課題等）が約50%、
2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約50%
3) 次の2項目をきちんと理解しているか。①C言語の文法②プログラミングとは何か。
であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。
具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス、授業内容の説明、受講上の注意、プログラミングについて	
	事前学習（内容・時間）	プログラミングの概要について学習すること。テキスト1頁（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	プログラムとは何かについて理解を深めること（0.5時間）
第2回	ガイダンス、授業内容の説明、受講上の注意、プログラミングについて(2)実習環境について	
	事前学習（内容・時間）	プログラミング環境の概要について学習すること。テキスト1頁（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	プログラムとはプログラミングとは何かについて理解を深めること（0.5時間）
第3回	プログラミング言語、C言語とは何か、C言語のスタイルについて： 座学・説明中心	
	事前学習（内容・時間）	プログラムの作成手順（テキスト1頁）、構造化プログラミングについて（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	流れ図について学習すること（0.5時間）
第4回	プログラミング言語、C言語とは何か、C言語のスタイルについて： 実習	
	事前学習（内容・時間）	プログラムの作成手順（テキスト1頁）、構造化プログラミングについてまとめること（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	流れ図について実際に描いてみることを含め、学習すること（0.5時間）
第5回	文字列の出力（1）、文字列の出力（2） 演習問題： 説明・留意点、ヒントなど座学中心	
	事前学習（内容・時間）	データの出力（テキスト4～10頁）を読んでprintf関数について学習すること（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題について自宅で確認すること（0.5時間）
第6回	文字列の出力（1）、文字列の出力（2） 演習問題： 実習	
	事前学習（内容・時間）	データの出力（テキスト4～10頁）を読んでprintf関数の機能についてまとめること（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書掲載分や授業中の実習問題の類題を自作してプログラミングしてみること（0.5時間）
第7回	変数と型宣言、演習問題： 説明・座学中心	
	事前学習（内容・時間）	テキスト11頁、整数と実数について学習すること（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題をもう一度確認すること（0.5時間）
第8回	変数と型宣言、演習問題： 実習	
	事前学習（内容・時間）	テキスト11頁、整数と実数の違いにきをつけてまとめること（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	教科書計算の実習問題について、99頁までどのような問題かを一度確認すること（0.5時間）
第9回	算術演算（加減乗除、剰余の計算） 演習問題： 説明・座学中心	
	事前学習（内容・時間）	テキスト10～17頁を重点的に目を通しておくこと（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認（0.5時間）
第10回	算術演算（加減乗除、剰余の計算） 演習問題： 実習	
	事前学習（内容・時間）	テキスト10～17頁を参照に目を通し、数学の演算記号との違いについてまとめておくこと（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること（0.5時間）
第11回	入力（1）入力（2）について 演習問題： 説明、座学中心	
	事前学習（内容・時間）	テキスト13～17頁を読んで、scanf関数について学習する（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認（0.5時間）
第12回	入力（1）入力（2）について 演習問題： 実習	
	事前学習（内容・時間）	テキスト13～17頁を読んで、scanf関数についてprintf関数と対比してまとめること（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること（0.5時間）
第13回	選択処理（if文）について 演習問題： 説明・座学中心	
	事前学習（内容・時間）	テキスト24～33頁を読んでおくこと（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認（0.5時間）
第14回	選択処理（if文）について 演習問題： 実習	
	事前学習（内容・時間）	テキスト24～33頁を読んで、今回の新しい内容をまとめておくこと（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること（0.5時間）
第15回	選択処理に関する演習問題： 説明・座学中心	
	事前学習（内容・時間）	第3章選択処理に関する項目を読んでおくこと（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認（0.5時間）
第16回	選択処理に関する演習問題： 実習	
	事前学習（内容・時間）	第3章選択処理に関する項目を読んで、具体的な制御文についてまとめておくこと（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること（0.5時間）

第17回	反復処理（for文） 演習問題： 説明・座学中心	
	事前学習（内容・時間）	テキスト47～50頁のfor文に関する学習（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認（0.5時間）
第18回	反復処理（for文） 演習問題： 実習	
	事前学習（内容・時間）	テキスト47～50頁のfor文について、選択処理との違いをまとめておくこと（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること（0.5時間）
第19回	くり返し処理（while文） 演習問題： 説明・座学中心	
	事前学習（内容・時間）	テキスト50～51頁 while文に関して事前に読んでおくこと（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認（0.5時間）
第20回	反復処理（while文） 演習問題： 実習	
	事前学習（内容・時間）	テキスト50～51頁 while文に関して事前に読んでfor文とのちがいをまとめておくこと（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること（0.5時間）
第21回	反復処理（do-while文） 演習問題： 説明・座学中心	
	事前学習（内容・時間）	テキスト52～53頁 do-whileに関する事前理解（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認（0.5時間）
第22回	反復処理（do-while文） 演習問題： 実習	
	事前学習（内容・時間）	テキスト52～53頁 do-whileに関して、for文、while文との違いをまとめておくこと（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること（0.5時間）
第23回	反復処理に関する総合的な演習問題： 説明・座学中心	
	事前学習（内容・時間）	for文、while文、do-while文について理解する事（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認（0.5時間）
第24回	反復処理に関する総合的な演習問題： 実習	
	事前学習（内容・時間）	for文、while文、do-while文について違いと使い分けを理解すること（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること（0.5時間）

第25回	配列（1） 1次元配列について 演習問題： 説明・座学中心	
	事前学習（内容・時間）	第5章 1次元配列について事前に読んでおくこと（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認（0.5時間）
第26回	配列（1） 1次元配列について 演習問題： 実習	
	事前学習（内容・時間）	第5章 1次元配列について、これまでのデータ型との違いを理解しておくこと（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること（0.5時間）
第27回	配列（2） 2次元配列について 演習問題： 説明・座学中心	
	事前学習（内容・時間）	テキスト85～99頁の2次元配列について目を通しておくこと（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の問題の理解・解釈で間違った点、方針を確認（0.5時間）
第28回	配列（2） 2次元配列について 演習問題： 実習	
	事前学習（内容・時間）	テキスト85～99頁の2次元配列について、1次元配列との違いを整理しておくこと（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること（0.5時間）
第29回	総合演習	
	事前学習（内容・時間）	これまでに学習したC言語の文法の確認（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	実習問題の間違った点を確認し、今後は間違えにくいようにすること（0.5時間）
第30回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	これまでに学習したC言語の文法についてまとめておくこと（0.5時間）
	事後学習（内容・時間）	これまで学習した実習問題の問題点を確認（0.5時間）
第31回（定期試験）	プログラミング言語であるC言語の基礎的水準の内容に関する問題を出題予定	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-6522-U2ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
マネージメントゲーム（教職関連科目　選　高等学校　情報）	219～ 経営情報学科	2・3年生・後期	2単位	選択	古川　哲也

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	「情報リテラシー演習Ⅰ、Ⅱ」を履修済であること。「マネージメント科学」を修得済であることが望ましい。数学関連科目を受講していることが望ましい。

授業概要　Course Outline

他企業との競争に係る企業経営における意思決定について、デイプロマポリシーに基づき、課題を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力を修得する。具体的には、意思決定の考え方を理解し、モンテカルロシミュレーションの演習をすると共に、ゲーム理論を学習する。また、簡便なビジネスゲームを体験して、ビジネス上の意思決定をする考え方や結果をマルティメディア表現することを学習する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

乱数を使用した初歩的なシミュレーションが出来ると共に、利害が伴う相手との交渉をする場合の合理的な判断モデルを考えられるようになる。また、ビジネス上の判断の重要性を知る。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学習した内容を、各自がパソコンを用いて実習する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡にはメールを用いる。
furukawa@econ.kyushu-u.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出（学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

ポートフォリオ「科目別履修状況チェック表」を作成し、第5回、第10回、第15回の授業時に提出する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
必要に応じて資料を配布する。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
経営科学と情報処理 ビジネスゲームセオリー	宮川 公男、他 御立 尚資、他	実教出版株式会社 日本評論社	ISBN 4-407-02775-4 ISBN978-4-535-55557-0

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

課題とプレゼンテーションの結果（30点）　＋　定期試験（70点）

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業内容、授業の進め方、成績評価の仕方を説明する。	
	事前学習（内容・時間）	資料を読んで、企業のマネージメントをゲームとして捉えることを理解する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	説明内容を復習し、技術用語、専門用語など不明なものは調べるなどして確認する。（2時間）
第2回	決定理論	
	事前学習（内容・時間）	資料を読んで、決定理論の考え方を理解する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	練習問題を解き、それぞれの原理に基づく意思決定を求める。（2時間）
第3回	待ち行列の解析的分析	
	事前学習（内容・時間）	資料を読んで、どのような手順で待ち行列を分析するのかを理解する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で分析したデータをExcelを用いて検証する。（2時間）
第4回	モンテカルロシミュレーション	
	事前学習（内容・時間）	資料を読んで、乱数とモンテカルロシミュレーションを理解する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業で説明したExcelを用いたシミュレーションを完成する。（2時間）
第5回	モンテカルロシミュレーションの応用1	
	事前学習（内容・時間）	例題として用いるシミュレーションの内容を理解する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	サービス窓口が2つのときのシミュレーションを完成する。（2時間）
第6回	モンテカルロシミュレーションの応用2	
	事前学習（内容・時間）	例題として用いるシミュレーションの内容を理解する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	様々な状況のシミュレーションを完成し、企業の意思決定を行う。（2時間）
第7回	ゲーム理論の概要	
	事前学習（内容・時間）	資料を読んで、ビジネスをゲームとして形式化する考え方を理解する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業の内容を復習し、支配戦略とナッシュ均衡の練習問題を解く。（2時間）
第8回	ゲーム理論とその応用	
	事前学習（内容・時間）	資料を読んで、2段階ゲームと意思決定の順序がある場合を理解する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業の内容を復習し、意思決定の順序がある場合の均衡の練習問題を解く。（2時間）
第9回	ビジネスゲームとは	
	事前学習（内容・時間）	資料のビジネスゲームの概要の部分を読んでおく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ビジネスゲームで何を学習できるのかをレポートにまとめる。（2時間）
第10回	シミュレーションのための企業モデル	
	事前学習（内容・時間）	企業や市場がゲームの中でどのようなモデルで表されているかを理解する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	市場をシミュレーションするExcelのワークシートを完成する。（2時間）
第11回	モデル企業経営（練習）	
	事前学習（内容・時間）	自身が所属する企業（チーム）の戦略を様々な状況をシミュレーションして考えておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	第1期、第2期の結果を分析し、各企業の戦略を評価する。（2時間）
第12回	モデル企業経営	
	事前学習（内容・時間）	練習の分析結果を基に、戦略を検討しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	第1期、第2期の貸借対照表、在庫などから、企業（チーム）の財務状況等を把握する。（2時間）
第13回	モデル企業経営（続き）	
	事前学習（内容・時間）	企業（チーム）の財務状況等、他チームの状況等から、戦略を検討しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	最終結果を分析し、自企業（チーム）の戦略を評価する。（2時間）
第14回	マルティメディアを用いた経営結果プレゼンテーション資料の作成	
	事前学習（内容・時間）	プレゼンテーションの内容を検討しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	プレゼンテーション資料を完成する。（2時間）
第15回	プレゼンテーションおよびビジネスゲームから知ること	
	事前学習（内容・時間）	作成した資料を点検し、プレゼンテーションの練習しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	他の企業（チーム）のプレゼンテーションを評価し、レポートをまとめる。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-6403-Z2ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
プログラミング論（教職関連科目 選 高等学校　情報）	共通 経営情報学科	3・4年生・前期	2単位	選択	合田　和正

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	プログラミング入門に合格していること。（編入生は別途対応） ビジネスプログラミング(他学科履修)に合格済であることが望ましい。 原則として、プログラミング未経験者(編入生含む)は受講不可。

授業概要　Course Outline

学則第3条を踏まえて、
情報学分野のソフトウェア、プログラミングについての知識・技能を習得することを目標とする。
具体的には、フローチャートや変数表を活用して第三者が作成したプログラムを理解したり、更新したりできるようにする。また、逆に第三者が理解や更新を施すのが容易なプログラムの記述方法、例えば字下げや注釈添付なども学ぶ。さらに高度なプログラムを作成し、より高品質、より高信頼のプログラム作成を目指す。高品質を実現する方法の一つとしてGUI(Graphical User Interface)を用いた、プログラム作成にも挑戦してみる。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。オンライン(Zoom)で実施することがある。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

プログラミング入門で学習したプログラミングの基礎理論に基づいて、そしてさらにイベント駆動やオブジェクト指向といった異なるプログラミング様式にも触れながら実際に多くのプログラムを作成しつつ、プログラミング理論への理解をいっそう深める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

演習課題などを通して各自のPCで実際にプログラミングを行う。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。
※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配布します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
学生のためのExcel VBA　第2版	若山芳三郎	東京電機大学出版局	978-4-501-55450-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1) 提出物（授業の振り返りや課題等）が約60%、
2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約40%
であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。
具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	関連項目の総復習・プレースメント試験	
	事前学習（内容・時間）	プログラミング入門の内容を復習し、プレースメント試験に備える。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	不正解、不安、不明な問題について復習。振り返りを書く。[2.0h]
第2回	開発環境、文字列出力、命令文、GUI部品の基本	
	事前学習（内容・時間）	GUIとCUIについて調べる。GUI部品について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
第3回	基本データ型と宣言文、定数、演算子	
	事前学習（内容・時間）	基本データ型について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
第4回	データ型I（整数型を中心に）	
	事前学習（内容・時間）	整数型、浮動小数点数型、固定小数点数型について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
第5回	制御文I（選択構造）	
	事前学習（内容・時間）	制御文について調べる。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
第6回	データ型II（整数型以外）	
	事前学習（内容・時間）	文字型、通貨型、配列について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
第7回	制御文II（反復構造）	
	事前学習（内容・時間）	繰り返し文（反復文）について調べる。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
第8回	中間試験	
	事前学習（内容・時間）	第7回までの内容（プログラミング入門の内容を含む）を総復習して備える。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	不正解、不安、不明な問題について復習。振り返りを書く。[2.0h]
第9回	プログラムの抽象化	
	事前学習（内容・時間）	抽象化・一般化、具体化・特殊化について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
第10回	手続きと関数I（戻り値なし）	
	事前学習（内容・時間）	手続きについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
第11回	手続きと関数II（戻り値あり）	
	事前学習（内容・時間）	関数について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
第12回	再帰とスタック	
	事前学習（内容・時間）	再帰、スタック、キューについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
第13回	応用プログラムI	
	事前学習（内容・時間）	12回までの内容をまとめる。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
第14回	応用プログラムII	
	事前学習（内容・時間）	13回で何がよかった、足りなかったかを踏まえて準備する。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業中に終わらなかった課題を完成。振り返りを書く。[2.0h]
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	14回までの内容をまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	定期試験に向けて、想定問題を作成し、解答の説明を考える。振り返りを書く。[2.0h]
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-6414-Z2ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
中級プログラミング実習（教職関連科目 選 高等学校 情報）	219～222 経営情報学科	3･4年生・後期	2単位	選択	宮﨑　武

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	初級プログラミング実習およびプログラミング論を両方とも合格していること。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、この授業ではプログラムの作成仕様を満足するだけでなく、第三者にとって、理解、保守が容易なプログラムを作成できるようになることを目指す。その中で効率的なプログラミングや効果的な注釈文の書き方を体得していく。より高度なプログラミングに対応するために実習を通して配列などの複雑なデータ構造やそれらのデータを操作するための演算子への理解をさらに深める。そして、プログラムを抽象化することで見通しの良い、理解が容易なプログラムに仕上げる手法について学ぶ。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

初級プログラミング実習を基礎として、さらに高度なプログラミングに挑戦する。また、他者にも理解できるプログラミングができるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回各自のPCで、実際に手を動かしてプログラミングをしてください。また、自身が作成したプログラムについての発表もしてもらいます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室（274）にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回の講義中に各自のPCで小規模なプログラミングを行う演習を行います。また、宿題として次の講義までにもう少し規模の大きなプログラムを作成する課題を出します。次の講義ではそのプログラムについて解説をします。
また、定期試験の代わりにプログラムの作成とプログラムの解説や実行結果などをまとめたレポートを作成する課題を提出します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
新　わかりやすいJava 入門編　第3版	川場隆	秀和システム	978-4-7980-6775-9

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
独習Java 新版	山田祥寛	翔泳社	978-4-7981-5112-0
スッキリわかるJava入門	中山清喬／国本大悟	インプレス	978-4-295-00780-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

講義のプログラミング課題（40%）、レポート試験（60%）で評価

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス、開発環境のインストール	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを読み、PCのアップデート等がないか確認する（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	教科書第1章を読みながらソフトの起動をする(0.5h)
第2回	開発環境の構築	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを読み、PCのアップデート等がないか確認する（0.5h）
	事後学習（内容・時間）	教科書第1章を読みながらソフトの起動をする(0.5h)
第3回	プログラムの書き方	
	事前学習（内容・時間）	教科書第2.1節を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第4回	変数	
	事前学習（内容・時間）	教科書第2.2,2.3節を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第5回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習（内容・時間）	教科書第2.1～2.3節を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第6回	演算子	
	事前学習（内容・時間）	教科書第2.4～2.6節を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第7回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習（内容・時間）	教科書第2.4～2.6節を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第8回	標準クラスのメソッド	
	事前学習（内容・時間）	教科書第2.7～2.10節を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第9回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習（内容・時間）	教科書第2.7～2.10節を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第10回	配列とレコード	
	事前学習（内容・時間）	教科書第3.1, 3.2節を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第11回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習（内容・時間）	教科書第3.1, 3.2節を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第12回	リスト	
	事前学習（内容・時間）	教科書第3.3, 3.4節を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第13回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習（内容・時間）	教科書第3.3, 3.4節を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第14回	メソッド	
	事前学習（内容・時間）	教科書第4章を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第15回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習（内容・時間）	教科書第4章を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第16回	条件を作成する演算子	
	事前学習（内容・時間）	教科書第5.1節を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(0.5h)

第17回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習（内容・時間）	教科書第10章を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第18回	if文	
	事前学習（内容・時間）	教科書第5.2節を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第19回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習（内容・時間）	教科書第5.2節を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第20回	switch文とswitch式	
	事前学習（内容・時間）	教科書第5.3,5.7節を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第21回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習（内容・時間）	教科書第5.3,5.7節を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第22回	for文	
	事前学習（内容・時間）	教科書第5.4節を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第23回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習（内容・時間）	教科書第5.4節を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第24回	while文とジャンプによる制御	
	事前学習（内容・時間）	教科書第5.5～5.6節を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(0.5h)

第25回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習（内容・時間）	教科書第5.5～5.6節を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第26回	オブジェクトの作成	
	事前学習（内容・時間）	教科書第6章を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(0.5h)
第27回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習（内容・時間）	教科書第6章を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題の復習を行う(0.5h)
第28回	オブジェクトの仕組み	
	事前学習（内容・時間）	教科書第7章を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題の復習を行う(0.5h)
第29回	各自の作成したプログラムの発表および意見交換	
	事前学習（内容・時間）	教科書第7章を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題の復習を行う(0.5h)
第30回	継承	
	事前学習（内容・時間）	教科書第8章を読んでおく(0.5h)
	事後学習（内容・時間）	課題の復習を行う(0.5h)
第31回（定期試験）	レポート試験	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-5610-Z2ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
コンピュータグラフィックス論（教職関連科目 必 高等学校 情報）	219～ 経営情報学科	3・4年生・前期	2単位	選択	鶴野　玲治

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし

履修の前提条件 Course Prerequisites	テキストに従って事前学習、事後学習しておくことを推奨します。 基礎的な数学や物理学の知識、また、説明を読解するため若干の英語力が必要になります。 windowsへのソフトウエア導入と設定、基本的な操作やエラー対応などは各自で対応できるという前提で進めます。

授業概要　Course Outline

この授業では建学の精神『至心』に基づいて、心に描いたものを表現し、人に伝え、お互いの考えを理解する方法として、コンピュータを使ったビジュアルな表現方法を学びます。人は8割から9割の情報を視覚を通して取得しています。視覚に働きかける表現方法として、三次元CG(コンピュータグラフィックスを扱います。三次元CGの基礎を講義し、演習を通して体験的に学びます。CGの処理は三次元の物体や空間をコンピュータの中にどのように定義するかという「モデリング」とこれを二次元的なコンピュータ画像としてどのように表現するかという「レンダリング」に大きく分けることができます。本科目ではこの流れを概観しながら、これらを構成する技術や考え方を解説し、同時にCGソフトウエア(PovRay)を使った演習を通して体験的に学んでいきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

コンピュータグラフィックスの本質は情報科学です。コンピュータの中に人工的な空間や物体を設定し、光を計算して画像を作ります。そのために空間や被写体を感覚的にとらえ、構造や配置などを論理的に考えて記述します。この一連の流れを通して知識だけでなく論理的思考力や問題解決力を身につけることが目標です。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

最初のうちは説明を聞いて例題を試してください。そのあとは自分なりに応用的な課題を設定し、各自で進めてください。たくさんの試行錯誤の中から問題の本質を見極めてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員は非常勤なので授業の時以外は学内には居ません。質問や相談は授業の時にお願いします。
緊急の場合のみ、メールで受け付けます。アドレスは授業中にお伝えします。メールには必ず、所属名、授業名、氏名を記述してから問い合わせ内容を書いてください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

インターネットからオンラインソフトウエアをダウンロードしインストールします。
これらが可能な自分専用のwindowsの入ったPCを用意してください。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
POV-Rayによる3次元CG制作 ーモデリングからアニメーションまでー	鈴木広隆・倉田和夫・佐藤尚	CGARTS協会	978-4-903474-19-9

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
コンピュータグラフィックス	コンピュータグラフィックス[改訂新版]編集委員会	CGARTS協会	978-4-903474-49-6

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

毎回の授業での課題を出題し、さらに全体を通した最終課題を出題します。
試験については、授業内容の理解度、理論の応用力、表現力、構成力など判断し(60%)、これに平常点（毎回の課題等）(40%)を加えて最終評価とします。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	三次元CG技法の概観。全体を構成する技術とそれによって作られる画像や映像を解説。	
	事前学習（内容・時間）	一般的な事例の確認（2h）
	事後学習（内容・時間）	紹介した技術、理論、事例の再確認（2h）
第2回	空間座標系、モデリングとレンダリングの説明。実習ソフトウエア(povray)の説明と動作確認。	
	事前学習（内容・時間）	幾何学の概念の復習、コンピュータos(windows)とソフトウエアインストール環境の確認（2h）
	事後学習（内容・時間）	コンピュータグラフィックスの技術的視点からの考え方の復習、ソフトウエア動作確認（2h）
第3回	空間の考え方。直交座標系の中での光源、視点、投影空間などの説明、単一のオブジェクトを描く。	
	事前学習（内容・時間）	三次元空間の扱い方の復習、ソフトウエアインストールと動作確認（2h）
	事後学習（内容・時間）	ソフトウエア内での空間の扱い方の概念の復習（2h）
第4回	空間の中でのオブジェクトの配置、シーンスクリプト(記述言語)の構成と簡単な文法を説明。	
	事前学習（内容・時間）	データの入力と編集方法の予習（2h）
	事後学習（内容・時間）	モデリング、エディッティング、レンダリングの一連の動作の再確認（2h）
第5回	反射色と発光色の概念。RGB(Red,Green,Blue)のみを使って加法混色と減法混色を表現する	
	事前学習（内容・時間）	光学系、色の表現と取扱い方法の予習（2h）
	事後学習（内容・時間）	仮想的な色と光のモデル、発光と反射による表現実験（2h）
第6回	座標変換。平行移動、回転移動、スケーリングの考え方と変換方法。スクリプトでの実装。	
	事前学習（内容・時間）	座標変換、幾何学的変換の予習（2h）
	事後学習（内容・時間）	アフィン変換の実験と結果の確認、オブジェクトモデリングへの適用と確認（2h）
第7回	連続的、パラメトリックな座標変換。パラメータを使った複数オブジェクトの取り扱い方法を確認。	
	事前学習（内容・時間）	モデリングとレンダリングでの定数と変数の扱い方の予習（2h）
	事後学習（内容・時間）	パラメータ化による自動変換方法の確認（2h）
第8回	CSGモデリング。物体形状を基本立体の演算(union, difference, intersection)で表現する。	
	事前学習（内容・時間）	空間内形状演算方法の予習（2h）
	事後学習（内容・時間）	空間内形状演算の実験と結果の確認、応用モデルの試作（2h）
第9回	前半で解説、実習した内容を応用し、課題制作を行う。	
	事前学習（内容・時間）	任意のオブジェクト、シーン、光源環境、動作等の構想（2h）
	事後学習（内容・時間）	上記の表現方法、スクリプト記述方法の試行、レンダリングと結果確認（2h）
第10回	表面模様の表現方法。マッピングの考え方を解説し、演習する。	
	事前学習（内容・時間）	テクスチャマッピングの概念の確認（2h）
	事後学習（内容・時間）	スクリプトへの実装方法の復習、レンダリング結果の再確認（2h）
第11回	材質感の表現方法。物体表面の反射モデルを説明し、石、木材、金属などの質感表現を実習する。	
	事前学習（内容・時間）	マテリアル表現、反射特性の考え方の予習（2h）
	事後学習（内容・時間）	反射モデルの分類と特性と効果の再確認（2h）
第12回	透明で光が屈折するモデルを説明する。ガラス、水晶、水などの質感表現を実習する。	
	事前学習（内容・時間）	マテリアル表現、光の透過屈折特性の考え方の予習（2h）
	事後学習（内容・時間）	透過屈折モデルの特性とレンダリング結果の再確認（2h）
第13回	照明モデルを説明する。平行光線、点光源、指向性光源のモデルとその効果を実習する。	
	事前学習（内容・時間）	ライティングの概念の予習、光源モデルの確認（2h）
	事後学習（内容・時間）	光源モデルの与え方とスクリプトでの記述方法の復習、レンダリング結果の確認（2h）
第14回	CSG、表面反射、透明屈折、照明効果、空間文字列を加えたシーンを練習課題とする。	
	事前学習（内容・時間）	具体的なシーンをイメージしそれぞれを表現する方法や記述方法を計画（2h）
	事後学習（内容・時間）	試行錯誤を通じて具体的なシーンのレンダリングを試行する（2h）
第15回	シーン構成、データ化、レンダリング、フィードバックなど、制作の工程を想定して制作する。	
	事前学習（内容・時間）	具体的なシーンを構成する個々のエレメントのデータ化を考える（2h）
	事後学習（内容・時間）	個々の技術を考えながら全体の具体的なイメージを制作する（2h）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1EAN-6020-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
中級簿記	224～ 経営情報学科	2年生・前期	2単位	選択	岩下　昌美
中級簿記演習Ⅰ	219～223 経営情報学科				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	複式簿記（3級）の基本知識を習得していることが望ましい。 「会計学入門」・「簿記Ⅰ・Ⅱ」などの会計関連科目を履修していることが望ましい。 電卓必須。遅刻は厳禁。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーにもとづき，この授業では，簿記の専門的レベルの知識・技能について説明します。
複式簿記とは，企業の日々の経営活動を記録・計算・整理して経営成績と財政状態を明らかにする原理と技能のことです。本講義では，簿記Ⅰ・Ⅱで習得した複式簿記の基礎的な原理・技術に加えて，日本商工会議所主催の簿記検定2級の商業簿記の内容，つまり，株式会社の経営活動に関わる会計処理・決算手続きを学んでいきます。
ただし，内容は広範囲にわたるため，後期開講の「中級簿記演習Ⅱ」までが2級の学習範囲となります。
簿記知識の習得は積み重ねです。そのためには毎回の講義に必ず出席することがとても重要です。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

本講義では，日本商工会議所検定2級の商業簿記の内容中心に簿記の技術や理論を学び，株式会社の経済活動を記録・計算・整理・集計したものを活用して，財務諸表を作成することができることを目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業は対話型を心がけ進めていきます。不明な点や疑問などが生じた時は積極的に発言してください。
授業終了時には毎回の理解度をチェックするため，ミニテストを実施します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などは2号館2階270室の研究室にて，オフィスアワーの時間帯に受け付けます。オフィスアワーの時間帯以外でも必要に応じて対応します。
ただし，研究室への来室は事前にメール（masami-i@g.kiis.ac.jp)などでご相談ください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して前期定期試験日に岩下までメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
合格テキスト 日商簿記2級 商業簿記 Ver.17	TAC簿記検定講座	TAC出版	978-4300106570

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
スッキリわかる 日商簿記2級 商業簿記 最新版 テキスト&問題集	滝澤 ななみ	TAC出版	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：定期試験（50%），平常点（30%），課題への取組み（20%）。
平常点は毎回の課題提出や講義への参加状況で判断します。
成績評価の基準：①仕訳ができるか。②補助簿への記入ができるか。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（講義の進め方，講義内容，受講上の諸注意，評価方法等を確認する。） 簿記Ⅰ・Ⅱ（3級）の復習 【テーマ00】簿記一巡の手続き	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ00】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第2回	【テーマ01】財務諸表：損益計算書・貸借対照表 ・財務諸表の様式を学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ01】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第3回	【テーマ02】商品売買 ・商品売買取引の記帳方法，返品・割戻，仕入・売上の計上基準，期末評価について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ02】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第4回	【テーマ03】現金および預金 ・当座預金の調整（預金残高の不一致の原因の会計処理），銀行勘定調整表の作成，定期預金について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ03】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第5回	【テーマ04】債権・債務 ・クレジット売掛金，手形取引，電子記録債権・債務，その他の債権の譲渡について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ04】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第6回	【テーマ05】有価証券 ・有価証券の範囲，分類，株式の処理，公社債（債券）の処理，有価証券の期末評価について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ05】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第7回	【テーマ06】有形固定資産（Ⅰ） ・固定資産の購入，減価償却，固定資産の売却について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ06】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第8回	【テーマ07】有形固定資産（Ⅱ） ・割賦購入，建設仮勘定，改良と修繕，除却と廃棄，買換え，臨時損失，圧縮記帳について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ07】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）

第9回	【テーマ08】リース取引 ・リース取引の仕組み，分類，借手側の会計処理，ファイナンス・リース取引（売買処理），オペレーティング・リース取引（賃貸借処理）について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ08】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第10回	【テーマ09】無形固定資産等と研究開発費 ・無形固定資産，投資その他の資産，研究開発費について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ09】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第11回	【テーマ10】引当金 ・引当金の意義，貸倒引当金，その他の引当金について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ10】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第12回	【テーマ11】外貨換算会計 ・為替換算，外貨建取引の会計処理，為替予約について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ11】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第13回	【テーマ12】税金 ・税金の分類，法人税等，消費税について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ12】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第14回	まとめ（1）　総合演習	
	事前学習（内容・時間）	第1回から第7回までの復習問題・解答を再度確認してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	配布する演習問題を解いてください。（2時間）
第15回	まとめ（2）　総合演習	
	事前学習（内容・時間）	第8回から第13回までの復習問題・解答を再度確認してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	配布する演習問題を解いてください。（2時間）
第16回（定期試験）	60分の定期試験（電卓持ち込み可）	

ナンバリング（Numbering）
1EAN-6030-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
中級簿記演習Ⅱ	219～223 経営情報学科	2年生・後期	2単位	選択	岩下　昌美

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	複式簿記（3級）の基本知識を習得していることが望ましい。 前期開講の「中級簿記演習Ⅰ」を履修し単位を取得していることが望ましい。 電卓必須。遅刻は厳禁。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーにもとづき，この授業では，簿記の専門的レベルの知識・技能について説明します。
複式簿記とは，企業の日々の経営活動を記録・計算・整理して経営成績と財政状態を明らかにする原理と技能のことです。本講義では，簿記Ⅰ・Ⅱで習得した複式簿記の基礎的な原理・技術に加えて，日本商工会議所主催の簿記検定2級の商業簿記の内容，つまり，株式会社の経営活動に関わる会計処理・決算手続きを学んでいきます。
ただし，前期開講の「中級簿記演習Ⅰ」を引き継ぎ学習していきます
簿記知識の習得は積み重ねです。そのためには毎回の講義に必ず出席することがとても重要です。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

本講義では，日本商工会議所検定2級の商業簿記の内容中心に簿記の技術や理論を学び，株式会社の経済活動を記録・計算・整理・集計したものを活用して，財務諸表を作成することができることを目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業は対話型を心がけ進めていきます。不明な点や疑問などが生じた時は積極的に発言してください。
授業終了時には毎回の理解度をチェックするため，ミニテストを実施します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などは2号館2階270室の研究室にて，オフィスアワーの時間帯に受け付けます。オフィスアワーの時間帯以外でも必要に応じて対応します。
ただし，研究室への来室は事前にメール（masami-i@g.kiis.ac.jp)などでご相談ください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、後期定期試験日までにメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
合格テキスト 日商簿記2級 商業簿記 Ver.17	TAC簿記検定講座	TAC出版	978-4300106570

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
スッキリわかる 日商簿記2級 商業簿記 最新版 テキスト&問題集	滝澤 ななみ	TAC出版	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：定期試験（50%），平常点（30%），課題への取組み（20%）。
平常点は毎回の課題提出や講義への参加状況で判断します。
成績評価の基準：①仕訳ができるか。②決算整理事項をもとに財務諸表等の作成ができるか。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（講義の進め方，講義内容，受講上の諸注意，評価方法等を確認する。） 中級簿記演習Ⅰ・Ⅱの復習	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ00】～【テーマ12】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	配布する復習問題を解いてください。（2時間）
第2回	【テーマ13】課税所得の算定と税効果会計 ・課税所得，差異の発生と解消，税効果会計の意義，一時差異と永久差異，将来減算一時差異，その他有価証券評価差額金にかかる税効果会計，税効果会計の仕訳について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ13】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第3回	【テーマ14】株式の発行 ・株式会社の概要，純資産（資本），株式の発行，株式申込証拠金について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ14】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第4回	【テーマ15】剰余金の配当と処分 ・利益剰余金の配当と処分，利益準備金の積立て，その他資本剰余金による配当，株主資本の計数の変動，株主資本等変動計算書について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ15】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第5回	【テーマ16】決算手続 ・決算の意義，決算手続，精算表，勘定の締切り，月次損益の算定，決算整理仕訳について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ16】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第6回	【テーマ17】収益の認識基準 ・サービス業（役務収益，役務原価），収益認識の基本原則，契約資産と債権，売上割戻について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ17】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第7回	【テーマ18】本支店会計 ・本支店間取引（内部取引），支店間取引，決算手続，決算振替（純損益の振替），本支店合併財務諸表の作成について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ18】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第8回	【テーマ19】合併と事業譲渡 ・合併，事業譲渡，のれんの償却について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ19】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第9回	【テーマ20】連結会計Ⅰ（資本連結Ⅰ） ・連結会計の意義，連結財務諸表と作成方法，連結財務諸表の構成，支配獲得日の連結，投資と資本の相殺消去について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ20】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第10回	【テーマ21】連結会計Ⅱ（資本連結Ⅱ） ・支配獲得後の連結，連結精算表について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ21】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第11回	【テーマ22】連結会計Ⅲ（成果連結） ・成果連結と連結修正仕訳，内部取引高と債権・債務の相殺消去，未実現利益（棚卸資産，土地などの売買）の消去について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ22】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第12回	【テーマ23】連絡会計Ⅳ（連結株主資本等変動計算書作成） ・連結株主資本等変動計算書の概要，連結財務諸表の関係，連結修正仕訳，連結精算表について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ23】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第13回	【テーマ24】製造業会計 ・残高試算表，決算整理，財務諸表について学習します。	
	事前学習（内容・時間）	テキストの【テーマ24】を一読してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	前回の復習問題の解答確認および当該回の復習問題を解いてください。（2時間）
第14回	まとめ（1）　総合演習	
	事前学習（内容・時間）	第1回から第7回までの復習問題・解答を再度確認してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	配布する演習問題を解いてください。（2時間）
第15回	まとめ（2）　総合演習	
	事前学習（内容・時間）	第8回から第13回までの復習問題・解答を再度確認してください。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	配布する演習問題を解いてください。（2時間）
第16回（定期試験）	60分の定期試験（電卓持ち込み可）	

ナンバリング（Numbering）
1EAN-5480-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
原価計算論	224～ 経営情報学科	2年生・前期	2単位	選択	山下　壽文
原価計算論 I	219～223 経営情報学科				

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	簿記関連科目を履修し、.日本商工会議者主催簿記検定試験3級程度を理解していることが望ましい。

授業概要　Course Outline

講義では、「原価計算基準」にもとづいて、日本商工会議所主催簿記検定試験２級「工業簿記」の内容をテキストをもとに解説、例題による確認、練習問題を解いて復習することにより、工業簿記の基礎を修得する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

講義では、学則第3条を踏まえて、経営学分野の原価計算について知識を修得することを目標とする。そのため、原価計算、工業簿記の基本的項目を体系的に整理・理解し、製造業の取引を記録、計算、分類、集計して財務諸表作成までを学習する。また、日本商工会議所主催簿記検定試験2級工業簿記に合格できる能力を養う。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

○　対話型の講義を心がけるので、質問等積極的な取組みを期待する。
○　講義内で実施する小テストを活用し、講義内容の理解を深めるとともに講義への積極的な参加を促す。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室にて行う。オフィスアワー以外で質問、相談等がある場合は、事前にメール等でアポイントメントを取ってください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価、教員の評価等、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
原価計算論 I	山下壽文	冊子（実費）	市販されていません 初回講義で購入してください

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
検定簿記講義2級工業簿記	岡本清他	中央経済社	978-4-502-83553-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

.定期試験60%、.小テスト40%で評価。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（講義の内容・進め方）、工業簿記と原価計算	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第１回を読んで内容を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第2回	原価の勘定体系	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第2回を読んで内容を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第3回	製造原価報告書の作成	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第3回を読んで内容を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第4回	原価の費目別計算（1）： 材料費	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第４回を読んで内容を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第5回	原価の費目別計算（2）： 消費賃金（労務費）、経費	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第5回を読んで内容を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第6回	製造間接費・個別原価計算：製造間接費の配賦、原価計算表の作成	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第6回を読んで内容を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第7回	部門別計算： 部門費の集計、補助部門費の配賦、製造部門費の予定配賦	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第7回を読んで内容を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第8回	総合原価計算（1）： 期末仕掛品の計算	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第8回を読んで内容を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第9回	総合原価計算（2）： 等級別・組別・工程別・連産品総合計算表、副産物の評価・処理	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第9回を読んで内容を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第10回	標準原価計算： 原価差異と原価分析、標準原価計算の記帳	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第10回を読んで内容を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第11回	直接原価計算：損益分岐点分析、全部原価計算と直接原価計算	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第11回を読んで内容を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第12回	工場独立会計	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第12回を読んで内容を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容の復習。（2時間）
第13回	総合問題（1）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの練習問題を予習しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	配布の模範解答による復習。（2時間）
第14回	総合問題（2）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの練習問題を予習しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	配布の模範解答による復習。（2時間）
第15回	まとめ：要点整理	
	事前学習（内容・時間）	テキストを読んで要点を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストをもとに工業簿記の要点について復習。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1EAN-5490-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
原価計算論Ⅱ	219～223 経営情報学科	2学年・後期	2単位	選択	春日　克則

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし

履修の前提条件 Course Prerequisites	「中級簿記演習Ⅱ」「原価計算論Ⅰ」を履修していることが望ましい。Iパス・簿記コンテストと日商簿記検定試験2級受験に積極的にチャレンジして下さい。

授業概要　Course Outline

この講義は、日本商工会議所主催の「簿記検定２級」の内容を学習します。具体的には、前期に開設されている「原価計算論Ⅰ」をふまえて、さらに発展した「標準原価計算」「直接原価計算」と「原価・営業量・利益関係の分析」を学習します。なお、講義の前半では復習のために「個別原価計算」と「総合原価計算」に取り組みます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシーの「Ⅲ」を前提としながら、「Ⅳ」および「Ⅴ」の達成に主体的に関与するものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

原価計算は、製品の原価を計算し、経営管理に役立てるための一連の手続きをいいます。そこで、原価計算に関連した基本的な用語や計算方法を習得し、さらには原価計算システムが経営管理目的に有用な情報を提供していることについて理解することを目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業では、毎回、事例や練習問題に取り組む時間を設けています。そこで、当該時間において、双方向で課題についてコミュニケーションを図って行きたいと思います。なお、授業の最後には成果を提出してもらい、翌週添削して返却します。成果を提出する際には、授業中に解決できなかった疑問なども記入し、返却されたペーパーには、私のコメントが書いてあるので互いわかり合えるまで、キャッチボールを行いましょう。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（455研究室）にて随時受け付けています。また、メール(kasuga@kiis.ac.jp)での相談等も歓迎します。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：日商簿記検定試験2級と授業内容が関連しています。
学習の確認：ポートフォリオシートと小テストによって学習の確認を行います。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配付します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
合格トレーニング日商簿記2級 工業簿記（最新版）	TAC株式会社	TAC出版	最新版

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

経営情報学の応用・発展領域にある「原価計算論Ⅱ」について体系的に学習し、一定の理解・技能を修得しているかを評価します。具体的には、定期試験60%、毎回の課題提出40%の割合を持って評価します。なお、講義の理解を深めるために、各回ごとに課題の提出、添削、返却がなされますが、この課題への取り組みは疑問点に関する質問・回答というコミュニケーションツールとして皆さんの理解の手助けとなります。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（講義の内容、進め方など）、材料費・労務費・経費の意味と計算方法	
	事前学習（内容・時間）	インターネット等で工業簿記について調べておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第2回	材料費の内容と処理法	
	事前学習（内容・時間）	第１回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第3回	労務費の種類と処理法	
	事前学習（内容・時間）	第２回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第4回	経費の分類と処理法	
	事前学習（内容・時間）	第３回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第5回	個別原価計算の勘定連絡	
	事前学習（内容・時間）	第４回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第6回	個別原価計算における製造間接費の配賦	
	事前学習（内容・時間）	第５回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第7回	中間テスト（これまで学習した項目の理解度テスト）とその解説	
	事前学習（内容・時間）	第１回から前回までの総復習を行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	中間テストの問題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第8回	製造間接費分析の意義	
	事前学習（内容・時間）	第６回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された中間テストと授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第9回	シュラッター図の作成と分析	
	事前学習（内容・時間）	第８回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第10回	総合原価計算（月末仕掛品の評価－月初仕掛品がない場合）	
	事前学習（内容・時間）	第９回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第11回	総合原価計算（月末仕掛品の評価－平均法と先入先出法）	
	事前学習（内容・時間）	第１０回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第12回	標準原価計算の意義と手続き	
	事前学習（内容・時間）	第１１回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第13回	標準原価計算（原価差異の分析）	
	事前学習（内容・時間）	第１２回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第14回	直接原価計算の意義	
	事前学習（内容・時間）	第１３回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第15回	CVP分析－学園祭のお好み焼きをいくらで販売したらよいのか	
	事前学習（内容・時間）	第１４回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中に取り組んだ課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験の実施 （まとめと振り返りを行う。）	

ナンバリング（Numbering）
1EAN-5620-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
財務会計論	219～ 経営情報学科	2年生・前期	2単位	選択	山下　壽文

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	「簿記Ⅰ・Ⅱ」「会計学入門」「会計学総論」等会計学の初歩的な知識を習得していることが望ましい

授業概要　Course Outline

講義では、初歩的な簿記の知識を前提として、財務会計の必要性や基礎的な用語、企業会計の理論・制度の両極分化についての実態を把握するとともに、「企業会計原則」および「企業会計基準」に即した財務会計の理論的・制度的構造を、損益、資産、負債、純資産の各分野にわたって考察し、財務諸表における主要な論点について、金融構造の変化との関連を明らかにする。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

講義では、学則第3条を踏まえて、経営学分野の財部会計について知識を修得することを目標とする。今日、実体経済に比べ金融経済が益々優位を占めるようになっているため、財務会計に関する知識はだれもが身につけるべき常識となっている。このような社会的要請に応えるため、講義では財務諸表の基礎を学習する。まず、「企業会計原則」の資産・負債・資本・損益に関する問題を検討し、次に、「企業会計原則」と「国際財務報告基準」、、「収益費用アプローチ」と「資産負債会アプローチ」への制度・理論の両極分化とその主要問題について考察する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義内容および講義資料の性質に応じて、可能な限り、質疑応答等の対話を取り入れる。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問・相談は、研究室で行う。オフィスアワー以外で質問、相談等がある場合は、事前にメール等でアポイントメントを取ってください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出（学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
財務会計論～テキスト＆問題	山下壽文	冊子（700円）	市販されていません 初回講義で購入してください

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ビギナーのための会計学	山下壽文他	創成社	978-4-7944-1479-3

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

学期末試験60%、課題40%で評価。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（講義の内容・進め方）、わが国における企業会計制度の体系	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第1回を読んでわが国の企業会計制度を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとに企業会計制度について復習。（2時間）
第2回	会計会計の基本ルール～会計公準、会計主体論および会計原則	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第2回を読んで会計公準および会計主体論の論点を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとに会計公準および会計主体論について復習。（2時間）
第3回	損益計算書原則～損益計算書のしくみ	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第3回を読んで損益計算書しくみを整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとに損益計算書について復習。（2時間）
第4回	貸借対照表原則～貸借対照表のしくみ	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第4回を読んで貸借対照表のしくみを整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとに貸借対照表について復習。（2時間）
第5回	流動資産⑴～金銭債権	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第5回を読んで金銭債権の種類および評価を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとに金銭債権について復習。（2時間）
第6回	流動資産⑵～有価証券	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第6回を読んで有価証券の種類および評価を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとに有価証券について復習。（2時間）
第7回	流動資産⑶～棚卸資産	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第7回を読んで棚卸資産の種類および評価を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとに棚卸資産の内容について復習。（2時間）
第8回	固定資産・繰延資産	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第8回を読んで固定資産などの種類および評価を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとに固定資産などについて復習。（2時間）
第9回	固定資産の減損	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第9回を読んで固定資産の減損の意義および計算を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとに固定資産の減損について復習。（2時間）
第10回	負債⑴～引当金・退職給付引当金	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第10回を読んで引当金・退職給付引当金の処理を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとに引当金・退職給付引当金について復習。（2時間）
第11回	負債⑵～社債・資産除去債務	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第11回を読んで社債・資産除去債務の処理を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとに社債・資産除去債務について復習。（2時間）
第12回	純資産	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第12回を読んで純資産の区分・処理を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとに純資産について復習。（2時間）
第13回	キャッシュフ・ロー計算書	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第13回を読んでキャシュ・フロー計算書の作成方法を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとにキャシュー・フローについて復習。（2時間）
第14回	リーース会計	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第14回を読んでリース会計の種類・処理を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとにリース会計について復習。（2時間）
第15回	ストックオ・プション、のれん	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第15回を読んでストック・オプションなどの処理を整理しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび講義内容をもとにストック・オプションなどについて復習。（2時間）
第16回（定期試験）	学期末試験	

ナンバリング(Numbering)
1EAN-5630-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
財務管理	219～222 経営情報学科	2年生　後期	2単位	選択	片山　准一

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし

履修の前提条件 Course Prerequisites	・経営学入門・総論、会計学入門・総論を履修しておくことが望ましい ・特に企業の「投資」、「資金調達」、「配当」などに関心を持つと、講義内容について、より深い理解が得られるため、日頃から経済ニュースにふれておくこと。

授業概要　Course Outline

財務管理の諸問題を資本調達論の観点から商法（会社法）を関連付けて論じる。財務管理を歴史的・論理的且つ、具体的な事例を通して分析・講義する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

デュプロマポリシーに基づきこの授業では、企業の財務管理の諸問題を資本調達論の観点から歴史的・論理的に論じ得ること。講義全体を通して、唯物弁証法的論理思考の構築を到達目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
・講義中、基本的な質問を行うので、積極的に回答してもらいたい。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

担当教員と連絡を取りたい場合は、研究室(454)を訪ねること。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ＆ルーブリックに必要事項を記入のうえ、最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
講義資料を配布する			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
経営財務論	片山伍一・後藤泰二	ミネルヴァ書房	ISBN4-623-01750-8 C-3034

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験での評価(70%)　講義中の質問への回答及び板書の記帳等の評価(30%)　第1回の講義でノートの取り方など、詳細を説明するので、必ず出席すること。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	はじめに　財務管理の講義案を述べる。	
	事前学習（内容・時間）	企業金融、経営財務、財務管理等の概念をネットで検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	講義概要をよく復習しておくこと。疑問があれば次回の講義で質問すること。（120分）
第2回	資本とは　資本の循環・回転について述べる。	
	事前学習（内容・時間）	資本とは何かを質問するので、回答できるようネットで検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	資本の循環・回転図を何度も書いて理解すること。（120分）
第3回	資本及び資本家概念について　「機能資本家」「無機能資本家」概念について述べる。	
	事前学習（内容・時間）	資本・資本家概念をネットで検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	「機能資本家」「無機能資本家」概念及び「出資」と「貸付」概念の相違を理解すること。（120分）
第4回	企業形態の展開過程について　個人企業→合名会社→合資会社→株式会社について述べる。	
	事前学習（内容・時間）	企業組織諸形態をネットで検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	唯物弁証法による企業形態の展開過程を理解すること。（120分）
第5回	株式会社の決定指標について述べる。	
	事前学習（内容・時間）	譲渡自由な等額株券制、全社員有限責任制、法人格等についてネットで検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	株式会社の組織形態を理解すること。（120分）
第6回	株価形成の理論について述べる。	
	事前学習（内容・時間）	株価に影響を与える要因は何か？をネットで検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	上記を念頭に新聞の株式欄を見てみよう。（120分）
第7回	株式会社の設立について述べる。	
	事前学習（内容・時間）	株式会社の設立過程をネットで検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	商法（会社法）等で規定される会社形態を調べてみよう。（120分）
第8回	株式―株主権　株主の権利・義務について述べる。	
	事前学習（内容・時間）	利益配当請求権、議決権等についてネットで検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	株主代表訴訟について調べてみよう。（120分）
第9回	配当政策　自己（内部）金融について述べる。	
	事前学習（内容・時間）	欧米と比較して日本の企業の方が配当が低い訳を考えてみよう。（120分）
	事後学習（内容・時間）	上記を念頭に新聞の株式欄を見てみよう。（120分）
第10回	優先株式①	
	事前学習（内容・時間）	優先株式をネットで検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	上記を念頭に新聞の株式欄を見てみよう。（120分）
第11回	優先株式②	
	事前学習（内容・時間）	優先株式をネットで検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	上記を念頭に新聞の株式欄を見てみよう。（120分）
第12回	無額面株式	
	事前学習（内容・時間）	何故、日本では全て無額面株になったのか？をネットで検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	上記を念頭に新聞の株式欄を見てみよう。（120分）
第13回	自己株式①	
	事前学習（内容・時間）	自己株式の問題点をネットで検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	自己株式による企業犯罪をネットで検索してみよう。（120分）
第14回	自己株式②	
	事前学習（内容・時間）	自己株式の解禁は何故行われたのか？をネットで検索しておくこと。（120分）
	事後学習（内容・時間）	自己株式の解禁によって企業財務にどのような影響が生じたかを考えてみよう。（120分）
第15回	財務管理のまとめ	
	事前学習（内容・時間）	講義の総括を行うので、復習しておくこと。講義全体を通して疑問があれば質問すること。（120分）
	事後学習（内容・時間）	定期試験に向けて復習しておくこと。（120分）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1EAN-5230-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
会社法	219～ 経営情報学科	2年生・前期	2単位	選択	吉野　正

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし

履修の前提条件 Course Prerequisites	「法学」を履修していることが望ましいです。

授業概要　Course Outline

会社の法的な仕組みを学んで行きます。まず、会社の法的な性質を理解できるようになった上で、会社の種類ごとの法的な性質の違いを学びます。その後、株式会社の4つの類型を学んで、株式会社の各機関（株主総会、取締役、取締役会、代表取締役、委員会等）の機能を理解できるよう授業を進めます。最後に取締役にどのような責任が課せらているかを学んで行きます。
なおこの講義は、建学の精神・ディプロマポリシーに基づき、弁護士として実際に勤務している教員が担当します。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	弁護士実務50年、長年の監査役経験を有する。多くの会社法関連事件を処理してきた。	会社法関連事例を具体的にとりあげて、会社法の実務運用を教示する。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

株式会社、持分会社についての法的な知識を修得して、ビジネス社会で必要とされる汎用的技能を身に付けます。具体的には、株式会社、持分会社の法的な知識を修得して、ニュース、新聞等の経済報道をより正確に理解できるようになることを目指します。更に株式会社の各機関の役割について知識を身に付け、役員（主に取締役）の法的な責任を深く理解することで、ビジネス社会において法的なリスクを回避できる汎用的技能の修得を目指します。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

株式会社について自主的にテーマを設定して、レポートを作成してもらいます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

金曜・2時限の授業後に連絡、質問、相談等を受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：授業の最初に前回の内容について質問を行いますので、積極的な発言を期待します。
ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
現代商法入門 デイリー六法	近藤光男編 大石 眞 編集	有斐閣 三省堂	978-4641221772 978-4385158808

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
会社法判例百選（第3版）	岩原紳作、神作裕之、他編	有斐閣	9784641115309

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価方法：定期試験95％　平常点（レポートの提出状況等）5％。 成績評価の基準：①会社の特徴について理解をしているか。②株式会社、合名会社、合資会社、合同会社のそれぞれの性質の違いを理解しているか。③株式会社のうち取締役会を設置することで機関の権限にどのような違いが出てくるかを理解しているか。④株式会社の指名委員会等設置会社、監査等員会設置会社を理解しているか。⑤取締役にどのような責任が課せられているか説明できること。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	会社法とは	
	事前学習（内容・時間）	民法、商法、会社法、刑法の違いを事前に学ぶ（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第2回	会社の法的意義	
	事前学習（内容・時間）	法人と自然人の違いを教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第3回	持分会社	
	事前学習（内容・時間）	持分会社の種類を教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第4回	持分会社の責任	
	事前学習（内容・時間）	持分会社と社員の責任を教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第5回	株式会社と持分会社の比較	
	事前学習（内容・時間）	株式会社の株主のことを教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第6回	株式会社の類型（1）	
	事前学習（内容・時間）	取締役会設置会社のことを教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第7回	株式会社の類型（2）	
	事前学習（内容・時間）	委員会設置会社の意味を教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第8回	株式会社の役員、機関	
	事前学習（内容・時間）	株式会社の機関の種類について教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第9回	公開会社と非公開会社	
	事前学習（内容・時間）	株式譲渡の可否について教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第10回	取締役の責任（1）	
	事前学習（内容・時間）	取締役の会社に対する義務について教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第11回	取締役の責任（2）	
	事前学習（内容・時間）	経営判断の意味を教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第12回	取締役の責任（3）	
	事前学習（内容・時間）	株主代表訴訟について教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第13回	監査役、会社参与及び会計監査人の責任	
	事前学習（内容・時間）	監査役の役割について教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第14回	株式の譲渡	
	事前学習（内容・時間）	株式譲渡の方法について教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	会社と従業員の関係について教科書で読んでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートの復習（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1EAN-5240-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
監査論	219～223 経営情報学科	2年生・後期	2単位	選択	春日　克則

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし

履修の前提条件 Course Prerequisites	簿記や会計学の基本的な知識を習得していることが望ましいですが、企業の監査（スポーツでいえば審判すること）に興味を持つことが必要です。

授業概要　Course Outline

監査をスポーツの審判と比較すると分かりやすいと思います。スポーツのうち、ボーリングやゴルフなどは自分１人だけでプレイできるため（楽しいかどうかは？）他人にチェックしてもらう必要はありません。しかし、テニスや柔道などは相手がいるスポーツなので、ルールの適用や解釈、得点の判断などはプレーヤー以外の第三者、つまり審判が必要になります。もちろん、審判を置かずにお互いの話し合いでやれなくはないですが、意見が食い違った場合には調整が困難になります。そこで、偏りのない第三者の審判を用意しておいた方がスムースに試合を楽しめます。監査は、会社とその利害関係者（株主や債権者）との間で審判と同じ役割を果たします。つまり、会社と利害関係者の意見が一致しない場合、会社は必要なお金が集められず、株主等も投資が出来なくなります。その結果、社会的に有用な活動が停滞することになります。そこで、独立した第三者（監査人）を用意しておき、審判（監査）を行わせることで、効率的な社会が実現できることになります。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

講義では、監査の必要性を学んだ上で、実際の手順、すなわち、実施のための準備、計画、実行、そして結果の報告を行うために必要な基礎的な理解を得ることを目標としています。
この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシーの「Ⅲ」を前提としながら、「Ⅳ」および「Ⅴ」の達成に主体的に関与するものです。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業では、毎回、事例や練習問題に取り組む時間を設けています。そこで、当該時間において、双方向で課題についてコミュニケーションを図って行きたいと思います。なお、授業の最後には成果を提出してもらい、翌週添削して返却します。成果を提出する際には、授業中に解決できなかった疑問なども記入し、返却されたペーパーには、私のコメントが書いてあるので互いわかり合えるまで、キャッチボールを行いましょう。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（455研究室）にて随時受け付けています。また、メール(kasuga@kiis.ac.jp)での相談等も歓迎します。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：公認会計士試験の監査論と授業内容が関連しています。
学習の確認：ポートフォリオシートと小テストによって学習の確認を行います。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配付します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ベーシック監査論	伊豫田隆俊他	同文舘出版	978-4-495-18257-1

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

経営情報学の応用・発展領域にある「監査論」について体系的に学習し、一定の理解・技能を修得しているかを評価します。
具体的には、定期試験60%、毎回の課題提出40%の割合を持って評価します。なお、講義の理解を深めるために、各回ごとに課題の提出、添削、返却がなされますが、この課題への取り組みは疑問点に関する質問・回答というコミュニケーションツールとして皆さんの理解の手助けとなります。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション－自己証明は証明にあらず－大日本製糖事件－	
	事前学習（内容・時間）	インターネット等で「監査」について調べておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第2回	財務諸表監査の社会的役割と公認会計士－山陽特殊鋼事件－	
	事前学習（内容・時間）	第１回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第3回	監査の必要性と法定監査制度	
	事前学習（内容・時間）	第２回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第4回	監査全体の流れ－東北文化学園大事件－	
	事前学習（内容・時間）	第３回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第5回	監査基準－大光相互銀行事件－	
	事前学習（内容・時間）	第４回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第6回	リスク・アプローチ監査	
	事前学習（内容・時間）	第５回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第7回	内部統制	
	事前学習（内容・時間）	第６回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第8回	中間テスト（これまで学習した項目の理解度テスト）とその解説	
	事前学習（内容・時間）	第１回から前回までの総復習を行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	中間テストの問題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第9回	監査上の主要な検討事項（KAM－Key Audit Matters－）	
	事前学習（内容・時間）	指定した企業の経営上の問題点について予習しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された中間テストと授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第10回	EDINETによる監査報告書の検索と検討	
	事前学習（内容・時間）	EDINETの検索方法について、配付資料により予習しておくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第11回	監査の実施－東芝事件－	
	事前学習（内容・時間）	第10回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第12回	監査計画－オリンパス事件－	
	事前学習（内容・時間）	第11回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第13回	監査結果の報告	
	事前学習（内容・時間）	第12回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第14回	パブリック・アカウンタビリティ（公的説明責任）	
	事前学習（内容・時間）	第13回の授業で配付した資料に取り組む。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	第９回から前回までの総復習を行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1EAN-5910-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
税務会計論	219～ 経営情報学科	3・4年生・前期	2単位	選択	春日 克則

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし	

履修の前提条件 Course Prerequisites	「会計学入門」や「簿記」を履修済か同程度の知識を有することが望ましいが、何よりも、税金に興味を持っていることが大切です。

授業概要　Course Outline

税は、取る者と取られる者との戦いの歴史といえます。例えば、株式会社などの所得（利益）に課せられる法人税は、国から見ると（個人）所得税や消費税と並ぶ大きな財源となっています。反面、納税者の側からは、住民税、事業税を合わせると法人所得の約40%が徴収されることになります。そこで、税務当局と納税者の利害が激しくぶつかることになるのですが、「税務会計論」（税務会計論Ⅰ）では、この戦いをどのように終わらせ、どうしたらお互いが納得できるかの仕組みを学びます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシーの「Ⅲ」を前提としながら、「Ⅳ」および「Ⅴ」の達成に主体的に関与するものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

税を学ぶ場合に、最も重要な原則は租税法律主義です。この原則は、納税者の代表が決めた法律によってしか税を課すことができないというものです。そこで、この授業では、国と納税者が争った判例をみることによって、租税法律主義を具体的に理解することを目標とします。同時に、このような理念が税額の計算にどのように具体的に活かされているかについても理解することを目標とします。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業では、毎回、事例や練習問題に取り組む時間を設けています。そこで、当該時間において、双方向で課題についてコミュニケーションを図って行きたいと思います。なお、授業の最後には成果を提出してもらい、翌週添削して返却します。成果を提出する際には、授業中に解決できなかった疑問なども記入し、返却されたペーパーには、私のコメントが書いてあるので互いわかり合えるまで、キャッチボールを行いましょう。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（455研究室）にて随時受け付けています。また、メール(kasuga@kiis.ac.jp)での相談等も歓迎します。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：税のスペシャリスト＝税理士試験の基礎となる授業です。
学習の確認：ポートフォリオシートと小テストによって学習の確認を行います。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配付します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
よくわかる税法入門	三木義一	有斐閣	978-4-641-28150-9

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

経営情報学の応用・発展領域にある「税務会計論」（税務会計論Ⅰ）について体系的に学習し、一定の理解・技能を修得しているかを評価します。
具体的には、定期試験60%、毎回の課題提出40%の割合を持って評価します。なお、講義の理解を深めるために、各回ごとに課題の提出、添削、返却がなされますが、この課題への取り組みは疑問点に関する質問・回答というコミュニケーションツールとして皆さんの理解の手助けとなります。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	サラリーマンなのに37年間、所得税を納めなかった男－申告納税制度－	
	事前学習（内容・時間）	日本の税制、特に所得税制についてインターネットを活用して調べる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第2回	ホステスの報酬にかかる源泉徴収事件－税を学ぶ場合に最も重要な原則「租税法律主義」－	
	事前学習（内容・時間）	第１回の授業で配付された資料を読め疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第3回	1600億円をタダでもらっても税金はゼロ？（武富士事件）－租税法律主義は正しいのか－	
	事前学習（内容・時間）	第２回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第4回	同族会社の判定①－特殊関係人－	
	事前学習（内容・時間）	第３回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第5回	同族会社の判定②－具体的な事例を考える－	
	事前学習（内容・時間）	第４回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第6回	税金の金額を計算してみよう①－簿記・会計上の利益を所得に変換する便利な用具（別表4）－	
	事前学習（内容・時間）	第５回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第7回	税金の金額を計算してみよう②－税金の額を簡単に計算するための便利な用具（別表1と次葉）－	
	事前学習（内容・時間）	第６回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第8回	中間テスト（これまで学習した項目の理解度テスト）とその解説	
	事前学習（内容・時間）	第１回から前回までの総復習を行うこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	中間テストの問題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第9回	交際費を使うと税金がかかる－交際費の限度額計算（別表15）－	
	事前学習（内容・時間）	第７回授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された中間テストと授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第10回	ふるさと納税をしてみよう－寄附金制度－	
	事前学習（内容・時間）	第９回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第11回	寄附をすると税金がかかる－寄附金の限度額計算（別表14）－	
	事前学習（内容・時間）	第１０回の授業で配付された資料み疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第12回	配当金を受け取っても税金がかからない－受取配当等の益金不算入（二重課税の防止）－	
	事前学習（内容・時間）	事前に配付された資料を読み疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第13回	皆さんにとって身近な税金－個人の所得税（納税義務の範囲）－	
	事前学習（内容・時間）	第１２回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第14回	どんなことをすると税金がかかるのか－所得の分類－	
	事前学習（内容・時間）	第１３回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	返却された課題と授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第15回	国際的な税金逃れを防止する－GAFAの支払っている税金は適正か－	
	事前学習（内容・時間）	第１４回の授業で配付された資料を読み疑問点をまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題について振り返りの学習を行う。（2時間）
第16回（定期試験）	定期テスト	

ナンバリング（Numbering）
1EAN-5900-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
税法学	219～ 経営情報学科	3・4年生・後期	2単位	選択	平山　誠一郎

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	税法は、社会のルール。税法学の授業はそのルールを教える授業である。 従って、税法学総論を受講する者は、校則で決められたルールは必ず守ること。 ① 遅刻・欠席をしない ② 授業中のスマホの私的利用、私語は禁止 ③ 居眠り禁止（起こします）

授業概要　Course Outline

「租税は、…およそ民主主義国家にあっては、国家の維持及び活動に必要な経費は、主権者たる国民が共同の費用として代表者を通じて定めるところにより自ら負担すべきものである」(大島判決（最判：昭和60年3月27日判決))とされている。税とは何か、税による国家の活動にはどのようなものがあるかを学ぶ。
また、身近な税である所得税・消費税を取り上げ、今後学生諸君が実生活に出てどのようにかかわっていくかなどを学ぶ。
なお、所得税の確定申告書を作成するなど実践的な学習を行う。国税庁ホームページにアクセスして、所得税の申告書作成システムを利用した所得税確定申告書の作成模擬演習を行うなど、電子機器を取り入れた授業も予定している。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	国税組織において、税法の解釈・適用に関する審理事務や課税処分に対する不服審査事務などを含む税務の実務経験（35年）を有する。	実務経験に基づき、税法理論と税法を執行する税務行政の両面から「税」をとらえ講義を行う。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

学則第3条を踏まえ、経営情報学の応用領域にある租税法に関して基本的な知識を修得することを目標とします。
①租税とは何かを理解する。
②所得税の仕組みを理解する。
③所得税確定申告書の作成ができるようになる。（国税庁ホームページを利用しての作成を含む。）
④消費税の仕組みと特色を理解する。
この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシーの「Ⅲ」を前提としながら、「Ⅳ」および「Ⅴ」の達成に主体的に関与するものです。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①授業中不明の点があれば積極的に質問してください。また、教授からの質問に対しては自分の考えを率直に述べてください。
②国税庁ホームページなどの情報を提供しますので、自ら閲覧するなどして知識等を広めてください。
③毎回コメント用紙（兼出席票）を配りますので、意見や質問などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は、研究室（456）にて随時受け付けます。連絡先はhirayama@kiis.ac.jpです。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオシート及び小テストにより学習の確認を行います。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
税務大学校講本（税法入門、所得税法、消費税法）	－	国税庁ホームページ	－

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プレップ租税法〔第4版〕	佐藤　英明	弘文堂	978-4-335-31331-8

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

平常点（講義時の小テストの解答状況や受講態度など）40%、定期試験60%で評価します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	「租税の意義」	
	事前学習（内容・時間）	税大講本の税法入門（以下「税法入門」という）の第１章第１節「租税の意義」を読んでおく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキスト等により租税の意義について復習し理解を深める。（2時間）
第2回	「財政」（歳入・歳出）	
	事前学習（内容・時間）	税法入門の補章「財政の仕組みと役割」を読んでおく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	我が国における歳入・歳出の状況について、財務省ホームページ等で復習する。（2時間）
第3回	「租税負担率・国民負担率」及び「財政赤字」	
	事前学習（内容・時間）	税法入門の第１章第９節「国民の租税負担」を読んでおく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	我が国の税制の状況を理解し、今後いかにすべきかを考える。（2時間）
第4回	「租税の種類」及び「租税の原則」	
	事前学習（内容・時間）	税法入門の第１章第７節「租税の分類」及び第８節「租税の原則」を読んでおく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で学んだことをテキストや財務省・国税庁ホームページ等で復習する。（2時間）
第5回	「租税の根拠」及び「担税力」	
	事前学習（内容・時間）	税法入門の第１章第２節「租税の根拠と配分」及び第２章第２節「租税体系についての考え方」を読んでおく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「担税力」、「垂直的公平」、「水平的公平」、「タックスミックス」など講義で学んだことをまとめる。（2時間）
第6回	「租税法律主義」及び「三権分立」	
	事前学習（内容・時間）	税法入門の第３章第２節「租税法律主義」を読んでおく。また、「三権分立」とは何かを調べておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で学んだことをテキストや国税庁ホームページ等で復習する。（2時間）
第7回	「「所得の概念」及び「所得の種類」	
	事前学習（内容・時間）	税大講本の所得税法（以下「所得税法」という）の第１章第２節「所得の概念」及び第２章「所得の種類と意義」を読んでおく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で学んだことをテキストや国税庁ホームページ等で復習する。（2時間）
第8回	「給与収入」と「給与所得」の関係	
	事前学習（内容・時間）	所得税法の第２章４「給与所得の金額の計算」を読んでおく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	給与所得控除の意義について理解を深めた上で、計算問題を解く。（2時間）
第9回	「所得控除」について	
	事前学習（内容・時間）	所得税法の第３章「所得控除」を読んで所得控除の概要を理解しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で学んだことをテキストや国税庁ホームページ等で復習する。（2時間）
第10回	「勤労学生控除」、「扶養控除」及び「基礎控除」	
	事前学習（内容・時間）	「勤労学生控除」、「扶養控除」及び「基礎控除」の各控除について、所得税法で具体的な要件と控除額を確認しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で学んだことをテキストや国税庁ホームページ等で復習する。（2時間）
第11回	「課税される所得金額」及び「税額の計算」	
	事前学習（内容・時間）	所得税法の第４章「税額計算」を読んで、税額計算の方法等を確認しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	設例を基に税額の計算を行う。（2時間）
第12回	「源泉徴収制度」	
	事前学習（内容・時間）	所得税法の第５章「源泉徴収制度」を読んで概要を理解しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で学んだことをテキストや国税庁ホームページ等で復習する。（2時間）
第13回	「納付税額の計算」及び「所得税確定申告書の作成」	
	事前学習（内容・時間）	第８回から第12回までを復習し、税額の計算手順を確認しておく。また、確定申告書の様式を確認しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	設例を基に所得税の税額計算方法を復習する。（2時間）
第14回	「消費税の仕組み」	
	事前学習（内容・時間）	事前配付資料を読んで、消費税法の概要を確認しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で学んだことをテキストや国税庁ホームページ等で復習する。（2時間）
第15回	電子機器を使用した所得税確定申告書の作成	
	事前学習（内容・時間）	国税庁ホームページでスマホ申告の概要を確認する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	スマートフォンを使用した所得税確定申告書作成の操作要領を復習する。（2時間）
第16回（定期試験）	租税について正しく理解できているか、記述式問題による定期試験を行う。	

ナンバリング（Numbering）
1EMN-5380-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
経営戦略論	224～ 経営情報学科	1年生・後期	2単位	選択	遠藤　真紀
	219～223 経営情報学科	1年生・前期			

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	・1年生から履修可能な科目となっているが，経営学の派生理論であるため，経営学の基礎である「経営学総論Ⅰ」「経営学総論Ⅱ」などを既に修得し，理解している事が望ましい。 ・また「マーケティング論」，「ベンチャービジネス入門」，「会計学入門」，「簿記」など，基礎的な経営学関連科目も履修し，理解していることが望ましい。

授業概要　Course Outline

・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。
・IT人材（高度情報化人材）として必要な，経営戦略に関する基本理論を体系的に理解するとともに，その理論の背景や意義などについても考察していきます。テキストを基に，伝統的な理論から現代の戦略論まで，その形成過程や今日的課題について講義を進めます。
・現代企業の経営戦略が，情報システムやネットワーク技術との関わりで進化していることから，これまでの実務経験を踏まえた実践的な議論を展開していきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・現代企業の経営における戦略の意義や必要性および主な経営戦略理論（分析型・プロセス型経営戦略，ドメイン，製品・市場戦略，経営資源，競争戦略等）について理解している。
・具体的には，卒業後，IT人材（高度情報化人材）として就職した企業の経営戦略等が理解でき，自律的・自発的な行動への判断基準が持てるようになる。
・また例えば，企業物とよばれる小説またはビジネス雑誌・書籍等の理解が促進されるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・基本的に対話型の講義になります。よってただ単に出席し，講義を聴いているだけでは単位取得できません。
・講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応し，自身の意見を発言していくことが求められます。
・企業経営や経営戦略等に関するビデオ聴講による演習や中小企業診断士試験の問題を活用した演習を行います。また演習に基づき，ディスカッションを行うため，ビデオ内容の聞き取り力，メモ力，聴講した内容や関連情報に関する考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

・講義内容および企業情報や企業経営等々に関する質問および関連資格の取得方法を含む学生生活全般に関するアドバイス・相談等は，研究室での直接面談またはGoogleｸﾗｽﾙｰﾑやEメール等で対応します。
・オフィスアワー以外の不在時には，研究室のメッセージボードやEメール（endo@kiis.ac.jp）等を活用してください。
・自主性を重要視するので「来る者拒まず，去る者追わず」のスタンスで対応しますが，「聞くは一時の恥，聞かぬは一生の恥」という格言の通りです。積極的な教員へのコンタクトおよびコミュニケーションが期待されます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations,
ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・希望者には，必要に応じて，販売士（3級～1級），経営学検定（マネジメント検定：初級，中級，上級），中小企業診断士等，経営学に関連する資格試験の受験指導を行います。
・事前・事後学習としての課題レポート以外に，授業態度や資格試験への積極的な取り組み，関連するレポートおよび学習記録（事前学習/授業レポートやポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
経営戦略論要論	岸川善光	同文舘出版	4-495-37421-4

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
よくわかる経営戦略論 戦略プロフェッショナル	井上善海・佐久間信夫編著 三枝 匡	ミネルヴァ書房 日経ビジネス文庫	978-4-623-05069-7 978-4-532-19145-0

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価方法：定期試験（50%），平常点（出席率，ディスカッションへの参加，各種レポート提出，資格試験への取り組み，ポートフォリオ提出，教員とのコミュニケーションなど学習に対する積極性）等（50%）を総合的に考慮して評価します。
評価基準：学習に対する積極性および経営戦略の意義や各経営戦略理論等について基礎的な理解が図られている。自身に関係する企業の経営戦略等が理解でき，自律的・自発的な行動への判断基準が持てている。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義の目的と進め方（講義内容のアウトラインの理解）	
	事前学習（内容・時間）	企業および経営・戦略に関連する事例などがWEBや雑誌等に多く掲載されているため，積極的にアクセスし，自分の挑戦材料として頭に入れておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	本講義のアウトラインについて復習，課題への取り組み（2時間）
第2回	経営戦略の意義　－環境変化と経営戦略－	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第3回	経営戦略の意義　－経営戦略の定義，企業と環境のかかわり方－	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第4回	経営戦略の意義　－将来志向的な構想，意思決定プロセス－	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第5回	経営戦略論の生成と発展　－経営戦略論の生成（チャンドラー，アンゾフ，スタイナー等）－	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第6回	経営戦略論の生成と発展　－分析型経営戦略論（経験曲線，PPMほか）－	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第7回	経営戦略論の生成と発展　－プロセス型・情報創発型・社会調和型経営戦略論－	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第8回	経営戦略論の体系　－全体戦略と個別戦略，経営戦略の構成要素－	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第9回	経営戦略の体系　－経営戦略策定プロセス，経営戦略の構成要素の適合性－	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第10回	ドメイン　－ドメインの意義，ドメイン定義の要件－	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第11回	製品・市場戦略　－製品・市場戦略の意義，製品・市場マトリクス－	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第12回	製品・市場戦略　－多角化戦略，差別化と細分化，新製品開発，新市場開拓－	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第13回	経営資源　－経営資源と経営戦略－	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第14回	競争戦略　－競争戦略の意義，価値連鎖，競争基本戦略，競争戦略の定石－	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第15回	講義のまとめ（講義内容全体の総括）	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1EMN-5572-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
コマース論Ⅱ	219～223 経営情報学科	2学年・後期	2単位	選択	鈴木　和也

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	1.コマース論（コマース論Ⅰ）を履修し単位を取得していること。2.履修者全員が販売士検定試験（2級）を受験すること。

授業概要　Course Outline

この講義は、多様化・高度化した顧客ニーズを的確に捉え、ニーズに合った商品やサービスの提供、商品の開発や仕入、販売、物流などを効率的かつ効果的に行うための実践的なスキルを身に付ける。さらには、将来、商品開発やマーケティング等の分野で活躍できるための専門的な知識も習得する。
なお、カリキュラムポリシーⅣに基づき、学習にあたって、自らがたてた新たな課題や目標に即して、その課題や目標を解決することができる主体的かつ創造的な思考力や実践力も併せて養う。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

日本商工会議所主催販売士検定試験2級を受験し合格を目指す。（販売士試験については、現在1級から3級までCBT方式にて、指定会場でコンピュータを使った受験になりました。年間を通して受験が可能です。）

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
・授業内で実施する小テストを活用し、授業内容の理解を深めるとともに授業への積極的な参加を促します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室（553）にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。（オフィスアワー以外で研 究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価や教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握に努める。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
1回で合格!リテールマーケティング(販売士)検定2級テキスト&問題集	上岡 史郎	成美堂出版	978-4415234311

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
販売士検定試験2級ハンドブック(応用編)～リテールマーケティング（販売士）検定試験2級対応	日本商工会議所 全国商工会連合会	カリアック	H00100227

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1.定期試験（80%）、2.小テスト（5%）、3.学修課題の提出（5%）、4.授業への取組み（10%）

授業計画 Course Schedule			
テーマ Theme			
第1回	授業概要（授業の進め方、評価について） 小売業の類型Ⅰ		
	事前学習（内容・時間）	教科書13頁～26頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第2回	小売業の類型Ⅱ		
	事前学習（内容・時間）	教科書23頁～40頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第3回	小売業の類型Ⅲ		
	事前学習（内容・時間）	教科書41頁～57頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第4回	マーチャンダイジングⅠ		
	事前学習（内容・時間）	教科書61頁～73頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第5回	マーチャンダイジングⅡ		
	事前学習（内容・時間）	教科書74頁～89頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第6回	マーチャンダイジングⅢ		
	事前学習（内容・時間）	教科書90頁～103頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第7回	ストアオペレーションⅠ		
	事前学習（内容・時間）	教科書107頁～127頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第8回	ストアオペレーションⅡ		
	事前学習（内容・時間）	教科書128頁～141頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第9回	ストアオペレーションⅢ		
	事前学習（内容・時間）	教科書142頁～153頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第10回	マーケティングⅠ		
	事前学習（内容・時間）	教科書157頁～178頁を通読する 。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第11回	マーケティングⅡ		
	事前学習（内容・時間）	教科書179頁～198頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第12回	マーケティングⅢ		
	事前学習（内容・時間）	教科書199頁～207頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第13回	販売・経営管理Ⅰ		
	事前学習（内容・時間）	教科書211頁～230頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第14回	販売・経営管理Ⅱ		
	事前学習（内容・時間）	教科書231頁～245頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第15回	販売・経営管理Ⅲ		
	事前学習（内容・時間）	教科書246頁～255頁を通読する。	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と練習問題の解答	（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験の実施 (リテールマーケティング［販売士］検定試験2級と同定程度の内容、難易度の問題で効果測定を実施する。)		

ナンバリング（Numbering）
1EMN-6430-U2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ベンチャー企業論	219～223 経営情報学科	2・3年生・後期	2単位	選択	遠藤　真紀

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	・「ベンチャービジネス入門」が一定の基礎となるため，既に履修し，理解している事が望ましい。 ・また経営学・会計学関連の科目をできるだけ多く履修している事が望ましい。 ・「ベンチャービジネス入門」同様，社会のあらゆる事象に興味を持ち，自分の理想とする社会や仕事，働く意義ややり甲斐とは何かを考え，前向きに生きようとする事が前提です。

授業概要　Course Outline

・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。
・ベンチャーだけでなく，ビジネスや経営は，実際に行ってみないと本当の理解はできません。しかしテキストによる基本理論の理解やビデオ・資料等による演習を通じて疑似体験する事は可能です。
・これまでの実務経験を踏まえ，企業経営が身近に感じられるような講義を行い，IT人材（高度情報化人材）として必要なベンチャー企業に関する基本的な知識および自身と社会や企業との関わりについて深く知ろうとする積極性を養っていきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・IT人材（高度情報化人材）に必要な，ベンチャー企業の社会的意義や特徴および課題等の基礎的知識を理解し，社会や企業について関心を持つようになる。
・大企業等に執着することなく，またサラリーマン（給料のために働く人）となる事と当然とせず，自ら会社を興すなど，ビジネスマン（自分のやりたい仕事を創造し実践する人）として社会で活躍できるマインドを身につける。
・また社会に出てから役に立つ経営学について関心を持ち，販売士等各種の資格にも挑むようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・基本的に対話型の講義になります。よってただ単に出席し，講義を聴いているだけでは単位取得できません。
・講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応し，自身の意見を発言していくことが求められます。
・ベンチャー企業や革新的企業の経営や戦略等に関するビデオの聴講およびベンチャー企業経営者による講演等による演習を行います。聴講したビデオ・資料等に基づきディスカッションを行うため，ビデオや講演内容の聞き取り力，メモ力，聴講した内容や関連情報との考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

・講義内容および企業情報や企業経営等々に関する質問および関連資格の取得方法を含む学生生活全般に関するアドバイス・相談等は，研究室での直接面談またはGoogleｸﾗｽﾙｰﾑやEメール等で対応します。
・オフィスアワー以外の不在時には，研究室のメッセージボードやEメール（endo@kiis.ac.jp）等を活用してください。
・自主性を重要視するので「来る者拒まず，去る者追わず」のスタンスで対応しますが，「聞くは一時の恥，聞かぬは一生の恥」という格言の通りです。積極的な教員へのコンタクトおよびコミュニケーションが期待されます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・希望者には，必要に応じて，販売士（3級～1級），経営学検定（マネジメント検定：初級，中級，上級），中小企業診断士等，経営学に関連する資格試験の受験指導を行います。
・事前・事後学習としての課題レポート以外に，授業態度や資格試験への積極的な取り組み，関連するレポートおよび学習記録（事前学習/授業レポートやポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
専門基礎ライブラリー ベンチャービジネス論	太田一樹ほか	実業出版	978-4-407-31077-1

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ベンチャー企業	松田修一	日本経済新聞出版社	10-4532113032

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価方法：定期試験（50%），平常点（出席率，ディスカッションへの参加，各種レポート提出，資格試験への取り組み，ポートフォリオ提出，教員とのコミュニケーションなど学習に対する積極性）等（50%）を総合的に考慮して評価します。
評価基準：広く社会や企業および仕事の意義等について理解し，自分自身のと社会やベンチャー企業等との関わりについて理解している。また各種の資格にも挑むくらい，経営学について関心を持ち，学習に対する積極性をもっている。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義の目的と進め方（講義内容のアウトラインの理解）	
	事前学習（内容・時間）	ベンチャーや起業の体験談およびそれに関連する事例などがWEBや雑誌等に多く掲載されているため，積極的にアクセスし，自分の挑戦材料として頭に入れておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	本講義のアウトラインについて復習，課題への取り組み（2時間）
第2回	企業の存在意義とベンチャー企業の必要性	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第3回	ベンチャー企業とは：わが国のベンチャー企業の実態	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第4回	ビデオ演習とディスカッションおよびレポート作成①	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第5回	ベンチャー企業の特性	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第6回	ベンチャー企業の成長・発展過程（1）成長の考え方と経営戦略の論理	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第7回	ベンチャー企業の成長・発展過程（2）マーケティングの重要性	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第8回	ベンチャー企業の成長・発展過程（3）イグジット（出口戦略）とIPO・MBOの動向	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第9回	ビデオ演習とディスカッションおよびレポート作成②	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第10回	ベンチャー企業の活動実態と問題点（1）スタートアップ期	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第11回	ベンチャー企業の活動実態と問題点（2）成長期，成熟期	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第12回	ベンチャー企業の活動実態と問題点（3）安定期	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第13回	ビデオ演習とディスカッションおよびレポート作成③	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第14回	ベンチャー企業と政策	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第15回	講義のまとめ（講義内容全体の総括）	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1EMN-6040-U2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.	授業担当者 Instructor
中小企業論	219～ 経営情報学科	2・3年生・前期	2単位	選択	遠藤　真紀

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	・中小企業論は，経営学の派生理論になります。一般的に大企業を対象とした「経営学」を，中小企業にあてはめながら中小企業固有の課題等について考察してきます。 ・よってベースとなる基本的な経営学関連科目である「経営学総論Ⅰ」「経営学総論Ⅱ」および「経営情報学」，「経営戦略論」，「マーケティング論」，「会計学」，「簿記」などを既に履修し，理解しておく必要があります。

授業概要　Course Outline

・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。
・中小企業は，わが国において企業数および雇用される従業員数とも圧倒的多数を占め，またわが国産業の競争力を下支えしています。IT人材（高度情報化人材）として必要な知識として，大企業との格差問題や下請問題のみならず，中小企業が社会や地域経済に寄与していることについて考察していきます。
・テキストだけでなくビデオ教材等を活用し，また実務経験を踏まえた具体的な事例を交え，構造的・政策的・実践的な議論を展開していきます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・中小企業を論じるために必要な，経営学関連科目の基礎知識を有している。
・IT人材（高度情報化人材）として必要な中小企業についての基礎知識（特性や役割および政策等）および今日的な課題（大企業との格差問題や下請問題および中小企業に必要なマネジメント理論）等について理解している。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・基本的に対話型の講義になります。よってただ単に出席し，講義を聴いているだけでは単位取得できません。
・講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応し，自身の意見を発言していくことが求められます。
・また中小企業経営や戦略等に関するビデオ聴講による演習や中小企業診断士試験の問題を活用した演習を行います。演習に基づき，ディスカッションを行うため，ビデオ内容の聞き取り力，メモ力，聴講した内容や関連情報との考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

・講義内容および企業情報や企業経営等々に関する質問および関連資格の取得方法を含む学生生活全般に関するアドバイス・相談等は，研究室での直接面談またはGoogleクラスルームやEメール等で対応します。
・オフィスアワー以外の不在時には，研究室のメッセージボードやEメール（endo@kiis.ac.jp）等を活用してください。
・自主性を重要視するので「来る者拒まず，去る者追わず」のスタンスで対応しますが，「聞くは一時の恥，聞かぬは一生の恥」という格言の通りです。積極的な教員へのコンタクトおよびコミュニケーションが期待されます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・希望者には，必要に応じて，販売士（3級～1級），経営学検定（マネジメント検定：初級，中級，上級），中小企業診断士等，経営学に関連する資格試験の受験指導を行います。
・事前・事後学習としての課題レポート以外に，授業態度や資格試験への積極的な取り組み，関連するレポートおよび学習記録（事前学習/授業レポートやポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
中小企業経営入門（第2版）	井上・木村・瀬戸編著	中央経済社	978-4-502-42141-9

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
現代中小企業経営論 よくわかる経営戦略論 戦略プロフェッショナル	川上義明 井上善海・佐久間信夫編著 三枝 匡	税務経理教会 ミネルヴァ書房 日経ビジネス文庫	4-419-04660-0 978-4-623-05069-7 978-4-532-19145-0

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価方法：定期試験（50%），平常点（出席率，ディスカッションへの参加，各種レポート提出，資格試験への取り組み，ポートフォリオ提出，教員とのコミュニケーションなど学習に対する積極性）等（50%）を総合的に考慮して評価します。
評価基準：学習に対する積極性および中小企業の経営についての基礎知識および今日的な課題についての知識を修得し，理解している。また企業経営に関して，今後の自身の自律的・自発的な行動への判断基準が持てている。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義の目的と進め方（講義内容のアウトラインの理解）	
	事前学習（内容・時間）	中小企業およびそれに関連する事例などがWEBや雑誌等に多く掲載されているため，積極的にアクセスし，自分の挑戦材料として頭に入れておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	本講義のアウトラインについて復習，課題への取り組み（2時間）
第2回	中小企業の特性	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第3回	中小企業の歴史	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第4回	海外の中小企業	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第5回	中小企業問題と中小企業政策	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第6回	中小企業の戦略マネジメント	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第7回	下請分業構造の変容と中小企業のマネジメント	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第8回	中小企業ネットワークのマネジメント	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第9回	地域産業集積の変容と中小企業のマネジメント	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第10回	グローバル経済の変容と中小企業のマネジメント	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第11回	中小企業の組織・人材マネジメント	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第12回	中小企業の事業承継マネジメント	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第13回	中小企業の製品開発・事業開発マネジメント	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第14回	中小企業の財務マネジメント	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第15回	講義のまとめ（講義内容全体の総括）	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料等の事前確認および課題への取り組み（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義ノートに基づき，ビデオ演習を含む，講義内容の復習（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1EMN-6320-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ビジネスプランニング	219～ 経営情報学科	3・4年生・後期	2単位	選択	遠藤　真紀

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	・自身のビジネスアイディアを事業計画書へまとめるにあたり，経営学の基礎である「経営学総論Ⅰ・Ⅱ」をはじめ，「経営情報学」，「会計学」，「簿記」，「管理会計」，「経営戦略論」，「マーケティング論」，「消費者行動論」，「流通経済論」など，基本的な関連科目を履修し，理解している事が前提です。 ・需要予測や資金計画・利益計画も作成するため，特に計数管理に必要な財務会計などの知識は必須となります。

授業概要　Course Outline

・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の事業計画や創業計画の作成支援など，経営コンサルティング実務の経験を持つ教員が担当します。
・新しくビジネスを興す時，製品・サービスの市場性等の見きわめ（市場調査・需要予測などの外部環境分析）や自社（自分）の能力評価（内部環境分析）が必要です。過去の実務経験を踏まえ，アイディアの出し方やまとめ方および事業計画の作成方法をテキストやワークシート等を使って講義します。なお週一回の断片的な講義では，考えがまとまらなかったり，作業が進まなかったりするため，例年，土日を使った集中特別講義を行っています。
・最終的には，IT人材（高度情報化人材）として自分のビジネスアイディアを事業計画書にまとめ，その内容をプレゼンテーションしてもらいます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

・ビジネスの着眼点や起業して事業を成功させるために必要なマーケティングおよび資金計画・利益計画など，事前検討項目を理解するとともに，講義・演習を通じて，その検討結果を自分自身の事業計画書（ビジネスプラン）としてまとめていく能力が備わっている。
・同時に，IT人材（高度情報化人材）として事業の成功や失敗のケースを学び，社会に出てから役に立つ経営学について関心を持ち，積極的に関連する資格（簿記や販売士等）にも挑むようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・基本的に対話型・演習型の講義になります。よってただ単に出席し，講義を聴いているだけでは単位取得できません。
・講義中に行われる教員からの質問等へ積極的に対応するとともに，自身のビジネスアイディアやビジネスプランをまとめ，発表してもらいます。
・また土日を使った集中講義（特別講義）では，ビデオ演習や学外の企業・店舗を視察し，損益分析などのビジネスシミュレーションを行います。視察資料やビデオに基づきディスカッションを行うなど，情報収集能力（聞き取り力，メモ力等）や関連情報との考察力を養っていきます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

・講義内容および企業情報や企業経営等々に関する質問および関連資格の取得方法を含む学生生活全般に関するアドバイス・相談等は研究室での直接面談またはGoogleｸﾗｽﾙｰﾑやEメール等で対応します。
・オフィスアワー以外の不在時には，研究室のメッセージボードやEメール（endo@kiis.ac.jp）等を活用してください。
・自主性を重要視するので「来る者拒まず，去る者追わず」のスタンスで対応しますが，「聞くは一時の恥，聞かぬは一生の恥」という格言の通りです。積極的な教員へのコンタクトおよびコミュニケーションが期待されます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・希望者には，必要に応じて，販売士（3級～1級），経営学検定（マネジメント検定：初級，中級，上級），中小企業診断士等，経営学に関連する資格試験の受験指導を行います。
・事前・事後学習としての課題レポート以外に，授業態度や資格試験への積極的な取り組み，関連するレポートおよび学習記録（事前学習/授業レポートやポートフォリオ等）の提出は平常点として加味します。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
事業再構築のプランニング	井上善海ほか	中央経済社	4-502-37510-1

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
さあ，発明家の出番です！	藤村靖之	風媒社	4-8331-3134-X

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価方法：ビジネスプラン（50%），平常点（出席率，ディスカッションへの参加，各種レポート課題等の提出，ポートフォリオ提出，教員とのコミュニケーションなど学習に対する積極性）等（50%）を総合的に考慮して評価します。
評価基準：広く社会や企業および仕事の意義等について理解している。一貫性のあるビジネスプラン作成のプロセスおよび必要な各検討項目を理解している。自分自身のアイディアをビジネスプランとしてまとめることができる。また各種の資格にも挑むくらい，経営学について関心を持ち，学習に対する積極性をもっている。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義の目的と進め方（講義内容のアウトラインおよびワークシートの理解）	
	事前学習（内容・時間）	シラバス，テキストの確認とビジネスアイディアの検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料の再確認とビジネスアイディアの検討（2時間）
第2回	自信と企業の関係，企業の存在意義と成長要因	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料の確認とビジネスアイディアの検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料の再確認とビジネスアイディアの検討（2時間）
第3回	経営理念・事業コンセプトの重要性	
	事前学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料の確認とビジネスアイディアの検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	テキストおよび配布資料の再確認とビジネスアイディアの検討（2時間）
第4回	新事業計画の策定手順と記入例	
	事前学習（内容・時間）	配布資料（事業計画書ワークシート）の事前確認とビジネスアイディアの検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	配布資料（事業計画書ワークシート記入例）の再確認とビジネスアイディアの検討（2時間）
第5回	事業計画ワークシートの作成－演習（1）：ビジネスアイディアの抽出	
	事前学習（内容・時間）	配布資料（事業計画書ワークシート記入例）の再確認とビジネスアイディアの検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身のビジネスアイディアの検討（2時間）
第6回	事業計画ワークシートの作成－演習（2）：ビジネスアイディアの評価	
	事前学習（内容・時間）	自身のビジネスアイディアの検討と評価（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身のビジネスアイディアの評価とブラッシュアップ（2時間）
第7回	事業計画ワークシートの作成－演習（3）：事業コンセプトと経営理念	
	事前学習（内容・時間）	自身のアイディアの事業コンセプトの検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身のアイディアの事業コンセプトのブラッシュアップ（2時間）
第8回	事業計画ワークシートの作成－演習（4）：外部環境と内部環境の評価	
	事前学習（内容・時間）	自身の事業内容の外部環境・内部環境の検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の事業内容の外部環境・内部環境の再検討（2時間）
第9回	事業計画ワークシートの作成－演習（5）：マーケティングの展開	
	事前学習（内容・時間）	自身の事業内容のマーケティングの検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の事業内容のマーケティングの再検討（2時間）
第10回	事業計画ワークシートの作成－演習（6）：ビジネスモデルの検討	
	事前学習（内容・時間）	自身の事業内容のビジネスモデルの検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の事業内容のビジネスモデルのブラッシュアップ（2時間）
第11回	事業計画ワークシートの作成－演習（7）：収支計画（見積損益計算書の作成）	
	事前学習（内容・時間）	自身の事業内容の収支計画の検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の事業内容の収支計画の再検討（2時間）
第12回	事業計画ワークシートの作成－演習（8）：資金計画（設備資金と運転資金）	
	事前学習（内容・時間）	自身の事業内容の資金計画の検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の事業内容の資金計画の再検討（2時間）
第13回	事業計画ワークシートの作成－演習（9）：販売計画	
	事前学習（内容・時間）	自身の事業内容の販売計画の検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の事業内容の販売計画の再検討（2時間）
第14回	ビジネス・プレゼンテーション（プレゼンテーションとビジネスプランの評価）	
	事前学習（内容・時間）	自身の事業のプレゼンテーション内容の検討（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自身の事業のプレゼンテーション内容のブラッシュアップ（2時間）
第15回	講義のまとめと全体総括	
	事前学習（内容・時間）	自身の事業計画書の再確認（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義のまとめと全体総括の復習（2時間）
第16回（定期試験）	事業計画書(ビジネスプラン)およびプレゼンテーション資料の提出	

ナンバリング（Numbering）
1EGN-5510-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
国際経営論	219～ 経営情報学科	2年生・後期	2単位	選択	小川　雄平

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし	

履修の前提条件 Course Prerequisites	①世界経済や多国籍企業に興味があること。 ②新聞を読んで、時事問題に関心を持っていること。

授業概要　Course Outline

経済のグローバル化と少子高齢化の進行に対応して、日本企業は製造業から商業・小売業に至るまで、中国や東南アジア諸国へと進出している。授業では、グローバル化する世界経済の実態を学び、変化する経済環境に対応して採られる企業の国際経営戦略を考察する。実例に相応しい新聞記事を取り上げて理解を深める。
授業は、毎回準備するプリントとテキストを併用して進める。
受講者の理解度を確認するために、小テストを実施する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

この授業では、学則第3条を踏まえて、経営学の基本知識の修得に努め、
・世界経済の現状が把握できること
・企業の国際経営戦略の課題が理解できること
・国際経営分野の更に専門的な学習への橋渡し、あるいは実生活での活用に役立てられること
を目指す。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①双方向・対話型の授業を心掛けるので、積極的な発言を期待する。
②質問を歓迎する。理解できないことは、どしどし質問して欲しい。
③企業の経営者であるとの想定で企業戦略を考えてもらうような取り組みも実施したい。

node

水・木・金曜日のオフィスアワーは研究室（182号室）に待機しているので、気軽に訪ねてほしい。
メールによる質問も活用してほしい（メールアドレス：ogawa@kiis.ac.jp）。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修度確認チェック表」に必要事項を記入してメールで提出すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
国際ビジネス論を学ぶ	小川雄平・猿渡剛編著	中央経済社	978-4-502-35761-9

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
国際経営　第5版	吉原英樹	有斐閣	978-4-641-22172-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験を実施する。成績評価は、学習成果の達成度を評価する観点から、定期試験70%、授業中に実施する小テスト20%、授業への取組み10%とする。欠席日数が3分の1を超える者は定期試験の受験資格を認めない。

授業計画 Course Schedule			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション：経済と経営の違いは？国際経営とは？（授業のアウトラインの説明）		
	事前学習（内容・時間）	シラバスをよく読んで、注意事項をメモし、授業の全体の流れを把握しておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	プリントを熟読して授業内容を振り返り、不明な個所を明らかにしておく。	時間：2時間
第2回	株式会社の仕組みと企業経営		
	事前学習（内容・時間）	プリントを読んで「株式会社」について事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、プリントを読んで授業内容を復習する。	時間：2時間
第3回	多国籍企業の経営目標と国際経営戦略		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで事前学習し、疑問点を見つけてておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	テキストの第5章をよく読んで、多国籍企業の理解を深めておく。	時間：2時間
第4回	日本経済の構造変化と企業の多国籍化		
	事前学習（内容・時間）	テキストの序章をよく読んで事前学習し、疑問点を見つけてておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、プリントを読んで、授業内容を復習する。	時間：2時間
第5回	日本企業のグローバル展開：グローバルサプライチェーンとは何か		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第6回	少子高齢化と日本的経営		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第7回	日本企業とアジアビジネス		
	事前学習（内容・時間）	テキストの4章と11章をよく読んで事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第8回	為替レートと企業戦略Ⅰ：為替レートの決定要因、為替レートの影響、企業の社内レート		
	事前学習（内容・時間）	テキストの3章をよく読んで事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、プリントを読んで授業内容を復習する。	時間：2時間
第9回	為替レートと企業戦略Ⅱ：円高と生産・輸出拠点の移転・再移転		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、プリントを読んで授業内容を復習する。	時間：2時間
第10回	貿易取引の実際と決済		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで「外国為替」について事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第11回	日本の関税と自由貿易協定（FTA）		
	事前学習（内容・時間）	テキストの2章をよく読んで事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第12回	メガFTAと企業戦略		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、プリントを読んで授業内容を復習する。	時間：2時間
第13回	自動車産業の生産・輸出基地としてのメキシコ		
	事前学習（内容・時間）	テキストの7章をよく読んで、自動車生産についての理解を深めておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第14回	多国籍企業とタックスヘイブン（租税回避地）		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、プリントを読んで授業内容を復習する。	時間：2時間
第15回	日本企業の税務戦略と移転価格税制		
	事前学習（内容・時間）	プリントを読んで「移転価格税制」について事前学習し、疑問点を見つけておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第16回（定期試験）	定期試験		

ナンバリング（Numbering）
1EGN-5530-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
国際情報分析	219～223 経営情報学科	2年生・後期	2単位	選択	クリス　フリン

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	英検準2級・TOEIC 550程度の英語能力が必要。

授業概要　Course Outline

この講義では世界のマスコミや情報源を紹介し、主に英語の情報を分析して研究する。毎週時事ニュースの記事を紹介し、研究する。世界の主な新聞、テレビ、インターネットサイトなどの記事やレポートを徹底的に分析、理解、そして議論する。毎回のプリントが試験持ち込み可なので、大事にとっておいてください。建学の精神、3つのポリシー（CP, DP)、学習目標（学則1, 3条）に基づいています。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

現代の社会では国際化・情報化がマスコミに大きな影響を与えてきた。衛星テレビ、インターネットのニュースサイトやテレビ局のon-demand動画映像などが大量の情報を供給しているが、その中から適切な情報を検索、選択する技術が求められている。またはいわれるFAKE NEWSを見分けるスキルも身に付ける

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

中間試験と期末試験として、学生が新聞記事などを用意し、クラスに詳しく説明するというプレゼンテーション形式を実施する。または積極的に毎週の主なニュースを調べて、クラスに紹介する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（362）にて随時受け付けます。オフィスアワー：
火曜日2時限目と5時限目
flynn-c@g.kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：英検検定試2～3級を受験すること。試験結果を成績評価の対象とします。
試験日　5,10,1月、会場　CDCセンター、詳細は後日連絡します。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
毎週、新聞記事をプリントして配布する。その記事はテストの題材となる			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
報道は欠陥商品と疑え	鳥越　俊太郎	ウエイツ	4-901391-22-4

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

50%授業の貢献度、50%期末レポート・試験

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Introduction to Media Studies　国際情報分析・メディア	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第2回	First News Topic　第1回のニュース記事	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第3回	Second News Topic　第2回のニュース記事	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第4回	Third News Topic　第3回のニュース記事	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第5回	Fourth News Topic　第4回のニュース記事	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第6回	Fifth News Topic　第5回のニュース記事	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第7回	Sixth News Topic　第6回のニュース記事	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第8回	Seventh News Topic　第7回のニュース記事	
	事前学習（内容・時間）	1から7の記事を復習すること。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)

第9回	Eigth News Topic　第8回のニュース記事	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第10回	Ninth News Topic　91回のニュース記事	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第11回	Tenth News Topic　第10回のニュース記事	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第12回	中間テスト、これまで勉強した1～4回の記事(TOPIC)についてのテスト	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第13回	中韓テスト　振り返り	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第14回	Eleventh News Topic　第11回のニュース記事	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第15回	Tests preparation テスト準備	
	事前学習（内容・時間）	毎週、最近のニュースについて調べる。(2hr)
	事後学習（内容・時間）	記事の単語や表現のリストを作成、関連記事や動画ニュースを検索.(2hr)
第16回（定期試験）	期末テスト、 TOPIC 5～11についての期末テスト	

ナンバリング(Numbering)
1EGN-6290-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ビジネス英語Ⅱ	221～223 経営情報学科	3・4年生・後期	2単位	選択	藤内　響子
	219・220 経営情報学科	2年生・後期			

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	英語の基礎力を持っていること。熱意を持って学習や発表に取り組めること。

授業概要　Course Outline

商品価格や為替相場決定のメカニズムから説き起こして、関税、経済ブロック、対外債務、南北格差問題、さらには経済成長が地球環境に及ぼす影響まで。身の回りで起こっている様々な経済事象の中から、最も大きな変化をとげつつあるテーマを題材に選び、今日の世界経済を語るうえで欠かせないテーマを英語で学ぶものである。なお、この授業は、本学のディプロマポリシーに基づき行われます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

基本的な経済事項を英語で理解できる様になること。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業の内容を敷衍する形で現実に社会の中で起きている経済事象を確認し、問題点等をまとめて、授業で発表してください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

随時研究室（272）にて受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験として英検やTOEICの受験を推奨します。受験者には成績評価時に加点します。
ポートフォリオシートは、Google Classroom を用いてやり取りを行います。必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
毎回プリントを用意して配布します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
なし。			

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

受講態度1割、授業中の発表および宿題2割、小テスト2割、期末テスト5割で評価します。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	Introduction	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第2回	Department Stores and Supermarkets	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第3回	Discount Stores	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第4回	Catalogue Shopping	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第5回	Catalogue Shopping	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第6回	Tourism	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第7回	Weather Forecasting and It's Links to the Economy	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第8回	Product Liability Laws	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第9回	Japan's New Product Liability Law	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第10回	Japan's New Product Liability Law	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第11回	Genetic Engineering	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第12回	Genetic Engineering	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第13回	Bioremediation and Bioreactors	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第14回	Bioremediation and Bioreactors	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第15回	New Businesses and Health	
	事前学習（内容・時間）	テキストプリントの指定する部分について予習を行い、疑問点をノートにまとめておいてください。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業内容を復習し、解釈が正しかったかどうか確認のうえ、知らない言葉や意味のわからない概念は「マイ辞書」としてノート等にまとめ、いつでも見直せるようにしておくこと。（各回ごとに2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1EGA-5520-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
国際経済論	219～ 経営情報学科	3・4年生・前期	2単位	選択	小川　雄平

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし

履修の前提条件 Course Prerequisites	①世界経済に関心があること。 ②時事問題に興味を持って新聞を読むこと。

授業概要　Course Outline

国際経済・貿易の歴史や理論を踏まえた上で、著しくグローバル化した世界経済の現状を、直接投資、貿易、自由貿易協定等の基本的な内容も学びながら、日本経済との関わりで理解する。
テキストは使用せず、テキストに代わるプリントを準備して授業を進める。
授業の理解度を測るために、授業時間中に小テストを実施する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

この授業では、学則第1条を踏まえて、豊かな人間性を備えた創造的・実践的な人材の育成を目標に、
・グローバル化した世界経済の現状が把握できること
・世界経済の抱える課題が理解できること
・国際貿易の歴史的歩みや諸理論が修得できること
・国際経済分野のより専門的な学習への橋渡し、あるいは実社会での活動に役立てられること、を目指す。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

①双方向・対話型の授業を心がけるので、積極的な発言を求める。
②授業内容に関係する新聞記事を配布して問題の所在とその解決策を見出せるように促す。
③質問を歓迎する。理解できないことは、どしどし質問して欲しい。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

①水・木・金曜日のオフィスアワーは研究室（182研究室）に待機しているので、気軽に訪ねてほしい。
②メールによる質問も受け付けるので、ogawa@kiis.ac.jp に送信してほしい。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修度確認チェック表」に必要事項を記入して、メールで提出すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
教科書に代わるプリントを準備する。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
東アジア地中海経済圏	小川　雄平	九州大学出版会	4-87378-918-4

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験を実施する。成績評価は、学習成果の達成度を評価する観点から、定期試験70%、授業中の小テスト20%、授業への取組み10%とする。欠席日数が3分の1を超える者は定期試験の受験を認めない。

授業計画 Course Schedule			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション：国際経済と世界経済の違いは？（授業のアウトラインの説明）		
	事前学習（内容・時間）	シラバスをよく読んで、授業の全体の流れを理解し、注意事項を確認する。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	プリントをよく読んで、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第2回	貿易の歴史：香料貿易・茶貿易・奴隷貿易		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで予習し、疑問点があればメモしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第3回	貿易理論の歴史Ⅰ：重商主義の貿易論とスミスの貿易論		
	事前学習（内容・時間）	重商主義に対するスミスの批判点を調べて予習し、疑問点があればメモしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第4回	貿易理論の歴史Ⅱ：リカードの比較生産費説		
	事前学習（内容・時間）	リカードの「比較優位」とは何かを調べて予習し、疑問点があればメモしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第5回	貿易理論の歴史Ⅲ：ミルの相互需要説		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで予習し、疑問点があればメモしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第6回	貿易理論の歴史Ⅳ：乗数理論と貿易乗数		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで予習し、疑問点があればメモしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第7回	直接投資と国際収支		
	事前学習（内容・時間）	直接投資と間接（証券）投資の違いを調べて、疑問点があればメモしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第8回	貿易取引と為替の原理		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで「外国為替」について予習し、疑問点があればメモしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第9回	為替レートの決定と妥当な為替レート（購買力平価による為替レート）		
	事前学習（内容・時間）	プリントを読んで「為替レート」について予習し、疑問点があればメモしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第10回	生産性格差・賃金格差と為替レート		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで予習し、疑問点があればメモしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第11回	関税とは？		
	事前学習（内容・時間）	プリントを読んで「関税」について予習し、疑問点があればメモしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第12回	世界貿易機関(WTO)と自由貿易協定(FTA)		
	事前学習（内容・時間）	「世界貿易機関」について調べておき、疑問点があればメモしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第13回	国際経済と港湾物流		
	事前学習（内容・時間）	プリントを読んで、日本の港湾の地位低下の原因を調べておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第14回	局地的経済圏と地域経済協力		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで予習し、疑問点があればメモしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	参考書の8章をよく読んで、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第15回	世界経済の課題：環境汚染と経済格差		
	事前学習（内容・時間）	プリントをよく読んで予習し、疑問点があればメモしておく。	時間：2時間
	事後学習（内容・時間）	疑問点が解消したか確認し、授業内容を振り返って復習する。	時間：2時間
第16回（定期試験）	定期試験		

ナンバリング（Numbering）
1EGA-5540-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
国際政治学	～222 経営情報学科	3・4年生・前期	2単位	選択	坂上　宏

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①「政治学」をすでに受講済みであることが望ましい。 ②カント『永遠平和のために』を読了しておくことが望ましい。 ※禁止事項：不必要な私語。正当な理由でない遅刻および許可のない入退室。携帯電話の使用。その他指定する事項。

授業概要　Course Outline

近代国際関係の成立に関して、その最も重要な契機となるのが1648年ウェストファリア講和会議です。この会議を経て、主権を有する国民国家を単位とする「国際関係」が生まれたと考えられています。この講義の前半では、H.Jモーゲンソーおよび F.L.シューマンの所説に依拠しながら、近代国際関係の成立の背景として、中世末期から同会議に至る西ヨーロッパ世界の変遷について説明し、次に近代国際関係の主要な特徴である国家主権、国際法、勢力均衡について解説します。後半では、イマニュエル･カントの道徳論とそれに立脚する平和論について解説します。カントは、人間は自ら進んで善を行う「自律」的存在であるとし、そのような「市民」から成る国家間の連合によって平和が実現されると主張します。このようなカントの平和論の根底には、彼の哲学的に深遠な洞察があります。この講義では、そうした彼の思想についても可能な限り言及することにしたいと思います。なおこの授業は、主として本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」およびカリキュラムポリシー「Ⅰ　建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「Ⅲ　社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」に則り行われるものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

本講義の目標は、第一に受講者がH.Jモーゲンソーおよび F.L.シューマンが説明する近代国際関係の成立とその基本的特徴について理解できるようになることです。第二にイマニュエル･カントの説く平和論の内容について理解できるようになることです。これらにより、受講者の国際政治に関する歴史的・理論的視野を広げることがさらなる目標です。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します。
毎回の授業が終わってから、ポートフォリオの記入をお願いします。感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（363）およびGoogleクラスルーム・メール（sakagami@g.kiis.ac.jp）にて随時受け付けます。
提出物はGoogleクラスルームへ出してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオとルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プリントを配布する。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
『永遠平和のために』『君主論』 『リヴァイアサン(1)～(4)』	カント, マキャベリ, ホッブズ	岩波文庫	4003362594,4003400000 4003400410・429・437・445
『国際政治　上中下』※特に中巻 『国際政治　上下』※特に上巻	モーゲンソー（原彬久ほか訳） シューマン	岩波文庫 東京大学出版	4003402812・2820・2839, 4130300296,413030030X

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：試験90%。平常点10%(毎回の授業のポートフォリオ（事前学習と事後学習）の提出、ルーブリックの提出）。　　成績評価の基準 ：
①西欧国家体系の特質について、特にウェストファリア体制の成立、国家主権、国際法、勢力均衡について理解しているか。
②カントの平和論について、特に実践理性、平和状態と市民的体制、国際法と諸国家の連合、世界市民法と普遍的な友好に関してそれぞれの内容を理解しているか。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業の方針、現代国際関係の特徴（ボ―ダーレスとボーダーフル）　:ﾌﾟﾘﾝﾄ1	
	事前学習（内容・時間）	現代国際関係の特徴についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ①）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	現代国際関係の特徴についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ①）（2時間）
第2回	中世ヨーロッパ社会の特徴、中世から近代への移行(ルネサンス運動、宗教改革)　:ﾌﾟﾘﾝﾄ2	
	事前学習（内容・時間）	中世ヨーロッパ社会の特徴についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ①）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ルネサンス運動の特徴についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ②）（2時間）
第3回	中世から近代への移行(資本主義、絶対王政国家の出現)、ドイツ30年戦争　:ﾌﾟﾘﾝﾄ3	
	事前学習（内容・時間）	中世から近代への移行についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ②）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	ドイツ30年戦争についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ③）（2時間）
第4回	ﾄﾞｲﾂ30年戦争とｳｪｽﾄﾌｧﾘｱ講和条約～西欧国家体系の誕生、国際関係の誕生と外交の形成　:ﾌﾟﾘﾝﾄ4	
	事前学習（内容・時間）	ｳｪｽﾄﾌｧﾘｱ講和条約についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ③）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	西欧国家体系についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ④）（2時間）
第5回	国際関係の誕生と外交の形成(中世ｲﾀﾘｱの状況)、外交の目標と手段、国際政治とは何か　:ﾌﾟﾘﾝﾄ5	
	事前学習（内容・時間）	『君主論』で述べられている外交の目標と手段について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ④）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	『君主論』で述べられている外交の目標と手段について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑤）（2時間）
第6回	西欧国家体系を構成する概念その1(国家主権の概念について、その思想の変遷)　:ﾌﾟﾘﾝﾄ6	
	事前学習（内容・時間）	国家主権の概念についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑤）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	国家主権の概念についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑥）（2時間）
第7回	西欧国家体系を構成する概念その2（国際法と国際社会）　:ﾌﾟﾘﾝﾄ7	
	事前学習（内容・時間）	国際法についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑥）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	国際法についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑦）（2時間）
第8回	西欧国家体系を構成する概念その3(勢力均衡とﾊﾟﾜｰﾎﾟﾘﾃｨｸｽ):ﾌﾟﾘﾝﾄ8	
	事前学習（内容・時間）	勢力均衡についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑦）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	勢力均衡についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑧）（2時間）

第9回	国際政治と理想主義の思想　:ﾌﾟﾘﾝﾄ9	
	事前学習（内容・時間）	国際政治に関する理想主義の思想についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑧）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	国際政治に関する理想主義の思想についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑨）（2時間）
第10回	ｶﾝﾄの思想①　純粋理性と実践理性　:ﾌﾟﾘﾝﾄ10	
	事前学習（内容・時間）	カントが述べる純粋理性と実践理性についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑨）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	カントが述べる純粋理性と実践理性についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑩）（2時間）
第11回	ｶﾝﾄの思想②平和論(戦争状態と平和状態、平和状態と市民的体制):ﾌﾟﾘﾝﾄ11	
	事前学習（内容・時間）	カントが述べる戦争状態と平和状態についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑩）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	カントが述べる平和状態と市民的体制についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑪）（2時間）
第12回	ｶﾝﾄの思想③平和論(国際法と諸国家の連合、世界市民法と普遍的な友好):ﾌﾟﾘﾝﾄ12	
	事前学習（内容・時間）	カントが述べる国際法と諸国家の連合についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑪）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	カントが述べる世界市民法と普遍的な友好についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑫）（2時間）
第13回	ｶﾝﾄの思想④　自然の摂理と永遠平和の保証について:ﾌﾟﾘﾝﾄ13	
	事前学習（内容・時間）	カントが述べる自然の摂理についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑫）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	カントが述べる永遠平和の保証についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑬）（2時間）
第14回	ｶﾝﾄの思想⑤　道徳について　:ﾌﾟﾘﾝﾄ14	
	事前学習（内容・時間）	カントが述べる道徳のあり方についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑬）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	カントが述べる道徳のあり方についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑭）（2時間）
第15回	ｶﾝﾄの思想⑥　道徳と政治の関係　:ﾌﾟﾘﾝﾄ15	
	事前学習（内容・時間）	カントが述べる道徳と政治のあり方についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑭）（2時間）
	事後学習（内容・時間）	カントが述べる道徳と政治のあり方についてﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑮）（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験、ポートフォリオ＆ルーブリック作成等	

専門教育科目

（情報ﾈｯﾄﾜｰｸ学科）

ナンバリング（Numbering）
1AIB-6361-12C

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
プログラミング初歩Ⅰ	219～ 情報ネットワーク学科	1年生・前期	2単位	必修	合田　和正

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	これまでに学習した情報・プログラミング関連の内容についてまとめておく。本学図書館の教職指定コーナーに配置されている高等学校情報科「情報の科学」「情報Ⅰ」の教科書のプログラミング関連項目を読んでおく。（このまとめは提出物として回収予定）

授業概要　Course Outline

学則第3条を踏まえて、
情報学分野のソフトウェア、プログラミングについての基本的な知識・技能を習得することを目標とする。
具体的には、プログラミングを通して、プログラミングの手順や流れを修得する。どのプログラミング言語を学ぶ上でも根本が同じであることをプログラミング言語を通じて体感する。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。オンライン(Zoom)で実施することがある。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

簡単なフローチャートを読み書きできるようになる。基本制御構造について理解し、簡単なプログラミングができるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

演習課題などを通して各自のPCで実際にプログラミングを行う。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員の研究室で受け付けます。なお、オフィスアワーについては掲示を確認すること。また、電子メイルやその他に授業中に提示するその他の方法でも受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

初回からノートPCを持参。ITパスポート試験、基本情報技術者試験の内容の一部を含む。
授業の振り返りを毎回提出。情報処理関連の資格合格者、
関連内容の模擬試験の受験者・高得点者については、その内容に応じて成績評価の際に優遇する。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出。
※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配布します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
Scratchではじめよう！ プログラミング入門	杉浦学	日経BP社	978-4-8222-9774-9

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1) 提出物（授業の振り返りや課題等）が約60%、
2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約40%
であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。
具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス、プログラミング入門	
	事前学習（内容・時間）	身近なプログラムについて調べ、履修要件の内容をまとめて提出できるようにしておく。[2.0h
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第2回	プログラミング関連の用語、概念	
	事前学習（内容・時間）	概念、コンセプト、イメージについて調べる。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業の内容をまとめておく。振り返りを書く。[2.0h]
第3回	フローチャート入門	
	事前学習（内容・時間）	フローチャート、流れ図、図式について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	端点、線、処理について理解を確認する。実際に描いてみる。振り返りを書く。[2.0h]
第4回	フローチャートとIPOモデルの考え方	
	事前学習（内容・時間）	起承転結、序論・本論・結論、文章による説明の流れについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	IPO(Input, Process, Output)モデルに近いものを探してみる。振り返りを書く。[2.0h]
第5回	フローチャートを意識したScratchプログラミング	
	事前学習（内容・時間）	Scratchプログラム（並べたブロック）やその実行結果、実況などを調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	フローチャートとScratchプログラムの類似点を確認する。振り返りを書く。[2.0h]
第6回	Scratchプログラミング実習	
	事前学習（内容・時間）	Scratchプログラムで簡単そうなものを探してみる(scratch.mit.edu)。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業時間内に終わらなかった課題を完成させる。類題に挑戦する。振り返りを書く。[2.0h]
第7回	Scratchプログラミング、より高度な機能	
	事前学習（内容・時間）	これまでに使ったScratchのブロックとその分類についてまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	ペンに代表される拡張機能や、ブロック定義などを実際に使ってみる。[2.0h]
第8回	フローチャートを意識したScratchプログラミング（2）より高度な機能	
	事前学習（内容・時間）	IPOモデルやフローチャートの定義済み処理を意識したプログラムを考えてみる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	実際にフローチャートを描いてから、それに基づいてプログラミングしてみる。振り返りを書く。[2.0h]

第9回	基本制御構造： 連接、選択、反復	
	事前学習（内容・時間）	プログラムの基本制御構造（連接、選択、反復）について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	Scratchの制御ブロックと選択、反復の対応を確認する。振り返りを書く。[2.0h]
第10回	Scratchプログラミング実習（2）基本制御構造を意識して	
	事前学習（内容・時間）	部品化やIPOモデルを意識したプログラミングを想像してみる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	文章、フローチャート、Scratchプログラムの順に開発してみる。振り返りを書く。[2.0h]
第11回	Scratchプログラミング実習（3） 選択構造、反復構造	
	事前学習（内容・時間）	10回でプログラミングしやすかった点、しにくかった点についてまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業時間内に終わらなかった課題を完成させる。類題に挑戦する。振り返りを書く。[2.0h]
第12回	プログラミングにおける再帰の考え方と反復	
	事前学習（内容・時間）	再帰、基底、帰納、反復について調べる。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	単純なプログラムで再帰と反復を比較してみる。振り返りを書く。[2.0h]
第13回	情報に関する知識とプログラミング	
	事前学習（内容・時間）	プログラミングで扱うデータ表現と情報科学の知識について調べる。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業をうけて、初めてふれたこと、なぜ調べられなかったのか考察。振り返りを書く。[2.0h]
第14回	変数と基本的データ構造とプログラミング	
	事前学習（内容・時間）	基本的データ構造、整数型、実数型、範囲、ビット数などについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	最も基本的なデータ型一つは何か考察する。振り返りを書く。[2.0h]
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	14回までの内容をまとめる。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	定期試験に向けて、準備する。中間試験の復習もする。[2.0h]
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング(Numbering)
1AIB-6372-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
プログラミング初歩Ⅱ	219～ 情報ネットワーク学科	1年生・後期	2単位	選択	合田　和正

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	プログラミング初歩Ⅰに合格していること。

授業概要　Course Outline

学則第3条を踏まえて、
情報学分野のソフトウェア、プログラミングについての基本的な知識・技能を習得することを目標とする。
具体的には、フローチャートや変数表を活用して第三者が作成したプログラムを理解したり、更新したりできるようにする。また、逆に第三者が理解や更新を施すのが容易なプログラムの記述方法、例えば字下げや注釈添付なども学ぶ。さらに高度なプログラムを作成し、より高品質、より高信頼のプログラム作成を目指す。高品質を実現する方法の一つとしてGUI(Graphical User Interface)を用いた、プログラム作成にも挑戦してみる。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。オンライン(Zoom)で実施することがある。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

プログラミング初歩Ⅰで学習したプログラミングの基礎に基づいて、さらに実際に多くのより複雑なプログラムを作成しつつ、プログラミング理論への理解をいっそう深める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

演習課題などを通して各自のPCで実際にプログラミングを行う。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員の研究室で受け付けます。なお、オフィスアワーについては掲示を確認すること。また、電子メイルやその他に授業中に提示するその他の方法でも受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

初回からノートPCを持参。ITパスポート試験、基本情報技術者試験の内容の一部を含む。
授業の振り返りを毎回提出。情報処理関連の資格合格者、
関連内容の模擬試験の受験者・高得点者については、その内容に応じて成績評価の際に優遇する。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出。
※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配布します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
1) Scratchではじめよう！プログラミング入門	1) 杉浦学	1) 日経BP社	1) 978-4-501-55450-7
2) 学生のためのExcel VBA　第2版	2) 若山芳三郎	2) 東京電機大学出版局	2) 978-4-8222-9774-9

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1) 提出物(授業の振り返りや課題等)が約60%、
2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約40%
であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。
具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス、プレースメント試験	
	事前学習（内容・時間）	プログラミング初歩Ⅰの内容を復習する。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	不正解、不安、不明な問題を復習。振り返りを書く。[2.0h]
第2回	開発環境（Scratch, VBS/VBA, Python）	
	事前学習（内容・時間）	開発環境、プラットフォーム、OS(基本ソフト)について調べる。[3.0h]
	事後学習（内容・時間）	プログラミング初歩Ⅰの開発環境についてまとめる。振り返りを書く。[1.0h]
第3回	基本データ型	
	事前学習（内容・時間）	プログラミング初歩Ⅰで学んだデータ型についてまとめる。[3.0h]
	事後学習（内容・時間）	型付き、型無し、強い型、弱い型についてまとめる。振り返りを書く。[1.0h]
第4回	データ型Ⅰ	
	事前学習（内容・時間）	基本データ型、派生データ型、配列、構造体、参照型、オブジェクトについて調べる。[3.0h]
	事後学習（内容・時間）	VBS, VBS, Scratchにおけるデータ型の扱いを確認する。振り返りを書く。[1.0h]
第5回	制御文（選択構造）	
	事前学習（内容・時間）	選択する際に、二者択一の場合と多岐選択の場合の違いを考察する。[3.0h]
	事後学習（内容・時間）	多岐選択が1つの部品の場合と複数の二者択一の組合せの場合と比較。振り返りを書く。[1.0h]
第6回	データ型Ⅱ	
	事前学習（内容・時間）	データ型と演算子、動的型付けと静的型付けについて調べる。[3.0h]
	事後学習（内容・時間）	モデル化、付番、数値化について調べる。振り返りを書く。[1.0h]
第7回	制御文（反復構造）	
	事前学習（内容・時間）	選択と反復の違いと特徴を確認する。[3.0h]
	事後学習（内容・時間）	定回反復と不定回（条件）反復、前判定と後判定についてまとめる。振り返りを書く。[1.0h]
第8回	中間試験	
	事前学習（内容・時間）	7回までの内容（プレースメント試験含む）を総復習する。[3.0h]
	事後学習（内容・時間）	不正解、不安、不明な問題を復習。振り返りを書く。[1.0h]
第9回	プログラムの抽象化	
	事前学習（内容・時間）	コンピュータの五大装置と抽象化、データ・手続きの抽象化について考察。[3.0h]
	事後学習（内容・時間）	マジックナンバーの排除の事例、変数・定数の導入を実習。振り返りを書く。[1.0h]
第10回	手続きと関数Ⅰ（戻り値なし）	
	事前学習（内容・時間）	手続き、作業、段取り、ひとまとめについて調べる。[3.0h]
	事後学習（内容・時間）	手続きを含むプログラムを書いて実行してみる。ない場合と比較。振り返りを書く。[1.0h]
第11回	手続きと関数Ⅱ（戻り値あり）	
	事前学習（内容・時間）	関数、変換、加工、写像について調べる。[3.0h]
	事後学習（内容・時間）	関数を含むプログラムを書いて実行してみる。ない場合と比較。振り返りを書く。[1.0h]
第12回	再帰とスタック	
	事前学習（内容・時間）	再帰と反復の関係、スタック、キューについて調べる。[3.0h]
	事後学習（内容・時間）	再帰プログラムと反復プログラムを比較。振り返りを書く。[1.0h]
第13回	応用プログラムⅠ	
	事前学習（内容・時間）	Scratch, VBS,VBAを復習する。フローチャート、IPOモデルについて復習する。[3.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業時間内に完成しなかった課題を完成させる。振り返りを書く。[1.0h]
第14回	応用プログラムⅡ	
	事前学習（内容・時間）	VBS/VBA, Pythonを復習する。Scratchとの違いを意識する。[3.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業時間内に完成しなかった課題を完成させる。振り返りを書く。[1.0h]
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	14回までの内容をノートにまとめる。手書きを強く推奨。[3.0h]
	事後学習（内容・時間）	定期試験に向けて、想定問題を作成し、解法込で説明できるようにする。[1.0h]
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング(Numbering)
1AIN-6342-24E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
プログラミング実践 I	219～ 情報ネットワーク学科	2年生・前期	4単位	選択	荒平　高章

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	プログラミング初歩Iを修得していること.(編入学生はこの限りではない.)

授業概要　Course Outline

本講義ではディプロマポリシーに基づき，プログラミングに関する基本事項をおさえ，プログラムコードの記述方法，プログラムの実行に関する基本作法を学び，これらを実習を通して体系的に習得する．本実習ではPythonを使用する．

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

①プログラミング言語に関する基本用語が説明できる．②サンプルプログラムを応用できる．③課題に応じて最適な処理構文を選択し，使用できる．④選択処理，反復処理の構文が列挙できる．⑤講義に参加できる．⑥課題解決のためにお互いに助けることができる．⑦疑問点を尋ねることができる．⑧プログラム処理のためにPCを操作できる．⑨サンプルプログラムを模倣できる．⑩プログラム作成のためにフローチャートを自分で準備できる．

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

聴講型講義ではなく，実習型講義を実施する．

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡，問い合わせ，相談などは研究室(653)にて受け付ける．オフィスアワーの時間については掲示を確認すること．
また，クラスルームを開設するので，講義に関する連絡はクラスルームで行う．

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：本科目のKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックフォームに必要事項を記入し提出すること(毎時間)．

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
Pythonスタートブック	辻 真吾	技術評論社	978-4774196435

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
Pythonチュートリアル	Guido van Rossum	オーム社	978-4-87311-753-9

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

実習課題(50%)と定期試験(50%)で評価する．

授業計画 Course Schedule		
第1回	講義ガイダンス	
	事前学習 (内容・時間)	シラバスを通読し，受講理由を明確にする．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第2回	プログラミング概要	
	事前学習 (内容・時間)	シラバスを通読し，受講理由を明確にする．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の振り返りを記載し復習する．(2.0h)
第3回	Pythonの実行環境構築	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の付録AおよびBを通読する(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第4回	Pythonの実行環境構築	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の付録AおよびBを通読する(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第5回	Pythonプログラミング入門(1)	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.12-24)を通読する．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第6回	Pythonプログラミング入門(1)　演習	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.12-24)を通読する．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第7回	Pythonプログラミング入門(2)	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.25-35)を通読する．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第8回	Pythonプログラミング入門(2)　演習	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.25-35)を通読する．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第9回	プログラムの材料と道具	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.38-61)を通読する．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第10回	プログラムの材料と道具　演習	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.38-61)を通読する．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第11回	データと型	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.64-86)通読する．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第12回	データと型　演習	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.64-86)通読する．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第13回	データ型	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.88-113)通読する．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第14回	データ型　演習	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.88-113)通読する．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第15回	中間課題演習(1)	
	事前学習 (内容・時間)	第１回から第14回までの講義の復習をする．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)
第16回	中間課題演習(2)	
	事前学習 (内容・時間)	第１回から第14回までの講義の復習をする．(2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し，講義内容を復習する．(2.0h)

第17回	条件分岐と繰り返し(for文)	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.118-122)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第18回	条件分岐と繰り返し(for文) 演習	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.118-122)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第19回	条件分岐と繰り返し(if文)	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.123-128)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第20回	条件分岐と繰り返し(if文) 演習	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.123-128)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第21回	条件分岐と繰り返し(while文とエラー)	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.129-145)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第22回	条件分岐と繰り返し(while文とエラー) 演習	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.129-145)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第23回	ファイルの読み書き(1)	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.148-167)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第24回	ファイルの読み書き(1) 演習	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.148-167)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)

第25回	ファイルの読み書き(2)	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.148-167)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第26回	ファイルの読み書き(2) 演習	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所を(pp.148-167)通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第27回	期末課題演習(1)	
	事前学習 (内容・時間)	第1回から第26回までの講義の復習をする. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第28回	期末課題演習(2)	
	事前学習 (内容・時間)	第1回から第26回までの講義の復習をする. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第29回	期末課題演習(3)	
	事前学習 (内容・時間)	前回の期末課題演習の準備と復習を行う. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第30回	期末課題演習(4)	
	事前学習 (内容・時間)	前回の期末課題演習の準備と復習を行う. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに本時の振返りを記載し, 講義内容を復習する. (2.0h)
第31回 (定期試験)	定期試験を実施する.	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-6353-24E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.I	授業担当者 Instructor
プログラミング実践II	219～ 情報ネットワーク学科	2年生・後期	4単位	選択	ディンダ　プラマンタ

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	プログラミング実践Iを修得したこと（履修中や「不可」は不可）.

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき, この授業では, Pythonプログラミングに関する基本事項を復習し, それらの知識・技能を活かして, より応用的な知識及び技能の獲得を目指す.

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

①プログラミング言語に関する基本用語が説明できる. ②サンプルプログラムを応用できる. ③課題に応じて最適な処理構文を選択し, 使用できる. ④講義に参加できる. ⑤課題解決のためにお互いに助けることができる. ⑥疑問点を尋ねることができる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

聴講型講義ではなく, 実習型講義を実施する.
授業では教科書には載っていない内容についてもカバーする.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡, 問い合わせ, 相談などは551研究室にて受け付ける.オフィスアワーの時間については掲示を確認すること.

その他 Others, 外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回の講義時間後, Google Formsでポートフォリオシート「KIIS学修ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸ」にオンライン自己評価を記入し, 提出して下さい.
生成系AIの使用に関するポリシーに基づき, 本授業はその使用を禁止しています.
初回の授業において, 生成系AIの使用に関する規約宣言書を記入し, 提出してください.

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
Python2年生 データ分析のしくみ 体験してわかる! 会話でまなべる!	森巧尚	翔泳社	978-4798164960
Python3年生 ディープラーニングのしくみ 体験してわかる！会話でまなべる！	森巧尚	翔泳社	978-4798174983

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
新・標準プログラマーズライブラリ 試してわかる Python[基礎]入門	谷尻 かおり	技術評論社	978-4297125004

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

毎回の課題orレポート50%, 中間課題演習15%, 後期課題演習15%, 定期試験20%.

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義ガイダンス, プログラミング概要	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに, プログラミング実践Iの教科書を復習しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方, 手順などを教科書, Web, その他の参考書などを通して理解しておくこと.（2時間）
第2回	Pythonプレテスト	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに, プログラミング実践Iの教科書を復習しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方, 手順などを教科書, Web, その他の参考書などを通して理解しておくこと.（2時間）
第3回	復習：データ型	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに, プログラミング実践Iの教科書の該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず, 完成させること.（2時間）
第4回	復習：データ型の作成	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに, プログラミング実践Iの教科書の該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず, 完成させること.（2時間）
第5回	条件分岐と繰り返しの復習	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに, インタネットで, 第5回のテーマを検索し, 通読しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず, 完成させること.（2時間）
第6回	自前の関数を作成	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに, インタネットで, 第6回のテーマを検索し, 通読しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず, 完成させること.（2時間）
第7回	Numpy：配列（array）の基本と乱数生成（Random Number Generator）	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに, 教科書, Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず, 完成させること.（2時間）
第8回	Numpy：基本的な関数	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに, 教科書, Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず, 完成させること.（2時間）
第9回	Pandas: データの作成と読み込み	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに, 教科書, Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず, 完成させること.（2時間）
第10回	Pandas: データの索引と選択	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに, 教科書, Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず, 完成させること.（2時間）
第11回	Pandas: 欠損値と冗長なデータの除去	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに, 教科書, Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず, 完成させること.（2時間）
第12回	Pandas: 条件と繰り返し処理	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに, 教科書, Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず, 完成させること.（2時間）
第13回	Matplotlib:可視化	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに, インタネットで, 第13回のテーマを検索し, 通読しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず, 完成させること.（2時間）
第14回	Matplotlib:カスタマイズ	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに, インタネットで, 第14回のテーマを検索し, 通読しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず, 完成させること.（2時間）
第15回	中間課題演習の練習	
	事前学習（内容・時間）	第3回～第14回を復習しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず, 完成させること.（2時間）
第16回	中間課題演習	
	事前学習（内容・時間）	第3回～第14回を復習しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず, 完成させること.（2時間）

第17回	BeautifulSoup：スクレイピング	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに，インタネットで，第17回のテーマを検索し，通読しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず，完成させること.（2時間）
第18回	テキスト分析	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに，インタネットで，第18回のテーマを検索し，通読しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず，完成させること.（2時間）
第19回	Scikit-learn: サンプルデータセット	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに，教科書，参考文献，Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず，完成させること.（2時間）
第20回	Scikit-learn: アヤメのデータセット	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに，教科書，参考文献，Webの該当箇所を通読しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず，完成させること.（2時間）
第21回	Scikit-learn: 手書きの数字データセットと学習	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに，インタネットで，第21回のテーマを検索し，通読しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず，完成させること.（2時間）
第22回	Scikit-learn: 手書きの数字の予測	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに，インタネットで，第22回のテーマを検索し，通読しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず，完成させること.（2時間）
第23回	論理回路： ANDとOR	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに，インタネットで，第23回のテーマを検索し，通読しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず，完成させること.（2時間）
第24回	パーセプトロン： ANDとOR	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに，インタネットで，第24回のテーマを検索し，通読しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず，完成させること.（2時間）

第25回	論理回路： NANDとXOR	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに，インタネットで，第25回のテーマを検索し，通読しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず，完成させること.（2時間）
第26回	パーセプトロン： NANDとXOR□	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに，インタネットで，第26回のテーマを検索し，通読しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず，完成させること.（2時間）
第27回	Open Computer Vision (openCV): 始める画像処理	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに，教科書，参考文献，インタネットで，第27回のテーマを検索し，通読しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず，完成させること.（2時間）
第28回	Open Computer Vision (openCV): フィルタ処理	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに，教科書，参考文献，インタネットで，第28回のテーマを検索し，通読しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず，完成させること.（2時間）
第29回	後期課題演習の練習	
	事前学習（内容・時間）	第17回～第28回を復習しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず，完成させること.（2時間）
第30回	後期課題演習	
	事前学習（内容・時間）	第17回～第28回を復習しておくこと.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず，完成させること.定期試験に向けて，本講義のGoogle Classroomの授業(Materials)の中で練習問題をすること.（提出するのは不必要）（2時間）
第31回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング(Numbering)
1AIB-5720-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報数学Ⅱ	219～ 情報ネットワーク学科	2年生・前期	2単位	選択	宮﨑　武

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	基礎数学を履修していることが望ましい。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、大量データの処理に欠かせない数学の一分野である「微分・積分」について学びます。蓄積されたデータから未来を予測するために必要な基礎知識を身に付けます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

1．基本的な関数の概念を知る。
2．微分・積分の定義および概念を知る。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義内容に関する演習問題を解き、数学的な考え方を学習します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室(274)にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：学習した内容を定期試験までに指定の用紙にまとめて提出してもらいます。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
計算力をつける微分積分	神永正博・藤田育嗣	内田老鶴圃	978-4-7536-0031-1

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
大学基礎数学 微分積分キャンパス・ゼミ　改訂1	馬場敬之	マセマ出版社	978-4-86615-218-9
基礎数学 -微分積分-	小島政利・竹内善和	共立出版	978-4-32001-634-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験80%、演習課題20%

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	高校の頃に勉強した数学の復習をしておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う(2h)
第2回	極限	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第3回	導関数と微分	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第4回	指数関数・対数関数の微分	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第5回	三角関数の微分	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第6回	合成関数の微分	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第7回	対数微分法・ロピタルの定理	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第8回	マクローリン展開・テイラー展開	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第9回	関数の増減	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。(2h)
第10回	微分の証明問題	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第11回	微分まとめ	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第12回	不定積分	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第13回	定積分	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。(2h)
第14回	面積・体積	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。教科書の対応した部分を読み、問題を解く(2h)
第15回	積分まとめ	
	事前学習（内容・時間）	前回授業で解説した問題を自分で出来るようになるまで何度も解く。手を動かす(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行う。これまでに間違えた問題を何度も解く(2h)
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング(Numbering)
1AIN-5192-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
オペレーティングシステム論	219～ 情報ネットワーク学科	2年生・後期	2単位	選択	合田　和正

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	情報学入門および情報リテラシー演習Ⅰに合格していること。 ITパスポート試験に合格していることが望ましい。

授業概要　Course Outline

学則第3条を踏まえて、
情報学分野の情報システム、オペレーティングシステムについての基本的な知識を習得することを目標とする。
具体的には、オペレーティングシステムの主たる機能：プロセス制御、割り込み、仮想記憶システム、ファイルの入出力を中心に理解する。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。オンライン(Zoom)で実施することがある。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

オペレーティングシステム(OS)とは何か、どんな機能を提供しているのか、オペレーティングシステムがなかったらコンピュータはどうなるかについて理解する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

小テストや演習課題等で自主的な学習を促す。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

初回からノートPCを持参。ITパスポート試験、基本情報技術者試験の内容の一部を含む。
授業の振り返りを毎回提出。情報処理関連の資格合格者、
関連内容の模擬試験の受験者・高得点者については、その内容に応じて成績評価の際に優遇する。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出。
※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
オペレーティングシステム入門(新版)	古市栄治	オーム社	978-4-274-22921-3

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
レクチャー　オペレーティングシステム	福田晃	数理工学社	978-4864810647
IT TEXT オペレーティングシステム	野口健一郎	オーム社	978-4274132506

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1) 提出物(授業の振り返りや課題等)が約60%、
2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約40%
であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごと評価が30%以上であること。
具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス・プレースメント試験	
	事前学習（内容・時間）	情報学入門、ITパスポート試験のテクノロジ分野について学習しておく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	解けなかった問題、不正解あるいは不安だった問題の復習。振り返りを書く。[2.0h]
第2回	オペレーティングシステムの役割	
	事前学習（内容・時間）	テキストがあれば、目次と本文前半を通読。なければ表題を検索してみる [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	役割を表す文章は暗記する。振り返りを書く。 [2.0h]
第3回	プロセスの制御(1) 状態遷移	
	事前学習（内容・時間）	プログラムとプロセスについて調べる。プロセスの状態について調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	プロセスの状態および状態間の遷移について図とともに理解し暗記。振り返りを書く。[2.0h]
第4回	プロセスの制御(2) 排他制御	
	事前学習（内容・時間）	哲学者の食事問題について調べてまとめておく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	排他制御がないと困る場合とそうでない場合を整理。振り返りを書く。[2.0h]
第5回	プロセスのスケジューリング(1) プロセスの活動と並行動作	
	事前学習（内容・時間）	並行、並列、逐次の各用語について調べまとめておく。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	逐次実行と並行実行を比較して、利点欠点を整理。[2.0h]
第6回	プロセスのスケジューリング(2) 様々なスケジューリング	
	事前学習（内容・時間）	基本的なスケジューリングについて、弱点と必要性をまとめておく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	基本的なスケジューリングと比較しながらまとめる。[2.0h]
第7回	割り込みの制御(1) 外部割込みと内部割込み	
	事前学習（内容・時間）	割込みの種類と説明から自分のノートPCでの事例をイメージしまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	外部割込みと内部割込みの具体的事例を自分のノートPCを例に考えてまとめる。[2.0h]
第8回	割り込みの制御(2) 割り込みハンドラ、コンテクスト切替	
	事前学習（内容・時間）	実生活で作業を中断して、別作業後に円滑に元の作業に戻る工夫について考察。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	実生活での工夫とOSでの情報保持について対応を考察。 [2.0h]
第9回	仮想記憶システム(1) 主記憶と仮想記憶	
	事前学習（内容・時間）	各自の短期記憶と長期記憶とノートなどの記録との関係を整理してみる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	各自の記憶・記録と仮想記憶とを比較して対応付けしてみる。 [2.0h]
第10回	仮想記憶システム(2) ページング、入れ替えアルゴリズム	
	事前学習（内容・時間）	スワッピングとページングの違い、基本的なページングアルゴリズムについて整理。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	ノートやExcelで表を作成して実際に記入しながら理解を進める。振り返りを書く。[2.0h]
第11回	仮想記憶システム(3) 演習、特にFIFO, LRUアルゴリズム	
	事前学習（内容・時間）	教科書の演習問題を解いておく。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	不正解、不安、不明な問題の復習。部分点を得るための工夫を整理。振り返りを書く。[2.0h]
第12回	入出力とファイルの制御(1) デバイス	
	事前学習（内容・時間）	プロセスのスケジューリングや割込みの内容と関連付ける。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	プリンタやLANなど身近なデバイスと関連付けて考察。振り返りを書く。[2.0h]
第13回	入出力とファイルの制御(2) ファイルシステム、ディレクトリ	
	事前学習（内容・時間）	ルート、ホーム、ディレクトリ、ツリー構造について用語整理。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	相対パスと絶対パス、区切り文字、ルートディレクトリについて整理。振り返りを書く。[2.0h]
第14回	総合演習	
	事前学習（内容・時間）	ページングアルゴリズム、特にLRUについて復習しておく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	不正解、不安、不明な問題の復習。部分点を得るための工夫を整理。振り返りを書く。[2.0h]
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	14回までの内容をまとめておく。定期試験の想定問題と解説を考えてまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	定期試験に向けて、不得意な内容、不安な内容を復習する。[2.0h]
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1AIN-6550-Z2ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
モバイルネットワーク（教職関連科目　選　高等学校　情報）	共通 情報ネットワーク学科	3・4年生・前期	2単位	選択	岸川　洋

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	「情報学入門」を履修していること。（履修規程第5条3項に基づく）「情報テクノロジー（情報処理入門）」を履修し、テクノロジ分野について理解していることが望ましい。 「第5世代移動通信システム（5G）」の特徴及び活用事例について調べ、疑問点について整理しておくことが望ましい。

授業概要　Course Outline

学習目標・目的（学則第3条）を踏まえて、ネットワーク関連の情報通信技術の知識とその活用能力を修得することを目的とする。
電気通信事業会社で、交換設備部門（開発、計画、設計、調達、保守）の実務経験のある教員が、モバイル通信のしくみ、モバイル通信の歴史 等を解説することにより、第5世代・第6世代までの基礎知識を学修する。図表を作成し要点を整理することにより、理解を深める。
連絡事項はGoogleクラスルームにおいて確認できる。授業の資料はGoogleクラスルームにおいて入手できる。毎回の課題やレポートはGoogleクラスルームに提出する。授業の質問や感想は　Googleクラスルームにも提出できる。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	電気通信事業会社勤務（30年）、交換設備部門（11年）（研究開発担当（3年）、計画担当（2年）、設計担当（2年）、調達担当（2年）、保守担当（2年））、端末機器部門（3年）（開発担当）の実務経験を有する。	電気通信事業会社における実務経験（交換設備部門（11年）、端末機器部門（3年））があり、モバイル通信の歴史、モバイル通信のしくみ、各分野における活用事例、電気通信事業者、電気通信事業法 等について具体的に説明する。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

「学修成果(Student Learning Outcomes) 2項 汎用的技能：ICT関連科目の学習をとおして、マネージメント分野だけでなく社会の多様な場面において、ICTを駆使して対応できる高度で専門的な技能を修得している。」に基づき、
モバイル通信のしくみを理解し効果的にモバイル通信を活用できる、「情報通信白書」等を活用して電気通信事業の動向を把握できる、さらにネットワーク社会の新しい分野で活躍できる人材となることを目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回の授業で、授業内容をまとめた課題の提出があります。資料やネット検索等を活用して補足してください。
また意見、感想なども記入してください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：メールで連絡してください。又は事務局へ伝えてください。
オフィスアワー：授業日の休憩時間等に対応いたします。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：ITパスポート資格の未取得者は受験すること。資格取得状況を成績評価の対象とする。
学修の確認：ポートフォリオシート・ルーブリックに該当事項を記入して、課題と一緒に
Googleクラスルームへ提出すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
モバイル基礎テキスト（第8版）	モバイルコンピューティング推進コンソーシアム	リックテレコム	978-4865943320

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
情報通信白書（令和2年版）	総務省	日経印刷株式会社	9784865792263
モバイル通信のしくみと技術がわかる本	井上伸雄	アニモ出版	'9784897951454

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：平常点（60%）、定期試験（40%）。平常点は授業への参加状況、毎回の課題提出状況、学習ポートフォリオ・ルーブリックの提出状況、小テスト、レポートで総合的に判断する。
成績評価の基準：利用部門での情報リーダーに必要な、モバイル通信ネットワークに関する知識がある。
（ 毎回の授業のキーワードについて正しく説明できる。）

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション（授業の概要・受講上の諸注意）	
	事前学習（内容・時間）	「第5世代のサービス」についてネット検索等で調べ、疑問点を整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業を受講するためのネットワーク環境や資料を整備する。（2時間）
第2回	モバイル通信の概要	
	事前学習（内容・時間）	テキストの次回授業範囲(p10-p11)を読み、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第3回	モバイル通信の歴史	
	事前学習（内容・時間）	テキストの次回授業範囲(p6-p7)を読み、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第4回	モバイル通信のネットワーク	
	事前学習（内容・時間）	テキストの次回授業範囲(p10-p11)を読み、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第5回	モバイル通信のつながるしくみ	
	事前学習（内容・時間）	テキストの次回授業範囲(p2-3,p40-p41)を読み、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第6回	モバイル通信のインターネット接続	
	事前学習（内容・時間）	「携帯電話のインターネットサービス」についてネット検索等で調べ、疑問点を整理する。（2時
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第7回	各世代の特徴（第1世代～第3世代）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの次回授業範囲(p44-p49)を読み、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第8回	各世代の特徴（第4世代～第6世代）	
	事前学習（内容・時間）	テキストの次回授業範囲(p50-p51,p164-p165)を読み、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）

第9回	モバイル通信の高速データ通信	
	事前学習（内容・時間）	テキストの次回授業範囲(p30-p31)を読み、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第10回	モバイル通信のGPS機能	
	事前学習（内容・時間）	「GPSの仕組み」についてネット検索等で調べ、疑問点を整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第11回	モバイル通信とクラウドコンピューティング	
	事前学習（内容・時間）	テキストの次回授業範囲(p72-p74)を読み、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第12回	電気通信事業者	
	事前学習（内容・時間）	テキストの次回授業範囲(p8-p9)を読み、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第13回	電気通信事業法	
	事前学習（内容・時間）	テキストの次回授業範囲(p146-p147)を読み、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第14回	モバイル通信の各産業・分野における活用事例	
	事前学習（内容・時間）	テキストの次回授業範囲(p166-p167)を読み、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	毎回の課題であるキーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	全体を振り返り、疑問点について整理する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	キーワードについて説明できるようにする。（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1ENN-5050-12E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
Webデザイン	223～ 情報ネットワーク学科	1年生・後期	2単位	選択	平塚　智一
Webコンテンツ制作Ⅰ	219～222 情報ネットワーク学科	1年生・後期			

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	情報リテラシー演習Ⅰに合格済であることが望ましい。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、ビジネスパーソンおよびITエキスパートとして仕事をする上で必須となるWeb技術の基礎について、現在、システム開発会社でエンジニアとしてWeb制作や開発を行っている教員が実務経験を生かした授業を行う。
ビジネスとインターネット、各種サービスとインターネットを概観する。ユーザ・インターフェイスと提供したいサービスの機能・構造との関係をどのようにデザインするか考察する。基本的なHTMLおよびCSSについて学習する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	ウェブサイト制作等におけるディレクター、プログラマー、デザイナーとしてウェブ制作会社勤務（15年）の実務経験を有する。	ウェブ制作会社における実務経験をもとに、実例を交えた講義を行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

ウェブサイト構築におけるプロジェクトの進め方を理解しつつ、ターゲットユーザの設定やウェブアクセシビリティ、サイト構造・デザインの検討プロセス等について学ぶ。また、HTMLファイル、CSSファイルについて基本的な読み書きができるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

ただ授業を受けるだけでなく、自分で考えたビジネス等のウェブサイトのデザインを目標に、学習内容をどう応用するかを意識しながら取り組む。必要に応じて、自主的に発展的内容・機能の実践・習熟に努力する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員とのメール等で行う。
（メールアドレス等は講義中に指示）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

初回からノートPCを持参。ITパスポート試験、基本情報技術者試験の内容の一部を含む。
授業の振り返りを毎回提出。情報処理関連の資格合格者、関連内容の模擬試験の受験者・高得点者については、その内容に応じて成績評価の参考とする。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
1冊ですべて身につくHTML＆CSSとWebデザイン入門講座	Mana	SBクリエイティブ	978-4815618469

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
Webディレクションの新・標準ルール 改訂第2版	栄前田 勝太郎, 滝川 洋平	エムディエヌコーポレーション	978-4844369783

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

授業への参加態度等（30%）、課題や授業振り返りなどの提出状況（30%）、小テストおよび定期試験（40%）等で総合的に判断する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第2回	Web制作の流れ（Webとは、UI・UX、ユーザビリティ等）	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第3回	Web制作の流れ（サイトの目的、ターゲットユーザ、ペルソナ等）	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第4回	Web制作の流れ（開発方針、ウェブアクセシビリティ、ユーザ接点等）	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第5回	Web制作の流れ（サイト構造、デザインの検討等）	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第6回	Web制作の流れ（コーディング、公開・運用、Webサイトの評価等）	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第7回	HTML・CSSの基礎（見出し、文章、画像等）、演習	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第8回	HTML・CSSの基礎（リスト、表、フォーム等）、演習	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第9回	HTML・CSSの基礎（文字サイズ、フォントの種類等）、演習	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第10回	HTML・CSSの基礎（文字列の配置、色等）、演習	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第11回	HTML・CSSの基礎（背景画像、幅・高さの指定、余白の調整等）、演習	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第12回	HTML・CSSの基礎（線を引く、リストの装飾、class・idの指定等）、演習	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第13回	HTML・CSSの基礎（レイアウトを組む、CSSの初期化等）、演習	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第14回	よりよいコピーの作り方1	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第15回	よりよいコピーの作り方2、講義のまとめ	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1ENN-5862-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
スイッチング技術	219～ 情報ネットワーク学科	2年生・前期	2単位	選択	車　炳玘

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	1年次科目「情報ネットワーク入門」を70点以上の成績で単位を取得すること。

授業概要　Course Outline

LANスイッチングに関する技術を実習を通して修得する。具体的には、スイッチの基本設定をはじめ、スパニングツリープロトコル、仮想LAN、VLAN間ルーティングなど企業内ネットワーク機器の根幹をなす機器であるスイッチに関する技術を習得する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、実習を中心に、情報通信ネットワークの基礎技術であるスイッチング技術を習得し、エンタープライズLANのパフォーマンスおよびセキュリティー対策として有効なVLANの運用に必要なスキル習得を目標とする。本授業を履修すると、初級レベルのネットワーク技術者、ヘルプデスク技術者およびコンピュータ技術者の業務に必要なスキルを修得できる。本講義履修と並行にCCNA（CCENT）資格の準備を始める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

実習トポロジーごとに新しくチームを組み、実習を行うこと。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：学生番号、氏名、受講科目、内容等をメール(宛先：cha@kiis.ac.jp)で送ってください。対面相談の場合はなるべくオフィスアワーの時間を利用してください。
オフィスアワー：:水曜日2、3時限、木曜日3時限　研究室：656号室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：次の試験の内一つ以上を受験すること。試験結果を成績評価の対象とする。（CCENT, CCNA, CCNP）
学習の確認：オンラインテスト及びポートフォリオ[科目別履修確認チェック表」を第12回目の授業時間に提出すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
シスコネットワーキングアカデミーオンライン教材　（https://www.netacad.com）			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
CCNA/CCENT 問題集	Gene	SBクリエイティブ	978-4797388824

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験・オンラインテスト（40%）、実習（40%）、その他（20%、課題、チームワーク、ポートフォリオ、外部試験の結果）

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	スイッチ導入ネットワークの概要	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション1．0を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト1．0．1．2の課題を専用のノートにまとめること。2時間
第2回	LAN設計	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション1．1を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト1．1．1．6の課題を専用のノートにまとめること。2時間
第3回	スイッチ導入環境	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション1．2と1．3を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト1．1．2．3及び1．2．1．6の課題を専用のノートにまとめること。2時間
第4回	スイッチの基本設定	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション2．0と2．1を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	実習2．1．1．6をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第5回	スイッチの管理	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション2．2読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	実習2．2．4．11をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第6回	スイッチセキュリティ	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション2．3を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト2．3．1．3のトポロジーの実装をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第7回	VLANの概念	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション3．0を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト3．0．1．2の課題を専用のノートにまとめること。2時間
第8回	VLANセグメンテーション	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション3．1を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト3．1．2．7の実習をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第9回	VLANの設計	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション3．2を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト3．2．2．5の実習をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第10回	VLANの実装	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション3．3を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト3．3．2．2の実習をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第11回	VLANのセキュリティ	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション3．4を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト3．4．1．3のトポロジーの実装をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第12回	VLAN間ルーティングの設定	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション5．0と5．1を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト5．1．2．4の実習をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第13回	VLAN間ルーティングのトラブルシューティング	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション5．2を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト5．2．2．4の実習をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第14回	Layer 3 スイッチング	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション5．3を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト5．3．2．4の実習をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第15回	スイッチネットワークの実装	
	事前学習（内容・時間）	テキストセクション5．4を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト5．4．1．2の実習をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第16回（定期試験）	シスコネットワーキングアカデミーオンラインテストを行う。	

ナンバリング（Numbering）
1ENN-5873-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ルーティング技術	219～ 情報ネットワーク学科	2年生・後期	2単位	選択	車　炳玘

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	2年次科目「スイッチング技術」を70点以上の成績で単位を修得すること。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、LANにおけるルーティングに関する技術を実習を通して修得する。具体的には、RIP、EIGRP,OSPFなどダイナミックルーティングプロトコル及び高度なIPアドレッシング技法について学習する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

実習を中心に、情報通信ネットワークの基盤技術であるルーティング技術を習得し、エンタープライズLANの最適運用に必要なプロトコルの操作に関するスキルの習得を目標とする。本授業を履修すると、初級レベルのネットワーク技術者、ヘルプデスク技術者およびコンピュータ技術者の業務に必要なスキルを修得できる。本講義履修と並行にCCNA（CCENT）資格の準備を始める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

実習トポロジーごとに新しくチームを組み、実習を行うこと。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：学生番号、氏名、受講科目、内容等をメール(宛先：cha@kiis.ac.jp)で送ってください。対面相談の場合はなるべくオフィスアワーの時間を利用してください。
オフィスアワー：:水曜日２、３時限、木曜日３時限　研究室：656号室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：次の試験の内一つ以上を受験すること。試験結果を成績評価の対象とする。（CCENT, CCNA, CCNP）
学習の確認：オンラインテスト及びポートフォリオ[科目別履修確認チェック表」を第１２回目の授業時間に提出すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
シスコネットワーキングアカデミーオンライン教材　（https://www.netacad.com）			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
CCNA/CCENT 問題集	Gene	SBクリエイティブ	978-4797388824

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験・オンラインテスト（40%）、実習（40%）、その他（20%、課題、チームワーク、ポートフォリオ、外部試験の結果）

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ルーティングの概念	
	事前学習（内容・時間）	テキスト4．0を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題4．0．1．2．を専用のノートにまとめておくこと。2時間
第2回	ルータの初期設定	
	事前学習（内容・時間）	テキスト4．1を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	実習4．1．4．6をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第3回	ルーティングの決定	
	事前学習（内容・時間）	テキスト4．2を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題4．2．2．5を専用のノートにまとめること。2時間
第4回	ルータの動作	
	事前学習（内容・時間）	テキスト4．3と4．4を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題4．3．1．4を専用のノートにまとめること。2時間
第5回	スタティックルーティングの実装	
	事前学習（内容・時間）	テキスト6．0と6．1を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題6．1．2．6を専用のノートにまとめること。2時間
第6回	スタティックルートとデフォルトルートの設定	
	事前学習（内容・時間）	テキスト6．2を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	実習6．2．2．5をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第7回	CIDR、VLSMとIPアドレッシング	
	事前学習（内容・時間）	テキスト6．3を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	実習6．3．3．7をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第8回	スタティックルート及びデフォルトルートのトラブルシューティング	
	事前学習（内容・時間）	テキスト6．4～6．6を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	実習6．5．2．5をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第9回	ダイナミックルーティングプロトコル	
	事前学習（内容・時間）	テキス7．0と7．1を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題7．1．4．9～7．1．4．11を専用のノートにまとめること。2時間
第10回	ディスタンスベクターダイナミックルーティング	
	事前学習（内容・時間）	テキスト7．2と7．3を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	実習7．3．1．8をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第11回	リンクステートダイナミックルーティング	
	事前学習（内容・時間）	テキスト7．4を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題7．4．2．9を専用のノートにまとめること。2時間
第12回	ルーティングテーブル	
	事前学習（内容・時間）	テキスト7．5と7．6を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題7．5．3．3を専用のノートにまとめること。2時間
第13回	シングルエリアOSPF	
	事前学習（内容・時間）	テキスト8．0を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題8．0．1．2を専用のノートにまとめること。2時間
第14回	OSPFの特性	
	事前学習（内容・時間）	テキスト8．1を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題8．1．3．5を専用のノートにまとめること。2時間
第15回	シングルエリアOSPFの設定	
	事前学習（内容・時間）	テキスト8．2から8．4を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	実習8．2．4．5をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第16回（定期試験）	シスコネットワーキングアカデミー実施のオンラインテストを行う。	

ナンバリング（Numbering）
1ENN-5060-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
Webシステム	223～ 情報ネットワーク学科	2年生・前期	2単位	選択	平塚　智一
Webコンテンツ制作Ⅱ	219～222 情報ネットワーク学科	2年生・前期			

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	Webデザイン（Webコンテンツ制作Ⅰ）に合格済であることが望ましい。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、ビジネスパーソンおよびITエキスパートとして仕事をする上で必須となるWeb技術の基礎について、現在、システム開発会社でエンジニアとしてWeb制作や開発を行っている教員が実務経験を生かした授業を行う。
科目「Webデザイン（Webコンテンツ制作Ⅰ）」での学習を踏まえて、各種Webサービスが提供する機能とそのための構造、それらを支える基盤技術やプログラミング技術について総合的に学習する。Web関連ファイルについて理解を深める。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当	ウェブサイト制作等におけるディレクター、プログラマー、デザイナーとしてウェブ制作会社勤務（15年）の実務経験を有する。	ウェブ制作会社における実務経験をもとに、実例を交えた講義を行います。

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

具体的なウェブサイトを制作する際のHTML・CSSのコーディング手法、及びウェブサイトのコンテンツの一部であるロゴやキャッチコピーの考え方について理解する。また、ウェブサイトを公開・運用する上で必要となるウェブやネットワークの技術背景についての理解を深める。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

ただ授業を受けるだけでなく、自分で考えたビジネス等のウェブサイトのデザインを目標に、学習内容をどう応用するかを意識しながら取り組む。必要に応じて、自主的に発展的内容・機能の実践・習熟に努力する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員とのメール等で行う。
（メールアドレス等は講義中に指示）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

初回からノートPCを持参。ITパスポート試験、基本情報技術者試験の内容の一部を含む。
授業の振り返りを毎回提出。情報処理関連の資格合格者、関連内容の模擬試験の受験者・高得点者については、その内容に応じて成績評価の参考とする。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
1冊ですべて身につくHTML＆CSSとWebデザイン入門講座	Mana	SBクリエイティブ	978-4815618469

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
図解まるわかり Web技術のしくみ	西村 泰洋	翔泳社	978-4798169491

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

授業への参加態度等（30%）、課題や授業振り返りなどの提出状況（30%）、小テストおよび定期試験（40%）等で総合的に判断する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第2回	Web制作実践（フルスクリーンページ）	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第3回	Web制作実践（2カラムレイアウト）	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第4回	Web制作実践（タイル型レイアウト）	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第5回	Web制作実践（外部メディアの利用）	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第6回	ロゴ	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第7回	キャッチコピー（レイアウトと装飾）	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第8回	キャッチコピー（効果を高める心理テクニック）	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第9回	演習	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第10回	ネットワークの基礎知識	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第11回	Web技術	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第12回	HTTPのやりとりの仕組み	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第13回	Webで扱うデータ形式	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第14回	Webアプリケーションの基本	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第15回	Webのセキュリティ、認証	
	事前学習（内容・時間）	参考書や資料の該当箇所を音読する。不明な個所は意味を調べておく。前回の復習をしたり、タイピング練習をしたりする。（各回ごとに2.0h）
	事後学習（内容・時間）	授業ノートを見直し、後で必要な情報を探しやすいようにまとめ直す。完成できなかった課題を仕上げる。授業の振り返りをまとめて提出。（各回ごとに2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
1ENN-5082-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
Webﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ Ⅰ	219～ 情報ﾈｯﾄﾜｰｸ学科	2年生・後期	2単位	選択	車　炳玘

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	「プログラミング初歩I」、「「プログラミング初歩II」を履修し、単位を修得すること。 注意事項：携帯電話・スマートフォンの利用は禁止します。

授業概要　Course Outline

HTML、CSSによるWebページの作成およびPHPとのデータ受け取るの仕組みについて実習を通して修得する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

学則第3条を踏まえて、Webシステムの開発に必要な基礎概念およびスキールの修得を目標とする。本授業を履修すると、WebシステムにおけるHTML,CSSおよびPHPの役割や基礎概念の修得は勿論、初級レベルのネットワーク技術者、ヘルプデスク技術者およびコンピュータ技術者の業務に必要なスキルを修得できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

ホームページのトレンドをつかむため、2人から4人のグループで必修技術や最新技術等をWeb上で調べ（5回以上）、ポートフォリオに記入すること。また、個人ホームページをレンタルサーバー（自己管理サーバー）上に作成し、第15回目の授業時間にそのURLを提出すること。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：学生番号、氏名、受講科目、内容等をメール(宛先：cha@kiis.ac.jp)で送ってください。対面相談の場合はなるべくオフィスアワーの時間を利用してください。 オフィスアワー：:水曜日2、3時限、木曜日3時限　研究室：656号室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：HTML5プロフェッショナル認定試験を受験すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
書きながら覚えるHTML&CSS入門ワークブック	さわだ　えり	技術評論社	978-4-7741-9626-8

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
いきなりはじめるPHP	谷藤賢一	リックテレコム	978-4-89797-885-7

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験（30%）、実習課題（50%）、その他（20%、レポート、外部試験の結果）

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	HTMLの基礎	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 Hello World HTML Section　1と2を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題1を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第2回	Webシステムの概要、開発環境について	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 Hello World HTML Section　3と4を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題2と3を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第3回	開発用ソフトウェアの導入、設定	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 Hello World HTML Section　5と6を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題4から6を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第4回	Webページの作成、保存、表示	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 Hello World HTML Section　7と8を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題7と8を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第5回	文字の操作（1）	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 Hello World HTML Section　9を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題9と10を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第6回	文字の操作（2）	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 Try next HTML Section　1と2を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題11と12を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第7回	リンクについて	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 Try next HTML Section　3と4を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題13と14を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第8回	背景と罫線のデザイン	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 Try next HTML Section　5と6を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題15から17を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第9回	画像の操作（1）	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 Try next HTML Section　7と8を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題18と19を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第10回	画像の操作（2）	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 Try next HTML Section　9から11を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題20から22を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第11回	テーブルの操作	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 Try next HTML Section　12と13を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題23と24を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第12回	フォームの操作（1）	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 First step CSS Section　1から3を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題25と26を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第13回	フォームの操作（2）	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 First step CSS Section　4から6を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題27と28を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第14回	フォームデータのPHP操作の仕組み（1）	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 First step CSS Section　7から9を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題29を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第15回	フォームデータのPHP操作の仕組み（2）	
	事前学習（内容・時間）	Web教材 First step CSS Section　10から12を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題30を行い、専用のフォルダに保存しておくこと。2時間
第16回（定期試験）	4択及び記述式問題による定期試験を行う。	

ナンバリング（Numbering）
1ENN-5093-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅡ	219～ 情報ﾈｯﾄﾜｰｸ学科	3・4年生・前期	2単位	選択	車　炳玘

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	「Webプログラミング１」を70点以上の成績で、単位を取得すること。

授業概要　Course Outline

PHPプログラミング及びMySQLの基礎及びHTMLとの連携について実習を通して取得する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

学則第3条を踏まえて、Webシステム開発の基礎知識であるPHPプログラミング及びMySQLデータベースに関するスキールの取得を目標とする。本授業を履修すると、HTMLデータの処理方法やDBへの登録、検索、修正、削除などに必要なスキールを取得できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業内容を参考に各自Webシステムの設計及び実装を行い、第15回目の授業時に完成したのを発表する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：学生番号、氏名、受講科目、内容等をメール(宛先：cha@kiis.ac.jp)で送ってください。対面相談の場合はなるべくオフィスアワーの時間を利用してください。 オフィスアワー：:水曜日２、３時限、木曜日３時限　研究室：656号室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：PHP7技術者認定初級試験を受験すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
いきなりはじめるPHP	谷藤賢一	リックテレコム	978-4-89797-885-7

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
イラストでよくわかるPHP	岡本雄樹	インプレスジャパン	978-4-8443-3295-4

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験（30%）、実習課題（50%）、その他（20%、レポート、外部試験の結果）

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	入力フォームについて	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 1と2を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題1を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第2回	データの受け取り	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter ３．１から３．３を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題2を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第3回	変数	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter ３．４から３．６を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題3を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第4回	入力チェック	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter ３．７から３．９を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題4を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第5回	入力フォームの操作（1）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter ３．１０から３．１２を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題5を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第6回	入力フォームの操作（2）	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter ３．１３から３．１７を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題6を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第7回	データベースの概念	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter ４．１を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題7を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第8回	MySQLの基本設定	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter ４．２を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題8を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第9回	データベースとテーブルの作成	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter ４．３を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題9を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第10回	データのタイプ	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter ４．４を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題１０を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第11回	データの検索	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter ４．５から４．７を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題１１を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第12回	データの登録	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter ４．８と9を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題１２を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第13回	データの修正	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter ４．１０を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題１３を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第14回	データの削除	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter ４．１１と１２を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題１４を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第15回	課題の発表	
	事前学習（内容・時間）	発表内容のPPTを作成し、予行演習を行うこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	発表内容の修正及びコメントなどを取り入れ、プログラムを修正し、指定のフォルダに保存しておくこと。5時間
第16回（定期試験）	４択及び記述式問題による定期試験を行う。	

ナンバリング（Numbering）
1ENN-5104-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅢ	219～ 情報ﾈｯﾄﾜｰｸ学科	3・4年生・後期	2単位	選択	車　炳玘

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	「Webプログラミング Ⅱ」を70点以上の成績で、単位を取得すること。

授業概要　Course Outline

関数の使い方など高度なPHPプログラミング技法及びデータベースの設計や管理、セキュリティ対策スキールを、実習を通して取得する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

学則第3条を踏まえて、実践的Webシステム開発に必要なPHP及びMySQLスキールの取得を目標とする。本授業を履修すると、セキュリティ対策などを取り入れた安全なWebシステムの設計・実装及び運用に関するスキールを身に着けることができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業内容を参考に各自Webシステムの設計及び実装を行い、第10回目及び第15回目の授業時に発表する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：学生番号、氏名、受講科目、内容等をメール(宛先：cha@kiis.ac.jp)で送ってください。対面相談の場合はなるべくオフィスアワーの時間を利用してください。 オフィスアワー：:水曜日2、3時限、木曜日3時限　研究室：656号室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：次の試験の内一つ以上を受験すること。試験結果を成績評価の対象とする。(HTML5プロフェッショナル認定資格、PHP技術者認定試験、ITパスポート、基本情報技術者） 学習の確認：HTML・CSS・PHPのコマンドのテスト及びポートフォリオ[科目別履修確認チェック表」を第12回目の授業時間に提出すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
基本がわかるSQL入門	西村 めぐみ	技術評論社	978-4-297-11659-0

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
スッキリわかるSQL入門	飯田理恵子	インプレス	978-4295005094

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験（30%）、実習課題（50%）、その他（20%、レポート、外部試験の結果）

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	SQL&DBの基礎知識	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter　1.1を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題1を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第2回	DBMSの基本機能	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 1.2～1.3を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題2を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第3回	DB及びテーブルの作成	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter　2.1～2.2を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題3を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第4回	テーブルの削除及び外部キーの設定	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter　2.3を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題4を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第5回	データの追加と変更	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter　2.4～2.5を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題5を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第6回	データの追加と変更の削除と検索	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter　2.6を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題6を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第7回	データの検索2	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter　2.7を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題7を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第8回	データの操作(SELECTの基本構文)	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter　6-1を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題8を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第9回	関数と演算子	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 6-2を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題9を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第10回	結合	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 6-3を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題10を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第11回	集約関数	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 6-5を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題11を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第12回	テーブルの連結	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 6-6を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題12を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第13回	サブクエリー	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 6-8を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題13を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第14回	ウィンドウ関数	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 6-9を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題14を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第15回	データの更新	
	事前学習（内容・時間）	テキスト Chapter 6-10を参考に,Web上で関連事項を探し、まとめること。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題14を行い、ソースプログラムを指定のフォルダに保存しておくこと。2時間
第16回（定期試験）	4択及び記述式問題による定期試験を行う。	

ナンバリング（Numbering）
1ENN-6270-Z4ES

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ネットワークアプリケーション構築（教職関連科目　選　高等学校　情報）	219～ 情報ネットワーク学科	3・4年生・通年	4単位	選択	合田　和正

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	原則として、プログラミングの経験があること。未経験者で履修を希望する場合には、開講前に事前相談すること。

授業概要　Course Outline

学則第3条を踏まえて、情報学分野の情報システム、システム開発についての知識・技能を習得することを目標とする。
具体的には、Webアプリケーション開発のための技術について、アプリケーションの設計、プログラム開発の実習を含めて学ぶ。プログラミング言語としては、Java, Webサーバおよびアプリケーションをサーバ内で稼働させるコンテナとしてはTomcat、アプリケーションの記述としてはサーブレット、JSP、JavaBeansを学び、演習を通して実際に経験することによって構築技術を身に付ける。必要に応じてDockerコンテナを使用する。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。
この授業は、原則として対面で実施予定ですが、オンライン(Zoom)で実施する可能性がある。オンライン実施の際はURL、IDは別途連絡する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

Javaによるプログラミングを通じて、アプリケーションを作成できるようになる。また、Javaを学ぶことにより、現在のシステム開発において重要なオブジェクト指向の基本を理解し説明できるようになる。今自分が利用しているWebのシステムがどのようにして構築されているかを理解し説明できるようになる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

システム構築の基本はプログラム作成ですから、多くのプログラムを書いて基本を習得してください。関連書籍も多く、ネット上にも多くのサンプルプログラムがあります。これらを利用してプログラミングに慣れてください。プログラムの中で命令や論理に疑問を残さず、質問してください。課題は必ず提出してください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員の研究室で受け付けます。なお、オフィスアワーについては掲示を確認すること。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認としてポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」必要事項を記入して提出してください（提出時期については指示します）。
※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
やさしいJava 第7版	高橋 麻奈	SB　Creative	978-4-8156-0084-6

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
本格学習Java入門 [改訂3版] 基本の習得からゲームプログラミング作成まで	佐々木　整	技術評論社	978-4-2971-0122-0

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1) 提出物（授業の振り返りや小テスト、演習、その他の課題等）が約50%、
2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約50%
であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。
具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス（1）、Javaの環境設定とプログラム作成手順	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson 1, 2 のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	指定したプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第2回	ガイダンス（2）、Javaの環境設定とプログラム作成手順,プログラムの基本スタイルおよび変数	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson 3, 4 のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	指定したプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第3回	構造化プログラミング（1）、条件判断による処理の分岐（if文、switch文）	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson5 前半のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題の条件分岐のプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第4回	構造化プログラミング（2）、条件判断による処理の分岐（if文、switch文）	
	事前学習（内容・時間）	教科書　Lesson5 後半のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題の条件分岐のプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第5回	繰り返し処理（1）for文による回数指定の繰り返し、while文による条件指定の繰り返し（前判断型）	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson6, Sec6.1 for前半のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題の繰り返し処理のプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第6回	繰り返し処理（2）for文による回数指定の繰り返し、while文による条件指定の繰り返し（前判断型）	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson6, Sec6.1 for後半のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題の繰り返し処理のプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第7回	繰り返し処理（3）while文による繰り返し（後判断型）、強制終了と中断再開	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson6の残りのSec のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題の繰り返し処理のプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第8回	繰り返し処理（4）while文による繰り返し（後判断型）、強制終了と中断再開	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson7 のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題の繰り返し処理のプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第9回	オブジェクト指向プログラミング（1）オブジェクト指向の考え方、メソッドの作り方	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson8 前半のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題のメソッドのプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第10回	オブジェクト指向プログラミング（2）オブジェクト指向の考え方、メソッドの作り方、アクセッサ	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson8 後半のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題のメソッドのプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第11回	オブジェクト指向プログラミング（3）オブジェクトとクラス、初期化（コンストラクタ）	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson9 前半のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題のメソッドのプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第12回	オブジェクト指向プログラミング（4）オブジェクトとクラス、初期化（コンストラクタ）、後始末（デストラクタ）	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson9 後半のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題のメソッドのプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第13回	クラスの継承、インターフェイス、パッケージの作成（1）継承（インヘリタンス）	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson11(10は自習課題) のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題のクラスのプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第14回	クラスの継承、インターフェイス、パッケージの作成（2）継承の用法	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson12,13 のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題のクラスのプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第15回	例外（エラー）処理、ストリームによるデータのコンソールやファイルからの入出力とデータ送受信（1）	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson13, 14前半のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題の例外処理のプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第16回	例外（エラー）処理、ストリームによるデータのコンソールやファイルからの入出力とデータ送受信（2）	
	事前学習（内容・時間）	教科書 Lesson14 後半のプログラムと説明文を読む（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題の例外処理のプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）

第17回	マルチスレッド（サーバーでの同時並行処理）、ソケットによるネットワークプログラミング、応用問題（1）	
	事前学習（内容・時間）	Lesson15 前半のプログラムと説明をよく読んで機能の概要をつかんでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題のソケットプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第18回	マルチスレッド（サーバーでの同時並行処理）、ソケットによるネットワークプログラミング、応用問題（2）	
	事前学習（内容・時間）	Lesson15 後半のプログラムと説明をよく読んで機能の概要を理解し、応用を考える（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題のソケットプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第19回	Webプログラミングとは、Tomcat（Webサーバとコンテナ）のインストール、設定と動作確認	
	事前学習（内容・時間）	事前に配布した資料を読んでWebプログラミングの概要をつかんでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自宅で操作手順を再度実行して操作法を確認する（2時間）
第20回	Webプログラミングとは、Tomcat（Webサーバとコンテナ）のインストール後の動作確認とサンプルの実行	
	事前学習（内容・時間）	事前に配布した資料を読んでWebプログラミングの概要を理解し、動作確認しておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	自宅で操作手順を再度実行して操作法を確認する（2時間）
第21回	サーブレットの構造とプログラミング（アプリケーション制御機能）、その1：連携の概要	
	事前学習（内容・時間）	事前に配布した資料を読んでサーブレットプログラミングの概要をつかんでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題のサーブレットプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第22回	サーブレットの構造とプログラミング（アプリケーション制御機能）、その2：実際の連携	
	事前学習（内容・時間）	サーブレットプログラミングの概要を理解し、サンプルを実行しておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題のサーブレットプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第23回	サーブレットプログラミング演習（1）概要	
	事前学習（内容・時間）	事前に配布した資料を読んでサーブレットプログラミングの概要をつかんでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題のサーブレットプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第24回	サーブレットプログラミング演習（2）応用	
	事前学習（内容・時間）	サーブレットプログラミングの概要を理解し、サンプルを実行しておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題のサーブレットプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）

第25回	JSPのプログラミング（データの表示機能）、その1： 表示とその仕組み	
	事前学習（内容・時間）	事前に配布した資料を読んでJSPプログラミングの概要をつかんでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題のJSPプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第26回	JSPのプログラミング（データの表示機能）、その2： 実際の表示	
	事前学習（内容・時間）	JSPプログラミングの概要を理解し、サンプルを実行しておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題のJSPプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第27回	JSPのプログラミング演習（1）概要	
	事前学習（内容・時間）	事前に配布した資料を読んでJSPプログラミングの概要をつかんでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題のJSPプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第28回	JSPのプログラミング演習(2)応用	
	事前学習（内容・時間）	JSPプログラミングの概要を理解し、サンプルを実行しておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題のJSPプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第29回	JavaBeansのプログラミング、全体のまとめ(1)概要	
	事前学習（内容・時間）	事前に配布した資料を読んでJavaBeansプログラミングの概要をつかんでおく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題のJavaBeansプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第30回	JavaBeansのプログラミング、全体のまとめ(2)応用	
	事前学習（内容・時間）	JavaBeansプログラミングの概要を理解し、サンプルを実行しておく（2時間）
	事後学習（内容・時間）	課題のJavaBeansプログラムを作成し、提出用に保存する（2時間）
第31回（定期試験）	定期試験（Webプログラミング）	

ナンバリング（Numbering）
1ENN-5884-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
インターネット技術	219～ 情報ネットワーク学科	3・4年生・前期	2単位	選択	車　炳玘

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	「ルーティング技術」を70点以上の成績で単位を修得すること。

授業概要　Course Outline

顧客の要求の収集方法、これらの要求に見合う設備と必要なプロトコル、および顧客のニーズに対処したネットワークトポロジーの設定方法などを実習を通して修得する。さらに、顧客に提案する設計をどう作成し、構築するか、その方法に習熟する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

ディプロマポリシーに基づき、この授業では、小規模エンタープライズのためのLAN および WAN の設計に必要な技術力を養成することを目的とする。CCENT、CCNA、CCNPの資格取得を目指す。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

実習トポロジーごとに新しくチームを組み、実習を行うこと。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡方法：学籍番号、氏名、受講科目、内容等をメール(宛先：cha@kiis.ac.jp)で送ってください。対面相談の場合はなるべくオフィスアワーの時間を利用してください。 オフィスアワー：:水曜日2、3時限、木曜日3時限　研究室：656号室

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

外部試験：次の試験の内一つ以上を受験すること。試験結果を成績評価の対象とする。（CCENT, CCNA, CCNP）
学習の確認：オンラインテスト及びポートフォリオ[科目別履修確認チェック表」を第12回目の授業時間に提出すること。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
シスコネットワーキングアカデミーオンライン教材　（https://www.netacad.com）			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
CCNA/CCENT 問題集	Gene	SBクリエイティブ	978-4797388824

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験・オンラインテスト（40%）、実習（40%）、その他（20%、チームワーク、ポートフォリオ、外部試験の結果）

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	アクセスコントロールリスト	
	事前学習（内容・時間）	テキスト9．0を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト9．0．1．1．の内容を専用のノートにまとめること。2時間
第2回	IP アクセスコントロールリストの動作	
	事前学習（内容・時間）	テキスト9．1を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題9．1．5．4を専用のノートにまとめること。2時間
第3回	標準アクセスコントロールリスト	
	事前学習（内容・時間）	テキスト9．2を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	実習9．2．3．4をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第4回	拡張アクセスコントロールリスト	
	事前学習（内容・時間）	テキスト9．3を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	実習9．3．2．13をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第5回	アクセスコントロールリストのトラブルシューティング1	
	事前学習（内容・時間）	テキスト9．4を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	課題9．3．2．7～9．3．2．9を専用のノートにまとめること。2時間
第6回	アクセスコントロールリストのトラブルシューティング2	
	事前学習（内容・時間）	テキスト9．5を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	実習9．3．2．10と9．3．2．11をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第7回	アクセスコントロールリストのトラブルシューティング3	
	事前学習（内容・時間）	テキスト9．6を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	実習9．3．2．12と9．3．2．13をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第8回	DHCP	
	事前学習（内容・時間）	テキスト第10章を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	実習10．1．4．4．をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第9回	ネットワークアドレス変換の概要	
	事前学習（内容・時間）	テキスト11．0を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	テキスト11．0．1．1の内容を専用のノートにまとめること。2時間
第10回	ネットワークアドレス変換の動作	
	事前学習（内容・時間）	テキスト11．1を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	実習11．1．2．6をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第11回	ネットワークアドレス変換の設定	
	事前学習（内容・時間）	テキスト11．2を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	実習11．2．3．7をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第12回	ネットワークアドレス変換のトラブルシューティング	
	事前学習（内容・時間）	テキスト11．3を読んでおくこと。2時間
	事後学習（内容・時間）	実習11．3．1．5をパケットトレーサーで行うこと。2時間
第13回	LAN設計及び実装1	
	事前学習（内容・時間）	小規模LANのトポロジーを設計すること。2時間
	事後学習（内容・時間）	実装したLANに標準アクセスコントロールリストの設定を行うこと。2時間
第14回	LAN設計及び実装2	
	事前学習（内容・時間）	中規模LANのトポロジーを設計すること。2時間
	事後学習（内容・時間）	実装したLANに拡張アクセスコントロールリストの設定を行うこと。2時間
第15回	LAN設計及び実装3	
	事前学習（内容・時間）	大規模LANのトポロジーを設計すること。2時間
	事後学習（内容・時間）	実装したLANに拡張アクセスコントロールリストの設定を行うこと。2時間
第16回（定期試験）	シスコネットワーキングアカデミー実施のオンラインテストを行う。	

ナンバリング(Numbering)
1EDN-6372-22E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
ビジネスプログラミング	219～ 情報ネットワーク学科	2年生・前期	2単位	選択	ディンダ　プラマンタ

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	プログラミング入門またはプログラミング初歩 II を修得した方が望ましい.

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき, この授業では, Excelを高度に利用するためにVBA(Visual Basic for Application)を使用したマクロのプログラミングを学習する.

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

Excelのマクロの記録, VBAによるExcelデータに対するプログラミングの学習によってExcelの利用方法が広がり, 今後の学習や仕事で広範囲に活用することができるようになる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

毎回各自のPCで, 実際に手を動かしてプログラミングをしてください.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡, 問い合わせ, 相談などは551研究室にて受け付けます.オフィスアワーの時間については掲示を確認してください.

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回の講義時間後, Google Formsでポートフォリオシート「KIIS学修ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸ」にオンライン自己評価を記入し, 提出して下さい.

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
学生のためのExcel VBA　第2版	若山芳三郎	東京電機大学出版局	978-4-501-55450-7

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
Excel VBAユーザーのための Python プログラミング入門	伊藤潔人	日経BP	978-4296202652

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

毎回のプログラミング課題50%, 定期試験50%

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス, 自動記録によるマクロの作成と実行	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までにPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で行った例題を自力で解いてください.（2時間）
第2回	簡単なマクロの作成	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で行った例題を自力で解いてください.（2時間）
第3回	変数の使い方と計算	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で行った例題を自力で解いてください.（2時間）
第4回	セルの選択とコピー	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で行った例題を自力で解いてください.（2時間）
第5回	条件による分岐	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で行った例題を自力で解いてください.（2時間）
第6回	複数の条件による分岐（If...Then...Else...End Ifステートメント）	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で行った例題を自力で解いてください.（2時間）
第7回	複数の条件による分岐（Select Caseステートメント）	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で行った例題を自力で解いてください.（2時間）
第8回	処理の繰り返し（For...Nextステートメント）	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で行った例題を自力で解いてください.（2時間）
第9回	二重の繰り返し	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で行った例題を自力で解いてください.（2時間）
第10回	処理の繰り返し（Do While...Loop）	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で行った例題を自力で解いてください.（2時間）
第11回	イベントプロシージャとSubプロシージャ	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で行った例題を自力で解いてください.（2時間）
第12回	一次元配列	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で行った例題を自力で解いてください.（2時間）
第13回	二次元配列	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で行った例題を自力で解いてください.（2時間）
第14回	ユーザーフォームの作成	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	講義で行った例題を自力で解いてください.（2時間）
第15回	総合演習と復習	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず, 完成させること.定期試験に向けて, 本講義のGoogle Classroomの授業(Materials)の中で練習問題をすること.（提出するのは不必要）（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1EDN-6092-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
多変量解析	219～ 情報ネットワーク学科	3・4年生・前期	2単位	選択	荒平　高章

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	統計学入門、統計学を修得していること。 （履修していない場合は、先に上記科目を履修すること。） ただし、編入生はこの限りではない。

授業概要　Course Outline

本講義では、ディプロマポリシーに基づき、多変量データによるデータ間の関連性の把握、予測、要因分析などを通して、新たな（潜在的な）情報を把握するため、身近で簡単な例題をもとに、代表的な手法の考え方、使い方、分析結果の見方を学びます。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

【知識】
・分析手法（回帰分析・クラスター分析・主成分分析・判別分析・因子分析）を説明できる。
【態度・習慣】
・疑問点を尋ねることができる。・講義に参加できる。
【技能】
・教科書の例題を模倣し、演習問題を解くことができる。・時間内で、与えられた問題を解くことができる。
・任意のデータを適切に記述できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

一方向型講義ではなく双方向型講義を実施する.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

教員との連絡方法は、授業の終了後、あるいは研究室を訪ねてください。
オフィスアワーの時間は、掲示を参照して下さい。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：本科目のKIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックフォームに必要事項を記入し提出すること（毎時間）.

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
例題でよくわかる はじめての多変量解析	加藤豊	森北出版	978-4-627-08221-2

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
経営のための多変量解析法	本多正久・島田一明	産能大学出版部	ISBN4 382-04511-8

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

演習やレポートなどの提出物（50%）、定期試験（50%）を総合的に評価する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	1章　多変量解析とは　1　（目的・準備、回帰分析、数量化の方法）	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第2回	1章　多変量解析とは　2　（クラスター分析、主成分分析、因子分析、判別分析）	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第3回	2章　統計の基礎事項の準備	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第4回	3章　線形代数の基礎事項の準備	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第5回	4章　単回帰分析	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第6回	4章　単回帰分析	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第7回	5章　重回帰分析	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第8回	5章　重回帰分析	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第9回	6章　数量化I類	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第10回	7章　クラスター分析	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第11回	8章　主成分分析1　（主成分の導出）	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第12回	8章　主成分分析2　（主成分分析）	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第13回	9章　判別分析、　10章　因子分析	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第14回	データ分析演習・レポート作成	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	時間内にできなかった部分などを整理し、レポートにまとめる。（2.0h）
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	習う予定のテキストをよく読んでおくこと。テキストを読んでも分からなかった箇所を抽出し、講義中に確認すること。（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験を実施する。	

ナンバリング(Numbering)
1EDN-6052-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
データ解析	219～ 情報ネットワーク学科	3・4年生・前期	2単位	選択	宮﨑　武

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	統計学入門，統計学を両方とも修得しているか十分な知識を得ていることが望ましい。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、この授業ではデータサイエンスの基本となるデータ分析について，データの取得，分析，結果の解釈までを代表的な分析手法に適用し，一連のプロセスを学ぶ．また，最も重要な分析結果の解釈についてもクラス内で発表の機会を設ける．

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

データサイエンスの一連のプロセス（問題点の発見，関連データの取得，データの精査，分析，結果の解釈，問題解決）を経験・修得することを目標とする．

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

各自で実際にデータ解析をして発表をしてもらいます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室（274）にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
入門統計学　第2版	栗原　伸一	オーム社	978-4-274-22738-7

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
基礎から学ぶ統計学	中原 治	羊土社	978-4-758-12121-7
完全独習 統計学入門	小島　寛之	ダイヤモンド社	978-4-478-82009-4

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

データ解析の発表・レポート課題・授業中の発言などの結果などを総合的に判断します。
配点割合：　発表50%、レポート課題40%、授業態度10%

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	統計学入門および統計学の授業の復習をしておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	講義資料より教科書第1章を復習する(1h)
第2回	推測統計学	
	事前学習（内容・時間）	教科書第1章から第3章までを読んでおく(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書第2,3章を復習する(2h)
第3回	信頼区間の推定	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容を復習し、教科書第4章を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書第4章を復習する(2h)
第4回	χ二乗分布とF分布	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容を復習し、教科書第5章を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書第5章を復習する(2h)
第5回	検定の基本	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容を復習し、教科書第6章を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書第6章を復習する(2h)
第6回	対応のない2群の差	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容を復習し、教科書7.1～7.3節を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書第7.1～7.3章を復習する(2h)
第7回	対応のある2群の差と等分散の検定	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容を復習し、教科書7.4, 7.5節を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書第7章全体を復習する(2h)
第8回	一元配置分散分析	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容を復習し、教科書8.1～8.4節を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書第8.1～8.4章を復習する(2h)
第9回	二元配置以上の分散分析	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容を復習し、教科書8.5節を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書第8章全体を復習する(2h)
第10回	多重比較法	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容を復習し、教科書第9章を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書第9章を復習する(2h)
第11回	実験計画法	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容を復習し、教科書第10章を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書第10章を復習する(2h)
第12回	カテゴリデータの検定	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容を復習し、教科書第11章を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書第11章を復習する(2h)
第13回	順位データの検定	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容を復習し、教科書第12章を予め読んで疑問点を整理しておく(2h)
	事後学習（内容・時間）	教科書第12章を復習する(2h)
第14回	データ解析発表（1）	
	事前学習（内容・時間）	データ解析を行い発表の準備を行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	指摘された点について再度整理し、レポートを作成する(2h)
第15回	データ解析発表（2）	
	事前学習（内容・時間）	データ解析を行い発表の準備を行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	指摘された点について再度整理し、レポートを作成する(2h)
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング(Numbering)
1EDN-6070-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
データモデリング	219～ 情報ネットワーク学科	3・4年生・後期	2単位	選択	中島　直樹

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	情報数学I、情報数学IIを合格する程度の線形代数および微分積分の知識があること

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、本講義では、大量データの処理において欠かせないモデル作成について学びます。自然現象をモデル化し、解析する手法の紹介を通して、蓄積されたデータから未来を予測するために必要な知識を身に付けます。微分方程式や行列の計算など情報数学Ⅰ、情報数学Ⅱで学んだ内容の応用になります。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

自然現象や社会現象に対して数理モデルを構築する考え方を身につける。
データに基づく考察が出来る。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

講義内容に関する課題を定期的に出題し、解答してもらいます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
講義資料を配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
力学系入門	Morris W. Hirsch他	共立出版	978-4320111363
進化のダイナミクス	Martin A. Nowak	共立出版	978-4320056657
数理生物学	瀬野祐美	共立出版	978-4320056565

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期的な課題20%、定期試験80%

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを読み、情報数学Ⅰ（線形代数）および情報数学Ⅱ（微分積分）の復習をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	情報数学Ⅰ（線形代数）および情報数学Ⅱ（微分積分）の復習をする(2h)
第2回	微分方程式	
	事前学習（内容・時間）	高校の数Ⅲの微分方程式および情報数学Ⅱ（微分積分）の復習をする(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第3回	微分方程式の解のふるまい	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第4回	ロジスティック方程式	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第5回	分岐現象	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第6回	二元微分方程式	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第7回	固有値と固有ベクトル	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第8回	固有値が異なる2つの実数の場合	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第9回	複素数	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第10回	固有値が2つの複素数の場合	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第11回	固有値が1つの実数（重解）の場合	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第12回	線形化	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第13回	ベイズの定理	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第14回	ベイズ推定	
	事前学習（内容・時間）	前回授業の内容をもう一度自分で行う(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第15回	総合演習と復習	
	事前学習（内容・時間）	これまでの授業内容について復習し、疑問点を洗い出す(2h)
	事後学習（内容・時間）	課題を行い、理解できなかった数式を考えながら書き写し図を描く(2h)
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング(Numbering)
1EDN-6120-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
統計プログラミング	219～ 情報ネットワーク学科	3・4年生・後期	2単位	選択	中島　直樹

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	統計学を履修していること。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、Pythonを使って、統計に関する基本的な知識や技能を学び、それらを活かしてより応用的なデータ分析を行うことができるようになるというものである。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

この授業では、以下の事項を目標とする。①プログラミング言語に関する基本用語が説明できる。②統計的なサンプルプログラムを応用できる。 ③課題に応じて最適な処理構文を選択し、使用できる。 ④講義に参加できる。⑤課題解決のためにお互いに助けることができる。⑥疑問点を尋ねることができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

聴講型講義の他に、学生参加型の演習を行う。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは研究室にて受け付ける。オフィスアワーの時間については掲示を確認すること。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回の講義時間後、ポートフォリオシート「KIIS学修ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸ」にオンライン自己評価を記入し、提出して下さい。
プログラミングには自身のPCでPythonを用い、環境としてJupyter Notebookを活用する。口

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
Python2年生 データ分析のしくみ	森 巧尚	翔泳社	ISBN-13 : 978-4798164960

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
データサイエンス教本	橋本洋志, 牧野浩二	オーム社	ISBN-13 :‖978-4274222900

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

毎回の課題orレポート50%、定期試験50%。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	講義ガイダンス、プログラミング概要	
	事前学習（内容・時間）	講義開始前までに、テキストの該当箇所を通読しておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	習った単元の専門用語や統計的手法の考え方、手順などをテキスト、Web、その他の参考書などを通して理解しておくこと。(2時間)
第2回	Localでpythonの実行環境構築 (Jupyter Notebook)	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.20～25 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内にJupyter Notebookのインストールできなかった人は必ず、完成させること。(2時間)
第3回	Jupyter Notebookの使い方	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.26～38 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第4回	表形式のデータを読み込む	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.40～53 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第5回	データの選択と索引付け	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.54～66 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第6回	データの確認と補修	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.67～76 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第7回	データの比較	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.77～100 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第8回	中間課題演習	
	事前学習（内容・時間）	第3回～第7回を復習しておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、復習や完成させること。(2時間)
第9回	グラフの作成	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.101～130 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第10回	分散・標準偏差	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.131～143 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第11回	正規分布：自然なばらつき・累積分布関数	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.144～159 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第12回	正規分布：自然なばらつきの確認・違うばらつきのデータを比較	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.160～168 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第13回	回帰分析：2種類のデータの相関関数・予測	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.169～181 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第14回	回帰分析：アヤメのデータ	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.187～197 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第15回	後期課題演習	
	事前学習（内容・時間）	第9回～第14回を復習しておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。定期試験に向けて、本講義のGoogle Classroomの授業(Materials)の中で練習問題をすること。(提出するのは不必要)(2時間)
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング（Numbering）
1EDN-5251-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
機械学習	219～ 情報ネットワーク学科	3・4年生・前期	2単位	選択	中島　直樹

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	プログラミング実践IIを履修していること。

授業概要　Course Outline

ディプロマポリシーに基づき、近年、爆発的な進歩と普及を遂げている、いわゆる「人工知能（AI）技術」の根幹をなす機械学習技術について重要事項を学び、演習を通じてモデル構築を体験し、実践的な能力を身につける。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

この授業では、機械学習技術の重要事項を身につけ、目的に応じて、データを収集、モデルを構築、処理し、評価し、結果を導く能力（一定の実装能力を含む）を獲得することを目標とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

すべての授業に出席することを期待している。 授業では教科書には載っていない内容についてもカバーするので、これは特に重要なこと。 また、聴講型講義の他に、学生参加型の演習を行う。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などは551研究室にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回の講義時間後、ポートフォリオシート「KIIS学修ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸ」にオンライン自己評価を記入し、提出して下さい。
プログラミングには自身のPCでPythonを用い、環境として**Jupyter Notebook**や**Google Colaboratory**を活用する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
Python3年生 機械学習のしくみ	森 巧尚	翔泳社	ISBN-13 ： 978-4798166575

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
機械学習を解釈する技術	森下 光之助	技術評論社	ISBN-13 ：978-4297122263

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

毎回の課題orレポート50%、定期試験50%。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	機械学習イントロダクション	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.11～29 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	第1回の内容を復習しておくこと。(2時間)
第2回	機械学習環境の準備　(Google Colaboratory ・Jupyter Notebook)	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.30～52を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	第2回の内容を復習しておくこと。(2時間)
第3回	Scikit-learn（サイキットラーン）	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.53～65、pp.70～75、pp.82～84 を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第4回	Scikit-learn（サイキットラーン）の塊例を分類：データを用意する・学習用とテスト用に分ける	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.85～95を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第5回	Scikit-learn（サイキットラーン）の塊例を分類：学習して予測する・分類を可視化する	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.96～110を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第6回	線形回帰で予測する	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.111～121を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第7回	分類：ロジスティク回帰	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.122～130を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第8回	分類：SVM（サポートベクターマシン）	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.131～142を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第9回	分類：決定木	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.143～151を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第10回	**分類**：ランダムフォレストとk-NN(k近傍法)	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.152～158を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第11回	MNIST（手書きの数字）データセット：データ・学習データの準備	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.165～178を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第12回	MNIST（手書きの数字）データセット：学習・予測	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.179～190を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第13回	教師なし学習のクラスタリング：k-means(k平均法)・その他	
	事前学習（内容・時間）	教科書 pp.159～164、pp.191～195を読んでおくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第14回	Perceptron（パーセプトロン）	
	事前学習（内容・時間）	Web、教科書で第14回のテーマを検索し、選んでその内容を読んでおくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったレポートやプログラムは必ず、完成させること。(2時間)
第15回	Artificial Neural Network（人工ニューラルネットワーク）	
	事前学習（内容・時間）	Web、教科書で第15回のテーマを検索し、選んでその内容を読んでおくこと。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	時間内に作成できなかったプログラムは必ず、完成させること。定期試験に向けて、本講義のGoogle Classroomの授業(Materials)の中で練習問題をすること。(提出するのは不必要)(2時間)
第16回（定期試験）	定期試験	

ナンバリング(Numbering)
1EDN-5262-Z2E

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
人工知能	219～ 情報ネットワーク学科	3・4年生・後期	2単位	選択	ディンダ　プラマンタ

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	プログラミング実践Ⅰおよび機械学習を修得した方が望ましい.

授業概要　Course Outline

現在, 人工知能技術は, 私たちの生活の様々なところで使われている. 本授業では, ディプロマポリシーに基づき, 人工知能技術の基礎を体系的に学ぶ. 人工知能技術の応用例について触れ, 実生活に密着してきつつある姿を垣間見る. また, 学生の理解の範囲内で, トピックを包括的にカバーするために, グループディスカッションを実施する.□

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

①人工知能に関する基本用語が説明できる. ②講義に参加できる. ③課題解決のためにお互いに助けることができる. 疑問点を尋ねることができる.

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

聴講型および実習型講義とグループディスカッションを併用して実施する.

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡, 問い合わせ, 相談などは研究室(551)にて受け付ける. オフィスアワーの時間については掲示を確認すること.

その他 Others, 外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回の講義時間後, Google Formsでポートフォリオシート「KIIS学修ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ・ﾙｰﾌﾞﾘｯｸ」にオンライン自己評価を記入し, 提出して下さい.

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
基礎から学ぶ人工知能の教科書	小高知宏	オーム社	978-4-274-22426-3

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
あたらしい人工知能の教科書 プロダクト／サービス開発に必要な基礎知識	多田 智史	翔泳社	978-4798145600

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

レポート(30%), 発表(20%)と定期試験(50%)をもとに総合的に判断する.

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス	
	事前学習 (内容・時間)	シラバスを通読し，受講理由を明確にする. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
第2回	人工知能とは：概要と研究分野	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(p.2-p.9)を通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
第3回	人工知能とは：基盤技術と産業応用	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(p.10-p.19)を通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
第4回	人工知能の歴史: 探索・推論と知識の時代	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(p.21-p.36)を通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
第5回	人工知能の歴史: 機械学習・表現学習の時代	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(p.37-p.44)を通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
第6回	機械学習	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(p.58-p.80)を通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
第7回	知識表現と推論	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.82-p.97)を通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
第8回	ニューラルネットワーク	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(p.100-p.119)を通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
第9回	深層学習	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(p.122-p.139)を通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
第10回	進化的計算と群知能	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(p.142-p.163)を通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
第11回	自然言語処理	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(p.166-p.190)を通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
第12回	画像認識	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(p.192-p.210)を通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
第13回	エージェントと強化学習	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(p.212-p.233)を通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
第14回	人工知能とゲーム	
	事前学習 (内容・時間)	教科書の当該箇所(pp.236-p.258)を通読する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
第15回	発表会とまとめ	
	事前学習 (内容・時間)	本講義のテーマに関する発表資料を作成する. (2.0h)
	事後学習 (内容・時間)	KIIS学修ポートフォリオ・ルーブリックに受講理由を含めて本時の内容を記載する. (2.0h)
第16回 (定期試験)	定期試験を実施する.	

教職に関する科目

ナンバリング(Numbering)
2TTB-5010-32ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報科教育法Ⅰ（教職に関する科目）	223～	3年生・前期	2単位	教必	合田　和正 荒平　高章
「情報」教科教育法Ⅰ（教職に関する科目）	～222				

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	2年生までの教職科目・教科科目のすべてに合格済であることが望ましい。

授業概要　Course Outline

学則第3条を踏まえて、
情報学分野の情報教育、特に高等学校の情報科における教科教育法についての知識を習得することを目標とする。
具体的には、教科情報科が設置された経緯、教育目標と内容について理解し、情報技術の進展と社会への影響を踏まえ、情報に関する幅広い知識とともに、コンピュータや情報通信ネットワークを活用する実践力と情報モラルの育成の方法について、実習を伴いながら習得し、教科情報科に対する内容的な理解を目指す。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。オンライン(Zoom)で実施することがある。ICT演習としての実施を計画している。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

高等学校教育に教科「情報」として普通教科と専門教科の設置に始まり、共通教科情報科と専門教科情報科に再構成され、社会人として必要な情報活用能力を身につけることを狙いとした教育が実施されてきている。その中で情報化社会を主体的に生きるために必要な情報活用能力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度の育成が求められている。これらの要求に応えられる教員となるために教科設置の経緯、教科の配置、関係、構造、目的を理解するとともに、「情報」教科教育法Ⅱで実践していくための教科教育の基礎を学ぶ。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

ただ授業を受けるだけでなく、学習指導案の作成を目標に、学習内容をどう応用するかを意識しながら取り組む。必要に応じて、自主的に発展的内容・機能の実践・習熟に努力する。また、ふだんから情報教育や教員採用に関するニュースに注意を払い、4年生での教育実習に備える。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員の研究室で受け付けます。なお、オフィスアワーについては掲示を確認すること。また、電子メイルやその他に授業中に提示するその他の方法でも受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

初回からノートPCを持参。ITパスポート試験、基本情報技術者試験の内容の一部を含む。
授業の振り返りを毎回提出。情報処理関連の資格合格者、
関連内容の模擬試験の受験者・高得点者については、その内容に応じて成績評価の際に優遇する。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出。
※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配布します。（昨年度以前の講義資料を含む）			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
1) 高等学校学習指導要領解説 情報編	1) 文部科学省	1) 開隆館	1) 978-4304021633
2) 情報科教育法	2) 鹿野利春ほか編	2) 実教出版	2) 978-4407355215

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1) 提出物（授業の振り返りや課題等）が約60%、
2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約40%
であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。
具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	概要と教育目標：教科「情報」の位置づけ、共通教科と専門教科の違い、各科目の概説	
	事前学習（内容・時間）	これまでの教職科目・教科科目でで学んだ内容をまとめる [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	共通教科・専門教科、科目「情報」の概要の復習。振り返りを書く。[2.0h]
第2回	教科「情報」の内容：「情報」教科教育法Ⅰの授業内容	
	事前学習（内容・時間）	指導要領解説を通読し、全体を大雑把に把握し、まとめておく [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業内容、特に指導要領解説の内容以外を中心に複数う。振り返りを書く [2.0h]
第3回	情報技術の進展と社会への影響：NW、DBを中心として情報技術の活用による社会の発展 ※Zoomを予定	
	事前学習（内容・時間）	データベース論など関連する教科科目の復習をしておく [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	情報技術の活用についての事例についてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第4回	模擬講義への参加と評価　※状況によりZoomを活用	
	事前学習（内容・時間）	模擬授業の単元についてまとめておく [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	模擬授業について振り返り、自分に不足していることをまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第5回	共通教科情報科目の科目と内容（1）情報Ⅰ、特にプログラミングとデータの活用、および同実習	
	事前学習（内容・時間）	指導要領解説と(高校)教科書の目次を参照して、概要を自分の言葉でまとめる [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	実習課題を完成させ、類題を考えてみる（作問）。振り返りを書く [2.0h]
第6回	共通教科情報科の科目と内容（2）情報Ⅱ、特に情報システムとデータサイエンス、および同実習	
	事前学習（内容・時間）	指導要領解説と(高校)教科書の目次を参照して、概要を自分の言葉でまとめる [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	実習課題を完成させ、類題を考えてみる（作問）。振り返りを書く [2.0h]
第7回	共通教科情報科のまとめ	
	事前学習（内容・時間）	共通教科情報科の2科目の共通する内容についてまとめておく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	自分のまとめと授業内容を比較・考察する。振り返りを書く。[2.0h]
第8回	専門教科情報科の科目と内容（1）情報システム分野の科目群	
	事前学習（内容・時間）	対応する教科科目群の概要をシラバス等を参照してまとめておく [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	科目群に共通する考え方・指導方法についてまとめる。振り返りを書く [2.0h]
第9回	専門教科情報科の科目と内容（2）コンテンツ分野の科目群	
	事前学習（内容・時間）	対応する教科科目群の概要をシラバス等を参照してまとめておく [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	科目群に共通する考え方・指導方法についてまとめる。振り返りを書く [2.0h]
第10回	専門教科情報科の科目と内容（3）共通分野、特に情報と問題解決ほか	
	事前学習（内容・時間）	日常生活における問題解決事例と(高校)教科書の対応について考察 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	問題解決の流れや実行の可視化について考察。振り返りを書く。[2.0h]
第11回	社会と情報システム（1）情報システムと生活の変化　※Zoomを予定	
	事前学習（内容・時間）	(高校)教科書の導入部分について、時代のギャップがあるか検証 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	情報システムと生活の変化の具体例・事例をまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第12回	社会と情報システム（2）情報の信頼性・公開・保護	
	事前学習（内容・時間）	技術・倫理・道徳・教育とソーシャルエンジニアリング事例について調べる [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	(高校)教科書では足りない点の洗い出しと補強について考察。振り返りを書く [2.0h]
第13回	情報教育の課題と展望（1）教育方法・環境の情報化、情報の信頼性・公開・保護	
	事前学習（内容・時間）	現状のHW,SW,コンテンツ、インフラについてGIGAスクール構想について調べる [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	理想と現実、地域格差、経済格差などの格差について考察。振り返りを書く [2.0h]
第14回	情報教育の課題と展望（2）最近の話題から	
	事前学習（内容・時間）	2020年度の遠隔教育について小中高についてっ国公立・私立別に事例を調べる [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	2022年度以降の遠隔教育、ディジタル教科書について考察。振り返りを書く。[2.0h]
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	14回までの内容について、特に興味を持った回次を中心にまとめる [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	定期試験に向けて、教科教育法Ⅱに向けて、まとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング(Numbering)
2TTB-5020-32ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
情報科教育法Ⅱ (教職に関する科目)	223～	3年生・後期	2単位	教必	合田　和正
「情報」教科教育法Ⅱ (教職に関する科目)	～222				

オンライン授業 Online Class	あり	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	「情報」教科教育法Ⅰに合格していること。

授業概要　Course Outline

学則第3条を踏まえて、
情報学分野の情報教育、特に高等学校の情報科における教科教育法についての知識を習得し、模擬授業や教育実習へ向けて、少しずつ実践してみることを目標とする。
具体的には、教科教育法Ⅰに引き続き、教育法の実践力を身につける。また、教科情報科の内容に即しながら教授システムの設計、学習指導計画の立案ができるようにし、それらを実施・評価することも身につける。※Google Classroomを毎回の課題提出などで使用する。オンライン(Zoom)で実施することがある。ICT演習としての実施を計画している。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

指導案の作成及び教授法、観点別評価の理解。教育実習へ向けて、授業に必要な準備を把握する。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

ただ授業を受けるだけでなく、学習指導案の作成を目標に、学習内容をどう応用するかを意識しながら取り組む。
必要に応じて、自主的に発展的内容・機能の実践・習熟に努力する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせ、報告、連絡、相談などは、担当教員の研究室で受け付けます。なお、オフィスアワーについては掲示を確認すること。また、電子メイルやその他に授業中に提示するその他の方法でも受け付けます。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

初回からノートPCを持参。ITパスポート試験、基本情報技術者試験の内容の一部を含む。
授業の振り返りを毎回提出。情報処理関連の資格合格者、
関連内容の模擬試験の受験者・高得点者については、その内容に応じて成績評価の際に優遇する。
学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出。
※学内のiパスコンテスト参加者は加点する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
資料を配布します。(昨年度以前の講義資料を含む)			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
1) 高等学校学習指導要領解説 情報編	1) 文部科学省	1) 開隆館	1) 978-4304021633
2) 情報科教育法	2) 鹿野利春ほか編	2) 実教出版	2) 978-4407355215

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1) 提出物(授業の振り返りや課題等)が約60%、
2) 小テスト・定期試験・授業態度等が約40%
であって、かつ、これら1),2)の両方について、各項目ごとの評価が30%以上であること。
具体的には、総合評価で60%以上でも、項目ごとの評価で30%未満があれば、不合格になる場合がある。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	「情報」のカリキュラム構成、教科教育法Ⅰの復習	
	事前学習（内容・時間）	教科教育法Ⅰおよび前期の教職科目についてまとめておく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業を受けて、各自の弱い点を補強する。振り返りを書く。[2.0h]
第2回	共通教科情報科（1）「情報Ⅰ」 ※Zoomを予定	
	事前学習（内容・時間）	(高校)教科書の目次、本文を参照しつつ、教科内容についてのイメージをまとめる [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業内容と自分のイメージを比較して考察、まとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第3回	共通教科情報科（2）「情報Ⅱ」	
	事前学習（内容・時間）	(高校)教科書の目次、本文を参照しつつ、教科内容についてのイメージをまとめる [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業内容と自分のイメージを比較して考察、まとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第4回	専門教科情報科	
	事前学習（内容・時間）	問題解決というキーワードで各分野、各科目の事例を調べる。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業内容と事例について整理してまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第5回	「情報Ⅰ」の詳細内容と評価に向けた内容・目標のマトリックス化	
	事前学習（内容・時間）	(高校)指導用教科書を参照しつつ、単元内容・単元目標についてまとめる。 [2.0h]
	事後学習（内容・時間）	マトリックス化により明らかになった濃淡・強弱に基づいて補強。振り返りを書く。[2.0h]
第6回	「情報Ⅰ」指導書の活用	
	事前学習（内容・時間）	(高校)指導書を参照しつつ、より詳細な内容、目標、全体像についてまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	指導用教科書と指導書の使い分けや記述内容の違いについてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第7回	目標と関連付けた評価	
	事前学習（内容・時間）	目標の詳細化と評価方法・基準についてまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	指導用教科書・指導書の強みと弱みについてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第8回	授業展開法とメディアの利用（1）板書、黒板とホワイトボード、電子黒板 ※Zoomを予定	
	事前学習（内容・時間）	これまでに使用、見たことがある黒板、ホワイドボード、チョーク、マーカーなどについてまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	これからの板書と資料提示について考察する。特にディジタル化の観点。振り返りを書く。[2.0h]
第9回	授業展開法とメディアの利用（2）投影、スライドやプロジェクタ、および電子黒板（2）	
	事前学習（内容・時間）	OHPやプロジェクタ、大画面ディスプレイなど光による資料提示についてまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	これからの遠隔を含めた資料提示について考察する。振り返りを書く。[2.0h]
第10回	授業展開法とメディアの利用（3）メディアの特性と工夫	
	事前学習（内容・時間）	提示（伝達）、記録の観点、教師・学生の観点からメディアについて調べる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	メディアの現状と今後について考察し、まとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第11回	授業展開法とメディアの利用（4）コンテンツのディジタル化と活用 ※Zoomを予定	
	事前学習（内容・時間）	身近なディジタルコンテンツについて事例をまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	今後の動向について、現状と最先端から予測してみる。[2.0h]
第12回	学習・教授評価と総括（1）評価について、位置と役割	
	事前学習（内容・時間）	計測と評価、主観的評価と客観的評価についてまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	評価の位置と役割についてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第13回	学習・教授評価と総括（2）目的と役割、基本的性格、対象と主体	
	事前学習（内容・時間）	評価の対象と主体を中心に、目的・役割について調べてまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	授業をうけて、基本的性格と目的役割についてまとめる。振り返りを書く。[2.0h]
第14回	学習・教授評価と総括（3）評価のまとめ	
	事前学習（内容・時間）	評価に向けての準備、シラバス、教材、試験、採点についてまとめる。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	評価についての全体的なまとめをする。振り返りを書く。[2.0h]
第15回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	14回までの授業をまとめておく。[2.0h]
	事後学習（内容・時間）	定期試験に向けて、教育実習に向けて、指導案の事例を収集分析する。[2.0h]
第16回（定期試験）	定期試験等	

ナンバリング（Numbering）
2TTB-5080-22ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
教育哲学（教職に関する科目）	共通	2年生・後期	2単位	教必	坂上　宏

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①「教師入門」をすでに単位取得済みであること。 ②下記の参考書のどれか一冊を読了しておくことが望ましい。 ※禁止事項：不必要な私語。正当な理由でない遅刻および許可のない入退室。携帯電話の使用。その他指定する事項。

授業概要　Course Outline

この授業では、歴史上名高い哲学者・思想家の代表的な著作に見られる教育観、道徳観、人間観などについて講義します。「教育」という事象を単に’教える’、’学ぶ’という側面だけではなく、人間存在の根源的見地から考えて、教育と道徳のあり方、教育と社会の関係性などについて考えていきます。なおこの授業は、主として本学の建学の精神「至心」「報恩感謝・慈愛と奉仕」「容は心を呼び、心は容を呼ぶ。」およびカリキュラムポリシー「Ⅰ　建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと。」「Ⅲ　社会の諸問題についての知識・理解や汎用的技能を高めること。」に則り行われるものです。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力	Problem Solving	
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	○
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	○

到達目標 Objectives

本講義の目標は以下のとおりです。
①プラトンの教育観と人間観（「哲人教育」「イデア」「魂の配慮」「魂の転向・浄化」）等の概要について理解できる。
②アリストテレスの道徳観と人間観（「倫理的徳」「知性的徳」「正義」「愛と幸福」）等の概要について理解できる。
③カントの教育観、道徳観、人間観（「理性と認識」「道徳と義務」「倫理教育」「実践的教育と自然的教育」）等の概要について理解できる。
④ロックとペスタロッチーの教育観と人間観等の概要について理解できる。
⑤ルソーの教育観、人間観、道徳観（人間性と道徳・教育のあり方）等の概要について理解できる。
⑥デューイの教育観と人間観（民主主義と教育、学校のあり方）等の概要について理解できる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します。
毎回の授業が終わってから、ポートフォリオの記入をお願いします。感じたことや意見などを自由に書いてください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談等は研究室（363）およびGoogleクラスルーム・メール（sakagami@g.kiis.ac.jp）にて随時受け付けます。
提出物はGoogleクラスルームへ出してください。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオとルーブリックに必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
配布プリント 教育思想史	今井康雄（編）	有斐閣	

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
国家　上・下	プラトン	岩波文庫	
ニコマコス倫理学　上・下	アリストテレス	岩波文庫	
教育学（カント全集17）	カント	岩波書店	
実践理性批判	カント	岩波文庫	
道徳哲学	カント	岩波文庫	
教育に関する考察	ロック	岩波文庫	
エミール上・中・下	ルソー	岩波文庫	
人間不平等起原論	ルソー	岩波文庫	
隠者の夕暮れ・ｼｭﾀﾝﾂだより	ペスタロッチー	岩波文庫	
民主主義と教育	デューイ	岩波文庫	
学校と社会	デューイ	岩波文庫	

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：試験90%。平常点10%(毎回の授業のポートフォリオ（事前学習と事後学習）の提出、ルーブリックの提出)。
成績評価の基準 ：
①プラトンの教育観と人間観（「哲人教育」「イデア」「魂の配慮」「魂の転向・浄化」）等の概要について説明できる。
②アリストテレスの道徳観と人間観（「倫理的徳」「知性的徳」「正義」「愛と幸福」）等の概要について説明できる。
③カントの教育観、道徳観、人間観（「理性と認識」「道徳と義務」「倫理教育」「実践的教育と自然的教育」）等の概要について説明できる。
④ロックとペスタロッチーの教育観と人間観等の概要について説明できる。
⑤ルソーの教育観、人間観、道徳観（人間性と道徳・教育のあり方）等の概要について説明できる。
⑥デューイの教育観と人間観（民主主義と教育、学校のあり方）等の概要について説明できる。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業の方針、教育と哲学の基本的な考え方、 プラトン『国家』における教育観と人間観①（哲人教育とイデア論）　:ﾌﾟﾘﾝﾄ1	
	事前学習 （内容・時間）	プラトンのイデア論の要点について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ①）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	プラトンの哲人教育論の要点について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ①）（2時間）
第2回	プラトン『国家』における教育観と人間観②（魂の配慮と徳）　:ﾌﾟﾘﾝﾄ2	
	事前学習 （内容・時間）	プラトンが説く「魂の配慮」の要点について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ①）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	プラトンが述べる道徳の考え方について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ②）（2時間）
第3回	プラトン『国家』における教育観と人間観③（魂の転向と浄化）:ﾌﾟﾘﾝﾄ3	
	事前学習 （内容・時間）	プラトンが述べる教育のあり方「魂の転向」について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ②）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	プラトンが述べる教育のあり方「魂の浄化」について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ③）（2時間）
第4回	アリストテレス『ニコマコス倫理学』における道徳観と人間観①（徳のあり方、倫理的徳）　:ﾌﾟﾘﾝﾄ4	
	事前学習 （内容・時間）	アリストテレスが述べる道徳のあり方について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ③）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	アリストテレスが述べる倫理的徳について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ④）（2時間）
第5回	アリストテレス『ニコマコス倫理学』における道徳観と人間観②（知性的的徳、正義）:ﾌﾟﾘﾝﾄ5	
	事前学習 （内容・時間）	アリストテレスが述べる知性的徳について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ④）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	アリストテレスが述べる正義のあり方について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑤）（2時間）
第6回	アリストテレス『ニコマコス倫理学』における道徳観と人間観③（愛、幸福）　:ﾌﾟﾘﾝﾄ6	
	事前学習 （内容・時間）	アリストテレスが述べる愛のあり方について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑤）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	アリストテレスが述べる幸福のあり方について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑥）（2時間）
第7回	カント『実践理性批判』における道徳観と人間観（理性と認識）:ﾌﾟﾘﾝﾄ7	
	事前学習 （内容・時間）	カントが述べる理性のあり方について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑥）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	カントが述べる認識のあり方について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑦）（2時間）
第8回	カント『道徳哲学』における教育観と道徳観（道徳の義務、倫理教育）　:ﾌﾟﾘﾝﾄ8	
	事前学習 （内容・時間）	カントが述べる道徳のあり方について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑦）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	カントが述べる倫理教育のあり方について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑧）（2時間）

第9回	カント『教育学』における教育観（実践的教育、自然的教育）:ﾌﾟﾘﾝﾄ9	
	事前学習 （内容・時間）	カントが述べる実践的教育について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑧）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	カントが述べる自然的教育について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑨）（2時間）
第10回	ロック『教育に関する考察』における教育観と人間観（教育と習慣） ペスタロッチー『隠者の夕暮れ・ｼｭﾀﾝﾂだより』における教育観　:ﾌﾟﾘﾝﾄ10	
	事前学習 （内容・時間）	ロックの教育観と人間観について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑨）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ペスタロッチーの教育観について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑩）（2時間）
第11回	ルソー『人間不平等起原論』における人間観と道徳観（人間性と道徳）　:ﾌﾟﾘﾝﾄ11	
	事前学習 （内容・時間）	ルソーが述べる人間観について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑩）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	ルソーが述べる道徳のあり方について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑪）（2時間）
第12回	ルソー『エミール』における人間観と教育観（人間性と教育のあり方）　:ﾌﾟﾘﾝﾄ12	
	事前学習 （内容・時間）	『エミール』で述べられている人間観について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑪）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	『エミール』で述べられている教育観について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑫）（2時間）
第13回	デューイ『民主主義と教育』における教育観と人間観①（民主主義と人間）　:ﾌﾟﾘﾝﾄ13	
	事前学習 （内容・時間）	『民主主義と教育』で述べられている教育観について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑫）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	『民主主義と教育』で述べられている教育観について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑬）（2時間）
第14回	デューイ『民主主義と教育』における教育観と人間観②（民主主義と教育）　:ﾌﾟﾘﾝﾄ14	
	事前学習 （内容・時間）	『民主主義と教育』で述べられている教育観について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑬）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	『民主主義と教育』で述べられている教育観について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑭）（2時間）
第15回	デューイ『学校と社会』における教育観　:ﾌﾟﾘﾝﾄ15	
	事前学習 （内容・時間）	『学校と社会』で述べられている教育観と学校のあり方について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑭）（2時間）
	事後学習 （内容・時間）	『学校と社会』で述べられている教育観と学校のあり方について、ﾌﾟﾘﾝﾄを読んで答えてください。（ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ⑮）（2時間）
第16回 （定期試験）	定期試験、ポートフォリオ＆ルーブリック作成等	

ナンバリング（Numbering）
2TTB-5100-12ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
教師入門（教職に関する科目）	共通	1年生・後期	2単位	教必	桑野裕文

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①学校教育に関心がある者。②教師への志望動機が明確である者。③ディスカッションに意欲的に取り組む者。

授業概要　Course Outline

15回の講義中、一人最低2回は各自が自主的に設定したテーマについて、問題提起をしてもらう。それに対し、グループ又は個人としての意見・疑問を出し合い討論する。討論の時間では、建学の精神である「至心」に基づいて、積極的かつ誠実な態度での討論を行う。最終的には、理想の教育及び教師像について考える。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

この授業の目標は、①建学の精神である「優れた社会人たるにふさわしい温かい人間性」の育成　、②教師としての心構えから、教育課程、校務分掌等幅広く理解する、③代表的な授業スタイル「講義型授業」「問答型授業」「個別型授業」「対話型授業」のメリット・デメリット、及びICT機器を活用した指導法について理解を深める　とする。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

学校教育を多様な視点で捉え、主体的に事前事後の学習ができるようにしてください。
対話型の授業を心がけますので、意欲的な発言を期待しています。
授業の終わりには毎回コメントカードを作成・提出してください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

オフィスアワーは、授業日の授業の前後の時間になります。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して授業の前までに桑野までメールで提出してください。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
特に指定しませんが、必要に応じて資料を配布します。			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
学校の戦後史 教育言説の歴史社会学	木村元 広田照幸	岩波書店 名古屋大学出版会	9784004315360 481580396X

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法：定期試験50%、問題提起25%、平常点25%（ディスカッション、ポートフォリオ、レポート、コメントカードの作成等）
・成績評価の基準
①教員としての心構え、教職の専門性、教職員の服務、教育活動等を理解しているか。
②創意工夫をして問題提起を行おうとしているか。ディスカッションに積極的に参加しているか。
③多様な意見を吸収し、建学の精神である「優れた社会人たるにふさわしい温かい人間性」に近づこうとしているか。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション：授業の進め方，成績評価等についての説明等　対面	
	事前学習（内容・時間）	教職とは何かについて調べてまとめておく。
	事後学習（内容・時間）	講義内容をwordで200字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業は欠席となりますので注意してください（2時間）。
第2回	教員としての心構え（宣誓義務と服務義務）	
	事前学習（内容・時間）	公務員の宣誓についてまとめておく。『地方公務員法（服務の宣誓）第30条・第31条』 参照）
	事後学習（内容・時間）	講義内容をwordで200字程度にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業は欠席となりますので注意してください（2時間）。
第3回	教職の専門性と研修	
	事前学習（内容・時間）	「教師聖職者論」、「教師労働者論」、「教師聖職者論」についてまとめておく。
	事後学習（内容・時間）	講義内容をwordで200字程度にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業は欠席となりますので注意してください（2時間）。
第4回	学校教育の意義・役割	
	事前学習（内容・時間）	「教員と教師」と「業務と公務」について調べておく。
	事後学習（内容・時間）	講義内容をwordで200字程度にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業は欠席となりますので注意してください（2時間）。
第5回	日本の教育制度	
	事前学習（内容・時間）	「初等教育」・「中等教育」・「高等教育」について調べておく。
	事後学習（内容・時間）	講義内容をwordで200字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業は欠席となりますので注意してください（2時間）。
第6回	教育活動と教育課程	
	事前学習（内容・時間）	「教育課程」について調べておく。
	事後学習（内容・時間）	講義内容をwordで200字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業は欠席となりますので注意してください（2時間）。
第7回	学校としての組織マネージメント	
	事前学習（内容・時間）	「校務分掌」について調べておく。
	事後学習（内容・時間）	講義内容をwordで200字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業は欠席となりますので注意してください（2時間）。
第8回	学びの多様化（不登校生徒に対する支援）	
	事前学習（内容・時間）	日本の特別支援教育の歴史について、300字程度にまとめておく。
	事後学習（内容・時間）	講義内容をwordで100字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業は欠席となりますので注意してください（2時間）。
第9回	学校を取り巻く動向（働き方改革より担任制と部活動改革））	
	事前学習（内容・時間）	「学級担任制」と「教科担任制」のちがいについて調べておく。
	事後学習（内容・時間）	講義内容をwordで200字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業は欠席となりますので注意してください（2時間）。
第10回	授業スタイル「講義型授業」「問答型授業」「個別型授業」「対話型授業」のメリット・デメリット	
	事前学習（内容・時間）	PDCAサイクルについて調べておく。
	事後学習（内容・時間）	講義内容をwordで200字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業は欠席となりますので注意してください（2時間）。
第11回	ICTを活用した指導法について	
	事前学習（内容・時間）	ICT機器について調べておく。
	事後学習（内容・時間）	講義内容をwordで200字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業は欠席となりますので注意してください（2時間）。
第12回	学校を取り巻く動向（教育行政と教育委員会の役割）	
	事前学習（内容・時間）	戦前と前後の教育制度の違いについて調べておく。
	事後学習（内容・時間）	講義内容をwordで200字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業は欠席となりますので注意してください（2時間）。
第13回	まず、係となった学生が自主的に決めたテーマに沿って問題提起を行い、これに関する意見交換等を30分間で行います。その後、教師の仕事について解説します。その際、必要に応じて意見交流をします。対面	
	事前学習（内容・時間）	「教員志望動機」について300字以内にまとめておく。
	事後学習（内容・時間）	講義内容をwordで100字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業は欠席となりますので注意してください（2時間）。
第14回	まず、係となった学生が自主的に決めたテーマに沿って問題提起を行い、これに関する意見交換等を30分間で行います。その後、教師の置かれている現在的な問題について考え、どうすれば効果的な教育が行われるのかについて意見交換をします。対面	
	事前学習（内容・時間）	教師の仕事を阻害していると考えられる事柄について、300字程度でまとめてください。授業で発表してもらいます（2時間）。
	事後学習（内容・時間）	講義内容をwordで200字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業は欠席となりますので注意してください（2時間）。
第15回	まず、係となった学生が自主的に決めたテーマに沿って問題提起を行い、これに関する意見交換等を30分間で行います。その後、これからの時代に求められる「理想」の教師像について議論をします。対面	
	事前学習（内容・時間）	自分なりの「理想」の教師像を、300字程度でまとめてきてください。授業で質問します（2時間）。
	事後学習（内容・時間）	講義内容をwordで200字以内にまとめ、メールで送ってください。回答がないと本日の授業は欠席となりますので注意してください（2時間）。
第16回（定期試験）	教師の役割、教師を取り巻く環境の変化、不登校児童生徒への取り組み等、学習したすべての事柄が試験の対象となります。	

ナンバリング（Numbering）
2TTB-5050-22ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
教育社会学 （教職に関する科目）	共通	2年生・後期	2単位	教必	平田 毅

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	将来教職を目指す者に向けた授業であるので、教える＝学ぶという主客往復運動を自らの裡に作用させ主体的に取り組む姿勢と態度そして能力が求められる。

授業概要　Course Outline

現代社会は大きな転換期を経験している。そうした状況のなか、2020年にはCOVID-19感染症パンデミックのなか、2月末から全国の小中学校が一斉に休校するという事態も起こった。学校や教育のあり方が大きく問われ、大きな変革を迫られた。この授業では、そうした状況も踏まえ、転換期の教育・学校の諸相とそれを取り巻く“問題”に焦点を当て、その構造とメカニズムを社会学的に考察・解明していくことを目的とする。
　一方的に私が講義する授業だけでなく、受講生のみなさんがそれぞれのテーマに基づいて作成したレポートの発表を取り入れた授業を行うので、問題意識を持って、積極的に課題に取り組んでほしい。
　なお、本授業は学則第23条の2により開講されるものであり、カリキュラムポリシーのⅠおよびⅥを満たす科目ともなる。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・教育・学校をとりまく状況や問題を社会学的に捉え、その相互関係のメカニズムを考察し理解する。
・教職を志望するに当たって、教育・学校における諸問題・諸事象を複眼的に捉える視点と態度を養う。
・PC、PowerPoint、電子黒板など情報ツールを有効に活用したプレゼンテーションができるスキルの習得も図る。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

テキスト沿ったテーマを分担して、PowerPointを用いて発表していきます。
①各自の担当テーマを十分にリサーチし、その内容や問題の十分な理解に努めます。
②オーディエンスにも「よくわかる発表」になるように工夫したPowerPoint原稿を作成します。
③作成したPowerPointをもとに発表の準備（練習）をします。
④発表します。
⑤聴き手の側は予めテキストの指定箇所を熟読し要点と疑問点を念頭に置きながらしっかりと発表に耳を傾けます。
⑤発表後、聴き手は積極的に質問し意見を述べるなど、発表に対して真摯に反応します。
※以上が、相互に学び合う場を創出していくうえで、不可欠な要素です。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

授業終了後に声を掛けるか、もしくは研究室を訪ねてください。
オフィスアワーの時間は、掲示案内を参照してください。
メールアドレス：t-hirata@kiis.ac.jp

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎時のテーマ発表について「教育社会学 発表学習の記録』シートを記入し、学びの振り返りをします。
しっかり、記入するようにしてください。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
これからの教育社会学	相澤真一・伊佐夏実 内田良・徳永知子 著	有斐閣 （2,100円税別）	978-4-641-20003-6

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
よくわかる教育社会学	酒井朗・多賀太・ 中村高康編著	ミネルヴァ書房 （2,600円税別）	978-4-623-06293-5

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

テーマ発表の内容（40%）と期末レポート（60%）により総合的に評価する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	授業ガイダンス　教育社会学とは何か	
	事前学習（内容・時間）	シラバスを精読し、教育社会学で学ぶことを把握しておく。自らの学校経験を振り返り、学校や教育の意味を考える。[2h]
	事後学習（内容・時間）	自らの学校経験や被教育体験を重ね合わせて、テキストを概観し、興味ある箇所を読む。[2h]
第2回	学校と社会 ～教育は社会の中で行われている	
	事前学習（内容・時間）	テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
第3回	階層と教育 ～近代化とメリトクラシー	
	事前学習（内容・時間）	テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
第4回	マイノリティと教育 ～社会的排除と教育	
	事前学習（内容・時間）	テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
第5回	ジェンダーと教育 ～隠れたカリキュラムとジェンダー形成	
	事前学習（内容・時間）	テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
第6回	教師の社会学 ～教師の役割と変わる教員養成	
	事前学習（内容・時間）	テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
第7回	子どもの社会学 ～子ども観の変遷と情報化のなかの子ども	
	事前学習（内容・時間）	テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
第8回	ライフコース ～ライフヒストリーとライフストーリー	
	事前学習（内容・時間）	テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
第9回	教育問題の社会学 ～非行・逸脱・不登校・いじめ	
	事前学習（内容・時間）	テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
第10回	教育改革 ～市場化する教育	
	事前学習（内容・時間）	テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
第11回	学校教育 ～公教育制度のなかの学校	
	事前学習（内容・時間）	テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
第12回	労働市場へのトランジション ～キャリア教育と進路指導	
	事前学習（内容・時間）	テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
第13回	教育と経済 ～人的資本論とシグナリング論、教育投資論	
	事前学習（内容・時間）	テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
第14回	今、学校・教師に求められていること ～学校と社会のつながり	
	事前学習（内容・時間）	テキストの指定箇所をあらかじめよく読み、要点と疑問点を明確にしておくこと。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointを作成しておくこと。[2h]
	事後学習（内容・時間）	発表・授業で明らかになったことがらを確かめノートにまとめること。 テーマ発表の担当者は、発表PowerPointのリメイク作業を行うこと。[2h]
第15回	授業の振り返りとまとめ	
	事前学習（内容・時間）	これまでのテーマを振り返って、それぞれのエスプリを整理する。[2h]
	事後学習（内容・時間）	期末レポート作成に向けて、テーマを明確にしその作成に取り組む。[2h]
第16回（定期試験）	レポート課題の提出	

ナンバリング(Numbering)
2TTB-5060-22ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
教育心理学 (教職に関する科目)	共通	2年生・前期	2単位	教必	鈴木和也

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	「心理学」を履修(単位修得)もしくは同時履修していること。

授業概要 Course Outline

建学の精神である「優れた社会人たるにふさわしい温かい人間性」を基礎とし、学校教師(本学の場合、高校教諭)としての基本的条件(専門科目知識・技能は勿論)としての役割(自己管理、対人理解・共感力・支援力)に関する知識・態度を理解し、自らの課題として自覚できるための講義とグループワークから構成される。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力 Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

優れた社会人たるにふさわしい温かい人間性を培い、学校教師(本学の場合、高等学校教諭)としての基本的姿勢(教師役割への積極的態度、責任感)と専門性(教授・指導・支援の力量)の基礎となる心理学的知識への関心が高まることと、習得される(説明できる)こと。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業内容と関連させて、今日の学校教育をめぐる諸問題についてグループ・ディスカッションを導入する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室(553)にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。(オフィスアワー以外で研 究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください)

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
はじめて学ぶ教育心理学	吉川成司・関田一彦・他	ミネルヴァ書房	978-4-623-07448-8

参考文献 Reference Books

書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code

補助教材として、授業内容に関連したプリント資料を配付・活用します。

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

期末試験の成績と授業中の参加度(質問・発表、グループワーク等)を総合的に評価します。
両者の比重は、概ね6対4。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション:「教育心理学」を学ぶにあたって	
	事前学習 (内容・時間)	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
第2回	教育心理学の目的と意義	
	事前学習 (内容・時間)	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
第3回	教育心理学の方法:学校教師に求められる研究方法	
	事前学習 (内容・時間)	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
第4回	人間の発達(1)考え方・規程要因・過程	
	事前学習 (内容・時間)	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
第5回	人間の発達(2)発達の諸相	
	事前学習 (内容・時間)	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
第6回	学習(1)動機づけ	
	事前学習 (内容・時間)	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
第7回	学習(2)学習の評価	
	事前学習 (内容・時間)	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
第8回	学習(3)ICT教育とメディアリテラシー	
	事前学習 (内容・時間)	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)

第9回	まとめと確認①:グループワークによる自己点検	
	事前学習 (内容・時間)	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
第10回	学級集団とその指導(1)学級の心理学的構造	
	事前学習 (内容・時間)	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
第11回	学級集団とその指導(2)心理教育	
	事前学習 (内容・時間)	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
第12回	生徒理解と個別指導	
	事前学習 (内容・時間)	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
第13回	問題行動と教育相談	
	事前学習 (内容・時間)	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
第14回	特別支援教育:発達の個人差への教育的対応	
	事前学習 (内容・時間)	当日の授業内容に関係する教科書の該当箇所を読み、自分の体験等をメモしておく。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	授業内容等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
第15回	まとめと確認②:グループワークによる自己点検	
	事前学習 (内容・時間)	これまでの授業内容を総復習し、ノートにまとめる。(2h)
	事後学習 (内容・時間)	難しく感じた問題等をノートに分かりやすくまとめたり、整理すること。(2h)
第16回 (定期試験)	定期試験(筆記試験)	

ナンバリング（Numbering）
2TTN-5140-22ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
特別支援教育（教職に関する科目）	219～ 経営情報学科	2年生・後期	2単位	教必	鈴木　和也

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	日本国憲法、心理学、教育哲学、教師入門、教育社会学、教育心理学、教育課程論を履修（あるいは単位を取得）していること。

授業概要　Course Outline

この講義では、障害のある子どもの自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、教師として、子ども一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高めて生活や学習上の困難を改善・克服するための適切な指導と必要な支援を行うための基礎知識を学ぶ。建学の精神として、優れた専門性を磨くことは勿論ではあるが、温かい人間性や豊かな人間性を育むことも同時に目指す。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・特別支援教育の考え方・基本的概念を理解し説明できる。（知識・理解）
・学習や生活上の困難さの原因・背景への関心をもつ。（態度・志向性）
・特別な教育的支援が必要な生徒に対して具体的な支援のアイディアと方法を提供できる。（技能）

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

・対話型の授業を心がけるので、質問など積極的な取組みを期待します。
・授業内で実施する小テストを活用し、授業内容の理解を深めるとともに授業への積極的な参加を促します。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室（553）にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。（オフィスアワー以外で研究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください。）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

kiis学修ポートフォリオ・ルーブリックの活用を図り、学修状況の把握や学生自身による自己評価、教員の評価など、双方向でのやり取りを通して講義内容の理解度や定着状況の把握を行う。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
高等学校教員のための特別支援教育入門	大塚　玲　著	萌文書林	978-4-89347-362-2

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
特別支援教育の基礎・基本 2020	独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所	株式会社ジアース教育新社	978-4-86371-548-6

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

1.定期試験（80%）、2.小テスト（10%）、3.学修課題の提出（5%）、4.授業への取組み（5%）

授業計画 Course Schedule			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション～支援教育と特別支援教育		
	事前学習（内容・時間）	配布資料「特別支援教育とその現状」を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第2回	学校教育のシステムと個に応じた指導とは		
	事前学習（内容・時間）	配布資料「学校教育のシステムと個に応じた指導」を通読	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第3回	通常学級で困っている子ども(生徒)たち		
	事前学習（内容・時間）	教科書68頁～76頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第4回	特別に支援を必要とする子ども(生徒)①知的障害		
	事前学習（内容・時間）	教科書152頁～183を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第5回	特別に支援を必要とする子ども(生徒)②発達障害(自閉性障害)		
	事前学習（内容・時間）	教科書302頁～320頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第6回	特別に支援を必要とする子ども(生徒)③学習障害（LD）		
	事前学習（内容・時間）	教科書323頁～331頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第7回	特別に支援を必要とする子ども(生徒)④注意欠陥多動性障害(ADHD)		
	事前学習（内容・時間）	教科書333頁～339頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第8回	特別に支援を必要とする子ども(生徒)⑤その他(文化マイノリティ)		
	事前学習（内容・時間）	配布資料「文化マイノリティを通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第9回	特別支援教育の実際と課題①学級づくり～生徒指導、教育相談		
	事前学習（内容・時間）	教科書39頁～45頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第10回	特別支援教育の実際と課題②授業づくり～目標設定と方法・評価		
	事前学習（内容・時間）	教科書51頁～52頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第11回	特別支援教育の実際と課題③保護者・地域社会との連携～成長と理解		
	事前学習（内容・時間）	教科書64頁～66頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第12回	特別支援教育の実際と課題④専門機関との連携		
	事前学習（内容・時間）	教科書50頁～51頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第13回	特別支援教育の実際と課題⑤特別支援教育における情報機器の活用（アシスティブ・テクノロジーについて）		
	事前学習（内容・時間）	教科書61頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第14回	特別支援教育の実際と課題⑥特別支援教育における情報機器等の活用の実際（教材作成の道具としての活用、生徒の個別学習への活用について）		
	事前学習（内容・時間）	教科書119頁～122頁、176頁～178頁、257頁～261頁を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第15回	まとめ		
	事前学習（内容・時間）	配布資料「特別支援教育の課題と展望」を通読する	（2.0h）
	事後学習（内容・時間）	本時の内容の再確認と復習課題の解答	（2.0h）
第16回（定期試験）	定期試験の実施 （振り返りを行い、特別支援教育に対する見識を深める。）		

ナンバリング（Numbering）
2TTN-5130-32ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
総合的な探究の時間の指導法（教職に関する科目）	219～	3年生・後期	2単位	教必	相良　誠司

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	21世紀の高度情報化社会にあって、次世代の高等学校教育において「至心をもって事にあたる人間づくりをなす」という確固たる意思をもち、高等学校情報科教諭として修得すべき「総合的な探究の時間」の在り方について意欲的に学ぼうとする姿勢を有すること。

授業概要　Course Outline

＜内容＞
1　新学習指導要領の背景や理念、及び高等学校の教育課程全体について理解を深める。
2　「総合的な探究（学習）の時間」の意義・目標・特質について理解を深める。
3　先進的な「総合的な探究の時間」の実践例について調査発表し、協議する。
4　「総合的な探究の時間」の体制づくり・全体計画・年間計画・単元構想・評価について理解を深める。
5　母校を想定した、総合的な探究の時間の単元の構想を発表し、協議する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

【1.知識・理解】
・総合的な探究の時間の意義;・目標・特質について理解することができる。
【2.汎用的技能】
・カリキュラム・マネジメントの観点から、総合的な探究の時間の全体計画・単元計画等を立案し検討することができる。
【3. 態度・志向性】
・「総合的な探究の時間の指導法」の学びを調整しながら進め、振り返って成果と今後の課題を明らかにすることができる。
【4.統合的な学習経験と創造的思考力】
・先進的な総合的な探究の時間の実践例について探究し、自らの考えを構築することができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

適宜、ICTを活用したグループワーク、プレゼンテーションを取り入れる。
また、Goole classroomをはじめとするGoogle Workspaceアプリを活用する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせや質問には、主としてメールで対応する。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・第15回後に、「学びの振り返りレポート」及び「KIIS学修ポートフォリオ＆ルーブリック」を提出する。
・可能であれば、授業以外の時間に、実際の「総合的な探究の時間」の取組を視察する機会を設ける。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説　総合的な探究の時間編	文部科学省		

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(高等学校編)	文部科学省		

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

○授業課題への取組（42%）
○授業の振り返り（28%）
○自己探究課題への取組（14%）
○学びの振り返りレポート（16%）

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション　授業の目標・計画・方法等について　自己目標（なりたい自分）の設定	
	事前学習（内容・時間）	自分自身の体験した、「総合的な探究（学習）の時間」を想起し、メモする。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業への質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記載し、フォームで提出する。（2時間）
第2回	日本の学校教育の動向　　社会に開かれた教育課程	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第3回	教育課程の基準としての新学習指導要領（育成を目指す資質・能力の3本柱）	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第4回	総合的な探究の時間の意義・目標・特質	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分の疑問や考えを記入しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第5回	総合的な探究の時間を柱とした教育課程編成の実際　（カリキュラム・マネジメント）	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第6回	先進的な総合的な探究の時間の実践例①に学ぶ（金沢大学附属高等学校）	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第7回	先進的な総合的な探究の時間の実践例②③に学ぶ（山梨県立北杜高等学校・岡山県立真庭高等学校）	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第8回	先進的な総合的な探究の時間の実践例④⑤に学ぶ（広島県立安芸南高等学校・大分県立日田三隈高等学校）	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第9回	総合的な探究の時間の体制づくり	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分の疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第10回	総合的な探究の時間のデザイン　（全体計画・年間指導計画）	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第11回	総合的な探究の時間の単元の構想　指導とj評価	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第12回	総合的な探究の時間の構想①（プレゼンテーションと協議）	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第13回	総合的な探究の時間の構想②（プレゼンテーションと協議）	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第14回	総合的な探究の時間の構想③（プレゼンテーションと協議）	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、フォームで提出する。（2時間）
第15回	総合的な探究の時間の指導法のまとめ	
	事前学習（内容・時間）	学びの振り返りレポートを作成しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	「KIIS学修ポートフォリオ＆ルーブリック」をまとめて提出する。（2時間）
第16回（定期試験）	まとめ	

ナンバリング（Numbering）
2TTB-5030-22ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
教育課程論（特別活動を含む）（教職に関する科目）	共通	2年生・後期	2単位	教必	益田　潤子

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	なし

履修の前提条件 Course Prerequisites	原則として教師入門と教育心理学を履修していること。

授業概要　Course Outline

本授業の目標は、学校の教育課程とその内容を理解すると共に、とりわけ特別活動の基本的性格と意義を理解することです。そのため本授業では、まず、学習指導要領の位置づけと変遷を確認することを通して、社会の変化が学習指導要領に与える影響について検討します。その上で、現在の教育課程編成の課題として、教育内容の選択と配列に関わる問題について検討します。このような教育課程の基本的理解を踏まえ、特別活動の特質、指導上の要点、他教科との関連、家庭・地域・関係機関との連携の重要性等を理解します。そして、特別活動に携わる上での、実践的な指導力を身に付けることを目指します。これらの取り組みは、建学の精神である「至心」を基盤とする教育者としての心構えを養うものであり、受講者にはこうした心構えを体得して欲しいと思います。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・学校の教育課程とその内容を理解することができる。
・学習指導要領の位置づけと変遷を説明することができる。
・現代の教育課程編成の課題に気づくことができる。
・特別活動の教育課程上の位置づけを説明することができる。
・特別活動の目標や諸活動の特質を理解することができる。
・特別活動における個と集団の関係を踏まえた指導上の要点を説明することができる。
・ICT教育の知見を踏まえた教育課程の意義を理解することができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

各講義の終わりにミニレポートの作成・提出をお願いします。各回のテーマについて自由に記述してください。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

mail:jtaka0623@gmail.com
授業の前後で質問など受けつけています。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出（学習の確認 Learning Review and Evaluation）について

学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プリント配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
改訂版　教育課程編成論―学校は何を学ぶところか	安彦忠彦	放送大学教育振興会	4595126182
キーワードで拓く新しい特別活動―平成29年版・30年版学習指導要領対応	日本特別活動学会	東洋館	4491036799

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

成績評価の方法：定期試験60%・平常点40%（ミニレポートを含む）
成績評価の基準：教育課程や特別活動のあり方を深く考えることができるか否か

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション	
	事前学習（内容・時間）	教育課程に関する自らの興味や疑問点を整理し、説明することができるようにする（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第2回	教育課程の基本的理解：教育課程編成の基本原理と学習指導要領の位置づけ	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第3回	学習指導要領の変遷①：学習指導要領の成立	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第4回	学習指導要領の変遷②：教育内容の現代化	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第5回	学習指導要領の変遷③：ゆとりある教育活動	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第6回	学習指導要領の変遷④：グローバル化に伴う諸改訂	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第7回	現在の教育課程編成の課題①：教育内容の選択と配列に関わる問題	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第8回	現在の教育課程編成の課題②：カリキュラムマネジメントの意義と重要性	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第9回	現在の教育課程編成の課題③：カリキュラム評価の基本的理解	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第10回	特別活動の目標―「望ましい集団活動」から「互いのよさや可能性」へ	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第11回	特別活動を構成する諸活動の特質―学級活動・ホームルーム活動	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第12回	特別活動を構成する諸活動の特質―児童生徒会活動、クラブ活動、学校行事	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第13回	特別活動と他教科との関連および家庭・地域・関係機関との連携	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第14回	特別活動における計画および評価・改善活動	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第15回	特別活動における指導―「自己の生き方」をより良く考えさせる方法	
	事前学習（内容・時間）	授業のテーマについて事前に自分の考えを整理する（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業内容に関する疑問点・論点を整理する（2時間）
第16回（定期試験）	定期試験はレポート形式とします。 授業内で提示するレポート課題に各自で取り組んでいただきます。	

ナンバリング（Numbering）
2TTB-5090-32ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
教育方法学（ICT活用を含む）（教職に関する科目）	共通	3年生・前期	2単位	教必	益田　潤子 荒平　高章

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	①学校教育に関心があること。 ②ICTを用いた授業計画を作成し、これを用いた授業を展開すること。 ③意欲的にプレゼンテーションを行うと共に、ディスカッションに積極的に参加すること。 ※禁止事項：私語。正当な理由のない遅刻、許可のない入退。

授業概要　Course Outline

本授業では、ディプロマポリシーに基づき、教育方法に関する歴史・理論・実践の基礎的な知識・技能を学ぶ。その過程において、今日、特に求められるICTを用いた授業方法等を学ぶ。これらを受けて、各自がICTを用いた学習指導案を作成し、それをもとに、各自がプレゼンテーションを行う。その後、授業内容やICTの使用方法等が、適切であったかどうかについての意見交流を行う。そして、不十分であった点を改善し、次年度の教育実習に向けて備える。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	○
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

本科目の到達目標は、①教育方法の歴史・理論・実践を理解している。②適切にICTを教科指導に用いることができる。③授業を実践するにあたって、ICTを用いた学習指導案を作成することができる。④プレゼンテーションで不十分であった点を、話合って改善することができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

プレゼンテーション終了後に、ディスカッションを行う。
対話型の授業を行うので、意欲的な発言を期待する。
授業の終わりに、コメントカードの作成・提出を行う。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡問合せは、kimandkayl@yahoo.co.jp、または。jtaka0623@gmail.comにて随時受け付ける。
オフィスアワーは、授業日の授業の前後の時間になる。
また、クラスルームを開設するので、講義以外での連絡等はクラスルームで行う。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して授業の前までに益田までメールで提出。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code

特に指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
教育方法の理論と実践	小川哲生、菱山覚一郎	明星大学出版部	9784895491549
高等学校学習指導要領解説情報編	文部科学省	開隆堂出版	9784304021633

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

・成績評価の方法：定期試験30%、学習指導案と実技50%、平常点20%（ディスカッション、ポートフォリオ、模擬授業評価表、コメントカードの作成）
・成績評価の基準
①教育の理論や歴史を理解しているか。
②創意工夫を行い、分かりやすい学習指導案を作成しようとしているか。
③ディスカッションに、積極的に参加しようとしているか。
④ICTの使い方を理解し、授業で適切に使おうとしているか。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	導入の講義。授業の概要を説明する。また、学習指導案作成の教材決め等を行う。（担当：荒平、益田）	
	事前学習（内容・時間）	高校時代に用いていた教科書等から、事前に学習指導案を作成するための単元（教材）を決めておくこと。授業で質問する（2時間）。
	事後学習（内容・時間）	教材、授業目標等を、wordで100字程度にまとめ、メールで送ること。回答がないと本日の授業は欠席となるので注意するように（2時間）。
第2回	ICTと教育（担当：荒平）	
	事前学習（内容・時間）	自身がこれまでの受けてきた講義を振り返り、どのようなICT機器が使用されていたか，どのように講義で使用されていたかを考えておく.（2時間）
	事後学習（内容・時間）	今回の講義を通して，気づき・発見等についてワード等の電子ファイルにまとめる.（2時間）
第3回	ICT機器の教育への応用（Microsoft Office）（担当：荒平）	
	事前学習（内容・時間）	自身の講義にどのようなICT機器やICT技術が使えるのかについて考え、ノートにまとめておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	今回の講義を通して、気づき・発見等についてワードファイルにまとめる。（2時間）
第4回	ICT機器の教育への応用（プログラミング①）（担当：荒平）	
	事前学習（内容・時間）	自身がこれまでの受けてきたプログラミング系講義を振り返り、どのようなプログラミング言語を学んできたか、また情報科目で取り扱われているプログラミングの単元について調査しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	今回の講義を通して、気づき・発見等についてワードファイルにまとめる。（2時間）
第5回	ICT機器の教育への応用（プログラミング②）（担当：荒平）	
	事前学習（内容・時間）	第4回の講義を振り返り、情報科目で自身が教えることができる内容について考えておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	今回の講義を通して、気づき・発見等についてワードファイルにまとめる。（2時間）
第6回	ICT機器・技術を用いた模擬講義計画（担当：荒平）	
	事前学習（内容・時間）	第4回、5回の講義を振り返り、情報科目で自身が教えることができる内容について考えておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	今回の講義を通して、気づき・発見等についてワードファイルにまとめる。（2時間）
第7回	ICT機器・技術を用いた模擬講義実践（担当：荒平）	
	事前学習（内容・時間）	第6回の講義を振り返り、講義ができるように教材の準備をしておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	今回の講義を通して、気づき・発見等についてワードファイルにまとめる。他者の講義に対して評価票を作成する。（2時間）
第8回	ICT機器・技術を用いた模擬講義改善とフィードバック（担当：荒平）	
	事前学習（内容・時間）	他者の講義に対して評価票を作成する。自身の模擬講義の反省点をワードファイルにまとめる。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	第2回から第8回までの講義を通して、気づき・発見等についてワードファイルにまとめる。模擬講義に関するフィードバックを反映させたレポートを作成する。（2時間）
第9回	教育方法の史的変遷を知る。 日本の教育方法が、戦後どのような変遷をたどって発展したのかを解説する。（担当：益田）	
	事前学習（内容・時間）	体系的教授法、経験主義とは何かについて調べ、500字程度にまとめておくこと。授業で質問する（2時間）。
	事後学習（内容・時間）	講義内容をwordで100字以内にまとめ、メールで送ること。回答がないと本日の授業は欠席となるので注意するように（2時間）。
第10回	学習指導要領の変遷について学ぶ。 戦後からの学習指導要領の変遷を学んだ後に、効果的な教育方法、基礎的な学習評価方法、ICTの活用法を説明する。（担当：益田）	
	事前学習（内容・時間）	学習指導要領とは何かについて調べ、500字程度にまとめておくこと。授業で質問する（2時間）。
	事後学習（内容・時間）	講義内容をwordで100字以内にまとめ、メールで送ること。回答がないと本日の授業は欠席となるので注意するように（2時間）。
第11回	優れた特色ある教育実践に学ぶ。 優れた教育実践についていくつか紹介する。これらの実践を通して、効果的な教育方法について考える。（担当：益田）	
	事前学習（内容・時間）	無着成恭、東井義雄、斎藤喜博の教育実践について調べ、簡単にまとめてくること。授業で質問する（2時間）。
	事後学習（内容・時間）	講義内容をwordで100字以内にまとめ、メールで送ること。回答がないと本日の授業は欠席となるので注意するように（2時間）。
第12回	学習指導案を作成する① 授業の要素、授業の要件、教材研究、学習の形態について解説する。その後、学習指導案作成に入る。（担当：益田）	
	事前学習（内容・時間）	オリエンテーション時に選択した教材をもとに、教材研究を行っておく。授業で発表させる。
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題を作成し、メールで送ること。回答がないと本日の授業は欠席となるので注意するように（2時間）。
第13回	学習指導案を作成する② 効果的な発問方法・板書計画・机間指導方法・評価方法等の説明をする。その後、学習指導案を作成する。（担当：益田）	
	事前学習（内容・時間）	オリエンテーション時に選択した教材をもとに、発問計画、板書計画、机間指導をまとめておく。授業で発表させる（2時間）。
	事後学習（内容・時間）	授業中の課題を作成し、メールで送ること。回答がないと本日の授業は欠席となるので注意するように（2時間）。
第14回	プレゼンテーション① この授業では、2人にプレゼンテーションを行ってもらう。それぞれ、20分間のプレゼンを行った後に、10分間の質疑応答を行う。その後、改善した方が良い点等を話し合う。これを繰返す。（担当：益田）	
	事前学習（内容・時間）	学習指導案を作成させておくこと（2時間）。
	事後学習（内容・時間）	プレゼン者の発表に対する感想を、wordで100字以内にまとめメールで送ること。回答がないと本日の授業は欠席となるので注意するように（2時間）。
第15回	プレゼンテーション② この授業では、2人にプレゼンテーションを行ってもらう。それぞれ、20分間のプレゼンを行った後に、10分間の質疑応答を行う。その後、改善した方が良い点等を話し合う。これを繰返す。（担当：益田）	
	事前学習（内容・時間）	学習指導案を作成させておくこと（2時間）。
	事後学習（内容・時間）	プレゼン者の発表に対する感想を、wordで100字以内にまとめメールで送ること。回答がないと本日の授業は欠席となるので注意するように（2時間）。
第16回（定期試験）	教育方法の歴史、理論、ICT、優れた実践、教材研究等の学習したすべての事柄が試験の対象となる。	

ナンバリング（Numbering）
2TTA-5120-32ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
生徒指導（進路指導を含む）（教職に関する科目）	共通	3年生・前期	2単位	教必	相良　誠司

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	21世紀の高度情報化社会にあって、次世代の高等学校教育において「至心をもって事にあたる人間づくりをなす」という確固たる意思をもち、高等学校情報科教諭として修得すべき「生徒指導（進路指導を含む）」の在り方について意欲的に学ぼうとする姿勢を有すること。

授業概要　Course Outline

＜内容＞
1　新学習指導要領の背景や理念、及び高等学校の教育課程全体について理解を深める。
2　生徒指導及び進路指導（キャリア教育）の意義･目標・特質について理解を深める。
3 「高等学校キャリア教育の手引き」参考に、進路指導（キャリア教育）の定義、カリキュラムマネジメント、ホームルーム活動等について理解を深める。
4 「生徒指導提要（改訂版）」を参考に、生徒指導の定義、方法、指導体制、関係機関等のの連携等について理解を深める。
5　動画視聴・プレゼンテーション・グループワークを通じて、具体的な事例・事案について自らの考えを構築し、協議する。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

【1.知識・理解】
・生徒指導及び進路指導（キャリア教育）の意義;・目標･特質について理解することができる。
【2.汎用的技能】
・個別の課題を抱える児童生徒への対応（具体的な事例・事案）について探究し、自らの考えを構築することができる。
【3. 態度・志向性】
・「生徒指導（進路指導を含む）」の学びを調整しながら進め、振り返って成果と今後の課題を明らかにすることができる。
【4.統合的な学習経験と創造的思考力】
・生徒指導及び進路指導（キャリア教育）についての学習経験をもとに、学校現場での具体的な取組への展望をもつことができる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

適宜、ICTを活用し、動画視聴、グループワーク、プレゼンテーションを取り入れる。
また、Goole classroomをはじめとするGoogle Workspaceアプリを活用する。
これらを通じて、自らの考えを構築し協議し、探究するという「主体的・対話的で深い学び」を展開する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

問い合わせや質問には、主としてメールで対応する。

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

・第15回後に、「KIIS学修ポートフォリオ＆ルーブリック」及び「学びの振り返りレポート」を提出する。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説　特別活動編	文部科学省		

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
生徒指導提要（改訂版）及び 高等学校キャリア教育の手引き	文部科学省		

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

〇授業課題への取組（39%）
〇授業の振り返り（26%）
〇自己探究課題への取組（13%）
〇学びの振り返りレポート（22%）

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション　授業の目標・計画・方法等について　自己目標（なりたい自分）の設定	
	事前学習（内容・時間）	自分自身の体験した、「生徒指導」「進路指導（キャリア教育）」を想起し、メモする。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	授業への質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記載し、振り返りを提出する。（2時間）
第2回	進路指導（キャリア教育）の定義・意義・育成する能力	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第3回	進路指導（キャリア教育）のカリキュラム・マネジメント	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第4回	進路指導（キャリア教育）とホームルーム活動	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分の疑問や考えを記入しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第5回	生徒指導の定義、構造	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第6回	生徒指導の方法、基盤、取組上の留意点	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第7回	生徒指導と教育課程	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第8回	生徒指導体制、教育相談体制、チーム学校	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第9回	危機管理体制、関係機関等との連携、生徒指導に関する法制度	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分の疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第10回	いじめ・インターネットに関わる問題	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第11回	暴力行為・少年非行	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第12回	児童虐待・自殺	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第13回	不登校・中途退学	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第14回	性に関する課題　多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導	
	事前学習（内容・時間）	事前課題について、自分なりの疑問や考えを記入する。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	質問、学んだこと・気づき、調べたこと等を記入し、振り返りを提出する。（2時間）
第15回	「生徒指導（進路指導を含む）」のまとめと振り返り	
	事前学習（内容・時間）	「KIIS学修ポートフォリオ＆ルーブリック」を作成しておく。（2時間）
	事後学習（内容・時間）	学びの振り返りレポートをまとめて提出する。（2時間）
第16回（定期試験）	まとめ	

ナンバリング（Numbering）
2TTA-5070-32ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
教育相談 （教職に関する科目）	共通	2年生・後期	2単位	教必	米光　真由美

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	教師入門、教育心理学を履修していること(履修規定第5条3項に基づく)。

授業概要　Course Outline

教育相談は、一人一人の生徒の教育上の問題について、本人またはその親などに、その望ましい在り方を助言することである。その方法としては、1対1の相談活動に限定することなく、すべての教師が生徒に接するあらゆる機会をとらえ、あらゆる教育実践の中に生かし、教育相談的な配慮をすることが大切である。この授業では、教育相談を実践していく上で基本的に必要な以下の項目について具体的に取り上げ、考察する。①学校で生じる様々な現象についてその背景を考慮する。②生徒や保護者等から話を聴くことができる。③関係職員と連携して問題の解決に向けて見通しを持てる。④継続的な努力を重ねられる。また、学校現場での情報教育の現状を折に触れて講じていく。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

本学の建学の精神である『至心』を基本として
1）学校における教育相談の意義と理論を理解している。
2）教育相談を進める際に必要な基礎的知識（カウンセリングに関する基礎的事柄を含む）を理解している。
3）教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解している。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

授業中に一部ディスカッションの時間を設けます。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

連絡、問い合わせ、相談などはメールにて受け付けます。
yonemitsu.health@gmail.com

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

毎回の授業の終わりに「授業の振り返り」の提出をお願いします。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
プリント配布			

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
教室で生かす カウンセリング・マインド 教師の立場でできるカウンセリングとは	桑原知子	日本評論社	4-535-56146-x

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

定期試験(60%)　授業の振り返り(10%)　授業中のレポート(10%)　授業で学んだことを発表する(20%)

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	オリエンテーション　授業全体の概要説明及び学校教育相談の概要の解説	
	事前学習（内容・時間）	事前に本授業のシラバスを読む。疑問点を確認しておく。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第2回	学校教育相談の意義と課題	
	事前学習（内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第3回	教育相談の基礎理論	
	事前学習（内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第4回	教育相談の方法　1　生徒の不適応や問題行動の意味の把握	
	事前学習（内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第5回	教育相談の方法　2　カウンセリングマインドとは	
	事前学習（内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第6回	教育相談の方法　3　カウンセリングの姿勢と技法	
	事前学習（内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第7回	教育相談の展開　1　校務分掌と教育相談体制	
	事前学習（内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第8回	教育相談の展開　2　地域の専門機関との連携	
	事前学習（内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第9回	青年期の心身の発達の特徴	
	事前学習（内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第10回	不登校の背景と基本的対処法	
	事前学習（内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第11回	いじめの背景と基本的対処法	
	事前学習（内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第12回	少年非行の背景と基本的対処法	
	事前学習（内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第13回	神経発達症の背景と基本的対処法	
	事前学習（内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第14回	アサーショントレーニング	
	事前学習（内容・時間）	授業計画を踏まえ、関連ある事柄、語句を調べておくこと。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	配布資料を復習し、疑問点を調べる。(2時間)
第15回	まとめ・授業で学んだことを発表する	
	事前学習（内容・時間）	授業で学んだことをまとめ、発表原稿を作る。(2時間)
	事後学習（内容・時間）	他学生の発表を振り返り整理する。(2時間)
第16回（定期試験）	定期試験(筆記試験)	

ナンバリング（Numbering）
2TTA-5110-42ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.l	授業担当者 Instructor
教職実践演習（高）（教職に関する科目）	共通	4年生・後期	2単位	教必	鈴木和也

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	将来教職を目指す者に向けた授業であるので、教える＝学ぶという主客往還運動を自らの裡に作用させ主体的に取り組む姿勢と態度そして能力が求められる。

授業概要　Course Outline

教職に必要な実践的総合的な能力の育成をめざすため、①自らのこれまでの教職課程での学びを振り返り、相互に交流するなかで、②教職に就いたときに直面すると考えられる学級経営や授業実践上の諸問題に模擬的に取り組み、問題解決能力を育むとともに、③教員の資質能力とは何かを自らの問題として把握しようとする態度を養うことを目的とする。
そのため、これまでの「受動的」な姿勢での“学び”ではなく、常に具体的な－例えば、学生相互の討論やグループワーク、現場教師からの聞き取り、さらには模擬授業などの－取り組みを通して「能動的」に、つまり反省的実践的に、何ものかをしっかりと“学びとる”ことを目指した授業となる。
上記のことを実現するために、教育現場における情報化の状況をリサーチし、活用されている通信メディアや機器を積極的に活用するとともに、それらを活用できるスキル習得にも努める。
なお、本授業は学則第23条の2により開講されるものであり、カリキュラムポリシーのⅠおよびⅥを満たす科目ともなる。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

・教職に必要な実践的総合的な資質・能力とは何かを理解し、それを自ら培おうとする態度を身につける。
・教職に求められているメディアリテラシーについて理解をするとともに、情報通信機器を有効に活用できるスキルの習得を図る。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

教職に関する課題について、
・調べ学習・グループ討議・発表 が中心の演習を行う。
・卒業後教職に就いている先輩（現場の教員）からの聞き取りや交流を通して、教育の課題や理想について深く考える機会を設ける。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室（553）にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。（オフィスアワー以外で研 究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

４年間の教職課程で学んだことを確認し、卒業後のキャリア形成に繋げていきます。
学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

教科書 Textbooks

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
教職実践演習　ワークブック 教職編	石野正彦 ほか 著	発行：上越教育大学出版会 発売：株式会社 桐朋（1300円税別）	978-4-909561-02-2

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
教職実践演習 ワークブック	西岡加名恵・石川英真 川地亜弥子・北原琢也 編著	ミネルヴァ書房（2,000円税別）	978-4-623-06651-3

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

グループワーク・討論への取り組みと小レポート（40%）、および、期末レポート（60%）に基づき総合的に判断し、評価する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス：教職実践演習の目指すもの・進め方	
	事前学習（内容・時間）	これまで教職課程で学んできたことを振り返っておく。[2h]
	事後学習（内容・時間）	これまで教職課程で学んできたことを「振り返ってシート」にまとめる。[2h]
第2回	教育実習で学んだこと(1) （グループ討論を通して、実習での学びを総括する）	
	事前学習（内容・時間）	教育実習で学んできたことを振り返っておく。[2h]
	事後学習（内容・時間）	意見交換した内容を振り返りまとめる。[2h]
第3回	教育実習で学んだこと(2) （教育実習報告会の準備・予行演習）	
	事前学習（内容・時間）	PowerPoint原稿の素案を作成する。[2h]
	事後学習（内容・時間）	PowerPoint原稿を完成させる。[2h]
第4回	教育実習で学んだこと(3) （発表・教育実習報告会発表）	
	事前学習（内容・時間）	PowerPointでの発表の練習をする。[2h]
	事後学習（内容・時間）	報告会での協議を踏まえて、教育実習の学びをまとめる。[2h]
第5回	教師の教育実践とはなにか(1)：授業づくり・学級づくりの重要性（生徒理解と教材研究・集団づくり）	
	事前学習（内容・時間）	テキストや参考文献等を参照し、調査や討議のための資料準備を行う。[2h]
	事後学習（内容・時間）	授業の内容を振り返り、次回授業に準備すべき事項について確認する。[2h]
第6回	教師の教育実践とはなにか(2)：教師集団の相互理解と学校づくり	
	事前学習（内容・時間）	テキストや参考文献等を参照し、調査や討議のための資料準備を行う。[2h]
	事後学習（内容・時間）	授業の内容を振り返り、次回授業に準備すべき事項について確認する。[2h]
第7回	教師の教育実践とはなにか(3)：保護者・地域との連携と授業づくり・学級づくり・学校づくり	
	事前学習（内容・時間）	テキストや参考文献等を参照し、調査や討議のための資料準備を行う。[2h]
	事後学習（内容・時間）	授業の内容を振り返り、次回授業に準備すべき事項について確認する。[2h]
第8回	教師の教育実践とはなにか(4)：教師集団の相互理解と学校づくり　※現場教員（卒業生）との交流	
	事前学習（内容・時間）	テキストや参考文献等を参照し、調査や討議のための資料準備を行う。[2h]
	事後学習（内容・時間）	授業の内容を振り返り、次回授業に準備すべき事項について確認する。[2h]
第9回	教師は教育課題にどう向き合うべきか(1)：コロナショックは学校に何をもたらしたか	
	事前学習（内容・時間）	コロナ禍の学校について、ニュースや自らの体験を振り返っておく。[2h]
	事後学習（内容・時間）	授業での討議内容などを振り返り、問題をめぐる事実を整理する。[2h]
第10回	教師は教育課題にどう向き合うべきか(2)：ポスト･コロナ（ウィズ・コロナ）の学校の姿はどうあるべきか	
	事前学習（内容・時間）	コロナ禍後の学校・教育のあるべき姿について、自分なりにデザインしてみる。[2h]
	事後学習（内容・時間）	授業での討議内容などを振り返り、問題をめぐる将来像を描写してみる。[2h]
第11回	教師は教育課題にどう向き合うべきか(3)：「いじめ」問題(1)（事例・事件に学ぶ）	
	事前学習（内容・時間）	「いじめ」問題について、ニュースや自らの体験を振り返っておく。[2h]
	事後学習（内容・時間）	授業での討議内容などを振り返り、問題をめぐる事実を整理する。[2h]
第12回	教師は教育課題にどう向き合うべきか(4)：「いじめ」問題(2) （問題の所在について討議する）	
	事前学習（内容・時間）	「いじめ」問題について、ニュースや自らの体験を振り返っておく。[2h]
	事後学習（内容・時間）	「いじめ」問題について、その問題の在処を整理する。[2h]
第13回	教師は教育課題にどう向き合うべきか(5)：「いじめ」問題(3)（対応策について考え討議する）	
	事前学習（内容・時間）	「いじめ」問題の対応策や解決策について、自分なりに考え整理しておく。[2h]
	事後学習（内容・時間）	授業での討議内容などを振り返り、問題をめぐる対応策・解決策を描写してみる。[2h]
第14回	教師の教育実践とはなにか：教師・学校への社会の期待と教育実践の創造	
	事前学習（内容・時間）	これまでの授業内容で学んだことをもとに教師・学校の社会的役割について考えておく。[2h]
	事後学習（内容・時間）	授業での討議内容などを振り返り、教師･学校への社会的期待を具体的に描写してみる。[2h]
第15回	まとめ：いま、教員に求められる資質能力とは何か	
	事前学習（内容・時間）	これまで教職課程で学んだことをもとに、これからの教師・学校に求められていることを考えておく。[2h]
	事後学習（内容・時間）	これまでのすべての“学び”を振り返り、自らが社会的に果たすべき使命について具体的にデザインする。[2h]
第16回（定期試験）	期末レポートの提出	

ナンバリング（Numbering）
2TTA-5040-43ET

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選 Comp. / Opt.	授業担当者 Instructor
教育実習（事前事後指導）（教職に関する科目）	共通	4年生・前後期	3単位	教必	鈴木和也

オンライン授業 Online Class	なし	Googleクラスルームの利用 Using Google Classroom	あり

履修の前提条件 Course Prerequisites	教職科目と教科専門科目を規定単位数修得しておくこと。 また、情報科教育法をはじめその他の教職科目で学んだことを再度復習しておくこと。

授業概要　Course Outline

教育実習は、短期間ではあるが、「教師」として教壇に立つ極めて実際的で実践的な機会である。また、実際の生徒へ働きかけることは責任も生じてくる重大な場でもある。こうしたことをしっかりと自覚し、この「事前事後指導」の時間は、主体的かつ積極的、かつ真摯な態度で臨むことが要求される。
この事前事後指導では、教育実習に赴くに当たって必要となる事柄の理解を通して、教育実習生としての心構えや態度を養うとともに、模擬授業をつくる作業を通して、基本的な授業技術の習得と授業実習への構えを身につけることを目的とする。
“教師になる”との自覚のもと、いい加減な気持ちで取り組むことは厳に慎み、すべての活動に主体的に取り組むことが必要である。
また、事前指導においては、近年の学校のICT化の状況をしっかりと見据え、情報通信機器を有効に活用できるスキルも実践を通して身に付ける。事後には教育実習の成果と教訓を明確にし、後輩たちに効果的に報告する方途を考え実践すする。
なお、本授業は学則第23条の2により開講されるものであり、カリキュラムポリシーのⅠおよびⅥを満たす科目ともなる。

実務経験のある教員による科目 Subject Taught by The Faculty with Work Experience	実務経験内容 Work Experience Content	実務経験をいかした教育内容 Class Contents Utilizing Work Experience
該当しない		

授業を通して修得できる力　Competency Goals

知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解	Multiple Culture / Different Culture	○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	Human Culture / Society / Nature	○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル	Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル	Mathematics	
	情報リテラシー	Information Literacy	○
	論理的思考力	Logical Thinking / Creative Thinking	○
	問題解決力	Problem Solving	○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神	University Founding Philosophy	○
	自己管理力	Self-management	○
	チームワーク	Teamwork	○
	リーダーシップ	Leadership	○
	倫理観	Ethical Sense	○
	市民としての社会的責任	Social Responsibility	○
	生涯学習力	Lifelong Learning	○
統合的な学習経験と創造的思考力 Integrated Learning Experience and Creative Thinking Skills	統合的な学習経験	Integrated Learning Experience	
	創造的思考力	Creative Thinking Skills	

到達目標 Objectives

①教育実習に赴くにあたり、その意義・目的および留意点を把握し、実習の心構えを身につける。
②教育実習に当たって、同和教育の実践例などを通して人権教育の視点を理解する。
③模擬授業を通して、授業づくりの基本的な視点および技術を身につける。
③通信情報機器を活用した情報教育を視野に入れた授業づくりを行うとともに、そのためのスキル習得を図る。
④教育実習で学んだことを相互に交流することをとおして、教育実習を意義あるものとして定着させる。

能動的学習【アクティブラーニング】の内容 Active Learning

教育実習---これこそがアクティヴラーニングそのものである。
事前：「授業をつくる」という取り組み（教材研究・指導案づくり）を経て、模擬授業を実際に行う。
事後：教育実習で学んだことを発表する。

教員との連絡方法・オフィスアワー Office Hour

質問、相談等は研究室（553）にて受けつける。尚、オフィスアワーも積極的にご活用ください。（オフィスアワー以外で研 究室にお越しの際は事前にメールなどでアポイントメントをお取りください）

その他 Others,外部試験との関連 Exams of Other Organizations, ポートフォリオ・ルーブリックの作成と提出(学習の確認 Learning Review and Evaluation)について

教育実習を終え、必要単位を充足によって、教員免許（高・情報）の申請となる。
教育実習は、実習校にとっても受講生（実習生）にとっても意義あるものにするために、事前準備と事後総括の取り組みは極めて重要である。このことを自覚して、教育実習およびその事前事後に主体的に取り組んでほしい。学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
ベストをつくす教育実習	筒井美紀・遠藤野ゆり編	有斐閣	978-4-641-17432-0

参考文献 Reference Books

書名　Title	著者名　Author	出版社　Publisher	ISBNコード　ISBN Code
教育実習完全ガイド	山崎英則編著	ミネルヴァ書房	978-4-623-03913-5

成績評価方法 Grading Criteria / Method of Evaluation

教育実習校の評価（80%）、
〔事前指導〕模擬授業への取り組み（10%）
〔事後指導〕教育実習報告会の取り組み（10%）
に基づき、総合的に評価する。

授業計画 Course Schedule		
テーマ Theme		
第1回	ガイダンス～教育実習とは何か	
	事前学習（内容・時間）	これまでに履修した教職科目の授業内容について振り返っておく。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	自らの教員志望の動機を文章で記述する。[1.25h]
第2回	教育実習の意義と目的	
	事前学習（内容・時間）	実習に行くにに当たっての自らの抱負を文章で記述する。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	教員志望の動機と教育実習の抱負をまとめなおす。[1.25h]
第3回	高校にとっての教育実習と実習生	
	事前学習（内容・時間）	高校時代の被教育経験を振り返っておく。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	実習先高校の概要や教育理念等について調べ、プリントに書き込む。[1.25h]
第4回	人権教育の視点～ひとり一人を大切にした授業	
	事前学習（内容・時間）	これまでに学校等で経験した「人権に関する学習」の内容について振り返っておく。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	「ひとり一人を大切にした授業」について小論文（1000字程度）を作成する。[1.25h]
第5回	教育実習の準備と心得（1）	
	事前学習（内容・時間）	事前配布の授業プリントの指定された箇所を読んでおく。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	授業プリントの本時で扱った箇所を再読してミニ課題に答える。[1.25h]
第6回	教育実習の準備と心得（2）	
	事前学習（内容・時間）	事前配布の授業プリントの指定された箇所を読んでおく。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	授業プリントの本時で扱った箇所を再読してミニ課題に答える。[1.25h]
第7回	教材研究と授業構想（1）	
	事前学習（内容・時間）	高校情報の教科書を概観し、模擬授業で取り上げる単元の目星をつける。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	高校情報の教科書の該当単元を熟読する。[1.25h]
第8回	教材研究と授業構想（2）	
	事前学習（内容・時間）	該当単元の授業計画を作成する。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	該当単元の授業計画を再考しリメイクする。[1.25h]
第9回	授業をつくる（1）～模擬授業に向けて	
	事前学習（内容・時間）	高校情報の教科書の該当単元を熟読し、単元の目標を作成しておく。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	高校情報の教科書の該当単元を熟読し、単元目標の内容を再考しリメイクする。[1.25h]
第10回	授業をつくる（2）～学習指導（案）とは何か	
	事前学習（内容・時間）	該当単元のうち、模擬授業で行う「本時分」の授業のめあてを作成しておく。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	該当単元のうち、模擬授業で行う「本時分」の授業のめあてを再考しリメイクする。[1.25h]
第11回	授業をつくる（3）～学習指導案作成の仕方	
	事前学習（内容・時間）	該当単元のうち、模擬授業で行う「本時分」の授業の展開イメージを作る。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	模擬授業で必要な教材等の構想を練る。[1.25h]
第12回	授業をつくる（4）～学習指導案の作成・教材づくり ①	
	事前学習（内容・時間）	模擬授業の展開を「授業構想メモ」を用いて構想を練る。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	模擬授業の展開について再考し、構想をより具体化する。[1.25h]
第13回	授業をつくる（5）～学習指導案の作成・教材づくり ②	
	事前学習（内容・時間）	模擬授業の展開を「授業構想メモ」を用いてより具体的に再度練り直す。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	模擬授業の教材等を具体的にデザイン（設計）する。[1.25h]
第14回	授業をつくる（6）～模擬授業（予行練習）	
	事前学習（内容・時間）	模擬授業の「授業構想」を完成させ、必要な教材等を作成する準備をする。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	模擬授業の「授業構想」と必要な教材等を完成させる。[1.25h]
第15回	授業をつくる（7）～模擬授業①	
	事前学習（内容・時間）	模擬授業の準備をする。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	模擬授業の反省をし、成果と課題、教訓を明らかにする。[1.25h]
第16回	授業をつくる（8）～模擬授業②	
	事前学習（内容・時間）	模擬授業の準備をする。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	模擬授業の内容を振り返る。[1.25h]
第17回	授業をつくる（9）～模擬授業の総括	
	事前学習（内容・時間）	模擬授業の成果と課題、教訓を明らかにする。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	他の模擬授業から学んだことも含めて、模擬授業の総括レポートにまとめる。[1.25h]

第18回	教育実習簿の書き方（1）	
	事前学習（内容・時間）	配布された「教育実習簿」を内容を把握しておく。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	「教育実習簿」の指定箇所を清書する。[1.25h]
第19回	教育実習簿の書き方（2）	
	事前学習（内容・時間）	「教育実習簿」の「実習の心得」など指定された箇所を読んでおく。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	「実習の心得」など指定された箇所を再度熟読し、指定された箇所を清書する。[1.25h]
第20回	教育実習簿の書き方（3）	
	事前学習（内容・時間）	「教育実習簿」の「実習の心得」など指定された箇所を読んでおく。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	「実習の心得」など指定された箇所を再度熟読し、指定された箇所を清書する。[1.25h]
第21回	教育実習に向けて（心構え）	
	事前学習（内容・時間）	教育実習の向けての抱負を確認し、自己紹介の内容を準備をする。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	教育実習の向けての抱負を再確認し、自己紹介の予行練習を行う。[1.25h]
第22回	**教育実習（1）**	
	事前学習（内容・時間）	実習校の指示に従った事前学習を行う。[1.25h以上、実習校指導教諭の指導に従う]
	事後学習（内容・時間）	実習校の指示に従った事後学習を行う。[1.25h以上、実習校指導教諭の指導に従う]
第23回	**教育実習（2）**	
	事前学習（内容・時間）	実習校の指示に従った事前学習を行う。[2h以上、実習校指導教諭の指導に従う]
	事後学習（内容・時間）	実習校の指示に従った事後学習を行う。[2h以上、実習校指導教諭の指導に従う]
第24回	教育実習簿の提出	
	事前学習（内容・時間）	「教育実習簿」を整理し、内容や誤字脱字・表現上の誤記がないか点検する。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	教育実習の内容を振り返る。[1.25h]
第25回	教育実習を振り返る	
	事前学習（内容・時間）	教育実習のまとめの発表コンテンツの構想を練る。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	他の実習先の報告も考慮して、自ら教育実習のまとめを整理する。[1.25h]
第26回	教育実習の総括（1）	
	事前学習（内容・時間）	教育実習の報告発表のコンテンツ構想を具体化するための材料の準備をする。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	教育実習の報告会の発表コンテンツの構想をまとめる。[1.25h]

第27回	教育実習の総括（2）	
	事前学習（内容・時間）	発表原稿の下書きを作成する。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	発表原稿を完成させ、報告発表の準備をする。[1.25h]
第28回	教育実習で学んだこと（1） 報告発表	
	事前学習（内容・時間）	報告発表のリハーサルをする。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	報告発表の成果と課題、教訓を明らかにする。[1.25h]
第29回	教育実習で学んだこと（2）発表	
	事前学習（内容・時間）	報告発表のリハーサルをする。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	報告発表の成果と課題、教訓を明らかにする。[1.25h]
第30回	まとめ	
	事前学習（内容・時間）	教育実習で得たものをレポートにまとめる準備をする。[1.25h]
	事後学習（内容・時間）	レポートを完成させ、提出する。[1.25h]
第31回（定期試験）	教育実習簿（レポート）の提出	

□専任教員

職名	氏名	担当科目	研究室（内線）
学長 教授	麻生 隆史	計測・制御論，建学の精神と人生	1号館1階(103) 学長室 2号館3階(357)
副学長 教授	桑野 裕文	ｽﾎﾟｰﾂ理論，建学の精神と人生，ｳｪﾙﾈｽ理論，教師入門，基礎演習，専門演習Ⅰ・Ⅱ	1号館1階(102) 副学長室 2号館3階(359)
副学長	麻生 尚寛		1号館1階(108) 副学長室
学部長 研究科長 教授	小川 雄平	国際経済論，国際経営論	2号館1階(182)
経営情報学科長 准教授	秋吉 浩志	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論，経営情報学Ⅰ(経営情報論Ⅰ)，SNS活用と問題解決，建学の精神と人生， 消費者行動論，ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ論(Webｻｰﾋﾞｽ論)，eｽﾎﾟｰﾂ概論(特別実習・講義(情報)eｽﾎﾟｰﾂ概論)， ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ・Ⅱ，基礎ｾﾞﾐ，専門ｾﾞﾐⅠ・Ⅱ	2号館5階(555)
情報ﾈｯﾄﾜｰｸ学科長 教授	車 炳玘	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門，ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ技術，ｽｲｯﾁﾝｸﾞ技術，建学の精神と人生，WebﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅠ・Ⅱ・Ⅲ，ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ技術， 情報ﾈｯﾄﾜｰｸ入門，基礎ｾﾞﾐ・演習，専門演習Ⅰ，専門ｾﾞﾐⅡ	2号館6階(656)
教務部長 教授	坂上 宏	国際政治学，経営思想，教育哲学，建学の精神と人生，ｽﾀﾃﾞｨｽｷﾙ(ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ)， 政治学，ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅱ，特別実習・講義（実践力養成）倫理と人間，基礎演習，専門演習Ⅱ	2号館3階(363)
学生部長 教授	長友 陛富	簿記Ⅰ，簿記Ⅱ（簿記演習），建学の精神と人生，基礎演習，専門演習Ⅰ・Ⅱ	2号館5階(556)
附属図書館長 学術・教育研究所長 教授	丹羽 崇之	民事法，知的財産権(知的所有権)，法学，情報倫理，特別実習・講義(情報)医療情報，基礎演習，専門演習Ⅱ	2号館5階(552)
教授	遠藤 真紀	経営戦略論，中小企業論，ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ，ﾍﾞﾝﾁｬｰ企業論，経営学総論Ⅰ，ﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽ入門， 基礎ｾﾞﾐ，専門ｾﾞﾐⅠ・Ⅱ	2号館6階(655)
教授	春日 克則	税務会計論，監査論，原価計算論Ⅱ，会計学，基礎ｾﾞﾐ，専門ｾﾞﾐⅡ	2号館4階(455)
教授	片山 准一	企業金融，財務管理	2号館4階(454)
教授	クリス フリン	英会話BasicⅠ・Ⅱ，英会話AdvancedⅠ・Ⅱ，建学の精神と人生，英検上級Ⅰ・TOEIC応用Ⅰ(TOEICⅠ)， 英検上級Ⅱ・TOEIC応用Ⅱ(TOEICⅡ)，国際情報分析，基礎ｾﾞﾐ，専門ｾﾞﾐⅠ・Ⅱ	2号館3階(362)
教授	全 彰煥	日本語Ⅰ・Ⅱ，初級韓国語，中級韓国語，基礎演習，専門演習Ⅰ・Ⅱ	2号館4階(453)
教授	末永 英男	基礎演習	2号館1階(179)
教授	平山 誠一郎	税法学，基礎ｾﾞﾐ，専門ｾﾞﾐⅡ	2号館4階(456)
教授	山下 壽文	財務会計論，経営分析，原価計算論(原価計算論Ⅰ)，会計学入門	2号館4階(451)
教授	吉野 正	会社法，日本国憲法	2号館3階(358)
准教授	荒平 高章	ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ論，情報ｼｽﾃﾑの開発と管理，ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅰ，多変量解析，教育方法学(ICT活用を含む)， 情報科教育法Ⅰ(「情報」教科教育法Ⅰ)，情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅱ，情報数学Ⅰ，ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ・Ⅱ，基礎ｾﾞﾐ・演習， 専門ｾﾞﾐⅠ・Ⅱ	2号館6階(653)
准教授	岩下 昌美	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ会計，簿記Ⅰ，簿記Ⅱ(簿記演習)，中級簿記（中級簿記演習Ⅰ），ｽﾀﾃﾞｨｽｷﾙ(ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ)， 中級簿記演習Ⅱ，基礎演習，専門演習Ⅰ・Ⅱ	2号館2階(270)
准教授	合田 和正	情報科教育法Ⅰ・Ⅱ(「情報」教科教育法Ⅰ・Ⅱ)，ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ論，ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ初歩Ⅰ・Ⅱ，情報処理技術演習Ⅲ・Ⅳ， 初級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実習，初級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ，ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞｼｽﾃﾑ論，ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ構築，ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ実習， ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ・Ⅱ，基礎ｾﾞﾐ・演習，専門ｾﾞﾐⅠ	2号館2階(269)
准教授	鈴木 和也	経営史（日本経営史），労務管理論，教育心理学，心理学，組織心理学，ｺﾏｰｽ論(ｺﾏｰｽ論Ⅰ)，ｺﾏｰｽ論Ⅱ， ﾋﾞｼﾞﾈｽ実務，ｽﾀﾃﾞｨｽｷﾙ(ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ)，特別支援教育，教職実践演習(高)，教育実習(事前事後指導)， 特別実習・講義(情報)医療情報，ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ・Ⅱ，ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ・Ⅱ，基礎ｾﾞﾐ，専門ｾﾞﾐⅠ・Ⅱ	2号館5階(553)
准教授	竹石 洋介	ｳｪﾙﾈｽ(ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅰ)，ｽﾎﾟｰﾂ(ｽﾎﾟｰﾂ実技Ⅱ)，基礎演習，専門演習Ⅰ・Ⅱ	体育館2階(502)
准教授	藤内 響子	総合英語，ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語(ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅰ)，ﾋﾞｼﾞﾈｽ英語Ⅱ，英検中級・TOEIC基礎，専門演習Ⅰ	2号館2階(272)
講師	古川 幸子	日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	2号館4階(452)
講師	宮崎 武	情報ｾｷｭﾘﾃｨ，ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ論，ﾃﾞｰﾀ解析，情報数学Ⅱ，情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅰ，ｽﾀﾃﾞｨｽｷﾙ(ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ)， 情報処理技術演習Ⅲ・Ⅳ，eｽﾎﾟｰﾂ概論(特別実習・講義(情報)eｽﾎﾟｰﾂ概論)，中級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実習， 中級ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ，ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ・Ⅱ，基礎ｾﾞﾐ・演習，専門ｾﾞﾐⅠ・Ⅱ	2号館2階(274)
助教	ディンダ プラマンタ	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ，情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅰ，情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ，情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅰ，情報処理技術演習Ⅰ， ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ実践Ⅱ，人工知能，基礎ｾﾞﾐ・演習，専門ｾﾞﾐⅠ・Ⅱ	2号館5階(551)
助教	中島 直樹	基礎数学，情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅰ，情報学入門，統計学入門，ｽﾀﾃﾞｨｽｷﾙ(ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ)， eｽﾎﾟｰﾂ概論(特別実習・講義(情報)eｽﾎﾟｰﾂ概論)，特別実習・講義(情報)医療情報， 機械学習，統計学，ﾃﾞｰﾀﾓﾃﾞﾘﾝｸﾞ，統計ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ，ﾌﾟﾚｾﾞﾐⅠ・Ⅱ，基礎ｾﾞﾐ・演習，専門ｾﾞﾐⅠ	2号館2階(273)

※2018年度以前の入学生は教務課に問い合わせてください

□非常勤講師

職名	氏名	担当科目	研究室
九州情報大学 名誉教授	岸川 洋	ﾓﾊﾞｲﾙﾈｯﾄﾜｰｸ	２号館１階 講師控室
九州情報大学 名誉教授	平田 毅	ｽﾀﾃﾞｨｽｷﾙ(ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝと自己発見Ⅰ)，社会学，教育社会学	
九州産業大学 教授	朝廣 雄一	ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑとﾃﾞｰﾀ構造，計算機ｼｽﾃﾑ論	
	安達 義弘	宗教学	
	安部 正俊	日本事情，ﾗｰﾆﾝｸﾞﾘﾃﾗｼｰ	
法政大学大学院 教授	井上 善海	経営組織論，経営学総論Ⅱ，経営情報学Ⅱ（経営情報論Ⅱ）	
九州大学大学院 人文科学府	内田 水生	総合英語	
	大多 正人	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ・Ⅱ，ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅢ・Ⅳ(ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ入門Ⅰ・Ⅱ)， ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅤ・Ⅵ(ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ・Ⅱ)	
	喬 秦寧	初級中国語，中級中国語	
福岡女学院大学 教授	相良 誠司	生徒指導(進路指導を含む)，総合的な探究の時間の指導法	
国文学研究資料館 研究調査員	進藤 康子	ﾗｰﾆﾝｸﾞﾘﾃﾗｼｰ，文学，日本文化論	
九州大学大学院 芸術工学研究院教授	鶴野 玲治	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ論	
株式会社 X-HACK ソフトウェアエンジニア/ プロジェクトマネージャー	豊田 桃子	ｹﾞｰﾑﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	
東海大学 講師	中原 康征	経済学	
	平川 淳一	特別実習・講義(会計)ﾌｧｲﾅﾝｼｬﾙ・ﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ，情報ﾘﾃﾗｼｰ演習Ⅰ(情報ﾘﾃﾗｼｰ演習)， ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ実務演習Ⅰ・Ⅱ，簿記Ⅰ(初級簿記)，ﾋﾞｼﾞﾈｽｿﾌﾄ活用演習， 簿記Ⅱ(簿記演習)，情報処理技術演習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ，情報ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ演習Ⅱ	
株式会社 ブラテック Web事業部長 博士（工学）	平塚 智一	Webｼｽﾃﾑ(Webｺﾝﾃﾝﾂ制作Ⅱ)，Webﾃﾞｻﾞｲﾝ(Webｺﾝﾃﾝﾂ制作Ⅰ)	
九州大学大学院 経済学研究院教授	古川 哲也	ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ科学，ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄｹﾞｰﾑ	
	益田 潤子	教育方法学(ICT活用を含む)，教育課程論(特別活動を含む)	
	米光 真由美	教育相談	

※2018年度以前の入学生は教務課に問い合わせてください

大　学　院

2024(令和6)年度　学 年 暦　【大 学 院】

期	行　事	期　日	備　考
前期	入学式	4月　1日(月)	
	新入生オリエンテーション		履修登録
	授業開始	9日(火)	【補講日】 ①5/18(土),②6/22(土),③7/25(木)
	昭和の日	29日(月)	通常授業
	開学記念日	5月　27日(月)	通常授業
	休講日	7月　3日(水)	(学部)ｉパスkiisコンテスト
	月曜日の授業	23日(火)	※月曜日の時間割
	前期授業終了	29日(月)	
	試験等期間	30日(火) ～ 8月　7日(水)	8/6(火)、7(水) 予備日
	夏季休業	8月　8日(木) ～ 9月23日(月)	
	合同ゼミ研修	9月　4日(水)	予備日　9/11
後期	授業開始	9月　25日(水)	【補講日】 ①11/9(土),②12/14(土),③12/24(火)
	学園祭	11月　2日(土) ～　3日(日)	
	休講日	12月18日(水)	(学部)ｉパスkiisコンテスト
	冬季休業	25日(水) ～ 1月5日(日)	
	授業開始	1月　6日(月)	
	休講日	17日(金)	
	修士論文締切	20日(月)	1月20日固定（土日の場合直後の平日とする）
	月曜日の授業	23日(木)	※月曜日の時間割
	後期授業終了	27日(月)	
	試験等期間	28日(火) ～ 2月5日(水)	2/4(火)、5(水) 予備日
	修士論文発表会	2月　17日(月)	2月15日固定（土日の場合直後の平日とする）
	修士論文最終提出日	25日(火)	
	学位記授与式	3月　18日(火)	
	春季休業	25日(火) ～　31日(月)	

【前期】

	4月				5月					6月				7月					
月		15	22	29			13	20	27	3	10	17	24	1	8		22	29	
火	9	16	23	30		7	14	21	28	4	11	18	25	2	9	16	※23		
水	10	17	24		1	8	15	22	29	5	12	19	26		10	17	24		
木	11	18	25		2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	補		
金	12	19	26			10	17	24	31	7	14	21	28	5	12	19	26		
土							補					補							

授業コマ数
15
15
15
15
15

※前期 試験等期間＝7月30日(火)～ 8月7日(水)　(予備日を含む)

※7月23日(火)は、月曜日の授業を実施

【後期】

	9月		10月					11月					12月				1月				
月		30		7		21	28			11	18	25	2	9	16	23	6		20	27	
火			1	8	15	22	29		5	12	19	26	3	10	17	補	7	14	21		
水	25		2	9	16	23	30		6	13	20	27	4	11			8	15	22		
木	26		3	10	17	24	31		7	14	21	28	5	12	19		9	16	※23		
金	27		4	11	18	25		1	8	15	22	29	6	13	20		10		24		
土									補					補							

授業コマ数
15
15
15
15
15

※後期 試験等期間＝1月28日(火)～2月5日(水)　(予備日を含む)

※1月23日(木)は、月曜日の授業を実施

大　学　院

（博士前期課程）

２０２４(令和６)年度　博士前期課程　開設授業科目

	授業科目の名称			職　名	担当教員	授業を行う年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
授業科目の概要	経営情報学科目群	経営・マネジメント部門	経営学特論	教　授	片山准一	１・２		２	
			日本経営史特論	非常勤講師	加来祥男	１・２		２	
			経営組織特論	非常勤講師	黄　在南	１・２		２	
			経営管理特論	非常勤講師	井上善海	１・２		２	
			財務管理特論	教　授	片山准一	１・２		２	
			経営戦略特論	教　授	遠藤真紀	１・２		２	
			ﾍﾞﾝﾁｬｰ企業特論	教　授	遠藤真紀	１・２		２	
			中小企業特論	非常勤講師	井上善海	１・２		２	
			国際経営特論	教　授	小川雄平	１・２		２	
			ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ特論	教　授	小川雄平	１・２		２	
			経営科学特論	非常勤講師	福山博文	１・２		２	
		税法・会計部門	会計情報学特論	教　授	山下壽文	１・２		２	
			会計監査特論	非常勤講師	伊藤龍峰	１・２		２	
			税務会計特論	教　授	春日克則	１・２		２	
			税法学特論Ⅰ(租税法総論)	教　授	平山誠一郎	１・２		２	
			税法学特論Ⅱ(所得税法)	教　授	平山誠一郎	１・２		２	
			税法学特論Ⅲ(法人税法①)	教　授	末永英男	１・２		２	
			税法学特論Ⅳ(法人税法②・消費税法)	教　授	末永英男	１・２		２	
			税法学特論Ⅴ(相続税法・手続法・争訟法)	教　授	丹羽崇之	１・２		２	
			民法特論	教　授	丹羽崇之	１・２		２	
			会社法特論	教　授	吉野　正	１・２		２	
			民事・行政訴訟特論	教　授	吉野　正	１・２		２	
		情報・データサイエンス部門	情報科学特論	准教授	荒平高章	１・２		２	
			情報ﾒﾃﾞｨｱ特論	教　授	麻生隆史	１・２		２	
			情報ﾈｯﾄﾜｰｸ特論	教　授	車　炳玘	１・２		２	
			情報ｾｷｭﾘﾃｨ特論	講　師	宮崎　武	１・２		２	
			経営情報ｼｽﾃﾑ設計特論	非常勤講師	岸川　洋	１・２		２	
			ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ特論	講　師	宮崎　武	１・２		２	
			ﾃﾞｰﾀ解析特論	准教授	荒平高章	１・２		２	
			数値解析特論	教　授	車　炳玘	１・２		２	
			人工知能特論	助　教	ディンダ　プラマンタ	１・２		２	
		演習	演習Ⅰ　経営・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ部門	遠藤真紀 片山准一	小川雄平	１	４		
			税法・会計部門	春日克則 平山誠一郎 山下壽文	末永英男 福浦幾巳				
			情報・ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ部門	麻生隆史 荒平高章 ディンダ　プラマンタ	車　炳玘 宮崎　武				
			特別演習Ⅰ	演習Ⅰに同じ		１	４		
			演習Ⅱ	演習Ⅰに加えて　丹羽崇之		２	４		
			特別演習Ⅱ	演習Ⅱに同じ		２	４		

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
経営学特論	1・2年生	選択	2単位	片山准一

授業の到達目標及びテーマ

学則第３条を踏まえて、企業の経営行動とビジネス倫理を歴史的・論理的にとらえる。
企業行動を客観的に直視し、ビジネス倫理に関する基本的な考え方を習得することを到達目標とする。

授業の概要

企業は、ﾋﾄ､ﾓﾉ､ｶﾈ､情報等を駆使して熾烈な企業間競争を闘い抜いている。こうした競争に勝ち抜くために、企業は時として不正行為を行うことがある。近年では、例えば、某Ｔ芝社が長年にわたって不適切な会計処理を行ってきたり、某Ａ化成建材会社が短小のクイ打ちをしてクイの残る仕事をしたり、某Ｋ戸製鋼が製品強度データの改竄をしたり、某Ｎ産自動車が完成検査の不正を行ったり。こうした企業の不正行為は枚挙に暇ない。
本講義では企業のガバナンス問題や CSR（企業の社会的責任）等を視座にビジネス倫理を中心に論じていきたい。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性
☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画
第１回　　はじめに
第２回　　資本概念と資本の循環・回転について
第３回　　資本及び、資本家について
第４回　　生産過程（協業・分業）について①
第５回　　生産過程（機械制大工業）について②
第６回　　生産管理（テイラー・システム）について①
第７回　　生産管理（フォード・システム）について②
第８回　　企業形態の展開について
第９回　　株式会社について
第１０回　ｺｰﾎﾟﾚｰﾄ･ｶﾞﾊﾞﾅﾝｽについて①
第１１回　ｺｰﾎﾟﾚｰﾄ･ｶﾞﾊﾞﾅﾝｽについて②
第１２回　企業間競争と独（寡）占化について①
第１３回　企業間競争と独（寡）占化について②
第１４回　環境（公害）問題について
第１５回　経営学特論（ビジネス倫理）の総括

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

事前：最低限ネット検索で良いので、下調べをしておくこと。(120 分)
　　授業中、基本的な質問を行うので、回答できるように準備しておくこと。
事後：講義内容を、文献等で確認・復習すること。(120 分)

テキスト

使用しない。適宜、資料を配布する。

参考書・参考文献・参考資料等

馬場克三著『経営経済学』(税務経理協会)
講義の進捗度に沿って適宜、紹介する。

成績評価の方法・基準

口頭試験（50%）およびレポート(50%)により評価する。60%以上を合格とする。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
日 本 経 営 史 特 論	１・２年生	選択	2単位	加来　祥男

授業の到達目標及びテーマ
学則第３条を踏まえて、形成期から今日に至る日本企業の発展とその特質を明らかにすることを目標とする。しかし、それにとどまらず、より一般的に企業とその発展全体像を把握する枠組みを構想できるようにしたい。

授業の概要
形成期から今日までを見通しながら、日本企業の発展とその特質について考察する。とくに第２次世界大戦後の高度成長期に重点がおかれる。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性
☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画
第１回　講義のはじめに―構成と狙い
第２回　資本主義の発展と企業
第３回　企業システム把握の枠組み
第４回　日本における資本主義企業の形成
第５回　形成期日本企業の特質と類型（1）
第６回　形成期日本企業の特質と類型（2）
第７回　産業構造の高度化と巨大企業の生成
第８回　戦時経済
第９回　戦後改革
第１０回　高度成長の時代
第１１回　高度成長期の産業と企業（1）
第１２回　高度成長期の産業と企業（2）
第１３回　日本的生産システム
第１４回　日本的雇用システム
第１５回　法人資本主義

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）
授業では第 2 次世界大戦後の日本経済の高度成長を担った企業のシステムを理解することに重点がおかれるが、他の国や他の時代についても理解できるような視野の広さを養って欲しい。そのために、基本的なことがらを正確に把握することが必要である。毎時限で扱われる内容を事後的に反芻すること（2ｈ）、次回の授業で扱われる内容を予想し、実際との異同を確認してみること（2ｈ）が望ましい。

テキスト
さしあたり、宮本又郎他『日本経営史』、新版、有斐閣、2007 年、をあげておく。
（変更する可能性あり）

参考書・参考文献・参考資料等
香西泰『高度成長の時代』、日経ビジネス人文庫、2001 年
田村正紀『消費者の歴史』、千倉書房、2011 年

成績評価の方法・基準
研究報告による。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
経　営　組　織　特　論	1・2年生	選択	2単位	黄　在南

授業の到達目標及びテーマ
学則第３条を踏まえて、企業の競争優位をもたらす組織のインタンジブル（見えざる資産）をどう構築するかを考える。

授業の概要
　本授業では、組織でリーダーがインタンジブルをどのように構築すればいいかについて考える。なぜなら、昨今、企業の競争優位と組織のインタンジブルとの関連性が注目を浴びているからである。したがって、話はかなり実践的である。とはいえ、大学院の授業であることを考え、実践的な事例に対して、事例の紹介だけに終わらず、組織論の範疇（組織行動論、組織論など）の中で理論的な解釈を加える。
　各回では、インタンジブルの構造を構成する要素を提示し、それが今までどのように利用されてきたかという実例と、リーダーがインタンジブルを実現できるようにするためのツールを示す。すなわち、本授業では、インタンジブルを築き上げるためにリーダーにできること、またリーダーがすべきことを紹介することに注力する。なお、その過程の中で、学問的な研究の対象になりうる研究課題に対して、初期的な考察も行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性
☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画
第　１回　オリエンテーション：組織について学ぶこととは。
第　２回　形のないインタンジブル
第　３回　信用を築く
第　４回　成長のための戦略を立てる（１）
第　５回　成長のための戦略を立てる（２）
第　６回　コア・コンピテンシーを構築する（１）
第　７回　コア・コンピテンシーを構築する（２）
第　８回　人材を育成する（１）
第　９回　人材を育成する（２）
第１０回　シェアド・マインドを作り出す（１）
第１１回　シェアド・マインドを作り出す（２）
第１２回　学習力を高める（１）
第１３回　学習力を高める（２）
第１４回　リーダーシップ・ブランドを確立する（１）
第１５回　リーダーシップ・ブランドを確立する（２）

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）
（事前）配布する資料および授業に関係する内容については、教科書などで必ず確認しておくこと。
　　講義中に質疑・討論をおこなう。
（事後）授業でおこなったことを、必ず復習して積み上げる事。
　　各回、少なくとも、１～２時間程度の事前・事後学習が必要である。

テキスト
デイブ・ウルリッチ　ノーム・スモールウッド（著）淡川桂子（訳）伊藤邦雄（監訳）『インタンジブル経営――競争優位をもたらす「見えざる資産」構築法』株式会社ランダムハウス講談社、2004年。
ISBN:4-270-00017-1

参考書・参考文献・参考資料等
適宜、紹介する。

成績評価の方法・基準
レポートにより評価する

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
経営管理特論	1・2年生	選択	2単位	井上　善海

授業の到達目標及びテーマ
【到達目標】
　学則第３条を踏まえて、以下の２点を到達目標とする。
　①　経営管理論の史的変遷を説明できる。
　②　経営管理論の体系を説明できる。
【テーマ】
　経営管理論の構成要素

授業の概要
　本授業では，アメリカにおける科学的管理に端を発し，その後，大規模化，高度化，複雑化，国際化が加速している企業活動を統括する総合管理論へと発展してきた経営管理（マネジメント）論について講義する。特に,経営管理論を構成する主要素である経営戦略，経営組織を中心に，経営計画や意思決定と経営情報システムなどの諸要素について学ぶ。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性
☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画
第１回　　授業のねらいと進め方
第２回　　経営管理論を構成する諸要素
第３回　　経営戦略①（経営戦略の概念）
第４回　　経営戦略②（成長戦略）
第５回　　経営戦略③（競争戦略）
第６回　　経営戦略④（グローバル戦略）
第７回　　経営戦略⑤（イノベーション）
第８回　　経営計画とコントロール
第９回　　経営組織①（経営組織の概念）
第１０回　　経営組織②（組織原則と組織の基本形態）
第１１回　　経営組織③（組織の分権化と動態化）
第１２回　　経営組織④（プロジェクト組織とマトリックス組織）
第１３回　　経営組織⑤（ネットワーク組織）
第１４回　　意思決定
第１５回　　経営情報システム

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）
　準備学習ではシラバスをもとに参考図書等を用い事前学習をしておくこと。復習では目安となる水準を授業中に示す。本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準とする。

テキスト
　テキストは使用せず、毎回教員が作成した資料を事前に classroom にて配布する。

参考書・参考文献・参考資料等
　上野・馬場（2016）『経営管理論』中央経済社（2,400 円）
　その他、各回の授業テーマごとに適宜指示する。

成績評価の方法・基準
　本授業の２つの到達目標に対する達成度を評価基準に、課題レポートにより成績評価を行う。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
財務管理特論	1・2年生	選択	2単位	片山准一

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえて、企業の財務管理の諸問題を資本調達論の観点から歴史的・論理的に論ずる。
講義全体を通じて、唯物弁証法的論理思考の構築を到達目標とする。

授業の概要

財務管理の諸問題を資本調達論の観点から、商法（会社法）と関連付けて論じる。
財務管理を歴史的・論理的且つ、具体的な事例を通して分析・論証する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　はじめに
第２回　資本概念と資本の循環・回転について
第３回　資本・資本家概念について
第４回　企業形態の展開過程について
第５回　株式会社について
第６回　株価形成の理論について
第７回　株式会社の設立過程について
第８回　株式―株主権について
第９回　自己（内部）金融について
第１０回　優先株式について①
第１１回　優先株式について②
第１２回　無額面株式について
第１３回　自己株式について①
第１４回　自己株式について②
第１５回　財務管理特論の総括

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

事前：最低限ネット検索で良いので、下調べをしておくこと。(120分)
　　授業中、基本的な質問を行うので、回答できるように準備しておくこと。
事後：講義内容を、文献等で確認・復習しておくこと。(120分)

テキスト

使用しない。適宜、資料を配布する。

参考書・参考文献・参考資料等

馬場克三著『株式会社金融論』(森山書店)
講義の進捗度に沿って適宜、紹介する。

成績評価の方法・基準

口頭試験（50%）およびレポート（50%）により評価する。60%以上を合格とする。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
経営戦略特論	1・2年生	選択	2単位	遠藤　真紀

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえ、現代企業の経営における戦略の意義や必要性および主な経営戦略理論（分析型・プロセス型経営戦略，ドメイン、製品・市場戦略、経営資源、競争戦略等）について理解していること。具体的には、企業の経営戦略等が理解でき、自身の自律的・自発的な行動への判断基準が持てるようになること。また例えば、企業物とよばれる小説またはビジネス雑誌・書籍等の理解が促進されるようになること。

授業の概要

経営戦略に関するこれまでの理論を体系的に理解すると共に、その理論の背景や意義等について考察します。このため、経営戦略論の基本的テキストを基に、現代の戦略論がどのように形成されてきたのか、そのプロセスについても考察していきます。また現代企業の経営戦略が、情報システムやネットワークおよびwebビジネス等との関わりで進化していることから、この点についても検討していきます。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　経営戦略とは
第２回　経営戦略の基本　①ミッション
第３回　経営戦略の基本　②ドメイン
第４回　経営戦略の基本　③環境・資源分析
第５回　事例演習：ケーススタディ①
第６回　成長戦略　①成長ベクトル
第７回　成長戦略　②多角化
第８回　成長戦略　③ポートフォリオ・マネジメント
第９回　成長戦略　④成長戦略の展開
第１０回　事例演習：ケーススタディ②
第１１回　競争戦略　①業界の競争分析
第１２回　競争戦略　②競争の基本戦略
第１３回　競争戦略　③バリュー・チェーン
第１４回　競争戦略　④競争戦略の展開
第１５回　経営戦略の実行と評価

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

学部等において，経営学関連科目（経営管理論，マーケティング論，会計学等）を履修しておくことが望ましい。授業の前にはテキスト等を読み情報収集をして，担当した課題を発表するための準備をしておくこと。授業の後は，実際の事例などの関連情報をあたり，理解を深める努力を行うこと。(毎回4.0h)

テキスト

岸川善光『経営戦略要論』同文舘または井上善海ほか『経営戦略入門』中央経済社など

参考書・参考文献・参考資料等

岸川善光ほか『ケースブック経営管理要論』同文舘
井上善海・佐久間信夫『よくわかる経営戦略論』ミネルヴァ書房

成績評価の方法・基準

提出したレポートで評価する。なお60%以上を合格とする。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
ベンチャー企業特論	1・2年生	選択	2単位	遠藤　真紀

授業の到達目標及びテーマ

学則第３条を踏まえ、ベンチャー企業の社会的意義や必要性およびベンチャー・ビジネスの発展段階について理解していること。具体的には、ベンチャー企業の経営全般について理解でき、自身が起業家として，あるいはビジネス・パースンとして，自律的・自発的な行動・判断基準が持てるようになること。

授業の概要

ベンチャー企業に関するこれまでの理論を体系的に理解すると共に、その理論の背景や意義等について考察します。このため、ベンチャー・ビジネスの基本的テキストを基に、現代のベンチャー企業がどのように形成・発展してきたのか、そのプロセスについても考察していきます。またフィールドワークやケーススタディを通じて，起業家およびベンチャー企業の実態についても検討していきます。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。

☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。

☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。

☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　ベンチャー企業，ベンチャー・ビジネスの意義

第２回　ベンチャー企業，ベンチャー・ビジネスの生成と発展

第３回　ベンチャー・ビジネスの体系

第４回　事例演習：ケーススタディ①

第５回　ベンチャー・ビジネスの構想段階

第６回　ベンチャー・ビジネスの準備段階

第７回　ベンチャー・ビジネスの立ち上げ段階

第８回　ベンチャー・ビジネスの成長段階

第９回　ベンチャー・ビジネスの成熟段階

第１０回リスク・マネジメントとイノベーション

第１１回　ベンチャー・ビジネスの今日的課題

第１２回　事例演習：ケーススタディ②

第１３回　事例演習：ケーススタディ③

第１４回　事例演習：ケーススタディ④

第１５回　事例演習：ケーススタディ⑤

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

学部等において，経営学関連科目（経営管理論，マーケティング論，会計学等）を履修しておくことが望ましい。授業の前にはテキスト等を読み情報収集をして，担当した課題を発表するための準備をしておくこと。授業の後は，実際の事例などの関連情報をあたり，理解を深める努力を行うこと。(毎回 4.0h)

テキスト

岸川善光『ベンチャービジネス要論』同文舘

参考書・参考文献・参考資料等

岸川善光『経営戦略要論』同文舘および岸川善光『経営管理要論』同文舘

井上善海ほか『経営戦略入門』中央経済社

成績評価の方法・基準

提出したレポートで評価する。なお 60%以上を合格とする。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
中小企業特論	1・2年生	選択	2単位	井上　善海

授業の到達目標及びテーマ

【到達目標】

学則第３条を踏まえて、以下の３点を到達目標とする。

①　日本経済における中小企業の地位や役割について説明できる。

②　大企業とは異なった中小企業の経営特性について説明できる。

③　経営環境の変化に対応し、成長を続ける中小企業のマネジメントついて説明できる。

【テーマ】

地域経済やグローバル化に寄与する中小企業

授業の概要

本授業では、わが国産業の競争力を支えてきた中小企業の構造的問題について、課題別に考察することをねらいとする。そこで、まず日本の中小企業の歴史的な変遷および国際比較を行いながら、中小企業の存在意義について明らかにする。その後、大企業との格差問題および下請中小企業問題を中心としながら、中小企業が地域経済の担い手やグローバル化に寄与していることについて考察していく。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。

☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。

☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。

☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　授業のねらいと進め方

第２回　中小企業の経営特性：単に大企業を縮小したような存在ではなく、大企業とは異なった経営特性を持つ中小企業が、その経営特性を生かす道としてどのような事業分野があるのか。

第３回　中小企業の歴史：産業革命から現代まで、世界における中小企業がどのように変化してきたのか。

第４回　海外の中小企業：海外では、中小企業がどのような地位を占めどのような役割を担っているのか。

第５回　中小企業問題と中小企業政策：中小企業問題の本質とは何か、その解決のために講じられる中小企業政策の役割や体系。

第６回　経営環境の変容と戦略：企業を取り巻く経営環境が変容しているなかで、中小企業が長期的な戦略にもとづく経営に取り組む必要性。

第７回　資金難と財務：資金調達をはじめとした中小企業の財務マネジメントのあり方。

第８回　分業構造の変容と下請：下請企業の構造的問題を解決するマネジメント。

第９回　企業間関係の変容とネットワーク：経営資源に制約の多い中小企業の事業展開で抱える問題。

第１０回　産業構造の変容と地域産業：産業集積の戦略的な連携や他地域への進出、地域資源の有効活用。

第１１回　世界市場の変容とグローバル化：中小企業がグローバル化を行うことによって起きる問題。

第１２回　人材難と組織：経営環境の多様な変化に適応していくための組織や人のマネジメントのあり方。

第１３回　後継者難と事業承継：中小企業に特有の事業承継リスクへの対応方法について。

第１４回　研究開発力不足と製品開発：イノベーションによる中小企業の製品開発マネジメントの重要性。

第１５回　既存事業の衰退と事業開発：中小企業の事業開発上の経営課題と対応策。

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

準備学習ではシラバスをもとに参考図書等を用い事前学習をしておくこと。復習では目安となる水準を授業中に示す。本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準とする。

テキスト

テキストは使用せず、毎回教員が作成した資料を事前に classroom にて配布する。

参考書・参考文献・参考資料等

井上善海編著（2022)『中小企業経営入門』中央経済社（2,300 円）

井上善海編（2009)『中小企業の戦略』同友館　(2,800 円）

中小企業庁編『中小企業白書』(各年度版)

その他、授業テーマごとに適宜指示する。

成績評価の方法・基準

本授業の３つの到達目標に対する達成度を評価基準に、課題レポートにより成績評価を行う。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
国際経営特論	1・2年生	選択	2単位	小川　雄平

授業の到達目標及びテーマ

「学則」第3条を踏まえて、著しくグローバル化した世界経済の実態について理解を深め、変化する経済環境に対応した企業の国際経営戦略上の課題を明らかにすることを目標とする。なお、授業を通して修士論文の作成にも役立てることを目指す。

授業の概要

日本企業の海外進出の進展とそれに伴う企業内貿易の展開や部品調達網の構築等の現状について解説し、為替レートの変動や急増する FTA 等国際経済環境に対応した企業経営の在り方を検討する。新聞報道から具体的な事例を取り上げてケーススタディを行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。

☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。

☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。

☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　オリエンテーション

第２回　日本的経営、日本企業の対外進出と空洞化

第３回　企業経営の国際化Ⅰ：対米貿易摩擦･円高と輸出企業による生産基地の移転、

第４回　企業経営の国際化Ⅱ：製造業企業による国際部品供給網の構築と国際分業の深化

第５回　企業経営の国際化Ⅲ：NIEs の対米貿易摩擦･生産コストの上昇と生産基地の再移転、

第６回　企業経営の国際化Ⅳ：中間層の増大=消費市場としてのアジア、企業の現地化と M&A

第７回　企業経営の国際化Ⅴ：国際物流の進展とサプライチェーンマネジメント

第８回　小括と討論

第９回　貿易取引・決済の実際と外国為替の原理

第１０回　企業内貿易の実態Ⅰ：企業の多国籍化と企業内取引の実際

第１１回　企業内貿易の実態Ⅱ：タックス･ヘイブン(租税回避地)と移転価格税制

第１２回　小括と討論

第１３回　FTA と企業経営Ⅰ：日本の関税と FTA･EPA 戦略

第１４回　FTA と企業経営Ⅱ：メガ FTA(TPP11・EU 日・RCEP)と企業経営

第１５回　小括と討論

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

事前学習：テキストの該当箇所及びプリントに目を通して疑問点を明確にしておくこと。時間：２時間

事後学習：講義内容の復習と授業中に指示された課題に取組むこと。　時間：２時間

テキスト

小川雄平・猿渡剛編著『国際ビジネス論を学ぶ』中央経済社、2,500 円（ISBN978-4-502-35761-9）

吉原英樹著『国際経営』第４版、有斐閣、2,000 円（ISBN978-4-641-22064-5）

テキストの他にプリントも準備する。

参考書・参考文献・参考資料等

授業中に適宜指示する。

成績評価の方法・基準

成績は、試験（50%）と研究報告（50%）により評価する。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年・学期	必・選	単位数	担当教員名
ロジスティクス特論	1・2年生	選択	2単位	小川　雄平

授業の到達目標及びテーマ

「学則」第3条を踏まえて、企業の原料調達から生産・製品販売に至るまでの物流・管理の現状について理解を深め、その課題を明らかにすることを目標とする。なお、授業を通して修士論文の作成にも役立てることを目指す。

授業の概要

ロジスティクス（Logistics）とは、元来は軍隊の兵站を意味したが、企業の部品・原料調達から生産・製品販売までの物流過程とその管理を指すようになった。経済のグローバル化に伴い企業の部品調達網（サプライチェーン）は、アジアを巻き込んで重層化・複雑化している。本講義では、主に NIE s ・ASEAN・中国等の東アジア経済との関連で企業の物流過程を解明し、新聞報道の事例等も取り上げて詳細に解説する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。

☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。

☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。

☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　オリエンテーション

第２回　生産の国際化・国際分業の重層化と企業内貿易

第３回　貿易摩擦・円高と日本企業の生産・輸出基地の移転・再移転

第４回　NIE s ・ASEAN・中国の経済発展とサプライチェーンの構築

第５回　自動車産業に見る FTA 利用のサプライチェーン

第６回　小括と討論

第７回　輸送量の増大・効率化とコンテナリゼーション

第８回　コンテナ船の大型化と海運業の国際アライアンス

第９回　パナマ運河の拡張とパナマックス型コンテナ船・大型タンカー輸送

第１０回　東アジアの港間競争の激化と中国港湾の躍進

第１１回　日本企業のグローバル化と国際物流の変化

第１２回　地方港湾の国際化=釜山港のハブ化と５大港湾の地位低下

第１３回　小括と討論

第１４回　東アジアの地域経済協力と物流協力体

第１５回　シベリア鉄道・中欧班列・朝鮮半島南北間鉄道・日韓トンネル

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

事前学習：プリントとテキストの該当箇所に目を通して疑問点を明らかにしておくこと。　時間：２時間

事後学習：講義内容の復習と授業中に指示された課題に取組むこと。　時間：２時間

テキスト

柴崎隆一編『グローバル・ロジスティクス・ネットワーク』成山堂 2,800 円（ISBN978-4-425-93161-3）

テキストに加え、プリントも準備する。

参考書・参考資料等

苦瀬博仁編著『ロジスティクス概論』白桃書房、2,800 円（ISBN978-4-561-75200-4）

成績評価の方法・基準

成績は、試験（50%）と研究報告（50%）により評価する。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
経　営　科　学　特　論	１・２年生	選択	２単位	福山　博文

授業の到達目標及びテーマ
学則第３条をふまえて、データ包絡分析法（Data Envelopment Analysis、DEA）を学び、それを実践的に適用する能力の習得を目指します。

授業の概要
本講義では､企業等の組織体の生産効率性を分析･解析するデータ包絡分析法(Data Envelopment Analysis: DEA と略）について学びます。DEA は，複数生産物での総合評価や改善策の定量的な把握と提案ができるといった特徴があります。講義では、DEA の基本的な考え方について，簡単な計算事例を用いて概説した後で、様々な分析事例を紹介します。
私は、エルゼビアが出版している OMEGA：International Journal of Management Science（インパクトファクター：6.9）という経営科学の英文専門誌の担当編集委員（Associate Editor）を務めているので、この分野の最近の研究動向などについても、お話したいと思います。私の研究に興味のある方は、次の URL などを参考にしてください。https://scholar.google.com/citations?user=BUHhDAwAAAAJ&hl=en

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性
☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画
第１回　　オリエンテーション（授業の概要を説明します。）
第２回　　線形計画法モデル１（数学的準備をします。）
第３回　　線形計画法モデル２（数学的準備をします。）
第４回　　データ包絡分析法 DEA の基本１
第５回　　データ包絡分析法 DEA の基本２
第６回　　データ包絡分析法 DEA の基本３
第７回　　分析事例：電気事業１
第８回　　分析事例：電気事業２
第９回　　分析事例：保健医療政策１
第１０回　分析事例：保健医療政策２
第１１回　分析事例：都道府県の生産活動の効率性評価１
第１２回　分析事例：都道府県の生産活動の効率性評価２
第１３回　分析事例：金融１
第１４回　分析事例：金融２
第１５回　レポート提出課題について

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）
・Excel の基本的操作を習得していること（高度のレベルでなくてもよい）を前提に講義を進めます。
・報告担当者は、配布用レジュメを作成すること。
・次回の授業範囲を十分に予習し、講義に臨むこと。
・事前に配布された資料がある場合には、熟読して講義に臨むこと。(2.0ｈ)
・事後学習として受講ノートを作成すること。(2.0ｈ)
・数学は初歩的レベルから始めるので、高度な数学的知識は必要ではありませんが、受講者は数学が嫌いでないことが重要です。

テキスト
『経営効率性の測定の基礎～DEA 分析の事例で学ぶ生産性・効率性向上への挑戦』(編）刀根薫 ，（著）筒井美樹，丸山幸宏，濱口由子，福山博文，橋本敦夫，岩本大輝，大里怜、日本評論社、2022、ISBN978-4-535-55931-8。効率値の計測については、教育版のソフト DEA-Solver が利用可能です。

参考書・参考資料等
● 刀根薫『経営効率性の測定と改善―包絡分析法 DEA による』日科技連出版社、1993、ISBN978-4817150226
● Wade D. Cook and Joe Zhu（森田浩　訳）『データ包絡分析法 DEA』静岡学術出版 ISBN978-4-86474030-2

成績評価の方法・基準
方法：課題レポートで評価します。
基準：学んだ数理モデルを理解して、実証研究ができるようになる。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
会　計　情　報　学　特　論	１・２年生	選択	２単位	山下　壽文

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：学則第３条を踏まえて、会計情報作成・開示に関する理論的・制度論的知識の習得
テ ー マ：現代会計基準に関する主要論点の研究

授業の概要
現代経済社会を生きる私たちにとって、会計知識の習得は必須の要件となっている。この講義では、会計制度の変化と会計情報の新しい特徴を正確に理解し、企業の会計政策の決定と会計情報の分析とを行う能力を養うための専門知識を身に付けることを目的として、会計基準および概念フレームワークの主要な論点について体系的に説明し、討論する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性
☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画
第１回　　法人税法第 22 条第 4 号と会計基準
第２回　　シャウプ勧告の役割と『企業会計原則』の設定
第３回　　歴史的視点からみた簿記と会計の関係
第４回　　わが国の会計基準における国際会計基準の影響
第５回　　概念フレームワークと会計基準
第６回　　収益費用アプローチと資産負債アプローチ
第７回　　公正価値の測定～割引現在価値
第８回　　新収益認識基準と実現主義の原則
第９回　　リース（1）ファイナンス・リース取引とオペレーション・リース取引
第１０回　リース（2）セール・アンド・リースバック取引
第１１回　資産除去債務会計
第１２回　退職給付会計
第１３回　キャツシュ・フロー計算書（1）直接法と間接法による作成
第１４回　キャツシュ・フロー計算書（2）作成演習
第１５回　連結会計

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）
(留 意 点)　簿記・会計に関する基本的な知識を有していること。
(事前学習)　受講者全員が次回の学習領域について事前にテキストまたは配布資料を読み、疑問点や質問事項等を整理した上で講義に参加すること。(2 時間程度)
(事後学習)　講義中に理解したことをまとめ、疑問点や質問事項等が解決したかどうかを確認すること。その後、授業内容を再検討し、理解を深める必要がある。(2 時間程度)

テキスト
山下壽文『財務会計論～テキスト＆問題～』（冊子）

参考書・参考文献・参考資料など
中央経済社編『新版会計法規集』中央経済社

成績評価の方法・基準
定期試験（60％）、レポート(40％)を総合的に判断して評価します。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
会　計　監　査　特　論	1・2年生	選択	2単位	伊藤 龍峰

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：学則第3条を踏まえて、財務諸表監査の社会的役割の理解と理論的・制度的な専門知識の習得
テ ー マ：財務諸表監査における枠組みと主要論点の研究

授業の概要

私たちは社会生活を営むかぎり、各種の組織や団体等と無関係ではありえません。このような組織や団体等では、必ず誰かが会計報告を作成し、また誰かがその会計報告を監査しているのです。これまで一部の人達を除いて、監査に対しては比較的無関心であったと言えるでしょう。ただ、監査は身近なところにあり、直接・間接に私たちと深い関わりを持って存在しています。とりわけ、企業と利害関係を持つ場合、企業が公表する財務諸表は、私たちと企業とを結ぶ重要な連結環であり、そのため、財務諸表が信頼できるものであるという保証があってこそ、私たちは安心して財務諸表を利用することができることになります。監査は、このような財務諸表の信頼性の保証に大きな役割を果たします。

会計監査特論では、公認会計士や監査法人による財務諸表監査の意義と役割を意識しながら講義を展開していきます。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　　オリエンテーション
第２回　　監査の必要性と法定監査制度
第３回　　監査全体の流れ
第４回　　監査基準
第５回　　リスク・アプローチ監査
第６回　　内部統制
第７回　　監査計画
第８回　　監査の実施
第９回　　監査結果の報告
第１０回　監査の品質管理
第１１回　監査をめぐる国際的な動向
第１２回　内部統制監査
第１３回　公監査
第１４回　財務諸表監査の周辺業務
第１５回　まとめ

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

(留 意 点)簿記や会計学に関する学部レベルの知識を有していること。
(事前学習)毎回、次回の報告予定者を指名しますが、報告予定者ばかりではなく、受講者全員が次回の学習領域について事前にテキストを読み、疑問点や質問事項等を整理した上で授業に参加してください。(2時間程度)
(事後学習)講義中に理解したことを纏め、疑問点や質問事項等が解決したかどうかを確認してください。その後に、授業内容に関する深掘りを行い、自分のものにしてください。(2時間程度)

テキスト

『監査論入門 第5版』 長吉眞一、伊藤龍峰、北山久恵 井上善弘、岸牧人、異島須賀子 著　中央経済社

参考書・参考文献・参考資料等

適宜、資料配布を行うとともに、参考書についても具体的に指示します。

成績評価の方法・基準

定期試験の結果と課題研究レポートの内容を総合的に判断して評価します。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
税務会計特論	1・2年生	選択	2単位	春日 克則

授業の到達目標及びテーマ

学則第3条を踏まえ事例を研究することで、税務会計が課税所得計算の領域において、どのような特徴を有しているかを探るものである。税務会計は、企業会計、租税法、商法・会社法と密接に関連している。そこで、税務会計がこれらの学問領域に還元される単なる技法なのか、それとも独自の所得計算構造を有しているのか（有しているならその内容）について、事例（判例）研究を通じて、具体的に理解することを目標としている。

授業の概要

税務会計は、所得計算のための単なるパッチワーク的な技法であるのか、あるいは企業会計や租税法という隣接する諸領域とは異なる独自の理論体系を有するものなのかについて、第Ⅰ部（会計学との関わり）、第Ⅱ部（判例）、第Ⅲ部（非営利法人の収益事業課税の視点）の区分を通じて明らかにして行く。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　オリエンテーション（税務会計を３部に区分して考察すること）
　　第Ⅰ部：会計学との関わりから税務会計を考える
第２回　税務会計からみた企業会計原則と IFRS
第３回　会計主体論－資本概念－所得概念
第４回　財政学、法律学、会計学そして税務会計
　　第Ⅱ部：判例から見た税務会計
第５回　事例研究「大竹貿易事件」「リースの税務処理（福岡地裁）」「商品券の税務処理（名古屋地裁）」
第６回　事例研究「リースの税務処理（福岡地裁）」「商品券の税務処理（名古屋地裁）」
第７回　事例研究「オリックス銀行事件」
第８回　事例研究「ビックカメラ事件」
第９回　事例研究「TFK 事件」「クラヴィス事件」
第10回（税務）会計と法律との関係～マコンバー事件と実質課税の原則
　　第Ⅲ部：非営利法人の収益事業課税から税務会計を考える
第11回 事例研究「治験事件」「流山事件」「ペット葬祭事件」
第12回 非営利法人の収益事業課税の概要と問題点
第13回 対価概念の意義と問題点
第14回 現行の個別列挙方式に代わる新たな選択基準
第15回　まとめ

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

（留意点）学部レベルの財務会計（会計学）の知識を有すること。
（準備学習）
事前：毎回、事前に資料を配付するので当該資料を学習すること。必要であれば、参考書で補いながら疑問点を整理して授業に臨むこと。（各回2時間）
事後：ほとんどの事例が、最高裁まで争われた事件であるので、講義中はポイントのみを検討することになる。そこで、地裁、高裁を含む判決の全文を判読することにより、さらに理解が深まる。（各回2時間）

テキスト

事前にプリントを配布する。

参考書・参考文献・参考資料等

・中里実他編『租税判例百選[第6版]』有斐閣
・金子宏『租税法』弘文堂
・富岡幸雄『税務会計学原理』中央大学出版部
・中里実『金融取引と課税』有斐閣

成績評価の方法・基準

課題（レポート）50%と試験 50%の結果による評価で、60%以上を合格とする。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
税法学特論Ⅰ（租税法総論）	1・2年生	選択	2単位	平山　誠一郎

授業の到達目標及びテーマ
　学則第３条を踏まえて、租税法総論について学ぶ。説明、討議及びレポート作成等により、租税法の知識、考え方を身に付ける。

授業の概要
　授業の該当テーマについて、金子宏『租税法〔第24版〕』を精読し、法令、判例、学説等の理解を深める。
　各税法に共通する基本的かつ重要な事項であり、１回当たりのボリュームもかなりあるため、相当の準備が不可欠である。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性
☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画
　第１回　　租税の意義
　第２回　　租税法の意義と特質
　第３回　　わが国における租税制度の発達
　第４回　　租税法の法源と効力
　第５回　　租税法の基本原則(1)　　租税法律主義
　第６回　　租税法の基本原則(2)　　租税公平主義、自主財政主義
　第７回　　租税法の解釈と適用
　第８回　　課税要件総論(1)　　納税義務者
　第９回　　課税要件総論(2)　　課税物件、課税標準、税率
　第１０回　納税義務の成立・承継及び消滅
　第１１回　附帯税、納税者の債権
　第１２回　租税手続法序説、租税確定手続(1)　　確定の方式
　第１３回　租税確定手続(2)　　申告納税方式、更正の請求、更正・決定
　第１４回　租税確定手続(3)　　推計課税、賦課課税方式、確定権の除斥期間、質問検査権
　第１５回　まとめ

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）
　憲法、行政法、民法等の知識が必要である。
各回、少なくとも、２時間程度の事前学習、２時間程度の事後学習が必要である。

テキスト
金子宏『租税法〔第24版〕』(弘文堂)
『実務 税法六法』(新日本法規出版) 又は『税務六法』(ぎょうせい)
中里実他編『租税判例百選〔第７版〕』(有斐閣)

参考書・参考文献・参考資料等
税務大学校講本『税法入門』『国税通則法（基礎編）』
伊藤義一『税法の読み方　判例の見方〔改訂第３版〕』(ＴＫＣ出版)
佐伯仁志・大村敦志編『ポケット六法』(有斐閣)
法令用語研究会『法律用語辞典』(有斐閣)
中里実ほか『租税法概説』(有斐閣)

成績評価の方法・基準
　試験（50%）及びレポート（50%）により評価する。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
税法学特論Ⅱ（所得税法）	1・2年生	選択	2単位	平山　誠一郎

授業の到達目標及びテーマ
　学則第３条を踏まえて、所得税法の法令の条文を読解でき、具体的事例に適用できる能力を身に付ける。
　所得税法の体系的知識を習得する。

授業の概要
　授業の進め方は、研究生が司会班、説明・回答班、質問班の３班に分かれて討議を行う方式による。
　そのため、講義範囲のテキストを事前に熟読し理解しておくことが不可欠である。
　討議の内容や理解度に応じて、教授が解説・質問を行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性
☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画
　第１回　　総説（所得税の意義、所得の意義・概念、所得税の類型、課税単位）
　第２回　　所得税制度の基本的仕組（納税義務者、課税標準）
　第３回　　各種所得の意義と範囲（不動産所得、事業所得）
　第４回　　各種所得の意義と範囲（給与所得、退職所得）
　第５回　　各種所得の意義と範囲（山林所得、譲渡所得①）
　第６回　　各種所得の意義と範囲（譲渡所得②）
　第７回　　各種所得の意義と範囲（利子所得、配当所得、一時所得、雑所得）
　第８回　　所得計算の通則（収入金額）
　第９回　　所得計算の通則（必要経費①（総説～売上原価））
　第１０回　所得金額の通則（必要経費②（販管費～所得金額の計算の特例））
　第１１回　課税標準の計算（所得金額の総合、損益通算、損失の繰越控除）
　第１２回　所得控除、税額の計算
　第１３回　源泉徴収制度、非居住者及び法人の納税義務
　第１４回　申告、納付及び還付
　第１５回　まとめ

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）
　簿記・会計の知識が不可欠である。
　授業範囲の税法・テキストを読解しておくこと。
　各回、少なくとも、２時間程度の事前学習、２時間程度の事後学習が必要である。
　特に、授業等で十分理解できなかった点は、事後学習で理解を深めること。

テキスト
金子宏『租税法〔第24版〕』(弘文堂)
『実務 税法六法』(新日本法規出版) 又は『税務六法』(ぎょうせい)
佐藤英明『スタンダード所得税法〔第３版〕』(弘文堂)
中里実他編『租税判例百選〔第７版〕』(有斐閣)

参考書・参考文献・参考資料等
税務大学校講本『所得税法（基礎編）』
伊藤義一『税法の読み方　判例の見方〔改訂第３版〕』(ＴＫＣ出版)
佐伯仁志・大村敦志編『ポケット六法』(有斐閣)
注解所得税法研究会『注解 所得税法』(大蔵財務協会)
中里実ほか『租税法概説』(有斐閣)

成績評価の方法・基準
　試験（50%）及びレポート（50%）により評価する。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
税法学特論Ⅲ （法人税法①）	１・２ 年生	選択	２単位	末永英男

授業の到達目標及びテーマ
　学則第３条を踏まえて、法人税法の法令の条文を読解でき、具体的事例に適用できる能力を身に付ける。 法人税法の体系的知識を習得する。

授業の概要
　授業の進め方は、受講生が司会班、説明・回答班、質問班の３班に分かれて討議を行う方式による。そのため、講義範囲のテキストを事前に熟読し理解しておくことが不可欠である。 討議の内容や理解度に応じて、教員が質問・解説を行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性
☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画
　第１回　総説
　第２回　法人所得の意義と計算（総説）①益金
　第３回　法人所得の意義と計算（総説）②損金
　第４回　資本等取引
　第５回　企業会計と租税会計との関係①
　第６回　企業会計と租税会計との関係②
　第７回　益金の額の計算
　第８回　損金の額の計算①（売上原価～資産の評価損）
　第９回　損金の額の計算②（役員給与等）
　第１０回　損金の額の計算③（寄附金～準備金）
　第１１回　損金の額の計算④（交際費等～使途秘匿金）
　第１２回　損金の額の計算⑤（繰越欠損金～組合等の法人組合員の損失）
　第１３回　同族会社と所得課税
　第１４回　公益法人等関係税制
　第１５回　法人税額の計算および法人税の申告等

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）
簿記・会計の知識が不可欠である。
　税法の読み方の基本を、伊藤義一『税法の読み方判例の見方〔改訂第 3 版〕』（ＴＫＣ出版）」によりマスターしておくこと。
授業範囲の税法・テキストを読解しておくこと。
　各回、少なくとも、２時間程度の事前学習、２時間程度の事後学習が必要である。
　特に、授業等で十分理解できなかった点は、事後学習で理解を深めること。

テキスト
末永英男編『法人税法会計論〔第 9 版〕』（中央経済社）、末永英男『税務会計論の基本問題』（中央経済社）、金子宏『租税法〔第 24 版〕』（弘文堂）、渡辺徹也『スタンダード法人税法〔第 3 版〕』（弘文堂）、『法人税法（基礎編）〔令和 5 年度版〕』（税務大学校）、別冊ジュリスト『租税判例百選〔第 7 版〕』（有斐閣）、『租税判例六法〔第 6 版〕』（有斐閣）

参考書・参考文献・参考資料等
末永英男編著『税務会計と租税判例』（中央経済社）、『実務 税法六法（法令編・通達編）〔最新版〕』（新日本法規出版）、『ポケット六法』（有斐閣）、『租税法概説』（有斐閣）、『税法入門』（有斐閣）、山本守之『体系法人税法』（税務経理協会）、『税法用語辞典』（大蔵財務協会）、『ケースブック租税法』（弘文堂）

成績評価の方法・基準
　研究報告により評価する。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
税法学特論Ⅳ （法人税法②・消費税法）	１・２ 年生	選択	２単位	末永　英男

授業の到達目標及びテーマ
　学則第３条を踏まえて、法人税法および消費税法の法令の条文を読解でき、具体的事例に適用できる能力を身に付ける。 法人税法の体系的知識を習得する。

授業の概要
　授業の進め方は、受講生が司会班、説明・回答班、質問班の３班に分かれて討議を行う方式による。そのため、講義範囲のテキストを事前に熟読し理解しておくことが不可欠である。 討議の内容や理解度に応じて、教員が質問・解説を行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性
☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画
　第１回　グループ法人税制およびグループ通算制度（旧連結納税制度）
　第２回　法人組織税制（総説、法人の設立、合併、分割）
　第３回　法人組織税制（非適格合併等による資産等の受入処置、組織再編に係る行為・計算の否認等）
　第４回　法人課税信託、退職年金積立金に対する法人税、多様な事業体と投資媒体
　第５回　国際取引（総説）
　第６回　国際取引（二重課税の排除、非居住者及び外国法人に対する所得課税）
　第７回　国際取引（移転価格税制）
　第８回　国際取引（過少資本税制、過大支払利子税制）
　第９回　国際取引（タックス・ヘイブン対策税制）
　第１０回　国際取引（国際的企業再編成と租税回避）
　第１１回　消費税（総説）
　第１２回　消費税（課税の対象）
　第１３回　非課税と免税、納税義務者と納税義務の成立
　第１４回　課税標準と税率、税額控除
　第１５回　申告納付と納税地、国、地方公共団体等に係る特例等

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）
簿記・会計の知識が不可欠である。
　税法の読み方の基本を、伊藤義一『税法の読み方判例の見方〔改訂第 3 版〕』（ＴＫＣ出版）」によりマスターしておくこと。
授業範囲の税法・テキストを読解しておくこと。
　各回、少なくとも、２時間程度の事前学習、２時間程度の事後学習が必要である。
　特に、授業等で十分理解できなかった点は、事後学習で理解を深めること。

テキスト
金子宏『租税法〔第 24 版〕』（弘文堂）、渡辺徹也『スタンダード法人税法〔第 3 版〕』（弘文堂）、『法人税法（基礎編）〔令和 6 年度版〕』（税務大学校）、『消費税法（基礎編）〔令和 5 年度版〕』（税務大学校）、別冊ジュリスト『租税判例百選〔第 7 版〕』（有斐閣）、『租税法判例六法〔第 6 版〕』（有斐閣）

参考書・参考文献・参考資料等
山本守之『体系法人税法』（税務経理協会）、望月文夫『図解国際税務（令和 6 年版）』（大蔵財務協会）、熊王征秀『消費税法講義録（第 4 版）』（中央経済社）、『税法用語辞典』（大蔵財務協会）、『ケースブック租税法』（弘文堂）、『実務 税法六法（法令編・通達編）〔最新版〕』（新日本法規出版）、『ポケット六法』（有斐閣）、

成績評価の方法・基準
　研究報告により評価する。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
税法学特論Ⅴ (相続税法・手続法・争訟法)	１・２年生	選択	２単位	丹羽　崇之

授業の到達目標及びテーマ
　相続税法、租税徴収手続、租税争訟法、租税処罰法について学ぶ。学則第３条を踏まえて、報告、討論及びレポート作成等により、租税法の知識、考え方を身に付ける。

授業の概要
　各回の授業テーマについて、条文を読み込んだうえで、金子宏『租税法〔第 24 版〕』により、制度、判例・学説等の理解を深める。
　各テーマについてかなり速いスピードで授業が進められる。授業１回当たりのボリュームも多いため、相当の準備が不可欠である。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性
☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画
　第１回　相続税(1)　　総説、相続税の類型、納税義務者
　第２回　相続税(2)　　課税物件
　第３回　相続税(3)　　税負担の不当な減少の防止
　第４回　相続税(4)　　課税標準と税額
　第５回　贈与税
　第６回　財産の評価
　第７回　事業承継税制
　第８回　地価税・固定資産税
　第９回　租税徴収手続(1)　　納付と徴収①
　第１０回　租税徴収手続(2)　納付と徴収②
　第１１回　租税徴収手続(3)　滞納処分①
　第１２回　租税徴収手続(4)　滞納処分②
　第１３回　租税争訟法(1)　　租税不服申立
　第１４回　租税争訟法(2)　　租税訴訟
　第１５回　租税処罰法

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）
　憲法、行政法、民法、刑法、民事訴訟法等の知識が必要である。
　各回４～８時間程度の事前・事後学習を求める。

テキスト
　金子宏『租税法〔第 24 版〕』(弘文堂)
　『実務税法六法』(新日本法規出版) または『税務六法』(ぎょうせい)
　中里実他編『租税判例百選〔第７版〕』別冊ジュリスト（有斐閣）

参考書・参考文献・参考資料等
　中里実他編『租税法概説〔第４版〕』(有斐閣)
　税務大学校講本『相続税法（基礎編)』『国税通則法（基礎編)』『国税徴収法（基礎編)』
　伊藤義一『税法の読み方　判例の見方〔改訂第３版〕』(TKC 出版)
　佐伯仁志・大村敦志編『ポケット六法　令和６年版』(有斐閣)

成績評価の方法・基準
　提出レポートにより評価する。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
民法特論	１・２年生	選択	２単位	丹羽　崇之

授業の到達目標及びテーマ
　学則第３条を踏まえて、民法および関連する法令を熟読し、どのような状況をどのように規律しようとしているのか、なぜそのように規定されているのか、各条文の関係はどのようになっているのか等を考える。さらに重要判例を検討することにより、私法の解釈適用力を涵養する。

授業の概要
　上記の目標到達のため、テキストにもとづいて民法全体を学ぶ。重要判例に関しては、事実の概要、争点、判旨、判決の意義等について討論する。授業１回当たりのボリュームも多いため、相当の準備が不可欠である。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性
☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画
　第１回　民法序論
　第２回　総則（1）　人、法人
　第３回　総則（2）　法律行為、意思表示
　第４回　総則（3）　代理、無効と取り消し
　第５回　総則（4）　条件・期限・期間、時効
　第６回　債権（1）　総論
　第７回　債権（2）　契約総論
　第８回　債権（3）　契約各論
　第９回　債権（4）　事務管理、不当利得、不法行為
　第１０回　物権（1）　物権総論
　第１１回　物権（2）　占有権、所有権、用益物権
　第１２回　物権（3）　担保物権
　第１３回　親族
　第１４回　相続（1）　総則、相続人、相続の効力
　第１５回　相続（2）　相続の放棄・承認、遺言、遺留分

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）
　未習者を対象としているが、民法は範囲が広いため、学習量が多いことを覚悟しておいてほしい。
　各回４～８時間程度の事前・事後学習を求める。

テキスト
　潮見佳男『民法（全）〔第３版〕』(有斐閣)
　遠藤浩・川井健編『民法基本判例集〔第４版〕』(勁草書房)
　佐伯仁志・大村敦志編『ポケット六法　令和６年版』(有斐閣)

参考書・参考文献・参考資料等
　潮見・道垣内編『民法判例百選Ⅰ　総則・物権〔第９版〕』別冊ジュリスト（有斐閣）
　窪田・森田編『民法判例百選Ⅱ　債権〔第９版〕』別冊ジュリスト（有斐閣）
　水野・大村編『民法判例百選Ⅲ　親族・相続〔第３版〕』別冊ジュリスト（有斐閣）

成績評価の方法・基準
　提出レポートにより評価する。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
会社法特論	１・２年生	選択	２単位	吉野　正

授業の到達目標及びテーマ
　学則第３条を踏まえて、会社法及び関連法について、基本的知識を学ぶ

授業の概要
　基本教科書を事前に読んでもらい、適宜講義ノートを議論しながら学ぶ

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性
☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画
　第１回　株式会社の設立
　第２回　株式について
　第３回　株式会社の機関１、株主総会
　第４回　株式会社の機関２、取締役会設置会社と取締役会非設置会社
　第５回　株式会社の機関３、指名委員会等設置会社、監査等委員会設置会社
　第６回　株式会社の機関４、取締役、監査役、会計監査人、会計参与の義務と責任
　第７回　株式の譲渡
　第８回　会社の計算
　第９回　募集株式の発行等と資金調達
　第１０回　定款変更
　第１１回　会社の解散と清算
　第１２回　企業の結合と再編
　第１３回　組織再編の手続
　第１４回　事業譲渡
　第１５回　持分会社

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）
教科書を事前に読んでおく、事後は講義ノートと会社法該当条文をよく読む。

テキスト
　会社法　（株）有斐閣　伊藤靖史、大杉謙一、田中亘、松井秀征　著者

参考書・参考文献・参考資料等
　会社法判例百選

成績評価の方法・基準
　成績評価方法：定期試験９５％　レポートの提出5%。　成績評価の基準：①会社の特徴について理解をしているか。②株式会社、合名会社、合資会社、合同会社のそれぞれの性質の違いを理解しているか。③株式会社のうち取締役会を設置会社、指名委員会等設置会社、監査等員会設置会社を理解しているか。④取締役にどのような責任が課せられているか説明できること⑤会社の計算について十分理解していること⑥株式の譲渡及び金融商品取引について理解していること。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
民事・行政訴訟特論	１・２年生	選択	２単位	吉野　正

授業の到達目標及びテーマ
　学則第３条を踏まえて民事訴訟、行政訴訟の裁判手続全般について基本的知識を学ぶ。
　民事訴訟、行政訴訟の裁判手続の基本を理解する。

授業の概要
　民事訴訟、行政訴訟の裁判手続を学ぶため、基本教科書を事前に読んでもらい、また適宜、教材を議論をしながら学ぶ。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性
☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画
　第１回　　訴訟の当事者と訴の類型
　第２回　　訴訟の客体（訴訟物）１
　第３回　　訴訟の客体（訴訟物）２
　第４回　　請求の客観的併合
　第５回　　多数当事者訴訟１
　第６回　　多数当事者訴訟２
　第７回　　処分権主義と弁論主義
　第８回　　訴訟審理の原則
　第９回　　証拠
　第１０回　判決の効力１
　第１１回　判決の効力２
　第１２回　行政不服審査
　第１３回　行政訴訟１
　第１４回　行政訴訟２
　第１５回　上訴

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）
講義のテーマについて、事前に該当箇所を読んでおく、事後は講義ノートを復習する

テキスト

適宜、資料を配布します

参考書・参考文献・参考資料等
「民事訴訟法（法学ライブラリー）」小林　秀之著
「民事訴訟法」伊藤　眞著
「行政法」櫻井　敬子，橋本　博之著
「租税判例百選」
「民事訴訟判例百選」

成績評価の方法・基準
３分の２の出席日数を満たした者について、レポート（１００％）により評価

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
情　報　科　学　特　論	1・2年生	選択	2単位	荒平 高章

授業の到達目標及びテーマ

学則第３条を踏まえて、情報の収集、加工、蓄積、伝達という観点から情報科学システムを分析し、経営情報学の研究において必要となる基礎的な知識の習得を目的とする。

授業の概要

計算機の基本構成や動作原理、アルゴリズムとデータ表現、応用ソフトウェア、プログラミング言語、インターネットの仕組みおよび特徴、ウェブ検索、セキュリティ、プレゼンテーション資料の作成法などについて修得する。また、授業内容に関連するレポート作成やプレゼンテーションを実施する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　情報科学と計算機の基本構成、OS
第２回　ウェブサーフィン、情報検索
第３回　情報の表現とアルゴリズム
第４回　プログラミング言語、ファイルシステム
第５回　データベース
第６回　ウェブサーバ、HTML、PHP
第７回　インターネットの仕組み、特徴
第８回　情報セキュリティ（ファイアウォール、プロキシ）
第９回　情報セキュリティ（マルウェア、暗号技術）
第１０回　ウェブ検索
第１１回　LAN、WAN、プロトコル
第１２回　アプリケーションソフトの紹介Ⅰ（Word、Excel、Power Point、LaTex、TeraPad）
第１３回　アプリケーションソフトの紹介Ⅱ（Word、Excel、Power Point、LaTex、TeraPad）
第１４回　公開鍵暗号、デジタル証明
第１５回　プレゼンテーション、著作権、個人情報保護法

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

授業計画に従ってテキストの該当箇所を熟読しておくこと。
用語の整理や参考書等を利用して授業内容の理解を深めておくこと。
各回、少なくとも、１～２時間程度の事前・事後学習が必要である。

テキスト

書　名：コンピュータ概論（ソフトウェア・通信ネットワーク）
著　者：橋本洋志
発行所：オーム社

参考書・参考資料等

コンピュータネットワーク第５版、アンドリュー.Sタネンバウム、日経BP

成績評価の方法・基準

口頭試験：５０％、レポート：５０％

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年・学期	必・選	単位数	担当教員名
情 報 メ デ ィ ア 特 論	1・2年生	選択	2単位	麻生　隆史

授業の到達目標及びテーマ

学則第３条を踏まえて、現代の情報メディア、及びインターネット、ネットワークについて理解し、議論する。

授業の概要

情報メディア即ち、マルティメディアとは、複数の異なる媒介によって表現される、総合的な情報である。ディジタル技術などのコンピュータ技術の急速な発展によって、現在、マルティメディアの重要性は非常に高くなってきている。本講義ではまず、マルティメディアの種類及び、特徴を述べる。さらに、インターネット、及び現代のネットワークについて述べ、その将来性について議論する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　マルティメディア・システム
第２回　ハードウエア
第３回　ソフトウエア
第４回　メディアのディジタル化
第５回　音声メディア
第６回　画像メディア
第７回　映像メディア
第８回　インターネット
第９回　音声処理
第１０回　画像処理
第１１回　コンピュータ・グラフィックス
第１２回　コンテンツ・デザイン
第１３回　Ｅコマース
第１４回　セキュリティー
第１５回　知的財産権

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

情報リテラシーの技能を持っていることが望ましい。
毎回授業計画に示すテーマについて事前に調べ（2時間）、知見を得ておくこと。さらに授業後にその復習をすること（2時間）。

テキスト

書　名：マルティメディア入門
著　者：赤間世紀
発行所：工学社

参考書・参考資料等

香取淳子著『情報メディア論(メディアの系譜と開発原理)』北樹出版

成績評価の方法・基準

第15回授業終了後に指示する課題レポートにより評価する

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
情報ネットワーク特論	1・2年生	選択	2単位	車　炳玘

授業の到達目標及びテーマ

本特論では，学則第３条を踏まえて、情報サービスの基礎となる要素技術や適用事例について学ぶことを目的とする。中でもマッシュアップなどと称されるネットワークサービス統合化技術は極めて重要性が高く，本特論においても詳しく調査し，学ぶことを目指す。

授業の概要

本特論では受講生自らがインターネット環境における多種多様の情報サービスを自発的に調査し，議論を通じてその本質的な重要性を理解することを目指す。また，新しい情報サービスを発想できるよう思索を深めることを期待する。調査・学習の過程で生じた疑問点をさらに追究するなど，受講生の要望や状況などを反映させ臨機応変に対応する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。

☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。

☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。

☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　授業全体の概要説明

第２回　情報ネットワーク社会とは

第３回　情報ネットワーク社会における情報サービス

第４回　情報サービスの基盤技術（Internet・Web）

第５回　情報サービスの基盤技術（Ubiquitous）

第６回　情報サービスの基盤技術（Data Mining）

第７回　情報サービスの統合化技術（Multi Agent System）

第８回　情報サービスの統合化技術（Agent Communication Language）

第９回　情報サービスの統合化技術（Mashup）

第１０回　情報サービスの応用事例（Net Shopping）

第１１回　情報サービスの応用事例（SNS）

第１２回　情報サービスの応用事例（Mobile）

第１３回　図書館における情報サービス事例（図書館システム）

第１４回　図書館における情報サービス事例（次世代 OPAC）

第１５回　まとめ

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

（留意点）情報ネットワーク、情報サービスについて概略を記した参考書を読んで予備知識を得ておくことが望ましい。

（準備学習）

事前：前回の授業で指示したテキストの部分を読んで準備をしておくこと。疑問点があれば要点をまとめておく。（1～2 時間程度）

事後：講義内容の要点、議論した点および新たな疑問を数ページにまとめる。それを基に次の授業でフォローする。（2～3 時間程度）

テキスト

Web 教材（シスコネットワーキングアカデミー）

その他、必要に応じて資料を提示する。

参考書・参考文献・参考資料等

Web 文書など必要に応じて紹介する。

成績評価の方法・基準

レポート：５０％、試験：５０％

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年・学期	必・選	単位数	担当教員名
情報セキュリティ特論	1・2年生	選択	2単位	宮　﨑　　武

授業の到達目標及びテーマ

学則第３条を踏まえて、個人として知っておくべき情報セキュリティの基礎知識について事例を中心に学び、情報システムのセキュリティ確保に関する情報や技術の習得を目標とする。

授業の概要

IT インフラの整備およびインターネットの普及・発展により、個人情報や機密情報の漏えい、マルウェア感染など様々なセキュリティリスクに対して安全な情報セキュリティ対策を立てるのが重要な課題となっている。本授業では、事例を中心にセキュリティリスクの種類やその対策について修得した上で、セキュリティ技術について修得する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。

☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。

☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。

☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第　１回　オリエンテーション

第　２回　インターネットにおけるセキュリティの現状

第　３回　脆弱性と攻撃

第　４回　マルウェアの種類とその対策

第　５回　被害事例：フィッシング詐欺、ワンクリック請求

第　６回　スマートフォン、無線 LAN における脅威と対策

第　７回　組織におけるセキュリティ対策

第　８回　セキュリティ技術（アカウント、ID、パスワード、ファイアウォール、IDS）

第　９回　暗号技術（古典的な暗号と共通鍵暗号）

第１０回　暗号技術（公開鍵暗号）

第１１回　暗号技術（ディジタル署名）

第１２回　OS のアクセス制御とセキュリティ

第１３回　ユーザ認証技術とアクセスコントロール

第１４回　電子商取引

第１５回　まとめ

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

テキストのみでなく，各自 Web や文献などを調査し必要に応じてプログラムを作成する．

（準備学習）

事前：授業内容に該当するテキストの部分を読んで準備をしておくこと。必要に応じてプログラムを作成する．また疑問点があれば要点をまとめておく。（1～2 時間程度）

事後：講義内容の要点、議論した点および新たな疑問を数ページにまとめる。また各章毎に課す章末課題を解いて提出する．（2～3 時間程度）

テキスト

独立行政法人　情報処理推進機構（IPA）「情報セキュリティ読本　六訂版」実教出版，2022

参考書・参考資料等

結城 浩「暗号技術入門　第３版　秘密の国のアリス」SB クリエイティブ、2015

成績評価の方法・基準

口頭試験：６０％，レポート：４０％

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
経営情報システム設計特論	1・2年生	選択	2単位	岸川　洋

授業の到達目標及びテーマ
　学則第３条を踏まえて、経営情報システムにおけるシステム開発工程全般と特にその中でも設計工程における方法論・技法を理解し、利用できるようにする。さらに、プロジェクト管理の立場から設計工程で留意すべきことについて理解し、利用できるようにする。

授業の概要
　構築するシステムの特性に応じた設計法を適用することは重要である。まず、単純なシステム設計例により各種方法論・技法を理解する。さらに、プロジェクト管理の立場から設計工程で発生する失敗について理解する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性
☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画
　第１回　ガイダンス、システム開発工程全般と設計工程
　第２回　共通フレーム、各種設計技法
　第３回　帰納的アプローチと演繹的アプローチ
　第４回　プロセス中心アプローチ
　第５回　データ中心アプローチ
　第６回　オブジェクト指向アプローチ
　第７回　ウォータフォールモデル
　第８回　プロトタイプモデル
　第９回　スパイラルモデル
　第１０回　単純なシステムの設計例（マスタファイル、イベントファイル）
　第１１回　単純なシステムの設計例（DFD）
　第１２回　プロジェクト管理
　第１３回　PMBOK、WBS、ガントチャート
　第１４回　失敗例（設計者に起因、プロジェクトに起因、ステークホルダーに起因）
　第１５回　まとめ

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）
　事前学習：次回の授業内容について調べ、疑問点について整理する。(授業計画の欄を参照)
　　(1～2 時間程度)
　事後学習：毎回の課題であるキーワードについて、説明できるようにする。(1～2 時間程度)

テキスト
　布広 永示他,「システム設計論（改訂版)」,コロナ社,2017 年 9 月

参考書・参考文献・参考資料等
　木暮 仁,「利用部門のための情報システム設計論」,日科技連,2007 年 10 月
　PMI 日本支部,「PMBOK ガイド第 6 版」,プロジェクトマネジメント協会,2018 年 1 月

成績評価の方法・基準
　成績評価の方法：課題レポートにより評価する。

　成績評価の基準：システム開発工程全般に関する知識を持ち、設計工程において各種設計法を活用できる。

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
データベース特論	1・2年生	選択	2単位	宮　﨑　　武

授業の到達目標及びテーマ
　目標　：学則第３条を踏まえて、データサイエンスに用いるためのデータベースの基礎知識の習得
　テーマ：リレーショナルデータベースを用いたデータサイエンスでの利用を意識した分析と可視化

授業の概要
　データサイエンスの分野では欠かすことができないデータの取り扱いについて，データベースを構築して利用するための基礎的な知識を習得する。すなわち、データベースの目的や概念を理解し、データサイエンスで用いるデータからデータベースを構成し，分析，可視化を行う手法を学ぶ。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性
☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画
　第　１回　オリエンテーション
　第　２回　データサイエンスのためのデータベース
　第　３回　データベースの歴史
　第　４回　関係データベースの基本（１）　データの関係モデル（１）
　第　５回　関係データベースの基本（２）　データの関係モデル（２）
　第　６回　関係データベースの基本（３）　データの関係モデル（３）
　第　７回　関係データベースの基本（４）　整合性制約
　第　８回　関係データベースの基本（５）　関係代数
　第　９回　SQL と正規化（１）　ＳＱＬ
　第１０回　SQL と正規化（２）　正規化
　第１１回　データの可視化と分析（１）　データベースの可視化
　第１２回　データの可視化と分析（２）　ＯＬＡＰ
　第１３回　ＮｏＳＱＬ
　第１４回　実践的データ分析事例（１）　Wikipedia ダンプデータ分析
　第１５回　実践的データ分析事例（２）　それぞれの研究データの分析・可視化

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）
（留意点）各回担当を決め、担当の内容を解説してもらいます。
（準備学習）
事前：担当者：講義用パワーポイント資料を作成する。(3～4 時間程度)、担当者以外：予習（1 時間）
事後：講義担当者以外：　レポートを課しますので、翌週の授業時に提出してください。(1～2 時間程度)

テキスト
　吉岡真治，村井 哲也 著，水田 正弘 編「データサイエンスのためのデータベース（データサイエンス入門シリーズ)」講談社、2020 年

参考書・参考文献・参考資料等
　永田武 著「データベースの基礎（改訂版）- MariaDB / MySQL 対応 -」コロナ社、2021 年

成績評価の方法・基準
　１．口頭試験（60%）　　２．課題レポート（40%）

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
データ解析特論	1・2年生	選択	2単位	荒平　高章

授業の到達目標及びテーマ

データ解析は、社会調査や企業や人間の様々な活動によって生じたデータから有用な知見やルールを見つけだし、予測や判断に利用しようとするものです。本講義では、学則第３条を踏まえて、代表的なデータ解析手法の修得、問題解決に必要なモデル化、有用かつ多様なデータ取得などを通して、データ活用の素養を身につけることを目標とします。「実践的なデータ解析」がテーマです。

授業の概要

基本統計量や視覚化によるデータの現状や関連性の把握、問題解決のための統計的手法を用いたデータの統合や縮約、構造分析を中心に行います。さらに、１次データ（アンケートデータ）や２次データ（公開データ）の取得や活用などを通した演習も行います。演習にはフリー統計ソフトである R を利用します。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　データ解析とは
第２回　データの現状把握と基本統計量
第３回　データの視覚化
第４回　データの関連性と予測　（相関と回帰分析）
第５回　データの種類と分析手法　（多変量解析）
第６回　データの統合１　（主成分分析）
第７回　データの統合２　（主成分分析によるデータ解析）
第８回　データの縮約１　（因子分析）
第９回　データの縮約２　（因子分析によるデータ解析）
第１０回　データの構造分析　（共分散構造分析）
第１１回　データマイニングとテキストマイニング
第１２回　データの取得１　（独自データの取得と精査）
第１３回　データの取得２　（公開データの入手と利用方法）
第１４回　データの分析と解釈１
第１５回　データの分析と解釈２

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）
（留意点）入門程度の統計知識があると望ましい。
（準備学習）
事前：授業計画に沿ってテキストを通読し、必要ならば参考書で補完しておくこと。また、疑問点などを整理して、講義中に確認すること。(1～2 時間程度)
事後：テキストの例題を参考にデータ解析の手法と R の利用法を修得すること。また、実際にポータルサイトなどからデータを取得し、R を用いてデータ分析を行ってみること（2～3 時間程度）

テキスト
書　名：R によるデータサイエンス　第 2 版
著　者：金　明哲
発行所：森北出版

参考書・参考文献・参考資料等
・中川　慶一郎他「データサイエンティストの基礎知識　挑戦する IT エンジニアのために」リックテレコム
・本多正久・島田一明『経営のための多変量解析法』産能大学出版部
・青木繁伸『R による統計解析』オーム社
・佐藤博樹 他『社会調査の公開データ　２次分析への招待』東京大学出版会

成績評価の方法・基準
試験 50%とレポート 50%の結果による総合評価で、60%以上を合格とする

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
数値解析特論	1・2年生	選択	2単位	車　炳玘

授業の到達目標及びテーマ

学則第３条を踏まえて、Python の使い方や情報システムにおける各種数値計算手法の習得を目標とする。

授業の概要

データの収集、加工、解析などについて、まず Python の基本操作、データの入出力、データの図示などについて実習を通して習得する。また、情報システムの数値解析分野において使われる数値計算や誤差解析などの基礎知識を習得する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　Python の基礎、データの入出力・編集
第２回　変数とベクトル
第３回　ベクトル応用
第４回　関数の作成
第５回　論理型ベクトル
第６回　行列と繰り返し
第７回　データの視覚化
第８回　整列アルゴリズム
第９回　待ち行列と２分探索
第１０回　データの演算と固有値
第１１回　データ解析手法
第１２回　主成分分析
第１３回　因子分析
第１４回　クラスター分析
第１５回　線形判別分析

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）
（留意点）ある程度数式が読めること、初等統計学を理解していることが望ましい
（準備学習）
事前：授業内容に沿ってテキストの数式を書き写しながら通読し、疑問点などを整理して、講義中に質問すること。(2 時間程度)
事後：自身で数式を作成したり、そのグラフや相線を描いたりして理解を深めること。(2 時間程度)

テキスト
チームカルポ著「Python 統計分析＆機械学習マスタリングハンドブック」秀和システム、２０２３年

参考書・参考文献・参考資料等
幸谷智紀「Python 数値計算プログラミング」講談社、２０２１年

成績評価の方法・基準
試験（70%）とレポート（30%）により評価する

シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
人工知能特論	1・2年生	選択	2単位	ディンダ　プラマンタ

授業の到達目標及びテーマ

現在、人工知能技術は私たちの生活のあらゆる領域で使用されている。学則第３条を踏まえ、本授業では深層学習の畳み込みニューラルネットワークと深層強化学習を中心に取り上げる。さらに、アルゴリズム表現や数式を用いて具体的な処理過程を説明し、Python を利用した AI プログラミングの応用例に触れ、これらの技術が実生活にどのように密着しているかを垣間見ることを目指する。

授業の概要

本授業では、深層学習の畳み込みニューラルネットワーク（CNN）や深層強化学習について講義および討論を行う。それ以外は、プリントを配布し関連する論文レビューも行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。

☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。

☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。

☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　人工知能の歴史、研究分野

第２回　パーセプトロン

第３回　論理回路の問題

第４回　活性化関数

第５回　畳み込みニューラルネットワーク：単純なネットワークモデル

第６回　畳み込みニューラルネットワーク：畳み込み層

第７回　畳み込みニューラルネットワーク：プーリング層

第８回　畳み込みニューラルネットワーク：Alex と VGG ネットワークモデル

第９回　論文レビュー

第 10 回　深層強化学習

第 11 回　深層強化学習の DeepQLearning(DQN)

第 12 回　DQN：基礎的な理論

第 13 回　DQN：エージェントの定義

第 14 回　DQN：OpenAI Gym の環境

第 15 回　「人工知能はどこに向かうのか」(Society 5.0)

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

事前学習に関しては、各授業回の見出しはテキストの各章に対応しているので、テキストの該当箇所を通読しておくこと。(各回ごとに 2.0h)

事後学習に関しては、授業で学んだことを整理し、各自の研究生活へ役立てていくこと。(各回ごとに 2.0h)

テキスト

J. Krohn（著），鈴木 賢治（監修），清水 美樹（翻訳）「Python,TensorFlow で実践する深層学習入門: しくみの理解と応用」東京化学同人、2022 年

参考書・参考文献・参考資料等

小林一郎著「人工知能の基礎」サイエンス社、2008 年

小高 知宏「基礎から学ぶ人工知能の教科書」オーム社、2019 年

成績評価の方法・基準

テスト（70%）とレポート（30%）により評価する。

博士前期課程：演習 Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習 Ⅰ・Ⅱ	1～2	各4単位	遠藤 真紀

授業の到達目標及びテーマ

現代企業に関わる経営学理論を踏まえ、具体的な事例について分析・評価していき、自身が認識した問題を設定し、その問題に対して論理的に検討・検証していく。論文作成に必要な知識の修得と論理展が行えること。

授業の概要

コロナ禍や物価上昇等への対応など企業の経営環境は激変しており，市場環境の認識と経営戦略の重要性が増している。演習Ⅰでは，様々な企業の具体的な事例（社会人においては自社の経営戦略等）について考察し，基本的な戦略理論について概観・理解するとともに，修士論文のテーマ設定に必要な研究を行う。机上での学習・研究だけでなく，必要に応じてフィールドワーク等を行う事がある。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。

☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。

☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。

☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

イントロダクション

経営学関連科目の概観

事例研究（製造業）

事例研究（流通業）

事例研究（サービス業）

関心領域の発表・討議

関心領域の動向調査

関心領域のまとめ

研究課題/フレームワークのまとめ

事前・事後学習

テキスト・文献資料等を事前に確認し，発表等の準備を行う事。また講義でのディスカッションや検討事項等の再確認を行う事。

テキスト・参考書等

テキスト：岸川善光『経営戦略要論』同文舘，岸川善光『経営診断要論』同文館

参考図書：井上善海ほか『経営戦略入門』中央経済社，岸川善光ほか『ケースブック経営管理要論』同文舘

成績評価の方法・基準

出席態度を含む授業での貢献（30%）および研究報告・レポート（70%）を総合的に評価する。

博士前期課程：演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２年次	各４単位	小川　雄平

授業の到達目標及びテーマ

演習Ⅰは、各自の問題意識を理論化して研究課題として設定することを、演習Ⅱは、論文の骨組みに従って書かれてきた草稿を添削し、修士論文として完成させることを到達目標とする。

授業の概要

演習Ⅰでは、前半は、企業を取り巻く国際経済環境と対応する企業の国際経営戦略を理論的・実証的に検証する。後半は、各自の問題意識の掘り下げと研究課題の設定に充てる。

演習Ⅱでは、演習Ⅰ・特別演習Ⅰで設定・明確化した各自の個別研究課題を深く掘り下げて論文のスケルトンを作成し、先行研究を検証した上で、修士論文の完成を目指す。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

演習Ⅰ

毎回の討論を通じて受講生の問題意識の明確化を図って研究課題として設定、修士論文のテーマの設定とそのスケルトンを描けるように指導する。

毎回の授業：研究報告と討論

演習Ⅱ

論文の書き方を指導し、毎回書かれてきた論文の草稿の添削を行って修士論文を完成に導く。

毎回の授業：研究報告と討論、必要に応じ修士論文草稿の検討

事前・事後学習

指示された研究課題に取組む。

テキスト・参考書等

研究課題毎に指示する。

成績評価の方法・基準

成績は、口述試験及び研究課題報告によって評価する。

博士前期課程：演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	片山 准一

授業の到達目標及びテーマ

演習Ⅰ・Ⅱでは、各自の研究課題に取り組んでもらい、各自の研究計画に基づいて適宜、報告・発表を行いながら修士論文の完成を目指す。

授業の概要

現代の企業経営は周りの環境も含めて高度化・専門化・複雑化してきている。こうした状況を踏まえて、具体的な事例を挙げながら研究指導に当たりたい。各自の研究テーマに沿った形で研究指導していきたい。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

演習Ⅰでは基礎理論＝唯物弁証法的論理の習得。

演習Ⅱでは修士論文作成に向けた指導を行う。

事前・事後学習

最低でも２時間以上の予習・復習が必要。

テキスト・参考書等

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

研究レポート＆発表（50%）、試験（50%）により評価する。

博士前期課程：演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	春日克則

授業の到達目標及びテーマ

演習及び特別演習を通じて、修士論文を完成させるために必要な知識の習得と論理的な思考力の獲得を目指す。このうち、「演習Ⅰ・Ⅱ」では、修士論文を書くにあたって要求される先行研究への取り組みを行う。各自のテーマによって必要とされる文献が異なるが、網羅性・体系性に留意しながら演習を進めて行く。

授業の概要

税務会計は、会計学、税法学という隣接諸科学との関係が深い。そのため、まず会計学についてその内容と歴史を理解する。特に、2000 年以降に生じた、会計学の理論的な変容について、これを税務との関わりにおいて考察する。次に、税法学のうち所得概念及び計算に関わる学説、判例を中心に整理を行う。最後に、これらの研究が税務会計の理論形成にどのような影響を与え、税務会計の独自性は那辺にあるのかを考察する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

各自のテーマと進捗度によって必ずしも画一的に規定できるとは限らない。とりわけ、論考においては、深く沈殿する時期にはまったく書くことが出来ないが、かなりのスピードで書き進めることができる場合もある。そこで、おおよその計画を示したい。

１年次

各自が選択したテーマに必要な先行研究を行う。そのうち、論文の構成上不可欠と思われる諸論点を取り上げている文献を選定し、これらに基づきながら考察を深めていく。

２年次

先行研究を念頭入れながらも、修士論文の完成を目指す。そのため、構想がまとまった部分について順次、論文の作成（章）を行う。この時期は、「演習」と「特別演習」の時間を連携させ、論文完成のための報告と討論を行う。

事前・事後学習

演習の前には、報告を予定している箇所についての先行研究を確認し、記述した文章の点検を行う。演習後は、指摘された問題点や気づきを論文完成につなげる。これらには、計４時間の時間を要する。

テキスト・参考書等

各自の先行研究と関係する文献を指摘する。

成績評価の方法・基準

口頭試験（50%）と毎回の報告の際に提出される論文の下書き（50%）に基づいて評価する。

博士前期課程：演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	末永　英男

授業の到達目標及びテーマ

演習Ⅰ・Ⅱでは、実際に自分の研究課題（修士論文）について取り組んでもらい、自己の研究課題と研究計画のアップデートを計画的に行っていく。自己の論文だけでなく、他者の論文内容にコメントすることで自己の論文の質的向上を図ることを目的とする。

授業の概要

毎回、各人の研究課題（修士論文）について、報告してもらい、その報告内容について、参加者全員で議論する。その際、資料収集の方法等の指導も行う。研究とは、基本的には一人で行うものであるが、議論により発展するものでもある。院生同士、あるいは教員との自由闊達な議論を行うことで、院生自身の知識の定着と、知識の論理への発展を期待する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

（１）　１年次の前期は、論文作成の基本を指導する。租税法の基礎理論、判例や学術論文等の資料の収集の仕方と読み方など。
（２）　１年次の後期は、論文のテーマ設定を行う。論文のテーマ、問題意識、論証の過程を表した目次の作成、仮の序章と終章の作成など。
（３）　２年次の前期は、４月から８月までの期間（５ヶ月間）での論文作成の一応の完成を目指す。この期間に特に重要なことは、院生同士および指導教員と頻繁に議論して、最上のものを目指すことである。
（４）　２年次の後期は、論文の最終的な仕上げと修了報告会でのプレゼンテーションの準備をする。

事前・事後学習

伊藤義一『税法の読み方判例の見方〔改訂第 3 版〕』(TKC 出版)」により、税法の読み方の基本をマスターしておくこと。各回、少なくとも、２時間程度の事前学習、２時間程度の事後学習が必要である。 特に、授業等で十分理解できなかった点は、事後学習で理解を深めること。

テキスト・参考書等

その都度、指定する。

成績評価の方法・基準

研究報告（50 点）およびレポート（各学期２回程度）（50 点）により評価する。

博士前期課程：演習 Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習 Ⅱ	2	4単位	丹羽崇之

授業の到達目標及びテーマ

修士論文を執筆するための前提として、先行研究を網羅する。

授業の概要

各自の研究テーマについて、参考文献を網羅的に収集し、読み込み、報告・討論を重ねて、修士論文の執筆につなげる。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

（前期）

各回の報告、討論あたっては、以下の点を確認すること。

1　各自の研究テーマについて、基本文献を踏まえているか。
2　発展的な論文や関連判例を検討しているか。

（後期）

各回の報告、討論あたっては、以下の点に注意すること。

1　先行研究について、漏れがないか確認する。
2　研究倫理に反することがないか確認する。

事前・事後学習

（事前学習）報告のための資料を作成し、事前に共有ドライブに提出しておく。
（事後学習）指摘を受けた箇所について、さらに検討を深める。

テキスト・参考書等

成績評価の方法・基準

各回の報告資料により、総合的に判定する。

博士前期課程：演習 Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習 Ⅰ・Ⅱ	1～2	各4単位	平山　誠一郎

授業の到達目標及びテーマ

演習Ⅰ・Ⅱでは、実際に自分の研究課題（修士論文）について取り組んでもらい、自己の研究課題と研究計画のアップデートを計画的に行っていく。自己の論文だけでなく、他者の論文内容にコメントすることで自己の論文の質的向上を図ることを目的とする。

授業の概要

毎回、各人の研究課題（修士論文）について、報告してもらい、その報告内容について、参加者全員で議論する。その際、資料収集の方法等の指導も行う。研究とは、基本的には一人で行うものであるが、議論により発展するものでもある。院生同士、あるいは教員との自由闊達な議論を行うことで、院生自身の知識の定着と、知識の論理への発展を期待する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

（1）　1年次の前期は、論文作成の基本を指導する。租税法の基礎理論、判例や学術論文等の資料の収集の仕方と読み方など。
（2）　1年次の後期は、論文のテーマ設定を行う。論文のテーマ、問題意識、論証の過程を表した目次の作成、仮の序章と終章の作成など。
（3）　2年次の前期は、4月から8月までの期間（5ヶ月間）での論文作成の一応の完成を目指す。この期間に特に重要なことは、院生同士および指導教員と頻繁に議論して、最上のものを目指すことである。
（4）　2年次の後期は、論文の最終的な仕上げと修了報告会でのプレゼンテーションの準備をする。

事前・事後学習

伊藤義一『税法の読み方判例の見方〔改訂第 3 版〕』(TKC 出版)」により、税法の読み方の基本をマスターしておくこと。各回、少なくとも、2時間程度の事前学習、2時間程度の事後学習が必要である。 特に、授業等で十分理解できなかった点は、事後学習で理解を深めること。

テキスト・参考書等

その都度、指定する。

成績評価の方法・基準

研究報告（50%）およびレポート（各期2回程度）（50%）により評価する。

博士前期課程：演習 Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習 Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	福浦　幾巳

授業の到達目標及びテーマ

演習Ⅰ・Ⅱでは、実際に自分の研究課題（修士論文）について取り組んでもらい、自己の研究課題と研究計画のアップデートを計画的に行っていく。自己の論文だけでなく、他者の論文内容にコメントすることで自己の論文の質的向上を図ることを目的とする。

授業の概要

毎回、各人の研究課題（修士論文）について、報告してもらい、その報告内容について、参加者全員で議論する。その際、資料収集の方法等の指導も行う。研究とは、基本的には一人で行うものであるが、議論により発展するものでもある。院生同士、あるいは教員との自由闊達な議論を行うことで、院生自身の知識の定着と、知識の論理への発展を期待する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

（１） １年次の前期は、論文作成の基本を指導する。租税法の基礎理論、判例や学術論文等の資料の収集の仕方と読み方など。
（２） １年次の後期は、論文のテーマ設定を行う。論文のテーマ、問題意識、論証の過程を表した目次の作成、仮の序章と終章の作成など。
（３） ２年次の前期は、４月から８月までの期間（５ヶ月間）での論文作成の一応の完成を目指す。この期間に特に重要なことは、院生同士および指導教員と頻繁に議論して、最上のもとを目指すことである。
（４） ２年次の後期は、論文の最終的な仕上げと修了報告会でのプレゼンテーションの準備をする。

事前・事後学習

伊藤義一『税法の読み方判例の見方〔改訂第 3 版〕』(TKC 出版)」により、税法の読み方の基本をマスターしておくこと。各回、少なくとも、２時間程度の事前学習、２時間程度の事後学習が必要である。 特に、授業等で十分理解できなかった点は、事後学習で理解を深めること。

テキスト・参考書等

その都度、指定する。

成績評価の方法・基準

研究報告（50 点）およびレポート（各学期２回程度）（50 点）により評価する。

博士前期課程：演習 Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習 Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	山下壽文

授業の到達目標及びテーマ

修士論文の作成方法、関連文献の収集と内容の検証についての指導

授業の概要

修士論文のテーマの選定，論文の意義・目的および論文構成について指導を行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

１年生では，論文のテーマを設定し，その意義・目的および関連文献の収集について指導を行う。毎回、受講者の報告をもとに内容の吟味および議論を行う。

２年生では、論文の構成について指導を行う。論文の内容について受講者の報告をもとに、吟味および議論を行う。

事前・事後学習

演習時に指示する。

テキスト・参考書等

桜井久勝『財務会計講義』中央経済社

成績評価の方法・基準

報告内容（100 点）

博士前期課程：演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	麻生　隆史

授業の到達目標及びテーマ

大学院における情報技術を学ぶ。

テーマはソフトコンピューティングを中心とする。

授業の概要

近年、情報技術が様々な分野で普及している中、その基礎理論をアナログとディジタルを比較する事により学ぶ。その際、ディジタル信号処理の基本的な概念を中心に、具体例を挙げて説明し、さらに情報機器を使用して実践的にシミュレーションを行う。また、研究を進めるにあたっての必要な文献調査の方法や論文の読み方を指導する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。

☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。

☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。

☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

近年の情報技術の進歩は早く、様々な分野で普及し活用されている。

本演習ではその基礎理論であるアナログとディジタルの長所・短所等を比較して学び、ディジタル信号処理の基本的な概念を具体的に説明する。さらに情報技術を体感するために情報機器やアプリケーションソフトウェアを用いて実践的なシミュレーションを行う。

また、研究を進めるにあたって必要な文献調査や論文の読み方を解説し指導する。

事前・事後学習

事前に指定された論文を読んでおくこと。

事後においては、演習において課題と考える部分をとりまとめ、その解決をはかる。

テキスト・参考書等

特になし。

成績評価の方法・基準

演習の理解度を個別に見た上で、テストやレポートの課題を考え、指定期日まで提出されたものを評価する。

博士前期課程：演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	車　炳玘

授業の到達目標及びテーマ

演習Ⅰは、研究の目的や研究方法の検討を重ね、専門性の高い研究テーマを設定することを、演習Ⅱは、研究成果の発表及び修士論文の作成をとおして、研究者としての能力を身につけることを到達目標とする。

授業の概要

演習Ⅰでは、前半は、最新の研究の動向を把握する。後半は、研究目的や研究方法を明らかにし、研究テーマの設定に充てる。

演習Ⅱでは、演習Ⅰ・特別演習Ⅰで設定・明確化した各自の研究課題を実践的に取り組み、得られた研究成果を関連学会に発表、フィードバックの過程を経て、修士論文を作成する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。

☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。

☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。

☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

演習Ⅰ

毎回の発表・討論を通じて受講生の問題意識の明確化を図って研究課題として設定、修士論文のテーマの設定とその研究方法を描けるように指導する。

毎回の授業：文献調査、関連研究の発表と討論

演習Ⅱ

毎回の研究の進捗報告をとおして、研究方法の明確化をはかるとともに、得られた研究成果を学内外で発表する。修士論文を完成に導く。

毎回の授業：研究報告と討論

事前・事後学習

指示された研究課題に取り組む。

テキスト・参考書等

研究課題ごとに指示する。

成績評価の方法・基準

口述試験（３０％）及び研究課題報告（７０％）によって評価する。

博士前期課程：演習 Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習 Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	荒平　高章

授業の到達目標及びテーマ

テーマ：「自然科学の諸問題に対して情報学・工学的アプローチで解決する.」

到達目標：①　自身の研究分野に関連する文献を収集・分析し，現状・課題等について整理できる.

②　①の整理した結果を受け，課題解決のための実験方法等を立案・実施することができる.

③　修士論文および学術誌に投稿可能な文章表現・データ分析ができる.

授業の概要

工学的手法や情報学的手法は，様々な分野で使用され，新たな技術が次々と創出している．そこで，これらの手法を用いて生体医工学・生体情報学に関連する諸問題にアプローチする研究を実施する．具体的には，組織工学に基づく材料設計，in vitro 実験，生体工学に基づく数値解析などである.

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。

☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。

☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。

☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

演習Ⅰは修士課程１年次，演習Ⅱは修士課程２年次に開講される．これらの科目を通し，到達目標を達成するために下記について実施する.

[1] 自身の研究分野に関連する文献（演習Ⅰ：和文誌，演習Ⅱ：英文誌）を収集し，自身の担当回で当該文献に関する発表を履修生に対して行う．担当回以外では，担当院生の発表に対して，質疑を行う.

[2] 自身の研究内容について，その独創性や重要性について明確化する.

[3] 適切な実験計画を立て，それを適切かつ計画通りに実施する.

[4] 自身の研究に対して進捗報告を行う．他の院生は報告内容に対して質疑を行う.

[5] 得られた実験データを可視化し，院生全員で結果について議論し，その妥当性や課題等を明確にする.

[6] 演習Ⅰでは，自身のテーマに関連する学会等で発表するための原稿・発表資料の作成を行い，演習Ⅱでは，修士論文の執筆，推敲，および発表会の資料作成を実施する.

事前・事後学習

事前学習：報告資料の作成・発表準備，文献調査，実験の実施等を実施する.（２時間以上）

事後学習：教員・院生の指摘事項に関して整理し，必要に応じて研究内容の推敲を実施する.（２時間以上）

テキスト・参考書等

自身の研究テーマに関する文献を調査・収集し，それらを使用する.

専門書については，研究内容を踏まえて必要に応じて教員が提示する.

成績評価の方法・基準

演習Ⅰでは，報告内容，文献紹介等と学会発表の実績等で評価する.

演習Ⅱでは，演習Ⅰと同様の内容と修士論文および修士論文発表で評価する.

博士前期課程：演習 Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習 Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	宮﨑　武

授業の到達目標及びテーマ

情報セキュリティに関連する暗号や、デジタル署名、認証などの技術について、古典的な手法から現在使用されているものまで幅広く取り上げ基本的な知識を得る。また、具体的な動作アルゴリズムを理解する。

授業の概要

情報セキュリティに関連する技術は多岐にわたるが、その歴史は紀元前にまで遡る。多くは軍事・諜報・機密保持のために利用されてきた暗号などの技術は、現代ではネットワーク通信における安全性を担保するための必要不可欠な基礎要素となっている。本演習では、これらの今日の情報セキュリティ技術を支える様々な技術について基本的な知識を学び、また計算機上でのプログラム実装を行って具体的な動作方法を確認する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。

☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。

☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。

☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

講義は、第１回オリエンテーションと第３０回まとめを除き、４週ごとに１つのテーマについて講義とプログラム実装による動作とアルゴリズムの確認を行う形式を予定している。

第　１回　　オリエンテーション
第　２回～第　５回　古典的暗号
第　６回～第　９回　共有鍵暗号（ブロック暗号・ストリーム暗号）
第１０回～第１３回　公開鍵暗号（RSA 暗号・ElGamal 暗号）
第１４回～第１７回　デジタル署名と認証局
第１８回～第２１回　本人識別と認証
第２２回～第２５回　Web 上の安全な接続と Web 認証
第２６回～第２９回　楕円曲線暗号・耐量子計算機暗号
第３０回　　まとめ

事前・事後学習

事前：　演習内容の文献や Web での検索を行って情報を収集・整理すること。(1～2 時間程度)

事後：　演習内容をまとめ、課題に対する資料やプログラムの作成などを行うこと。(1～2 時間程度)

テキスト・参考書等

光成 滋生「図解即戦力 暗号と認証のしくみと理論がこれ 1 冊でしっかりわかる教科書」技術評論社、2021

結城 浩「暗号技術入門　第 3 版　秘密の国のアリス」SB クリエイティブ、2015

成績評価の方法・基準

プログラミングなどの課題と発表＆ディスカッション：６０％，レポート：４０％

博士前期課程：演習 Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習 Ⅰ・Ⅱ	1～2	各4単位	ディンダ プラマンタ

授業の到達目標及びテーマ

テーマ：深層学習(DL)におけるハードウェア(HW)とソフトウェア(SW)のシミュレーションのギャップを埋める。現在、生成系 AI の様々な日常活動への統合が進むにつれ、その必要性が浮き彫りになっている。機械学習(ML)のサブセットであり、生成系 AI の重要な構成要素である DL は、膨大な量のデータからの学習に依存している。DL の依存性は、リアルタイムのアプリケーションに課題をもたらす。本演習は、DL のプロセスを加速するために SW と HW のシミュレーションを活用し、両者の関係を理解することを目的する。

授業の概要

本演習では、AI の応用の中で高速処理と高度な精度を目指し、人間情報学や情報工学に関連するさまざまな問題にアプローチする研究が行う。具体的には、DL モデルの設計やシミュレーションが行う。演習 I を修了した後、自身の研究内容を国内および国際的に明確に位置づけ、研究を継続し行う。提案手法の有効性は処理時間、精度、および消費電力を検証し、その結果をもとに考察を進む。得られた結果をもとに、国内および国際の学会で積極的に発表し、論文を投稿する予定。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

前期（1 回～15 回）
第 1 回　オリエンテーション
第 2 回　深層学習の基礎
第 3 回　ハードウェアの基礎
第 4 回　ソフトウェアの基礎
第 5 回　HW と SW の相互関係
第 6 回　シミュレーションツールの紹介
第 7 回　シミュレーションの実践 I (簡単な DL モデルのシミュレーション)
第 8 回　シミュレーションの実践 II (モデルの最適化)
第 9 回　リアルタイムアプリケーションの課題
第 10 回 研究テーマの設定
第 11 回 フィードバックの適用
第 12 回 実験とデータ分析 I (実験の実施・データ収集と分析)
第 13 回 実験とデータ分析 II (続きの実験と分析・進捗の確認)
第 14 回 中間発表準備
第 15 回 中間発表

後期（16 回～30 回）
第 16 回 実験とデータ分析 III (最終実験の実施・データの整理と解析)
第 17 回 結果の考察
第 18 回 研究のまとめ
第 19 回 論文執筆 I (論文のドラフト作成・執筆のポイント)
第 20 回 論文執筆 II (論文の推敲・同僚レビュー)
第 21 回 学会発表準備
第 22 回 学会発表
第 23 回 国際学会準備
第 24 回 国際学会発表
第 25 回 研究の深化 I
第 26 回 レビューとフィードバック
第 27 回 研究の深化 II (改良)
第 28 回 最終発表準備 I (最終発表の資料作成・発表内容の確認)
第 29 回 最終発表準備 II (発表リハーサル・質疑応答の準備)
第 30 回 最終発表

事前・事後学習

- 学んだ内容を復習し、関連する課題を実施する。
- 必要に応じて追加の文献を調査し、授業内容を補完する。
- 実習やシミュレーションを再度行い、理解を深める。
- 中間および最終発表に向けた準備を進める。

テキスト・参考書等

J. Krohn (著), 鈴木 賢治 (監修), 清水 美樹 (翻訳)「Python,TensorFlow で実践する深層学習入門: しくみの理解と応用」東京化学同人、2022 年

成績評価の方法・基準

シミュレーションや実験（50%）
中間発表（15%）
最終発表（20%）
論文執筆（15%）

博士前期課程：特別演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	遠藤　真紀

授業の到達目標及びテーマ

現代企業の経営に関する問題意識を明確にし、必要な資料を分析・評価しつつ、問題意識に対する論理的な結論を導き出す。論理的思考を身につけ、社会人として自律的・自発的な行動への判断基準が持てるようになること。また自身の考えを論文としてまとめあげる。

授業の概要

特別演習Ⅰ・Ⅱでは，自身の研究テーマに必要な文献・資料の収集・考察等を通して，問題意識（仮説・視座等）の設定・明確化と修士論文の骨子について検討する。論旨的思考を繰り返し、結論を導き、最終的に論文としてまとめあげる。机上での学習・研究だけでなく，必要に応じてフィールドワーク等を行う事がある。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

イントロダクション
関心領域のまとめ
関心領域の先行研究レビュー
関心領域の先行研究のまとめ
研究課題/フレームワークの検討
研究課題/フレームワークの発表
研究課題に関する調査・情報収集
研究課題に関する総合分析
研究課題に関するまとめの検討
研究内容の発表・討議
研究内容のまとめ

事前・事後学習

テキスト・文献資料等を事前に確認し，発表等の準備を行う事。また講義でのディスカッションや検討事項等の再確認を行う事。

テキスト・参考書等

テキスト：岸川善光『経営戦略要論』同文舘，岸川善光『経営診断要論』同文館
参考図書：井上善海ほか『経営戦略入門』中央経済社，岸川善光ほか『ケースブック経営管理要論』同文舘

成績評価の方法・基準

出席態度を含む授業での貢献（30%）および研究報告・レポート（70%）を総合的に評価する。

博士前期課程：特別演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２年次	各４単位	小川　雄平

授業の到達目標及びテーマ

各自の問題意識を掘り下げて理論化・文章化し、修士論文として完成させることを到達目標とする。

授業の概要

特別演習Ⅰでは、問題意識を掘り下げて各自の研究課題の設定・明確化を図り、修士論文のスケルトンの作成を目指す。

特別演習Ⅱでは、先行研究を検証するとともに各章の内容を検討して修士論文の完成を目指す。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

特別演習Ⅰ

演習Ⅰと同様に、問題意識を掘り下げて各自の研究課題が設定できるようにアドバイスし、それを基に修士論文のテーマとスケルトンが描けるように指導する。

毎回の授業：研究報告と討論

特別演習Ⅱ

演習Ⅰ・特別演習Ⅰで設定したテーマとスケルトンにしたがって研究指導を行い、各章毎に書かれた草稿の添削を行って修士論文の完成を目指す。

毎回の授業：研究報告と討論、必要に応じて修士論文草稿の検討

事前・事後学習

指示された研究課題と草稿の執筆に取組む。

テキスト・参考書等

演習Ⅰ・演習Ⅱと同じく、授業中に指示する。

成績評価の方法・基準

成績は、口述試験及び課題報告により評価する。

博士前期課程：特別演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	片山准一

授業の到達目標及びテーマ

特別演習Ⅰ・Ⅱでは、演習Ⅰ・Ⅱの補強として、修士論文作成に特化したきめ細かい指導を目指す。

授業の概要

修士論文作成にあたっての詳細な研究指導を行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

特別演習Ⅰでは演習Ⅰの基礎理論＝唯物弁証法の徹底した習得に努める。
特別演習Ⅱでは修士論文の作成及び発表・質疑応答を想定した指導を行う。

事前・事後学習

最低、２時間以上の予習・復習を必要とする。

テキスト・参考書等

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

研究報告＆レポート（５０％）試験（５０％）により評価する。

博士前期課程：特別演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	春日克則

授業の到達目標及びテーマ

特別演習及び演習を通じて、修士論文を完成させるために必要な知識の習得と論理的な思考力の獲得を目指す。本学大学院の特徴として、修了要件 32 単位中、演習関係は 16 単位を占め、論文指導に重点を置いている。これを象徴する科目が「特別演習」である。そこで、論文完成のために必要にして充分な検討を行いたい。

授業の概要

論文は、自らの主張とその根拠から構成されている。そこで、「演習」を通じて獲得した先行研究の成果を、自らの主張の根拠となるよう構成する。なお、この際、引用なのか自らの主張なのかを明確に区分する必要がある。意図しない盗作（疑惑）を防ぐためにも、重要な過程であることを自覚しなければならない。

特別演習を通じて、各自の主張を客観化し間主観的に整合的な論文の完成を目指すものである。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

各自のテーマと進捗度によって必ずしも画一的に規定できるとは限らない。とりわけ、論考においては、深く沈殿する時期にはまったく書くことが出来ないが、かなりのスピードで書き進めることができる場合もある。そこで、おおよその計画を示したい。

１年次

「演習」で得た先行研究の成果に基づいて、問題意識の明確化（「まえがき」の暫定的な完成）と論文全体の論理展開（「目次」）を明示する。これらは、論文の進捗に応じて変化するものであり、具体的な論文執筆と「まえがき」及び「目次」の修正とを繰り返しながら考察を深めていく。

２年次

この時期は、「演習」と「特別演習」の時間を連携させ、論文完成のための報告と討論を行う。

事前・事後学習

演習の前には、報告を予定している箇所についての点検を行う。演習後は、指摘された問題点不足している箇所、あるいは気づき等を論文完成につなげる。これらには、計４時間の時間を要する。

テキスト・参考書等

各自の論文完成の進捗度に応じた文献を指摘する。

成績評価の方法・基準

口頭試験（50%）と、毎回の報告の際に提出される論文の下書き（50%）に基づいて評価する。

博士前期課程：特別演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	末永　英男

授業の到達目標及びテーマ

特別演習Ⅰ・Ⅱでは、指導教員の指導を受けながら修士論文の作成に取り組んでもらう。修士論文の作成に必要な事項や留意すべき点について講義中に指導をし、また、論文を実際に作成しながらそれらを習熟してもらうことで、 修士の学位に相応しいのみならず、社会一般に寄与するような研究を目指してもらう。

授業の概要

基本的には、論文作成の個別指導の時間だと理解して欲しい。具体的には、前もって提出された論文の一部分（章であったり、節であったりする）に赤ペンを入れてくるので、この赤ペンの入った修正箇所について、指導し議論する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

（１）　１年次の前期は、論文作成の基本を指導するので、租税法の基礎理論、判例や学術論文等の資料の収集の仕方と読み方などを各自に事前に課題として与え、その点について指導する。
（２）　１年次の後期は、論文のテーマ設定を行うので、論文のテーマ、問題意識、論証の過程を表した目次の作成、仮の序章と終章の作成などを各自行ってもらう。その上での指導となる。
（３）　２年次の前期は、４月から８月までの期間（５ヶ月間）での論文作成の一応の完成を目指す。毎回の赤ペン指導となる。
（４）　２年次の後期は、論文の最終的な仕上げと修了報告会でのプレゼンテーションの準備をする。この時点での注意点は、広い視野からの再検討を各自行うことである。

事前・事後学習

伊藤義一『税法の読み方判例の見方〔改訂第 3 版〕』（TKC 出版）」により、税法の読み方の基本をマスターしておくこと。各回、少なくとも、２時間程度の事前学習、２時間程度の事後学習が必要である。 特に、授業等で十分理解できなかった点は、事後学習で理解を深めること。

テキスト・参考書等

各人の論文テーマに沿った文献等を個別に紹介する。

成績評価の方法・基準

論文への取組みに対する探究心と研究報告により評価する。

博士前期課程：特別演習　Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習　Ⅱ	２	４単位	丹羽崇之

授業の到達目標及びテーマ

各自の研究テーマについて、研究の成果を修士論文に結実させる。

授業の概要

各自の研究テーマについて、修士論文の進捗状況を報告し、討論に参加し、研究指導を受ける。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

（前期）

８月下旬に第一稿を提出できるよう計画的に執筆を進め、報告、討論により完成度を高める。

（後期）

合同ゼミ研修での指摘を踏まえて加筆修正し、第二稿の執筆を進める。
１１月の指導委員会で発表する。
提出可能と判定されれば、完成を目指して執筆を進める。

事前・事後学習

（事前学習）執筆した原稿は、事前に共有ドライブに提出しておく。
（事後学習）指摘を受けた箇所について、さらに検討を深める。

テキスト・参考書等

成績評価の方法・基準

提出された修士論文により、九州情報大学学位授与基準に基づいて評価する。

博士前期課程：特別演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	平山　誠一郎

授業の到達目標及びテーマ

特別演習Ⅰ・Ⅱでは、指導教員の指導を受けながら修士論文の作成に取り組んでもらう。修士論文の作成に必要な事項や留意すべき点について講義中に指導をし、また、論文を実際に作成しながらそれらを習熟してもらうことで、 修士の学位に相応しいのみならず、社会一般に寄与するような研究を目指してもらう。

授業の概要

基本的には、論文作成の個別指導の時間だと理解して欲しい。具体的には、前もって提出された論文の一部分（章であったり、節であったりする）に赤ペンを入れてくるので、この赤ペンの入った修正箇所について、指導し議論する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

（１）　１年次の前期は、論文作成の基本を指導するので、租税法の基礎理論、判例や学術論文等の資料の収集の仕方と読み方など各自に事前に課題としてので、その点について、指導する。
（２）　１年次の後期は、論文のテーマ設定を行うので、論文のテーマ、問題意識、論証の過程を表した目次の作成、仮の序章と終章の作成などを各自行ってもらう。その上での指導となる。
（３）　２年次の前期は、４月から８月までの期間（５ヶ月間）での論文作成の一応の完成を目指す。毎回の赤ペン指導となる。
（４）　２年次の後期は、論文の最終的な仕上げと修了報告会でのプレゼンテーションの準備をする。この時点での注意点は、広い視野からの再検討を各自行うことである。

事前・事後学習

伊藤義一『税法の読み方判例の見方〔改訂第 3 版〕』（TKC 出版）」により、税法の読み方の基本をマスターしておくこと。各回、少なくとも、２時間程度の事前学習、２時間程度の事後学習が必要である。 特に、授業等で十分理解できなかった点は、事後学習で理解を深めること。

テキスト・参考書等

各人の論文テーマに沿った文献等を個別に紹介する。

成績評価の方法・基準

論文への取組みに対する探究心（50%）と研究報告（50%）により評価する。

博士前期課程：特別演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	福浦　幾巳

授業の到達目標及びテーマ

特別演習Ⅰ・Ⅱでは、指導教員の指導を受けながら修士論文の作成に取り組んでもらう。修士論文の作成に必要な事項や留意すべき点について講義中に指導をし、また、論文を実際に作成しながらそれらを習熟してもらうことで、 修士の学位に相応しいのみならず、社会一般に寄与するような研究を目指してもらう。

授業の概要

基本的には、論文作成の個別指導の時間だと理解して欲しい。具体的には、前もって提出された論文の一部分（章であったり、節であったりする）に赤ペンを入れてくるので、この赤ペンの入った修正箇所について、指導し議論する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

（１）　１年次の前期は、論文作成の基本を指導するので、租税法の基礎理論、判例や学術論文等の資料の収集の仕方と読み方など各自に事前に課題としてので、その点について、指導する。
（２）　１年次の後期は、論文のテーマ設定を行うので、論文のテーマ、問題意識、論証の過程を表した目次の作成、仮の序章と終章の作成などを各自行ってもらう。その上での指導となる。
（３）　２年次の前期は、４月から８月までの期間（５ヶ月間）での論文作成の一応の完成を目指す。毎回の赤ペン指導となる。
（４）　２年次の後期は、論文の最終的な仕上げと修了報告会でのプレゼンテーションの準備をする。この時点での注意点は、広い視野からの再検討を各自行うことである。

事前・事後学習

伊藤義一『税法の読み方判例の見方〔改訂第 3 版〕』（TKC 出版）」により、税法の読み方の基本をマスターしておくこと。各回、少なくとも、２時間程度の事前学習、２時間程度の事後学習が必要である。 特に、授業等で十分理解できなかった点は、事後学習で理解を深めること。

テキスト・参考書等

各人の論文テーマに沿った文献等を個別に紹介する。

成績評価の方法・基準

論文への取組みに対する探究心（50%）と研究報告（50%）により評価する。

博士前期課程：特別演習 Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習 Ⅰ・Ⅱ	1～2	各４単位	山下壽文

授業の到達目標及びテーマ

修士論文作成のための会計の基礎概念の修得を目的とする。

授業の概要

会計の基本文献の購読を行い、内容について議論を行う。報告者による報告による演習形式で講義を行う。報告者はレジュメを毎回作成して配布する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

特別演習Ⅰは、会計の基本文献（論文など）を指定し毎回報告者がその内容を報告して、議論により理解を深める。

特別演習Ⅱは、修士論文に関係する文献について、報告者が報告して議論することにより、その内容を深める。

事前・事後学習

演習時に指示する。

テキスト・参考書等

桜井久勝『財務会計講義』中央経済社

成績評価の方法・基準

報告内容（100 点）

博士前期課程：特別演習 Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習 Ⅰ・Ⅱ	1～2	各４単位	麻生　隆史

授業の到達目標及びテーマ

大学院における高度な情報技術を学ぶ。

テーマはソフトコンピューティングを中心とする。

授業の概要

情報技術を駆使して実際に利用されているソフトウェア・ハードウェアを調査し、プログラミング技術やハードウェアの開発プロセスを学び、それをどのような手法を用いて応用するかを指導する。特にソフトコンピューティングの基礎については詳細に説明する。同時に文献調査や英文論文読解も行う。また、情報科学の分野における論文作成手法を指導する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑ 研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑ 研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑ 修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

個々の大学院の研究テーマを提示させ、研究を進めるにあたって必要な内容を指導する。その際情報技術の理解度を高めるために、関連する文献調査と英文論文の読解も行う。

研究に必要なソフトウェア・ハードウェアについては、研究内容により精査した上で個別に指示する。

また、基礎学力が不足する場合は個別に不足部分を指導する。

事前・事後学習

事前に自分の研究テーマを決めておくこと。

事後に研究を進める時の課題を文章化すること。

テキスト・参考書等

特になし。

成績評価の方法・基準

研究発表・テスト・レポートにより評価する。

博士前期課程：特別演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	車　炳玘

授業の到達目標及びテーマ

関連研究や技術の調査、輪読、文献調査報告を行う。その内容や研究方法について他の大学院生と質疑応答を行うことにより、専門領域研究の遂行に必要な知識及び技術を身につけることを目標とする。

授業の概要

演習Ⅰでは、関連研究や技術の調査、最新の研究動向の把握、発表方法を習得する。

演習Ⅱでは、各自の研究課題と関連する論文の輪講や研究進捗状況の報告を行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。

☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。

☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。

☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

特別演習Ⅰ

毎回の発表・討論を通じて最新の研究動向を把握する。また、資料の収集法、検討課題の整理、発表方法などを習得する。

毎回の授業：文献調査、関連研究の発表と討論

特別演習Ⅱ

実験結果の解析、関連研究の輪講及び研究の進捗状況報告をとおして、研究の目的や研究方法の明確化をはかる。

毎回の授業：輪講、研究報告と討論

事前・事後学習

指示された研究課題に取り組む。

テキスト・参考書等

研究課題ごとに指示する。

成績評価の方法・基準

口述試験（３０％）及び研究課題報告（７０％）によって評価する。

博士前期課程：特別演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	荒平　高章

授業の到達目標及びテーマ

テーマ：「自然科学の諸問題に対して情報学・工学的アプローチで解決する.」

到達目標：①　自身の研究分野に関連する文献を収集・分析し，現状・課題等について整理できる.

②　①の整理した結果を受け，課題解決のための実験方法等を立案・実施することができる.

③　修士論文および学術誌に投稿可能な文章表現・データ分析ができる.

授業の概要

工学的手法や情報学的手法は，様々な分野で使用され，新たな技術が次々と創出している．そこで，これらの手法を用いて生体医工学・生体情報学に関連する諸問題にアプローチする研究を実施する．具体的には，組織工学に基づく材料設計，in vitro 実験，生体工学に基づく数値解析などである.

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。

☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。

☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。

☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

特別演習Ⅰは修士課程１年次，特別演習Ⅱは修士課程２年次に開講される．これらの科目を通し，到達目標を達成するために下記について実施する.

[1] 自身の研究分野に関連する文献（演習Ⅰ：和文誌，演習Ⅱ：英文誌）を収集し，自身の担当回で当該文献に関する発表を履修生に対して行う．担当回以外では，担当院生の発表に対して，質疑を行う.

[2] 自身の研究内容について，その独創性や重要性について明確化する.

[3] 適切な実験計画を立て，それを適切かつ計画通りに実施する.

[4] 自身の研究に対して進捗報告を行う．他の院生は報告内容に対して質疑を行う.

[5] 得られた実験データを可視化し，院生全員で結果について議論し，その妥当性や課題等を明確にする

[6] 演習Ⅰでは，自身のテーマに関連する学会等で発表するための原稿・発表資料の作成を行い，演習Ⅱでは，修士論文の執筆，推敲，および発表会の資料作成を実施する.

事前・事後学習

事前学習：報告資料の作成・発表準備，文献調査，実験の実施等を実施する.（２時間以上）

事後学習：教員・院生の指摘事項に関して整理し，必要に応じて研究内容の推敲を実施する.（２時間以上）

テキスト・参考書等

自身の研究テーマに関する文献を調査・収集し，それらを使用する.

専門書については，研究内容を踏まえて必要に応じて教員が提示する.

成績評価の方法・基準

特別演習Ⅰでは，報告内容，文献紹介等と学会発表の実績等で評価する.

特別演習Ⅱでは，演習Ⅰと同様の内容と修士論文および修士論文発表で評価する.

博士前期課程：特別演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	宮﨑　武

授業の到達目標及びテーマ

情報セキュリティには様々な基礎知識や基盤技術である有限体理論や符号、系列といった数学的な知識や、剰余演算および擬似乱数生成器について重点的に学習する。また、これらを計算機上で実装するための、各種アルゴリズムについても併せて理解を深める。

授業の概要

現在の情報セキュリティ技術は、数論や符号理論といった数学的要素や、剰余演算や擬似乱数生成器など計算機上の様々なアルゴリズムを基礎的な技術として利用して構成されている。ここでは、それらの基礎技術を中心とし、計算機上でのプログラム作成を通してこれらについて学習するとともに、利用者や攻撃者など様々な視点からの情報セキュリティ技術における安全性について検証を行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

講義は、第１回オリエンテーションと第３０回まとめを除き、４週ごとに１つのテーマについて講義とプログラム実装による動作とアルゴリズムの確認を行う。

第　１回　　オリエンテーション
第　２回～第　５回　基礎的な数学（数論、集合、剰余など）とプログラミング
第　６回～第　９回　情報セキュリティ技術の基盤技術（累乗剰余算演算など）
第１０回～第１３回　古典的な擬似乱数生成器と乱数性の検証
第１４回～第１７回　現代の擬似乱数生成器（XORshift やメルセンヌツイスターなど）
第１８回～第２１回　繰り返し写像による擬似乱数生成器
第２２回～第２５回　ロジスティック写像による擬似乱数生成器とその応用
第２６回～第２９回　新しい擬似乱数（楕円曲線法・迷路法）
第３０回　　まとめ

事前・事後学習

事前：　演習内容の文献や Web での検索を行って情報を収集・整理すること。(1～2 時間程度)
事後：　演習内容をまとめ、課題に対する資料やプログラムの作成などを行うこと。(1～2 時間程度)

テキスト・参考書等

光成 滋生「図解即戦力 暗号と認証のしくみと理論がこれ 1 冊でしっかりわかる教科書」技術評論社、2021
結城 浩「暗号技術入門　第 3 版　秘密の国のアリス」SB クリエイティブ、2015

成績評価の方法・基準

プログラミングなどの課題と発表＆ディスカッション：６０％，レポート：４０％

博士前期課程：特別演習　Ⅰ・Ⅱ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
特別演習　Ⅰ・Ⅱ	１～２	各４単位	ディンダ プラマンタ

授業の到達目標及びテーマ

テーマ：深層学習(DL)におけるハードウェア(HW)とソフトウェア(SW)のシミュレーションのギャップを埋める。現在、生成系 AI の様々な日常活動への統合が進むにつれ、その必要性が浮き彫りになっている。機械学習(ML)のサブセットであり、生成系 AI の重要な構成要素である DL は、膨大な量のデータからの学習に依存している。DL の依存性は、リアルタイムのアプリケーションに課題をもたらす。本特別演習は、DL のプロセスを加速するために SW と HW のシミュレーションを活用し、両者の関係を理解することを目的する。

授業の概要

本特別演習では、AI の応用の中で高速処理と高度な精度を目指し、人間情報学や情報工学に関連するさまざまな問題にアプローチする研究が行う。具体的には、DL モデルの設計やシミュレーションが行う。特別演習 I を修了した後、自身の研究内容を国内および国際的に明確に位置づけ、研究を継続し行う。提案手法の有効性は処理時間、精度、および消費電力を検証し、その結果をもとに考察を進む。得られた結果をもとに、国内および国際の学会で積極的に発表し、論文を投稿する予定。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　自らの研究分野に則した専門知識を修得し、それに関連した専門知識を備えていること。
☑　研究に必要な情報や環境を客観的な視点から分析・整理する能力を有していること。
☑　研究テーマについて先行研究の調査や独自の視点を備えた論理的な思考力を有していること。
☑　修士論文を執筆する文章表現能力を有していること。

授業計画

前期（1 回～15 回）
第 1 回　オリエンテーション
第 2 回　深層学習の基礎
第 3 回　ハードウェアの基礎
第 4 回　ソフトウェアの基礎
第 5 回　HW と SW の相互関係
第 6 回　シミュレーションツールの紹介
第 7 回　シミュレーションの実践 I (簡単な DL モデルのシミュレーション)
第 8 回　シミュレーションの実践 II (モデルの最適化)
第 9 回　リアルタイムアプリケーションの課題
第 10 回 研究テーマの設定
第 11 回 フィードバックの適用
第 12 回 実験とデータ分析 I (実験の実施・データ収集と分析)
第 13 回 実験とデータ分析 II (続きの実験と分析・進捗の確認)
第 14 回 中間発表準備
第 15 回 中間発表

後期（16 回～30 回）
第 16 回 実験とデータ分析 III (最終実験の実施・データの整理と解析)
第 17 回 結果の考察

第 18 回 研究のまとめ 第 19 回 論文執筆 I（論文のドラフト作成・執筆のポイント） 第 20 回 論文執筆 II（論文の推敲・同僚レビュー） 第 21 回 学会発表準備 第 22 回 学会発表 第 23 回 国際学会準備 第 24 回 国際学会発表 第 25 回 研究の深化 I 第 26 回 レビューとフィードバック 第 27 回 研究の深化 II（改良） 第 28 回 最終発表準備 I（最終発表の資料作成・発表内容の確認） 第 29 回 最終発表準備 II（発表リハーサル・質疑応答の準備） 第 30 回 最終発表
事前・事後学習 - 学んだ内容を復習し、関連する課題を実施する。 - 必要に応じて追加の文献を調査し、授業内容を補完する。 - 実習やシミュレーションを再度行い、理解を深める。 - 中間および最終発表に向けた準備を進める。
テキスト・参考書等 J. Krohn（著），鈴木 賢治（監修），清水 美樹（翻訳）「Python,TensorFlow で実践する深層学習入門: しくみの理解と応用」東京化学同人、2022 年
成績評価の方法・基準 シミュレーションや実験（50%） 中間発表（15%） 最終発表（20%） 論文執筆（15%）

大　学　院

（博士後期課程）

２０２４(令和６)年度　博士後期課程　開設授業科目

	授業科目の名称		職名	担当教員	授業を行う年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
授業科目の概要	経営情報学科目群	経営学特別研究	教授	片山准一	1・2・3		2	
		日本経営史特別研究	非常勤講師	加来祥男	1・2・3		2	
		経営管理特別研究	非常勤講師	井上善海	1・2・3		2	
		財務管理特別研究	教授	片山准一	1・2・3		2	
		経営戦略特別研究	教授	遠藤真紀	1・2・3		2	
		中小企業特別研究	非常勤講師	井上善海	1・2・3		2	
		国際経営特別研究	教授	小川雄平	1・2・3		2	
		会計情報学特別研究	教授	山下壽文	1・2・3		2	
		会計監査論特別研究	非常勤講師	伊藤龍峰	1・2・3		2	
		税務会計特別研究	教授	春日克則	1・2・3		2	
		税法学特別研究	教授 教授	末永英男 福浦幾巳	1・2・3		2	
		民法特別研究	教授	丹羽崇之	1・2・3		2	
		情報科学特別研究	教授	車　炳玘	1・2・3		2	
		情報ﾒﾃﾞｨｱ特別研究	教授	麻生隆史	1・2・3		2	
		情報ｾｷｭﾘﾃｨ特別研究	教授	車　炳玘	1・2・3		2	
		情報・信号処理特別研究	教授	麻生隆史	1・2・3		2	
		数値解析特別研究	准教授	荒平高章	1・2・3		2	
		応用数値解析特別研究	教授	車　炳玘	1・2・3		2	
		人工知能特別研究	准教授	荒平高章	1・2・3		2	
	演習	演習Ⅰ　経営・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ部門 税法・会計部門 情報・ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ部門	○小川雄平 ○春日克則 ○福浦幾巳 ○麻生隆史 ○荒平高章	○片山准一 ○末永英男 ○山下壽文 ○車　炳玘	1	4		
		演習Ⅱ	演習Ⅰに同じ		2	4		
		演習Ⅲ	演習Ⅰに同じ		3	4		

注：○印は「研究指導教員」

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
経営学特別研究	1・2・3 年生	2 単位	片山 准一

授業の到達目標及びテーマ

学則第 3 条を踏まえて、企業の経営行動とビジネス倫理を歴史的・論理的にとらえる。
企業行動を客観的に直視し、ビジネス倫理に関する基本的な考え方を習得することを到達目標とする。

授業の概要

本講義では企業のガバナンス問題や CSR（企業の社会的責任）等を視座にビジネス倫理を中心に論じていく。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第 1 回　はじめに　講義全般の概説
第 2 回　資本概念と資本の循環・回転
第 3 回　資本家概念
第 4 回　資本主義的企業組織形態
第 5 回　資本主義的経営形態
第 6 回　単純協業→分業に基づく協業
第 7 回　機械制大工業
第 8 回　テイラーシステム
第 9 回　フォードシステム
第 10 回　大量生産体制
第 11 回　競争と独占①
第 12 回　競争と独占②
第 13 回　コーポレートガバナンス①
第 14 回　コーポレートガバナンス②
第 15 回　経営学特別研究の総括

事前・事後学習

事前：最低限ネット検索で下調べをしておくこと（１２０分）
事後：講義内容を文献等で確認・復習しておくこと。（１２０分）

テキスト・参考書等

テキストは使用しない。参考文献：馬場克三『経営経済学』（税務経理協会）

成績評価の方法・基準

研究報告・レポート（５０％）試験（５０％）によって評価する。60%以上を合格とする。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
日本経営史特別研究	1・2・3	2 単位	加来　祥男

授業の到達目標及びテーマ

第 2 次世界大戦後の日本企業、とくに巨大企業の構造と展開とを明らかにし、その成長や停滞の要因を検討する。それによって、日本企業、あるいはその他の国の企業が抱える問題点とそれを克服する方途が見つかるはずである。

授業の概要

第 2 次世界大戦後の日本企業の構造と展開とを、巨大企業を中心に国際比較を交えて明らかにする。事例研究などのレポートを課す場合がある。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第 1 回　本講義の狙いと概要
第 2 回　戦後改革①－財閥解体
第 3 回　戦後改革②―労働改革
第 4 回　朝鮮戦争と日本経済の再出発
第 5 回　高度成長の開始と国際環境－資本主義の黄金時代
第 6 回　重化学工業化の進展－産業構造の変化
第 7 回　企業集団の形成と構造
第 8 回　日本型雇用システム
第 9 回　石油危機から安定成長へ－成長の減速
第 10 回　バブル崩壊と日本企業
第 11 回　グローバル化とデジタル化
第 12 回　転換期の日本企業
第 13 回　「構造改革」の失敗
第 14 回　日本企業が抱える問題
第 15 回　まとめ―本講義によって明らかになること

事前・事後学習

15 回の講義で取り上げられる問題と内容は限られている。テキストを読んで予習するとともに、毎回の授業で取り上げられたことをさらに各自で調べてほしい。事前、事後にそれぞれ 2 時間をとること。

テキスト・参考書等

宮本又郎他『日本経営史』＜新版＞、有斐閣、2007 年；石見徹『日本経済衰退の構図』、東京大学出版会、2021 年

成績評価の方法・基準

試験（50%）、レポート（50%）

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
経営管理特別研究	1・2・3	2 単位	井上　善海

授業の到達目標及びテーマ

① 経営管理論の史的変遷を説明できる。

② 経営管理論の体系を説明できる。

授業の概要

本授業では，アメリカにおける科学的管理に端を発し，その後，大規模化，高度化，複雑化，国際化が加速している企業活動を統括する総合管理論へと発展してきた経営管理（マネジメント）論について講義する。特に,経営管理論を構成する主要素である経営戦略，経営組織を中心に，経営計画や意思決定と経営情報システムなどの諸要素について学ぶ。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。

☑ 高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。

☑ 自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。

☑ 新しい専門分野を確立する能力を有していること。

☑ 研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　授業のねらいと進め方

第２回　経営管理論を構成する諸要素

第３回　経営戦略①：経営戦略の概念

第４回　経営戦略②：成長戦略

第５回　経営戦略③：競争戦略

第６回　経営戦略④：グローバル戦略

第７回　経営戦略⑤：イノベーション

第８回　経営計画とコントロール

第９回　経営組織①：経営組織の概念

第 10 回　経営組織②：組織原則と組織の基本形態

第 11 回　経営組織③：組織の分権化と動態化

第 12 回　経営組織④：プロジェクト組織とマトリックス組織

第 13 回　経営組織⑤：ネットワーク組織

第 14 回　意思決定

第 15 回　経営情報システム

事前・事後学習

準備学習ではシラバスをもとに参考図書等を用い事前学習をしておくこと。復習では目安となる水準を授業中に示す。本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準とする。

テキスト・参考書等

テキストは使用せず、毎回教員が作成した資料を事前に classroom にて配布する。

成績評価の方法・基準

本授業の２つの到達目標に対する達成度を評価基準に、授業内での発言・貢献度（４０％)、授業内で課す課題レポート（６０％）により成績評価を行う。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
財務管理特別研究	１・２・３年生	2 単位	片山 准一

授業の到達目標及びテーマ

学則第 3 条を踏まえて、企業の財務管理の諸問題を資本調達論の視点から歴史的・論理的に論ずる。講義全体を通して、唯物弁証法的論理思考の構築を到達目標とする。

授業の概要

戦後日本における株式会社の所有構造と支配機能の変遷過程を商法（会社法）と関連付けながら歴史的・論理的に分析していく。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。

☑ 高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。

☑ 自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。

☑ 新しい専門分野を確立する能力を有していること。

☑ 研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　はじめに　講義全般の概説

第２回　資本概念と資本の循環・回転

第３回　資本家概念

第４回　資本の結合

第５回　企業形態の展開過程

第６回　株式会社

第７回　株価形成の理論

第８回　株式会社発生史

第９回　株式会社発達史

第 10 回　株式会社設立過程

第 11 回　株式―株主権

第 12 回　優先株式

第 13 回　無額面株式

第 14 回　自己株式

第 15 回　財務管理特別研究の総括

事前・事後学習

事前準備：最低限ネット検索でよいので、下調べをしておくこと。（１２０分）

事後：講義内容を文献等で確認・復習しておくこと。（１２０分）

テキスト・参考書等

テキストは使用しない。参考文献：馬場克三『株式会社金融論』（森山書店）

成績評価の方法・基準

研究報告・レポート（50%）試験（５０％）によって評価する。60%以上を合格とする。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
経営戦略特別研究	１～３年	2	遠藤 真紀

授業の到達目標及びテーマ

現代企業の経営戦略の意義や必要性および主な経営戦略理論を踏まえ、具体的な事例について分析・評価していく。今日的な企業の経営戦略等を理解し、自身の自律的・自発的な行動への判断基準が持てるようになること。また論文作成に必要な知識を十分に身につけること。

授業の概要

企業の経営環境は激変しており，市場環境の認識と経営戦略の重要性が増している。基本的な戦略理論を踏まえ、様々な企業の具体的な事例（社会人においては自社の戦略等）について，ディスカッションを行い、論理的・実証的な考察を進める。机上での学習・研究だけでなく，必要に応じてフィールドワーク等を行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑ 高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑ 自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑ 新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑ 研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　イントロダクション
第２回　経営戦略理論の概観１
第３回　経営戦略理論の概観２
第４回　事例研究１（製造業）
第５回　事例研究２（製造業）
第６回　事例研究３（製造業）
第７回　事例研究４（流通業）
第８回　事例研究５（流通業）
第９回　事例研究６（流通業）
第 10 回　事例研究７（サービス業）
第 11 回　事例研究８（サービス業）
第 12 回　事例研究９（サービス業）
第 13 回　今日的な経営戦略の研究１
第 14 回　今日的な経営戦略の研究２
第 15 回　今日的な経営戦略の研究３

事前・事後学習

テキスト・資料等を事前に確認し，発表の準備を行い，ディスカッションや検討事項等の再確認を行う事。

テキスト・参考書等

テキスト：岸川善光『経営戦略要論』同文舘，岸川善光『経営診断要論』同文館ほか

成績評価の方法・基準

出席態度を含む授業での貢献（30%）および研究報告・レポート（70%）を総合的に評価する。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
中小企業特別研究	1・2・3	２単位	井上　善海

授業の到達目標及びテーマ

①日本経済における中小企業の地位や役割について説明できる。
②大企業とは異なった中小企業の経営特性について説明できる。
③経営環境の変化に対応し、成長を続ける中小企業のマネジメントついて説明できる。

授業の概要

本授業では、日本の産業競争力を支えてきた中小企業の構造的問題について、課題別に考察することをねらいとする。そこで、まず日本の中小企業の歴史的な変遷および国際比較を行いながら、中小企業の存在意義について明らかにする。その後、大企業との格差問題および下請中小企業問題を中心としながら、中小企業が地域経済の担い手やグローバル化に寄与していることについて考察していく。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑ 高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑ 自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑ 新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑ 研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　授業のねらいと進め方
第２回　中小企業の経営特性：中小企業が、その経営特性を生かす道としてどのような事業分野があるのか。
第３回　中小企業の歴史：産業革命から現代まで、世界における中小企業がどのように変化してきたのか。
第４回　海外の中小企業：海外では、中小企業がどのような地位を占めどのような役割を担っているのか。
第５回　中小企業問題と中小企業政策：中小企業問題解決のために講じられる中小企業政策の役割や体系。
第６回　経営環境の変容と戦略：中小企業が長期的な戦略にもとづく経営に取り組む必要性。
第７回　資金難と財務：資金調達をはじめとした中小企業の財務マネジメントのあり方。
第８回　分業構造の変容と下請：下請企業の構造的問題を解決するマネジメント。
第９回　企業間関係の変容とネットワーク：経営資源に制約の多い中小企業の事業展開で抱える問題。
第 10 回　産業構造の変容と地域産業：産業集積の戦略的な連携や他地域への進出、地域資源の有効活用。
第 11 回　世界市場の変容とグローバル化：中小企業がグローバル化を行うことによって起きる問題。
第 12 回　人材難と組織：経営環境の多様な変化に適応していくための組織や人のマネジメントのあり方。
第 13 回　後継者難と事業承継：中小企業に特有の事業承継リスクへの対応方法について。
第 14 回　研究開発力不足と製品開発：イノベーションによる中小企業の製品開発マネジメントの重要性。
第 15 回　既存事業の衰退と事業開発：中小企業の事業開発上の経営課題と対応策。

事前・事後学習

準備学習ではシラバスをもとに参考図書等を用い事前学習をしておくこと。復習では目安となる水準を授業中に示す。本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準とする。

テキスト・参考書等

テキストは使用せず、毎回教員が作成した資料を事前に classroom にて配布する。

成績評価の方法・基準

本授業の３つの到達目標に対する達成度を評価基準に、授業内での発言・貢献度（４０%）、授業内で課す課題レポート（６０%）により成績評価を行う。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
国際経営特別研究	１・２・３年次	２単位	小川　雄平

授業の到達目標及びテーマ

　世界経済のグローバル化の実態について理解を深め、経済環境に対応した企業の国際経営戦略上の課題を明らかにすることを目標とする。また、授業を通じて博士論文の作成にも役立てることを目指す。

授業の概要

　日系企業の進出が多い東アジア地域を対象に、日系企業の企業内貿易の展開や部品調達網の構築等の現状分析と、米中貿易摩擦や急増するＦＴＡ等国際経済環境に対応した企業経営の在り方を検討する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　オリエンテーション
第２回　日本的経営
第３回　国際経営戦略
第４回　国際経済環境と企業の対応Ⅰ
第５回　国際経済環境と企業の対応Ⅱ
第６回　国際経済環境と企業の対応Ⅲ
第７回　国際経済環境と企業の対応Ⅳ
第８回　小括
第９回　多国籍化の実相―製造業Ⅰ
第 10 回　多国籍化の実相―製造業Ⅱ
第 11 回　多国籍化の実相―商業・小売業
第 12 回　小括
第 13 回　企業内取引とグローバルサプライチェーン
第 14 回　国際経営と物流
第 15 回　総括

事前・事後学習

　指示された研究課題に取り組む。

テキスト・参考書等

　研究課題毎に授業中に指示する。

成績評価の方法・基準

　成績は、口述試験と研究課題の報告により評価する。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
会計情報学特別研究	1・2・3	2	山下壽文

授業の到達目標及びテーマ

現代における会計学の現状と課題について、諸説を検証し、現状の分析それにともなう課題について明らかにする。

授業の概要

わが国の会計学の形成過程、国際会計基準の影響下によるわが国の会計基準の変遷とその概要を検証する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　簿記から会計学への展開⑴～アメリカ会計学の形成過程～
第２回　簿記から会計学への展開⑵～わが国会計学の形成過程～
第３回　SHM 会計原則と「企業会計原則」
第４回　シャウプ勧告と「企業会計原則」
第５回　法人税法第 22 項「公正処理基準」と会計基準
第６回　わが国皆生基準への国際会計基準の影響
第７回　概念フレームワーク
第８回　収益費用アプローチから資産負債アプローチへの展開とその論理
第９回　IAS37 とわが国の引当金会計
第 10 回　公正価値・現在割引価値
第 11 回　減損会計
第 12 回　リース会計
第 13 回　キャッシュ・フロー会計
第 14 回　資産除去債務会計
第 15 回　まとめ

事前・事後学習

講義に際して、事前・爾後学習について指示を行う。

テキスト・参考書等

藤井秀樹『入門財務会計』（第４版）中央経済社
伊藤邦雄『新・現代会計入門』日本経済新聞出版社

成績評価の方法・基準

講義中の報告内容（50 点）およびレポート（50 点）

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
会計監査論特別研究	1・2・3	2単位	伊藤　龍峰

授業の到達目標及びテーマ

授業では、博士後期課程における学習の基礎として、会計監査論に関する最新の動向を踏まえた上で、必要な研究方法に関する知識・技能を学ぶとともに、専門的知識を修得することを到達目標とします。また、授業を通して、研究者として不可欠な要素である研究倫理に関する理解を深めることも主たるテーマとします。

授業の概要

日英米における会計監査論の先行研究を整理しながら、企業の財務諸表に対する公認会計士・監査法人による監査を中心に、問題点を検討・解明します。授業は、受講者に授業計画に沿って事前にテーマを課しますので、レジュメに纏めて授業で報告する方法で進めます。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　会計監査論研究の目的と意義
第２回　会計監査論研究における基礎概念の整理と応用
第３回　会計監査論研究と周辺領域
第４回　会計監査論研究の史的展開
第５回　わが国における会計監査論研究の動向
第６回　英米における会計監査論研究の動向
第７回　会計監査論における主要テーマの研究Ⅰ：財務諸表の適正性と準拠性
第８回　会計監査論における主要テーマの研究Ⅱ：監査基準の意義と一般基準
第９回　会計監査論における主要テーマの研究Ⅲ：不正リスクとリスク・アプローチ監査
第 10 回 会計監査論における主要テーマの研究Ⅳ：財務諸表監査と内部統制
第 11 回 会計監査論における主要テーマの研究Ⅴ：監査意見の表明と情報提供機能
第 12 回 会計監査論における主要テーマの研究Ⅵ：監査上の主要な検討事項(Key Audit Matters, KAM)
第 13 回 会計監査論における最新事例の研究と批判的検討
第 14 回 会計監査論研究における研究者の役割と倫理
第 15 回 会計監査論研究の将来像と課題

事前・事後学習

事前学習：資料を熟読し、内容を理解したうえで受講してください。(2 時間)
事後学習：授業で理解したことを整理し、疑問点や問題点等が解消したかどうかを確認し、当日の授業テーマに対する理解を深めてください。(2 時間)

テキスト・参考書等

長吉眞一 他著『監査論入門第 6 版』中央経済社 2024 年 3 月
弥永真生著『監査業務の法的考察』日本公認会計士協会出版局　2021 年 6 月

成績評価の方法・基準

・口頭試験（50%）、レポート（50%）

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
税務会計特別研究	1・2・3	2	春日克則

授業の到達目標及びテーマ

税務会計独自の所得計算構造の確立が可能であるか否かについて検討することを目標とする。近年、税務と会計との相違点に着目し、両者を切り離すべきとの論が主張される場合がある。しかし、その理由については必ずしも明確になっていない。そこで、授業では現代会計の特質と税務との関係を考察しながら、企業会計と必ずしも一致しない税務会計独自の所得計算構造の導出を試みるものである。

授業の概要

税の論理を探るため、判例研究を行う。次に、現代会計の特質を明らかにすることにより、税の論理と整合性を保ちうるのかを分析する。そして、税の論理を所得計算の面において表現（達成）する税務会計に求められる所得計算構造とは何かについて考察する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　テキストに記されている税と会計の意味内容・関係性について批判的に検討する。
第２回　税の論理を探るため、税と会計の蜜月時代の判例を研究する。
第３回　ターニングポイントとなったと言われる大竹貿易事件を考察する。
第４回　税法独自の論理が表面化したと言われるビックカメラ事件を研究する。
第５回　現代会計の特質を探るため、２つのアプローチを理解する。
第６回　資産・負債アプローチにおける、利益計算と企業評価の両面について考察する。
第７回　企業評価を行うことが税の論理とどのように関係する（しない）かを考える。
第８回　現代会計の特質と税の論理との整合性について暫定的な結論を導出する。
第９回　税と会計との蜜月時代において行われていた会計の特質を考える。
第 10 回 現代会計を成立させる基盤が、蜜月時代の会計の成立を可能とするのかについて考察する。
第 11 回 フロー・モデルの限界と税務会計との関係について分析する。
第 12 回 税務会計における所得計算について、関係する判例を研究する。
第 13 回 税務会計における所得計算について、主体論の視点から考察する。
第 14 回 税務会計における所得計算について、資本概念の視点から考察する。
第 15 回 会計から独立的に構成される所得計算構造（税務会計）を具体的に導出する。

事前・事後学習

講義前は事前配布された資料を検討し（50%）、講義後は各テーマにおける議論を踏まえた考察の深化（50%）が求められる。

テキスト・参考書等

小林裕明著[2023]『課税所得計算と企業会計の接点と乖離』同文舘出版。

成績評価の方法・基準

口頭試験（50%）と、毎回の討論における評価（50%）に基づいて評価する。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
税法学特別研究	1～3	2	末永　英男

授業の到達目標及びテーマ

実体法や手続法その他関連する法分野について総合的に学び、視野の広い 博士論文を完成させるための基礎づくりを本講義のテーマとする。新しい課題に積極的に取り組みながら、租税法原理を理解することを到達目標とする。

授業の概要

講義内容は、わが国法人税制全般について、歴史、租税法、判例、租税理論、会計理論に基づいたアプローチで検討を行う。授業の中で租税法の思考方法が学べるように、またそれが論文に活かせるように考える力を養いたい。租税法は法であり税であるので、民法・会社法や租税理論（財政学）の基本的知識を必要とする。したがって、幅広い勉強を期待したい。判例や通達等 については、必要に応じ適宜対応する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　現代国家と租税
第２回　租税国家における租税法の位置づけ
第３回　わが国租税制度の発達
第４回　租税法律主義と租税平等主義（１）
第５回　租税法律主義と租税平等主義（２）
第６回　租税法の解釈と適用
第７回　所得概念と課税所得
第８回　所得税法における所得の計算 ― 譲渡所得と事業所得
第９回　法人税法における所得計算（１） ― 公正処理基準の究明
第 10 回　法人税法における所得計算（２）― 法 22 条と寄附金
第 11 回　財産の評価基準 ― 相続と譲渡をめぐる評価
第 12 回　消費税における仕入税額控除の本質 ― 特典か権利か
第 13 回　更正の請求 ― 絶対的排他性の批判
第 14 回　第二次納税義務制度の拡張
第 15 回　講義を終えての各人の関心事項に対する全体ディスカッション

事前・事後学習

各回、少なくとも、２時間程度の事前学習、２時間程度の事後学習が必要である。 特に、授業等で十分理解できなかった点は、事後学習で理解を深めること。

テキスト・参考書等

末永英男『税務会研究の基礎』（九州大学出版会）、同『税務会計論の基本問題』、同編著『税務会計と租税判例』（中央経済社）

成績評価の方法・基準

課題への取組み（50 点）と研究報告（30 点）、それにレポート（2 回）（20 点）により評価する。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
税法学特別研究	1・2・3	2	福浦　幾巳

授業の到達目標及びテーマ

博士課程では、高度な専門知識及び研究活動はもとより、独創的な知見が求められる。そのためには、租税を取り巻く実体法や手続法その他関連する法分野について総合的に学び、視野の広い論文を完成させるための基礎づくりが必要である。したがって、本研究では新規の課題に積極的に取り組みながら、租税法原理を理解することを到達目標とする。

授業の概要

講義内容は、租税法全般の歴史、法的枠組み、判例を前提に、理論・制度・政策に基づいたアプローチで検討を行う。講義では租税法の思考方法が学べるように、またそれが論文に活かせるように考える力を養っていただく。なお、租税法は、民法・会社法や租税理論（財政学）の基本的知識も必要とするので幅広い研究を期待する。判例や通達等については、必要に応じ適宜対応する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回：ガイダンス
第２回：近時の租税判例における検討(1)
第３回：近時の租税判例における検討 2)
第４回：近時の租税判例における検討(3)
第５回：近時の租税判例における検討(4)
第６回：近時の租税判例における検討(5)
第７回：近時の租税判例における検討(6)
第８回：小括(第１回から第７回までのまとめ)
第９回：近時の租税判例における検討(7)
第 10 回：近時の租税判例における検討(8)
第 11 回：近時の租税判例における検討(9)
第 12 回：近時の租税判例における検討(10)
第 13 回：近時の租税判例における検討(11)
第 14 回：近時の租税判例における検討(12)
第 15 回：総括(第９回から第 14 回までのまとめ)

事前・事後学習

本講義は、テキストはもとより、事前にテーマに即した参考文献を示しますので、図書館等で充分な事前学習(プレゼンテーション資料も含む)をしておいてください。

テキスト・参考書等

谷口勢津夫『税法の基礎理論-租税法律主義論の展開』（清文社、2021）

成績評価の方法・基準

論文への取組みに対する探究心（50%）と研究報告（50%）により評価する。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
民法特別研究	１・２・３	2	丹羽崇之

授業の到達目標及びテーマ

世界的に準拠法とされることが多い英米法の判例を読みこなす。

授業の概要

英米契約法・不法行為法・財産権法の重要判例を講読し、その歴史的意義、実体法理の形成、さらにわが国の判例法理、学説の発展に与える影響を考察する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑ 高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑ 自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑ 新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑ 研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　英米法の調べ方
第２回　不法行為法（1）過失の判定
第３回　不法行為法（2）事実的因果関係
第４回　不法行為法（3）注意義務の範囲
第５回　不法行為法（4）インフォームド・コンセント
第６回　不法行為法（5）製造業者の過失責任
第７回　不法行為法（6）製造物責任
第８回　契約法（1）契約の成立
第９回　契約法（2）約因の法理
第 10 回　契約法（3）禁反言の法理
第 11 回　契約法（4）履行利益・信頼利益・現状回復利益
第 12 回　契約法（5）損害賠償の範囲
第 13 回　契約法（6）損害の軽減・回避しうる損害
第 14 回　財産権法（1）動産の善意取得
第 15 回　財産権法（2）不動産売買における危険負担

事前・事後学習

（事前学習）各回の判例について、英米法辞典、英和辞典を丁寧に引きながら、読んでおくこと。
（事後学習）事実の概要、判旨、判決の意義、関連判例を確認する。

テキスト・参考書等

（参考文献）樋口範雄『アメリカ不法行為法〔第 2 版〕』(2014 年、弘文堂)、同『アメリカ契約法〔第 3 版〕』(2022 年、弘文堂)、『アメリカ法判例百選』(2012 年、有斐閣)、『英米判例百選』(1996 年、有斐閣)、田中英夫編『BASIC 英米法辞典』(1993 年、東京大学出版会)

成績評価の方法・基準

期末レポートにより評価する。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
情報科学特別研究	１～３	２単位	車　炳玘

授業の到達目標及びテーマ

情報科学分野における研究の遂行に必要な専門知識や実践技術などを習得させ、博士論文作成のための研究指導に役立てる。

授業の概要

膨大なデータを処理する際に必要なアルゴリズムの紹介及びその理論的背景を言及し、アルゴリズム設計の重要性について指導する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑ 高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑ 自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑ 新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑ 研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　Markov 不等式
第２回　Chebyshev 不等式
第３回　確率的選択アルゴリズム
第４回　Splay 木アルゴリズム
第５回　k-dimensional tree
第６回　NN 探索
第７回　四分木
第８回　R 木
第９回　高次元データ類似検索
第 10 回　ハッシュ関数
第 11 回　最近傍探索
第 12 回　Min Hash
第 13 回　文字列の類似度
第 14 回　Skyline 探索
第 15 回　ストリームデータ探索

事前・事後学習

配布資料や授業内容の予習・復習を行う。

テキスト・参考書等

授業計画に従い、関連資料を案内する。

成績評価の方法・基準

レポート（３０％)、講義中の貢献度（３０％)、発表（４０％）によって評価する。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
情報メディア特別研究	1・2・3年次	2単位	麻生　隆史

授業の到達目標及びテーマ

各分野において高度情報化社会に対応できることを目標とし、テーマは情報技術関連分野とする。

授業の概要

ディジタル画像処理に関する様々な研究をまとめ、演習・シミュレーションで得られた成果を基に、論文作成のための研究のまとめ方、研究の細部に関する検証、情報科学の分野での直近の研究成果の調査をする。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第1回　マルチメディアとは
第2回　アナログとディジタル
第3回　音声処理
第4回　信号処理
第5回　短的画像処理
第6回　画像の拡大
第7回　画像の縮小
第8回　画像の圧縮
第9回　動画処理
第10回　動画の圧縮
第11回　画像のフィルタリング
第12回　画像のモーフィング
第13回　パケット通信
第14回　通信アルゴリズム
第15回　電波を用いた通信

事前・事後学習

マルチメディアとは何かを調べておくこと。
各回の課題をまとめておく。

テキスト・参考書等

特になし。

成績評価の方法・基準

受講態度とテストもしくはレポート。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
情報セキュリティ特別研究	1～3	2単位	車　炳玘

授業の到達目標及びテーマ

情報セキュリティ分野における研究の遂行に必要な専門知識や実践技術などを習得させ、博士論文作成のための研究指導に役立てる。

授業の概要

現代暗号理論の基礎知識から暗号技術の安全性評価に必要な証明の誤りを検出する方法の重要性について言及し、論理の重要性について指導する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第1回　計算量理論と情報理論1
第2回　計算量理論と情報理論2
第3回　計算量理論と情報理論3
第4回　公開鍵暗号1
第5回　公開鍵暗号2
第6回　ID基盤暗号1
第7回　ID基盤暗号2
第8回　ID基盤暗号3
第9回　ゼロ知識証明1
第10回　ゼロ知識証明2
第11回　ゼロ知識証明3
第12回　SSSとMPC1
第13回　SSSとMPC1
第14回　MPCプロトコル
第15回　MPCの安全性証明

事前・事後学習

配布資料や授業内容の予習・復習を行う。

テキスト・参考書等

授業計画に従い、関連資料を案内する。

成績評価の方法・基準

レポート（３０％）、講義中の貢献度（３０％）、発表（４０％）によって評価する。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
情報・信号処理特別研究	1・2・3年次	2単位	麻生　隆史

授業の到達目標及びテーマ

ソフトコンピューティングの手法により情報・信号処理を学ぶ。

テーマはアナログ・ディジタル信号処理とする。

授業の概要

多くの実験データには様々なノイズが乗る為、フィルタを通すなどそれぞれ適切な処理を実施することでノイズを除去し、その後何らかの知見を得る為のデータ処理を行っている。各自の研究テーマの関連研究においてどのような情報処理もしくは信号処理を利用しているかについて議論し、情報処理および信号処理についての理解を深める。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第1回　制御システム
第2回　センサ
第3回　定位置センサ
第4回　光・温度センサ
第5回　超音波センサ
第6回　アクチュエータ
第7回　直流と交流
第8回　ステッピングモータ
第9回　サーボモータ
第10回　圧電素子
第11回　アナログとディジタル
第12回　フィードバック制御
第13回　ステップ応答
第14回　アルゴリズム
第15回　通信システム

事前・事後学習

各回の講義内容を調べておくこと。

事後の課題を解決する。

テキスト・参考書等

特になし。

成績評価の方法・基準

受講態度とテストもしくはレポート。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
数値解析特別研究	1・2・3年	選択	荒平　高章

授業の到達目標及びテーマ

微分方程式を用いて様々な自然現象のモデル化をし，その振る舞いについて議論できるようになる。

授業の概要

社会科学や自然科学における様々な現象を数式で記述するために重要な概念である力学系（Dynamical Systems）に関する概説を行う。また，関連する文献調査を実施し、その内容について発表してもらう。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　力学系とは
第２回　１階微分方程式（１）解軌道と安定性
第３回　１階微分方程式（２）分岐現象
第４回　２次元線形系（１）不動点
第５回　２次元線形系（２）２次元の系
第６回　２次元線形系（３）線形代数の復習
第７回　２次元線形系（４）固有値と固有ベクトル
第８回　２次元線形系（５）線形微分方程式の解
第９回　２次元線形微分方程式の相図（１）異なる２つの実固有値と解軌道
第１０回　２次元線形微分方程式の相図（２）複素固有値と解軌道
第１１回　２次元線形微分方程式の相図（３）重複した固有値と解軌道
第１２回　２次元線形微分方程式の分類
第１３回　個体群動態の数理モデリング
第１４回　競争系ダイナミクス
第１５回　餌-捕食者系ダイナミクス
文献紹介に関する発表は講義の進行度合いに応じて実施する。

事前・事後学習

事前：授業内容に沿ってテキストの数式を書き写しながら通読し、疑問点などを整理して、講義中に質問すること。(2時間程度)

事後：自身で数式を作成したり、そのグラフや相線を描いたりして理解を深めること。(2時間程度)

テキスト・参考書等

Morris W. Hiesch ら著「力学系入門―微分方程式からカオスまで」共立出版、2007年

成績評価の方法・基準

小テストやレポート、文献紹介に関する発表を総合的に評価する。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
応用数値解析特別研究	１～３	２単位	車　炳玘

授業の到達目標及びテーマ

　データ解析分野における研究の遂行に必要な専門知識や実践技術などを習得させ、博士論文作成のための研究指導に役立てる。

授業の概要

　統計的学習によるデータ解析手法について言及し、統計的モデルの考え方やその推定法の基本的概念を理解するための一つの方法として、本授業では、統計的学習によるデータ解析手法について学ぶ。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　単回帰モデル
第２回　重回帰モデル
第３回　正則化法
第４回　ベイズ統計１
第５回　ベイズ統計２
第６回　マルコフ連鎖モンテカルロ法１
第７回　マルコフ連鎖モンテカルロ法２
第８回　データセット
第９回　分類器、K-近傍法
第 10 回　ロジスティク回帰
第 11 回　線形判別分析
第 12 回　カーネル密度推定
第 13 回　ガンマ・ポアソン混合分布
第 14 回　サポートベクターマシン
第 15 回　多クラス SVM

事前・事後学習

　配布資料や授業内容の予習・復習を行う。

テキスト・参考書等

　授業計画に従い、関連資料を案内する。

成績評価の方法・基準

　レポート（３０％）、講義中の貢献度（３０％）、発表（４０％）によって評価する。

博士後期課程：講義科目

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
人工知能特別研究	１・２・３年	選択	荒平　高章

授業の到達目標及びテーマ

現在、人工知能技術は、私たちの生活の様々なところで使われている。本授業では、人工知能技術の基礎を体系的に学ぶ。また、基礎事項のみならず、授業の中で人工知能技術の応用例について触れ、実生活に密着してきつつある姿を垣間見る。

授業の概要

本授業では、テキストの内容について講義および討論を行う。その結果にもとづいて、レポートの作成を行う。また、人工知能に関連する文献調査を行い、論文紹介を実施する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

第１回　人工知能の歴史、研究分野
第２回　問題解決、系統的探索と発見的探索
第３回　問題分解法とゲーム探索、記号論理
第４回　導出原理と論理プログラミング
第５回　意味ネットワークとオントロジー
第６回　第５回までの内容に関連する文献調査
第７回　論文紹介・発表
第８回　フレーム理論とオブジェクト指向
第９回　プロダクションシステム
第１０回　知識の不確実性の取り扱い
第１１回　機械学習、ニューラルネットワーク
第１２回　遺伝的アルゴリズム、エージェント、自然言語処理
第１３回　第８回から第１２回までの内容に関連する文献調査
第１４回　論文紹介・発表
第１５回　自身の研究と人工知能

事前・事後学習

事前学習：各授業回の見出しはテキストの各章に対応しているので、テキストの該当箇所を通読しておくこと。（２時間程度）
事後学習：授業で学んだことを整理し、各自の研究生活へ役立てていくこと。（２時間程度）

テキスト・参考書等

小林一郎著「人工知能の基礎」サイエンス社、2008 年

成績評価の方法・基準

①授業への参加状況および、②レポートの提出状況、③文献紹介によって評価する。
②レポートの提出状況とは、提出期限の遵守だけでなく、レポート内容も含むことに注意すること。

博士後期課程：演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	１～３年次	各４単位	小川　雄平

授業の到達目標及びテーマ

演習Ⅰ：研究テーマの具体化・明確化と修士論文のリライトを目指す。

演習Ⅱ：関連学会での研究報告と研究論文の学術誌への掲載を目指す。

演習Ⅲ：研究論文の執筆と学位論文の執筆・完成を目指す。

授業の概要

各自の問題意識を掘り下げることでその研究テーマ化を図り、学位論文となるように論文のスケルトンを構築するとともに、関係学会での報告、掲載論文の執筆についても指導し、学位論文の完成を目指す。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。

☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。

☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。

☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。

☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

演習Ⅰ

研究テーマの具体化・明確化を図り、修士論文に手を入れてリライトし、関連の学会誌への掲載に堪える論文に仕上げるように指導する。

演習Ⅱ

演習Ⅰに引き続いて研究の進め方について指導を行い、関係学会で報告させるとともに、学会報告の内容を基にした学術論文をもう１編完成させることに目標を置いて指導する。

演習Ⅲ

引き続き研究の進め方について指導を行い、３本目の論文を完成させ、これら３編の学術論文を核に学位論文のスケルトンを検討・確立し、関係学会での報告を経て学位論文にまとめ上げるように指導する。

事前・事後学習

指示された研究課題に取り組み、論文の草稿を準備する。

テキスト・参考書等

執筆論文の進捗状況に合わせて指示する。

成績評価の方法・基準

成績は、口述試験と研究課題の報告によって評価する。

博士後期課程：演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	１～３	各４単位	片山 准一

授業の到達目標及びテーマ

博士学位論文作成を目標とする。

授業の概要

各自の研究報告をベースに質疑応答を行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。

☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。

☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。

☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。

☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

演習Ⅰでは、資料収集と先行研究の検討を行いながら、博士学位論文のテーマを決定していく。

演習Ⅱでは、最新の学術論文を自身の論文作成の参考にしていく。

演習Ⅲでは、学位論文完成を目指す。発表と質疑応答を行っていく。

事前・事後学習

最低、２時間以上の予習・復習を必要とする。

テキスト・参考書等

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

報告・質疑応答（５０％）試験（５０％）により評価する。

博士後期課程：演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	１～３	各４単位	春日克則

授業の到達目標及びテーマ

演習Ⅰ～Ⅲを通じて、博士論文を完成させるために必要な知識の習得と論理的な思考力の獲得を目指す。博士論文のテーマについては、その研究内容が新たな知見や技術を含み、体系的にまとまったものであることが求められる。さらに、WEB ページで公開されることから、特に自分以外の研究成果との明確な区分がなされたものでなければならない。このことを踏まえた論文の完成が目標となる。

授業の概要

博士論文の執筆過程は、高度な専門知識と新たな知見が求められる以外は修士論文と基本的に同じである。即ち、修士論文やその後の研究を通じて獲得した先行研究の成果を、自らの主張の根拠となるよう再構成する。そして、その基礎の上に、各自の主張（新たな知見）を客観化し間主観的に整合的な論文の完成を目指すものである。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑ 高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑ 自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑ 新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑ 研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

各自のテーマと進捗度によって必ずしも画一的に措定できるとは限らない。とりわけ、論考においては、深く沈殿する時期にはまったく書くことが出来ないが、かなりのスピードで書き進めることができる場合もある。そこで、おおよその計画を示したい。

１年次

修士論文とその後の研究によって得た先行研究の成果に基づいて、問題意識の明確化（「まえがき」の暫定的な完成）と論文全体の論理展開（「目次」）を提示する。これらは、論文の進捗に応じて変化するものであり、具体的な論文執筆と「まえがき」及び「目次」の修正とを繰り返しながら考察を深めていく。

２年次

１年次の研究の成果に基づきながら、新たな知見を具体化する作業に集中する。この過程において、構想のまとまった個別の論点について「章」として完成させる。

３年次

１年次、２年次の成果を踏まえ、論文完成のための報告と討論を行う。

事前・事後学習

演習の前には、報告内容について充分な準備を行う。演習後は、指摘された問題点や不足している箇所、あるいは気づき等を論文完成につなげる。これらには、計４時間の時間を要する。

テキスト・参考書等

各自の論文完成の進捗度に応じた文献を指摘する。

成績評価の方法・基準

口頭試験（50%）と、毎回の報告の際に提出される論文の下書き（50%）に基づいて評価する。

博士後期課程：演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	１～３	各４単位	末永　英男

授業の到達目標及びテーマ

高度に学術的で、かつ知見に富み学会に貢献できるような下記の研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）に沿った博士論文を作成することを目標とする。

授業の概要

毎回の各自の報告とそれに対する参加者全員での議論を中心に行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑ 先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑ 高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑ 自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑ 新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑ 研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

（１）演習Ⅰでは、資料収集と先行研究の検討を行いながら、博士号論文のテーマの決定を行い、定期的に研究内容について報告を行い討論していく。その上で、論文の全体構成を完成させる。義務としては、査読論文１本の完成と学会報告１回を目指す。
（２）演習Ⅱでは、引き続き博士論文の作成に取り組む。また、適宜、最新判例や、学術論文、税制改正等について議論することで、博士論文作成に必要な租税制度に関する体系的知見を習得する。さらに、年１のペースで査読論文の作成、学会報告を目指し、計画的に研究を進捗させていく。
（３）演習Ⅲでは、論文の作成方法や研究方法について、各自の特性に応じた個別指導を行い、質的に高いレベルの学位論文の完成を目指す。授業では、問題意識をもって発表とディスカッションを毎回行いながら論文の構成や質を高めていく。

事前・事後学習

各回、少なくとも、２時間程度の事前学習、２時間程度の事後学習が必要である。 特に、授業等で十分理解できなかった点は、事後学習で理解を深めること。

テキスト・参考書等

各人の論文テーマに沿った文献等を個別に紹介する。

成績評価の方法・基準

論文への取組み（50%）と研究報告（50%）により評価する。

博士後期課程：演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	１～３	各４単位	福浦　幾巳

授業の到達目標及びテーマ

演習Ⅲでは、論文の作成方法や研究方法について、受講生の特性に応じた個別指導を行い、質の高いレベルの学位論文の完成を目指す。講義では、問題意識をもって発表とディスカッションを毎回行いながら論文の構成や質を高めていく。

授業の概要

基本的には、論文作成の個別指導の時間だと理解して欲しい。具体的には、前もって提出された論文の一部分（章であったり、節であったりする）に赤ペンを入れるので、この赤ペンの入った修正箇所について、指導し議論する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

（１）　１年次は、論文作成の基本を指導するので、租税法の基礎理論、判例や学術論文等の資料の収集の仕方と読み方など各自に事前に課題としてので、その点について、指導する。
（２）　２年次は、論文のテーマ設定を行うので、論文のテーマ、問題意識、論証の過程を表した目次の作成、仮の序章と終章の作成などを各自行ってもらう。その上での指導となる。
（３）　３年次は、４月から８月までの期間（５ヶ月間）での論文作成の一応の完成を目指す。毎回の赤ペン指導となる。論文の最終的な仕上げと修了報告会でのプレゼンテーションの準備をする。この時点での注意点は、広い視野からの再検討を各自行うことである。

事前・事後学習

各人の論文テーマに沿った文献等を事前に渉猟し報告することになるが、報告後においては、テーマに即した論証の成果を確認しておくこと。

テキスト・参考書等

各人の論文テーマに沿った文献等を個別に紹介する。

成績評価の方法・基準

論文への取組みに対する探究心と研究報告により評価するが、最終的には成果物である論文評価により決定する。

博士後期課程：演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	１～３	各４単位	山下　壽文

授業の到達目標及びテーマ

博士論文の作成。テーマ設定、論文の構成。

授業の概要

博士論文のテーマ、構成について指導を行う。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

演習Ⅰは、論文のテーマの設定と研究方法について指導を行う。
演習Ⅱは、博士論文に係る文献の収集および整理について指導を行う。
演習Ⅲは、博士論文の執筆について、参考文献および引用など論文作成指導を行う。

事前・事後学習

演習時に指示する。

テキスト・参考書等

演習時に適宜指示する。

成績評価の方法・基準

論文の作成内容

博士後期課程：演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	１～３	各４単位	麻生　隆史

授業の到達目標及びテーマ

情報科学の分野でも近年特に注目を浴びている、ディジタル画像処理技術を詳細に解説する。特にフィルタリング処理や領域分割等を学び、それをディジタル画像処理へ応用しシミュレーションする。その際必要である様々なプログラミング技術（MATLAB 等を含む）もあわせて学ぶ。さらに論文作成に必要な様々なアイデアを討論し、研究の進め方を指導する。

授業の概要

高度なディジタル画像処理技術を詳細に解説する。特にニューラルネットワーク、ファジィ理論、カオス理論等のソフトコンピューティング技術を学び、それをディジタル画像処理へ応用しシミュレーションする。FPGA 等を用いたハードウエア技術もあわせて学ぶ。さらに論文作成に必要な様々なアイデアをさらに討論し、高度な研究の進め方を指導する。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

ディジタル画像処理に関する様々な研究をまとめ、演習・シミュレーションで得られた成果を基に、論文作成のための研究のまとめ方、研究の細部に関する検証、情報科学の分野での直近の研究成果の調査をする。さらに論文作成に必要な様々なアイデアを再検討し、より高度な研究の進め方・まとめ方を指導する。具体的には、研究の新規性・学術的なレベル・社会への貢献等を検証する。

事前・事後学習

事前に自分の研究テーマを決めておくこと。
事後に研究を進める時の課題を文章化すること。

テキスト・参考書等

特になし。

成績評価の方法・基準

研究発表・テスト・レポートにより評価する。

博士後期課程：演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	１～３	各４単位	車　炳玘

授業の到達目標及びテーマ

演習Ⅰ：研究テーマの具体化・明確化と修士論文のリライトを目指す。
演習Ⅱ：関連学会での研究報告と研究論文の学術誌への掲載を目指す。
演習Ⅲ：研究論文の執筆と学位論文の執筆・完成を目指す。

授業の概要

各自の問題意識を掘り下げることでその研究テーマ化を図り、学位論文となるように論文のスケルトンを構築するとともに、関連学会での報告、掲載論文の執筆についても指導し、学位論文の完成を目指す。

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。
☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。
☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。
☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。
☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

演習Ⅰ

研究テーマの具体化・明確化を図り、修士論文に手を入れてリライトし、関連の学会誌への掲載に堪える論文に仕上げるように指導する。

演習Ⅱ

演習Ⅰに引き続いて研究の進め方について指導を行い、関連学会で報告させるとともに、学会報告の内容を基にした学術論文をもう１編完成させることに目標を置いて指導する。

演習Ⅲ

引き続き研究の進め方について指導を行い、学位論文のスケルトンを検討・確立し、関連学会での報告を経て学位論文にまとめ上げるように指導する。

事前・事後学習

指示された研究課題に取り組み、論文の草稿を準備する。

テキスト・参考書等

執筆論文の進捗状況に合わせて指示する。

成績評価の方法・基準

成績は、口述試験（３０％）と研究課題（７０％）の報告によって評価する。

博士後期課程：演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

授業科目名	開講年次	単位数	担当教員名
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	1～3	各4単位	荒平　高章

授業の到達目標及びテーマ

テーマ：「自然科学の諸問題に対して情報学・工学的アプローチで解決する.」

到達目標：①　自身の研究分野に関連する文献を収集・分析し，現状・課題等について整理できる.

②　①の整理した結果を受け，課題解決のための新たな実験方法等を立案・実施することができる.

③　得られた結果について，第三者が理解できるような可視化データの提示および説明ができる.

④　自身の研究について，対外的にその成果を公開できる.（国内・国際学会，国内・国際誌等）

⑤　博士論文および学術誌に投稿可能な文章表現・データ分析ができ，多角的な視点で論旨を展開できる.

授業の概要

工学的手法や情報学的手法は，様々な分野で使用され，新たな技術が次々と創出している．そこで，これらの手法を用いて生体医工学・生体情報学に関連する諸問題にアプローチする研究を実施する．具体的には，組織工学に基づく材料設計，in vitro 実験，生体工学に基づく数値解析などである．また，様々な実験手法などを主体的に提案・実施し，修士論文よりもさらに多角的な評価，分析を実施する.

研究科のディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連性

☑　先端的・学際的である高度な専門知識を修得し、それに関連した分野でも高度な学識を備えていること。

☑　高度で複合的な分野の事象を横断的・統合的に管理・運営する能力を有していること。

☑　自らの研究結果を対外的に情報発信する能力を有していること。

☑　新しい専門分野を確立する能力を有していること。

☑　研究成果を博士論文としてまとめる高度な文章表現能力を有していること。

授業計画

演習Ⅰは博士課程1年次，演習Ⅱは博士課程2年次，演習Ⅲは博士課程3年次に開講される．これらの科目を通し，到達目標を達成するために下記について実施する.

[1] 自身の研究分野に関連する文献（和文誌，英文誌）を収集し，自身の担当回で当該文献に関する発表を履修生に対して行う．担当回以外では，担当院生の発表に対して，質疑を行う.

[2] 自身の研究内容について，その独創性や重要性について明確化する.

[3] 適切な実験計画を立て，それを適切かつ計画通りに実施する.

[4] 自身の研究に対して進捗報告を行う．他の院生は報告内容に対して質疑を行う.

[5] 得られた実験データを可視化し，院生全員で結果について議論し，その妥当性や課題等を明確にする.

[6] 自身のテーマに関連する学会等で発表するための原稿・発表資料の作成を行い，発表する.

[7] 自身のテーマに関連する分野の国内誌・国際誌に投稿する.

[8] 博士論文の執筆，推敲，および予備審査・公聴会へ向けた資料作成を実施する.

事前・事後学習

事前学習：報告資料の作成・発表準備，文献調査，実験の実施等を実施する.（2時間以上）

事後学習：教員・院生の指摘事項に関して整理し，必要に応じて研究内容の推敲を実施する.（2時間以上）

テキスト・参考書等

自身の研究テーマに関する文献を調査・収集し，それらを使用する.

専門書については，研究内容を踏まえて必要に応じて教員が提示する.

成績評価の方法・基準

演習Ⅰ・Ⅱでは，報告内容，文献紹介等と学会発表・学術誌投稿の実績等で評価する.

演習Ⅲでは，演習Ⅰ・Ⅱと同様の内容と博士論文および予備審査，公聴会で評価する.

□ 専任教員

氏　名	担　当　科　目　【青字：博士後期課程科目】
麻 生　隆 史	情報ﾒﾃﾞｨｱ特論，演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ 情報ﾒﾃﾞｨｱ特別研究，情報・信号処理特別研究，演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
小 川　雄 平	国際経営特論，ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ特論，演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ 国際経営特別研究，演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
遠 藤　真 紀	経営戦略特論，ﾍﾞﾝﾁｬｰ企業特論，演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ，経営戦略特別研究
春 日　克 則	税務会計特論，演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ，税務会計特別研究，演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
片 山　准 一	経営学特論，財務管理特論，演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ 経営学特別研究，財務管理特別研究，演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
末 永　英 男	税法学特論Ⅲ（法人税法①），税法学特論Ⅳ（法人税法②・消費税法），演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ 税法学特別研究，演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
車　炳 玘	情報ﾈｯﾄﾜｰｸ特論，数値解析特論，演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ 情報科学特別研究，情報ｾｷｭﾘﾃｨ特別研究，応用数値解析特別研究，演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
丹 羽　崇 之	税法学特論Ⅴ（相続税法・手続法・争訟法），民法特論，演習Ⅱ，特別演習Ⅱ，民法特別研究
平 山　誠 一 郎	税法学特論Ⅰ（租税法総論），税法学特論Ⅱ（所得税法），演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ
福 浦　幾 巳	演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ，税法学特別研究，演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
山 下　壽 文	会計情報学特論，演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ，会計情報学特別研究，演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
吉　野　正	会社法特論，民事・行政訴訟特論
荒 平　高 章	情報科学特論，データ解析特論，演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ 数値解析特別研究，人工知能特別研究，演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
宮　﨑　武	情報ｾｷｭﾘﾃｨ特論，ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ特論，演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ
ﾃﾞｨﾝﾀﾞ ﾌﾟﾗﾏﾝﾀ	人工知能特論，演習Ⅰ・Ⅱ，特別演習Ⅰ・Ⅱ

□ 非常勤講師

氏　名	担　当　科　目　【青字：博士後期課程科目】
伊 藤　龍 峰	会計監査特論，会計監査論特別研究
井 上　善 海	経営管理特論，中小企業特論，経営管理特別研究，中小企業特別研究
加 来　祥 男	日本経営史特論，日本経営史特別研究
岸　川　洋	経営情報ｼｽﾃﾑ設計特論
黄　在 南	経営組織特論
福 山　博 文	経営科学特論

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表≪省令で定める単位数等の基準数相当分≫

担当教員名	科目名	学科	履修学年 時期	必・選	単位数	実務経験内容	実務経験をいかした教育内容	授業概要
秋吉 浩志	デジタルビジネス論	共通	2年生 後期	選択	2	デジタルビジネスに関わっている、例えば企画、イベント業務、法律、教育分野など多岐にわたる実務経験を中心に講師が講義を行う。	外部講師のときは、ディベート、グループワーク、グループ発表、個人発表発表などを中心に進行していく。 特に実務的なグループワークが重要である。	本学の建学の精神を基盤としたカリキュラムポリシーに基づいた授業を展開する。前半はデジタル社会におけるWebサービス・広告＆マーケティングの基礎を展開し、中盤は広告計画、実践、後半はWebサービスの変化をより具体的に説明を行う。さらにはWebサービスを通じた社会的な問題もとりあげる。
秋吉浩志 中島直樹 宮崎武	eスポーツ概論 （特別実習・講義（情報） ｅスポーツ概論）	共通	2年生 後期	選択	2	eスポーツ業界で企画、イベント業務、法律、教育分野など多岐にわたる実務経験のある講師がオムニバスで講義を行う。	外部講師のときは、ディベート、グループワーク、グループ発表、個人発表発表などを中心に進行していく。	欧米で小規模コミュニティのイベントとしてスタートし、プロ化、そしてグローバル＆拡大ビジネス化したｅスポーツ の成立から発展の歴史を詳しく学び、海外の流れと、その動きに乗り遅れたにもかかわらず飛躍的な拡大路線 を取り始めた日本の状況を紹介する。 ｅスポーツ主要競技の流れについても学び、 ｅスポーツの特徴も理解す る。メディア、行政、法律、教育分野、既存のフィジカルスポーツ団体等を巻き込みながら日々益々拡大する。さらにはeスポーツを取り巻く情報システムやゲームプログラミングの世界についても紹介したい。そして、 ｅスポ ーツの過去と現在の理解を深め今後についての考察を行えるようにすることを目的とする。 また、建学の精神や特にカリキュラムポリシーに沿って、IT業界で活躍できる広く多様性ある人材づくりを目指すものである。
井上　善海	経営組織論	共通	2年生 後期	選択	2	企業経営者１１年 経営コンサルタント９年	企業の経営戦略や経営組織等，経営コンサルタントの実務経験を踏まえた実践的な議論を行う。	日常生活の中で、私たちは様々な「組織」に関わり生活をしています。しかし、日常的経験があるが故にかえって深く考えることをせず、その結果として、本質的な理解が妨げられることも多いのではないでしょうか。 この授業では、本学の建学の精神をふまえつつ、そのなかのカリキュラムポリシーに基づき、経営組織論の概念をもとに個人、集団、組織全体についての考察を進め、現代社会における「組織」の諸側面を深く理解すると同時に、組織における個人・集団の振る舞いや、経営組織の活動の背後にある意味を洞察する力を磨いていくことをめざします。さらには組織はすでに市場との密接な関係が深まり、消費者も組織の中に組み込まれています。そのような仕組みを「気づかせる」ことに目的を持っています。
井上　善海	経営情報学Ⅱ	共通	2・3年生 後期	選択	2	企業経営者１１年 経営コンサルタント９年	企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの実務経験を踏まえた実践的な議論を行う。	経営コンサルタントの実務経験がある教員が、経営環境の変化や情報技術の進展により、情報通信技術がどのように発展してきたかを解説することにより、各情報通信技術の利点・欠点・留意点について学修する。
大多　正人 鈴木　和也	キャリアデザインⅠ	共通	1年生 前期	必修	2	担当講師は、長年にわたり大学でキャリア教育と就業支援に従事する傍ら、企業の人事採用コンサルタントとしても活動しています。豊富な実務経験を活かし、学生たちには実際のビジネス環境で成功するための洞察力や社会人基礎力を伝授しています。授業では、第4回～第13回まで外部講師を招き、様々な視点からの経験を学生たちに提供します。大学・短期大学校でのキャリア教育や産業カウンセラー、キャリアコンサルタント養成講座での指導者、自衛隊での職場体験学習を通して社会人基礎力の構築に従事した指導者、福岡県中小企業家同友会の共育委員会で「労使見解の精神を学び、経営者と社員が共に育つよい会社を目指す」理念に基づいた労使教育に関わる経営者が授業を通じて、学生たちに実践的な知識とスキルを身につけ、将来のキャリア形成に備えることが期待させます。	担当講師の講義では、「主体性を発揮し、行動する」「課題発見力を養う」「傾聴力を養う」といった社会人基礎力の能力要素に焦点を当てています。クラス別のグループワークを通じて社会人と学生の違いを理解し、実社会で必要な基礎力を学びます。第4回～第13回では、企業等の外部講師を招いてオムニバスで実施され、学生たちには実践的なキャリアデザインの知識やスキルが提供されます。	経済産業省が提唱する「社会人基礎力」は、職場や地域社会での多様な人々との協働に必要な基本的な力を指し、それは「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の3つの能力から成り立っています（12の能力要素含む）。この授業では、特に「主体性を発揮し、行動する」「課題発見力を養う」「傾聴力を養う」の能力要素に焦点を当て、クラス別のグループワークを通じて社会人と学生の違いを理解し、実社会で求められる基礎力を学びます。外部資源を活用し、個々の学生が主体的に将来のキャリアを築くプロセスに重点を置きます。担当教員のサポートを得ながら、自己の能力向上と成長を遂げ、将来の社会で要求される力を身に付けます。この講座では、ディプロマポリシーⅢを目指し、建学の精神を理解し、主体的に実践できる姿勢や社会人として必要な態度を身につけます。同時に、カリキュラムポリシーⅠとⅥも取り組んでいます。様々なワークを通じて、学生は考え行動し、協働して成果を生み出す力を育て、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」などの「社会人基礎力」を身につけます。学生は自分の将来を「キャリアデザイン」し、人間性を向上させることで、自分に合った進路を選ぶ力を養います。この講座は、知識だけでなく、自己管理や協力能力などの実践的なスキルを重視し、学生が将来の目標に向けて主体的に動けるようサポートします。
大多　正人 鈴木　和也	キャリアデザインⅡ	共通	1年生 後期	必修	2	担当講師は、長年にわたり大学でキャリア教育と就業支援に従事する傍ら、企業の人事採用コンサルタントとしても活動しています。豊富な実務経験を活かし、学生たちには実際のビジネス環境で成功するための洞察力や社会人基礎力を伝授しています。第4回～第5回は、企業等の外部講師を招いてオムニバスで実施する授業です。担任講師は、福岡県中小企業家同友会　共育委員会に属し、「労使見解の精神を学び、経営者と社員が共に育つよい会社を目指す」理念のもと、多岐に渡り従業員研修等で指導を行っております。	担当講師の授業では、社会で必要な能力や資質の修得に焦点を当て、7つのステップを通じて自己成長を促進します。自己肯定感の構築から始め、個々の強みを認識し、社会への洞察を深めます。コミュニケーションスキルの向上などで資質を磨き、卒業後の目標を具体的に描きつつ、現在からの具体的な行動計画を策定します。第4回～第5回は、外部講師を交えた実践的な授業も行い、学生たちに新たな視点からの洞察を提供します。地元経営者との対話を通じ、学生たちの受動的な行動を主体的なものへと変容させ、異なる視点からの洞察に気づき、学び取り、自己を振り返り、行動変容を促進することで、将来に向けた準備を着実に進めます。	この講義では、クラス別でグループワーク等を通して社会で求められる様々な能力や資質を修得するために、以下の7つのステップを通じて自己成長を促します。まず、自分を肯定し、「これでいいのだ」という自覚を持つことから始めます。次に、自分らしさを知り、「私の強みは○○だ」と明確に認識します。さらに、社会を知り、「仕事は、大人は、面白い」という視点を身につけます。社会で必要な資質を磨くために、コミュニケーションスキルなどの汎用的技能を向上させます。卒業後のイメージを描くと同時に、その目標に向けて今から取り組むべきことを具体的に明確にします。最後に、毎日を充実させるために行動を起こし、「やるなら、今」の意識を持ちます。これらのステップを通じて、学生は知識・理解を深め、幅広いスキルを身につけ、将来への準備を進めます。この講座では、ディプロマポリシーⅢを目指し、建学の精神を理解し、主体的に実践できる姿勢や社会人として必要な態度を身につけます。同時に、カリキュラムポリシーⅠとⅥも取り組んでいます。様々なワークを通じて、学生は考え行動し、協働して成果を生み出す力を育て、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」などの「社会人基礎力」を身につけます。学生は自分の将来を「キャリアデザイン」し、人間性を向上させることで、自分に合った進路を選ぶ力を養います。この講座は、知識だけでなく、自己管理や協力能力などの実践的なスキルを重視し、学生が将来の目標に向けて主体的に動けるようサポートします。

担当教員名	科目名	学科	履修学年時期	必・選	単位数	実務経験内容	実務経験をいかした教育内容	授業概要
大多　正人	キャリアデザインⅢ	共通	2年生 前期	選択	2	担当講師は、長年にわたり大学でキャリア教育と就業支援に従事する傍ら、企業の人事採用コンサルタントとしても活動しています。豊富な実務経験を活かし、学生たちには実際のビジネス環境で成功するための洞察力や社会人基礎力を伝授しています。この授業では、第4回～第5回にかけて外部講師を招いてオムニバス形式で行われます。この外部講師は、大学・短期大学校でのキャリア教育講師や産業カウンセラー、キャリアコンサルタント養成講座などで長年にわたりキャリア指導に従事しています。講師らは実務の視点から学生たちに専門的な知識やキャリア形成に関するアドバイスを提供し、実践的な社会人基礎力の向上をサポートしています。これにより、学生たちは将来の進路において自己の強みを最大限に発揮できるようになります。	担当講師の授業では、学生たちが将来の進路に向けて的確なステップを踏むための準備を徹底的にサポートします。業界や企業を絞り込み、入念な事前研究を行う一方で、自己分析を通じて履歴書やエントリーシートの準備にも重点を置いています。これにより、学生たちは自身の強みを最大限に引き出し、企業へのアプローチに自信を持つことができます。徹底的な自己分析と企業研究を通じて、就職活動を有意義なものにし、理想のキャリアを構築する一歩を踏み出す手助けをしています。また、第4回から第5回にかけての授業では、外部講師を招いてオムニバス形式で実施されます。このアプローチを通じて、学生たちは大学教育では得られない実践的なキャリアデザインの知識やスキルを身に付け、将来の成功に向けて堂々としたステップを踏む準備を進めることが期待されます。	就職活動の成功の鍵は、ルールと流れを徹底的に理解し、自己整理と企業が求める人物像を把握することにあります。自身の能力（仕事におけるスキル）、興味（やりたい仕事）、価値観（譲れない条件）を考慮に入れ、キャリアの方向性を明確にし、雄気堂々とした態度で就職活動に臨む準備を整えます。希望する業界・企業を絞り込み、事前に研究を行います。同時に、自己分析を通じて履歴書やエントリーシートをしっかりと準備し、アピールポイントを明確に示します。これにより、自分の強みを最大限に引き出し、企業に対して自信をもってアプローチすることが可能となります。自己分析と企業研究の徹底的な実践を通じて、充実した就職活動を展開し、理想のキャリアを築く一歩を踏み出します。この講座では、「社会基準」を大切にし、ディプロマポリシーⅢを目指します。建学の精神を理解し、自ら進んで実践する姿勢や、社会人として必要な態度・志向性を身につけることが目標です。同時に、カリキュラムポリシーⅠ（建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと）とカリキュラムポリシーⅥ（キャリア開発の技術を培い、将来の進路に備えること）にも取り組みます。特に、2年生の皆さんには、将来の就職に備えて、社会基準に則った授業で、実践的なスキルや適切な態度を身につけ、職場での成功につなげましょう。
大多　正人	キャリアデザインⅣ	共通	2年生 後期	選択	2	担当講師は、長年にわたり大学でキャリア教育と就業支援に従事する傍ら、企業の人事採用コンサルタントとしても活動しています。豊富な実務経験を活かし、学生たちには実際のビジネス環境で成功するための洞察力や社会人基礎力を伝授しています。第4回～第12回の授業に登壇する外部講師は、幅広い実務経験を有し、学生たちに有益な知識を提供しています。九州を拠点に企業・大学・自治体と協力し、進学・キャリアに関連する学校連携事業に参画してきた経営者や、「社会人の準備のため」に尽力し、長年にわたり就職活動に不可欠なスキル（自己分析・企業研究・業界研究・採用試験対策等）を取り上げ、学生たちが実践的なスキルを身につけられるよう支援してきた指導者が社会での成功に向けて必要な知識やスキルを効果的に習得すること目指します。	担当講師の授業では、就職活動の成功に向けて重要なステップを学びます。まず、ルールと流れを理解し、これまでの自己整理と企業が求める人物像を把握します。自身のスキルや興味、価値観を考慮し、グループディスカッションと模擬面接で人間力を向上させます。模擬面接では自己表現力を養い、魅力的なアピール方法を磨きます。また、第4回から第12回では外部講師を招き、実務経験を通じた知識を共有します。採用手法や自治体連携企業説明会の実例を通して、九州地区の就職活動状況を解説します。経験豊富な講師が企業の採用プロセスに基づいた実践的な情報を提供します。また、SPI試験に焦点を当て、数理論理能力問題などを解説し、学生たちは具体的な問題解決を通じて効果的に学びます。自信を持ちつつ苦手意識を克服し、就職活動に成功するための指導が行われます。	就職活動において成功するためには、まずルールと流れを理解し、これまでの自己整理と企業が望む人物像を明確に把握することが不可欠です。自身の仕事におけるスキルややりたい仕事に対する興味、そして譲れない価値観を考慮に入れ、後半にはグループディスカッションと模擬面接を通じて人間力を向上させることを目指します。他者との意見交換を通して意見を発信し、相互理解を深めることで、コミュニケーション力を高めます。また、模擬面接を通じては自己表現力を養い、面接において魅力をアピールする方法を習得します。さらに、SPI3の演習では、自己の基礎能力を視覚化し向上を目指します。自身の強みや改善が必要な点を見つけ出すことで、より効果的な学習とスキル向上の方法を理解し、着実な成長を遂げていきます。この講座では、「社会基準」を大切にし、ディプロマポリシーⅢを目指します。建学の精神を理解し、自ら進んで実践する姿勢や、社会人として必要な態度・志向性を身につけることが目標です。同時に、カリキュラムポリシーⅠ（建学の精神を理解させ、社会人として必要な態度・志向性を養うこと）とカリキュラムポリシーⅥ（キャリア開発の技術を培い、将来の進路に備えること）にも取り組みます。特に、2年生の皆さんには、将来の就職に備えて、社会基準に則った授業で、実践的なスキルや適切な態度を身につけ、職場での成功につなげましょう。
大多　正人	キャリアデザインⅤ	共通	3年生 前期	選択	2	担当講師は、長年にわたり大学でキャリア教育と就業支援に従事する傍ら、企業の人事採用コンサルタントとしても活動しています。豊富な実務経験を活かし、学生たちには実際のビジネス環境で成功するための洞察力や社会人基礎力を伝授しています。第4回～第6回、第9回～11回の授業に登壇する外部講師は、幅広い実務経験を有し、学生たちに有益な知識を提供しています。進学・キャリアに関連する学校連携に携わってきたキャリアコンサルタントや、「社会人の準備のため」に尽力し、長年にわたり就職活動に不可欠なスキル（自己分析・企業研究・業界研究・採用試験対策等）を取り上げ、学生たちが実践的なスキルを身につけられるよう支援してきた指導者が社会での成功に向けて必要な知識やスキルを効果的に習得すること目指します。	担当講師は、キャリアコンサルタントとして広範囲な大学でキャリア教育と就業支援に尽力しています。同時に、企業の人事採用コンサルタントとしても活動し、最新の情報を通じて学生たちに進路決定に必要な視点を提供しています。学生たちには実際のビジネス環境で成功するための洞察力や社会人基礎力を伝えています。第2回～第6回、第9回～第11回は、企業等の外部講師を招き、オムニバス形式で授業を展開します。就職ナビサイトの活用知識を深めて即戦態勢までに高め、学生たちに迅速な就職活動のスタートを切らせます。第9回～第11回ではSPI試験対策を講じます。これらの授業を通じて、学生たちは実践的なスキルを向上させ、自信をもって就職活動に臨む準備が整います。	進路・就職活動の総仕上げに焦点を当てたこの講義では、模擬面接や自己PRの作成、SPI対策などの実践的なスキルを磨くことが重要とします。学生は自らが主体となり、進路や就職活動において必要なスキルや知識を獲得し、実践的な経験を積んでいきます。このプロセスを通じて、学生たちは自己成長を促進し、ひとりで自分の進路や就職活動を堂々と進める自信を身につけます。この講座は、ディプロマポリシーⅢを目指し、建学の精神を理解し自己を進んで実践する態度や、社会人として必要な態度・志向性を身につけることを目標としています。同時に、カリキュラムポリシーⅠおよびⅥに対応しており、学生は様々なワークを通して「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」などの「社会人基礎力」を身につけることが期待されています。この講座では、学生が将来の就職活動を円滑に進めるために必要な実践的なスキルを向上させ、自信をつける準備が整います。学生が自らの将来を積極的に「キャリアデザイン」し、人間性を向上させることで、悔いのない進路選択ができるようにサポートします。
大多　正人	キャリアデザインⅥ	共通	3年生 後期	選択	2	担当講師は、長年にわたり大学でキャリア教育と就業支援に従事する傍ら、企業の人事採用コンサルタントとしても活動しています。豊富な実務経験を活かし、学生たちには実際のビジネス環境で成功するための洞察力や社会人基礎力を伝授しています。第4回～第6回、第9回～12回の授業に登壇する外部講師は、民間企業等で幅広い実務経験を有し、学生たちに有益な知識を提供しています。企業採用に関わってきた人事採用担当者や、「社会人の準備のため」に尽力し、長年にわたり就職活動に不可欠なスキル（自己分析・企業研究・業界研究・採用試験対策等）を取り上げ、学生たちが実践的なスキルを身につけられるよう支援してきた指導者が上場・大手企業の内定獲得に向けて必要な知識やスキルを効果的に習得すること目指します。	担当講師は、キャリアコンサルタントとして広範囲な大学でキャリア教育と就業支援に尽力しています。同時に、企業の人事採用コンサルタントとしても活動し、上場・大手企業の多様な採用試験の傾向を通じて学生たちに進路決定に必要な視点を提供しています。学生たちには実際のビジネス環境で成功するための洞察力や社会人基礎力も伝えています。第4回～第6回、第9回～第12回は、企業等の外部講師を招き、オムニバス形式で授業を展開します。求められるスキルや知識を上場・大手企業の担当者から学び、学生たちに迅速な就職試験のスタートを切らせます。第9回～第10回ではSPI試験対策を講じます。第11回～第12回では集団・個人面接の対策を講じます。これらの授業を通じて、学生たちは実践的なスキルを向上させ、自信をもって上場・大手企業の就職試験に臨む準備が整います。	この講義では、国内の上場・大手企業への就職を志し、更に上位の企業から内々定を勝ち取るスキルを身につけます。授業では、就職活動に不可欠な情報やスキルを習得しますが、その際には国内の上場・大手企業を志望・受験する条件があります。履歴書やエントリーシートの作成、面接対応など、実践的な就職活動の準備が行われ、求められるスキルや知識を上場・大手企業の人事担当者から学びます。自己分析を進め、自らの強みを明確に把握することも重要です。最終的な目標は、理想の企業から内々定を獲得することであり、学生たちはその目標に向かって決意を持ち、積極的に進展していきます。授業は定員制で、上場・大手企業への志望と受験が求められるため、限られた枠内で目指す企業への内定獲得に向けて効果的なスキルを養います。この講座は、ディプロマポリシーⅢを目指し、建学の精神を理解し自己を進んで実践する態度や、社会人として必要な態度・志向性を身につけることを目標としています。同時に、カリキュラムポリシーⅠおよびⅥに対応しており、学生は様々なワークを通して「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」などの「社会人基礎力」を身につけることが期待されています。この講座では、学生が将来の就職活動を円滑に進めるために必要な実践的なスキルを向上させ、自信をつける準備が整います。学生が自らの将来を積極的に「キャリアデザイン」し、人間性を向上させることで、悔いのない進路選択ができるようにサポートします。
豊田桃子	ゲームプログラミング	共通	2年生 前期	選択	2	・Webアプリケーションの開発 ・JavaScriptを使用したゲームプログラミングの開発 ・JavaScriptのゲームフレームワークPhaserを使用したゲームプログラミングの開発	・JavaScriptゲームプログラミング ・WEBアプリケーション開発（データベース・インフラ・アプリ開発・プログラミングなど）	本講義では，ディプロマポリシーに基づき，プログラミングの基本をおさえつつシューティングゲームを開発し， 実践的なゲーム開発の基礎を学ぶ．本講義では，JavaScriptを使用する． 本講義を担当する講師は，現在ゲーム・アプリ開発に携わっており， ゲーム・アプリ作成に関する技術だけでなく，関連業界についても 熟知しているため，ゲーム・アプリ関連業界を目指す学生を歓迎する．

担当教員名	科目名	学科	履修学年時期	必・選	単位数	実務経験内容	実務経験をいかした教育内容	授業概要
吉野　正	日本国憲法	共通	1年生 後期	選択	2	弁護士実務５０年の経験の中で多くの憲法事案を取り扱ってきた。	実際に憲法が適用される事例をあげて、憲法の考え方を教示する。	めまぐるしく発展する現代社会の中で生じてきた憲法のさまざまな論点を理解することを通じて、憲法の基本的な知識としくみについて解説します。この講義では、特に日本国憲法において実際の社会で生じた具体的な事件に焦点を当てながら皆さん自身の立場や価値観を見つめなおす機会にしてもらいたいと思います。 教職課程を目指す受講者には、教育者として学生のもつ人権に配慮することの意味と役割について理解することができるようになることを求めます。 なおこの講義は、建学の精神・ディプロマポリシーに基づき、弁護士として実際に勤務している教員が担当します。
遠藤　真紀	経営学総論Ⅰ	共通	1年生 前期	必修	2	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。	・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の経営戦略や事業計画作成支援など，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。 ・「経営学総論Ⅰ（経営学入門）」では，企業と社会についての基本的な視点から，企業経営に関する基本理論を体系的に理解するとともに，その理論の背景や意義などについても考察していきます。 ・テキストを基に，伝統的な理論から現代の経営学まで，その形成過程や今日的課題について講義を進めます。現代企業の経営は，情報システムやネットワーク技術との関わりで進化しています。理論だけでなく，これまでの実務経験を踏まえた実践的な議論を展開していきます。 ・なお人数制限はありませんが，履修人数が多い場合は2つの教室を使い，片方が教室で対面授業，もう片方が教室でオンライン授業となる事があります（学籍番号で割り振りし，対面とオンラインは交互に入れ替えます）。
学科共通　計					**26**			

担当教員名	科目名	学科	履修学年時期	必・選	単位数	実務経験内容	実務経験をいかした教育内容	授業概要
井上　善海	経営学総論Ⅱ	経営情報学科	1年生 後期	選択	2	企業経営者１１年 経営コンサルタント９年	企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの実務経験を踏まえた実践的な議論を行う。	本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。企業経営のあり方等について理解するとともに，各理論の背景や意義などについても考察していきます。テキストを基に，伝統的な理論から現代の経営学まで，その形成過程や今日的課題について講義を進めます。現代企業の経営は，情報システムやネットワーク技術との関わりで進化していることから，これまでの実務経験を踏まえた実践的な議論を展開していきます。 「経営学総論Ⅱ」では，「経営学総論Ⅰ」で理解した内容を基礎に，より理解を深めるため現実の企業経営政策・経営現象について，経営管理という視点で客観的に考察を行っていきます。
平山　誠一郎	税法学	経営情報学科	3・4年生 後期	選択	2	国税組織において、税法の解釈・適用に関する審理事務や課税処分に対する不服審査事務などを含む税務の実務経験（35年）を有する。	実務経験に基づき、税法理論と税法を執行する税務行政の両面から「税」をとらえ講義を行う。	「租税は、…およそ民主主義国家にあっては、国家の維持及び活動に必要な経費は、主権者たる国民が共同の費用として代表者を通じて定めるところにより自ら負担すべきものである」(大島判決（最判：昭和60年3月27日判決)）とされている。税とは何か、税による国家の活動にはどのようなものがあるかを学ぶ。 また、身近な税である所得税・消費税を取り上げ、今後学生諸君が実生活に出てどのようにかかわっていくかなどを学ぶ。 なお、所得税の確定申告書を作成するなど実践的な学習を行う。 国税庁ホームページにアクセスして、所得税の申告書作成システムを利用した所得税確定申告書の作成模擬演習を行うなど、電子機器を取り入れた授業も予定している。
吉野　正	会社法	経営情報学科	2年生 前期	選択	2	弁護士実務５０年、長年の監査役経験を有する。多くの会社法関連事件を処理してきた。	会社法関連事例を具体的にとりあげて、会社法の実務運用を教示する。	会社の法的な仕組みを学んで行きます。まず、会社の法的な性質を理解できるようになった上で、会社の種類ごとの法的な性質の違いを学びます。その後、株式会社の4つの類型を学んで、株式会社の各機関（株主総会、取締役、取締役会、代表取締役、委員会等）の機能を理解できるよう授業を進めます。最後に取締役にどのような責任が課せらているかを学んで行きます。 なおこの講義は、建学の精神・ディプロマポリシーに基づき、弁護士として実際に勤務している教員が担当します。
遠藤　真紀	中小企業論	経営情報学科	2・3年生 前期	選択	2	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。	・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。 ・中小企業は，わが国において企業数および雇用される従業員数とも圧倒的多数を占め，またわが国産業の競争力を下支えしています。IT人材（高度情報化人材）として必要な知識として，大企業との格差問題や下請問題のみならず，中小企業が社会や地域経済に寄与していることについて考察していきます。 ・テキストだけでなくビデオ教材等を活用し，また実務経験を踏まえた具体的な事例を交え，構造的・政策的・実践的な議論を展開していきます。
遠藤　真紀	経営戦略論	経営情報学科	1年生 後期	選択	2	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。	・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。 ・IT人材（高度情報化人材）として必要な，経営戦略に関する基本理論を体系的に理解するとともに，その理論の背景や意義などについても考察していきます。テキストを基に，伝統的な理論から現代の戦略論まで，その形成過程や今日的課題について講義を進めます。 ・現代企業の経営戦略が，情報システムやネットワーク技術との関わりで進化していることから，これまでの実務経験を踏まえた実践的な議論を展開していきます。

担当教員名	科目名	学科	履修学年時期	必・選	単位数	実務経験内容	実務経験をいかした教育内容	授業概要
遠藤　真紀	ﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽ入門	経営情報学科	1年生 後期	選択	2	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。	・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。 ・過去の実務経験を基に，ベンチャービジネスに限らず社会やビジネスそのもの，および企業の目的・意義について議論を展開していきます。 ・ビデオの資料等を活用し，身近な事例を題材に講義を進め，働く事の意義やベンチャー企業および社会そのものに関心を持ってもらい，IT人材（高度情報化人材）としての基本的な知識の修得や企業と自分との関係を知ろうとする積極性を養っていきます。卒業後，社会に出て「何をすべきか」「自分ならどうするか」という自らの答えを導き出せる思考能力を培っていきます。
遠藤　真紀	ﾍﾞﾝﾁｬｰ企業論	経営情報学科	2・3年生 後期	選択	2	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。	・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の経営戦略立案や事業計画作成の支援等，経営コンサルタントの経験を持つ教員が担当します。 ・ベンチャーだけでなく，ビジネスや経営は，実際に行ってみないと本当の理解はできません。しかしテキストによる基本理論の理解やビデオ・資料等による演習を通じて疑似体験する事は可能です。 ・これまでの実務経験を踏まえ，企業経営が身近に感じられるような講義を行い，IT人材（高度情報化人材）として必要なベンチャー企業に関する基本的な知識および自身と社会や企業との関わりについて深く知ろうとする積極性を養っていきます。
遠藤　真紀	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ	経営情報学科	3・4年生 後期	選択	2	建築設備会社(5年)：建築設備施工管理（1級土木・2級管工事施工管理技士），建材卸売会社(10年)：商品開発，営業管理（1級販売士），経営コンサルタント(30年)：経営診断，中小企業経営支援（中小企業診断士，QMS/EMS Lead Auditor）	建設業・流通業等の実務経験および製造業・サービス業等への経営支援実務を通じて得た知見を元に，経営関連科目の講義を通じて，理論だけでなく企業経営の実態や管理手法および社会の常識や社会で生き抜くための考え方等についても伝えていきます。また事例や中小企業企業診断士の問題を活用した演習等も行います。	・本学の建学の精神，3つのポリシーおよび学習目標を踏まえ，中小企業診断士として企業の事業計画や創業計画の作成支援など，経営コンサルティング実務の経験を持つ教員が担当します。 ・新しくビジネスを興す時，製品・サービスの市場性等の見きわめ（市場調査・需要予測などの外部環境分析）や自社（自分）の能力評価（内部環境分析）が必要です。過去の実務経験を踏まえ，アイディアの出し方やまとめ方および事業計画の作成方法をテキストやワークシート等を使って講義します。なお週一回の断片的な講義では，考えがまとまらなかったり，作業が進まなかったりするため，例年，土日を使った集中特別講義を行っています。 ・最終的には，IT人材（高度情報化人材）として自分のビジネスアイディアを事業計画書にまとめ，その内容をプレゼンテーションしてもらいます。
経営情報学科　計					**16**			

担当教員名	科目名	学科	履修学年時期	必・選	単位数	実務経験内容	実務経験をいかした教育内容	授業概要
岸川　洋	モバイルネットワーク	情報ﾈｯﾄﾜｰｸ学科	3・4年生 前期	選択	2	電気通信事業会社勤務（30年）、交換設備部門（11年）（研究開発担当（3年）、計画担当（2年）、設計担当（2年）、調達担当（2年）、保守担当（2年））、端末機器部門（3年）（開発担当）の実務経験を有する。	電気通信事業会社における実務経験（交換設備部門（11年）、端末機器部門（3年））があり、モバイル通信の歴史、モバイル通信のしくみ、各分野における活用事例、電気通信事業者、電気通信事業法 等について具体的に説明する。	学習目標・目的（学則第3条）を踏まえて、ネットワーク関連の情報通信技術の知識とその活用能力を修得することを目的とする。 　電気通信事業会社で、交換設備部門（開発、計画、設計、調達、保守）の実務経験のある教員が、モバイル通信のしくみ、モバイル通信の歴史 等を解説することにより、第5世代・第6世代までの基礎知識を学修する。図表を作成し要点を整理することにより、理解を深める。 　連絡事項はGoogleクラスルームにおいて確認できる。授業の資料はGoogleクラスルームにおいて入手できる。毎回の課題やレポートはGoogleクラスルームに提出する。授業の質問や感想はGoogleクラスルームにも提出できる。
平塚　智一	Webシステム	情報ﾈｯﾄﾜｰｸ学科	2年生 前期	選択	2	ウェブサイト制作等におけるディレクター、プログラマー、デザイナーとしてウェブ制作会社勤務（15年）の実務経験を有する。	ウェブ制作会社における実務経験をもとに、実例を交えた講義を行います。	ディプロマポリシーに基づき、この授業では、ビジネスパーソンおよびITエキスパートとして仕事をする上で必須となるWeb技術の基礎について、現在、システム開発会社でエンジニアとしてWeb制作や開発を行っている教員が実務経験を生かした授業を行う。 科目「Webデザイン（Webコンテンツ制作Ⅰ）」での学習を踏まえて、各種Webサービスが提供する機能とそのための構造、それらを支える基盤技術やプログラミング技術について総合的に学習する。Web関連ファイルについて理解を深める。
平塚　智一	Webデザイン	情報ﾈｯﾄﾜｰｸ学科	1年生 後期	選択	2	ウェブサイト制作等におけるディレクター、プログラマー、デザイナーとしてウェブ制作会社勤務（15年）の実務経験を有する。	ウェブ制作会社における実務経験をもとに、実例を交えた講義を行います。	ディプロマポリシーに基づき、この授業では、ビジネスパーソンおよびITエキスパートとして仕事をする上で必須となるWeb技術の基礎について、現在、システム開発会社でエンジニアとしてWeb制作や開発を行っている教員が実務経験を生かした授業を行う。 ビジネスとインターネット、各種サービスとインターネットを概観する。ユーザ・インターフェイスと提供したいサービスの機能・構造との関係をどのようにデザインするか考察する。基本的なHTMLおよびCSSについて学習する。
情報ﾈｯﾄﾜｰｸ学科　計					**6**			

経営情報学部　合計	**48**